

令和6年度
常磐自動車道
久慈川橋耐震補強工事

契約参考図書
(率計上工事及び概算数量、図面)

令和 7 年 3 月

東日本高速道路株式会社
関東支社 水戸管理事務所

- ・ 契約参考図書は、率計上工事や概算数量などを提示する資料であり、工事請負契約書第1条にいう設計図書でない。（請負契約上拘束力はない）
- ・ 当該内容は、受注後に協議を開始する項目であるため、内容に関する質問は受け付けない。

久慈川橋耐震補強工事 率計上工事 図面目次

図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称
1	久慈川橋 数量総括表	100 ～ 105	茂宮川高架橋 P19(A-ライン) 検査路 新設工 (その1) ～(その6)	160	茂宮川高架橋 P8(A-ライン) 既設耐震連結装置 撤去工
2 ～ 10	久慈川橋 AP1 FRP検査路 撤去工 (その1) ～(その9)	106 ～ 111	茂宮川高架橋 P20(A-ライン) 検査路 新設工 (その1) ～(その6)	161 ～ 162	茂宮川高架橋 P5(B-ライン) 既設耐震連結装置 撤去工 (その1) ～(その2)
11 ～ 19	久慈川橋 AP1 検査路 新設工 (その1) ～(その9)	112	茂宮川高架橋 P21(A-ライン終点側) 検査路 新設工	163 ～ 166	茂宮川高架橋 P5(B-ライン) 既設変位制限装置撤去工 (その1) ～(その4)
20 ～ 30	久慈川橋 P7 検査路 撤去工・新設工 (その1) ～(その11)	113 ～ 120	茂宮川高架橋 A2(A、B-ライン) 検査路 新設工 (その1) ～(その8)	167	茂宮川高架橋 既設護岸撤去・復旧図
31 ～ 41	久慈川橋 A2 検査路 撤去工・新設工 (その1) ～(その11)	121	茂宮川高架橋 P5(B-ライン) 検査路 撤去・設置工、新設工	168	茂宮川高架橋 防護柵撤去設置工
42	久慈川橋 AP1 排水装置撤去・設置工	122	茂宮川高架橋 P8(B-ライン) 検査路 撤去・設置工、新設工	169 ～ 172	茂宮川高架橋 既設用排水溝、舗装撤去・新設工 (その1) ～(その4)
43	久慈川橋 P1 排水装置撤去・設置工	123	茂宮川高架橋 P1(A-ライン終点側) 排水装置撤去・設置工、新設工	173	大森高架橋 A1(A-ライン) 検査路撤去工
44	久慈川橋 P2 排水装置撤去・設置工	124	茂宮川高架橋 P2(A-ライン終点側) 排水装置撤去・設置工、新設工	174	大森高架橋 P4(A-ライン) 検査路撤去・設置工
45	久慈川橋 P3 排水装置撤去・設置工	125	茂宮川高架橋 P3(A-ライン終点側) 排水装置撤去・設置工、新設工	175	大森高架橋 P3(起点側)(A-ライン) 検査路撤去・設置工
46	久慈川橋 P5 排水装置撤去・設置工	126	茂宮川高架橋 P4(A-ライン終点側) 排水装置撤去・設置工、新設工	176	大森高架橋 P3(終点側)(A-ライン) 検査路撤去・設置工
47	久慈川橋 P6 排水装置撤去・設置工	127	茂宮川高架橋 P5(A-ライン終点側) 排水装置撤去・設置工、新設工	177	大森高架橋 P3(タラップ)(A-ライン) 検査路撤去工
48 ～ 49	久慈川橋 排水装置取替詳細図 (その1) ～ (その2)	128	茂宮川高架橋 P7(A-ライン終点側) 排水装置撤去・設置工、新設工	178 ～ 181	大森高架橋 A1(A-ライン) 検査路新設工 (その1) ～(その4)
50 ～ 51	久慈川橋 既設耐震連結装置撤去図(A-ライン) (その1) ～ (その2)	129	茂宮川高架橋 P8(A-ライン起点側) 排水装置撤去・設置工、新設工	182 ～ 185	大森高架橋 P4(A-ライン) 検査路新設工 (その1) ～(その4)
52 ～ 53	久慈川橋 既設耐震連結装置アンカー部撤去・復旧図(A-ライン) (その1) ～(その2)	130	茂宮川高架橋 P8(A-ライン終点側) 排水装置撤去・設置工、新設工	186 ～ 190	大森高架橋 P3(A-ライン) 検査路新設工 (その1) ～(その5)
54 ～ 58	久慈川橋 P3 変位制限装置撤去図 (その1) ～(その5)	131	茂宮川高架橋 P9(A-ライン終点側) 排水装置撤去・設置工、新設工	191	大森高架橋 A1(A-ライン) 排水装置撤去・設置工
59 ～ 61	久慈川橋 既設護岸撤去・復旧図 (その1) ～ (その3)	132	茂宮川高架橋 P10(A-ライン終点側) 排水装置撤去・設置工、新設工	192	大森高架橋 P2(A-ライン) 排水装置撤去・設置工、新設工
62	久慈川橋 防護柵撤去設置工	133	茂宮川高架橋 P11(A-ライン終点側) 排水装置撤去・設置工、新設工	193	大森高架橋 P3(A-ライン) 排水装置撤去・設置工、新設工
63 ～ 64	久慈川橋 既設用排水溝撤去・設置工 (その1) ～(その2)	134	茂宮川高架橋 P12(A-ライン終点側) 排水装置撤去・設置工、新設工	194	大森高架橋 P4(A-ライン) 排水装置撤去・設置工、新設工
65	久慈川橋 車線分離標配置区(参考図)	135	茂宮川高架橋 P13(A-ライン終点側) 排水装置撤去・設置工、新設工	195	大森高架橋 P5(A-ライン) 排水装置撤去・設置工、新設工
66	茂宮川高架橋 A1(A-ライン) 検査路 撤去工	136	茂宮川高架橋 P14(A-ライン終点側) 排水装置撤去・設置工	196	大森高架橋 P3(A-ライン) 排水装置撤去・設置工、新設工
67	茂宮川高架橋 P1・P3(A-ライン) 検査路 撤去工	137	茂宮川高架橋 P15(A-ライン終点側) 排水装置撤去・設置工、新設工	197	大森高架橋 P7(A-ライン) 排水装置撤去・設置工、新設工
68	茂宮川高架橋 P5・P8(A-ライン) 検査路 撤去工	138	茂宮川高架橋 P16(A-ライン終点側) 排水装置撤去・設置工、新設工	198	大森高架橋 P3(A-ライン) 排水装置撤去・設置工、新設工
69	茂宮川高架橋 P5(A-ライン) 検査路 撤去・設置工	139	茂宮川高架橋 P17(A-ライン終点側) 排水装置撤去・設置工、新設工	199	大森高架橋 P3(A-ライン) 排水装置撤去・設置工、新設工
70	茂宮川高架橋 P9(A-ライン) 検査路 撤去工	140	茂宮川高架橋 P18(A-ライン終点側) 排水装置撤去・設置工、新設工	200 ～ 201	大森高架橋 排水装置詳細図 (その1) ～(その3)
71	茂宮川高架橋 P19(A-ライン) 検査路 撤去工	141	茂宮川高架橋 P19(A-ライン終点側) 排水装置撤去・設置工、新設工	203 ～ 204	大森高架橋 P3(A-ライン) 既設耐震連結装置撤去工 (その1) ～(その2)
72	茂宮川高架橋 P20(A-ライン) 検査路 撤去工	142	茂宮川高架橋 P20(A-ライン終点側) 排水装置撤去・設置工、新設工	205	大森高架橋 A2橋台 既設耐震連結装置 撤去工
73	茂宮川高架橋 P9・P14・P19・P20・P21(A-ライン) 検査路 撤去・設置工	143	茂宮川高架橋 P21(A-ライン終点側) 排水装置撤去・設置工、新設工	206	大森高架橋 防護柵撤去設置工
74	茂宮川高架橋 A2(A-ライン) 検査路 撤去工	144	茂宮川高架橋 P5(B-ライン終点側) 排水装置撤去・設置工、新設工	207 ～ 208	大森高架橋 既設用排水溝、舗装撤去・設置工 (その1) ～(その2)
75	茂宮川高架橋 P5・P8(B-ライン) 検査路 撤去工	145	茂宮川高架橋 P7(B-ライン終点側) 排水装置撤去・設置工、新設工		
76	茂宮川高架橋 P5(B-ライン) 検査路 撤去・設置工	146	茂宮川高架橋 P8(B-ライン起点側) 排水装置撤去・設置工、新設工		
77 ～ 83	茂宮川高架橋 A1(A-ライン) 検査路 新設工 (その1) ～(その7)	147	茂宮川高架橋 P8(B-ライン終点側) 排水装置撤去・設置工、新設工		
84 ～ 86	茂宮川高架橋 P1(A-ライン) 検査路 新設工 (その1) ～(その3)	148 ～ 151	茂宮川高架橋 排水装置詳細図 (その1) ～(その4)		
87 ～ 89	茂宮川高架橋 P3(A-ライン) 検査路 新設工 (その1) ～(その3)	152	茂宮川高架橋 A1(A-ライン) 既設耐震連結装置 撤去工		
90 ～ 92	茂宮川高架橋 P5(A-ライン) 検査路 新設工 (その1) ～(その3)	153 ～ 156	茂宮川高架橋 P1(A-ライン) 既設耐震連結装置 撤去工 (その1) ～(その4)		
93	茂宮川高架橋 P8(A-ライン) 検査路 撤去・設置工、新設工	157 ～ 158	茂宮川高架橋 P3(A-ライン) 既設耐震連結装置 撤去工 (その1) ～(その2)		
94 ～ 99	茂宮川高架橋 P9(A-ライン) 検査路 新設工 (その1) ～(その6)	159	茂宮川高架橋 P5(A-ライン) 既設耐震連結装置 撤去工		

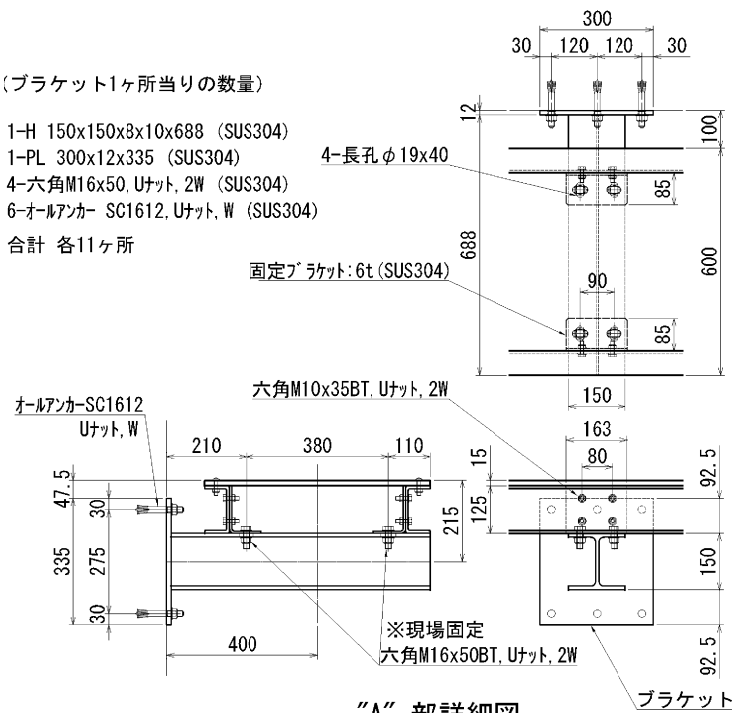
久慈川橋耐震補強工事 率計上工事 数量総括表

番号			1	2	3	4			5				6	7	8		9	10	11	12						
項目番号			特一(12)																							
项目名称			検査路	車線分離標	排水装置取替	撤去工			撤去設置工				塗膜除去工	成分調査工	護岸撤去復旧工			防護柵 撤去設置工	立入防止柵 撤去設置工	舗装 撤去設置工						
区分			B	A	排水管 A φ 150	検査路 B 1	検査路 B 2	排水管 A	既設耐震 連結装置	既設横変位 拘束構造	検査路 B	既設用排水溝	既設用排水管 A	既設集水ます	A	A	A	B	C	ガードレール	一般型 非積雪地用					
単位			kg	基	m	kg	kg	m	kg	kg	kg	m	m	箇所	式	式	m2	m2	m2	m	m	m2				
久慈川橋	上下線	A P 1	3385		6.9		1545	6.2	804			22.0	15.8	1	1	1					126.0					
		P 1			5.6			4.7				21.0	16.7	1												
		P 2									15.0	19.9	1													
		P 3						1500	5950		22.0	24.9	1	14.0												
		P 4																	11.9							
		P 5									13.0	20.8	1				188.6									
		P 6			17.1			14.8			24.0	20.3	1													
		P 7	2903			2434			996																	
		A 2	3527	30		1991			409																	
		合計	9815	30	29.6	4425	1545	25.7	3709	5950		117.0	118.4	6			14.0	188.6			126.0					
茂宮川高架橋	上り線	A 1	5737			2645			107								1	1					827.0			
		P 1	1736		6.1	935		6.7	2017			13.0	2.1	1												
		P 2			3.5			4.0				12.0	3.4	1												
		P 3	1381		5.2	723		4.0	2522			11.0	4.3	1												
		P 4			5.2			4.0				9.0	4.3	1												
		P 5	1095		5.5	742		6.2	2910		163	10.0	2.2	1								26.0		11.5		
		P 6																								
		P 7			3.8			4.0				24.0	6.9	2												
		P 8	21		13.3	6		13.9			163	13.0	8.5	2								28.0				
		P 9	1574		4.2	649		4.4			386	2.0	7.3	1										4.8		
		P 1 0			3.7			3.9				2.0	7.6	1												
		P 1 1			3.7			3.9				2.0	7.2	1												
		P 1 2			3.7			3.9				2.0	7.1	1												
		P 1 3			3.7			3.9				2.0	7.1	1												
		P 1 4									217	2.0	11.1	1												
		P 1 5			3.7			3.9				2.0	7.2	1												
		P 1 6			3.7			3.9				2.0	7.2	1												
		P 1 7			3.7			3.9				2.0	7.0	1												
		P 1 8			3.7			3.9				2.0	7.1	1												
		P 1 9	1788		5.3	716		5.8			381	3.0	5.4	1												
		P 2 0	1725		3.2	710		3.8			371	3.0	6.8	1												
		P 2 1	4		3.7	4		3.8			203	3.0	6.6	1												
		A 2	3959			2305																				
		小計	19020		92.4	9435		95.8	7556	0	1884	121.0	129.9	22								327.6		54.0	827.0	16.3
	下り線	P 5	14		5.6	4		6.1	965	4017	113	7.0	2.2	1												5.8
		P 6																								
		P 7			3.8			4.0					6.9													
		P 8	17		10.8	6		11.6	113		165	16.0	11.8	2									3.9			
		小計	31		20.2	10		21.7	1078	4017	278	23.0	20.9	3								0.0		0.0	0.0	9.7
	合計		19051		112.6	9445		117.5	8414	4017	2162	144.0	148.5	25								327.6		54.0	827.0	26.0
大森高架橋	上り線	A 1	1532			881		7.0					7.0		1	1							325.0			
		P 2			3.6			3.9				17.0	5.1	1							24.0					
		P 3			3.6			4.0				18.0	4.4	1												
		P 4	1185		5.1	489		5.3			167	9.0	4.6	1												
		P 5			5.2			5.5				8.0	13.9	1												
		P 6			8.6			8.8					22.8													
		P 7			8.6			8.8					24.3													
		P 8											22.9											4.5		
		P 9	2200		6.1	1129		6.8	717		132	65.0	4.3	3												
		A 2																								
	合計	4917		43.1	2499		50.1	717		299	117.0	109.3	7							24.0	325.0	4.5				
合計			33783	30	183.2	16369	1545	188.5	12840	9967	2461	378.0	373.9	38	1	1	17.0	516.2	11.9	78.0	1278.0	30.5				

常磐自動車道 久慈川橋耐震補強工事			
図面の種類	率計上工事 数量総括表		
縮 尺	—	図面番号	1 / 208
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

(ブラケット1ヶ所当りの数量)

- 1-H 150x150x3x10x688 (SUS304)
- 1-PL 300x12x335 (SUS304)
- 4-六角M16x50, Uナット, 2W (SUS304)
- 6-オールアンカー SC1612, Uナット, W (SUS304)
- 合計 各11ヶ所

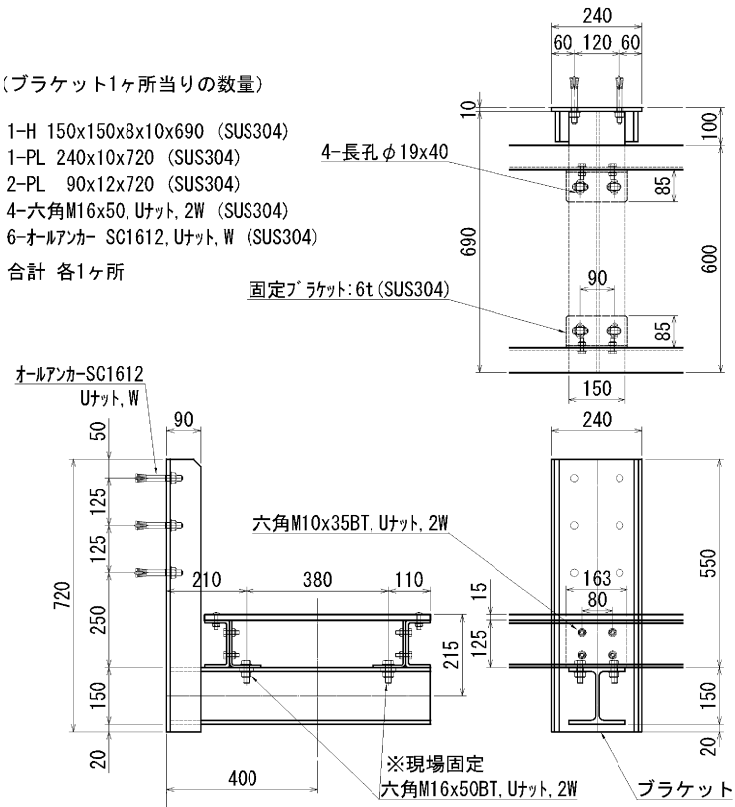


“A” 部詳細図

S=1/20

(ブラケット1ヶ所当りの数量)

- 1-H 150x150x3x10x690 (SUS304)
- 1-PL 240x10x720 (SUS304)
- 2-PL 90x12x720 (SUS304)
- 4-六角M16x50, Uナット, 2W (SUS304)
- 6-オールアンカー SC1612, Uナット, W (SUS304)
- 合計 各1ヶ所

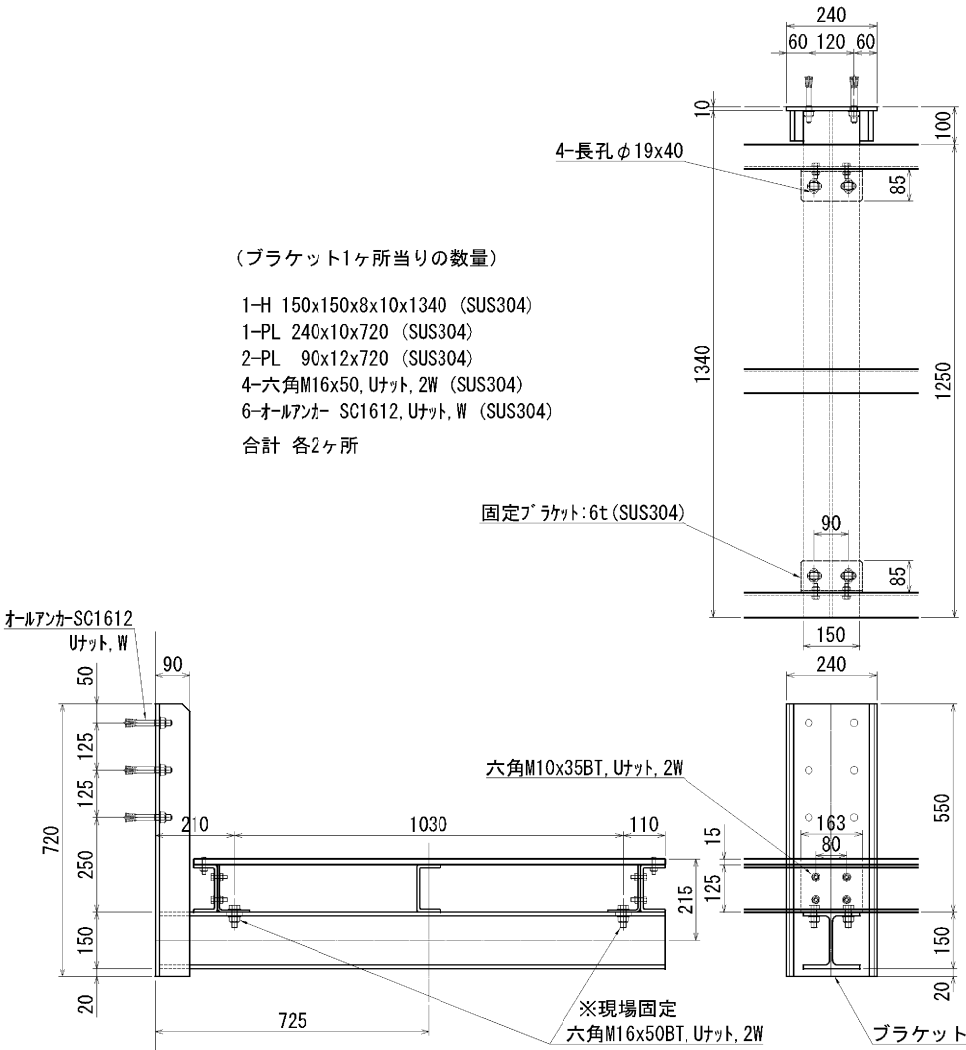


“B” 部詳細図

S=1/20

(ブラケット1ヶ所当りの数量)

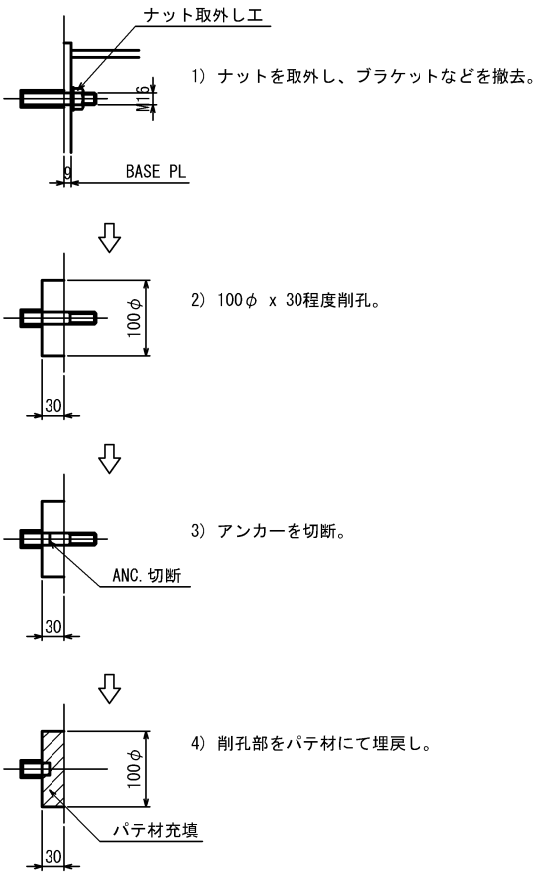
- 1-H 150x150x8x10x1340 (SUS304)
- 1-PL 240x10x720 (SUS304)
- 2-PL 90x12x720 (SUS304)
- 4-六角M16x50, Uナット, 2W (SUS304)
- 6-オールアンカー SC1612, Uナット, W (SUS304)
- 合計 各2ヶ所



“C” 部詳細図

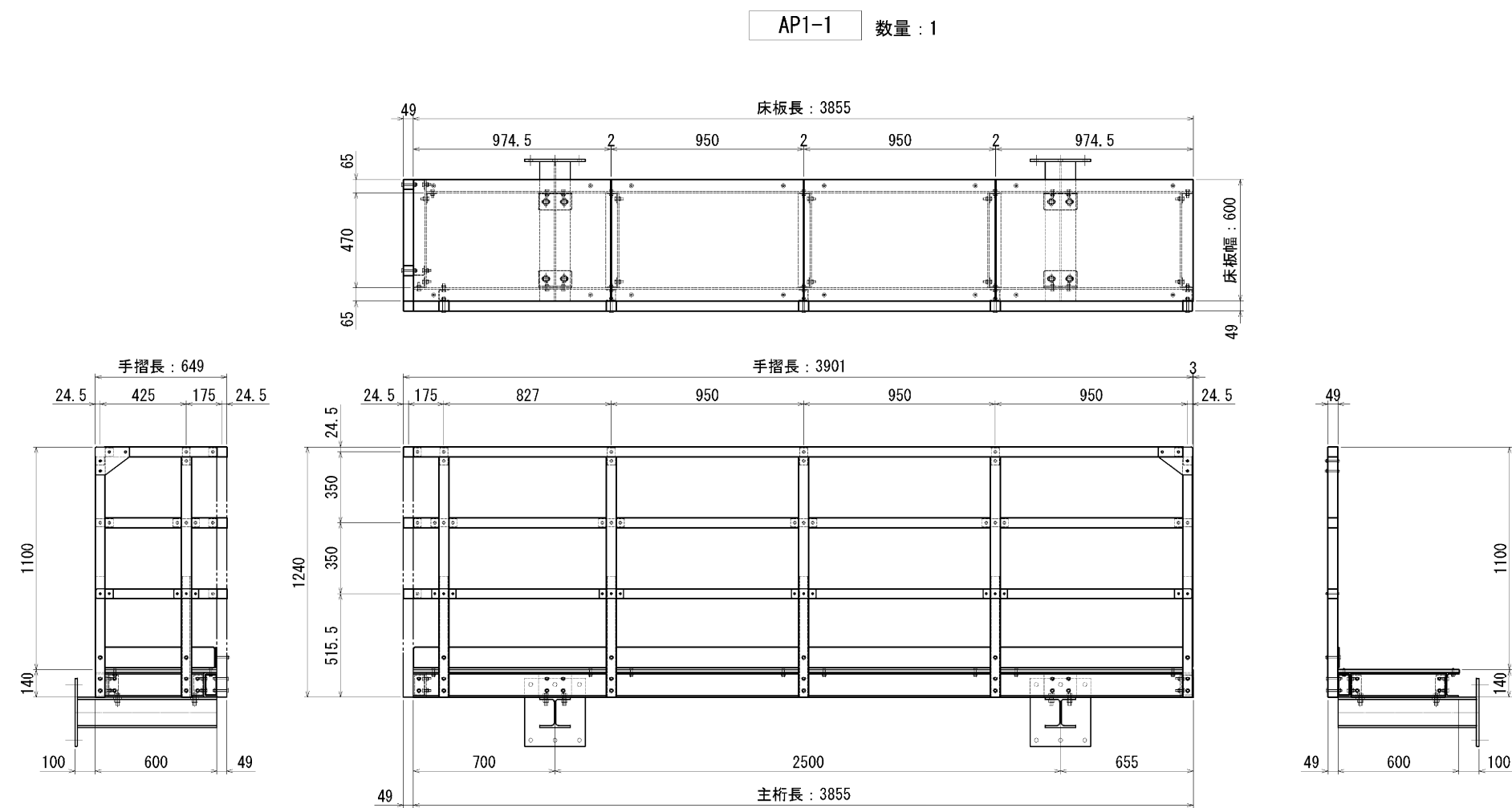
S=1/20

コンクリートアンカー撤去工 S=1:100



注 記
1. 特記なき材質は、全てFRPとする。

常磐自動車道 久慈川橋耐震補強工事			
図面の種類	久慈川橋 AP1 FRP検査路 撤去工(その2)		
	縮 尺	図示	図面番号 3 / 208
設計会社名	株式会社 長大		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		



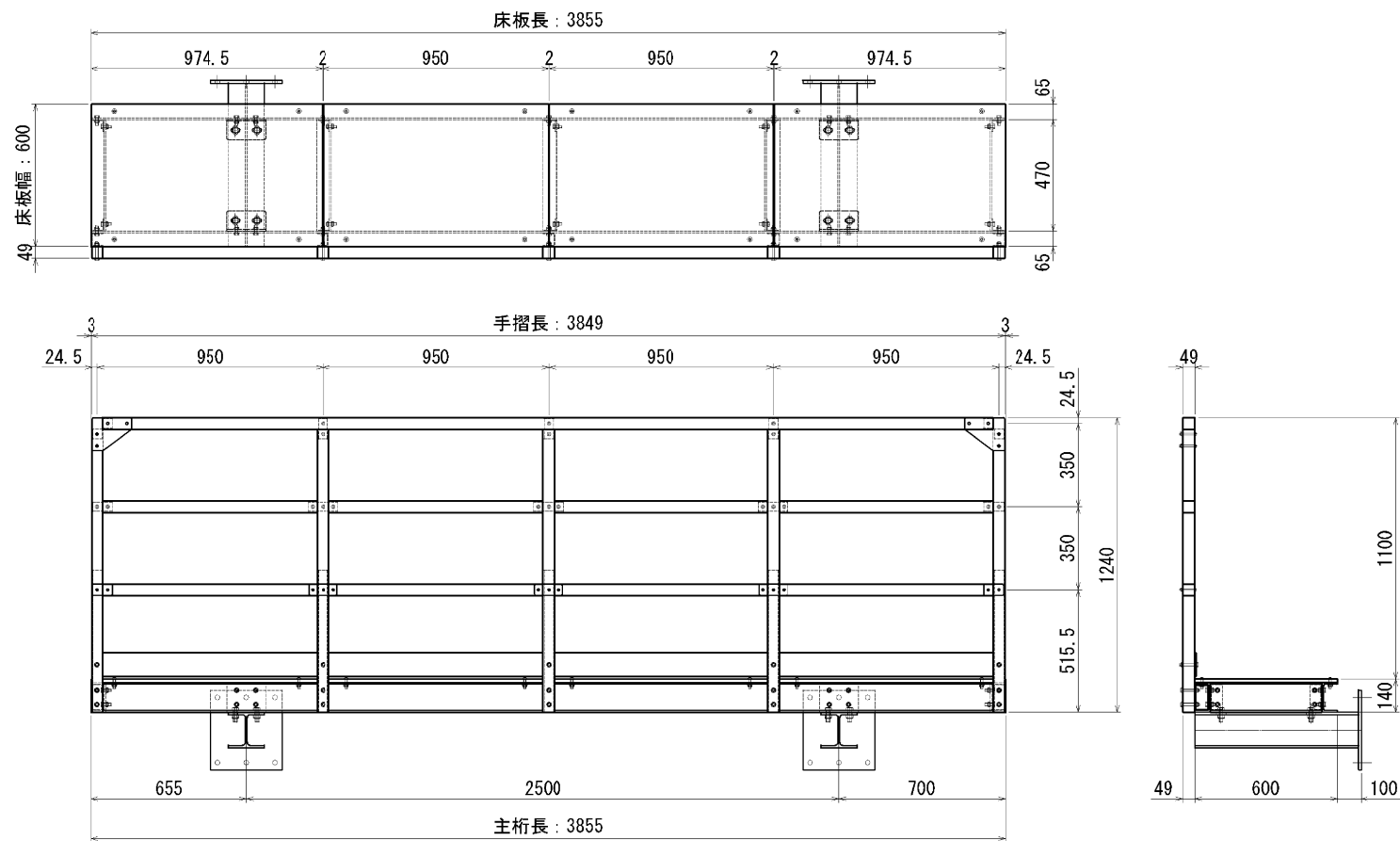
(1台当りの数量)

- | | |
|-------------------------------------|--|
| 1 - [125 x 65 x 7.5 x 3855 (FRP) 主桁 | 4 - PL6 x 125 x 85 x 163 (SUS304) 固定ブラケット |
| 1 - [125 x 65 x 7.5 x 3790 (FRP) 主桁 | 16 - 六角M10 x 35BT , Uナット , 2W (SUS304) |
| 1 - [125 x 65 x 7.5 x 535 (FRP) 横桁 | 10 - L50 x 50 x 4 x 100 (SUS304) 取付ブラケット |
| 4 - [125 x 65 x 7.5 x 470 (FRP) 横桁 | 7 - [49 x 57.5 x 4 x 100 (SUS304) 支柱ブラケット |
| 1 - FB100 x 6 x 3852 (FRP) 爪先板 | 4 - PL2 x 139 x 169 (SUS304) 手摺補強PL |
| 1 - FB100 x 6 x 589 (FRP) 爪先板 | 4 - PL2 x 48 x 84.5 (SUS304) (端部) 連結PL |
| 2 - UB15t - 600 x 974.5 (FRP) 床板 | 10 - PL2 x 48 x 121 (SUS304) (中央部) 連結PL |
| 2 - UB15t - 600 x 950 (FRP) 床板 | 8 - トラスM 8x65BT, Uナット (SUS304) 手摺補強PL取付用 |
| 1 - □49 x 4 x 3803 (FRP) 手摺 | 16 - トラスM10x40BT, Uナット, W (SUS304) 床板取付用 |
| 1 - □49 x 4 x 551 (FRP) 手摺 | 19 - 六角M 6 x 65BT , Uナット , 2W (SUS304) 連結PL取付用 |
| 6 - □49 x 4 x 901 (FRP) 水平材 | 46 - 六角M10 x 35BT , Uナット , 2W (SUS304) 支柱・取付ブラケット取付用 |
| 2 - □49 x 4 x 778 (FRP) 水平材 | 21 - 六角M10 x 70BT , Uナット , 2W (SUS304) 支柱, 爪先板取付用 |
| 2 - □49 x 4 x 376 (FRP) 水平材 | 58 - ナイロンリベット (短) (PA) |
| 4 - □49 x 4 x 126 (FRP) 水平材 | 12 - ナイロンリベット (長) (PA) |
| 7 - □49 x 4 x 1191 (FRP) 支柱 | |
| 7 - □40 x 6 x 600 (FRP) 支柱下部補強 | |
| 7 - □40 x 6 x 85 (FRP) T字ジョイント | |
| 5 - □40 x 6 x 129 (FRP) 十字ジョイント | |
| 5 - □49用 (FRP) エンドコネクタ | |

注 記
1. 特記なき材質は、全てFRPとする。

常磐自動車道 久慈川橋耐震補強工事			
図面の種類	久慈川橋 AP1 FRP検査路 撤去工(その3)		
	縮 尺	図示	図面番号 4 / 208
設計会社名	株式会社 長大		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

AP1-2 数量 : 3



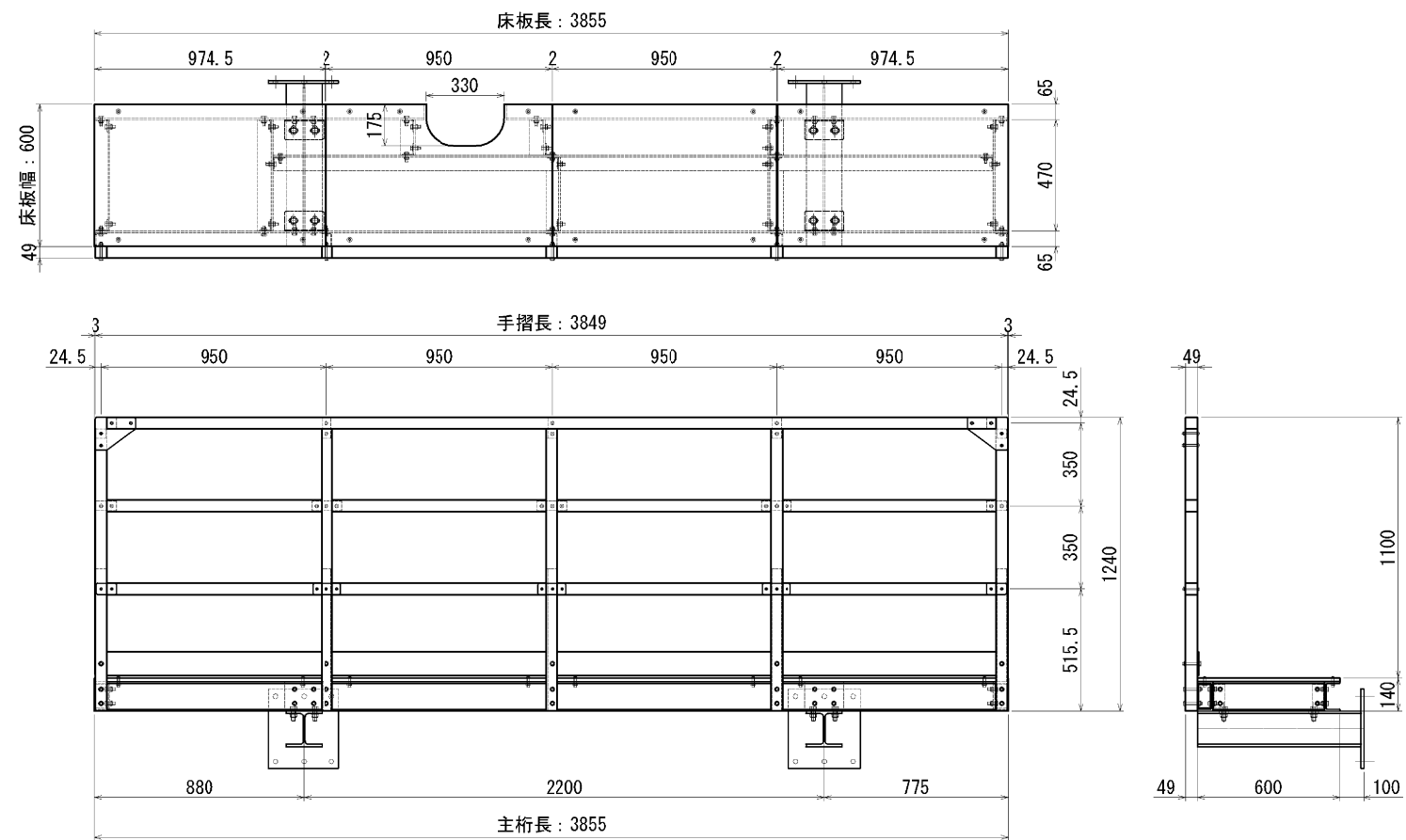
(1台当りの数量)

- | | |
|-------------------------------------|--|
| 2 - [125 x 65 x 7.5 x 3855 (FRP) 主桁 | 4 - PL6 x 125 x 85 x 163 (SUS304) 固定ブラケット |
| 5 - [125 x 65 x 7.5 x 470 (FRP) 横桁 | 16 - 六角M10 x 35BT, Uナット, 2W (SUS304) |
| 1 - FB100 x 6 x 3849 (FRP) 爪先板 | 10 - L50 x 50 x 4 x 100 (SUS304) 取付ブラケット |
| 2 - UB15t - 600 x 974.5 (FRP) 床板 | 5 - [49 x 57.5 x 4 x 100 (SUS304) 支柱ブラケット |
| 2 - UB15t - 600 x 950 (FRP) 床板 | 4 - PL2 x 139 x 169 (SUS304) 手摺補強PL |
| 1 - □49 x 4 x 3751 (FRP) 手摺 | 4 - PL2 x 48 x 84.5 (SUS304) (端部)連結PL |
| 8 - □49 x 4 x 901 (FRP) 水平材 | 6 - PL2 x 48 x 121 (SUS304) (中央部)連結PL |
| 5 - □49 x 4 x 1191 (FRP) 支柱 | 8 - トラスM 8x65BT, Uナット (SUS304) 手摺補強PL取付用 |
| 5 - □40 x 6 x 600 (FRP) 支柱下部補強 | 16 - トラスM10x40BT, Uナット, W (SUS304) 床板取付用 |
| 5 - □40 x 6 x 85 (FRP) T字ジョイント | 13 - 六角M 6 x 65BT, Uナット, 2W (SUS304) 連結PL取付用 |
| 3 - □40 x 6 x 129 (FRP) 十字ジョイント | 40 - 六角M10 x 35BT, Uナット, 2W (SUS304) 支柱・取付ブラケット取付用 |
| 2 - □49用 (FRP) エンドコネクタ | 15 - 六角M10 x 70BT, Uナット, 2W (SUS304) 支柱, 爪先板取付用 |
| | 38 - ナイロンリベット (短) (PA) |

注 記
1. 特記なき材質は、全てFRPとする。

常磐自動車道 久慈川橋耐震補強工事			
図面の種類	久慈川橋 AP1 FRP検査路 撤去工(その4)		
	縮 尺	図示	図面番号 5 / 208
設計会社名	株式会社 長大		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

AP1-3 数量 : 1



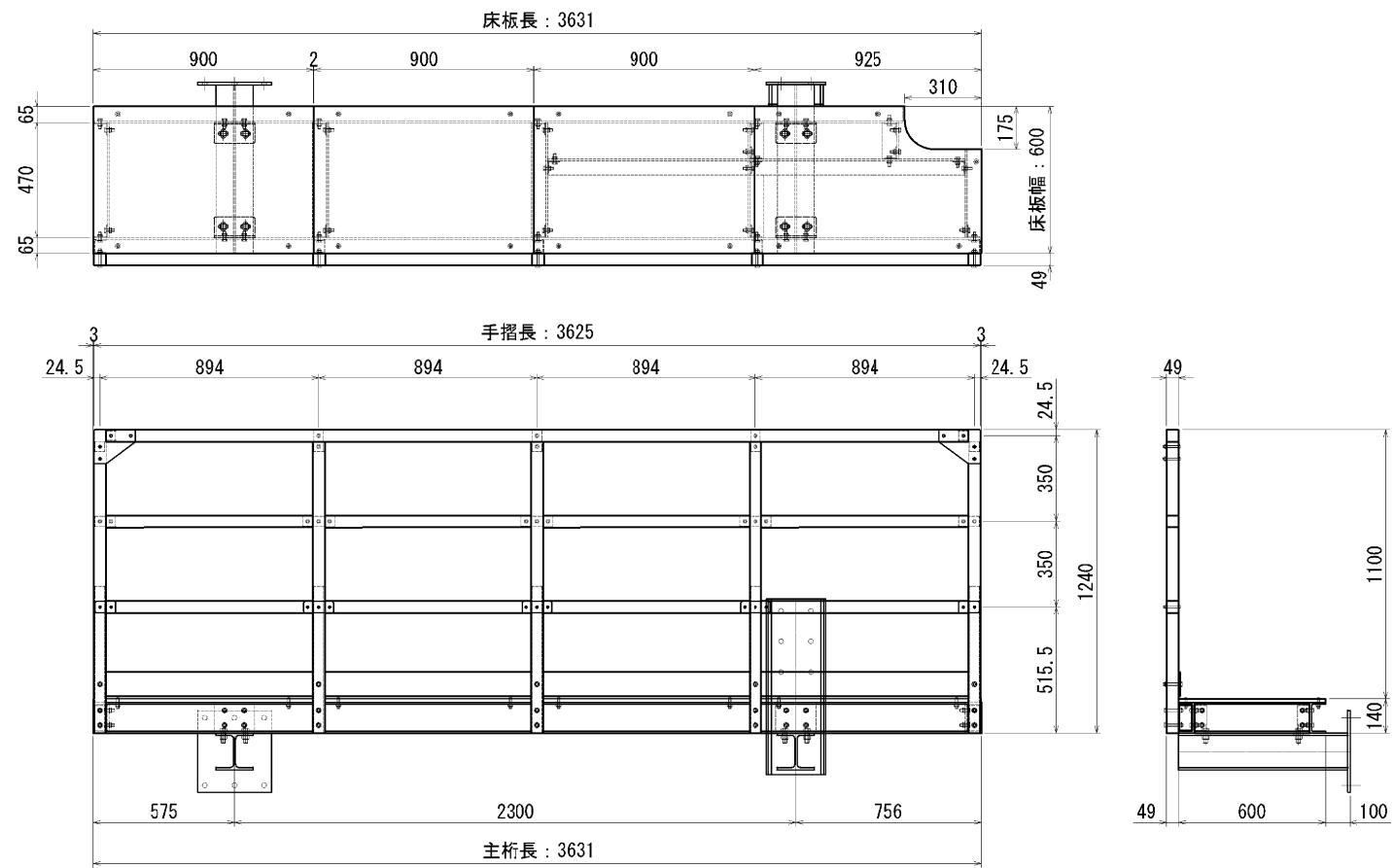
(1台当りの数量)

- | | |
|--------------------------------------|--|
| 1 - [125 x 65 x 7.5 x 3855 (FRP) 主桁 | 4 - PL6 x 125 x 85 x 163 (SUS304) 固定ブラケット |
| 1 - [125 x 65 x 7.5 x 3040 (FRP) 主桁 | 16 - 六角M10 x 35BT , Uナット , 2W (SUS304) |
| 1 - [125 x 65 x 7.5 x 2119 (FRP) 主桁 | 18 - L50 x 50 x 4 x 100 (SUS304) 取付ブラケット |
| 1 - [125 x 65 x 7.5 x 1386 (FRP) 主桁 | 5 - [49 x 57.5 x 4 x 100 (SUS304) 支柱ブラケット |
| 3 - [125 x 65 x 7.5 x 470 (FRP) 横桁 | 4 - PL2 x 139 x 169 (SUS304) 手摺補強PL |
| 2 - [125 x 65 x 7.5 x 312.5 (FRP) 横桁 | 4 - PL2 x 48 x 84.5 (SUS304) (端部) 連結PL |
| 3 - [125 x 65 x 7.5 x 150 (FRP) 横桁 | 6 - PL2 x 48 x 121 (SUS304) (中央部) 連結PL |
| 1 - FB100 x 6 x 3849 (FRP) 爪先板 | 8 - トラスM 8x65BT, Uナット (SUS304) 手摺補強PL取付用 |
| 2 - UB15t - 600 x 974.5 (FRP) 床板 | 17 - トラスM10x40BT, Uナット, W (SUS304) 床板取付用 |
| 2 - UB15t - 600 x 950 (FRP) 床板 | 13 - 六角M 6 x 65BT , Uナット , 2W (SUS304) 連結PL取付用 |
| 1 - □49 x 4 x 3751 (FRP) 手摺 | 70 - 六角M10 x 35BT , Uナット , 2W (SUS304) 支柱・取付ブラケット取付用 |
| 8 - □49 x 4 x 901 (FRP) 水平材 | 15 - 六角M10 x 70BT , Uナット , 2W (SUS304) 支柱, 爪先板取付用 |
| 5 - □49 x 4 x 1191 (FRP) 支柱 | 38 - ナイロンリベット (短) (PA) |
| 5 - □40 x 6 x 600 (FRP) 支柱下部補強 | |
| 5 - □40 x 6 x 85 (FRP) T字ジョイント | |
| 3 - □40 x 6 x 129 (FRP) 十字ジョイント | |
| 2 - □49用 (FRP) エンドコネクタ | |

注 記
1. 特記なき材質は、全てFRPとする。

常磐自動車道 久慈川橋耐震補強工事			
図面の種類	久慈川橋 AP1 FRP検査路 撤去工(その5)		
	縮 尺	図示	図面番号 6 / 208
設計会社名	株式会社 長大		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

AP1-4 数量 : 1



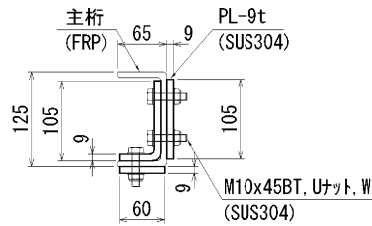
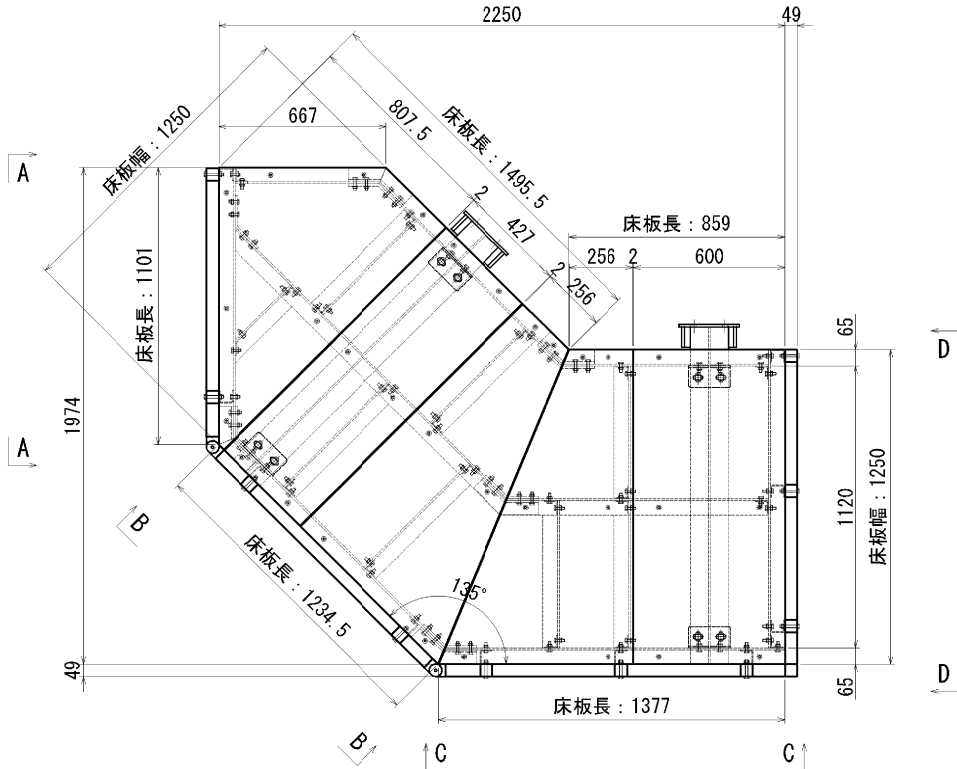
(1台当りの数量)

- | | |
|--------------------------------------|--|
| 1 - [125 x 65 x 7.5 x 3631 (FRP) 主桁 | 4 - PL6 x 125 x 85 x 163 (SUS304) 固定ブラケット |
| 1 - [125 x 65 x 7.5 x 3311 (FRP) 主桁 | 16 - 六角M10 x 35BT , Uナット , 2W (SUS304) |
| 1 - [125 x 65 x 7.5 x 1708 (FRP) 主桁 | 15 - L50 x 50 x 4 x 100 (SUS304) 取付ブラケット |
| 3 - [125 x 65 x 7.5 x 470 (FRP) 横桁 | 5 - [49 x 57.5 x 4 x 100 (SUS304) 支柱ブラケット |
| 1 - [125 x 65 x 7.5 x 360 (FRP) 横桁 | 4 - PL2 x 139 x 169 (SUS304) 手摺補強PL |
| 1 - [125 x 65 x 7.5 x 312.5 (FRP) 横桁 | 4 - PL2 x 48 x 84.5 (SUS304) (端部)連結PL |
| 2 - [125 x 65 x 7.5 x 150 (FRP) 横桁 | 6 - PL2 x 48 x 121 (SUS304) (中央部)連結PL |
| 1 - FB100 x 6 x 3625 (FRP) 爪先板 | 8 - トラスM 8x65BT, Uナット (SUS304) 手摺補強PL取付用 |
| 1 - UB15t - 600 x 925 (FRP) 床板 | 17 - トラスM10x40BT, Uナット, W (SUS304) 床板取付用 |
| 3 - UB15t - 600 x 900 (FRP) 床板 | 13 - 六角M 6 x 65BT , Uナット , 2W (SUS304) 連結PL取付用 |
| 1 - □49 x 4 x 3527 (FRP) 手摺 | 58 - 六角M10 x 35BT , Uナット , 2W (SUS304) 支柱・取付ブラケット取付用 |
| 8 - □49 x 4 x 845 (FRP) 水平材 | 15 - 六角M10 x 70BT , Uナット , 2W (SUS304) 支柱, 爪先板取付用 |
| 5 - □49 x 4 x 1191 (FRP) 支柱 | 38 - ナイロンリベット (短) (PA) |
| 5 - □40 x 6 x 600 (FRP) 支柱下部補強 | |
| 5 - □40 x 6 x 85 (FRP) T字ジョイント | |
| 3 - □40 x 6 x 129 (FRP) 十字ジョイント | |
| 2 - □49用 (FRP) エンドコネクタ | |

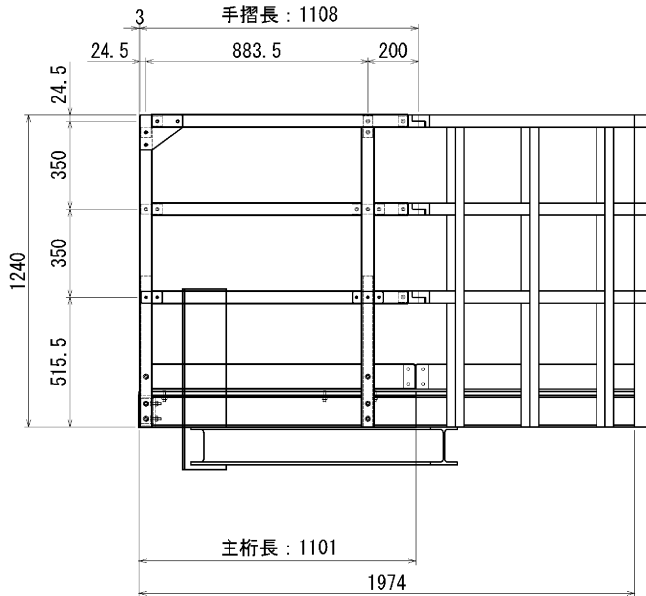
注 記
1. 特記なき材質は、全てFRPとする。

常磐自動車道 久慈川橋耐震補強工事			
図面の種類	久慈川橋 AP1 FRP検査路 撤去工(その6)		
	縮 尺	図示	図面番号 7 / 208
設計会社名	株式会社 長大		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

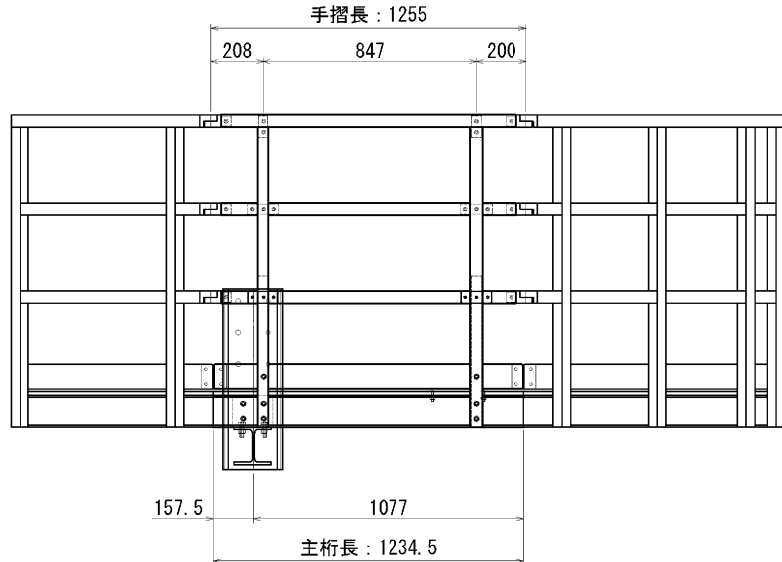
AP1-5 数量 : 1



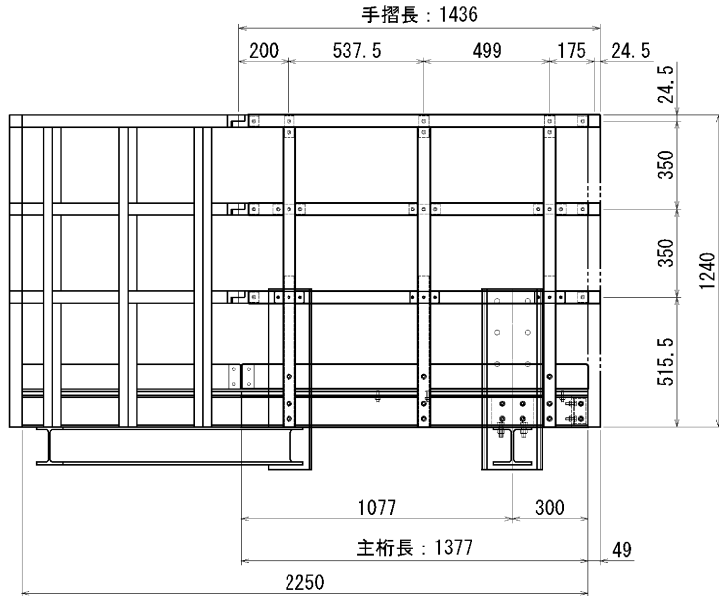
桁連結PL詳細
S=1/10



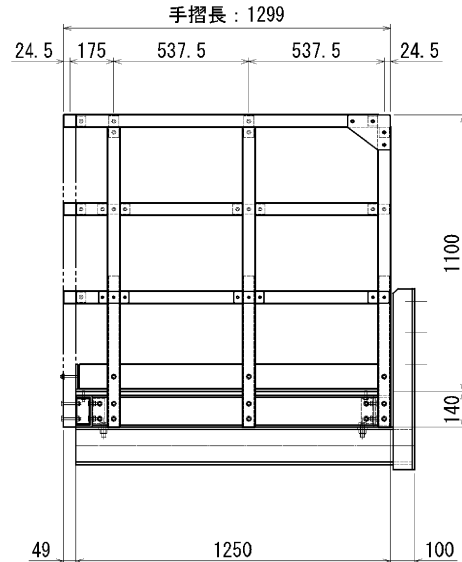
A - A



B - B



C - C



D - D

(1台当りの数量)

- 1 - [125 x 65 x 7.5 x 1555 (FRP) 主桁
- 1 - [125 x 65 x 7.5 x 1377 (FRP) 主桁
- 1 - [125 x 65 x 7.5 x 1234.5 (FRP) 主桁
- 1 - [125 x 65 x 7.5 x 1101 (FRP) 主桁
- 1 - [125 x 65 x 7.5 x 1066.5 (FRP) 主桁
- 1 - [125 x 65 x 7.5 x 1047.5 (FRP) 主桁
- 1 - [125 x 65 x 7.5 x 821 (FRP) 主桁
- 1 - [125 x 65 x 7.5 x 667 (FRP) 主桁
- 1 - [125 x 65 x 7.5 x 1185 (FRP) 横桁
- 4 - [125 x 65 x 7.5 x 585 (FRP) 横桁
- 3 - [125 x 65 x 7.5 x 527.5 (FRP) 横桁
- 1 - [125 x 65 x 7.5 x 375.5 (FRP) 横桁
- 1 - FB100 x 6 x 1375 (FRP) 爪先板
- 1 - FB100 x 6 x 1239 (FRP) 爪先板
- 1 - FB100 x 6 x 1230.5 (FRP) 爪先板
- 1 - FB100 x 6 x 1096 (FRP) 爪先板
- 1 - UB15t - 1250 x 807.5 (FRP) 床板
- 2 - UB15t - 1250 x 774 (FRP) 床板
- 1 - UB15t - 1250 x 600 (FRP) 床板
- 1 - UB15t - 1250 x 427 (FRP) 床板

- 1 - □49 x 4 x 1347 (FRP) 手摺
- 1 - □49 x 4 x 1201 (FRP) 手摺
- 1 - □49 x 4 x 1175 (FRP) 手摺
- 1 - □49 x 4 x 1019 (FRP) 手摺
- 2 - □49 x 4 x 834.5 (FRP) 水平材
- 2 - □49 x 4 x 798 (FRP) 水平材
- 6 - □49 x 4 x 488.5 (FRP) 水平材
- 2 - □49 x 4 x 450 (FRP) 水平材
- 2 - □49 x 4 x 143.5 (FRP) 水平材
- 6 - □49 x 4 x 135.5 (FRP) 水平材
- 4 - □49 x 4 x 126 (FRP) 水平材
- 10 - □49 x 4 x 1191 (FRP) 支柱
- 10 - □40 x 6 x 600 (FRP) 支柱下部補強
- 10 - □40 x 6 x 85 (FRP) T字ジョイント
- 8 - □40 x 6 x 129 (FRP) 十字ジョイント
- 5 - □49用 (FRP) エンドコネクタ
- 6 - □49用 (FRP) エンバーサルジョイント

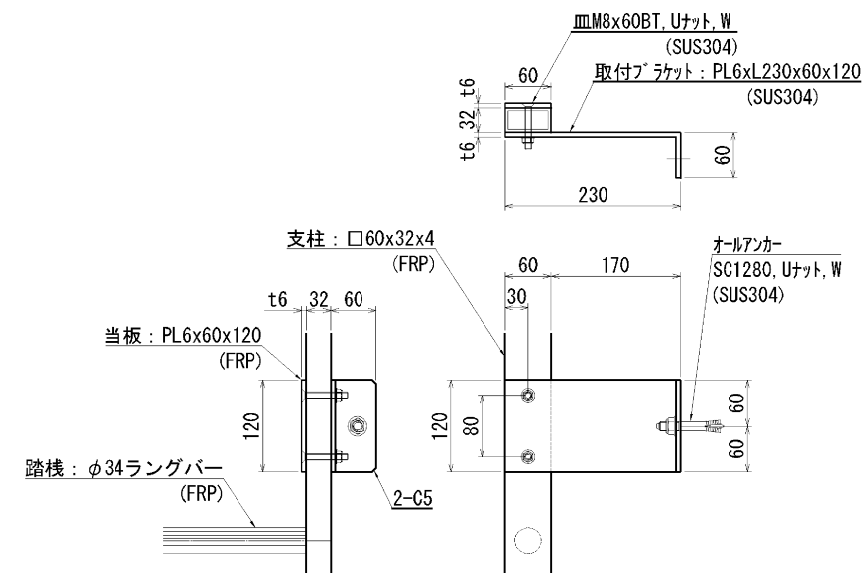
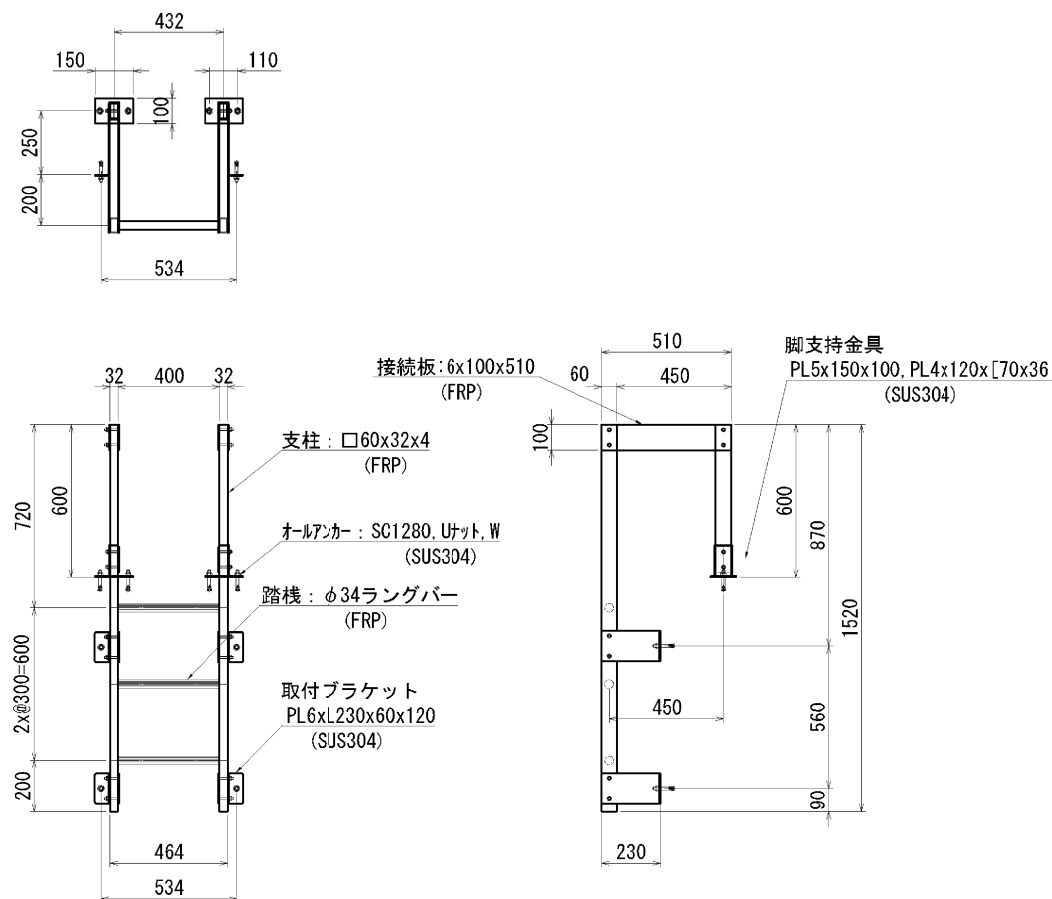
- 3 - PL6 x 125 x 85 x 163 (SUS304) 固定ブラケット
- 1 - PL9 x 125 x 85 x 337 (SUS304) 固定ブラケット
- 12 - 六角M10 x 35BT, Uナット, 2W (SUS304)
- 19 - L50 x 50 x 4 x 100 (SUS304) 取付ブラケット
- 1 - L50 x 65 x 4 x 100 (SUS304) 取付ブラケット
- 10 - [49 x 57.5 x 4 x 100 (SUS304) 支柱ブラケット
- 4 - PL2 x 139 x 169 (SUS304) 手摺補強PL
- 4 - PL2 x 48 x 84.5 (SUS304) (端部) 連結PL
- 16 - PL2 x 48 x 121 (SUS304) (中央部) 連結PL
- 1 - PL9 x L105 x 55 x 250 (SUS304) 桁連結PL
- 4 - PL9 x L105 x 55 x 302 (SUS304) 桁連結PL
- 3 - PL9 x 105 x 250 (SUS304) 桁連結PL
- 1 - PL9 x 105 x 302 (SUS304) 桁連結PL
- 1 - PL9 x 60 x 217 (SUS304) 桁連結PL
- 1 - PL9 x 60 x 250 (SUS304) 桁連結PL
- 3 - PL9 x 60 x 302 (SUS304) 桁連結PL
- 2 - PL3 x 100 x 100 (SUS304) 爪先板PL

- 8 - トラスM 8x65BT, Uナット (SUS304) 手摺補強PL取付用
- 31 - トラスM10x40BT, Uナット, W (SUS304) 床板取付用
- 28 - 六角M 6 x 65BT, Uナット, 2W (SUS304) 連結PL取付用
- 8 - 六角M10 x 25BT, Uナット, 2W (SUS304) 爪先板PL取付用
- 100 - 六角M10 x 35BT, Uナット, 2W (SUS304) 支柱・取付ブラケット取付用
- 61 - 六角M10 x 45BT, Uナット, 2W (SUS304) 支柱・取付ブラケット取付用
- 30 - 六角M10 x 70BT, Uナット, 2W (SUS304) 支柱, 爪先板取付用
- 88 - ナイロンリベット (短) (PA)
- 36 - ナイロンリベット (長) (PA)

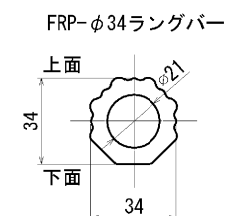
注 記
1. 特記なき材質は、全てFRPとする。

常磐自動車道 久慈川橋耐震補強工事			
図面の種類	久慈川橋 AP1 FRP検査路 撤去工(その7)		
	縮 尺	図示	図面番号 8 / 208
設計会社名	株式会社 長大		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

梯子 数量: 4



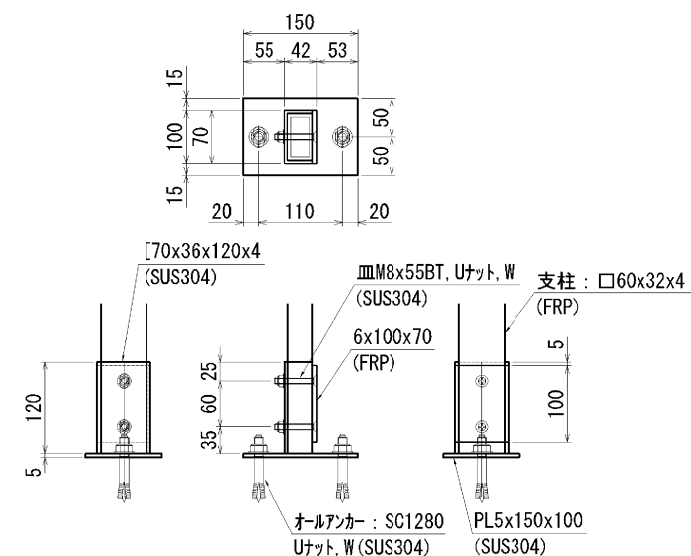
梯子取付ブラケット部詳細 S=1/10



踏棧断面詳細 S=1/3

(1台当りの数量)

- 2 - □60 x 32 x 4 x 1520 (FRP) 支柱
- 1 - □60 x 32 x 4 x 595 (FRP) 支柱
- 3 - RB34-d21 x 456 (FRP) 踏棧
- 4 - FB6 x 60 x 120 (FRP) 取付ブラケット用当板
- 4 - PL4 x 24 x 52 (FRP) 支柱上小口塞ぎ板
- 6 - RB8 x 60 (FRP) 踏棧固定ピン
- 4 - 6 x 100 x 510 (FRP) 接続板
- 2 - 6 x 100 x 70 (FRP) 支柱脚固定ブラケット用当板
- 4 - PL6 x L230 x 60 x 120 (SUS304) 取付ブラケット
- 2 - PL4 x 120 x [70 x 36 (SUS304) 支柱脚固定ブラケット
- 2 - PL5 x 150 x 100 (SUS304) 支柱脚固定ブラケット
- 8 - SC1280, Uナット, W (SUS304) オールアンカー
- 16 - 皿M8 x 60BT, Uナット, W (SUS304) 取付ブラケット取付用
- 4 - 皿M8 x 55BT, Uナット, W (SUS304) 支柱脚固定ブラケット取付用



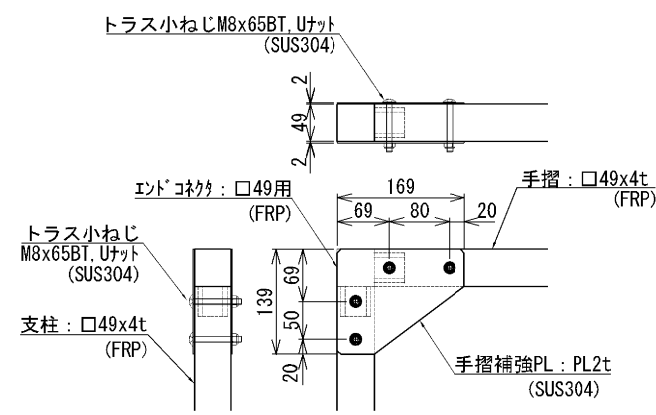
支柱脚固定詳細

S=1/10

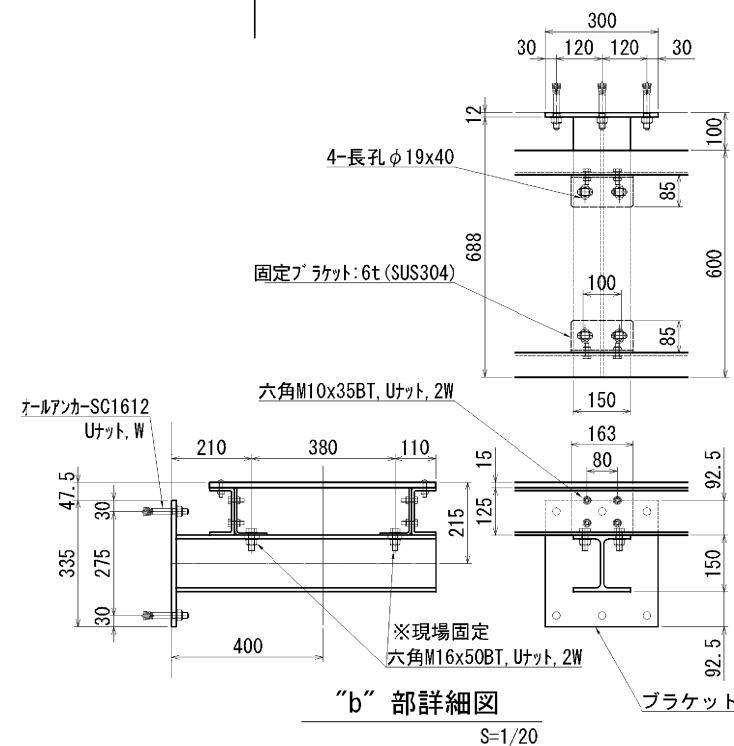
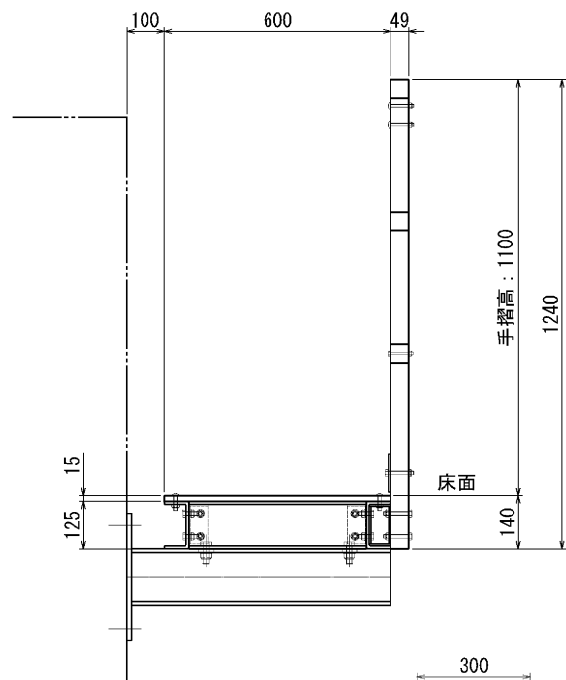
注 記
1. 特記なき材質は、全てFRPとする。

常磐自動車道 久慈川橋耐震補強工事			
図面の種類	久慈川橋 AP1 FRP検査路 撤去工(その8)		
縮 尺	図示	図面番号	9/208
設計会社名	株式会社 長大		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

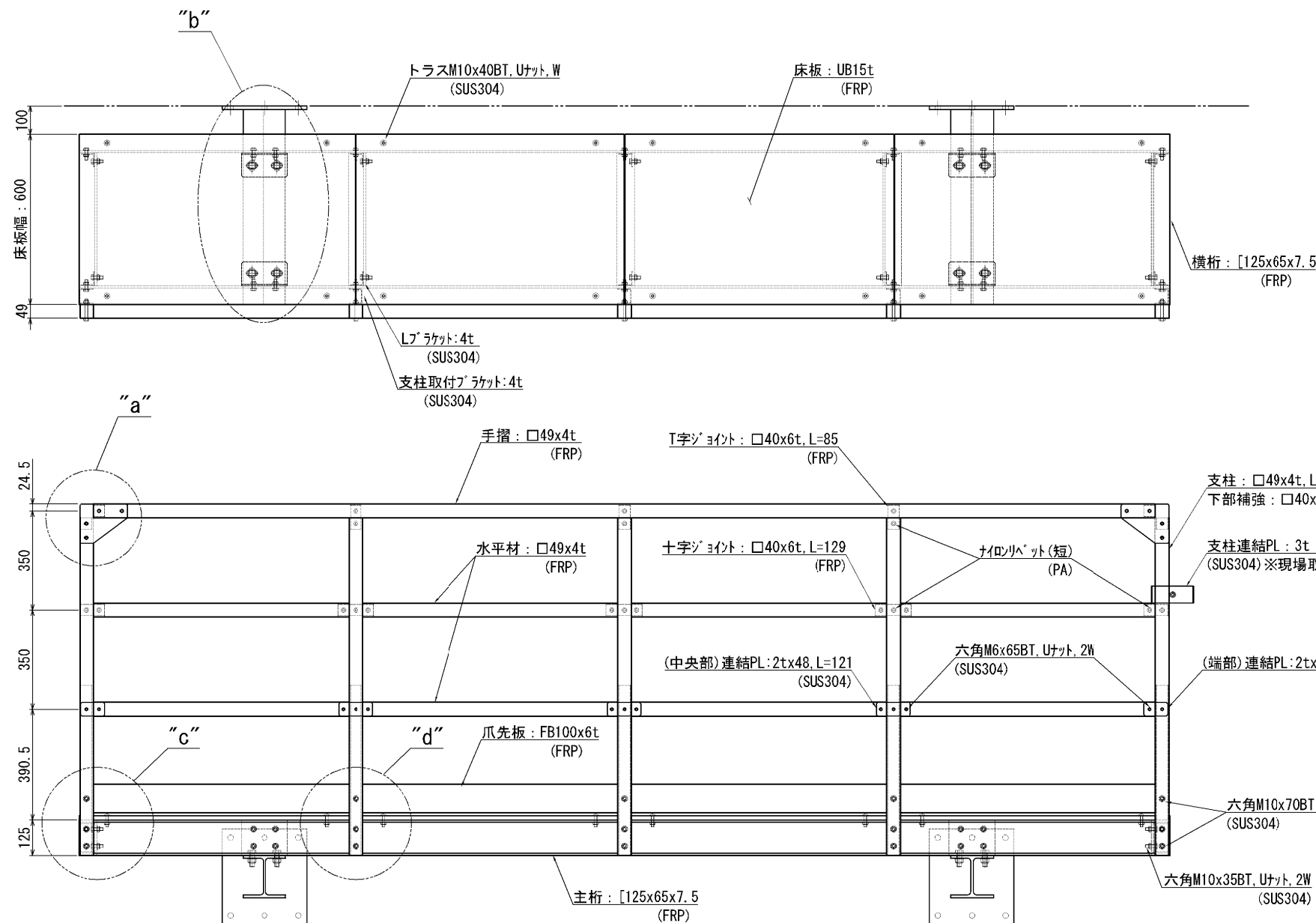
久慈川橋 AP1 FRP検査路 撤去工(その9) S=1:20



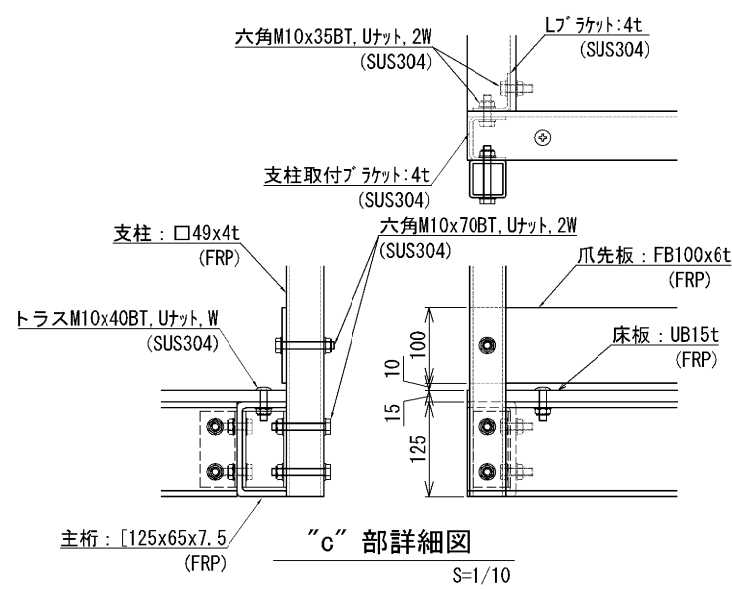
“a” 部詳細図
S=1/10



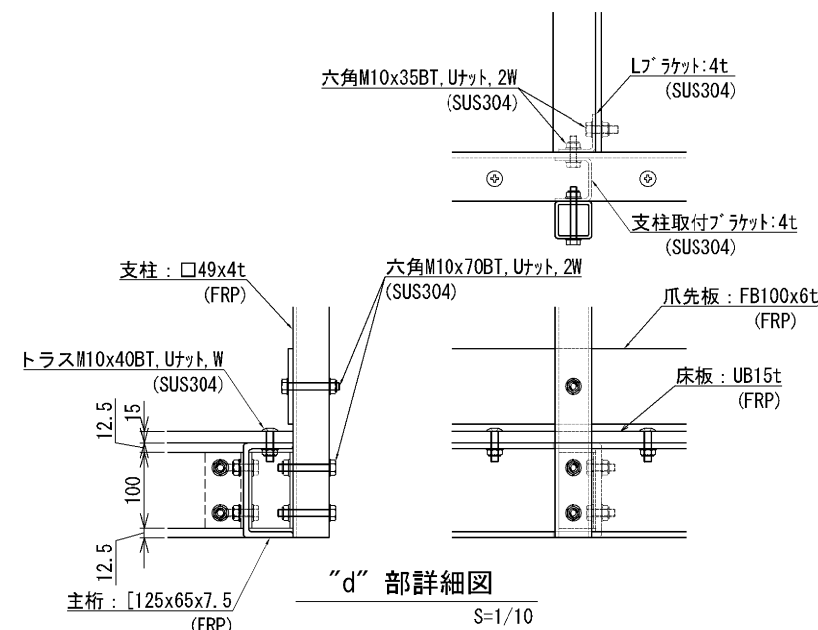
“b” 部詳細図
S=1/20



検査路標準組立図
S=1/20



“c” 部詳細図
S=1/10

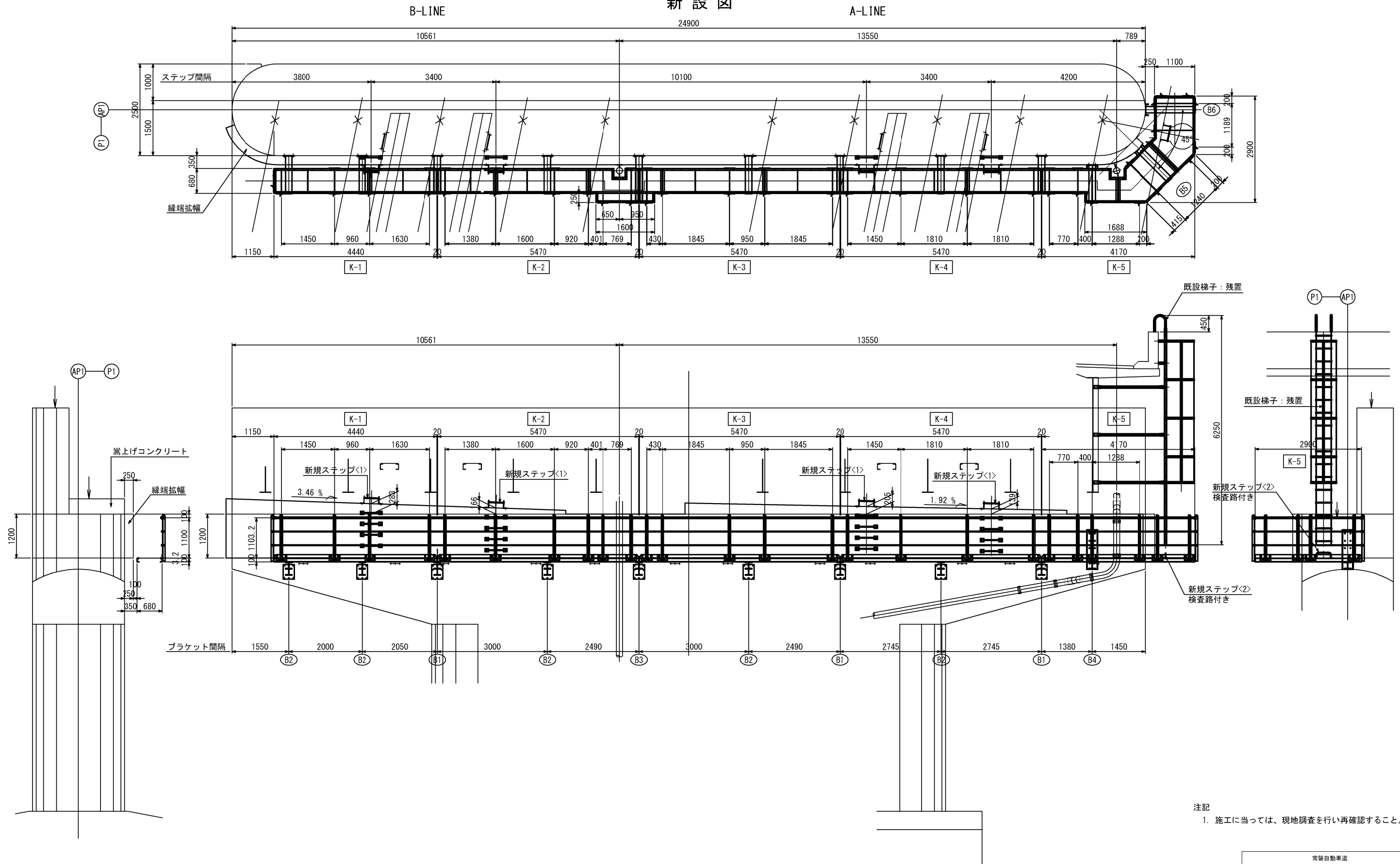


“d” 部詳細図
S=1/10

注 記
1. 特記なき材質は、全てFRPとする。

常磐自動車道 久慈川橋耐震補強工事			
図面の種類	久慈川橋 AP1 FRP検査路 撤去工(その9)		
縮 尺	図示	図面番号	10 / 208
設計会社名	株式会社 長大		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

新設図

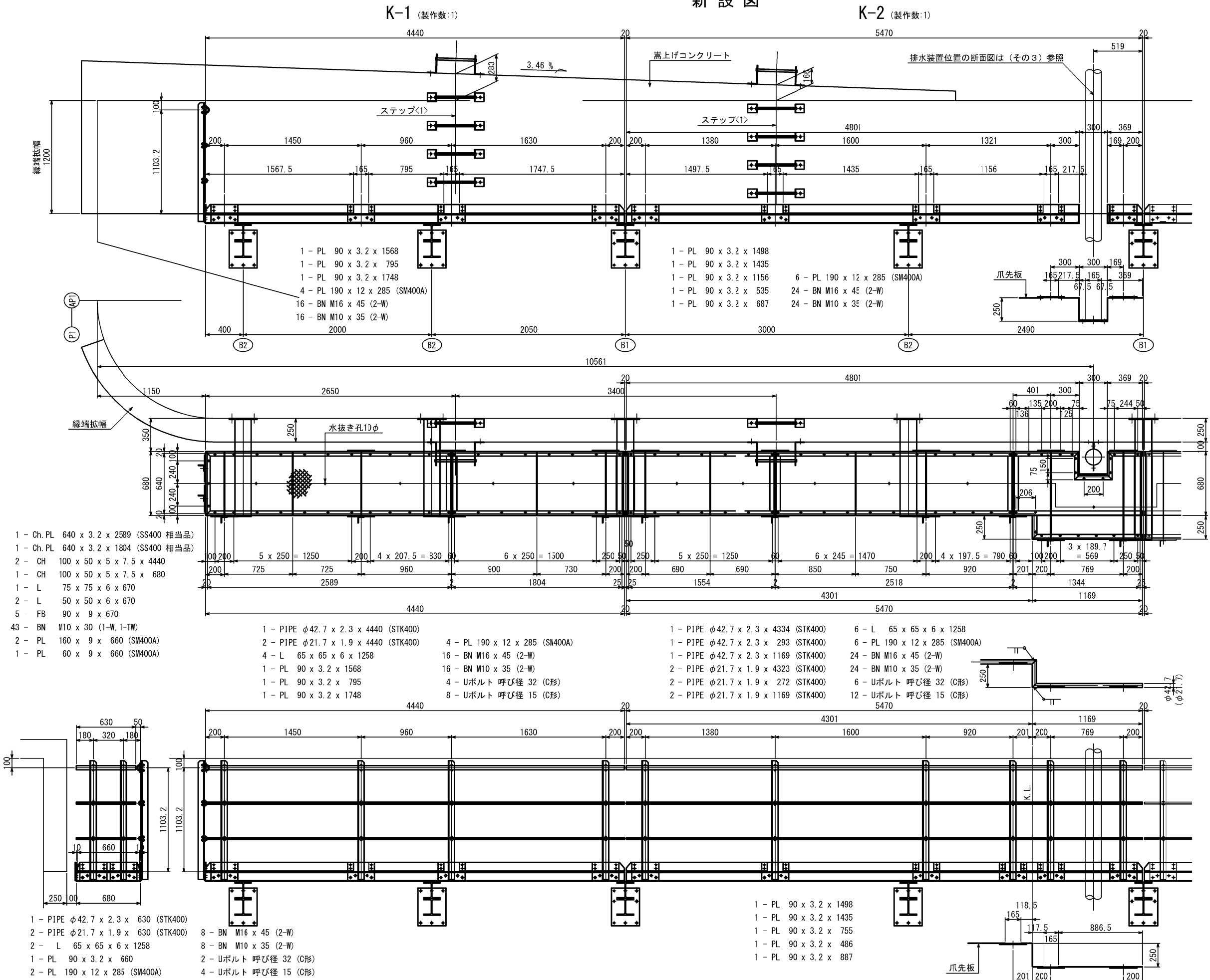


注記

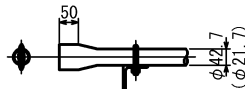
1. 施工に当っては、現地調査を行い再確認すること。

常磐自動車道 久慈川耐震補強工事			
図面の種類		久慈川橋 AP1 検査路 新設工（その１）	
縮 尺	図示	図面番号	11／208
設計会社名	株式会社 長 大		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

新設図



手摺り端部処理



※ 手摺パイプの抜落ち防止のため、パイプ端部が
Uボルトより大きくなるように加工のこと。

爪先板の曲げ加工



- 1 - Ch. PL 640 x 3.2 x 1554 (SS400 相当品)
- 1 - Ch. PL 640 x 3.2 x 2518 (SS400 相当品)
- 1 - Ch. PL 890 x 3.2 x 1344 (SS400 相当品)
- 1 - CH 100 x 50 x 5 x 7.5 x 4801
- 2 - CH 100 x 50 x 5 x 7.5 x 300
- 1 - CH 100 x 50 x 5 x 7.5 x 400
- 1 - CH 100 x 50 x 5 x 7.5 x 369
- 1 - CH 100 x 50 x 5 x 7.5 x 5470
- 1 - CH 100 x 50 x 5 x 7.5 x 250
- 1 - CH 100 x 50 x 5 x 7.5 x 1169
- 2 - L 75 x 75 x 6 x 670
- 1 - L 75 x 75 x 6 x 245
- 4 - L 50 x 50 x 6 x 670
- 6 - FB 90 x 9 x 670
- 2 - FB 90 x 9 x 245
- 60 - BN M10 x 30 (1-W, 1-TW)
- 1 - PL 60 x 9 x 660 (SM400A)
- 1 - PL 160 x 9 x 660 (SM400A)
- 1 - PL 60 x 9 x 910 (SM400A)

- 注記
1. 施工に当たっては、現地調査を行い再確認すること。
特に鋼板の製作は、再計測後実施すること。
 2. 特記なき材質は、全てSS400とする。
 3. Uボルト付き(C形)以外のナットは、全て弛み止め
ナットを使用すること。
 4. 部材は、全て溶融亜鉛めっきとする。
亜鉛の付着量は、JIS H8641 HDZT77とする。
但し、ボルト・ナット及び厚さ3.2mm未満の部材は、
HDZT49とする。

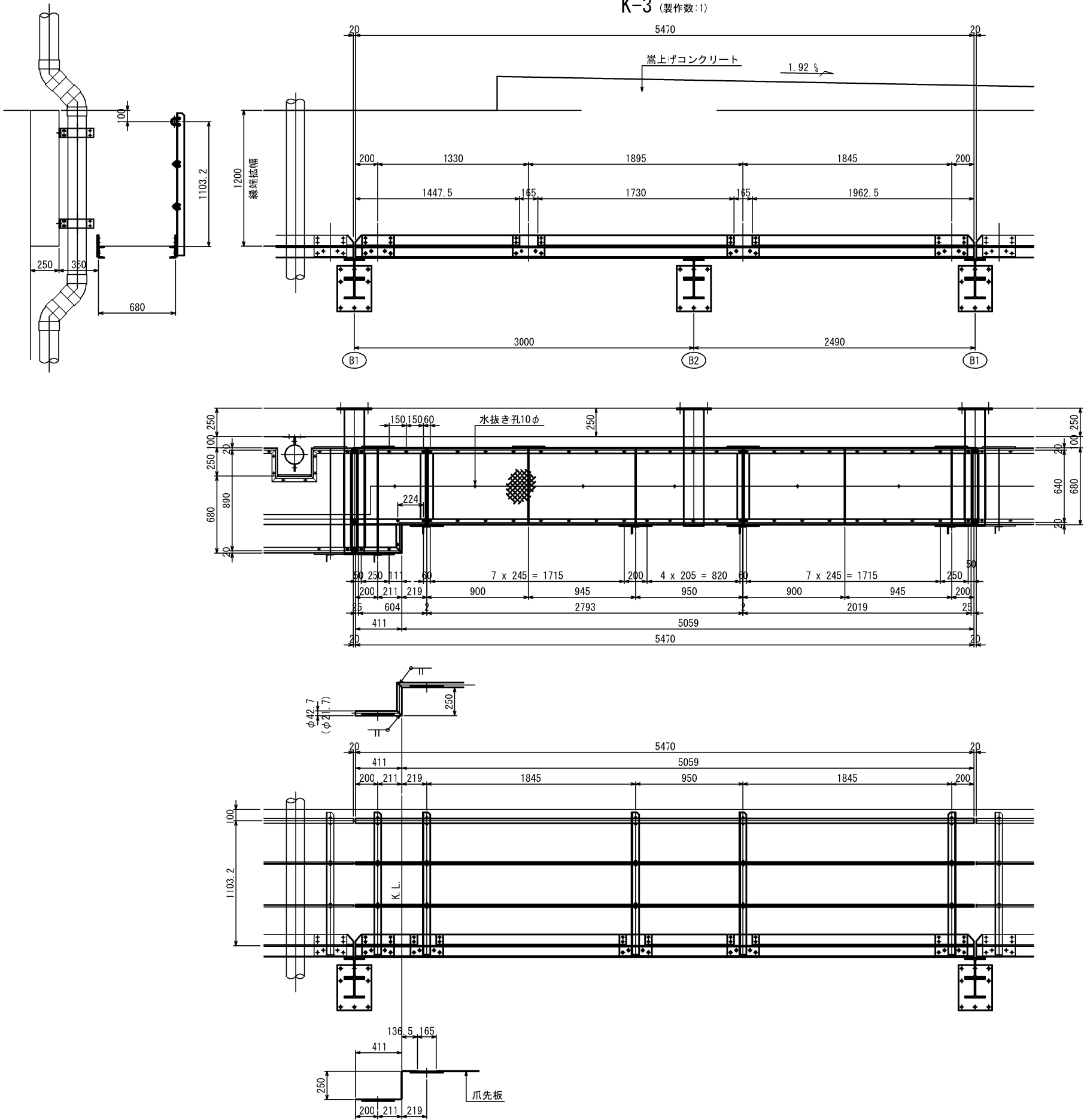
常磐自動車道 久慈川橋耐震補強工事			
図面の種類	久慈川橋		
	AP1 検査路 新設工（その2）		
縮 尺	図示	図面番号	12 / 208
設計会社名	株式会社 長 大		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

久慈川橋 AP1 検査路 新設工（その3）
新設図

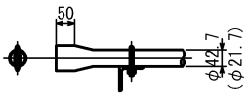
S=1:40

13/208

K-3 (製作数:1)



手摺り端部処理



※ 手摺パイプの抜落ち防止のため、パイプ端部が
Uボルトより大きくなるように加工のこと。

爪先板の曲げ加工



- 1 - PL 90 x 3.2 x 1448
- 1 - PL 90 x 3.2 x 1730
- 1 - PL 90 x 3.2 x 1963
- 4 - PL 190 x 12 x 285 (SM400A)
- 16 - BN M16 x 45 (2-W)
- 16 - BN M10 x 35 (2-W)

- 1 - Ch. PL 890 x 3.2 x 604 (SS400 相当品)
- 1 - Ch. PL 640 x 3.2 x 2793 (SS400 相当品)
- 1 - Ch. PL 640 x 3.2 x 2019 (SS400 相当品)
- 2 - CH 100 x 50 x 5 x 7.5 x 5470
- 1 - CH 100 x 50 x 5 x 7.5 x 411
- 1 - CH 100 x 50 x 5 x 7.5 x 250
- 2 - L 75 x 75 x 6 x 670
- 1 - L 75 x 75 x 6 x 245
- 4 - L 50 x 50 x 6 x 670
- 5 - FB 90 x 9 x 670
- 1 - FB 90 x 9 x 245
- 53 - BN M10 x 30 (1-W,1-TW)
- 1 - PL 160 x 9 x 910 (SM400A)
- 1 - PL 160 x 9 x 660 (SM400A)
- 1 - PL 60 x 9 x 660 (SM400A)

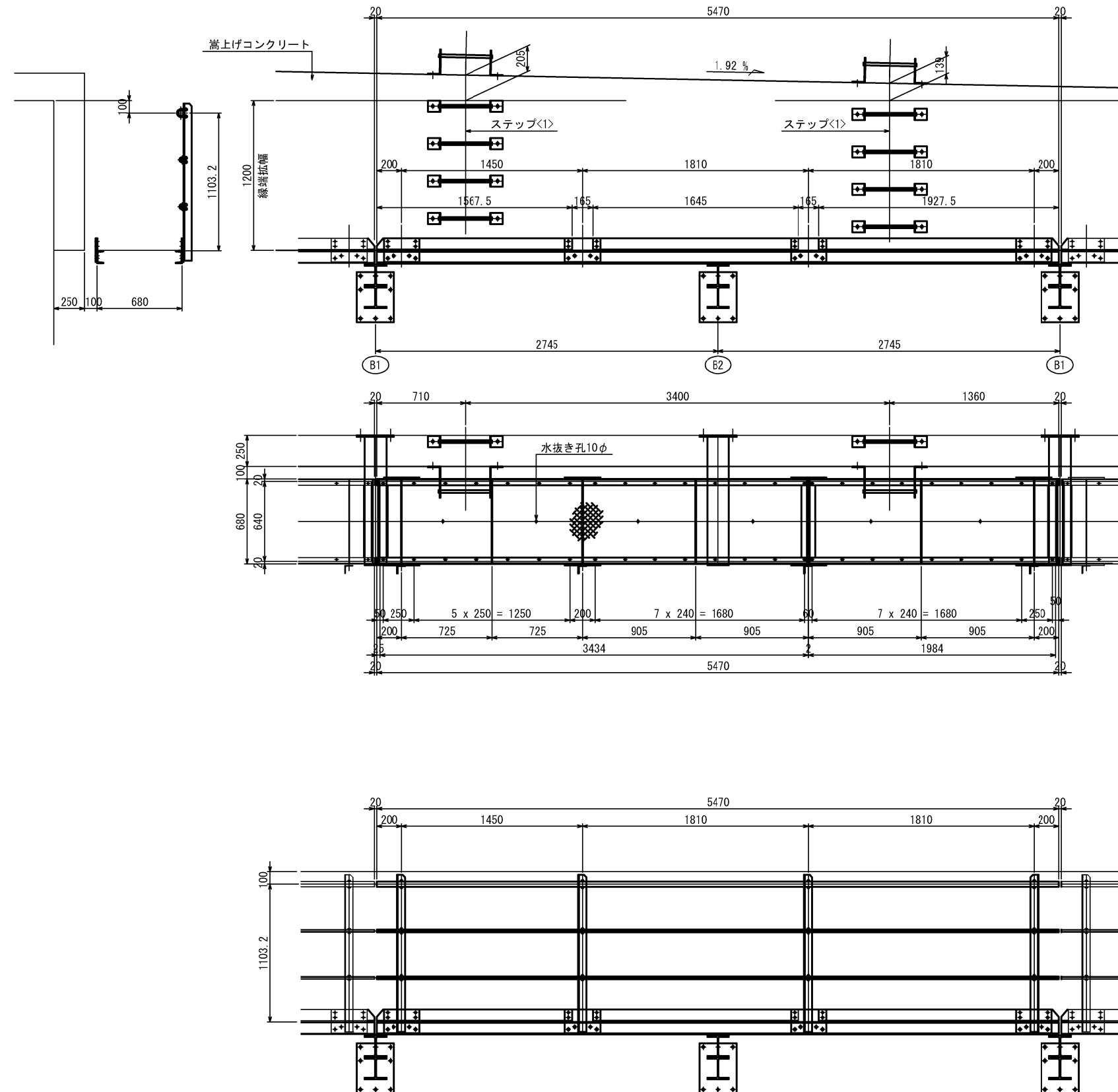
- 1 - PIPE $\phi 42.7$ x 2.3 x 411 (STK400)
- 1 - PIPE $\phi 42.7$ x 2.3 x 293 (STK400)
- 1 - PIPE $\phi 42.7$ x 2.3 x 5102 (STK400)
- 2 - PIPE $\phi 21.7$ x 1.9 x 411 (STK400)
- 2 - PIPE $\phi 21.7$ x 1.9 x 272 (STK400)
- 2 - PIPE $\phi 21.7$ x 1.9 x 5081 (STK400)
- 5 - L 65 x 65 x 6 x 1258
- 1 - PL 90 x 3.2 x 798
- 1 - PL 90 x 3.2 x 1680
- 1 - PL 90 x 3.2 x 785
- 1 - PL 90 x 3.2 x 1963
- 5 - PL 190 x 12 x 285 (SM400A)
- 20 - BN M16 x 45 (2-W)
- 20 - BN M10 x 35 (2-W)
- 5 - Uボルト 呼び径 32 (C形)
- 10 - Uボルト 呼び径 15 (C形)

- 注記
- 施工に当っては、現地調査を行い再確認すること。
特に鋼板の製作は、再計測後実施すること。
 - 特記なき材質は、全てSS400とする。
 - Uボルト付き(C形)以外のナットは、全て弛み止め
ナットを使用すること。
 - 部材は、全て溶融亜鉛めっきとする。
亜鉛の付着量は、JIS H864 HDZT77とする。
但し、ボルト・ナット及び厚さ3.2mm未満の部材は、
HDZT49とする。

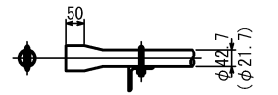
常磐自動車道 久慈川橋耐震補強工事			
図面の種類	久慈川橋 AP1 検査路 新設工（その3）		
	縮 尺	図示	図面番号 13/208
設計会社名	株式会社 長 大		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

新設 図

K-4 (製作数:1)

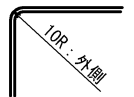


手摺り端部処理



※ 手摺パイプの抜落ち防止のため、パイプ端部が
Uボルトより大きくなるように加工のこと。

爪先板の曲げ加工



- 1 - PL 90 x 3.2 x 1568
1 - PL 90 x 3.2 x 1645
1 - PL 90 x 3.2 x 1928
4 - PL 190 x 12 x 285 (SM400A)
16 - BN M16 x 45 (2-W)
16 - BN M10 x 35 (2-W)

- | | | |
|------------|----------------------|-------------|
| 1 - Ch. PL | 640 x 3 2 x 3434 | (SS400 相当品) |
| 1 - Ch. PL | 640 x 3 2 x 1984 | (SS400 相当品) |
| 2 - CH | 100 x 50 x 5 x 7.5 | 5470 |
| 2 - L | 75 x 75 x 6 x 670 | |
| 2 - L | 50 x 50 x 6 x 670 | |
| 6 - FB | 90 x 9 x 670 | |
| 48 - BN | M10 x 30 (1-W, 1-TW) | |
| 2 - PL | 60 x 9 x 660 | (SM400A) |
| 1 - PL | 160 x 9 x 660 | (SM400A) |

- 1 - PIPE $\phi 42.7 \times 2.3 \times 5470$ (STK400)
 2 - PIPE $\phi 21.7 \times 1.9 \times 5470$ (STK400)
 4 - L $65 \times 65 \times 6 \times 1258$
 1 - PL $90 \times 3.2 \times 1568$
 1 - PL $90 \times 3.2 \times 1645$
 1 - PL $90 \times 3.2 \times 1928$
 4 - PL $190 \times 12 \times 285$ (SM400A)
 16 - BN $M16 \times 45$ (Z-W)
 16 - BN $M10 \times 35$ (Z-W)
 4 - Uボルト 呼び径 32 (C形)
 8 - Uボルト 呼び径 15 (C形)

注記

1. 施工に当たっては、現地調査を行い再確認すること。
特に鋼板の製作は、再計測後実施すること。
2. 特記なき材質は、全てSS400とする。
3. Uボルト付き(C形)以外のナットは、全て弛み止めナットを使用すること。
4. 部材は、全て溶融亜鉛めっきとする。
垂鉛の付着量は、JIS H864: HDZ177とする。
但し、ボルト・ナット及び厚さ3.2mm未満の部材は、HDZ149とする。

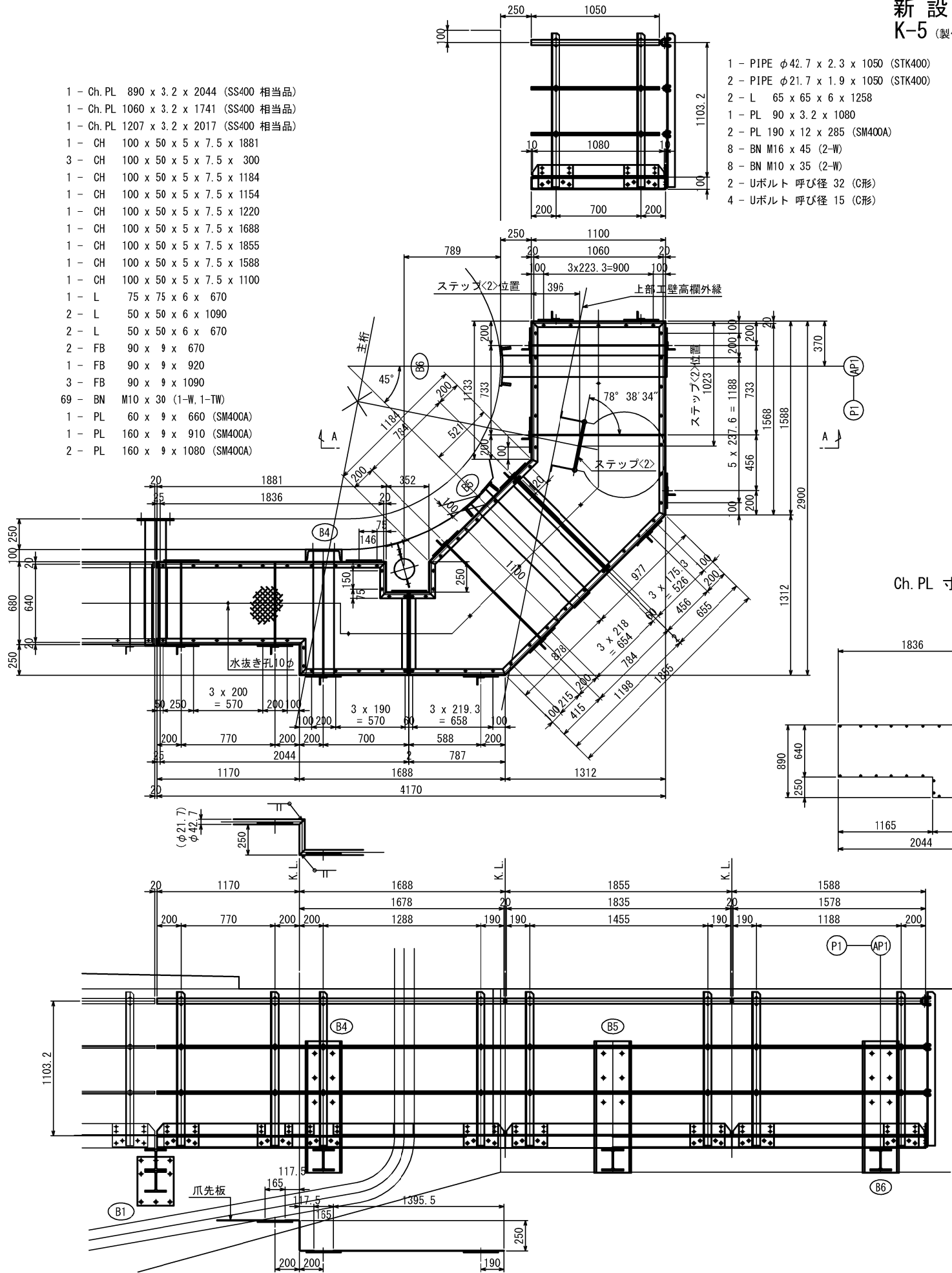
常盤自動車道 久慈川橋耐震補強工事			
図面の種類		久慈川橋 AP1 検査路 新設工（その４）	
縮 尺	図示	図面番号	14/208
設計会社名	株式会社 長 大		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

新設図
K-5（製作数：1）

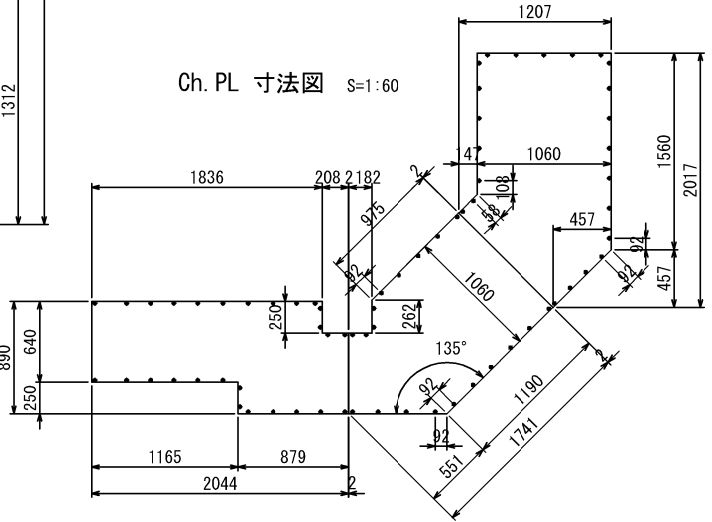
- 1 - Ch. PL 890 x 3.2 x 2044 (SS400 相当品)
- 1 - Ch. PL 1060 x 3.2 x 1741 (SS400 相当品)
- 1 - Ch. PL 1207 x 3.2 x 2017 (SS400 相当品)
- 1 - CH 100 x 50 x 5 x 7.5 x 1881
- 3 - CH 100 x 50 x 5 x 7.5 x 300
- 1 - CH 100 x 50 x 5 x 7.5 x 1184
- 1 - CH 100 x 50 x 5 x 7.5 x 1154
- 1 - CH 100 x 50 x 5 x 7.5 x 1220
- 1 - CH 100 x 50 x 5 x 7.5 x 1688
- 1 - CH 100 x 50 x 5 x 7.5 x 1855
- 1 - CH 100 x 50 x 5 x 7.5 x 1588
- 1 - CH 100 x 50 x 5 x 7.5 x 1100
- 1 - L 75 x 75 x 6 x 670
- 2 - L 50 x 50 x 6 x 1090
- 2 - L 50 x 50 x 6 x 670
- 2 - FB 90 x 9 x 670
- 1 - FB 90 x 9 x 920
- 3 - FB 90 x 9 x 1090
- 69 - BN M10 x 30 (1-W, 1-TW)
- 1 - PL 60 x 9 x 660 (SM400A)
- 1 - PL 160 x 9 x 910 (SM400A)
- 2 - PL 160 x 9 x 1080 (SM400A)

- 1 - PIPE $\phi 42.7 \times 2.3 \times 1050$ (STK400)
- 2 - PIPE $\phi 21.7 \times 1.9 \times 1050$ (STK400)
- 2 - L 65 x 65 x 6 x 1258
- 1 - PL 90 x 3.2 x 1080
- 2 - PL 190 x 12 x 285 (SM400A)
- 8 - BN M16 x 45 (2-W)
- 8 - BN M10 x 35 (2-W)
- 2 - Uボルト 呼び径 32 (C形)
- 4 - Uボルト 呼び径 15 (C形)

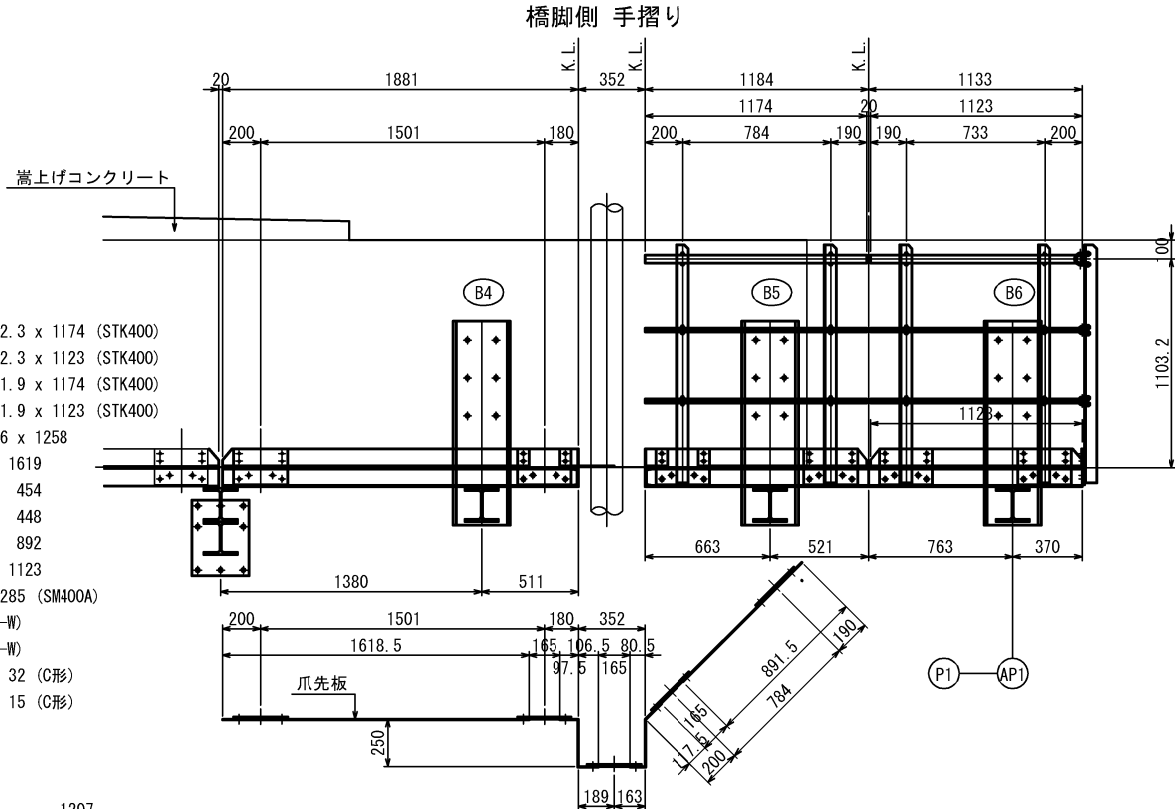
- 1 - PIPE $\phi 42.7 \times 2.3 \times 1174$ (STK400)
- 1 - PIPE $\phi 42.7 \times 2.3 \times 1123$ (STK400)
- 2 - PIPE $\phi 21.7 \times 1.9 \times 1174$ (STK400)
- 2 - PIPE $\phi 21.7 \times 1.9 \times 1123$ (STK400)
- 4 - L 65 x 65 x 6 x 1258
- 1 - PL 90 x 3.2 x 1619
- 1 - PL 90 x 3.2 x 454
- 1 - PL 90 x 3.2 x 448
- 1 - PL 90 x 3.2 x 892
- 1 - PL 90 x 3.2 x 1123
- 7 - PL 190 x 12 x 285 (SM400A)
- 28 - BN M16 x 45 (2-W)
- 28 - BN M10 x 35 (2-W)
- 4 - Uボルト 呼び径 32 (C形)
- 8 - Uボルト 呼び径 15 (C形)



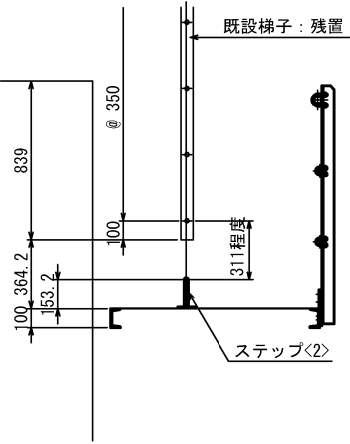
Ch. PL 寸法図 S=1:60



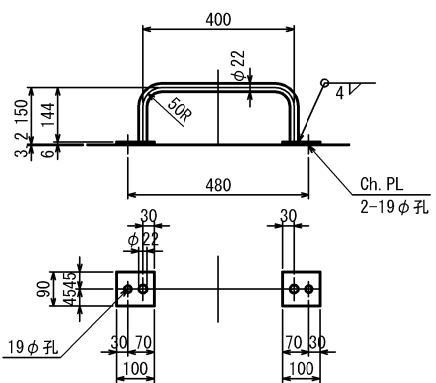
橋脚側 手摺り



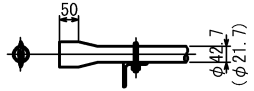
A - A



ステップ〈2〉 S=1:20

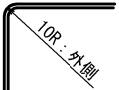


手摺り端部処理



※ 手摺パイプの抜落ち防止のため、パイプ端部が
Uボルトより大きくなるように加工のこと。

爪先板の曲げ加工



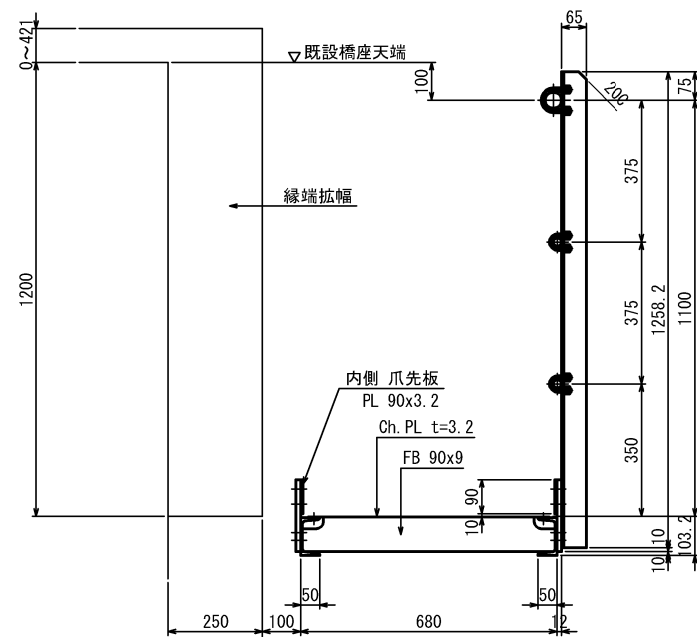
注記

- 1. 施工に当たっては、現地調査を行い再確認すること。
特に鋼板の製作は、再計測後実施すること。
- 2. 特記なき材質は、全てSS400とする。
- 3. Uボルト付き(C形)以外のナットは、全て弛み止め
ナットを使用すること。
- 4. 部材は、全て溶融亜鉛めっきとする。
亜鉛の付着量は、JIS H8641 HDZT77とする。
但し、ボルト・ナット及び厚さ3.2mm未満の部材は、
HDZT49とする。

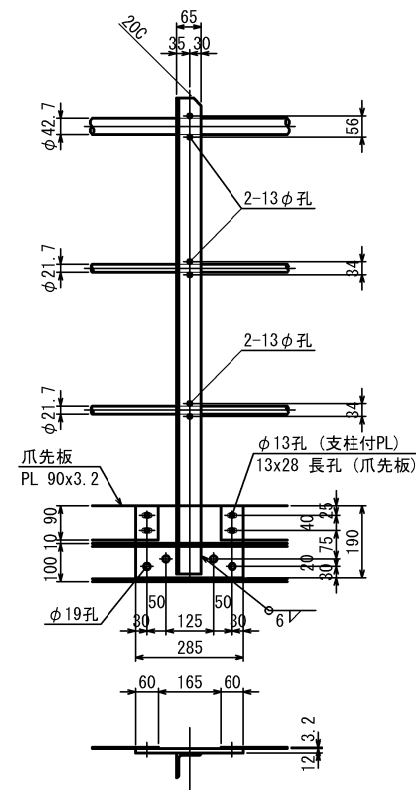
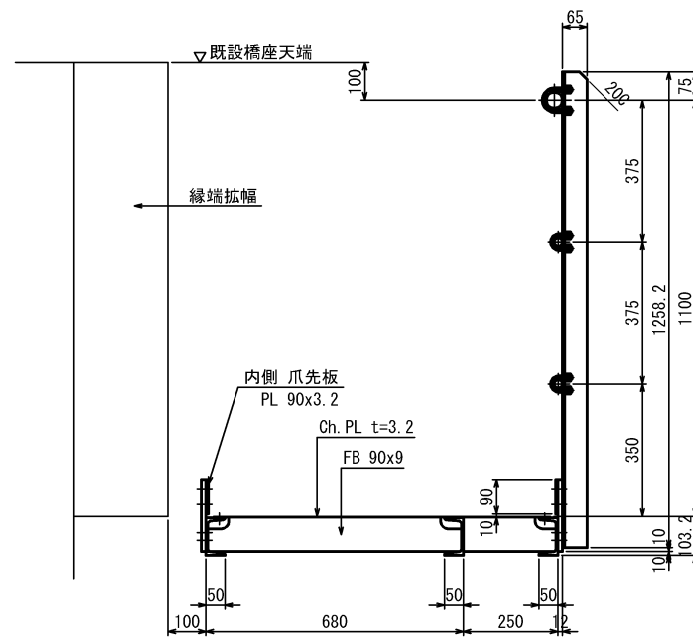
常磐自動車道 久慈川橋耐震補強工事			
図面の種類	久慈川橋 AP1 検査路 新設工（その5）		
	縮 尺	図示	図面番号 15/208
設計会社名	株式会社 長 大		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

新設図
歩廊断面および構造詳細

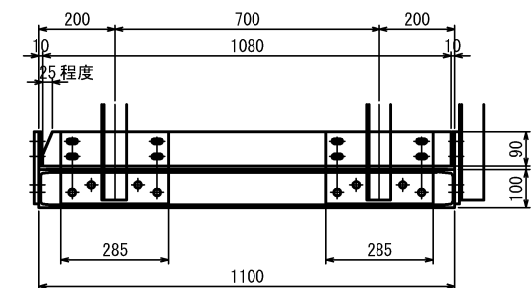
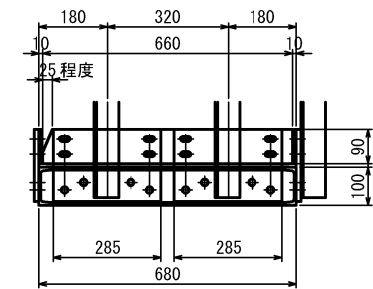
標準部



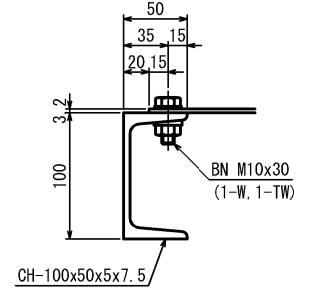
拡幅部



爪先板端部

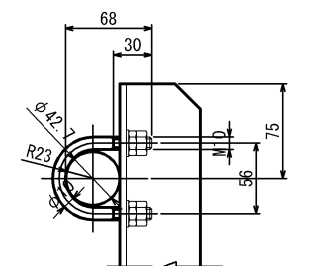


Ch. PLセットボルト S=1:6

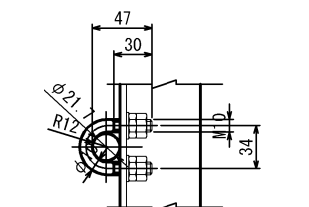


Uボルト S=1:6

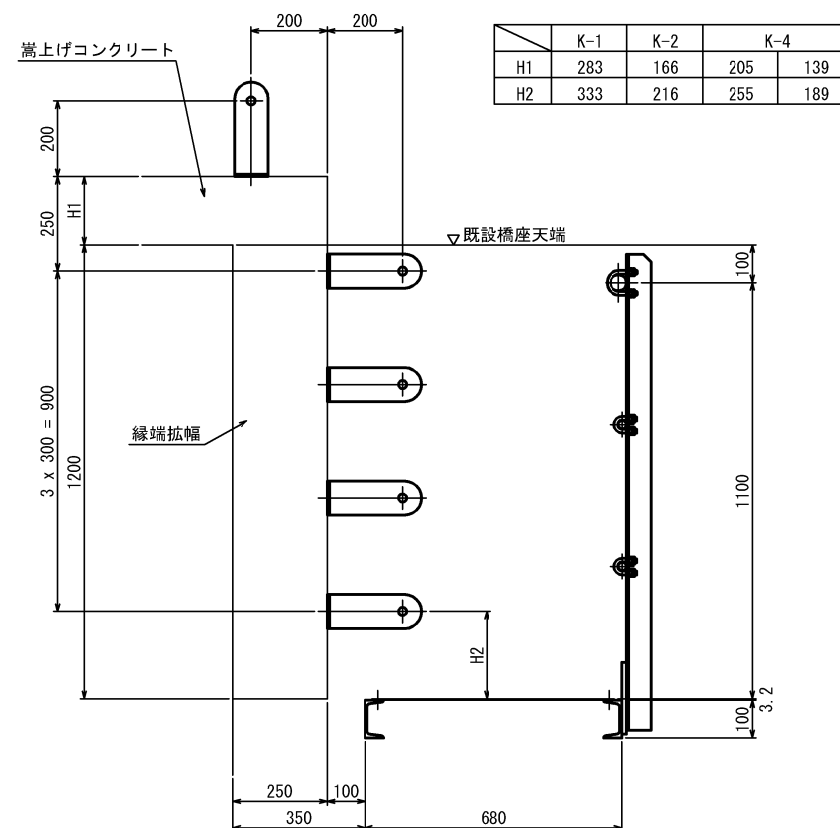
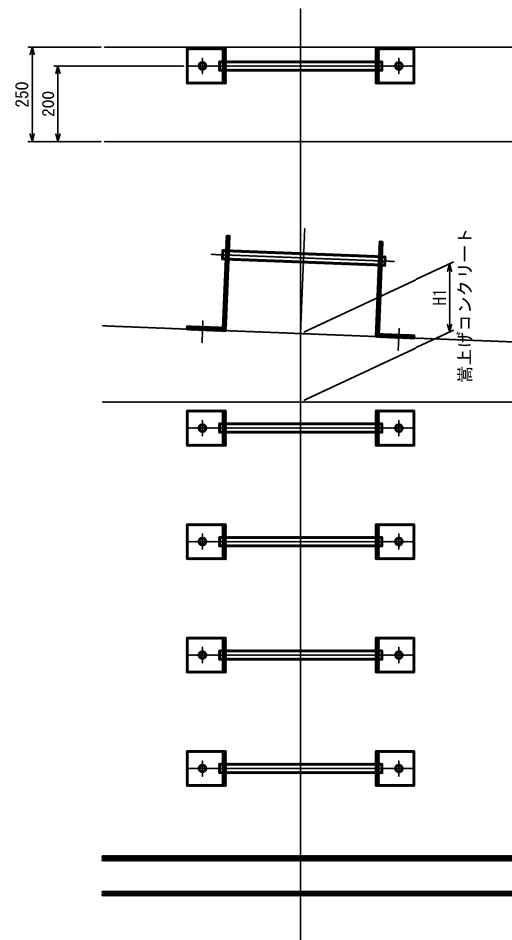
32 (C形)



15 (C形)

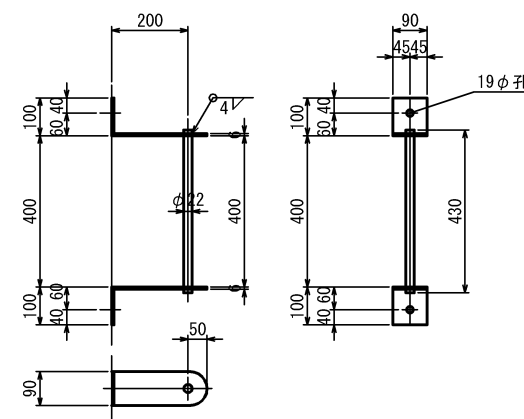


ステップ<1>



	K-1	K-2	K-4	
H1	283	166	205	139
H2	333	216	255	189

新規ステップ<1>



＜1ヶ所あたり＞

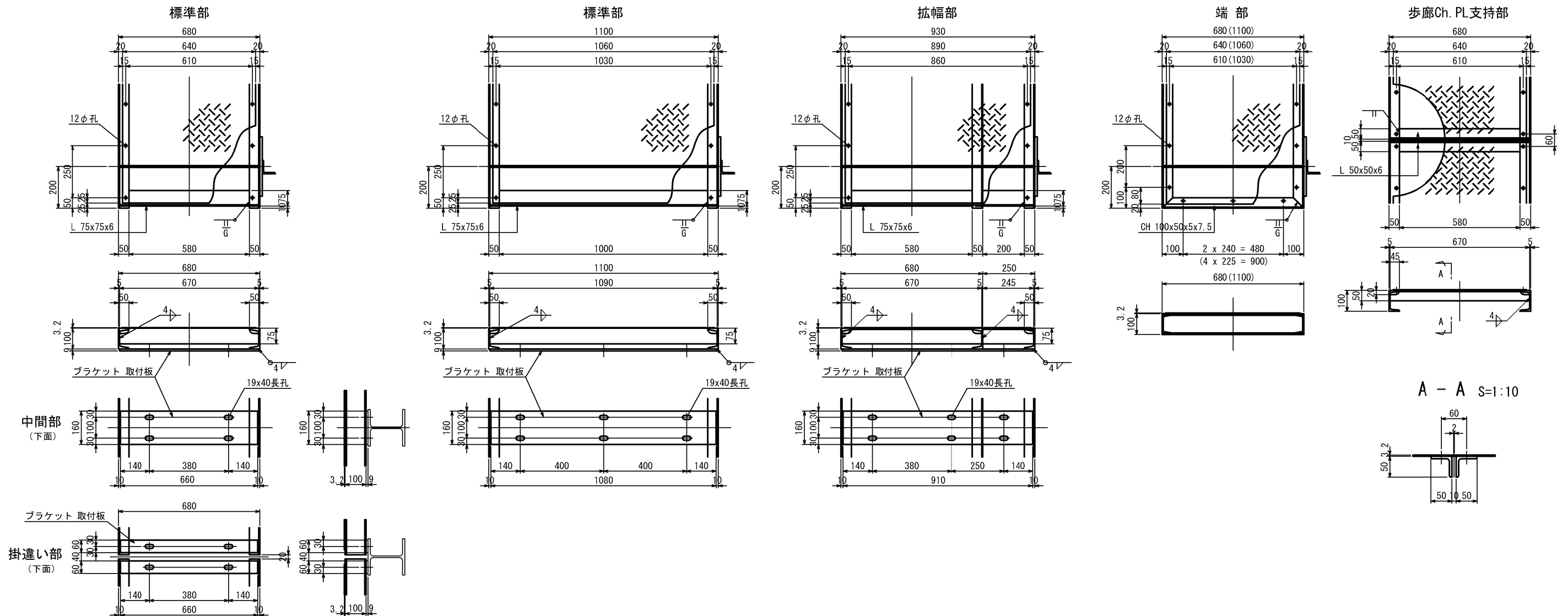
- 5 - RB $\phi 22 \times 430$
10 - FB 90 x 6 x 300
10 - コンクリートアンカー M16 x 125

注記

1. 施工に当っては、現地調査を行い再確認すること。
特に鋼板の製作は、再計測後実施すること。
2. 特記なき材質は、全てSS400とする。
3. Uボルト付き(C形)以外のナットは、全て弛み止め
ナットを使用すること。
4. 部材は、全て溶融亜鉛めっきとする。
亜鉛の付着量は、JIS H8641 HDZT77とする。
但し、ボルト・ナット及び厚さ3.2mm未満の部材は、
HDZT49とする。

常設自動車道 久慈川橋耐震補強工事			
図面の種類		久慈川橋 AP1 検査路 新設工 (その5)	
縮 尺	図示	図面番号	16/208
設計会社名	株式会社 長 大		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

新設 図
歩廊部詳細

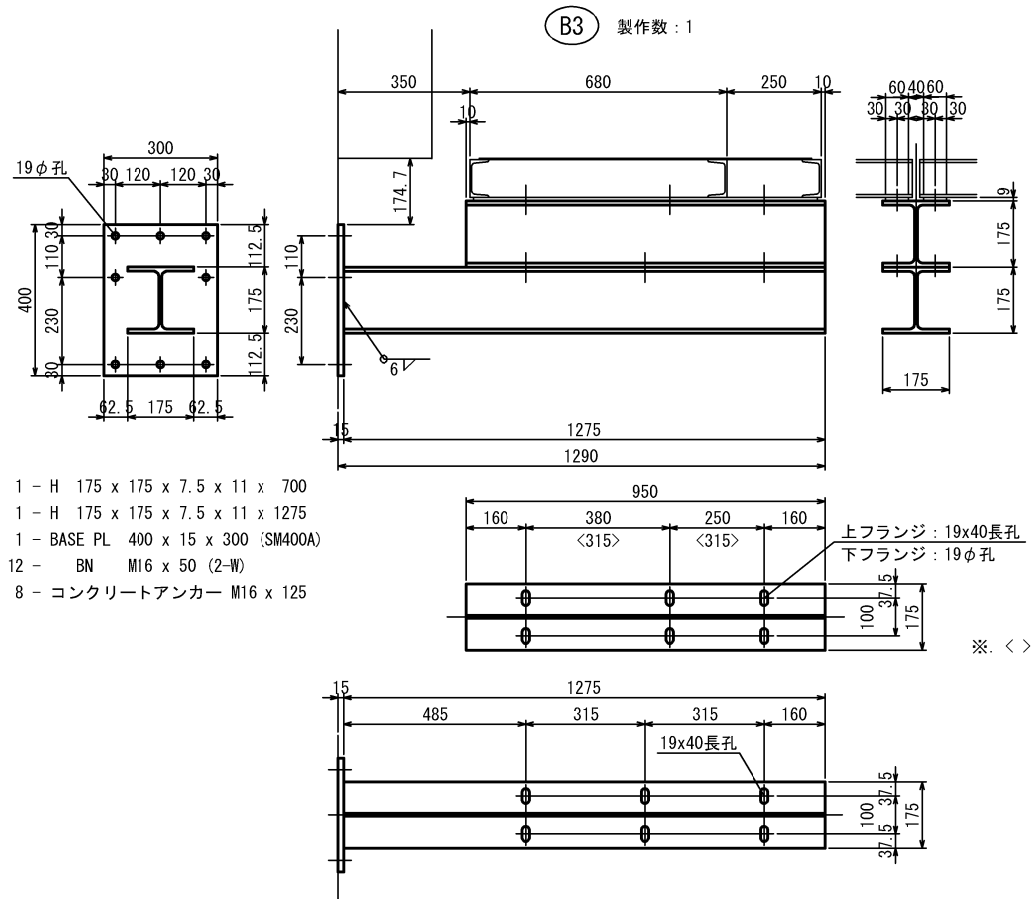
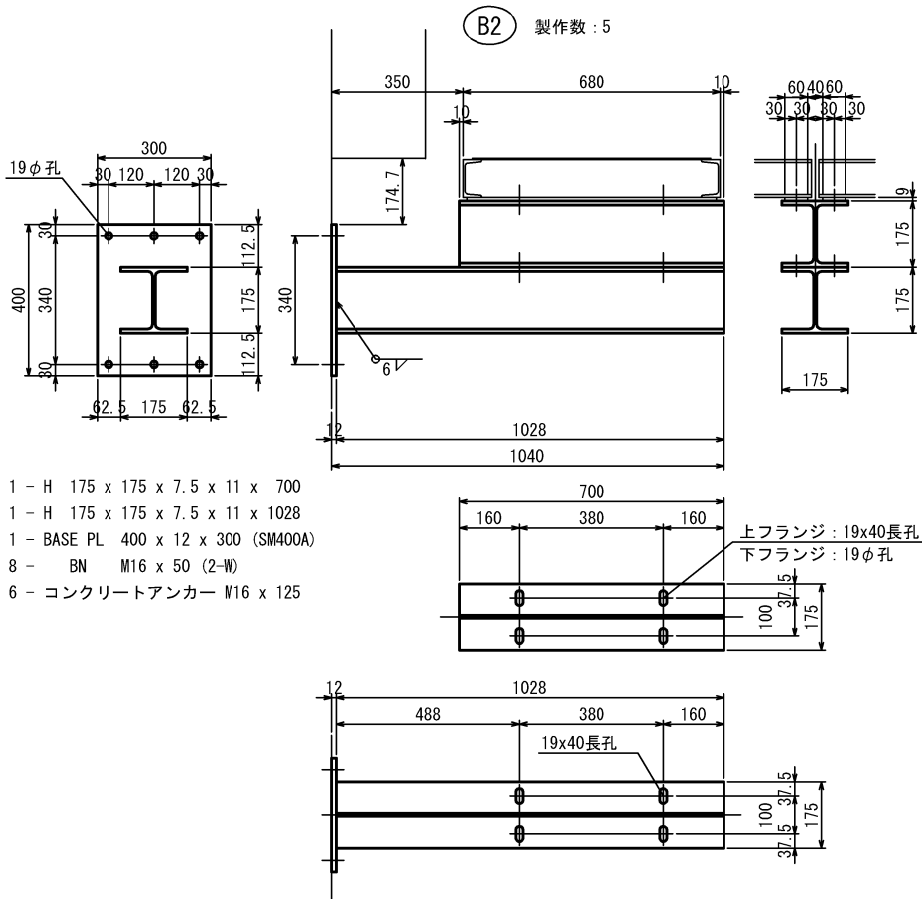
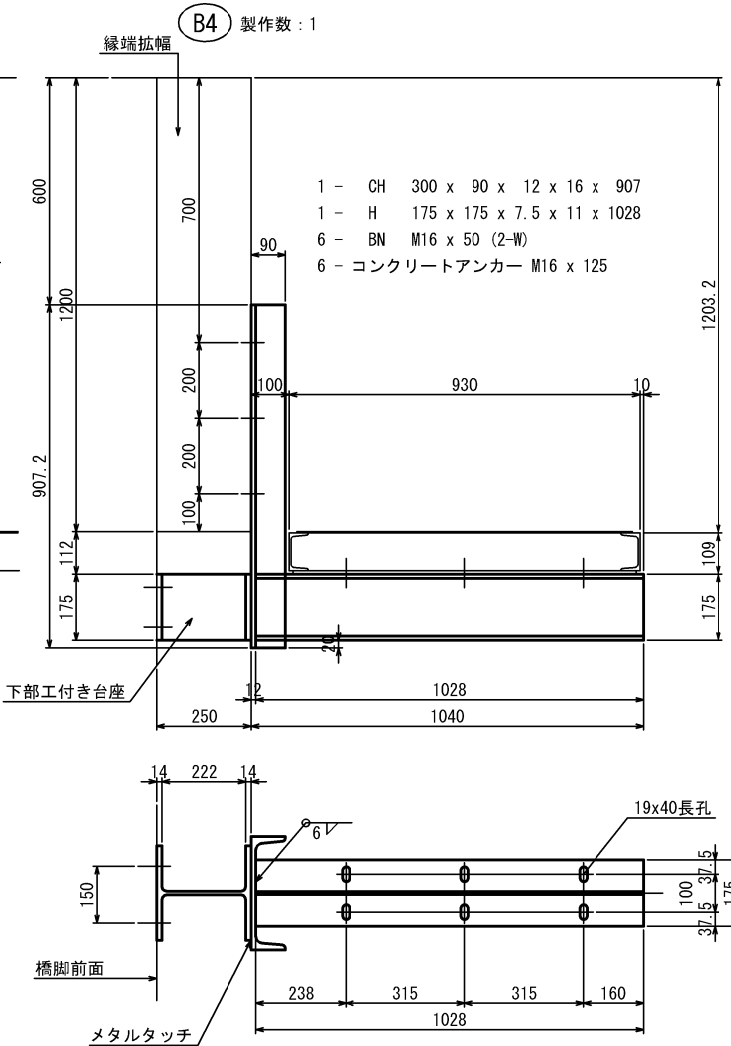
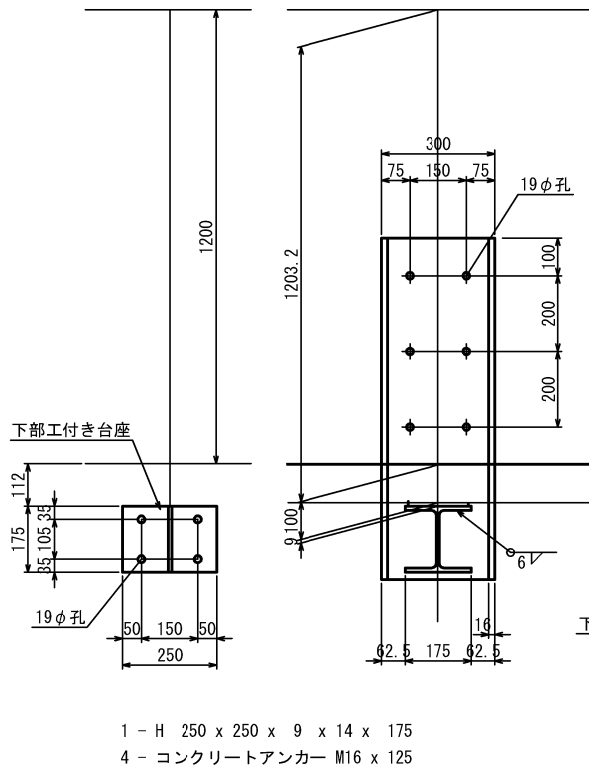
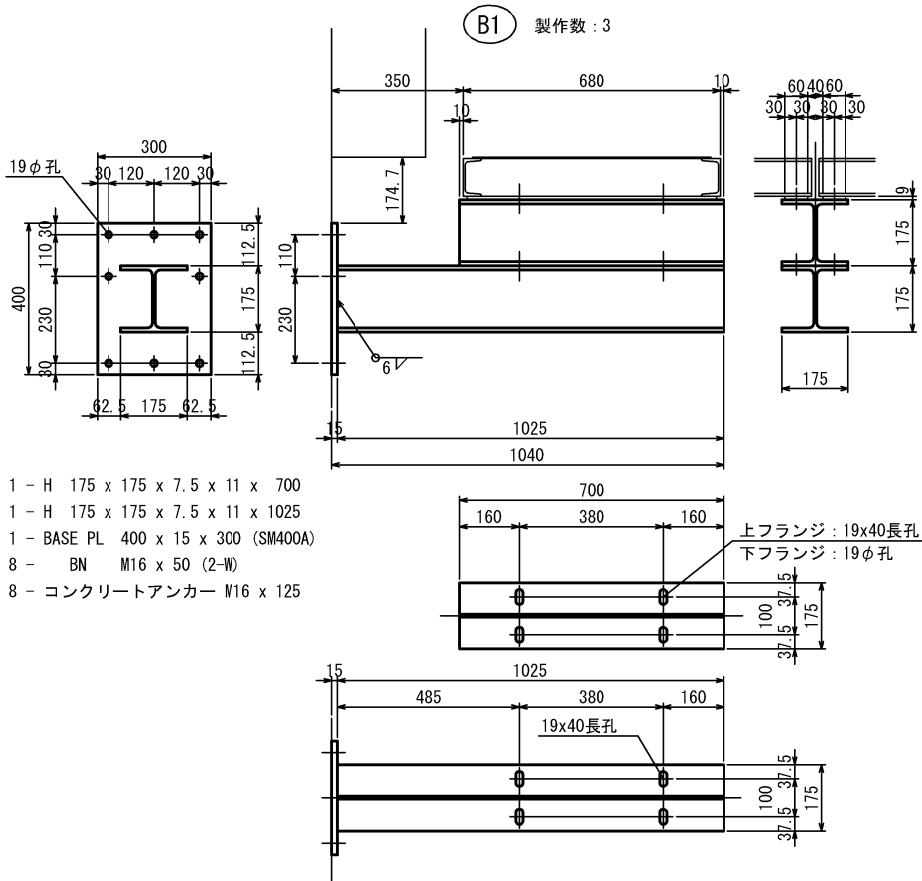


注記

1. 施工に当っては、現地調査を行い再確認すること。
特に鋼板の製作は、再計測後実施すること。
2. 特記なき材質は、全てSS400とする。
3. Uボルト付き(C形)以外のナットは、全て弛み止めナットを使用すること。
4. 部材は、全て溶融亜鉛めっきとする。
亜鉛の付着量は、JIS H8641 HDZ177とする。
但し、ボルト・ナット及び厚さ3.2mm未満の部材は、HDZ149とする。

常設自動車道 久慈川橋耐震補強工事			
久慈川橋		久慈川橋	
図面の種類	AP1 検査路 新設工（その7）		
縮 尺	図示	図面番号	17/208
設計会社名	株式会社 長 大		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

新設図
ブラケット詳細

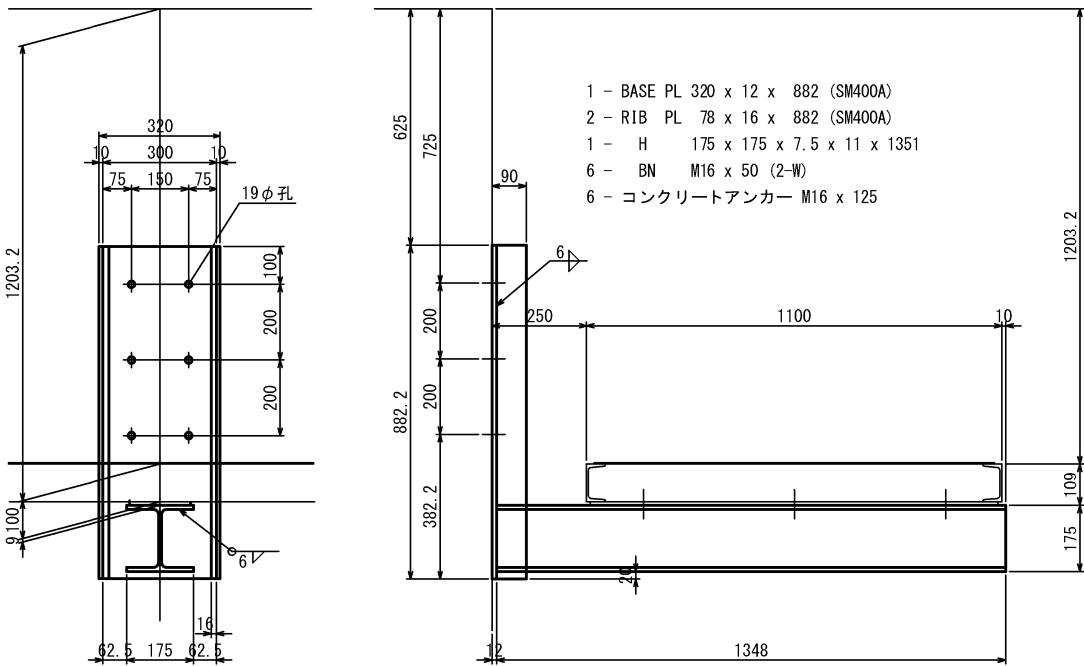
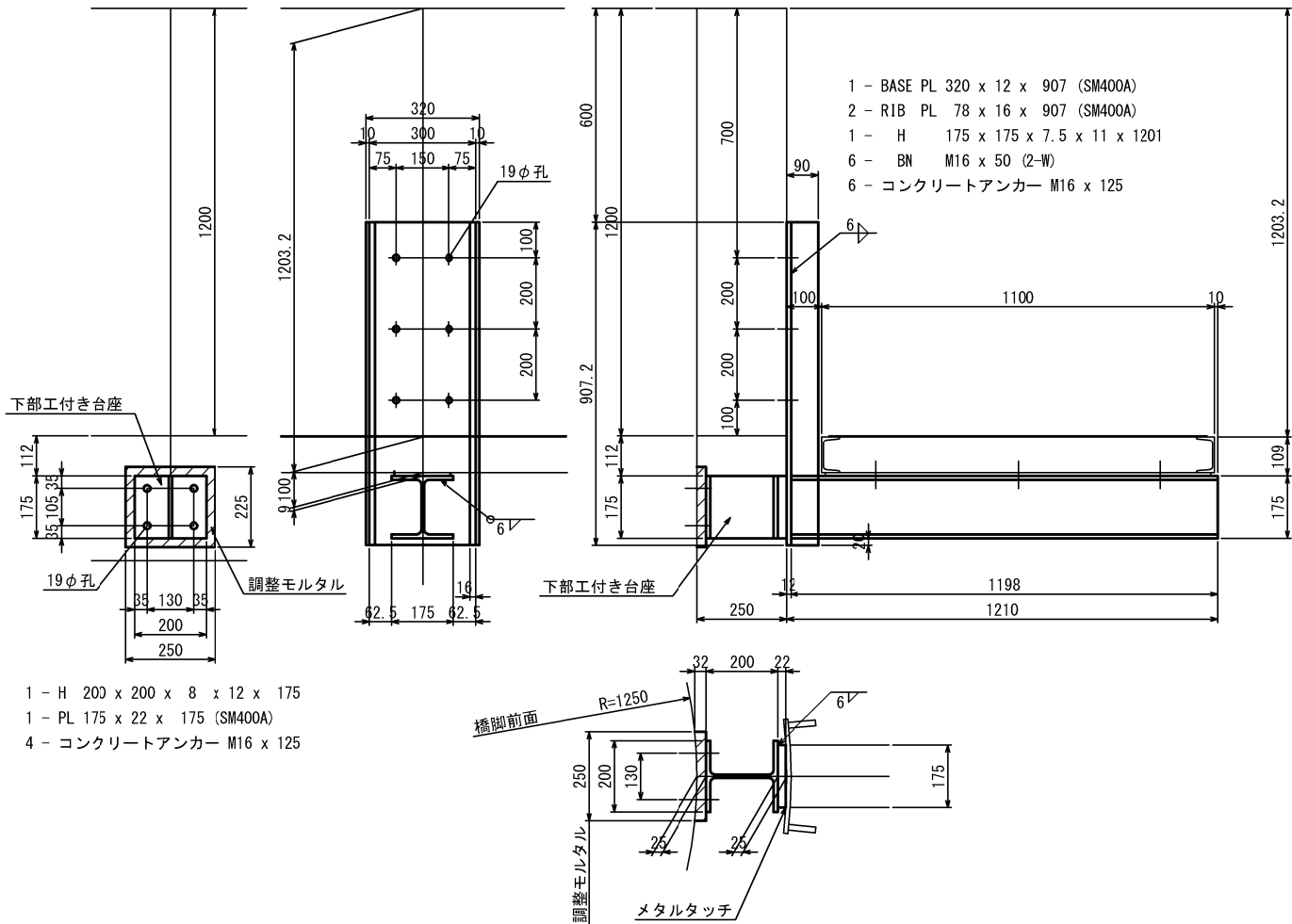
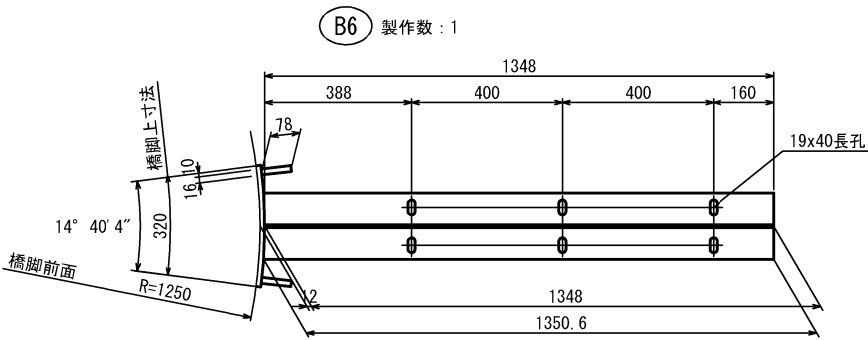
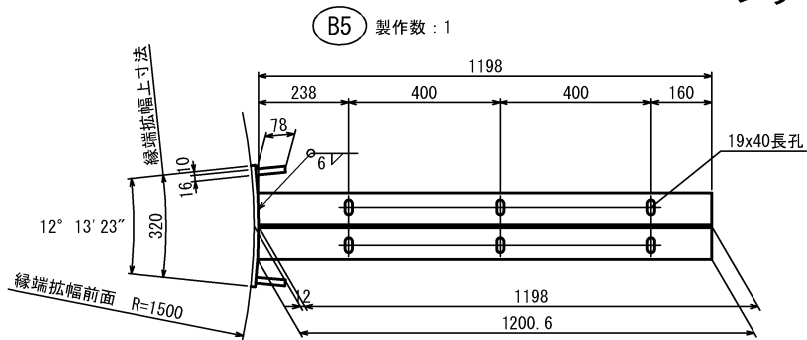


- 注記
1. 施工に当たっては、現地調査を行い再確認すること。
特に鋼板の製作は、再計測後実施すること。
 2. 特記なき材質は、全てSS400とする。
 3. Uボルト付き(C形)以外のナットは、全て弛み止めナットを使用すること。
 4. 部材は、全て溶融亜鉛めっきとする。
亜鉛の付着量は、JIS H8641 HDZT77とする。
但し、ボルト・ナット及び厚さ3.2mm未満の部材は、HDZT49とする。

※、< >内は、下フランジを示す。

常磐自動車道 久慈川橋耐震補強工事			
図面の種類	久慈川橋		
	AP1 検査路 新設工（その8）		
縮 尺	図示	図面番号	18 / 208
設計会社名	株式会社 長 大		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

新 設 図
ブラケット詳細



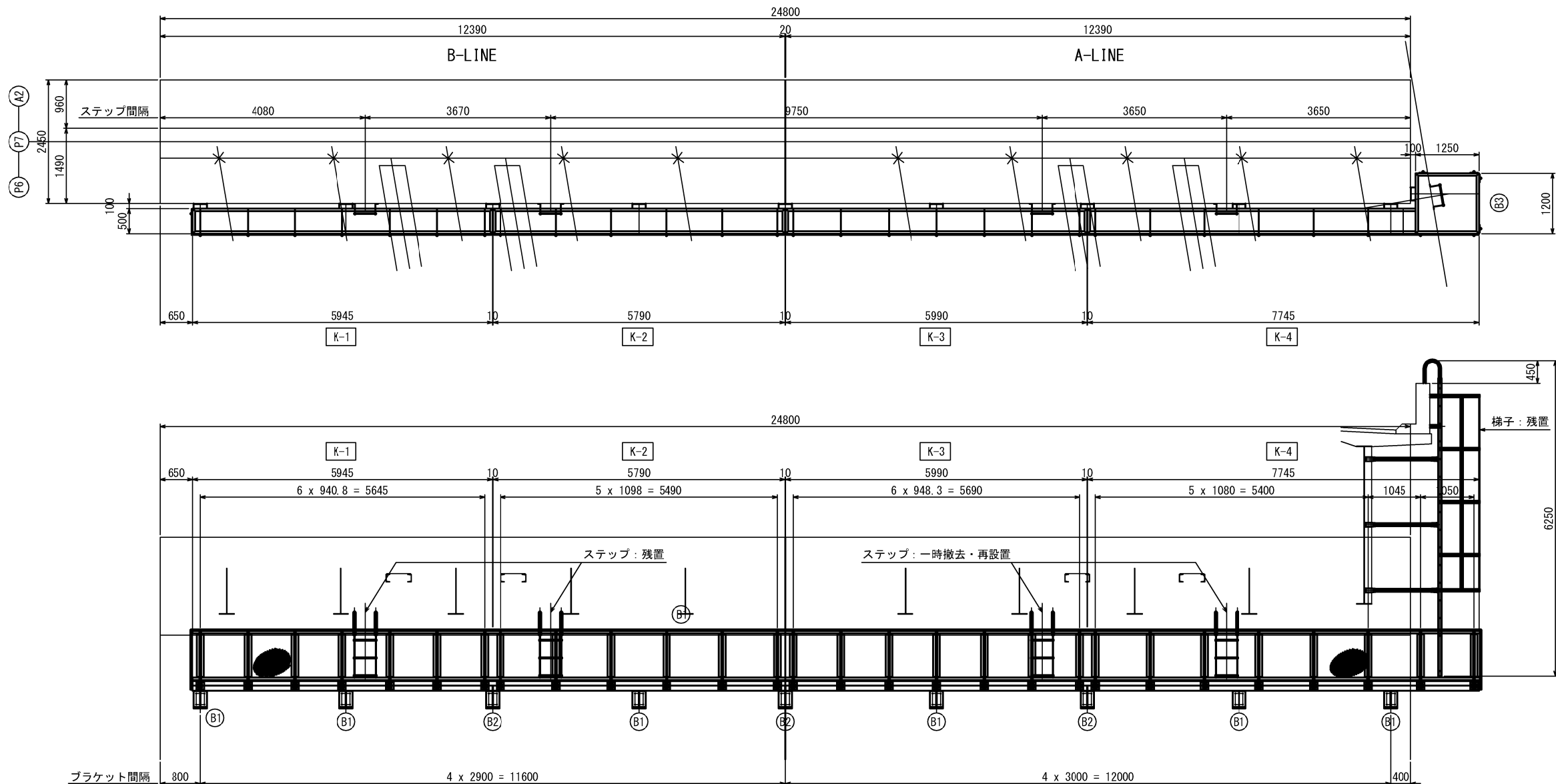
- 注記
1. 施工に当たっては、現地調査を行い再確認すること。
特に鋼板の製作は、再計測後実施すること。
 2. 特記なき材質は、全てSS400とする。
 3. Uボルト付き(C形)以外のナットは、全て弛み止めナットを使用すること。
 4. 部材は、全て溶融亜鉛めっきとする。
亜鉛の付着量は、JIS H8641 HDZT77とする。
但し、ボルト・ナット及び厚さ3.2mm未満の部材は、HDZT49とする。

常磐自動車道 久慈川橋耐震補強工事			
図面の種類	久慈川橋 AP1 検査路 新設工（その9）		
	縮 尺	図示	図面番号 19 / 208
設計会社名	株式会社 長 大		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

久慈川橋 P7 検査路 撤去工・新設工（その1）
既設撤去図

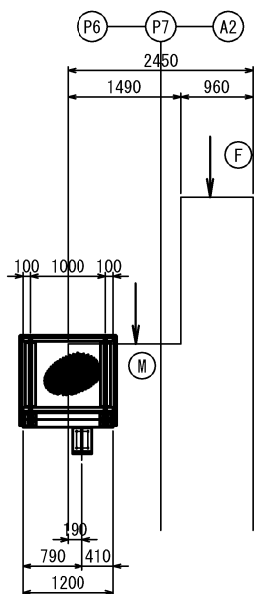
S=1:100

20/208

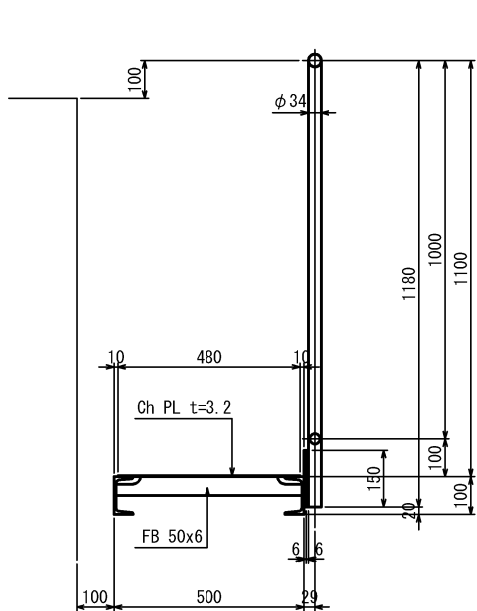


<施工要領>

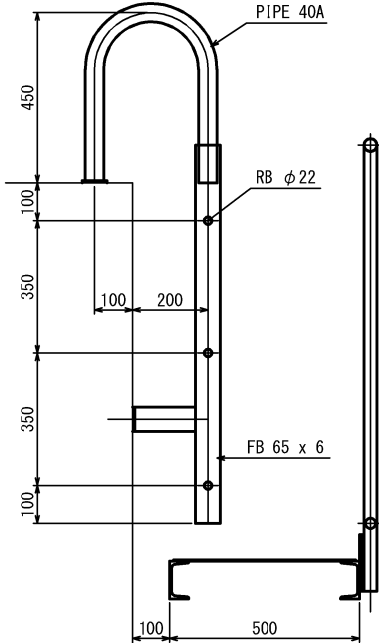
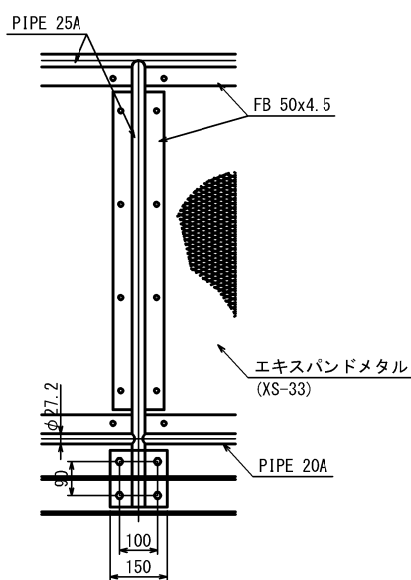
1. ブラケットと検査路のセットボルトを外す。
2. 手摺りを設置したまま歩廊を撤去。
3. ブラケットコンクリートアンカーのナットのみ外す。
4. ブラケット撤去、コンクリートアンカー撤去。



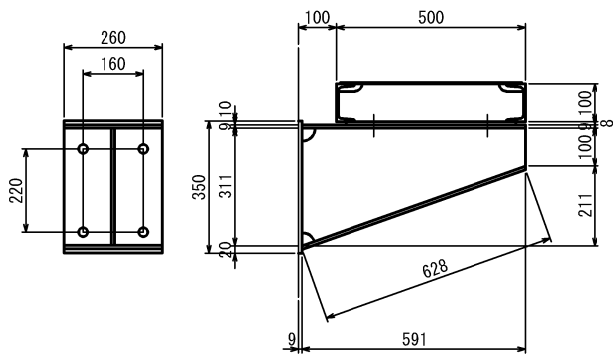
歩廊および手摺り S=1:20



ステップ S=1:20



ブラケット S=1:20
標準部



注記

1. 施工に当たっては、現地調査を行い再確認すること。

常磐自動車道 久慈川橋耐震補強工事			
図面の種類	久慈川橋 P7 検査路 撤去工・新設工（その1）		
縮 尺	図示	図面番号	20/208
設計会社名	株式会社 長大		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

既設撤去図

K-1：撤去工（1組）

- 1 - SGP 25A x 5945

1 - SGP 25A x 570

9 - SGP 25A x 1180

6 - SGP 20A x 921

1 - SGP 20A x 280

18 - PL 150 x 6 x 150

36 - BN M16 x 40

1 - SGP 20A x 160

1 - SGP 20A x 140
- 24 - FB 50 x 4.5 x 907

4 - FB 50 x 4.5 x 969

32 - FB 50 x 4.5 x 840

4 - FB 50 x 4.5 x 50

2 - FB 50 x 4.5 x 187

6 - エキスパンドメタル 948 x 886

1 - エキスパンドメタル 948 x 245

132 - BN M8 x 30

1 - エキスパンドメタル 948 x 123

1 - エキスパンドメタル 948 x 166
- 1 - エキスパンドメタル 948 x 255

2 - FB 50 x 4.5 x 276

4 - FB 50 x 4.5 x 123

4 - FB 50 x 4.5 x 840

12 - BN M8 x 30
- 1 - Ch. PL 480 x 3.2 x 5945

2 - CH 100 x 50 x 5 x 7.5 x 5945

2 - CH 100 x 50 x 5 x 7.5 x 500

7 - FB 50 x 6 x 490

54 - BN M8 x 30 (1-W, 1-TW)
- 2 - PL 260 x 8 x 500

1 - PL 100 x 8 x 500

K-2：撤去工（1組）

- 1 - SGP 25A x 5790

6 - SGP 25A x 1180

5 - SGP 20A x 1078

2 - SGP 20A x 140

12 - PL 150 x 6 x 150

24 - BN M16 x 40
- 20 - FB 50 x 4.5 x 1064

20 - FB 50 x 4.5 x 840

5 - エキスパンドメタル 948 x 1043

80 - BN M8 x 30
- 1 - エキスパンドメタル 969 x 276

2 - FB 50 x 4.5 x 276

4 - FB 50 x 4.5 x 123

4 - FB 50 x 4.5 x 840

12 - BN M8 x 30
- 1 - Ch. PL 480 x 3.2 x 5790

2 - CH 100 x 50 x 5 x 7.5 x 5790

2 - CH 100 x 50 x 5 x 7.5 x 500

6 - FB 50 x 6 x 490

56 - BN M8 x 30 (1-W, 1-TW)
- 1 - PL 260 x 8 x 500

2 - PL 100 x 8 x 500

K-3：撤去工（1組）

- 1 - SGP 25A x 5990

7 - SGP 25A x 1180

6 - SGP 20A x 928

2 - SGP 20A x 140

14 - PL 150 x 6 x 150

28 - BN M16 x 40
- 24 - FB 50 x 4.5 x 914

24 - FB 50 x 4.5 x 840

6 - エキスパンドメタル 948 x 893

96 - BN M8 x 30
- 1 - エキスパンドメタル 948 x 255

2 - FB 50 x 4.5 x 276

4 - FB 50 x 4.5 x 123

4 - FB 50 x 4.5 x 840

12 - BN M8 x 30
- 1 - Ch. PL 480 x 3.2 x 5990

2 - CH 100 x 50 x 5 x 7.5 x 5990

2 - CH 100 x 50 x 5 x 7.5 x 500

7 - FB 50 x 6 x 490

54 - BN M8 x 30 (1-W, 1-TW)
- 1 - PL 260 x 8 x 500

2 - PL 100 x 8 x 500

K-4：撤去工（1組）

- 1 - SGP 25A x 7745

2 - SGP 25A x 1200

1 - SGP 25A x 1320

12 - SGP 25A x 1180

5 - SGP 20A x 1060

1 - SGP 20A x 1025

2 - SGP 20A x 1080

1 - SGP 20A x 980

24 - PL 150 x 6 x 150

48 - BN M16 x 40

1 - SGP 20A x 140

1 - SGP 20A x 160
- 20 - FB 50 x 4.5 x 1046

4 - FB 50 x 4.5 x 1011

8 - FB 50 x 4.5 x 1016

4 - FB 50 x 4.5 x 966

44 - FB 50 x 4.5 x 840

5 - エキスパンドメタル 948 x 1025

1 - エキスパンドメタル 948 x 990

2 - エキスパンドメタル 948 x 995

1 - エキスパンドメタル 948 x 945

180 - BN M8 x 30

8 - FB 50 x 4.5 x 50

4 - FB 50 x 4.5 x 148

4 - FB 50 x 4.5 x 969

2 - エキスパンドメタル 948 x 127

1 - エキスパンドメタル 948 x 123
- 1 - Ch. PL 480 x 3.2 x 6495

1 - Ch. PL 1180 x 3.2 x 1230

1 - CH 100 x 50 x 5 x 7.5 x 7745

1 - CH 100 x 50 x 5 x 7.5 x 6495

1 - CH 100 x 50 x 5 x 7.5 x 1250

1 - CH 100 x 50 x 5 x 7.5 x 500

1 - CH 100 x 50 x 5 x 7.5 x 1200

1 - CH 100 x 50 x 5 x 7.5 x 1195

7 - FB 50 x 6 x 490

1 - FB 50 x 6 x 1240

85 - BN M8 x 30 (1-W, 1-TW)
- 2 - PL 260 x 8 x 500

1 - PL 100 x 8 x 500

1 - PL 260 x 8 x 1250

ブラケット

B1：撤去工（6組）

- 1 - PL 260 x 10 x 350

1 - PL 260 x 9 x 590

1 - PL 260 x 9 x 627

1 - PL 311 x 9 x 590

4 - BN M20 x 50

4 - コンクリートアンカー M16

B2：撤去工（3組）

- 1 - PL 260 x 10 x 350

1 - PL 260 x 9 x 590

1 - PL 260 x 9 x 627

1 - PL 311 x 9 x 590

4 - BN M20 x 50

4 - コンクリートアンカー M16

B3：撤去工（1組）

- 1 - PL 260 x 10 x 350

1 - PL 260 x 9 x 1340

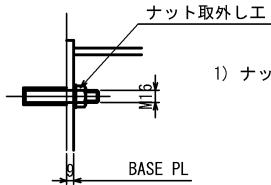
1 - PL 260 x 9 x 1357

1 - PL 311 x 9 x 1340

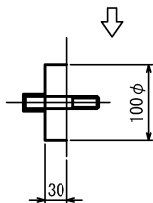
4 - BN M20 x 50

4 - コンクリートアンカー M16

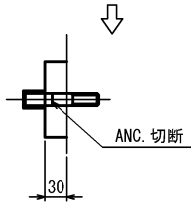
コンクリートアンカー撤去工



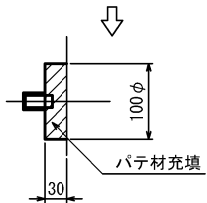
1) ナットを取外し、ブラケットなどを撤去。



2) 100φ x 30程度削孔。



3) アンカーを切断。



4) 削孔部をパテ材にて埋戻し。

撤去本数

	基数	ANC. 本数	計
ブラケット	10	4	40
ステップ	4	6	24
計			64

ステップ：一時撤去・再設置工（2組）

- 2 - SGP 40A x 1065

3 - RB φ22 x 420 (SR24)

2 - FB 65 x 6 x 400

2 - FB 65 x 6 x 235

2 - FB 65 x 6 x 190

ステップ：撤去工（2組）

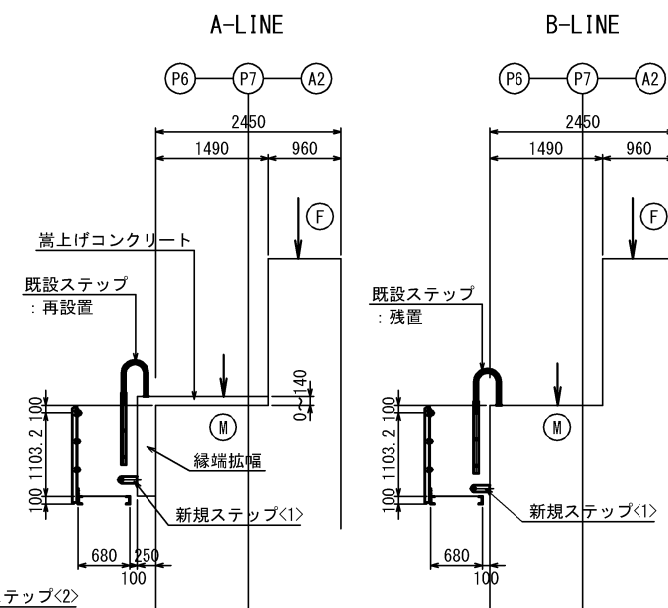
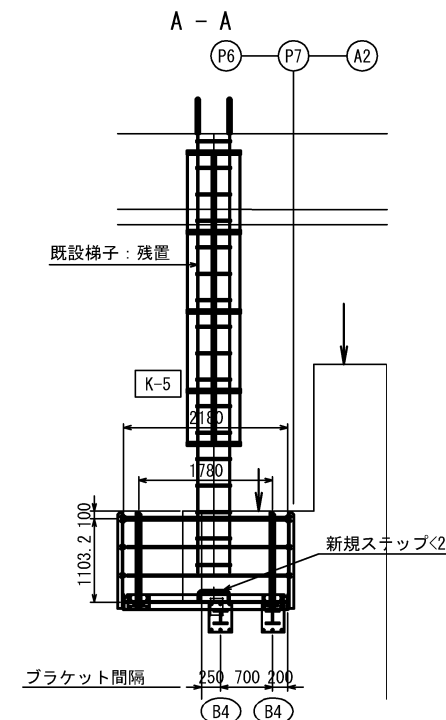
- 6 - NUT M16

注記

1. 施工に当っては、現地調査を行い再確認すること。

2. 特記なき材質は、SS400とする。

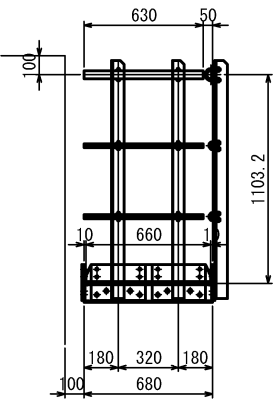
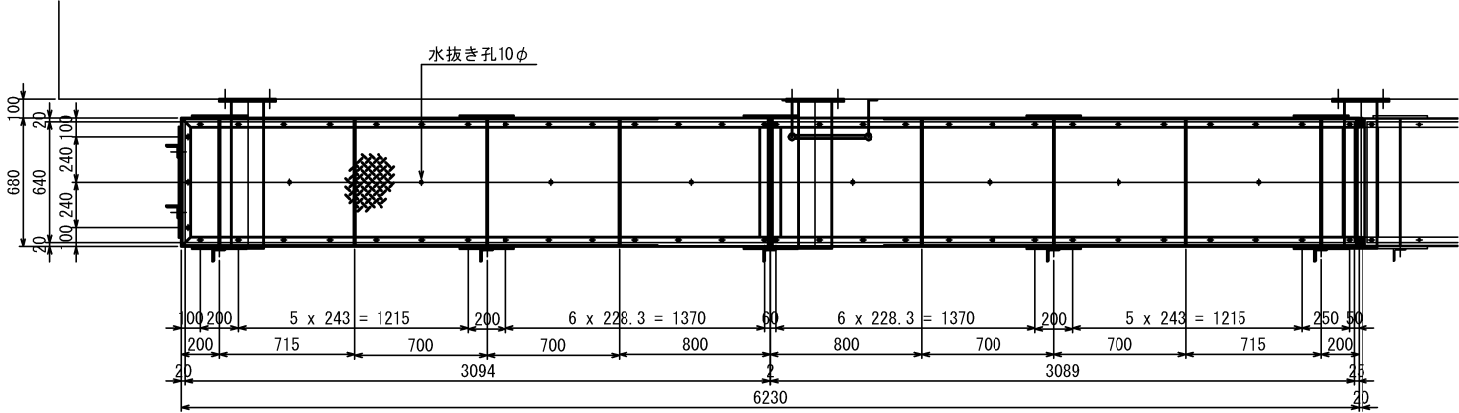
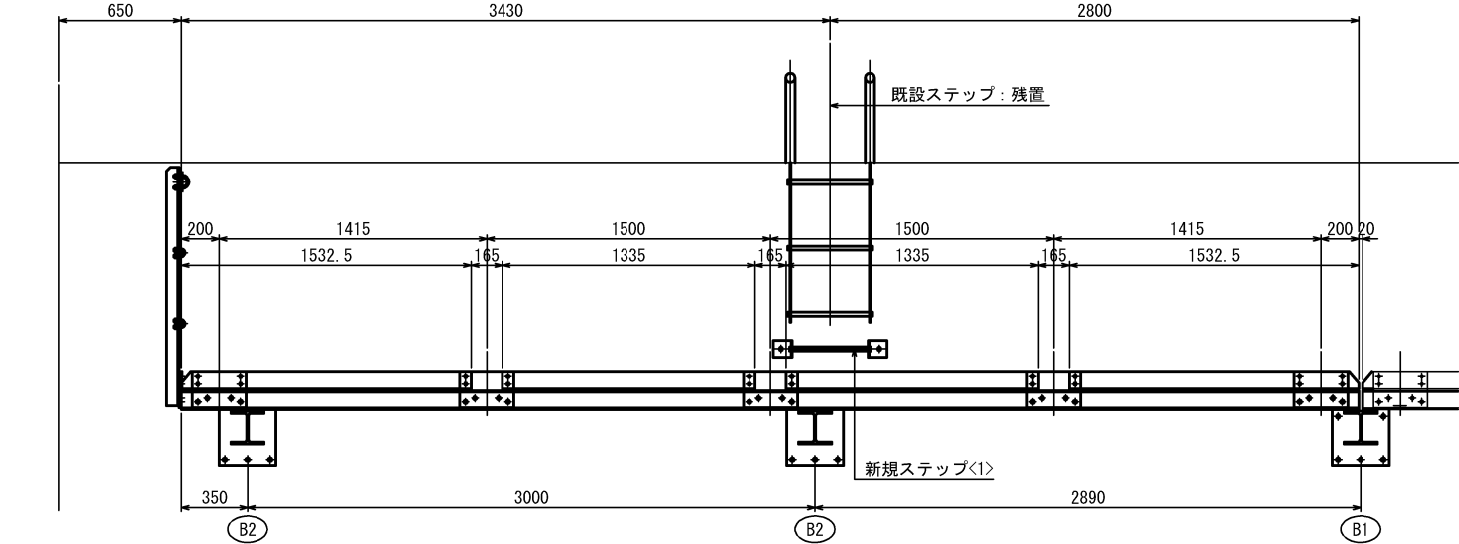
常磐自動車道 久慈川橋耐震補強工事				
図面の種類		久慈川橋 P7 検査路 撤去・新設工（その2）		
縮 尺	図示	図面番号	21／208	
設計会社名		株式会社 長大		
施工会社名				
事務所名		東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		



常磐自動車道 久慈川橋耐震補強工事		
図面の種類	久慈川橋 P7 検査路 搬去工・新設工(その3)	
縮 尺	図示	図面番号 22/208
設計会社名	株式会社 長 大	
施工会社名		
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所	

新 設 図

K-1 (製作数:1)



- 1 - PIPE $\phi 42.7 \times 2.3 \times 630$ (STK400)
- 2 - PIPE $\phi 21.7 \times 1.9 \times 630$ (STK400)
- 2 - L $65 \times 65 \times 6 \times 1258$
- 1 - PL $90 \times 3.2 \times 660$
- 2 - PL $190 \times 12 \times 285$ (SM400A)
- 8 - BN M16 $\times 45$ (2-W)
- 8 - BN M10 $\times 35$ (2-W)
- 2 - Uボルト 呼び径 32 (C形)
- 4 - Uボルト 呼び径 15 (C形)

- 2 - PL $90 \times 3.2 \times 1533$
- 2 - PL $90 \times 3.2 \times 1335$
- 5 - PL $190 \times 12 \times 285$ (SM400A)
- 20 - BN M16 $\times 45$ (2-W)
- 20 - BN M10 $\times 35$ (2-W)

- 1 - Ch. PL $640 \times 3.2 \times 3094$ (SS400 相当品)
- 1 - Ch. PL $640 \times 3.2 \times 3089$ (SS400 相当品)
- 2 - CH $100 \times 50 \times 5 \times 7.5 \times 6230$
- 1 - CH $100 \times 50 \times 5 \times 7.5 \times 680$
- 1 - L $75 \times 75 \times 6 \times 670$
- 2 - L $50 \times 50 \times 6 \times 670$
- 8 - FB $90 \times 9 \times 670$
- 59 - BN M10 $\times 30$ (1-W, 1-TW)
- 2 - PL $160 \times 9 \times 660$ (SM400A)
- 1 - PL $60 \times 9 \times 660$ (SM400A)

- 1 - FIPE $\phi 42.7 \times 2.3 \times 6230$ (STK400)
- 2 - FIPE $\phi 21.7 \times 1.9 \times 6230$ (STK400)
- 5 - L $65 \times 65 \times 6 \times 1258$
- 2 - PL $90 \times 3.2 \times 1533$
- 2 - PL $90 \times 3.2 \times 1335$
- 5 - PL $190 \times 12 \times 285$ (SM400A)
- 20 - BN M16 $\times 45$ (2-W)
- 20 - BN M10 $\times 35$ (2-W)
- 5 - Uボルト 呼び径 32 (C形)
- 10 - Uボルト 呼び径 15 (C形)

手摺り端部処理



※ 手摺パイプの抜落ち防止のため、パイプ端部が Uボルトより大きくなるように加工のこと。

注記

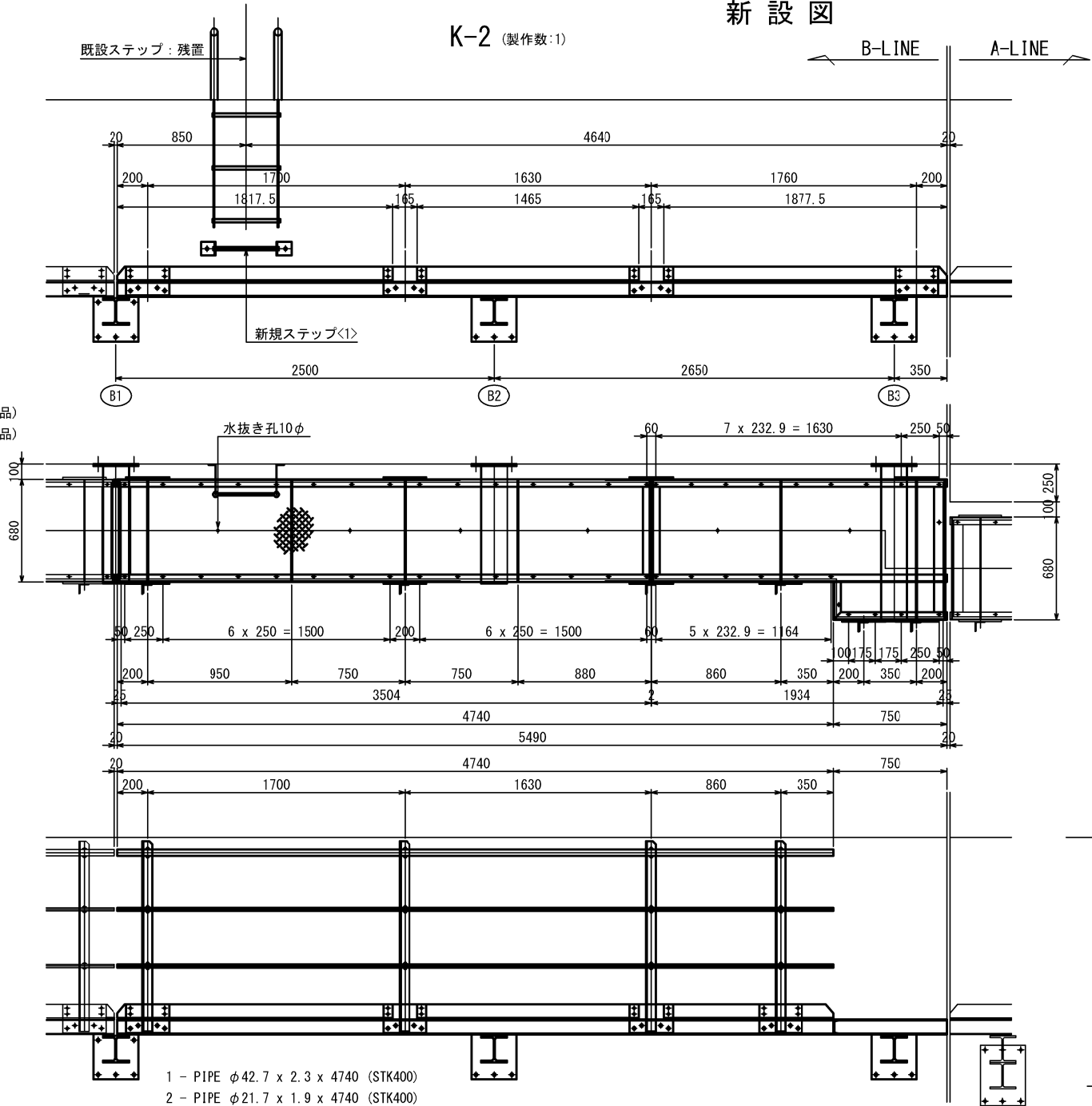
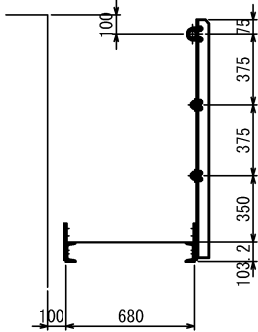
1. 施工に当っては、現地調査を行い再確認すること。
特に鋼板の製作は、再計測後実施すること。
2. 特記なき材質は、全てSS400とする。
3. Uボルト付き(C形)以外のナットは、全て弛み止めナットを使用すること。
4. 部材は、全て溶融亜鉛めっきとする。
亜鉛の付着量は、JIS H8641 HDZT77とする。
但し、ボルト・ナット及び厚さ3.2mm未満の部材は、HDZT49とする。

常盤自動車道 久慈川橋耐震補強工事			
図面の種類	久慈川橋 P7 検査路 撤去工・新設工(その4)		
	縮 尺	図示	図面番号 23 / 208
設計会社名	株式会社 長 大		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

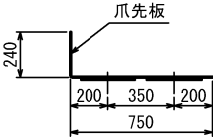
新 設 図

- 1 - PL 90 x 3.2 x 1818
- 1 - PL 90 x 3.2 x 1465
- 1 - PL 90 x 3.2 x 1878
- 4 - PL 190 x 12 x 285 (SM400A)
- 16 - BN M16 x 45 (2-W)
- 16 - BN M10 x 35 (2-W)
- 4 - Uボルト 呼び径 32 (C形)
- 8 - Uボルト 呼び径 15 (C形)

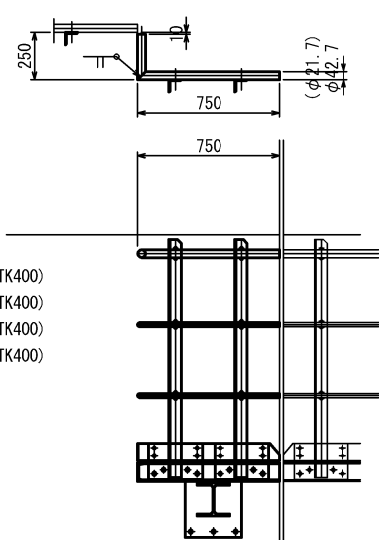
- 1 - Ch.PL 640 x 3.2 x 3504 (SS400 相当品)
- 1 - Ch.PL 890 x 3.2 x 1934 (SS400 相当品)
- 2 - CH 100 x 50 x 5 x 7.5 x 5490
- 1 - CH 100 x 50 x 5 x 7.5 x 250
- 1 - CH 100 x 50 x 5 x 7.5 x 750
- 2 - L 75 x 75 x 6 x 670
- 1 - L 75 x 75 x 6 x 245
- 2 - L 50 x 50 x 6 x 670
- 6 - FB 90 x 9 x 670
- 1 - FB 90 x 9 x 245
- 51 - BN M10 x 30 (1-W, 1-TW)
- 1 - PL 60 x 9 x 660 (SM400A)
- 1 - PL 160 x 9 x 660 (SM400A)
- 1 - PL 160 x 9 x 910 (SM400A)



- 1 - PIPE φ42.7 x 2.3 x 4740 (STK400)
- 2 - PIPE φ21.7 x 1.9 x 4740 (STK400)
- 4 - L 65 x 65 x 6 x 1258
- 1 - PL 90 x 3.2 x 1818
- 1 - PL 90 x 3.2 x 1465
- 1 - PL 90 x 3.2 x 1128
- 4 - PL 190 x 12 x 285 (SM400A)
- 16 - BN M16 x 45 (2-W)
- 16 - BN M10 x 35 (2-W)
- 4 - Uボルト 呼び径 32 (C形)
- 8 - Uボルト 呼び径 15 (C形)



- 1 - PIPE φ42.7 x 2.3 x 240 (STK400)
- 1 - PIPE φ42.7 x 2.3 x 750 (STK400)
- 2 - PIPE φ21.7 x 1.9 x 240 (STK400)
- 2 - PIPE φ21.7 x 1.9 x 750 (STK400)
- 2 - L 65 x 65 x 6 x 1258
- 1 - PL 90 x 3.2 x 990
- 2 - PL 190 x 12 x 285 (SM400A)
- 8 - BN M16 x 45 (2-W)
- 8 - BN M10 x 35 (2-W)
- 2 - Uボルト 呼び径 32 (C形)
- 4 - Uボルト 呼び径 15 (C形)



手摺り端部処理



※ 手摺パイプの抜落ち防止のため、パイプ端部が Uボルトより大きくなるように加工のこと。

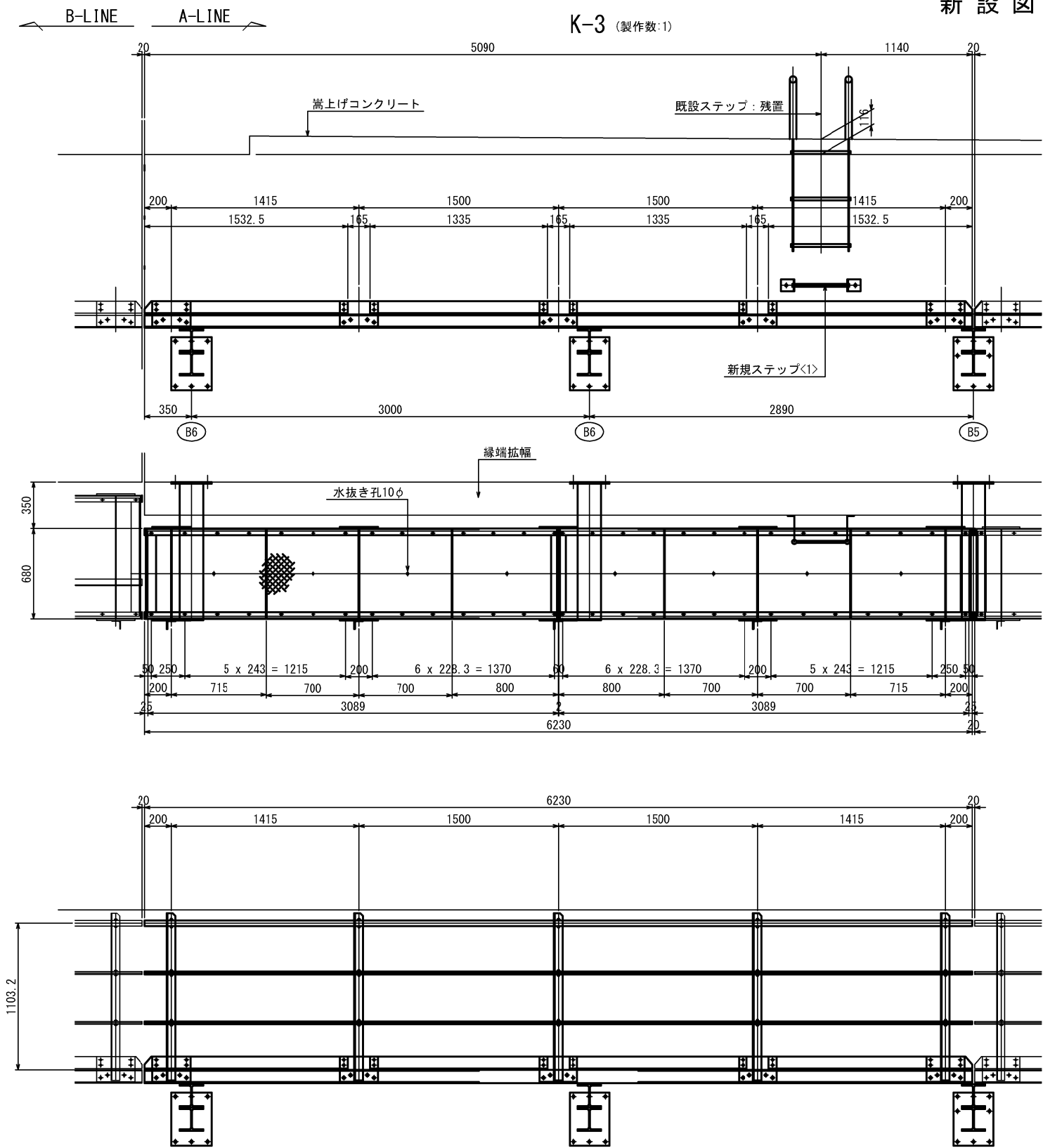
爪先板の曲げ加工



- 注記
1. 施工に当っては、現地調査を行い再確認すること。
特に鋼板の製作は、再計測後実施すること。
 2. 特記なき材質は、全てSS400とする。
 3. Uボルト付き(C形)以外のナットは、全て弛み止めナットを使用すること。
 4. 部材は、全て溶融亜鉛めっきとする。
亜鉛の付着量は、JIS H8641 HDZT77とする。
但し、ボルト・ナット及び厚さ3.2mm未満の部材は、HDZT49とする。

常磐自動車道 久慈川橋耐震補強工事			
図面の種類	久慈川橋 P7 検査路 撤去工・新設工(その5)		
	縮 尺	図示	図面番号 24 / 208
設計会社名	株式会社 長 大		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

新 設 図



- 2 - PL 90 x 3.2 x 1533
- 2 - PL 90 x 3.2 x 1335
- 4 - PL 190 x 12 x 285 (SM400A)
- 16 - BN M16 x 45 (2-W)
- 16 - BN M10 x 35 (2-W)

- 2 - Ch.PL 640 x 3.2 x 3089 (SS400 相当品)
- 2 - CH 100 x 50 x 5 x 7.5 x 6230
- 2 - L 75 x 75 x 6 x 670
- 2 - L 50 x 50 x 6 x 670
- 8 - FB 90 x 9 x 670
- 56 - BN M10 x 30 (1-W, 1-TW)
- 2 - PL 160 x 9 x 660 (SM400A)
- 1 - PL 60 x 9 x 660 (SM400A)

- 1 - PIPE φ42.7 x 2.3 x 6230 (STK400)
- 2 - PIPE φ21.7 x 1.9 x 6230 (STK400)
- 5 - L 65 x 65 x 6 x 1258
- 2 - PL 90 x 3.2 x 1533
- 2 - PL 90 x 3.2 x 1335
- 5 - PL 190 x 12 x 285 (SM400A)
- 20 - BN M16 x 45 (2-W)
- 20 - BN M10 x 35 (2-W)
- 5 - Uボルト 呼び径 32 (C形)
- 10 - Uボルト 呼び径 15 (C形)

手摺り端部処理



※ 手摺パイプの抜落ち防止のため、パイプ端部が Uボルトより大きくなるように加工のこと。

注記

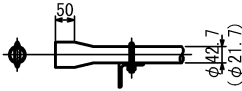
1. 施工に当っては、現地調査を行い再確認すること。
特に鋼板の製作は、再計測後実施すること。
2. 特記なき材質は、全てSS400とする。
3. Uボルト付き(C形)以外のナットは、全て弛み止めナットを使用すること。
4. 部材は、全て溶融亜鉛めっきとする。
亜鉛の付着量は、JIS H8641 HDZT77とする。
但し、ボルト・ナット及び厚さ3.2mm未満の部材は、HDZT49とする。

常盤自動車道 久慈川橋耐震補強工事			
図面の種類	久慈川橋 P7 検査路 撤去工・新設工(その6)		
	縮 尺	図示	図面番号
設計会社名	株式会社 長 大		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
事務所名	水戸管理事務所		

新 設 図

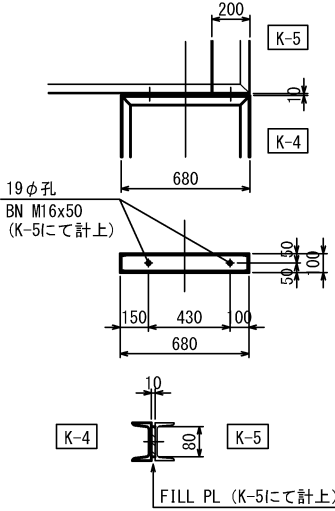
K-4 (製作数:1)

手摺り端部処理



※ 手摺パイプの抜落ち防止のため、パイプ端部が
Uボルトより大きくなるように加工のこと。

検査路 連結ボルト



FILL PL (K-5にて計上)

- 2 - PL 90 x 3.2 x 1333
- 2 - PL 90 x 3.2 x 1335
- 5 - PL 190 x 12 x 285 (SM400A)
- 20 - BN M16 x 45 (2-W)
- 20 - BN M10 x 35 (2-W)

- 1 - Ch.PL 640 x 3.2 x 3089 (SS400 相当品)
- 1 - Ch.PL 640 x 3.2 x 3094 (SS400 相当品)
- 2 - CH 100 x 50 x 5 x 7.5 x 6230
- 1 - CH 100 x 50 x 5 x 7.5 x 680
- 1 - L 75 x 75 x 5 x 670
- 2 - L 50 x 50 x 5 x 670
- 8 - FB 90 x 9 x 570
- 56 - BN M10 x 30 (1-W, 1-TW)
- 1 - PL 60 x 9 x 660 (SM400A)
- 2 - PL 160 x 9 x 660 (SM400A)

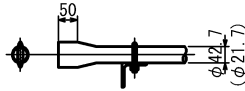
- 1 - PIPE $\phi 42.7$ x 2.3 x 6230 (STK400)
- 2 - PIPE $\phi 21.7$ x 1.9 x 6230 (STK400)
- 5 - L 65 x 65 x 6 x 1258
- 2 - PL 90 x 3.2 x 1333
- 2 - PL 90 x 3.2 x 1335
- 5 - PL 190 x 12 x 285 (SM400A)
- 20 - BN M16 x 45 (2-W)
- 20 - BN M10 x 35 (2-W)
- 5 - Uボルト 呼び径 32 (C形)
- 10 - Uボルト 呼び径 15 (C形)

- 注記
- 施工に当っては、現地調査を行い再確認すること。
特に鋼板の製作は、再計測後実施すること。
 - 特記なき材質は、全てSS400とする。
 - Uボルト付き(C形)以外のナットは、全て弛み止め
ナットを使用すること。
 - 部材は、全て溶融亜鉛めっきとする。
亜鉛の付着量は、JIS H8641 HDZT77とする。
但し、ボルト・ナット及び厚さ3.2mm未満の部材は、
HDZT49とする。

常盤自動車道 久慈川橋耐震補強工事			
図面の種類	久慈川橋 P7 検査路 撤去工・新設工(その7)		
	縮 尺	図示	図面番号
設計会社名	株式会社 長 大		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

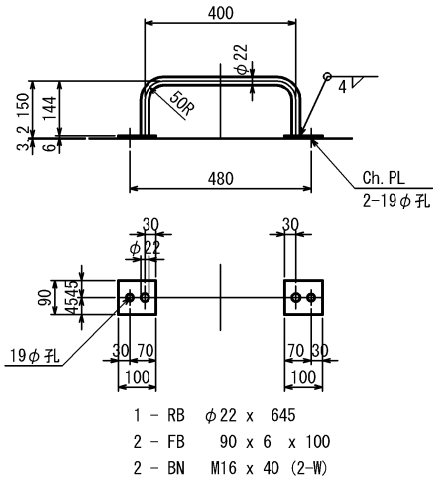
新 設 図

手摺り端部処理

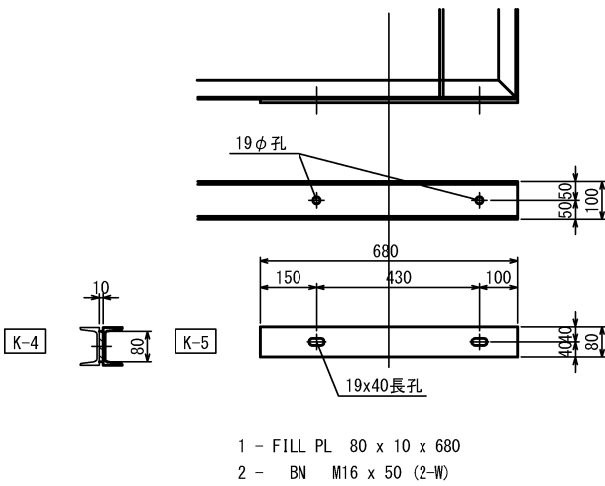


※ 手摺パイプの抜落ち防止のため、パイプ端部が
Uボルトより大きくなるように加工のこと。

ステップ <2> S=1:20



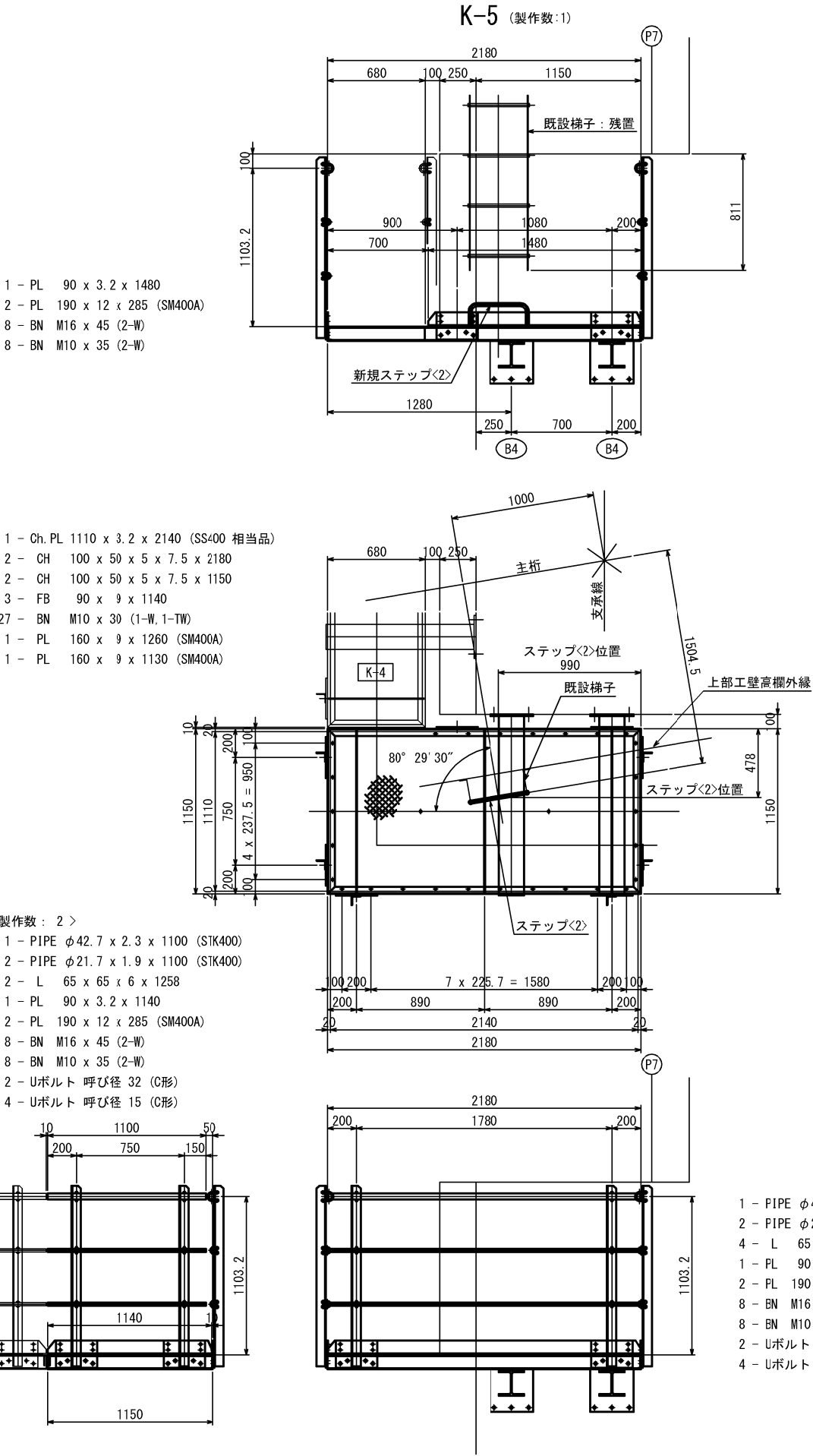
連結部 FILL PL S=1:20



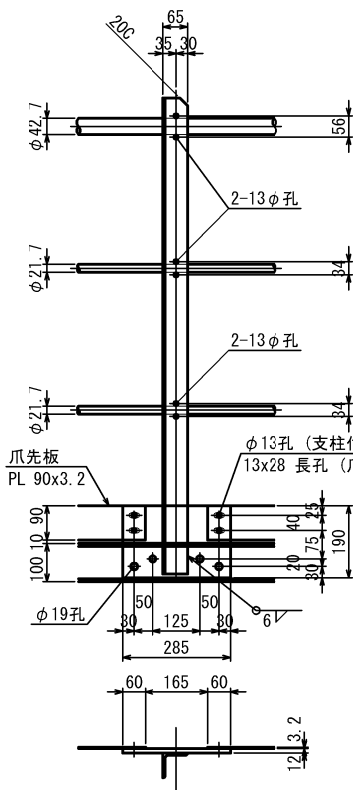
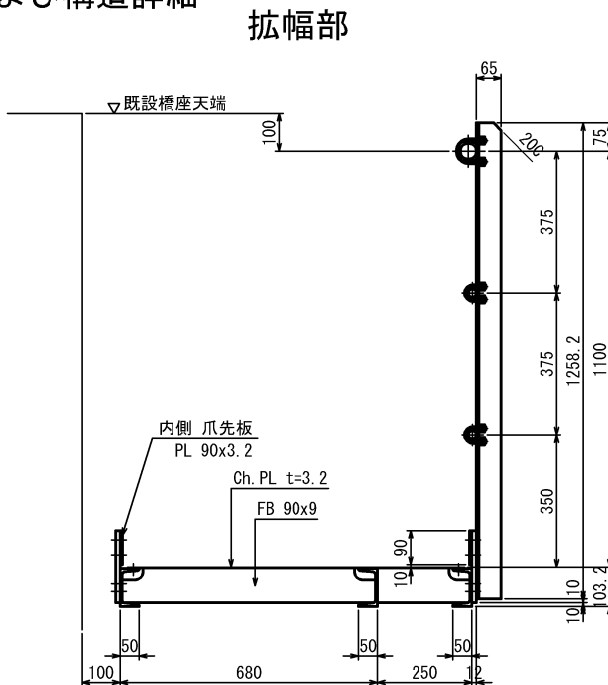
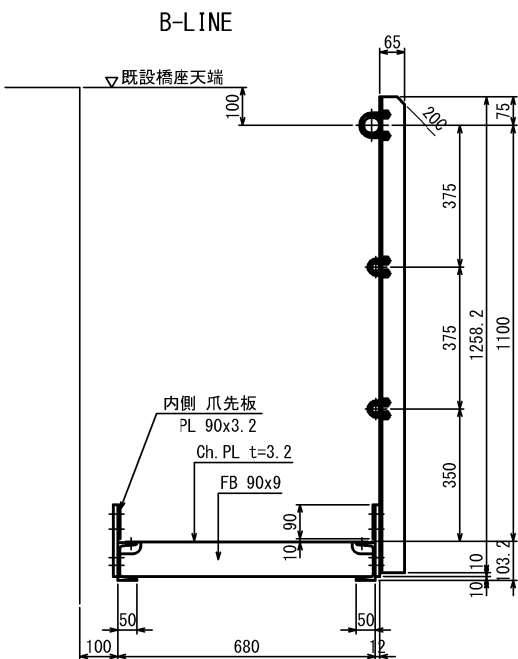
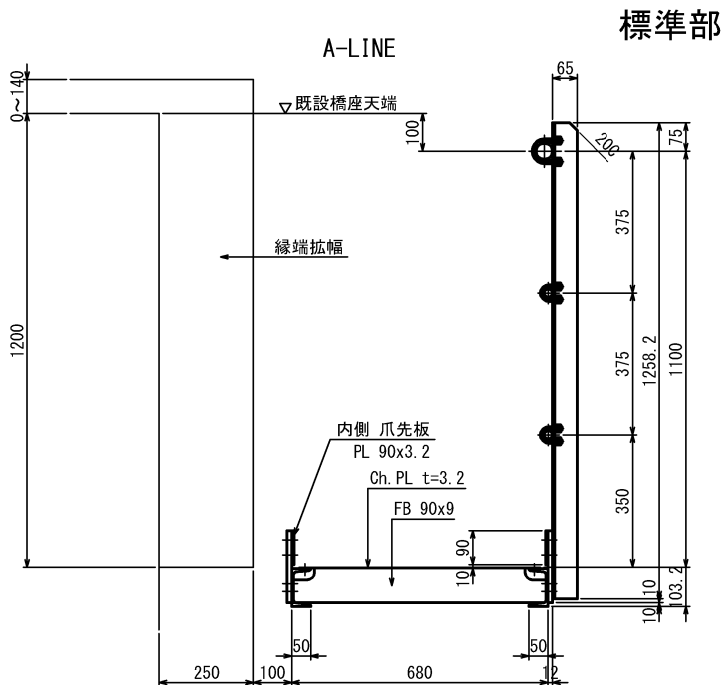
注記

1. 施工に当っては、現地調査を行い再確認すること。
特に鋼板の製作は、再計測後実施すること。
2. 特記なき材質は、全てSS400とする。
3. Uボルト付き(C形)以外のナットは、全て弛み止め
ナットを使用すること。
4. 部材は、全て溶融亜鉛めっきとする。
亜鉛の付着量は、JIS H8641 HDZT77とする。
但し、ボルト・ナット及び厚さ3.2mm未満の部材は、
HDZT49とする。

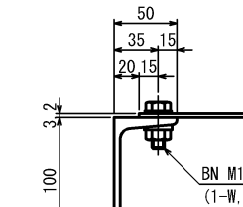
常磐自動車道 久慈川橋耐震補強工事			
図面の種類	久慈川橋 P7 検査路 撤去工・新設工(その8)		
縮 尺	図示	図面番号	27 / 208
設計会社名	株式会社 長 大		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		



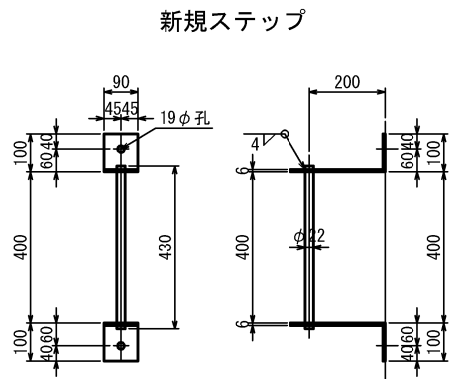
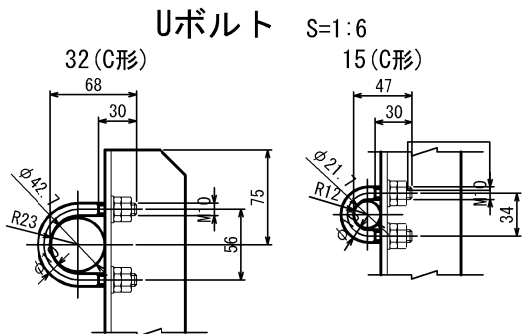
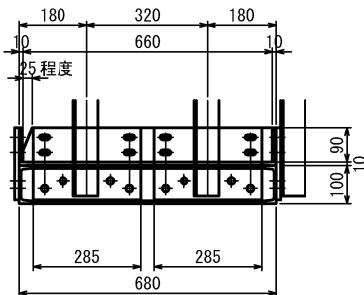
新設図
歩廊断面および構造詳細



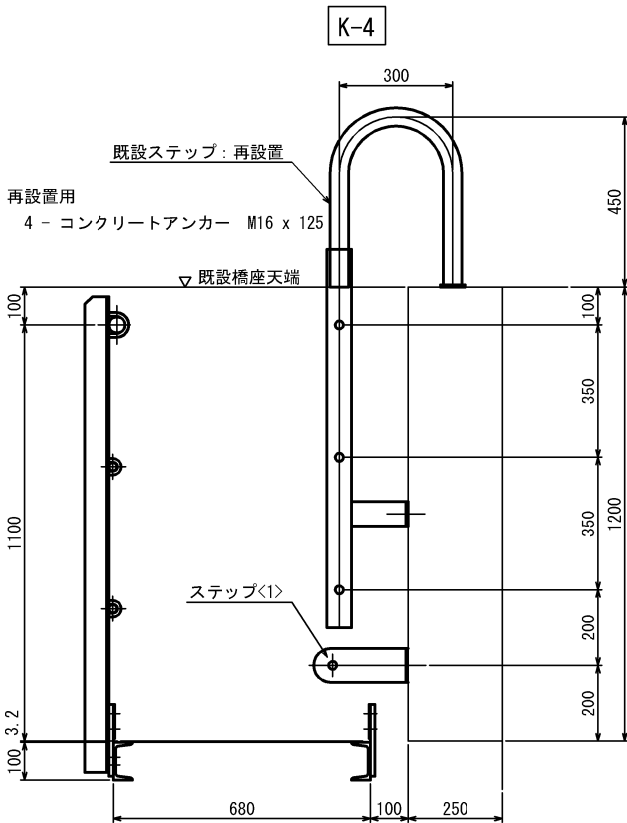
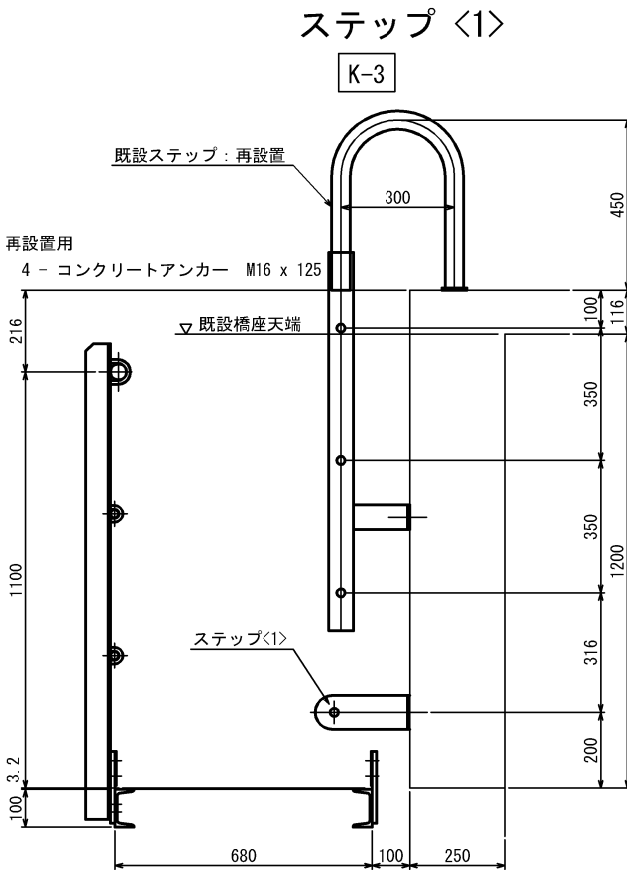
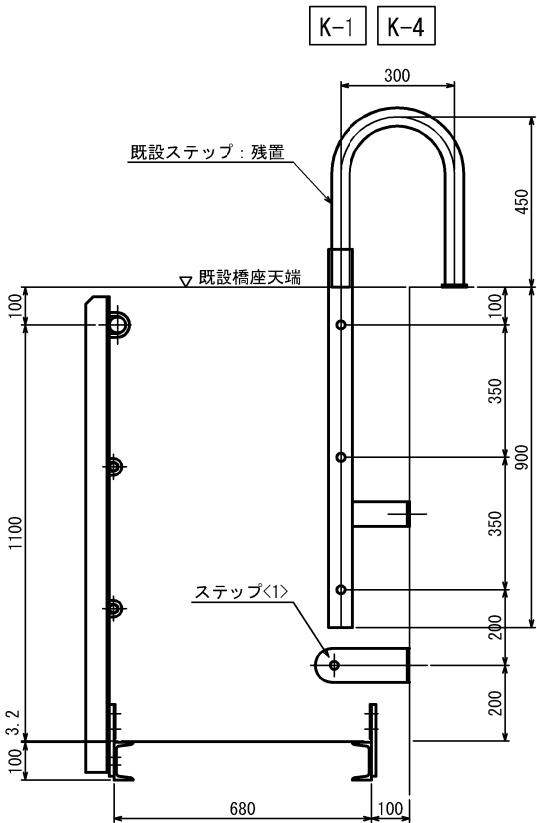
Ch. PLセットボルト S=1:6



爪先板端部



新規ステップ
ステップ<1> : 1ヶ所あたり
4 - RB φ22 x 430
8 - FB 90 x 6 x 300
8 - コンクリートアンカー M16 x 125



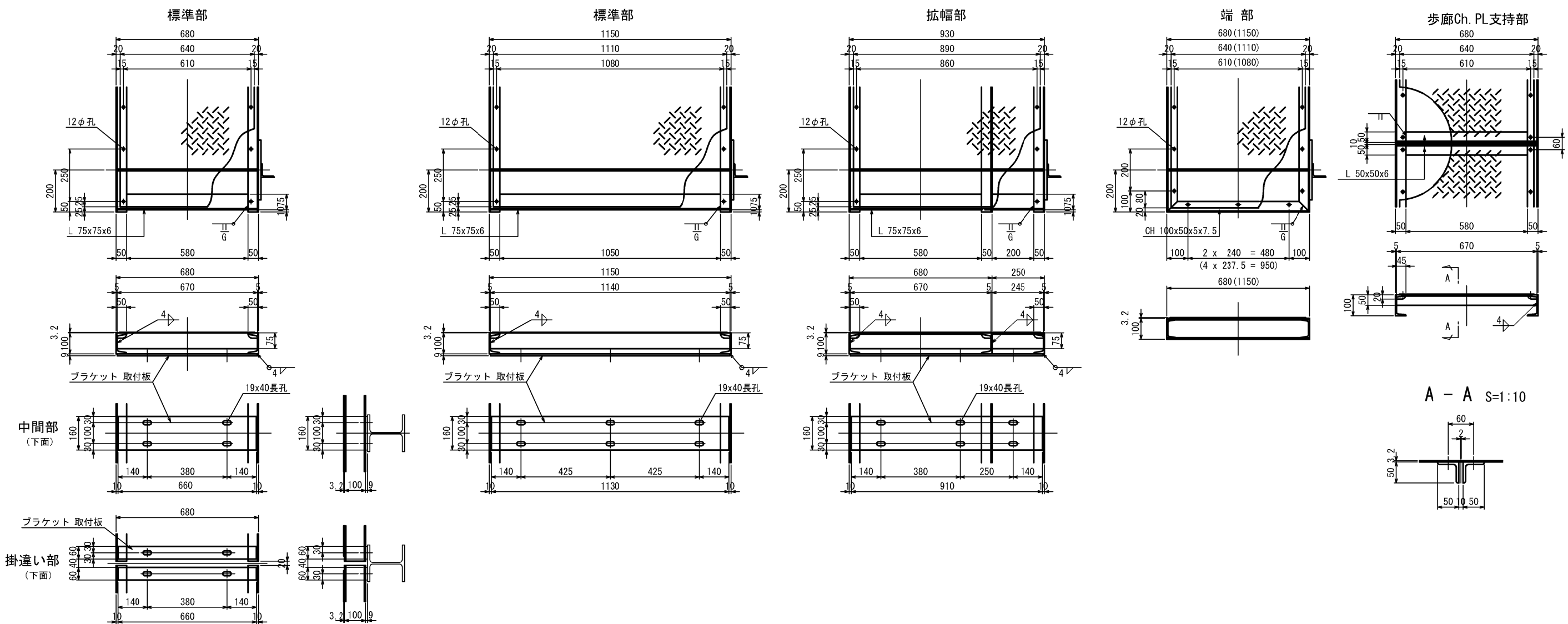
- 注記
1. 施工に当たっては、現地調査を行い再確認すること。
特に鋼板の製作は、再計測後実施すること。
 2. 特記なき材質は、全てSS400とする。
 3. Uボルト付き(C形)以外のナットは、全て弛み止めナットを使用すること。
 4. 部材は、全て溶融亜鉛めっきとする。
亜鉛の付着量は、JIS H8641 HDZT77とする。
但し、ボルト・ナット及び厚さ3.2mm未満の部材は、HDZT49とする。

常磐自動車道 久慈川橋耐震補強工事			
図面の種類	久慈川橋 P7 検査路 撤去工・新設工(その9)		
縮 尺	図示	図面番号	28/208
設計会社名	株式会社 長 大		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

久慈川橋 P7 検査路 撤去工・新設工(その10) S=1:20

新設図

歩廊部詳細

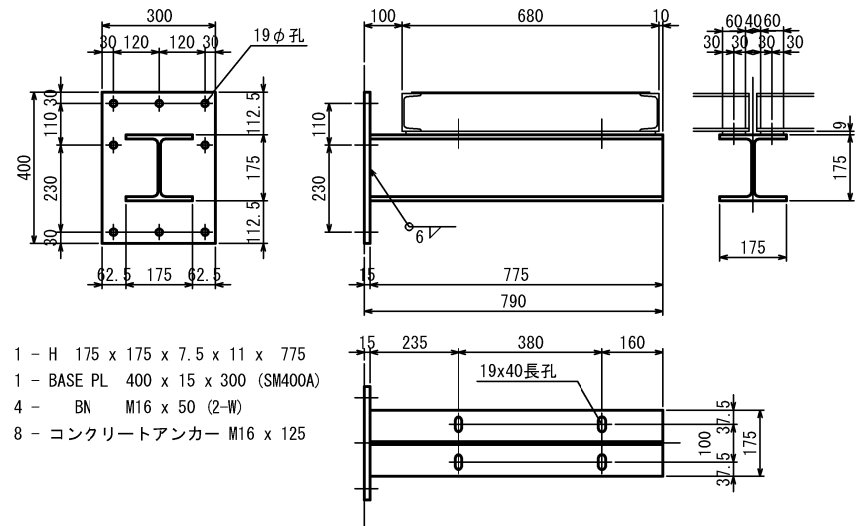


- 注記
1. 施工に当たっては、現地調査を行い再確認すること。
特に鋼板の製作は、再計測後実施すること。
 2. 特記なき材質は、全てSS400とする。
 3. Uボルト付き(C形)以外のナットは、全て弛み止め
ナットを使用すること。
 4. 部材は、全て溶融亜鉛めっきとする。
亜鉛の付着量は、JIS H8641 HDZ77とする。
但し、ボルト・ナット及び厚さ3.2mm未満の部材は、
HDZ49とする。

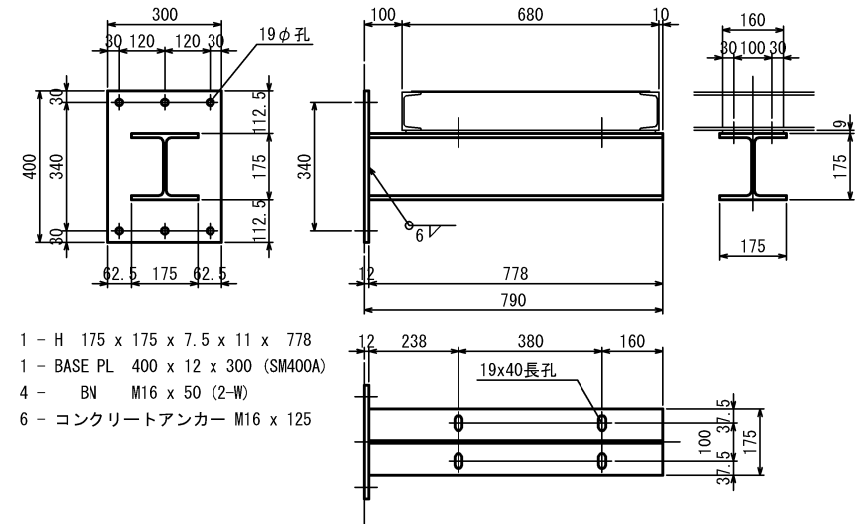
常磐自動車道 久慈川橋耐震補強工事			
図面の種類	久慈川橋 P7 検査路 撤去工・新設工(その10)		
	縮 尺	図示	図面番号 29 / 208
設計会社名	株式会社 長 大		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

新設図
ブラケット詳細

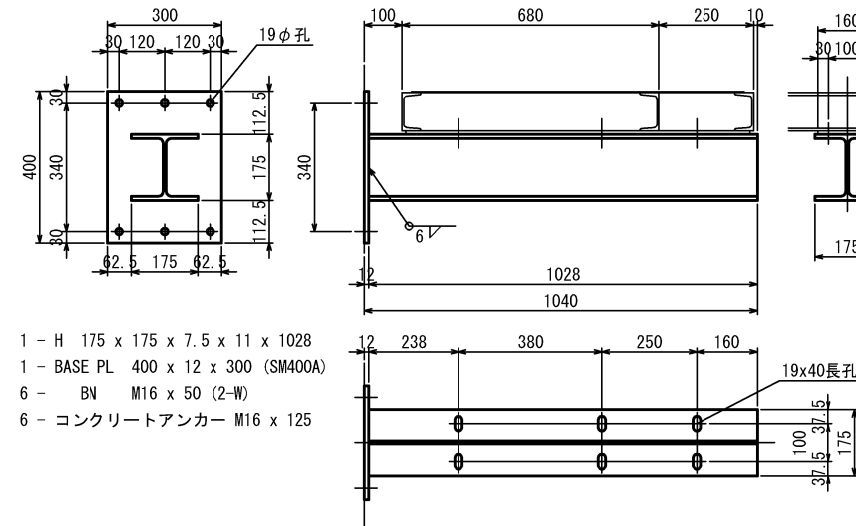
B1 製作数：1



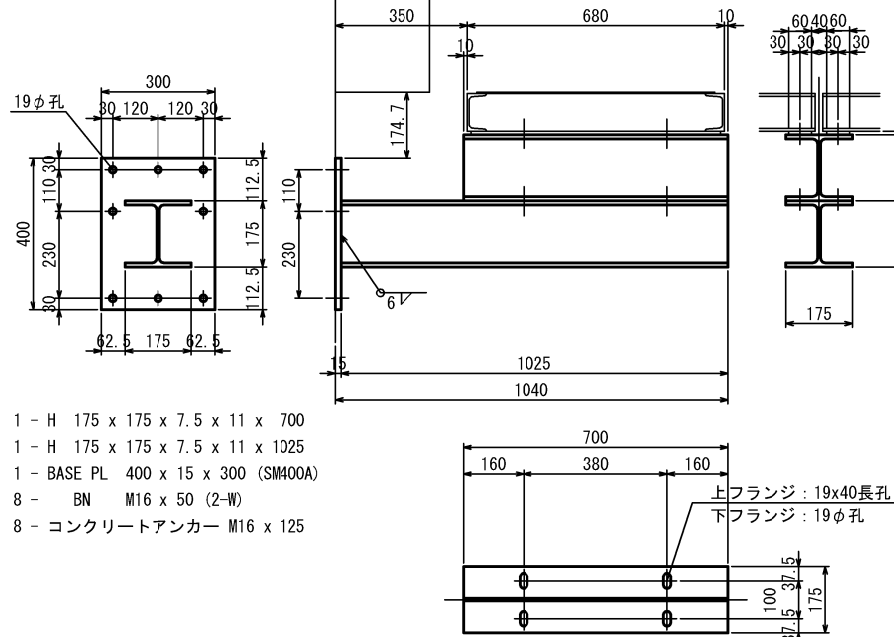
B2 製作数：3



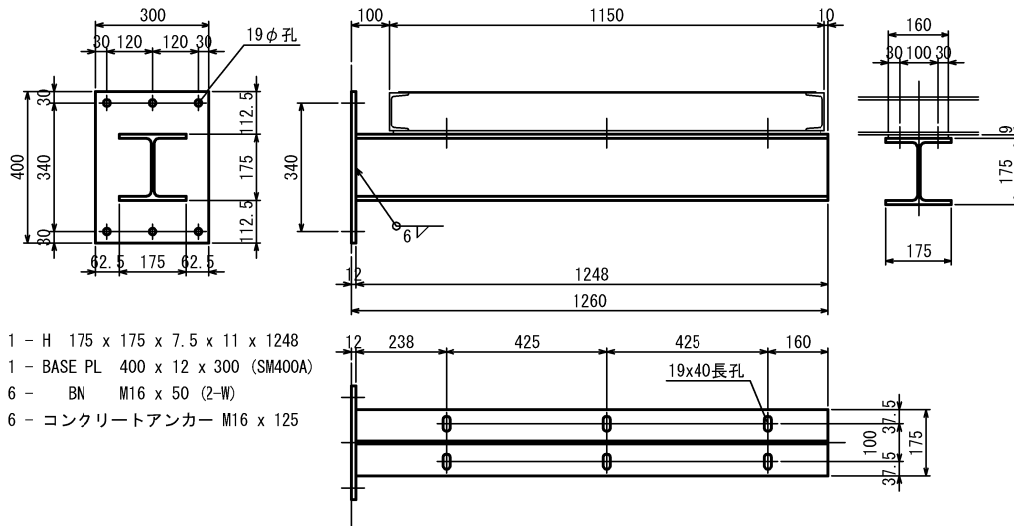
B3 製作数：1



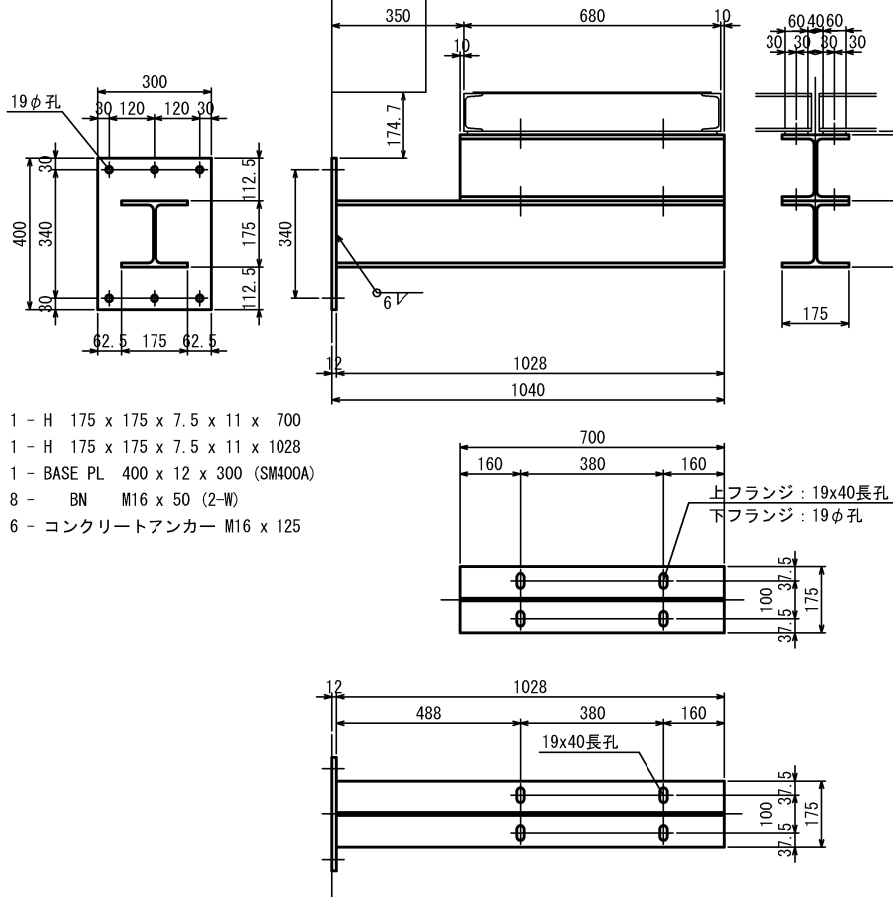
B5 製作数：1



B4 製作数：2

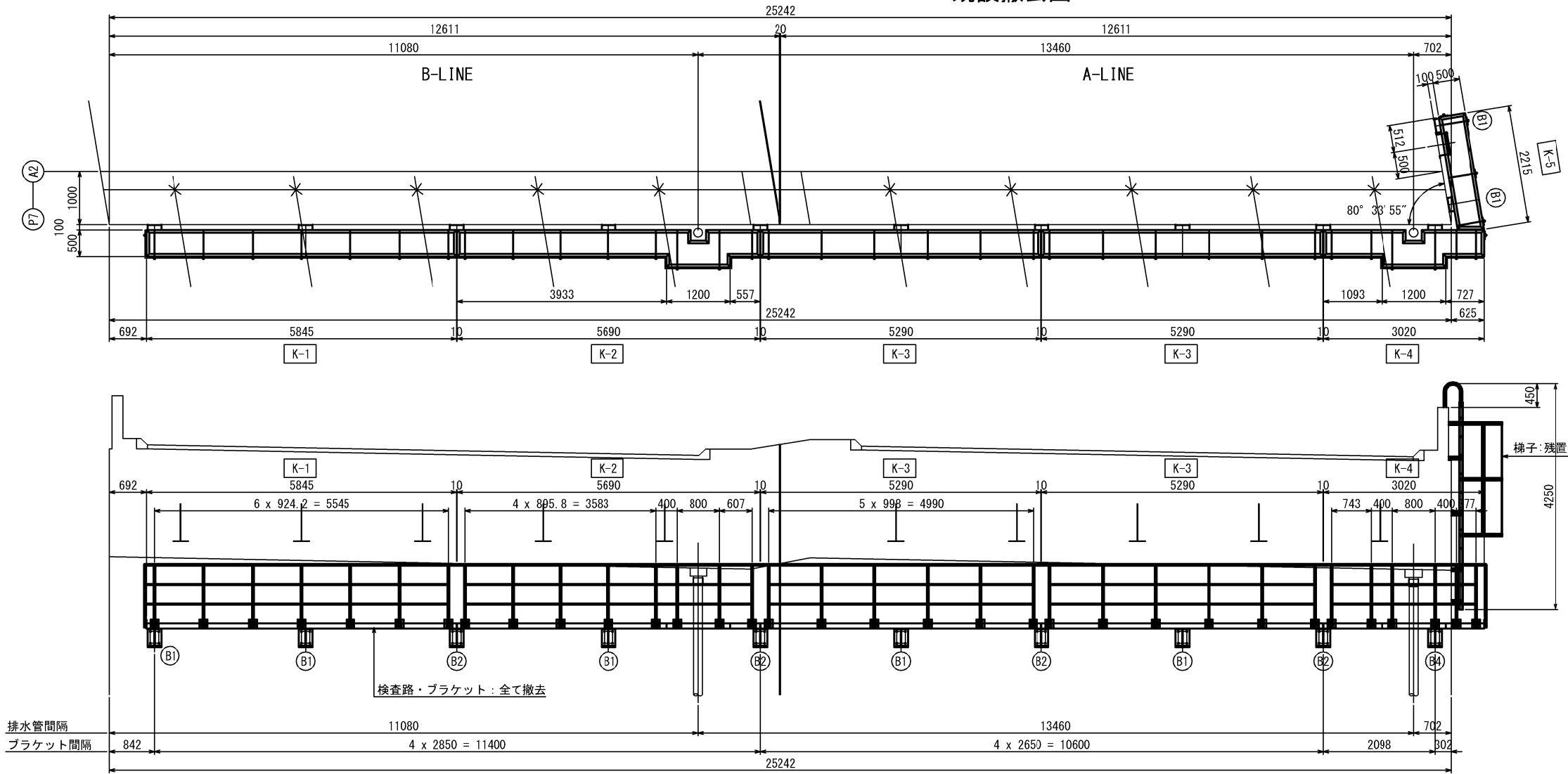


B6 製作数：4

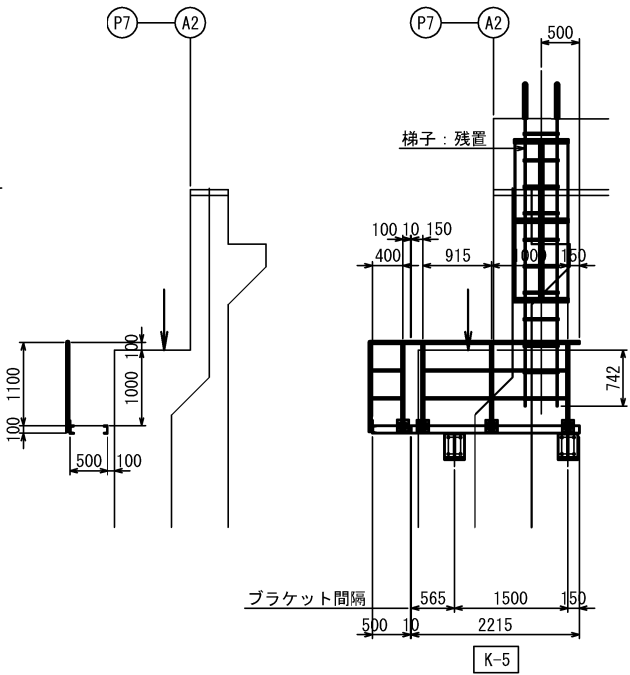


常盤自動車道 久慈川橋耐震補強工事			
図面の種類	久慈川橋 P7 検査路 撤去工・新設工(その 1 1)		
縮 尺	図示	図面番号	30/208
設計会社名	株式会社 長 大		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

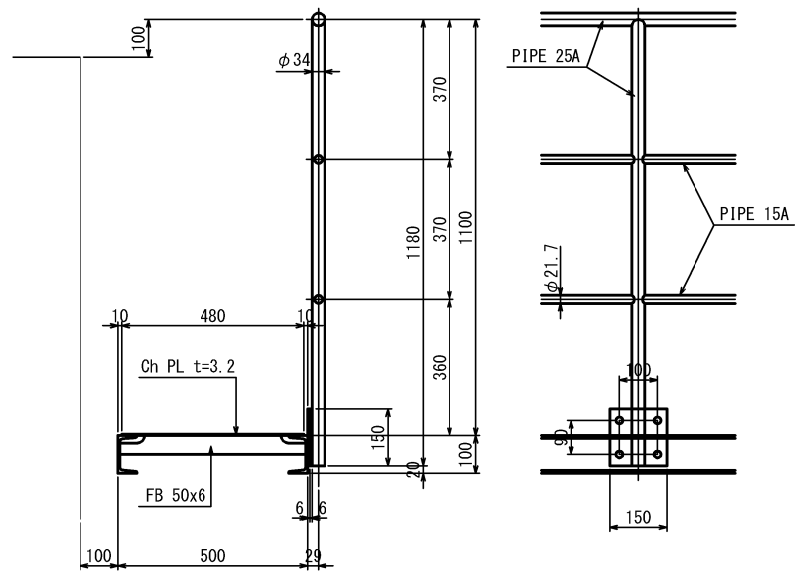
久慈川橋 A2 検査路 撤去工・新設工(その1) S=1:100
既設撤去図



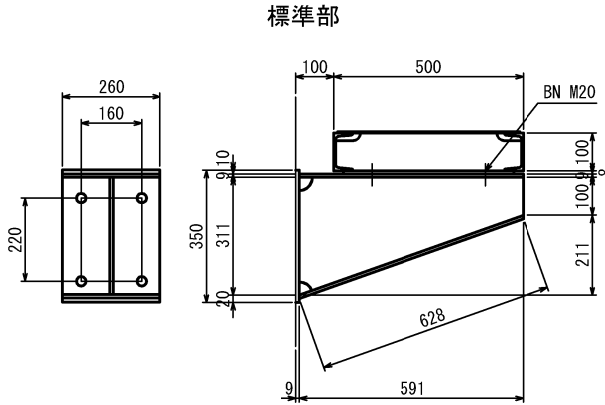
- ＜施工要領＞
1. ブラケットと検査路のセットボルトを外す。
 2. 手摺りを設置したまま歩廊を撤去。
 3. ブラケットコンクリートアンカーのナットのみ外す。
 4. ブラケット撤去、コンクリートアンカー撤去。



歩廊および手摺り S=1:20



ブラケット S=1:20



- 注記
1. 施工に当たっては、現地調査を行い再確認すること。

常磐自動車道 久慈川橋耐震補強工事			
図面の種類	久慈川橋 A2 検査路 撤去工・新設工(その1)		
	縮 尺	図示	図面番号 31 / 208
設計会社名	株式会社 長 大		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

久慈川橋 A2 検査路 撤去工・新設工(その2) S=1:100
既設撤去図

K-1 : 撤去工 (1 組)

1	-	SGP	25A	x	5891	
1	-	SGP	25A	x	546	
8	-	SGP	25A	x	1180	
2	-	SGP	15A	x	177	
2	-	SGP	15A	x	427	
12	-	SGP	15A	x	898	
16	-	PL	150	x	6	x 150
32	-	BN	M16	x	40	
1	-	Ch.PL	480	x	3.2	x 5845
2	-	CH	100	x	50	x 5 x 7.5 x 5845
2	-	CH	100	x	50	x 5 x 7.5 x 500
7	-	FB	50	x	6	x 490
54	-	BN	M8	x	30	(1-W, 1-TW)
2	-	PL	260	x	8	x 500
1	-	PL	100	x	8	x 500

K-2 : 撤去工 (1 組)

1	-	SGP	25A	x	3921	
2	-	SGP	25A	x	234	
1	-	SGP	25A	x	1292	
1	-	SGP	25A	x	545	
8	-	SGP	25A	x	1180	
8	-	SGP	15A	x	870	
2	-	SGP	15A	x	169	
4	-	SGP	15A	x	222	
4	-	SGP	15A	x	227	
2	-	SGP	15A	x	774	
2	-	SGP	15A	x	376	
16	-	PL	150	x	6	x 150
32	-	BN	M16	x	40	
1	-	Ch. PL	480	x	3.2	x 3943
1	-	Ch. PL	480	x	3.2	x 567
1	-	Ch. PL	680	x	3.2	x 1180
1	-	CH	100	x	50	x 5 x 7.5 x 4383
4	-	CH	100	x	50	x 5 x 7.5 x 250
1	-	CH	100	x	50	x 5 x 7.5 x 400
1	-	CH	100	x	50	x 5 x 7.5 x 1007
2	-	CH	100	x	50	x 5 x 7.5 x 500
1	-	CH	100	x	50	x 5 x 7.5 x 3983
1	-	CH	100	x	50	x 5 x 7.5 x 1200
1	-	CH	100	x	50	x 5 x 7.5 x 607
6	-	FB	50	x	6	x 490
2	-	FB	50	x	6	x 690
59	-	BN	M8	x	30	(1-W, 1-TW)
1	-	PL	260	x	8	x 500
2	-	PL	100	x	8	x 500

K-3 : 撤去工 (2 組)

1	-	SGP	25A	x	5290			
6	-	SGP	25A	x	1180			
10	-	SGP	15A	x	972			
12	-	PL	150	x	6	x	150	
24	-	BN	M16	x	40			
1	-	Ch. PL	480	x	3.2	x	5290	
2	-	CH	100	x	50	x	5	x 7.5 x 5290
2	-	CH	100	x	50	x	5	x 7.5 x 500
6	-	FB	50	x	6	x	490	
56	-	BN	M8	x	30	(1-W, 1-TW)		
1	-	PL	260	x	8	x	500	
2	-	PL	100	x	8	x	500	

K-4 : 撤去工 (1 組)

1	-	SGP	25A	x	1081	
2	-	SGP	25A	x	234	
1	-	SGP	25A	x	1292	
1	-	SGP	25A	x	761	
1	-	SGP	25A	x	546	
7	-	SGP	25A	x	1180	
2	-	SGP	15A	x	717	
4	-	SGP	15A	x	169	
4	-	SGP	15A	x	222	
4	-	SGP	15A	x	227	
2	-	SGP	15A	x	774	
2	-	SGP	15A	x	351	
2	-	SGP	15A	x	177	
2	-	SGP	15A	x	427	
14	-	PL	150	x	6	x 150
28	-	BN	M16	x	40	
1	-	Ch. PL	480	x	3.2	x 1103
1	-	Ch. PL	480	x	3.2	x 737
1	-	Ch. PL	680	x	3.2	x 1180
1	-	CH	100	x	50	x 5 x 7.5 x 1543
4	-	CH	100	x	50	x 5 x 7.5 x 250
1	-	CH	100	x	50	x 5 x 7.5 x 400
1	-	CH	100	x	50	x 5 x 7.5 x 1177
2	-	CH	100	x	50	x 5 x 7.5 x 500
1	-	CH	100	x	50	x 5 x 7.5 x 1143
1	-	CH	100	x	50	x 5 x 7.5 x 1200
1	-	CH	100	x	50	x 5 x 7.5 x 777
5	-	FB	50	x	6	x 490
1	-	FB	50	x	6	x 690
35	-	BN	M8	x	30	(1-W, 1-TW)
1	-	PL	100	x	8	x 500
1	-	PL	260	x	8	x 700

K-5 : 撤去工 (1 組)

1	-	SGP	25A	x	2251	
1	-	SGP	25A	x	546	
4	-	SGP	25A	x	1180	
2	-	SGP	15A	x	889	
2	-	SGP	15A	x	974	
2	-	SGP	15A	x	177	
2	-	SGP	15A	x	427	
8	-	PL	150	x	6	x 150
16	-	BN	M16	x	40	
1	-	Ch.PL	480	x	3.2	x 2213
1	-	CH	100	x	50	x 5 x 7.5 x 2215
1	-	CH	100	x	50	x 5 x 7.5 x 2140
1	-	CH	100	x	50	x 5 x 7.5 x 500
1	-	CH	100	x	50	x 5 x 7.5 x 507
3	-	FB	50	x	6	x 490
22	-	BN	M8	x	30	(1-W, 1-TW)
2	-	PL	260	x	8	x 500

ブラケット

⑧1 : 撤去工 (7 組)

1	-	PL	260	x	10	x	350
1	-	PL	260	x	9	x	590
1	-	PL	260	x	9	x	627
1	-	PL	311	x	9	x	590
4	-	BN	M20	x	50		
4	-	コンクリートアンカー M16					

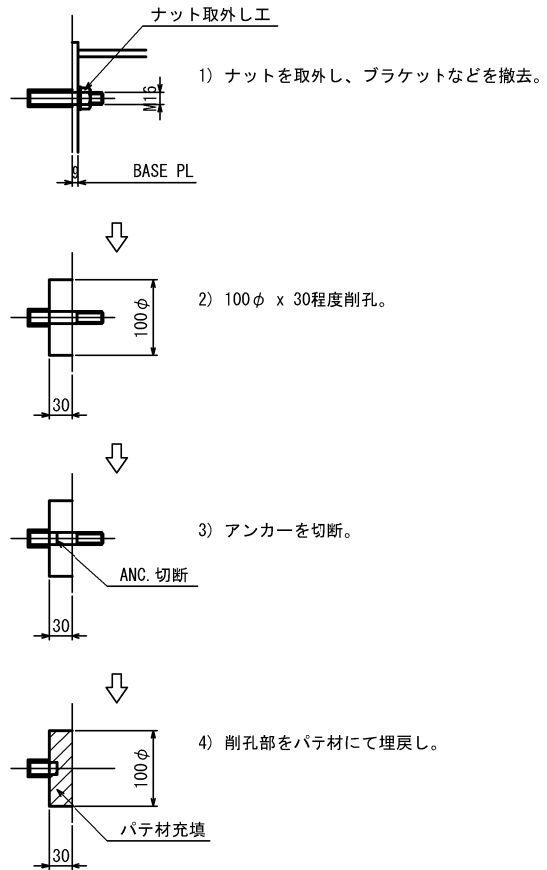
⑧2 : 撤去工 (4 組)

1	-	PL	260	x	10	x	350
1	-	PL	260	x	9	x	590
1	-	PL	260	x	9	x	627
1	-	PL	311	x	9	x	590
4	-	BN	M20	x	50		
4	-	コンクリートアンカー M16					

⑧4 : 撤去工 (1 組)

1	-	PL	260	x	10	x	350
1	-	PL	260	x	9	x	790
1	-	PL	260	x	9	x	818
1	-	PL	311	x	9	x	790
4	-	BN	M20	x	50		
4	-	コンクリートアンカー M16					

コンクリートアンカー撤去工



撤去本数

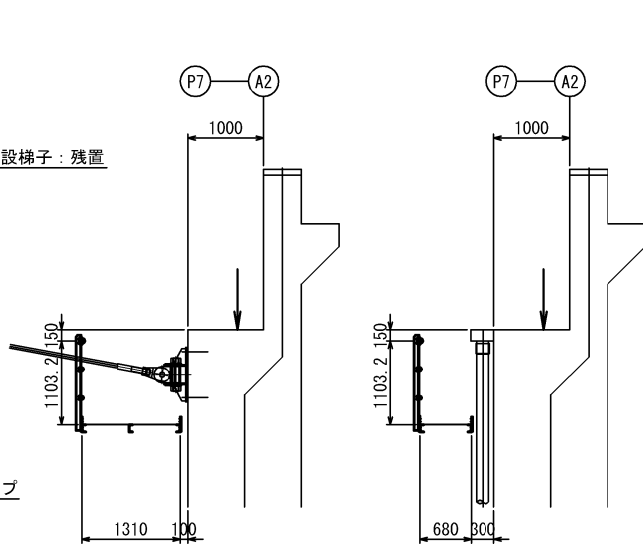
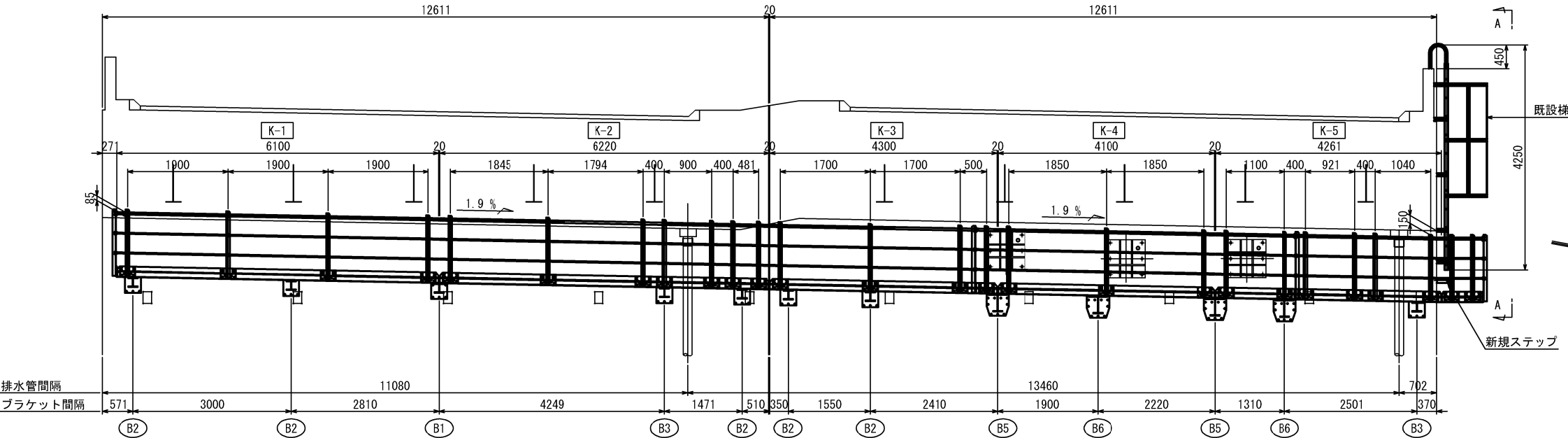
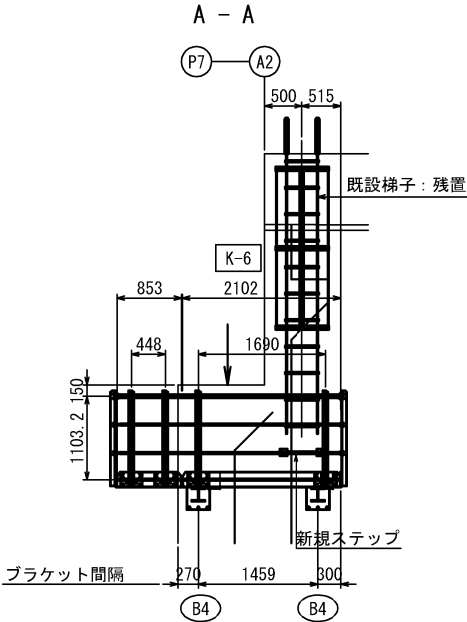
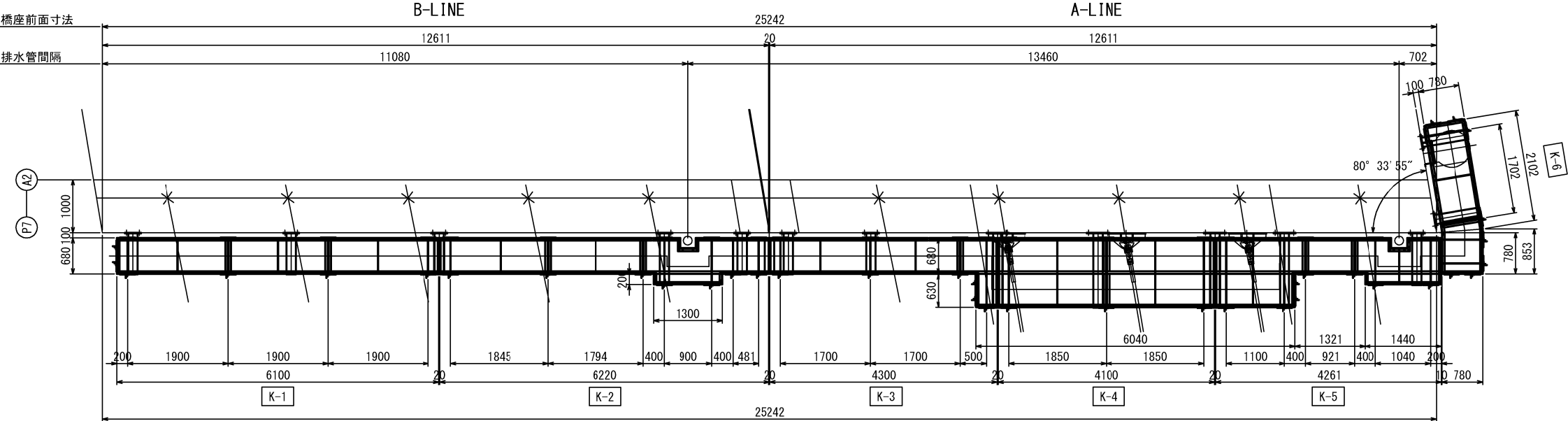
	基数	ANC. 本数	計
ブラケット	12	4	48
ステップ	-	-	-
計			48

注記

1. 施工に当っては、現地調査を行い再確認すること。
2. 特記なき材質は、SS400とする。

常磐自動車道 久慈川橋耐震補強工事			
図面の種類	久慈川橋 A2 検査路 撤去工・新設工(その2)		
縮 尺	図示	図面番号	32／208
設計会社名	株式会社 長 大		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

久慈川橋 A2 検査路 撤去工・新設工(その3) S=1:100
新 設 図

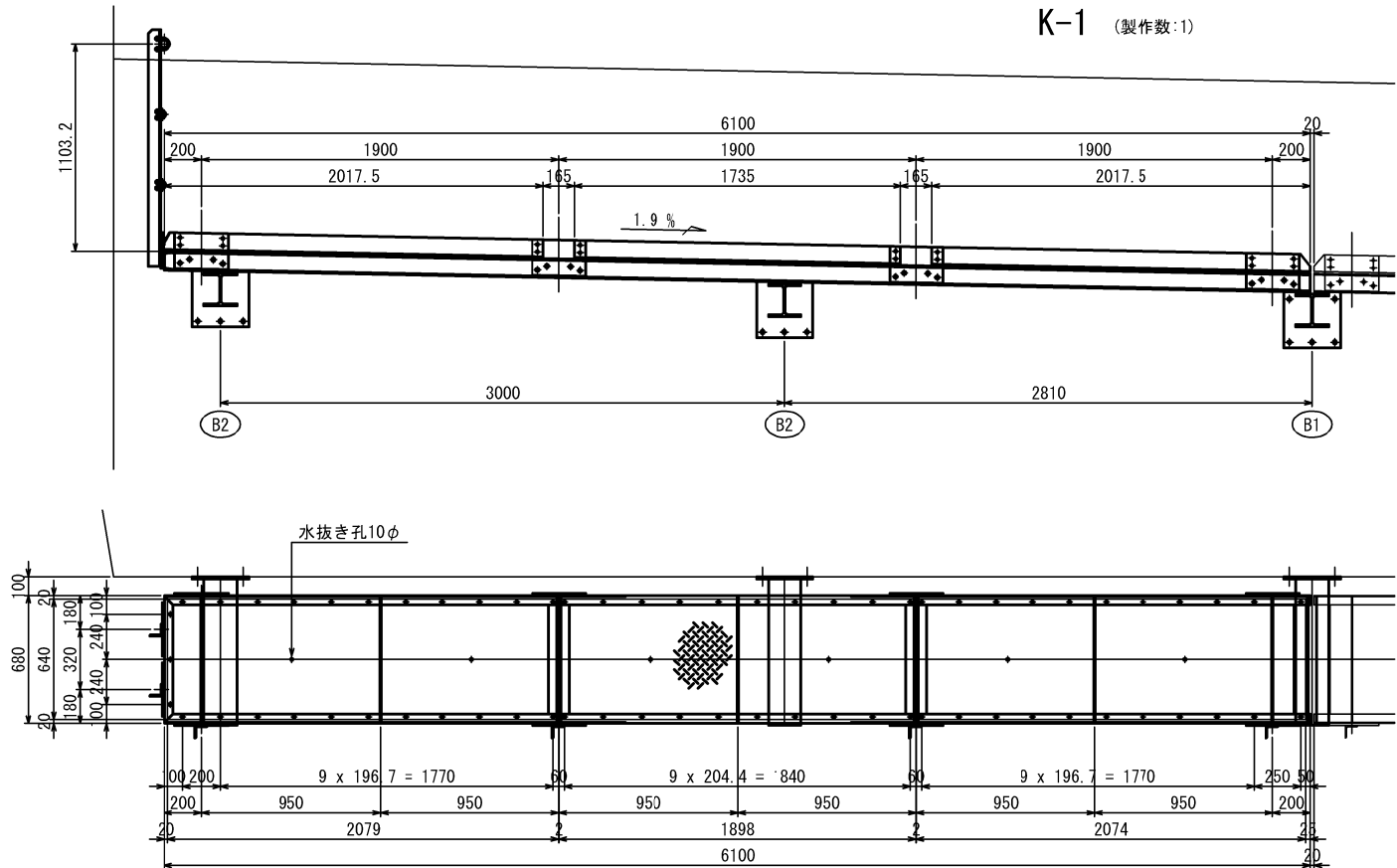


注記
1. 施工に当っては、現地調査を行い再確認すること。

常磐自動車道 久慈川橋耐震補強工事			
図面の種類	久慈川橋 A2 検査路 撤去工・新設工(その3)		
縮 尺	図示	図面番号	33 / 208
設計会社名	株式会社 長 大		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

新 設 図

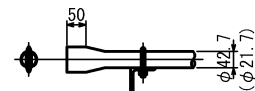
K-1 （製作数：1）



- 1 - PL 90 x 3.2 x 2018
- 1 - PL 90 x 3.2 x 1735
- 1 - PL 90 x 3.2 x 2020
- 4 - PL 190 x 12 x 289 (SM400A)
- 16 - BN M16 x 45 (2-W)
- 16 - BN M10 x 35 (2-W)

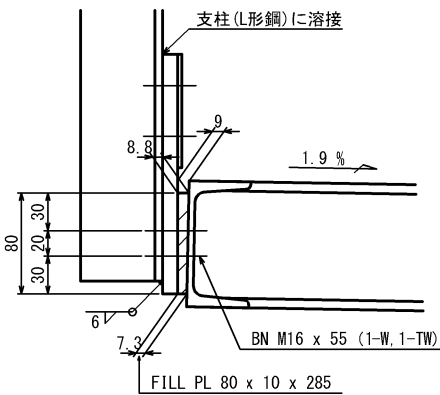
- 1 - Ch. PL 640 x 3.2 x 2079 (SS400 相当品)
- 1 - Ch. PL 640 x 3.2 x 1898 (SS400 相当品)
- 1 - Ch. PL 640 x 3.2 x 2074 (SS400 相当品)
- 2 - CH 100 x 50 x 5 x 7.5 x 6101
- 1 - CH 100 x 50 x 5 x 7.5 x 680
- 1 - L 75 x 75 x 6 x 670
- 4 - L 50 x 50 x 6 x 670
- 5 - FB 90 x 9 x 670
- 67 - BN M10 x 30 (1-W, 1-TW)
- 2 - PL 160 x 12 x 660 (SM400A)
- 1 - PL 60 x 12 x 660 (SM400A)

手摺り端部処理

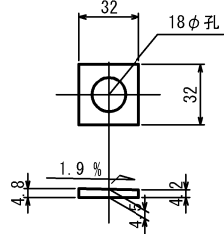


※ 手摺パイプの抜け防止のため、パイプ端部が
Uボルトより大きくなるように加工のこと。

支柱取付け部 S=1:6
(a部)



テーパーワッシャー S=1:4
(BN M16用)

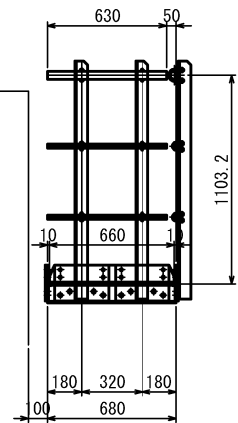


1 - WASHER PL 32 x 6 x 32

注記

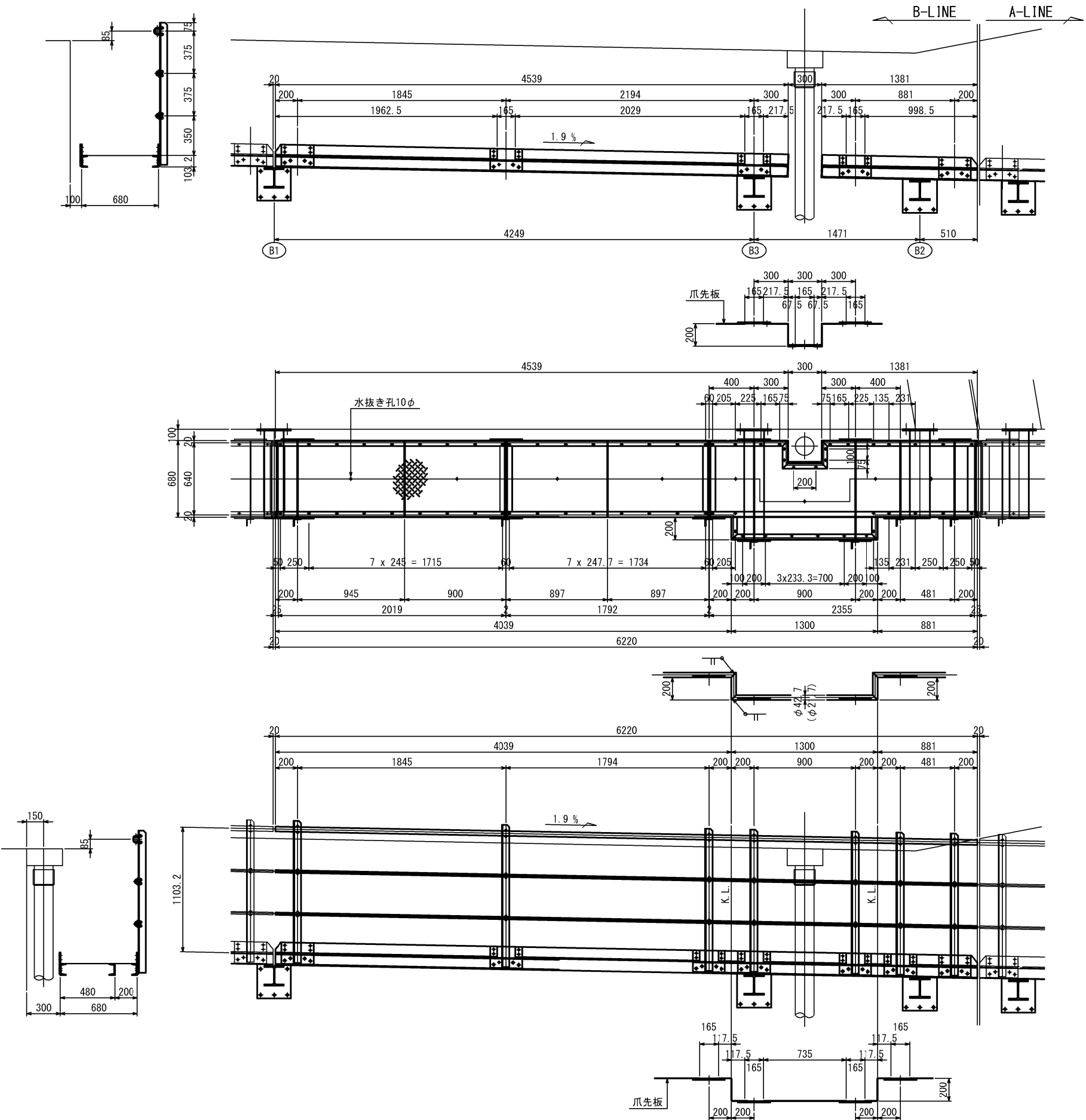
1. 施工に当っては、現地調査を行い再確認すること。
特に鋼板の製作は、再計測後実施すること。
2. 特記なき材質は、全てSS400とする。
3. Uボルト付き(C形)以外のナットは、全て弛み止め
ナットを使用すること。
4. 部材は、全て溶融亜鉛めっきとする。
亜鉛の付着量は、JIS H8641 HDZT77とする。
但し、ボルト・ナット及び厚さ3.2mm未満の部材は、
HDZT49とする。

常磐自動車道 久慈川橋耐震補強工事			
図面の種類	久慈川橋 A2 検査路 撤去工・新設工（その4）		
	縮 尺	図示	図面番号 34 / 208
設計会社名	株式会社 長 大		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

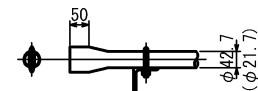


- 1 - PIPE φ42.7 x 2.3 x 630 (STK400)
- 2 - PIPE φ21.7 x 1.9 x 630 (STK400)
- 2 - L 65 x 65 x 6 x 1258
- 1 - PL 90 x 3.2 x 660
- 2 - PL 190 x 12 x 285 (SM400A)
- 2 - FILL PL 80 x 10 x 285
- 8 - BN M16 x 55 (1-W)
- 8 - WASHER PL 32 x 6 x 32
- 8 - BN M10 x 35 (2-W)
- 2 - Uボルト 呼び径 32 (C形)
- 4 - Uボルト 呼び径 15 (C形)

新設図
K-2 (製作数:1)



手摺り端部処理



※ 手摺パイプの抜落ち防止のため、パイプ端部が
Uボルトより大きくなるように加工のこと。

爪先板の曲げ加工



- 1 - PL 90 x 3.2 x 1963
- 1 - PL 90 x 3.2 x 2031
- 2 - PL 90 x 3.2 x 485
- 1 - PL 90 x 3.2 x 1000
- 6 - PL 190 x 12 x 289 (SM400A)
- 24 - BN M'6 x 45 (2-W)
- 24 - BN M'0 x 35 (2-W)

- 1 - Ch.PL 640 x 3.2 x 2019 (SS400 相当品)
- 1 - Ch.PL 840 x 3.2 x 1792 (SS400 相当品)
- 1 - Ch.PL 840 x 3.2 x 2355 (SS400 相当品)
- 1 - CH 100 x 50 x 5 x 7.5 x 4540
- 2 - CH 100 x 50 x 5 x 7.5 x 250
- 1 - CH 100 x 50 x 5 x 7.5 x 400
- 1 - CH 100 x 50 x 5 x 7.5 x 1381
- 1 - CH 100 x 50 x 5 x 7.5 x 6220
- 2 - CH 100 x 50 x 5 x 7.5 x 200
- 1 - CH 100 x 50 x 5 x 7.5 x 1300
- 2 - L 75 x 75 x 6 x 670
- 4 - L 50 x 50 x 6 x 670
- 7 - FB 90 x 9 x 670
- 2 - FB 90 x 9 x 195
- 66 - BN M10 x 30 (1-W, 1-TW)
- 1 - PL 160 x 12 x 660 (SM400A)
- 1 - PL 160 x 12 x 660 (SM400A)
- 1 - PL 60 x 10 x 660 (SM400A)

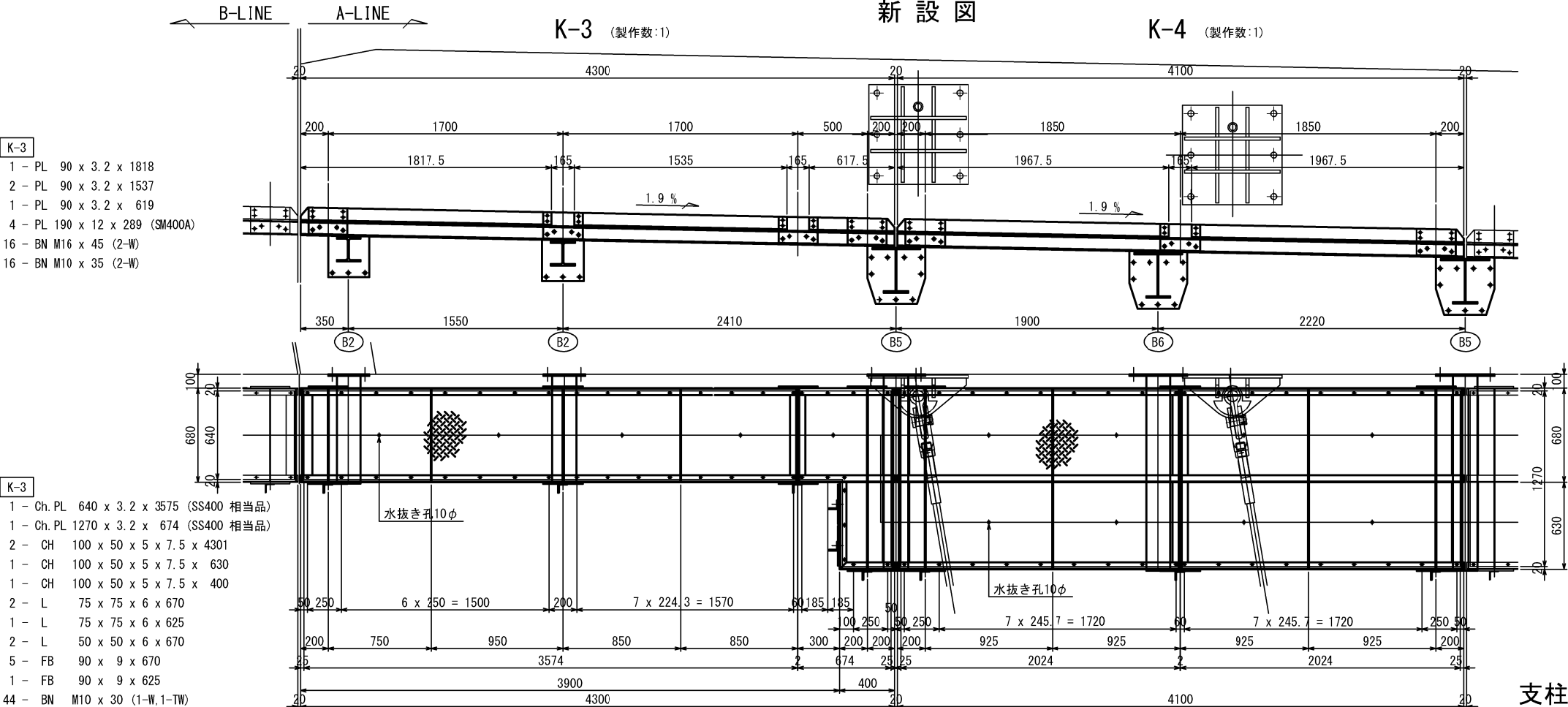
- 1 - PIPE φ42.7 x 2.3 x 4082 (STK400)
- 2 - PIPE φ42.7 x 2.3 x 243 (STK400)
- 1 - PIPE φ42.7 x 2.3 x 1300 (STK400)
- 1 - PIPE φ42.7 x 2.3 x 924 (STK400)
- 2 - PIPE φ21.7 x 1.9 x 4061 (STK400)
- 4 - PIPE φ21.7 x 1.9 x 222 (STK400)
- 2 - PIPE φ21.7 x 1.9 x 1300 (STK400)
- 2 - PIPE φ21.7 x 1.9 x 903 (STK400)
- 7 - L 65 x 65 x 6 x 1258
- 1 - PL 90 x 3.2 x 1963
- 1 - PL 90 x 3.2 x 1631
- 2 - PL 90 x 3.2 x 435
- 1 - PL 90 x 3.2 x 737
- 1 - PL 90 x 3.2 x 600
- 7 - PL 190 x 12 x 289 (SM400A)
- 28 - BN M'6 x 45 (2-W)
- 28 - BN M'0 x 35 (2-W)
- 7 - Uボルト 呼び径 32 (C形)
- 14 - Uボルト 呼び径 15 (C形)

注記

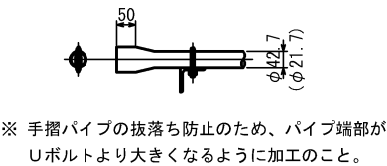
1. 施工に当たっては、現地調査を行い再確認すること。
特に鋼板の製作は、再計測後実施すること。
2. 特記なき材質は、全てSS400とする。
3. Uボルト付き(C形)以外のナットは、全て弛み止め
ナットを使用すること。
4. 部材は、全て溶融亜鉛めっきとする。
亜鉛の付着量は、JIS H8641 HDZT77とする。
但し、ボルト・ナット及び厚さ3.2mm未満の部材は、
HDZT49とする。

常磐自動車道 久慈川橋耐震補強工事			
図面の種類	久慈川橋		
	A2 検査路 撤去工・新設工 (その5)		
縮 尺	図示	図面番号	35 / 208
設計会社名	株式会社 長 大		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

新設図



手摺り端部処理

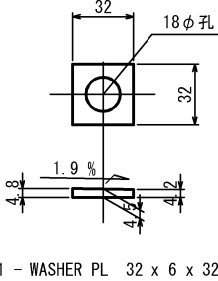
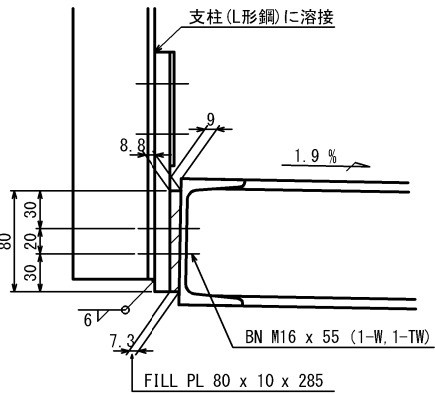


爪先板の曲げ加工



支柱取付け部 S=1:6
(a部)

テーパワッシャー S=1:4
(BN M16用)



注記

1. 施工に当っては、現地調査を行い再確認すること。
特に鋼板の製作は、再計測後実施すること。
2. 特記なき材質は、全てSS400とする。
3. Uボルト付き(C形)以外のナットは、全て弛み止め
ナットを使用すること。
4. 部材は、全て溶融亜鉛めっきとする。
亜鉛の付着量は、JIS H8641 HDZT77とする。
但し、ボルト・ナット及び厚さ3.2mm未満の部材は、
HDZT49とする。

常磐自動車道 久慈川橋耐震補強工事			
図面の種類	久慈川橋		
	A2 検査路 撤去工・新設工（その6）		
縮 尺	図示	図面番号	36 / 208
設計会社名	株式会社 長 大		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

新 設 図

K-5 (製作数:1)

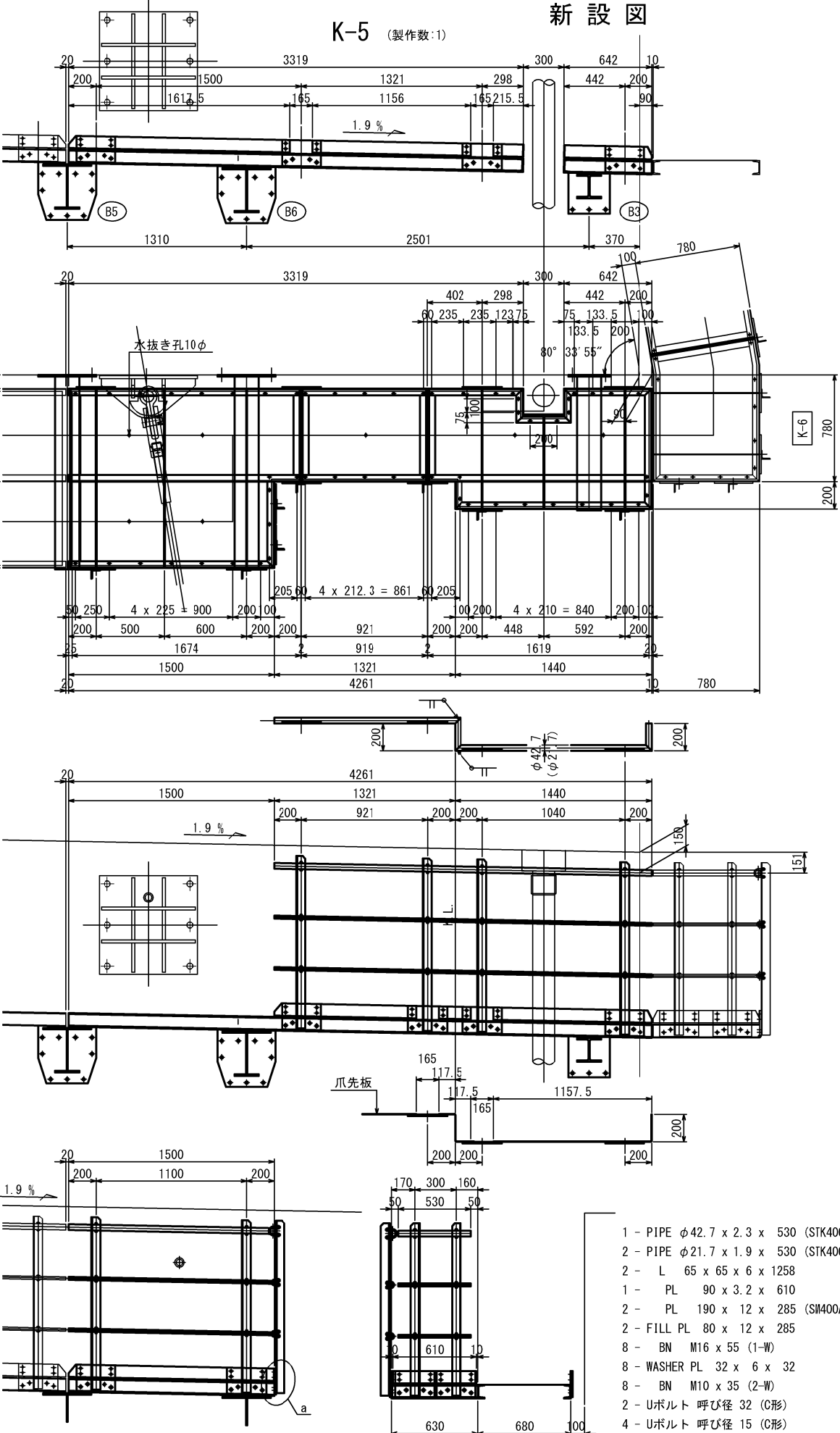
- 1 - PL 90 x 3.2 x 1618
- 1 - PL 90 x 3.2 x 1158
- 1 - PL 90 x 3.2 x 485
- 1 - PL 90 x 3.2 x 911
- 5 - PL 190 x 12 x 289 (SM400A)
- 20 - BN M16 x 45 (2-W)
- 20 - BN M10 x 35 (2-W)

- 1 - Ch.PL 1270 x 3.2 x 1674 (SS400 相当品)
- 1 - Ch.PL 640 x 3.2 x 919 (SS400 相当品)
- 1 - Ch.PL 840 x 3.2 x 1619 (SS400 相当品)
- 1 - Ch 100 x 50 x 5 x 7.5 x 3320
- 2 - Ch 100 x 50 x 5 x 7.5 x 250
- 1 - Ch 100 x 50 x 5 x 7.5 x 400
- 1 - Ch 100 x 50 x 5 x 7.5 x 642
- 1 - Ch 100 x 50 x 5 x 7.5 x 4257
- 1 - Ch 100 x 50 x 5 x 7.5 x 1500
- 1 - Ch 100 x 50 x 5 x 7.5 x 630
- 1 - Ch 100 x 50 x 5 x 7.5 x 200
- 1 - Ch 100 x 50 x 5 x 7.5 x 1440
- 1 - Ch 100 x 50 x 5 x 7.5 x 880
- 1 - L 75 x 75 x 6 x 670
- 1 - L 75 x 75 x 6 x 625
- 4 - L 50 x 50 x 6 x 670
- 5 - FE 90 x 9 x 670
- 1 - FE 90 x 9 x 470
- 3 - FE 90 x 9 x 625
- 3 - FE 90 x 9 x 195
- 56 - BN M10 x 30 (1-W, 1-TW)
- 1 - PL 160 x 12 x 1290 (SM400A)
- 1 - PL 60 x 10 x 1290 (SM400A)
- 1 - PL 160 x 12 x 860 (SM400A)

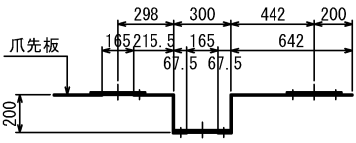
- 1 - PIPE φ42.7 x 2.3 x 1364 (STK400)
- 1 - PIPE φ42.7 x 2.3 x 243 (STK400)
- 1 - PIPE φ42.7 x 2.3 x 1440 (STK400)
- 1 - PIPE φ42.7 x 2.3 x 200 (STK400)
- 2 - PIPE φ21.7 x 1.9 x 1343 (STK400)
- 2 - PIPE φ21.7 x 1.9 x 222 (STK400)
- 2 - PIPE φ21.7 x 1.9 x 1440 (STK400)
- 2 - PIPE φ21.7 x 1.9 x 200 (STK400)
- 4 - L 65 x 65 x 6 x 1258
- 1 - PL 90 x 3.2 x 1039
- 1 - PL 90 x 3.2 x 435
- 1 - PL 90 x 3.2 x 1359
- 4 - PL 190 x 12 x 289 (SM400A)
- 16 - BN M16 x 45 (2-W)
- 16 - BN M10 x 35 (2-W)
- 4 - Uボルト 呼び径 32 (C形)
- 8 - Uボルト 呼び径 15 (C形)

- 1 - PIPE φ42.7 x 2.3 x 1500 (STK400)
- 2 - PIPE φ21.7 x 1.9 x 1500 (STK400)
- 2 - L 65 x 65 x 6 x 1258
- 1 - PL 90 x 3.2 x 1500
- 2 - PL 190 x 12 x 289 (SM400A)
- 8 - BN M16 x 45 (2-W)
- 8 - BN M10 x 35 (2-W)
- 2 - Uボルト 呼び径 32 (C形)
- 4 - Uボルト 呼び径 15 (C形)

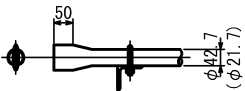
- 1 - PIPE φ42.7 x 2.3 x 530 (STK400)
- 2 - PIPE φ21.7 x 1.9 x 530 (STK400)
- 2 - L 65 x 65 x 6 x 1258
- 1 - PL 90 x 3.2 x 610
- 2 - PL 190 x 12 x 285 (SM400A)
- 2 - FILL PL 80 x 12 x 285
- 8 - BN M16 x 55 (1-W)
- 8 - WASHER PL 32 x 6 x 32
- 8 - BN M10 x 35 (2-W)
- 2 - Uボルト 呼び径 32 (C形)
- 4 - Uボルト 呼び径 15 (C形)



排水管位置の爪先板

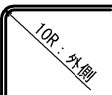


手摺り端部処理

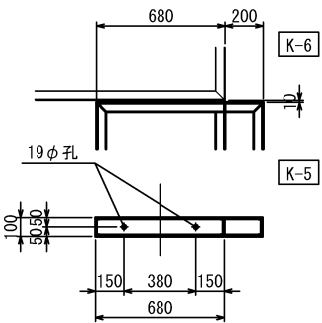


※ 手摺パイプの抜け防止のため、パイプ端部が
Uボルトより大きくなるように加工のこと。

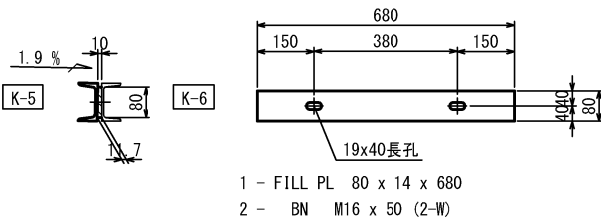
爪先板の曲げ加工



検査路 連結ボルト

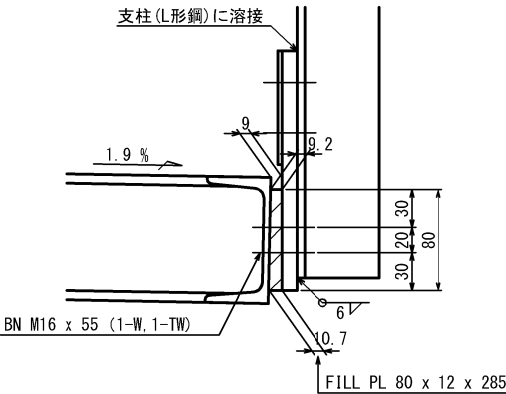


連結部 FILL PL S=1:20



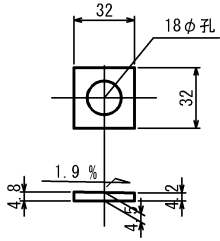
支柱取付け部 S=1:6

(a部)



テーパワッシャー S=1:4

(BN M16用)



1 - WASHER PL 32 x 6 x 32

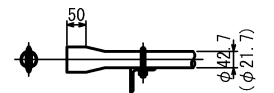
注記

1. 施工に当っては、現地調査を行い再確認すること。
特に鋼板の製作は、再計測後実施すること。
2. 特記なき材質は、全てSS400とする。
3. Uボルト付き(C形)以外のナットは、全て弛み止め
ナットを使用すること。
4. 部材は、全て溶融亜鉛めっきとする。
亜鉛の付着量は、JIS H8641 HDZT77とする。
但し、ボルト・ナット及び厚さ3.2mm未満の部材は、
HDZT49とする。

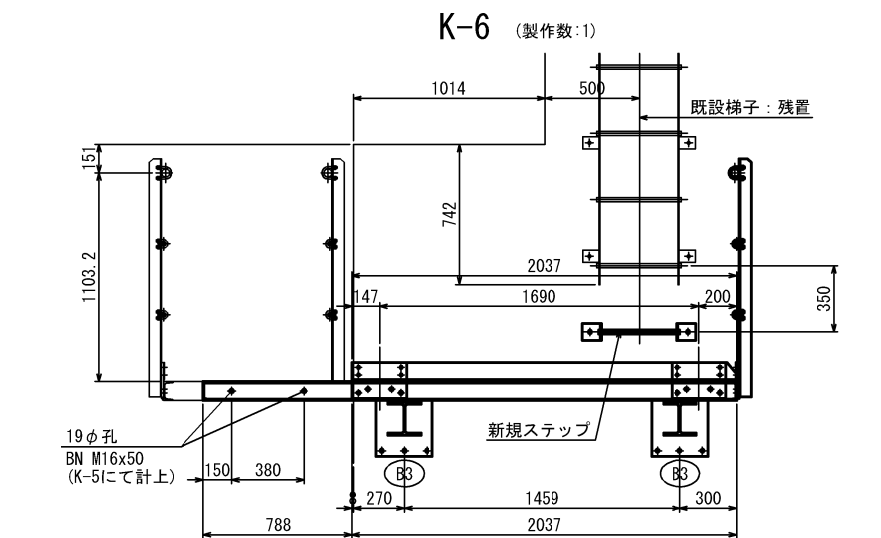
常盤自動車道 久慈川橋耐震補強工事				
図面の種類	久慈川橋 A2 検査路 撤去工・新設工（その7）			
	縮 尺	図示	図面番号	37 / 208
設計会社名	株式会社 長 大			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所			

新設 函

手摺り端部処理

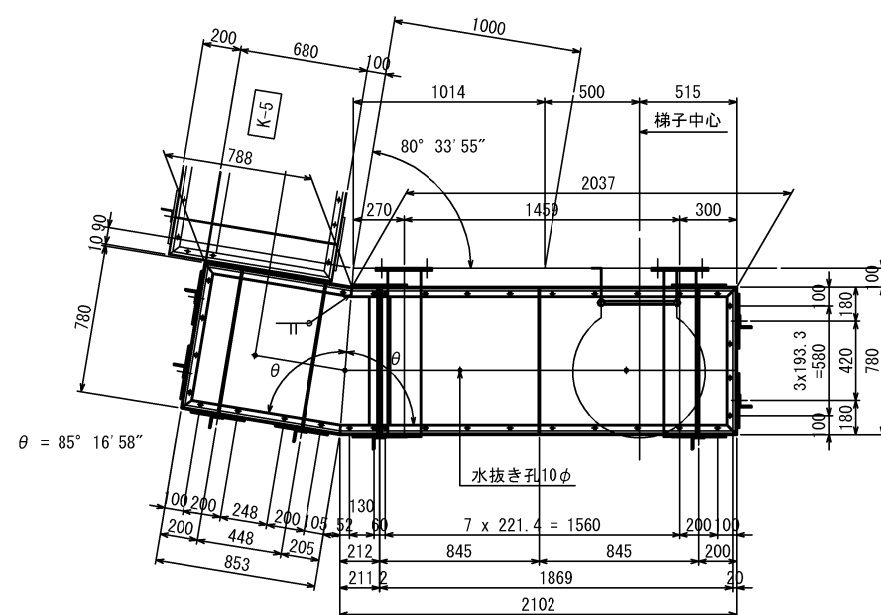
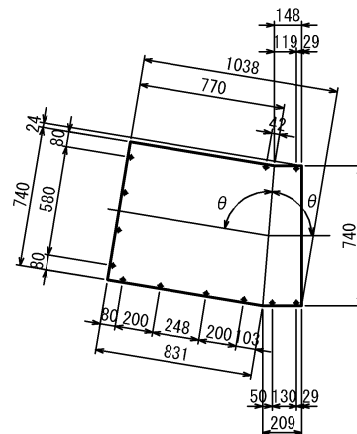


※ 手摺パイプの抜落ち防止のため、パイプ端部が
Uボルトより大きくなるように加工のこと。

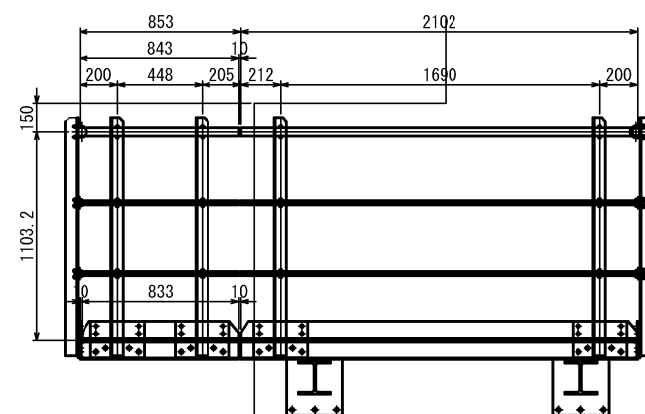


- 1 - PL 90 x 3.2 x 2037
2 - PL 190 x 12 x 285 (SM400A)
8 - BN M16 x 45 (2-W)
8 - BN M10 x 35 (2-W)

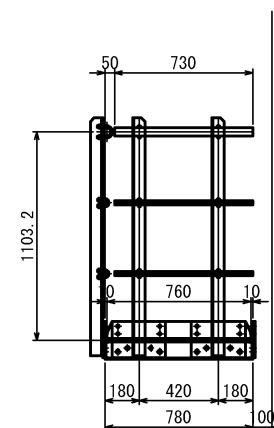
Ch. PL 寸法図



- | | | |
|------------|----------------------|--------------|
| 1 - Ch. PL | 764 x 3.2 x 1038 | (SS400 相当品) |
| 1 - Ch. PL | 740 x 3.2 x 1869 | (SS400 相当品) |
| 1 - CH | 100 x 50 x 5 x 7.5 x | 792 |
| 1 - CH | 100 x 50 x 5 x 7.5 x | 2041 |
| 1 - CH | 100 x 50 x 5 x 7.5 x | 853 |
| 1 - CH | 100 x 50 x 5 x 7.5 x | 2102 |
| 2 - CH | 100 x 50 x 5 x 7.5 x | 780 |
| 2 - L | 50 x 50 x 6 x | 770 |
| 4 - FB | 90 x 9 x | 770 |
| 34 - BN | M10 x 30 (1-W, 1-TW) | |
| 2 - PL | 160 x 9 x | 760 (SM400A) |



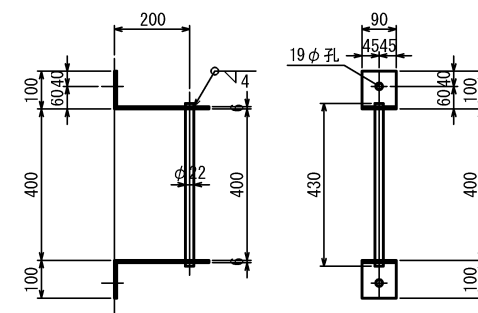
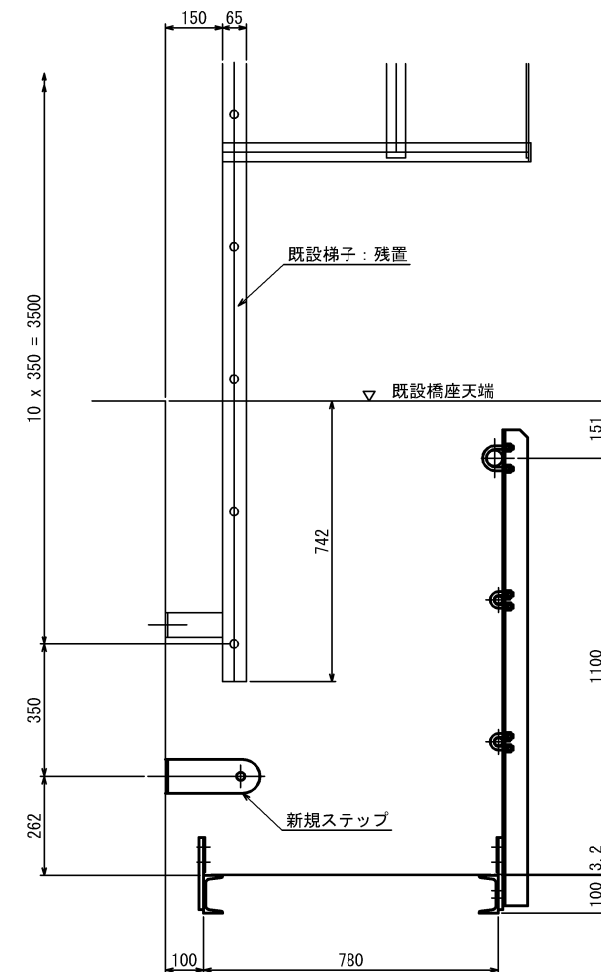
- 1 - PIPE $\phi 42.7 \times 2.3 \times 843$ (STK400)
 1 - PIPE $\phi 42.7 \times 2.3 \times 2102$ (STK400)
 2 - PIPE $\phi 21.7 \times 1.9 \times 843$ (STK400)
 2 - PIPE $\phi 21.7 \times 1.9 \times 2102$ (STK400)
 4 - L 65 x 65 x 6 x 1258
 1 - PL 90 x 3.2 x 833
 1 - PL 90 x 3.2 x 1690
 4 - PL 190 x 12 x 285 (SM400A)
 16 - BN M16 x 45 (2-W)
 16 - BN M10 x 35 (2-W)
 4 - Uボルト 呼び径 32 (C形)
 8 - Uボルト 呼び径 15 (C形)



〈製作数： 2〉

- 1 - PIPE $\phi 42.7 \times 2.3 \times 730$ (STK400)
 2 - PIPE $\phi 21.7 \times 1.9 \times 730$ (STK400)
 2 - L $65 \times 65 \times 6 \times 1258$
 1 - PL $90 \times 3.2 \times 760$
 2 - PL $190 \times 1.2 \times 285$ (SM400A)
 8 - BN M16 $\times 45$ (2-W)
 8 - BN M10 $\times 35$ (2-W)
 2 - Uボルト 呼び径 32 (C形)
 4 - Uボルト 呼び径 15 (C形)

新規ステップ S=1:20



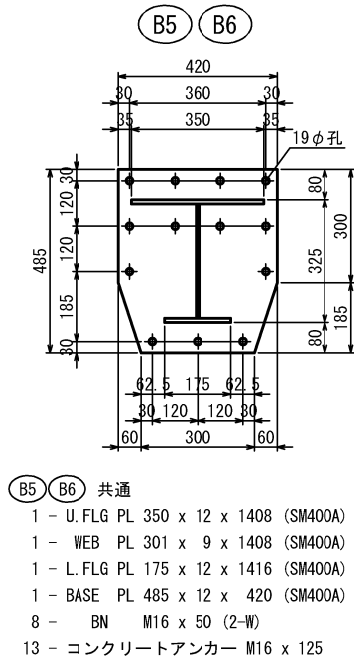
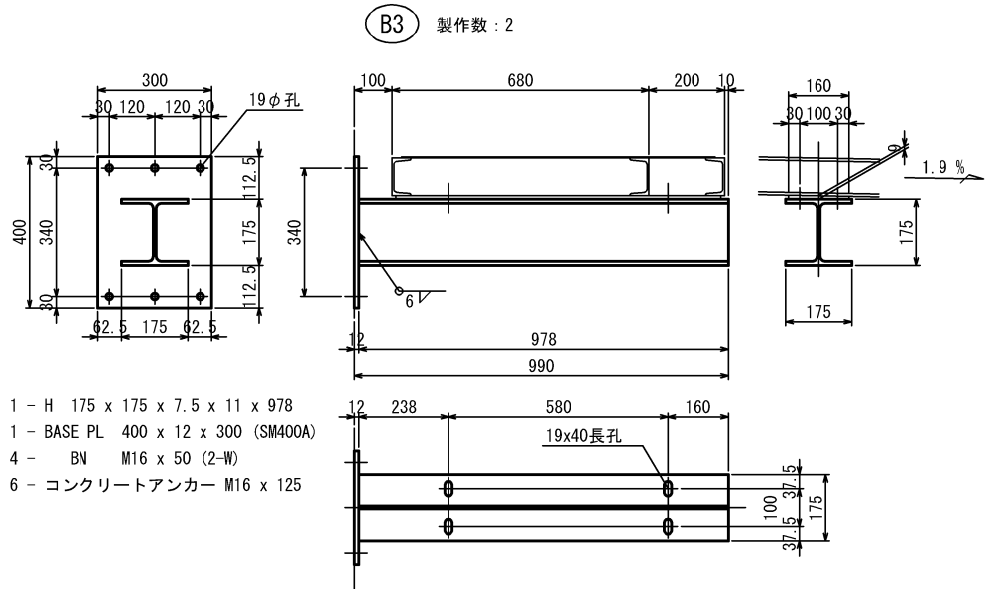
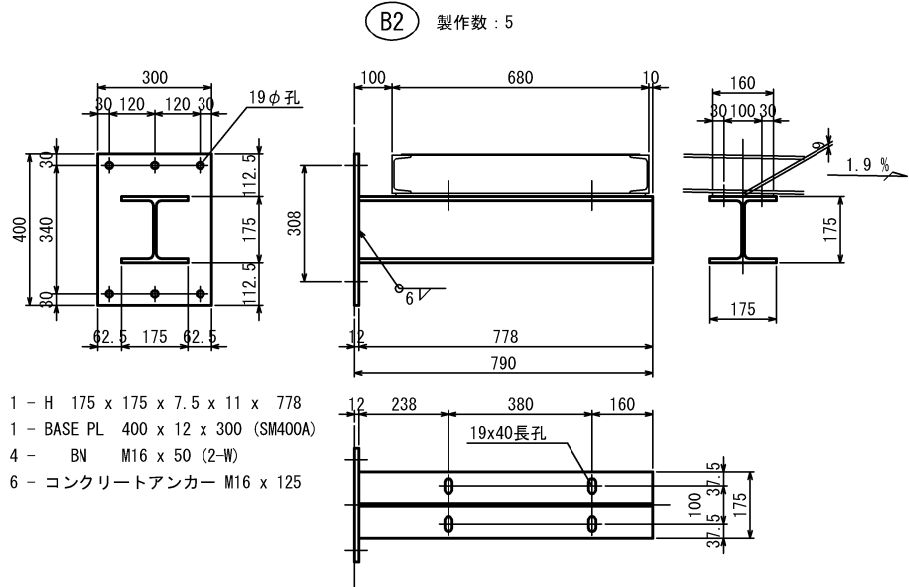
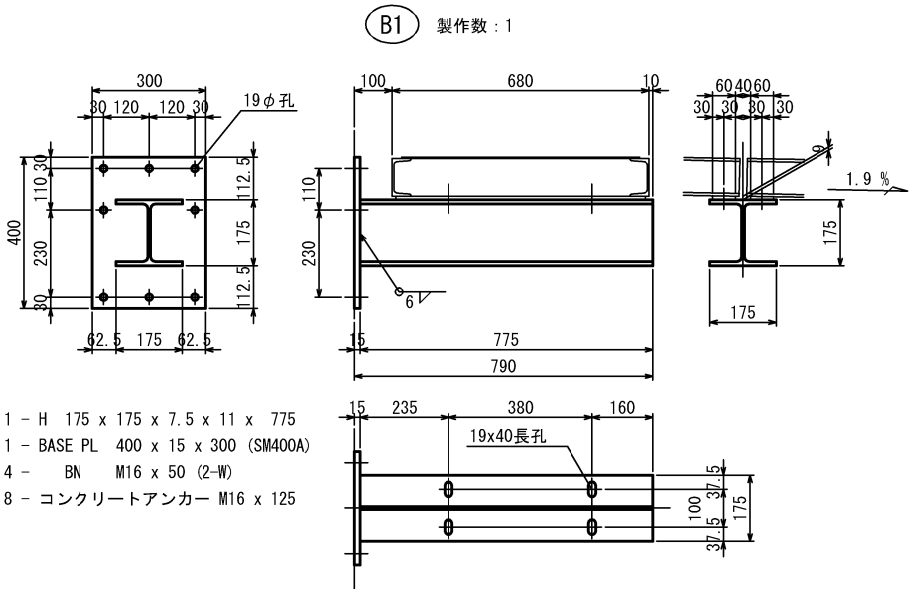
- 1 - RB $\phi 22 \times 430$
2 - FB $90 \times 6 \times 300$
2 - コンクリートアンカー M16 $\times 125$

注記

1. 施工に当たっては、現地調査を行い再確認すること。
特に銅板の製作は、再計測後実施すること。
2. 特記なき材質は、全てSS400とする。
3. Uボルト付き(C形)以外のナットは、全て弛み止めナットを使用すること。
4. 部材は、全て溶融亜鉛めっきとする。
亜鉛の付着量は、JIS H8641 HDZ777とする。
但し、ボルト・ナット及び厚さ3.2mm未満の部材は、
HDZ149とする。

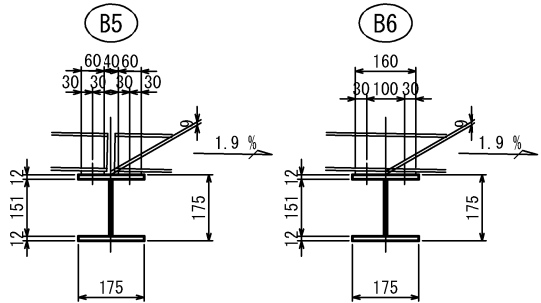
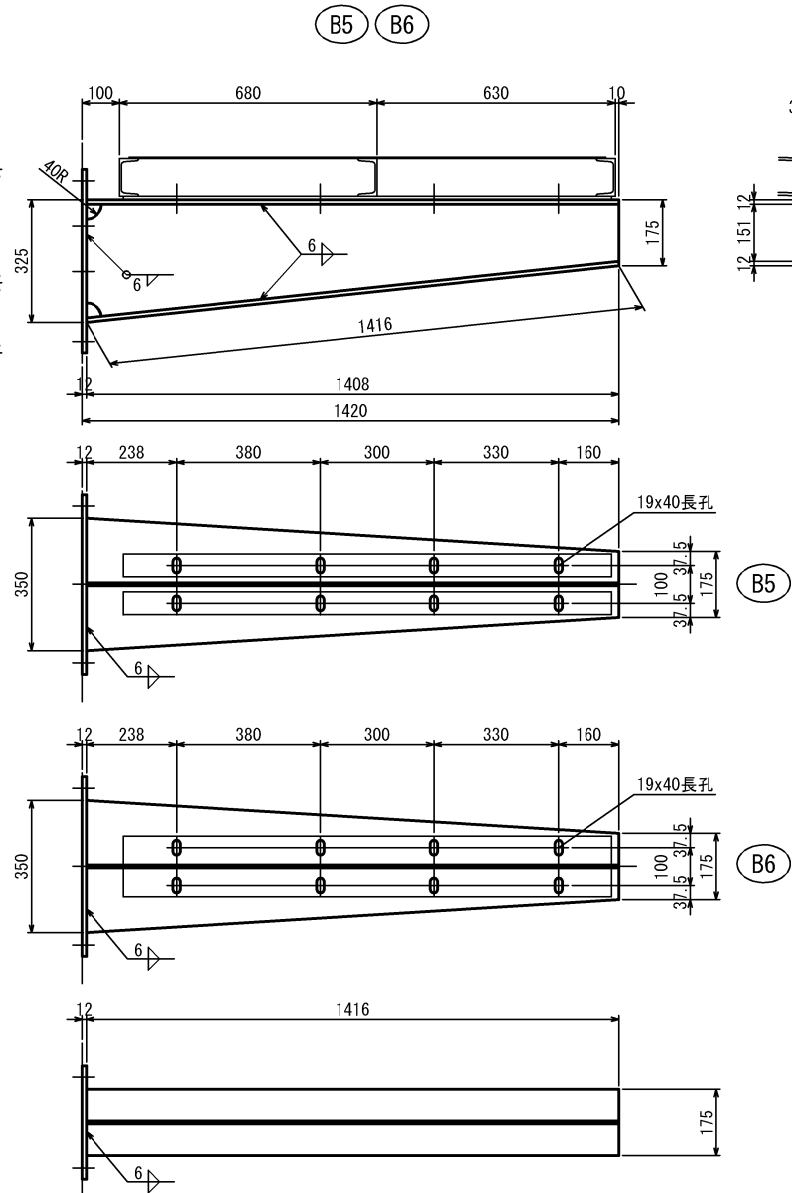
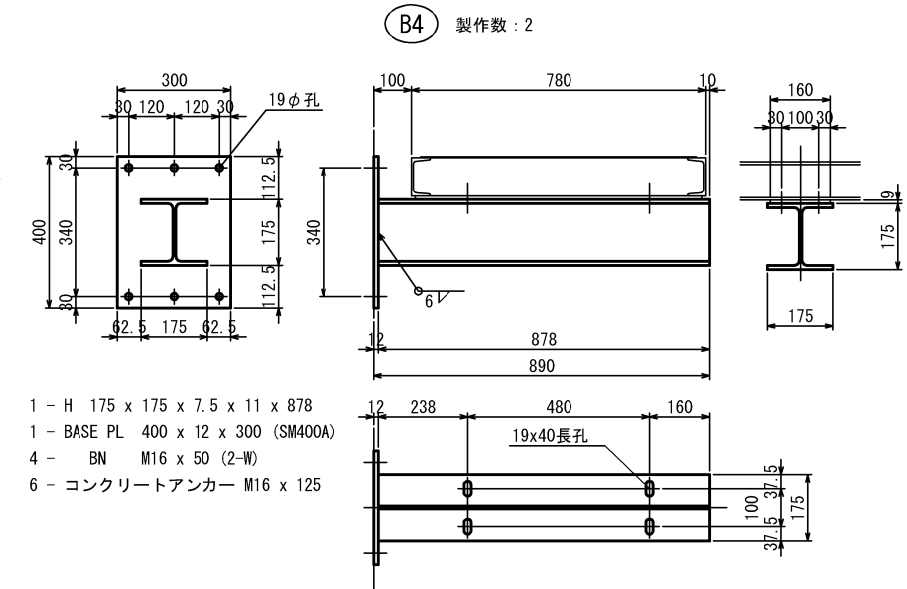
常磐自動車道 久慈川橋耐震補強工事			
図面の種類		久慈川橋 A2 橋着路 撤去工・新設工（その８）	
縮	尺	図示	図面番号 38／208
設計会社名		株式会社 長 大	
施工会社名			
事務所名		東日本高速道路株式会社 関東支社 戸管理事務所	

新 設 図
ブラケット詳細



	製作数
B5	2
B6	2

	製作数
B5	2
B6	2



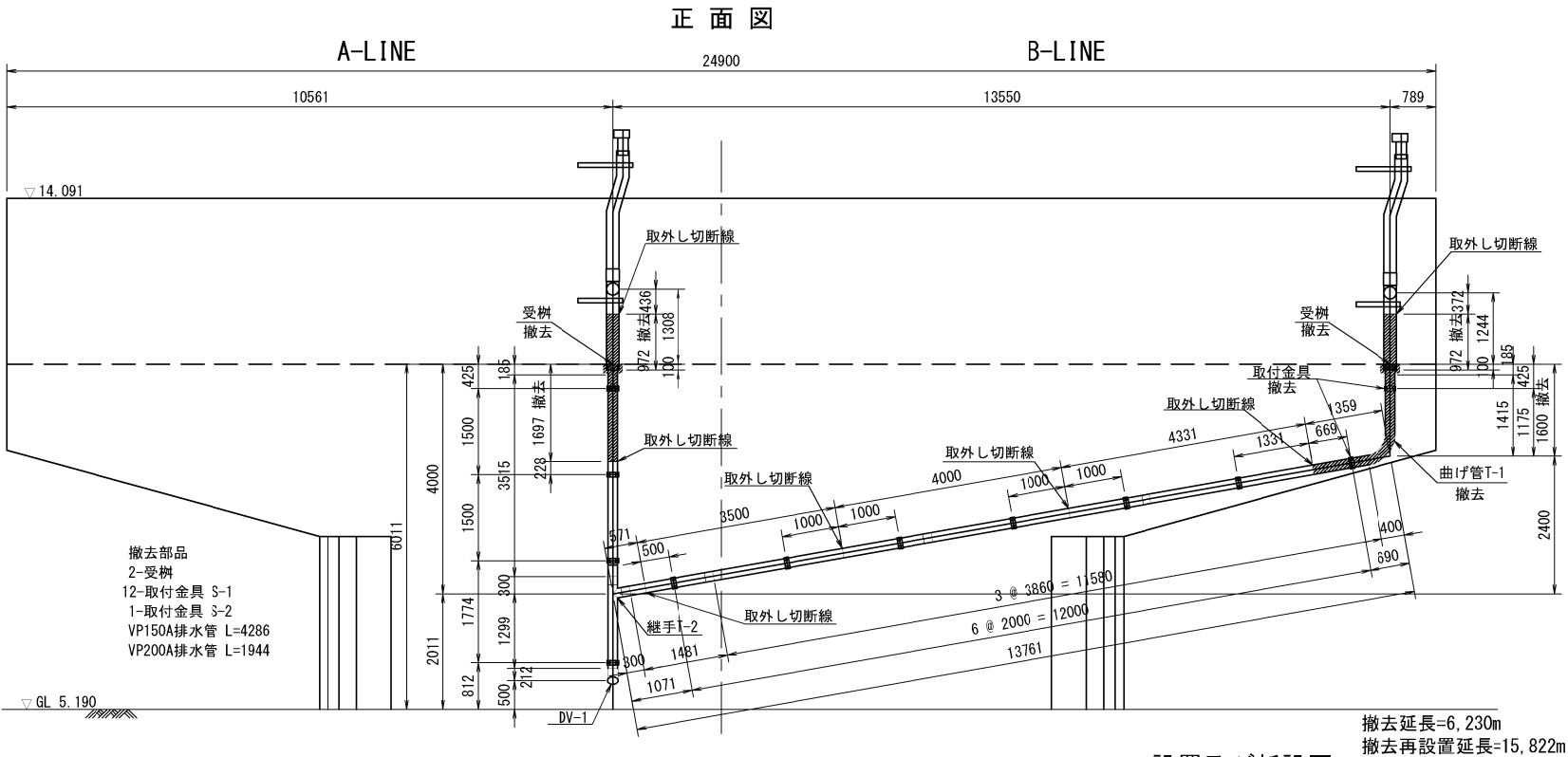
注記

1. 施工に当っては、現地調査を行い再確認すること。
特に鋼板の製作は、再計測後実施すること。
2. 特記なき材質は、全てSS400とする。
3. Uボルト付き(〇形)以外のナットは、全て弛み止めナットを使用すること。
4. 部材は、全て容融亜鉛めっきとする。
亜鉛の付着量は、JIS H8641 HDZT77とする。
但し、ボルト・ナット及び厚さ3.2mm未満の部材は、HDZT49とする。

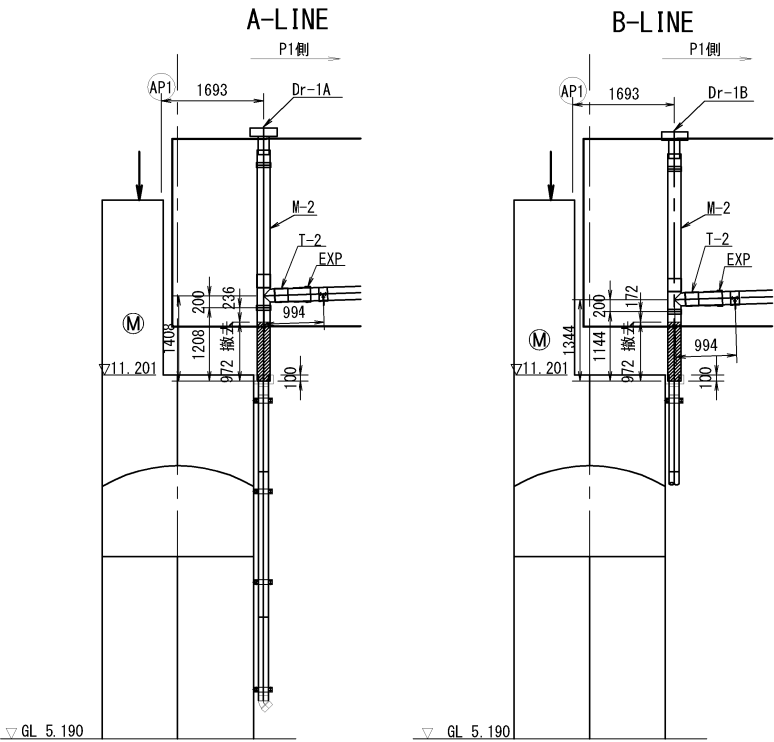
常磐自動車道 久慈川橋耐震補強工事			
図面の種類	久慈川橋 A2 検査路 撤去工・新設工（その 1 1）		
縮 尺	図示	図面番号	41 / 208
設計会社名	株式会社 長 大		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

【AP1橋台】

既設撤去図

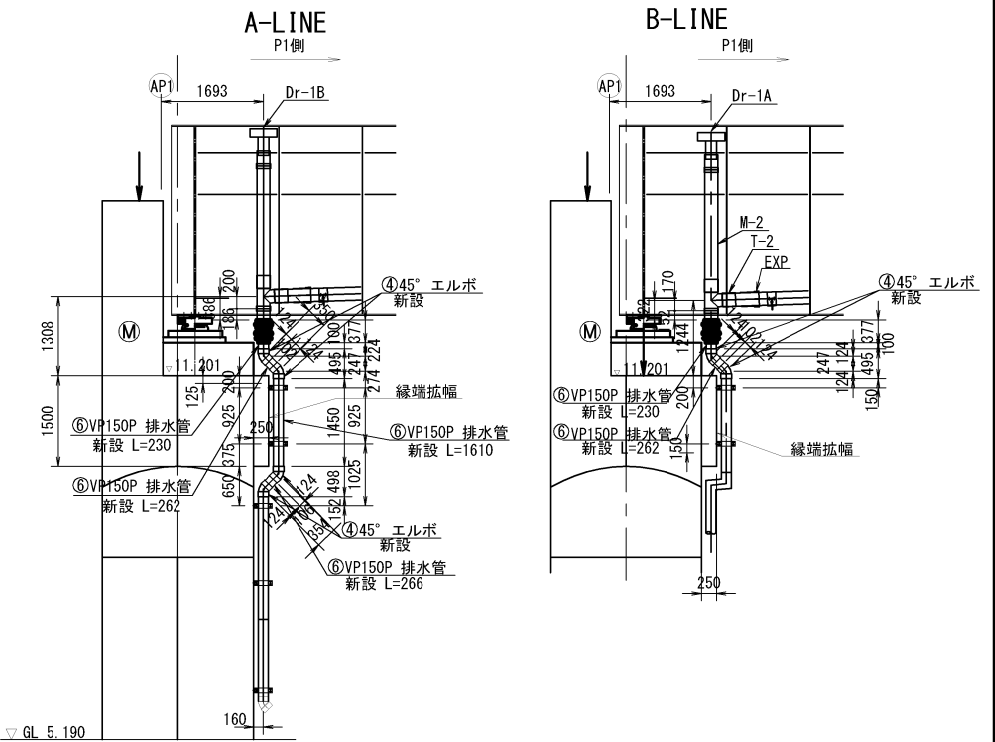
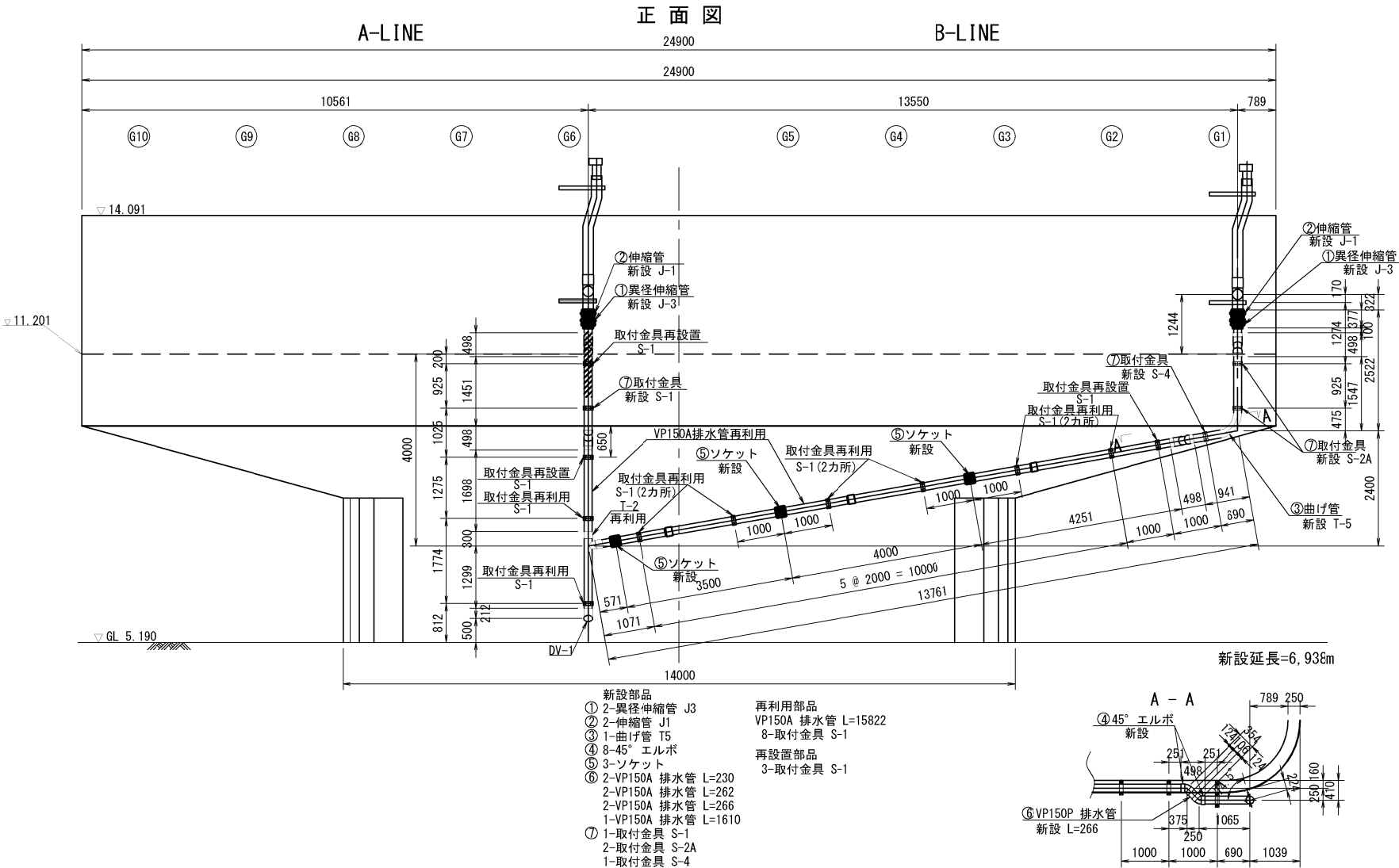


側面図



設置及び新設図

側面図



注記

1. 既設取付金具は原則再利用とする。
2. 再利用部材は撤去後、同位置に再使用とする。
また、再設置部材は撤去後、設置位置を変更して再使用とする。
(再利用部材：設置位置の変更が無い部材。
再設置部材：設置位置の変更がある部材。)
3. 施工に当たっては、現地調査を行い再確認すること。
特に鋼板の製作は、再計測後実施すること。
4. 特記なき材質は、全てSS400とする。
5. 新設部材は、全て溶融亜鉛めっきとする。
亜鉛の付着量は、JIS H8641 HDZT77とする。
但し、ボルト・ナット及び厚さ3.2mm未満の部材は、HDZT49とする。
6. ナットは全てゆるみ止めナットを使用する。

常盤自動車道 久慈川橋耐震補強工事			
図面の種類	久慈川橋 AP1 排水装置撤去・設置工		
	縮 尺	図示	図面番号 42 / 208
設計会社名	株式会社 長 大		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
事務所名	水戸管理事務所		

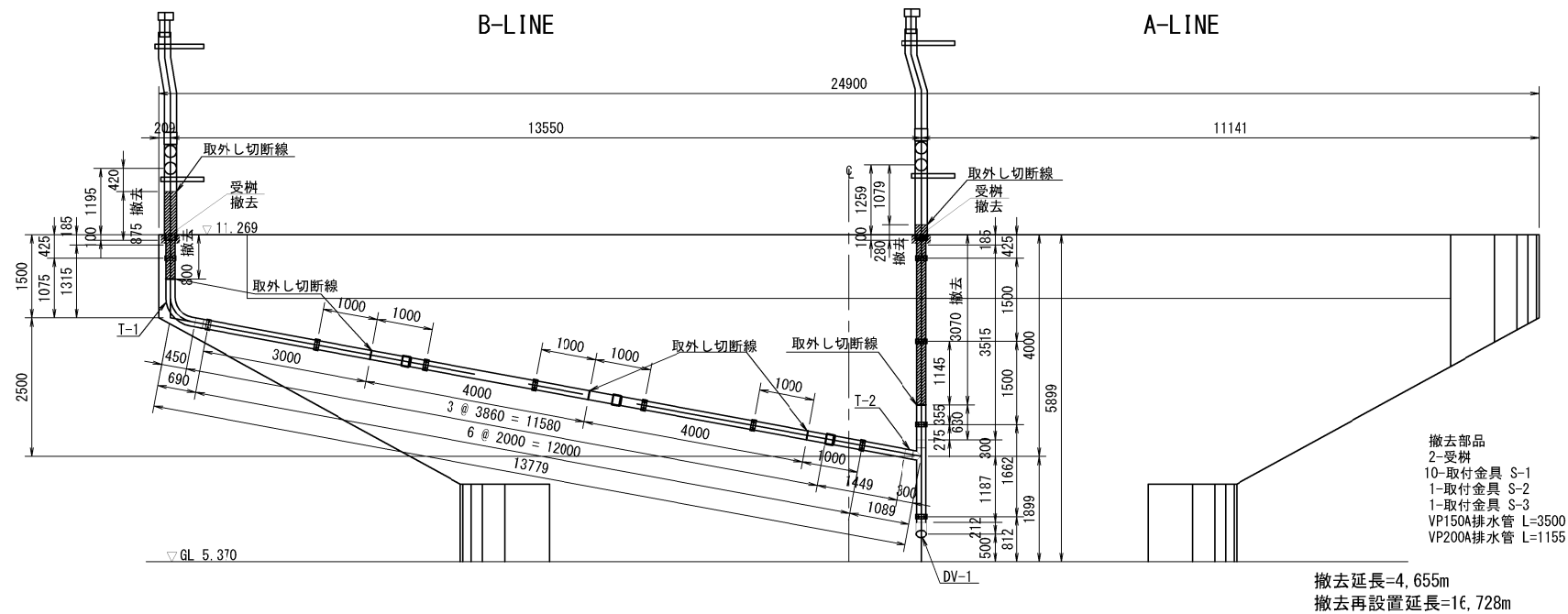
【 P1橋脚 】

既設撤去図

側面図

正面図

A-LINE



撤去延長=4,655m

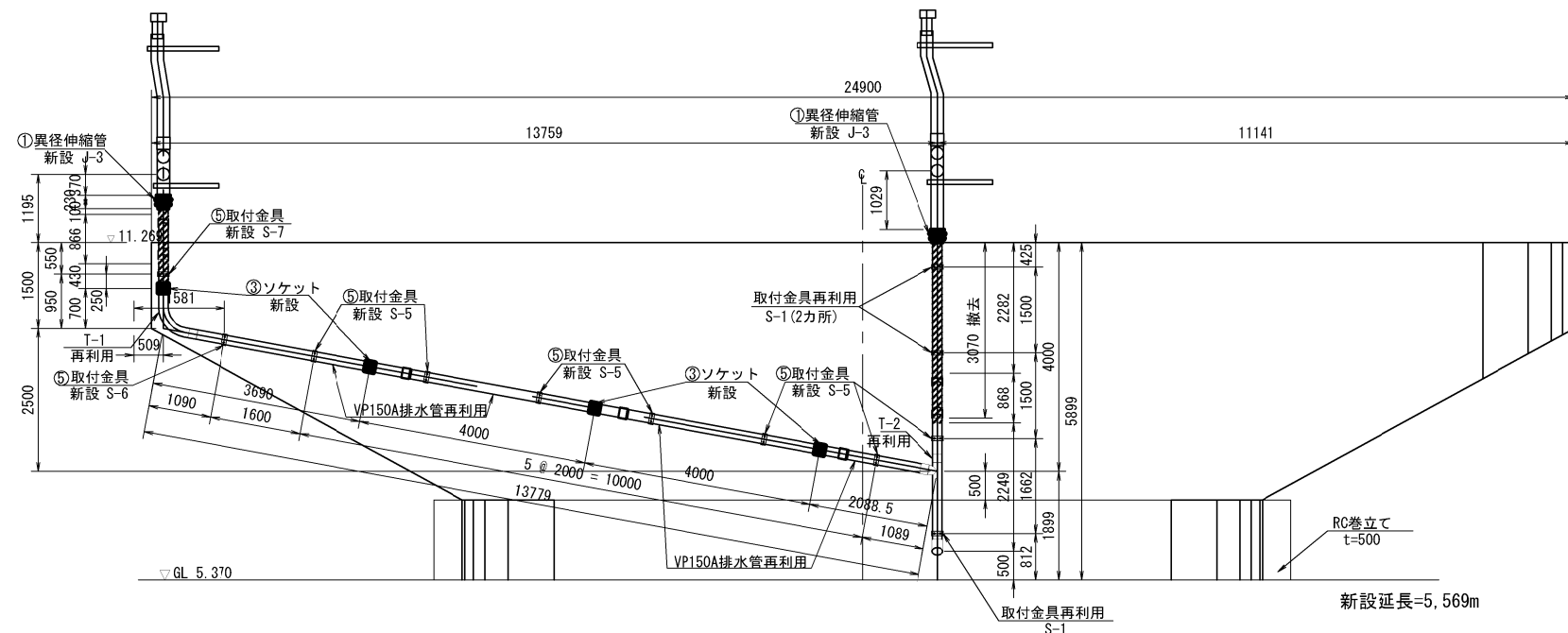
撤去再設置延長=16,728m

正面图

設置及び新設図

側面図

A-LINE



新設延長=5,569m

新設部品

- ① 2-異徑伸縮管 J3
② 4-45° エルボ
③ 4-ソケット
④ 1-VP150A 排水管 L=260
1-VP150A 排水管 L=786
1-VP150A 排水管 L=510
1-VP150A 排水管 L=2412
1-VP150A 排水管 L=789
⑤ 7-取付金具 S-5
1-取付金具 S-6
1-取付金具 S-7

再利用品

VP150A 排水管 L=16728

3-取付金具 S-1

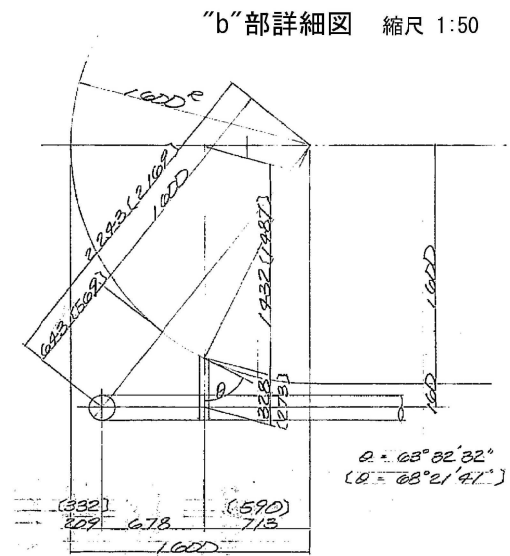
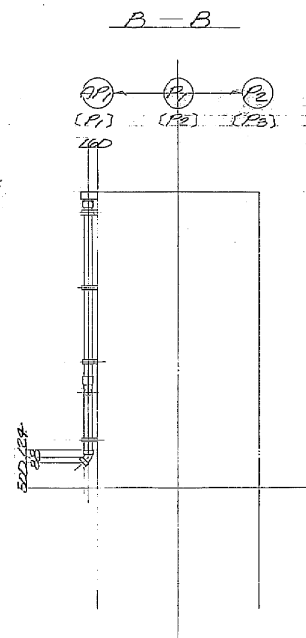
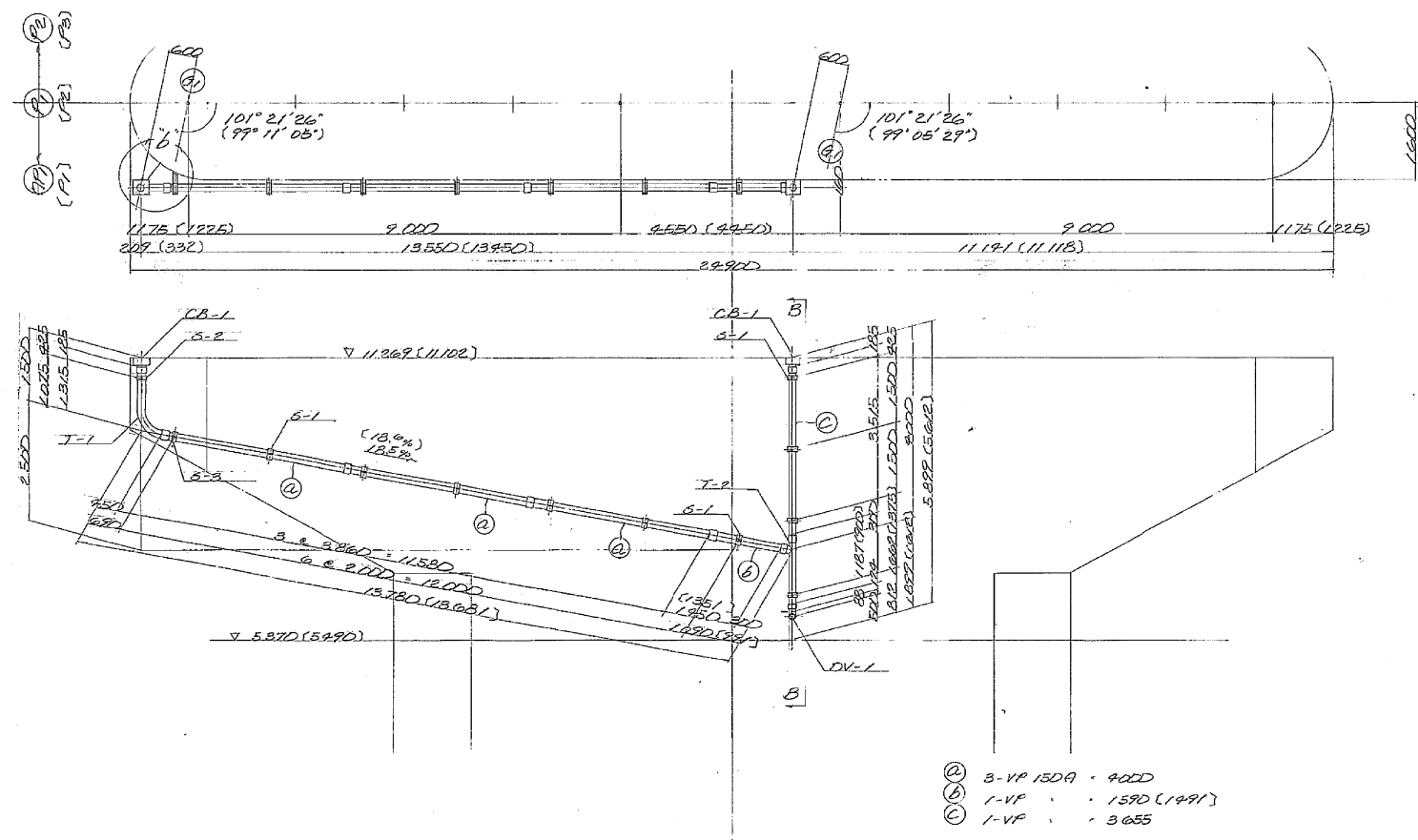
注記

1. 既設取付金具は原則再利用とする。
2. 再利用部材は撤去後、同位置に再使用とする。
3. 施工に当っては、現地調査を行い再確認すること。
特に鋼板の製作は、再計測後実施すること。
4. 特記なき材質は、全てS4500とする。
5. 新設部材は、全て溶融亜鉛めっきとする。
亜鉛の付着量は、JIS H8641 HDZT77とする。
但し、ボルト・ナット及び厚さ3.2mm未満の部材は、HDZT49とする。
6. ナットは全てゆるみ止めナットを使用する。

常磐自動車道 久慈川橋耐震補強工事			
図面の種類	久慈川橋 P1 排水装置撤去・設置工		
縮 尺	図示	図面番号	43／208
設計会社名	株式会社 長 大		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

久慈川橋 P2 排水装置撤去・設置工 縮尺 1:150

【 P2橋脚 】

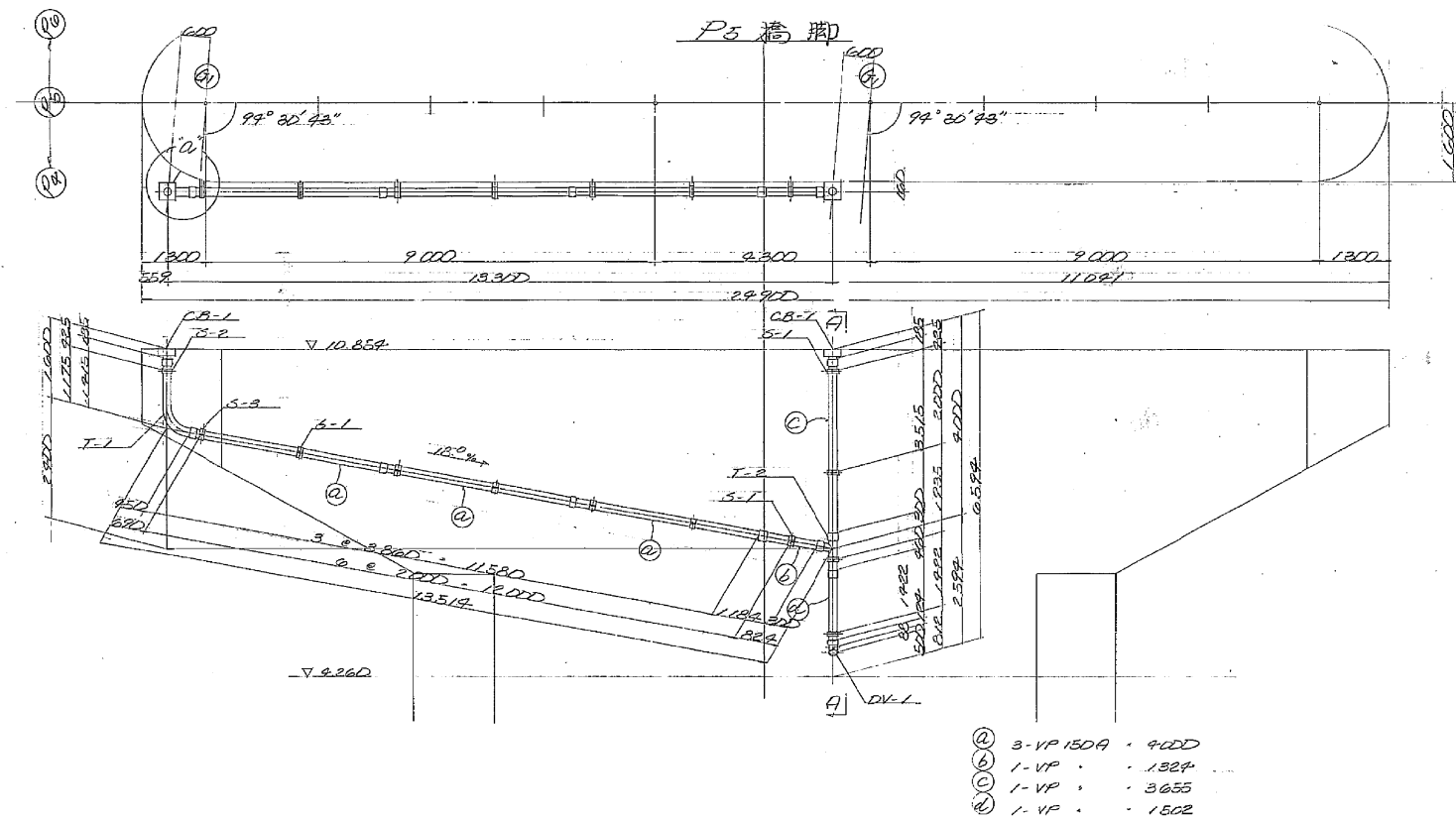


一時撤去延長=19.923m
再設置延長 =19.923m

注記
1. 既設取付金具は原則再利用とする。

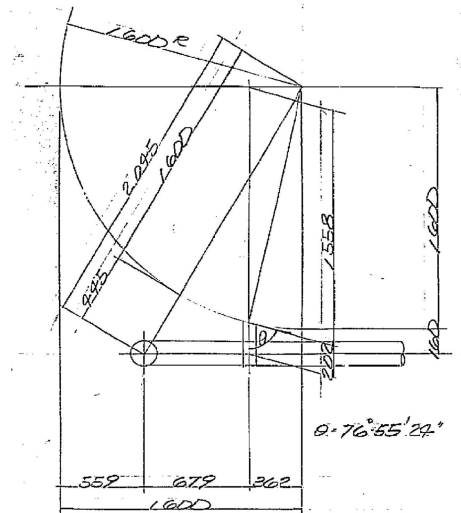
常磐自動車道 久慈川橋耐震補強工事			
図面の種類	久慈川橋 P2 排水装置撤去・設置工		
	縮尺	図示	図面番号 44 / 208
設計会社名	株式会社 長大		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

【 P5橋脚 】



一時撤去延長=20.838m
再設置延長 =20.838m

"a"部詳細図 縮尺 1:50

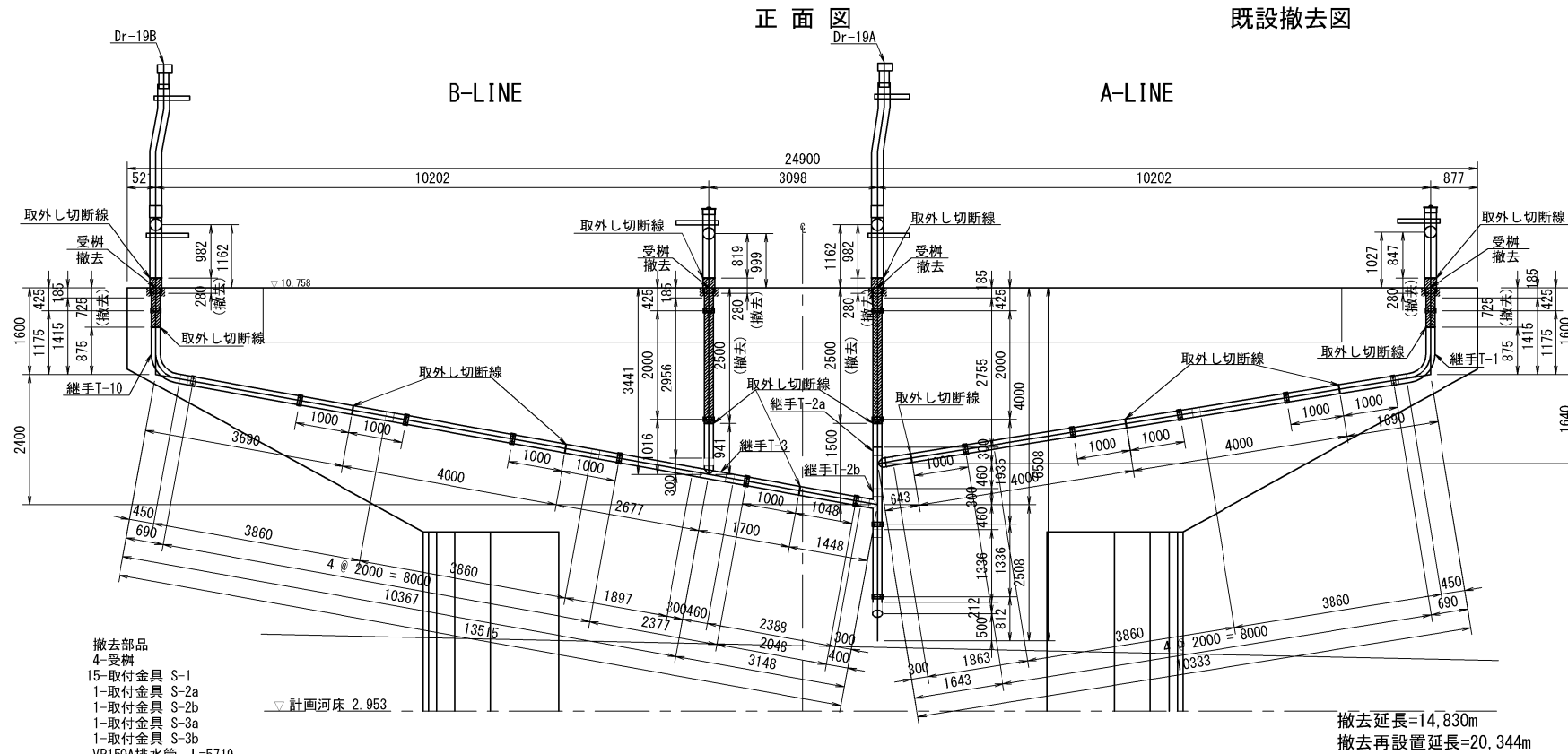


注記

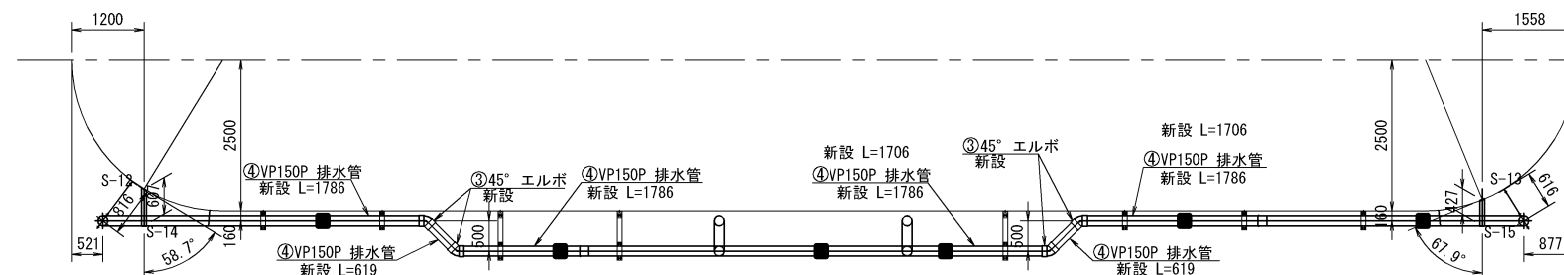
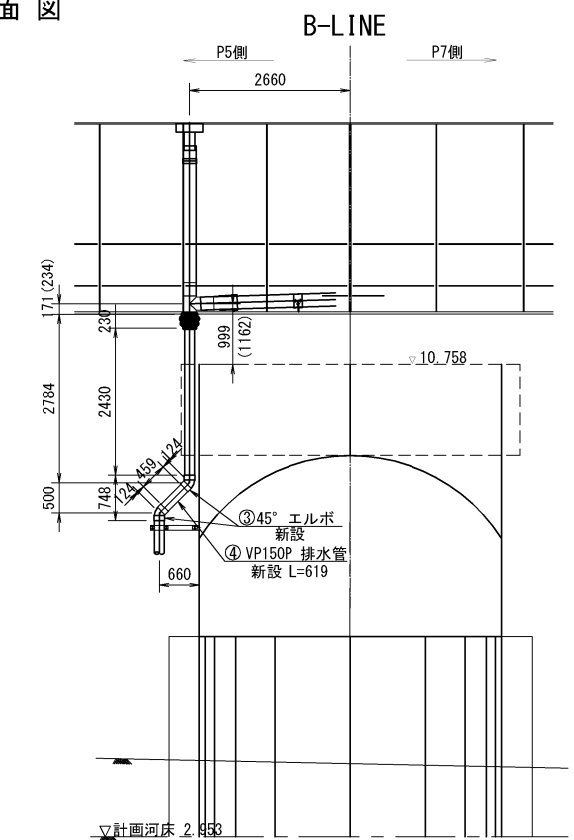
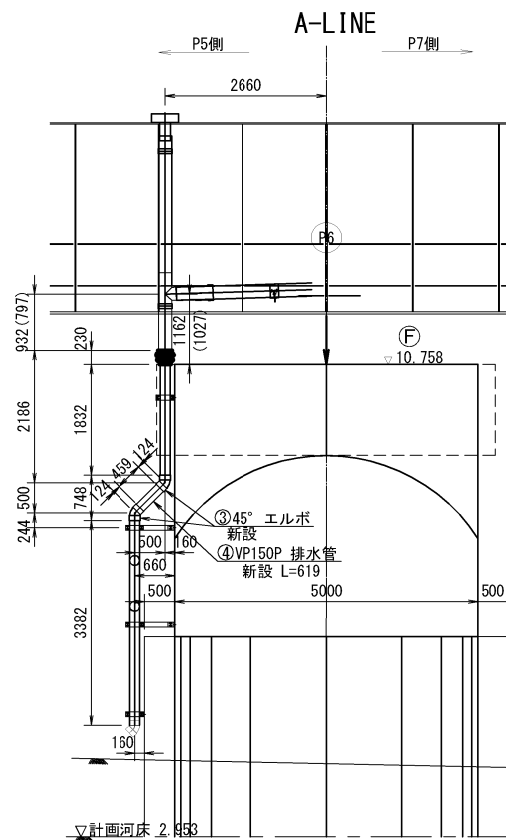
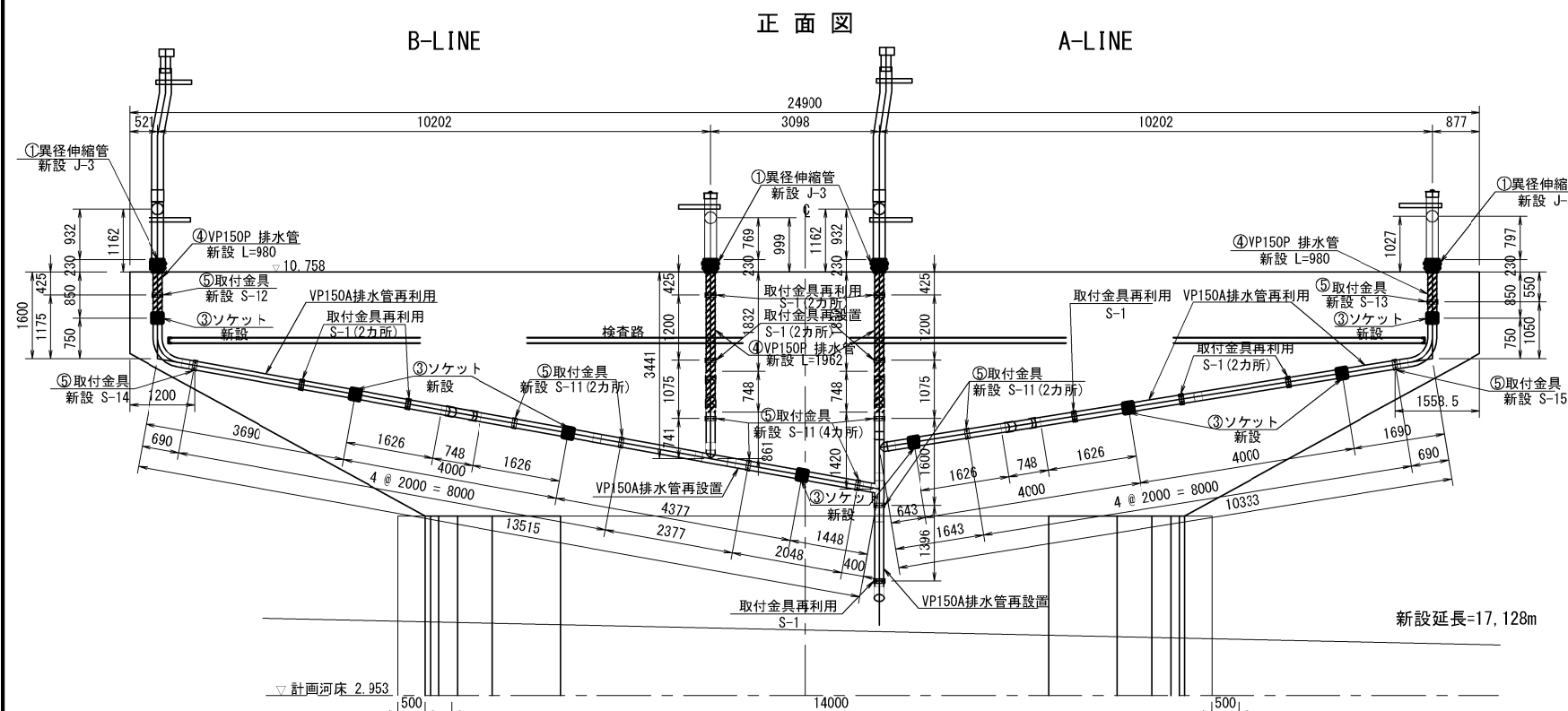
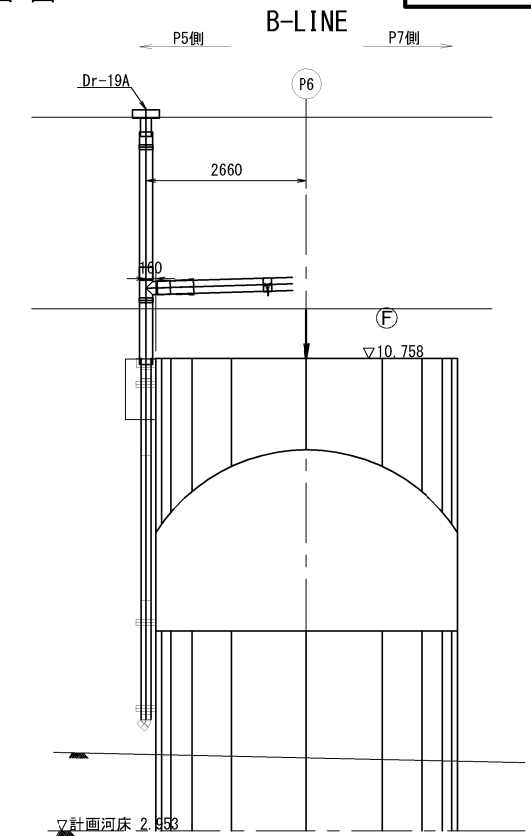
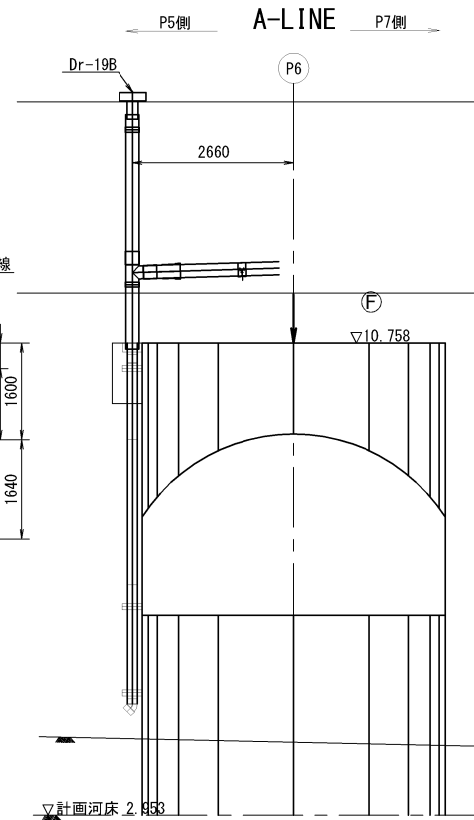
1. 既設取付金具は原則再利用とする。

常磐自動車道 久慈川橋耐震補強工事			
図面の種類	久慈川橋 P5 排水装置撤去・設置工		
	縮尺	図示	図面番号 46/208
設計会社名	株式会社 長大		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

既設撤去図



設置及び新設図



- 新設部品
- ① 4-異径伸縮管 J3
 - ② 8-45° エルボ
 - ③ 8-ソケット
 - ④ 2-VP150A 排水管
2-VP150A 排水管
4-VP150A 排水管
4-VP150A 排水管
 - ⑤ 6-取付金具 S-11
1-取付金具 S-12
1-取付金具 S-13
1-取付金具 S-14
1-取付金具 S-15

再設置部品
2-取付金具 S-1

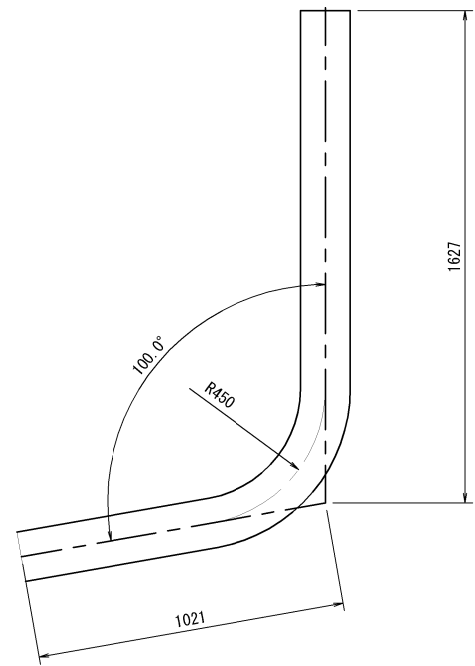
注記

1. 既設取付金具は原則再利用とする。
2. 再利用部材は撤去後、同位置に再使用とする。
また、再設置部材は撤去後、設置位置を変更して再使用とする。
(再利用部材：設置位置の変更が無い部材。
再設置部材：設置位置の変更がある部材。)
3. 施工に当たっては、現地調査を行い再確認すること。
特に鋼板の製作は、再計測後実施すること。
4. 特記なき材質は、全てSS400とする。
5. 新設部材は、全て溶融亜鉛めっきとする。
亜鉛の付着量は、JIS H8641 HDZT77とする。
但し、ボルト、ナット及び厚さ3.2mm未満の部材は、HDZT49とする。
ナットは全てゆるみ止めナットを使用する。

常盤自動車道 久慈川橋耐震補強工事			
図面の種類	久慈川橋 P6 排水装置撤去・設置工		
縮 尺	図示	図面番号	47／208
設計会社名	株式会社 長 大		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

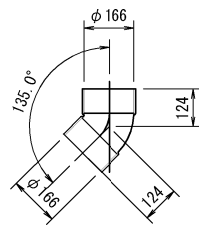
【 加工管詳細図 】

T-5 VP150A
製作数：1個



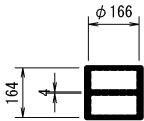
【 継手詳細図 】

継手 VP150A
製作数：20個

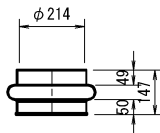


DV45° エルボ

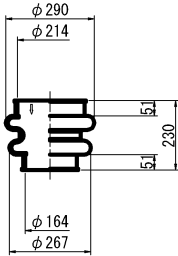
ソケット 150A
製作数：15個



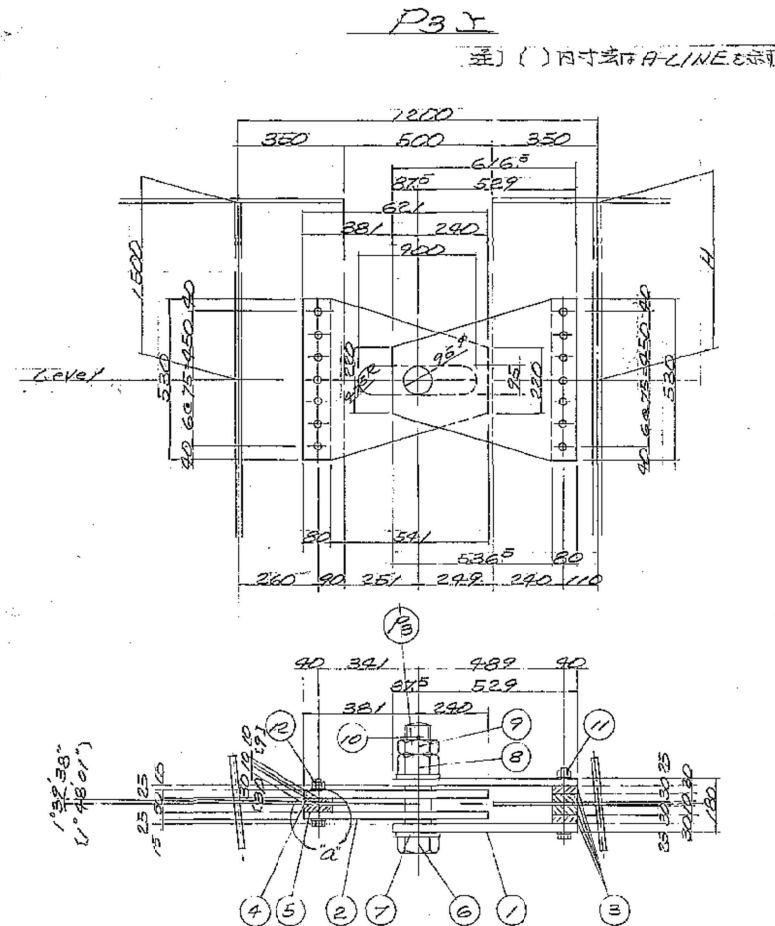
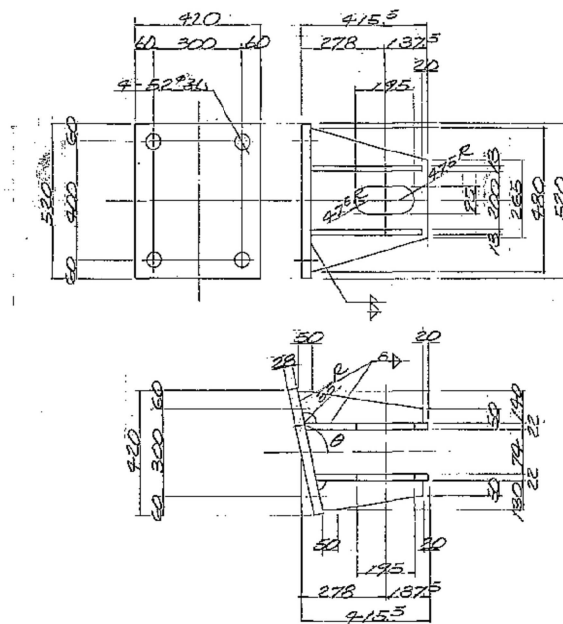
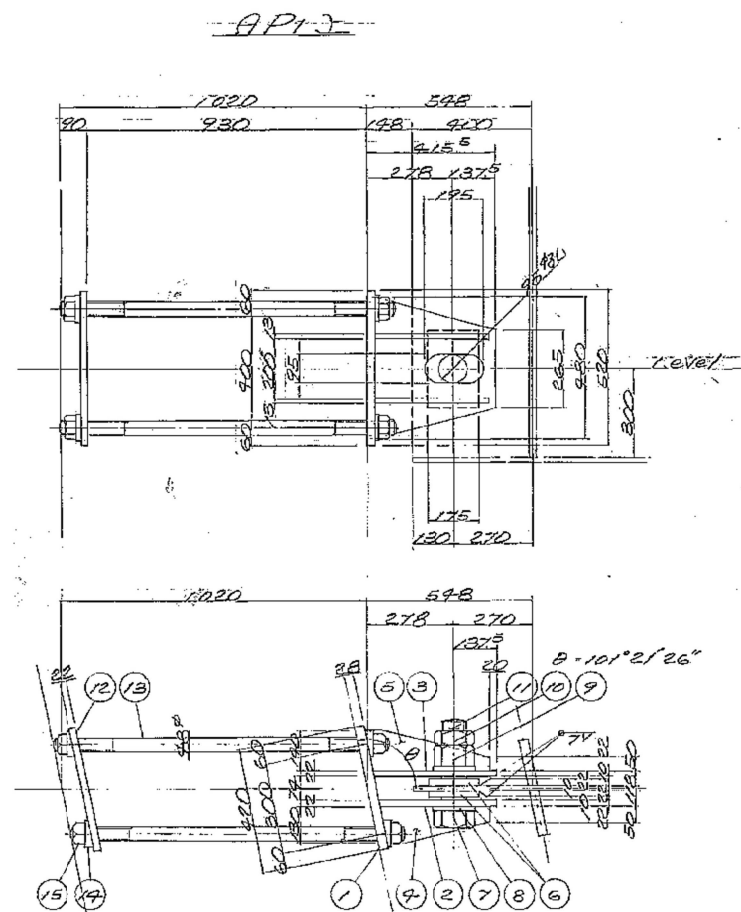
J1 伸縮管 200A
製作数：2個



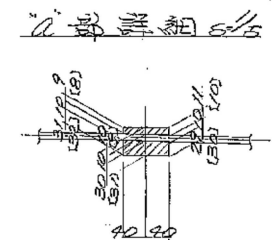
J3 異径伸縮管 200Ax150A
製作数：18個



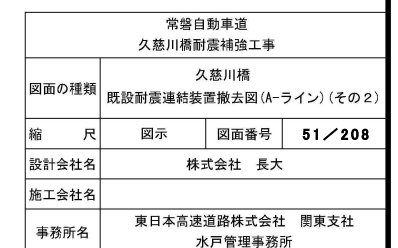
常盤自動車道 久慈川橋耐震補強工事			
図面の種類	久慈川橋 排水装置取替詳細図(その1)		
	縮 尺	図示	図面番号 48／208
設計会社名	株式会社 長 大		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		



		H.
B 1 C 1 N E	G1	14289
	G2	"
	G3	14288
	G4	"
	G5	"
A 1 C 1 N E	G1	"
	G2	"
	G3	11
	G4	"
	G5	"

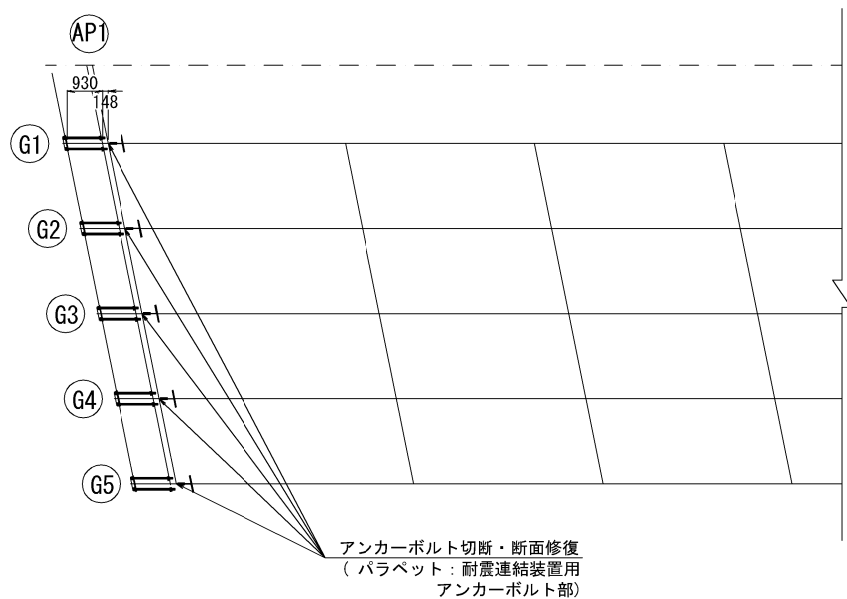


- (1) 2-PI 420 * 28 = 520 (SM50YB)
- (2) 2-PI 480 * 22 = 380 (")
- (3) 2-PI " " 399 (")
- (4) 2-PI 130 * 13 = 375 (SM50YA)
- (5) 2-PI 140 * 13 = 427 (")
- (6) 2-PI 175 * 22 = 265 (SM50YB)
- (7) 1-Run 1185 * 300 (635C)
- (8) 2-Water PI 125" * 12
- (9) 1-Nut 1185 (1種)
- (10) 1-Nut 1185 (3種)
- (11) 1-鋼管 $\phi 3" \times 120$ (SWRM10)
- (12) 1-R 420 * 22 = 520 (SM50YB)
- (13) 2-Anchor Bolt 1148 * 110
- (14) 2-Washer PI 22" * 28 (SM41A)
- (15) 3-Nut 1148 (1種)

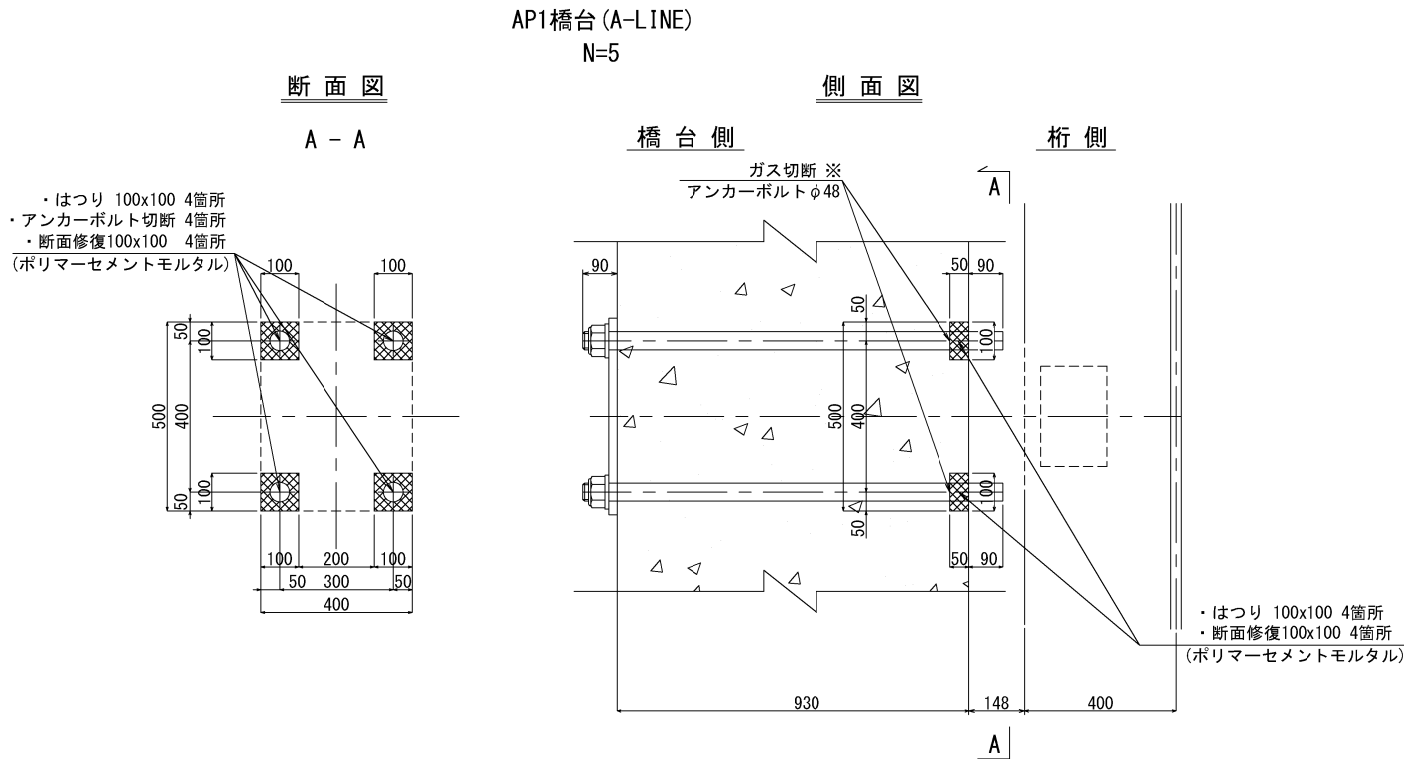


久慈川橋 既設耐震連結装置アンカー部撤去・復旧図（A-ライン）（その1）
（アンカーボルト切断・断面修復）

平面図 S=1:100

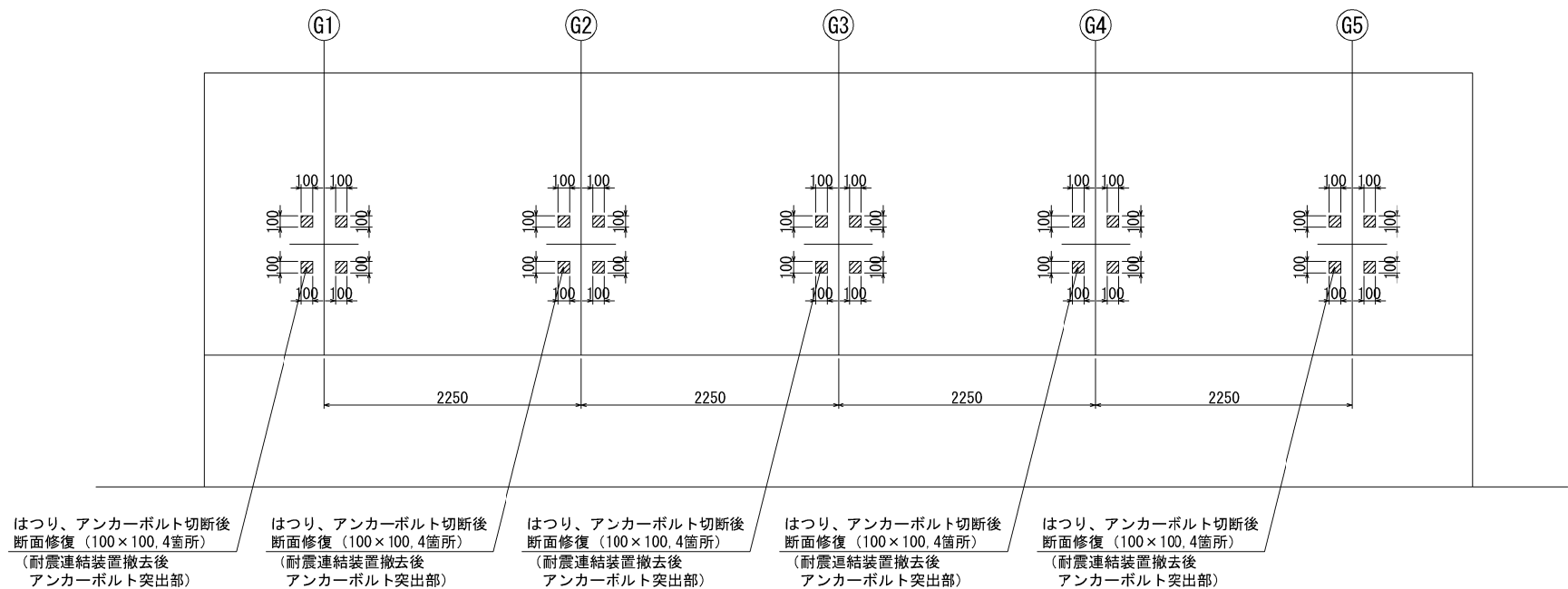


アンカーボルト切断・断面修復詳細図 S=1:10

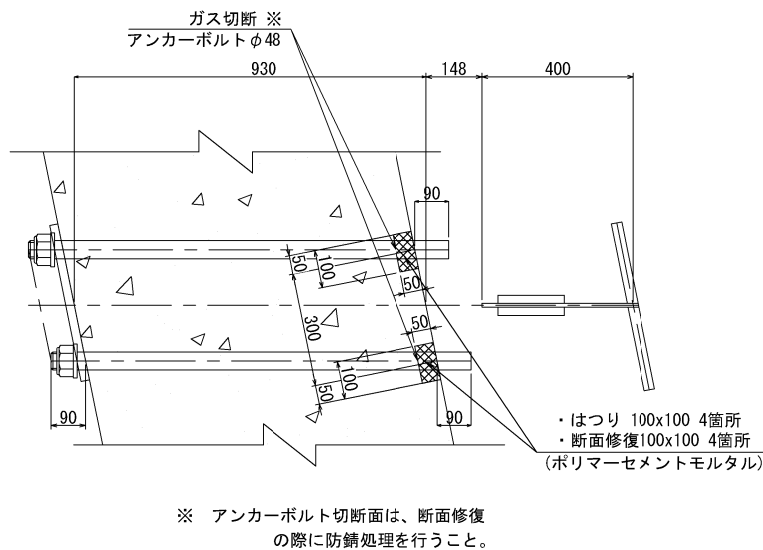


正面図 S=1:30

AP1橋台 (A-LINE)



平面図

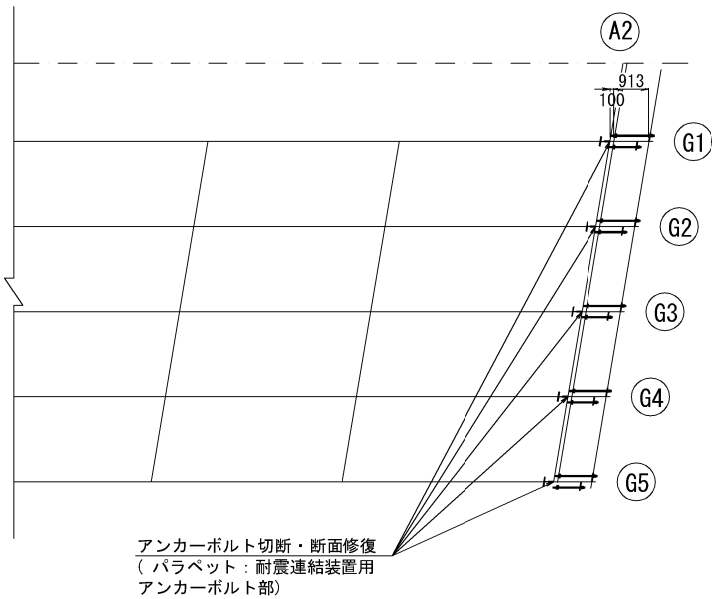


- 注記
- 図中の補修計画は、既存点検データ、現地踏査に基づくものであるが、工事に際しては現地状況を十分把握し、併せて監督職員の承諾を得た上で実施すること。
 - 施工数量については、現地再確認を行った上、監督職員の承諾を得て決定すること。

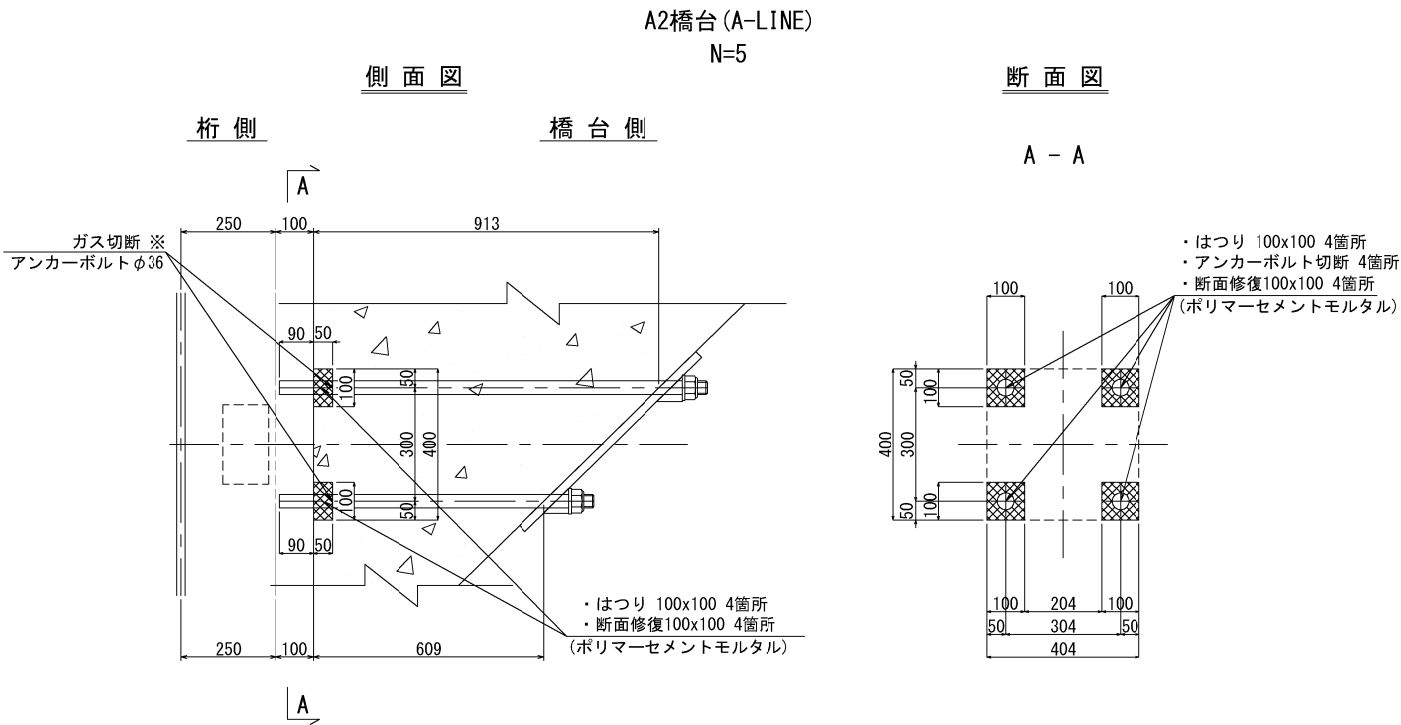
常盤自動車道 久慈川橋耐震補強工事			
図面の種類	久慈川橋 既設耐震連結装置アンカー部 撤去・復旧図 (A-ライン) (その1)		
縮尺	図示	図面番号	52／208
設計会社名	株式会社 長 大		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

久慈川橋 既設耐震連結装置アンカー部撤去・復旧図（A-ライン）（その2）
（アンカーボルト切断・断面修復）

平面図 S=1:100

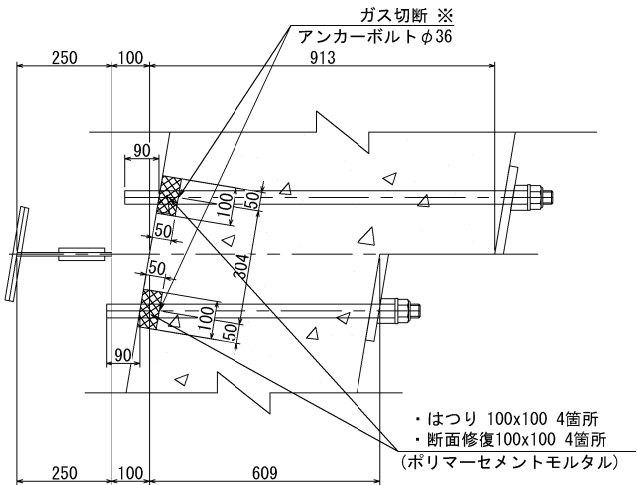
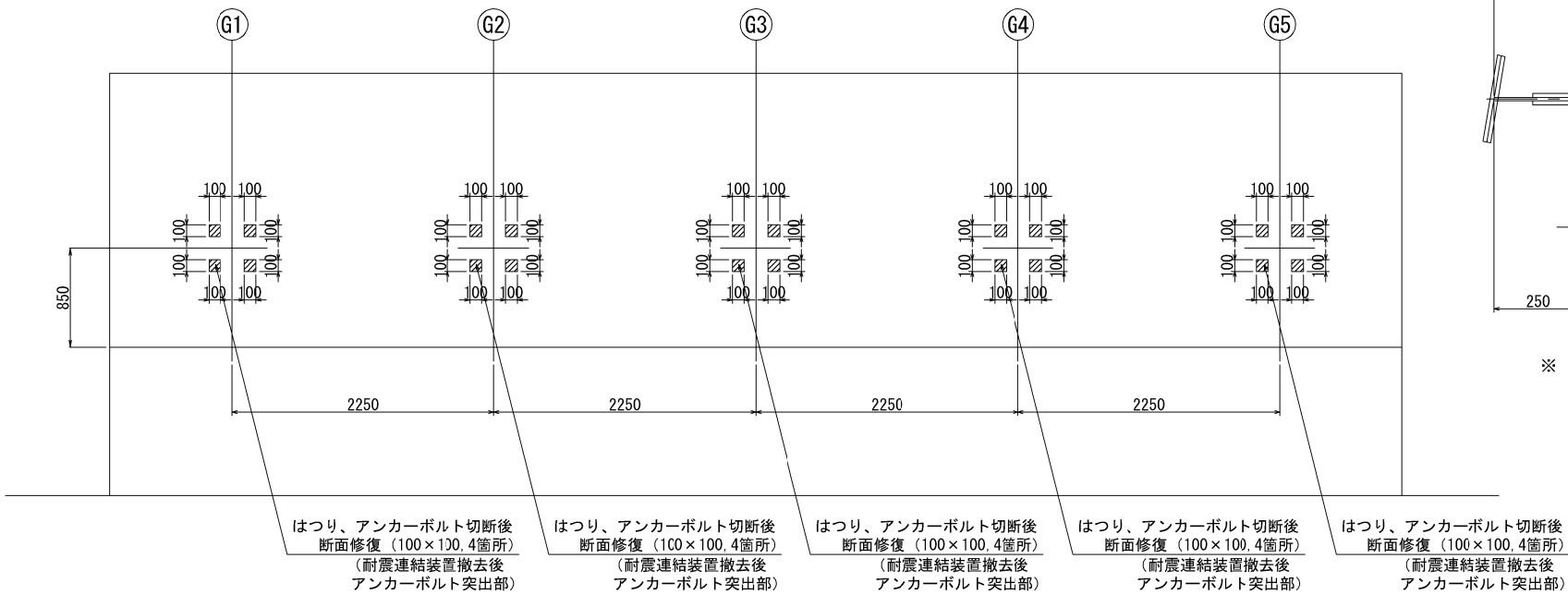


アンカーボルト切断・断面修復詳細図 S=1:10



正面図 S=1:30

A2橋台 (A-LINE)

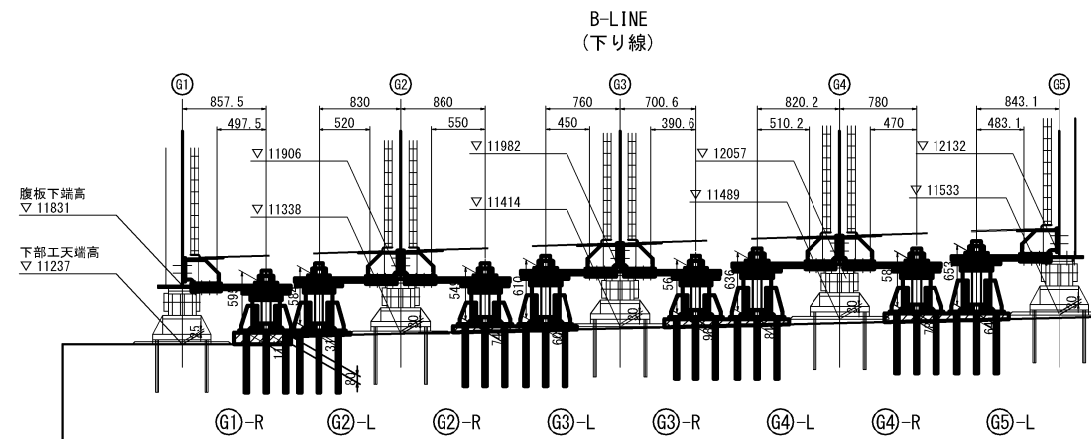


※ アンカーボルト切断面は、断面修復の際に防錆処理を行うこと。

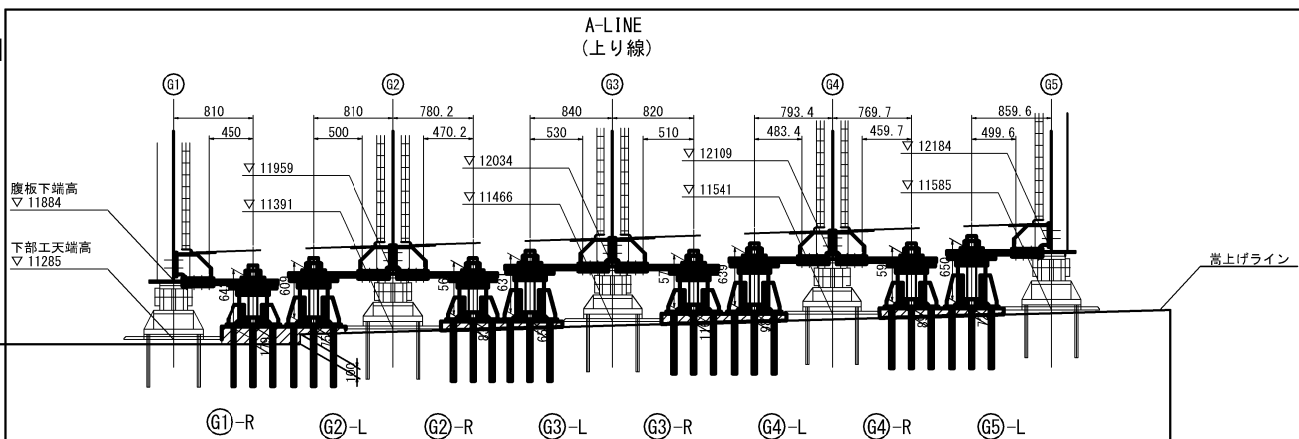
注記

- 図中の補修計画は、既存点検データ、現地踏査に基づくものであるが、工事に際しては現地状況を十分把握し、併せて監督職員の承諾を得た上で実施すること。
- 施工数量については、現地再確認を行った上、監督職員の承諾を得て決定すること。

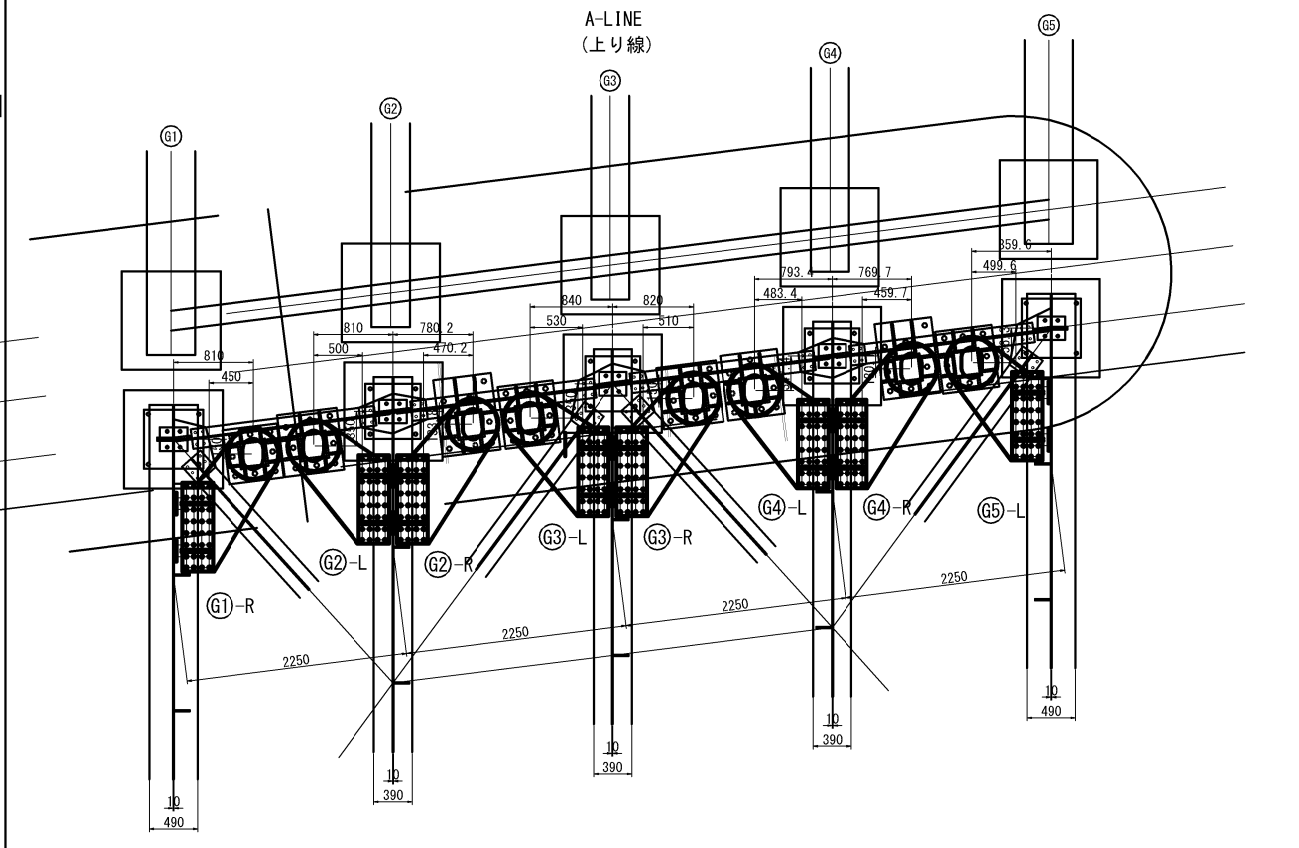
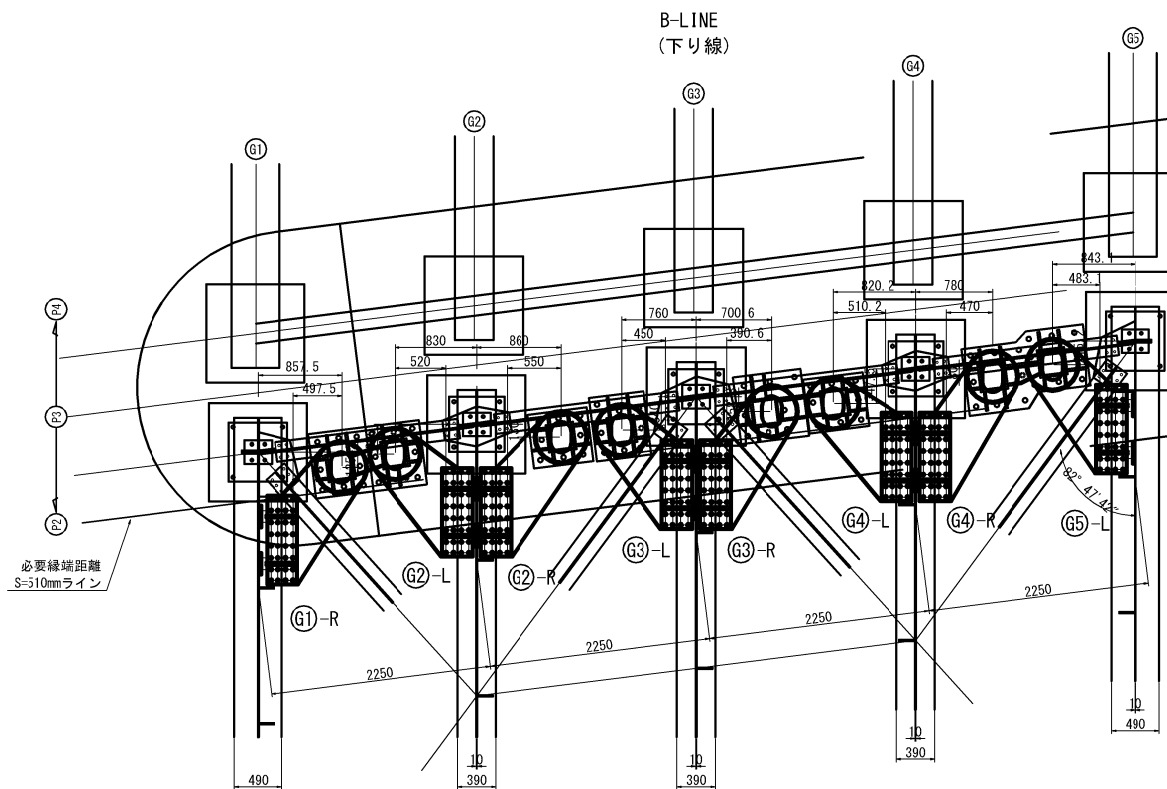
常盤自動車道 久慈川橋耐震補強工事			
図面の種類	久慈川橋 既設耐震連結装置アンカー部 撤去・復旧図 (A-ライン) (その2)		
縮尺	図示	図面番号	53／208
設計会社名	株式会社 長 大		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		



断面図



平面図

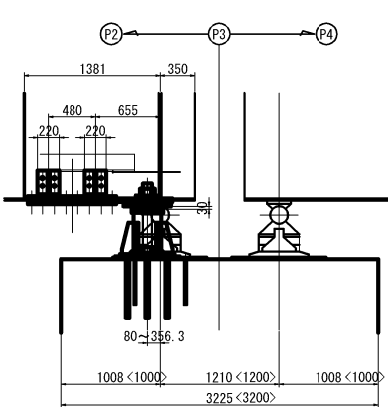


設計条件

死荷重反力	3843 kN	Rd
設計水平震度	kh=0.28	
設計荷重	1614 kN	1.5・kh・Rd
設置箇所数	8 基	
変位制限用ピン径	φ95	
設計移動量	±65mm	

注) 本変位制限装置は既設支承の移動制限の代替装置であり、遊間量は既設支承の必要遊間量を確保するものである。また、損傷せずに残存している既設サイドブロックについても、損傷したものとして取扱う。

側面図



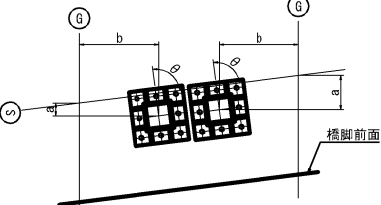
材料表

項目	単位	数量	適用
変位制限用ピン	本	16	φ95 (φ70)
上部工連結板	基	16	
下部工鋼製架台	基	16	
アンカーボルト D05	本	128	L=698mm (平均)

構造高表 (既設図面 線形図より)

橋脚		P3 (S2 起点側)									
ライン		下り線					上り線				
主桁		G1	G2	G3	G4	G5	G1	G2	G3	G4	G5
内訳	路面計画高	15306	15381	15457	15532	15607	15359	15434	15509	15584	15659
	舗装厚	75	75	75	75	75	75	75	75	75	75
	床版厚	220	220	220	220	220	220	220	220	220	220
	ハンチ高	80	80	80	80	80	80	80	80	80	80
	腹板高	3100	3100	3100	3100	3100	3100	3100	3100	3100	3100
	下フランジ厚	22	16	16	16	22	22	16	16	16	22
	ソールプレート厚	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32
	省高	515	490	490	490	515	515	490	490	490	515
	内訳合計	4044	4013	4013	4013	4044	4044	4013	4013	4013	4044
	Z-H 省座高	11262	11368	11444	11519	11563	11315	11421	11496	11571	11615
H											
Z											
t											
Z'											
下部工天端高		11237	11338	11414	11489	11533	11285	11391	11466	11541	11585

鋼製架台配置

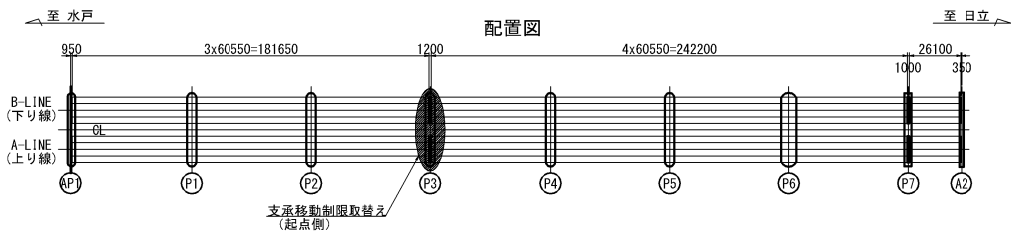


(mm)

B-LINE (下り線)											
G1		G2		G3		G4		G5			
R	L	R	L	R	L	R	L	R	L		
a	135.2	300	130	340	158.8	347.5	80	215.2			
b	857.5	820	860	760	700.6	820.2	780	843.1			
θ	90°	90°	90°	90°	90°	90°	90°	90°			

A-LINE (上り線)											
G1		G2		G3		G4		G5			
R	L	R	L	R	L	R	L	R	L		
a	150	350	133.8	350	150	347.4	130.1	356.3			
b	810	810	780.2	840	820	793.4	769.7	859.6			
θ	90°	90°	90°	90°	90°	90°	90°	90°			

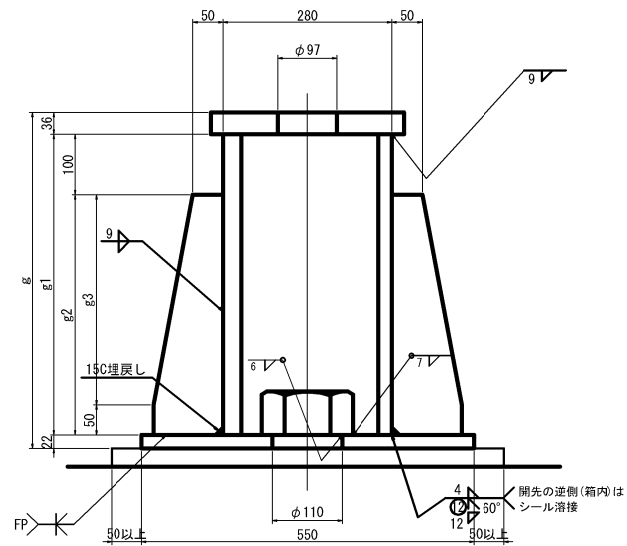
配置図



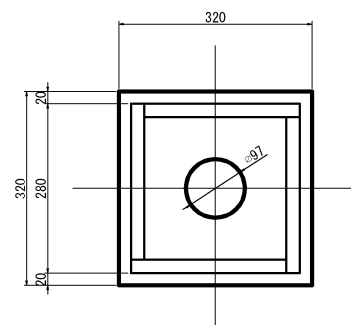
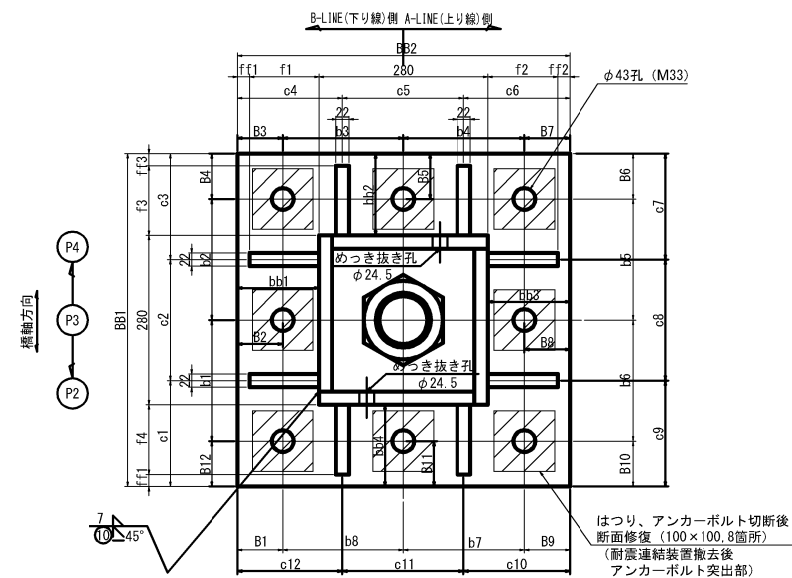
常磐自動車道 久慈川橋耐震補強工事			
図面の種類	久慈川橋 P3変位制限装置撤去図（その1）		
縮尺	図示	図面番号	54/208
設計会社名	株式会社 長大		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

鋼製架台詳細図

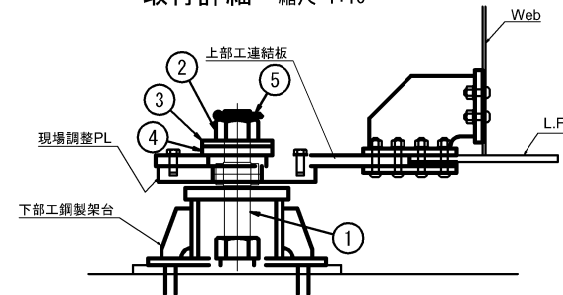
側面図



平面图



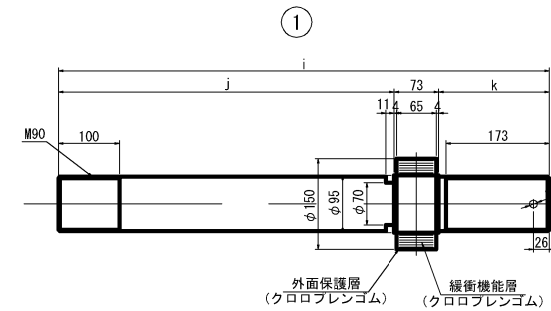
取付詳細 縮尺=1:10



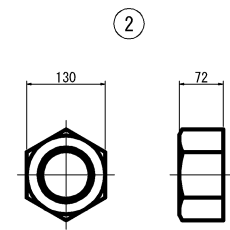
縦型緩衝ピン詳細図

(ϕ 95)

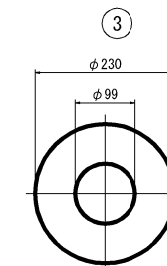
N=16



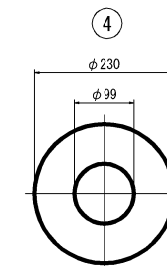
1-変位制限用ピン $\phi 95 \times i$ (S45CN)



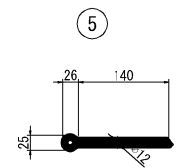
1-ナット(一種) M90 (SS400)



1-ワッシャー $\phi 230(\phi 99) \times 22t(SS400)$



1-スペーサー $\phi 230(\phi 151) \times 30t$ (ゴム)

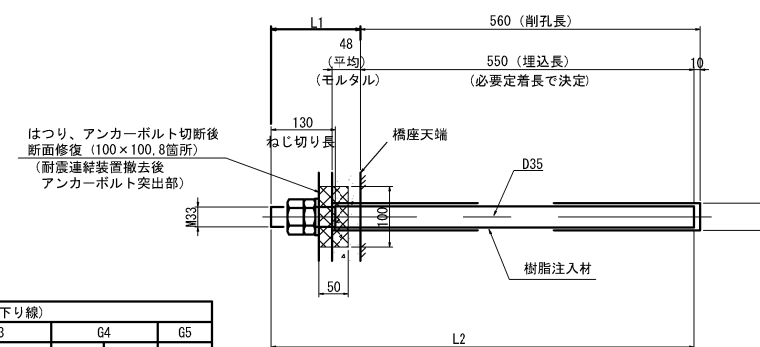


1-割りピン $\phi 13 \times 140$ (SUS304)

N=12

- | | | | |
|------|----------|-------------------|-----------|
| N-12 | 1 - BASE | PL BB1 x 22 x BB2 | (SM490A) |
| | 4 - | PL 258 x 22 x g1 | (SM490A) |
| | 2 - R1B | PL f1 x 22 x g2 | (SM490A) |
| | 1 - TOP | PL 320 x 36 x 320 | (SM490YB) |
| | 1 - NUT | M90 (SS400) | |
| | 2 - R1B | PL f2 x 22 x g2 | (SM490A) |
| | 2 - R1B | PL f3 x 22 x g2 | (SM490A) |
| | 2 - R1B | PL f4 x 22 x g2 | (SM490A) |

アンカーボルト詳細図



N=16

n - D35 x L[†] (1種N, 3種N, W) (M33 x 130) (SD345)

※アンカーボルトはネジ切り部のみ溶融亜鉛めっきを施すものとする。

	B-LINE(下り線)									
	G1		G2		G3		G4		G5	
	R	L	R	L	R	L	R	L	R	L
n	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8
L1	220	140	180	160	200	190	180	1		
L2	770	690	730	710	750	740	730	7		

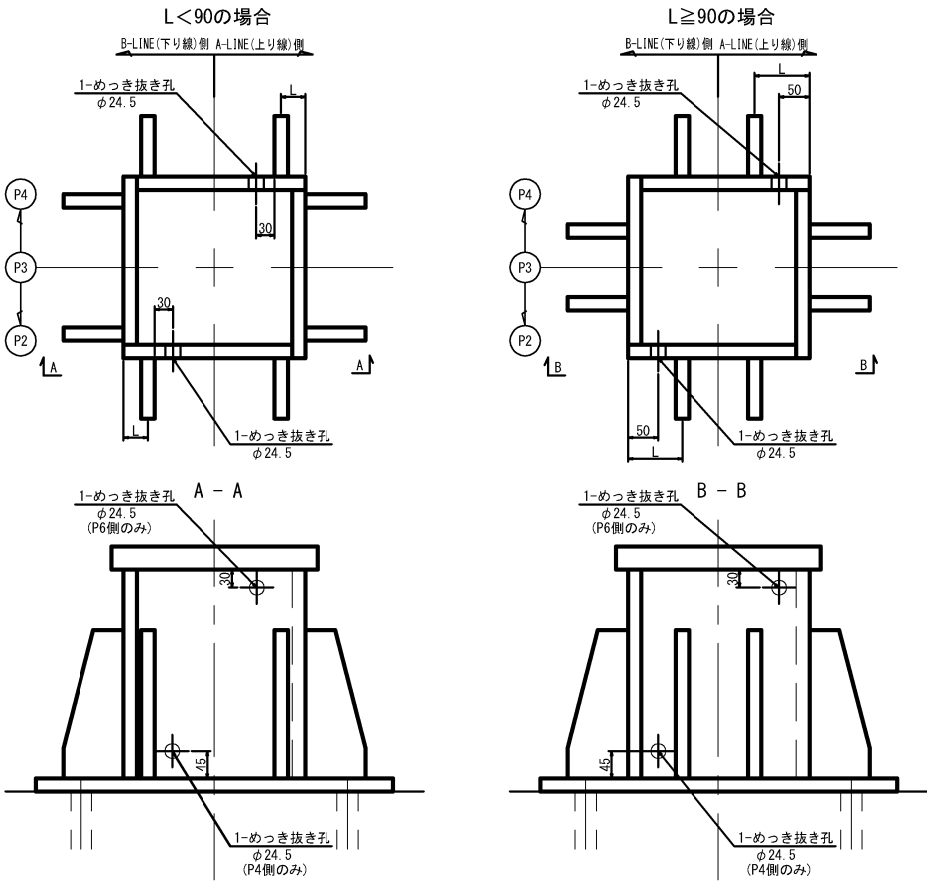
鋼製架台 寸法表

		B-LINE(下り線)									
		G1		G2		G3		G4		G5	
		P	L	R	L	R	L	R	L		
桁下高	H2	565	584	549	610	569	636	584	653		
調整モルタル厚	t	115	31	74	60	98	81	78	64		
架台高	g	369	442	364	439	360	444	395	478		
	g1	311	384	306	381	302	386	337	420		
	g2	211	284	206	281	202	286	237	320		
	g3	161	234	156	231	152	236	187	270		
架台平面	B1			75	84	80	84.5				
	B2			117	77.5	75	79				
	B3			107.5	75	97.5	78				
	B4			89.5	75	104	77				
	B5			77	168.5	95	78				
	B6			80	168.5	75	86.5				
	B7			75	79	81	75				
	B8			98	75	207	89				
	B9			103.5	113	215.5	88				
	B10			75	84	98	75				
	B11			76.5	76	94	76				
	B12			77.5	77	83	79				
	b1			203	207.5	215	245				
	b2			179.5	292.5	303	158				
	b3			207	215.5	285.5	215.5				
	b4			230.5	200	239	252.5				
	b5			192	204.5	333	190.5				
	b6			202.5	195	199	207				
	b7			201.5	171	194.5	213.5				
	b8			240	201.5	213	235				
	BB1			549.5	652	705	559				
	BB2			620	569.5	703	621				
	bb1			178	152.5	149	153				
	bb2			128	229	273	136				
	bb3			162	137	274	188				
	bb4			141.5	143	152	143				
	c1			181.5	183	192	183				
	c2			200	200	200	200				
	c3			168	269	313	176				
	c4			218	192.5	189	193				
	c5			200	200	130	200				
	c6			202	177	384	228				
	c7			168	269	313	176				
	c8			200	200	200	200				
	c9			181.5	183	192	183				
	c10			202	177	314	228				
	c11			200	200	200	200				
	c12			218	192.5	189	193				
	f1			151	129	123	133				
	f2			135	115	254	155				
	f3			108	204	233	116				
	f4			121	123	132	115				
	ff1			27	23.5	26	20				
	ff2			27	22	20	33				
	ff3			20	25	40	20				
	ff4			20.5	20	20	28				

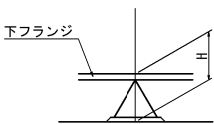
鋼製架台 寸法表

		A-LINE(上り線)									
		G1		G2		G3		G4		G5	
		R	L	R	L	R	L	R	L		
桁下高	H2	643	609	567	631	578	639	595	650		
調整モルタル厚	t	179	75	83	65	116	98	89	72		
架台高	g	353	423	373	455	351	430	395	467		
	g1	295	365	315	397	293	372	337	409		
	g2	195	265	215	297	193	272	237	309		
	g3	145	215	165	247	143	222	187	259		
架台平面	B1	77.5	118	78	88	75	79	75	75		
	B2	75	104	78	82	126.5	75	75	80.5		
	B3	83.5	75	80	75	127	79	81.5	88.5		
	B4	80.5	135.5	222	75	158	184.5	229.5	75		
	B5	75	85	220	77	154	75	218.5	79.5		
	B6	87	75	75	78	75	183.5	75	82		
	B7	78	76.5	80	81.5	77	83	75	93.5		
	B8	76.5	75	75	75	75	78	106.5	82		
	B9	79	78	83	75.5	83	75	96.5	81		
	B10	80	75	75.5	80	75	76.5	75	76		
	B11	75	75	83	78	79	75	75.5	78		
	B12	80	83.5	88.5	75	77	79.5	84.5	78.5		
	b1	205	206.5	205	210	209.5	203.5	199	203.5		
	b2	200.5	210.5	214.5	281.5	197.5	212.5	270.5	286		
	b3	209	226.5	261	212.5	205.5	187	222.5	189		
	b4	197	209	177	198.5	206.5	234	213.5	215.5		
	b5	205	254	422	278.5	286	221	426.5	235		
	b6	194	232	217.5	205	206	199	207	250		
	b7	211	197	176	231	204	251	198	221		
	b8	200	194	261	173	254	178	223	209.5		
	BB1	566	636	790	641.5	642	680	783.5	643		
	BB2	567.5	587	598	567.5	616	583	592.5	586.5		
	bb1	149.5	166	175	149	194	161	145	149.5		
	bb2	147	216	359	219.5	223	257.5	358.5	225		
	bb3	138	141	143	138.5	142	142	167.5	157		
	bb4	139	140	151	142	139	142.5	145	138		
	c1	179	180	191	182	179	182.5	185	178		
	c2	200	200	200	200	200	200	200	200		
	c3	187	256	399	259.5	263	297.5	398.5	265		
	c4	189.5	206	215	189	234	201	185	189.5		
	c5	200	200	200	200	200	200	200	200		
	c6	178	181	183	178.5	182	182	207.5	197		
	c7	187	256	399	259.5	263	297.5	398.5	255		
	c8	200	200	200	200	200	200	200	210		
	c9	179	180	191	182	179	182.5	185	178		
	c10	178	181	183	178.5	182	182	207.5	197		
	c11	200	200	200	200	200	205	200	200		
	c12	189.5	206	215	189	234	196	185	189.5		
	f1	123	146	155	125	174	140	118	118		
	f2	118	118	120	115	114	119	144	137		
	f3	118	196	335	194	194	227	331	195		
	f4	115	117	131	119	112	115	122	118		
	ff1	26.5	20	20	24	20	21	27	31.5		
	ff2	20	23	23	23.5	28	23	23.5	20		
	ff3	29	20	24	25.5	29	30.5	27.5	30		
	ff4	24	23	20	23	27	27.5	23	20		

めっき抜き孔詳細図



注 ・ tは調整モルタル高を示す。
・ Hは下フランジ厚も含む。
・ G1-R側 (A, B-LINE共通) , A-LINE(上り線) G3-R側にはひび割れ防止鉄筋を配置すること。
ひび割れ防止鉄筋はΦ13 (＠100×100) とする。(19.9kg/m2)
なお、設置高さは調整モルタル厚の
1/2程度の位置とする。



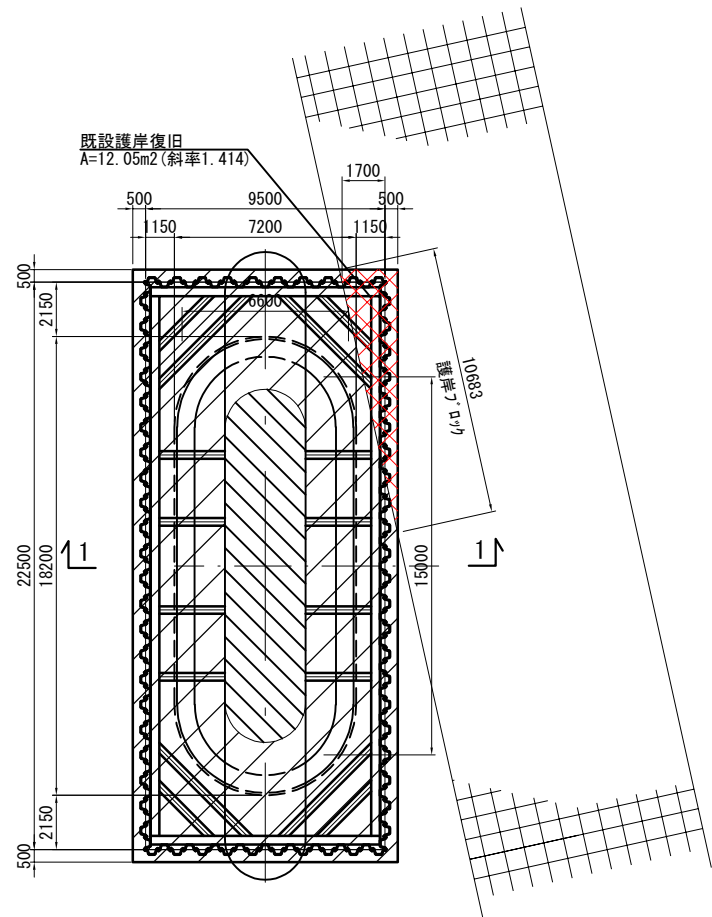
常磐自動車道 久慈川橋耐震補強工事			
図面の種類	久慈川橋 P3変位制限装置撤去図（その4）		
	縮 尺	図示	図面番号 57／208
設計会社名	株式会社 長 大		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

主桁補強詳細

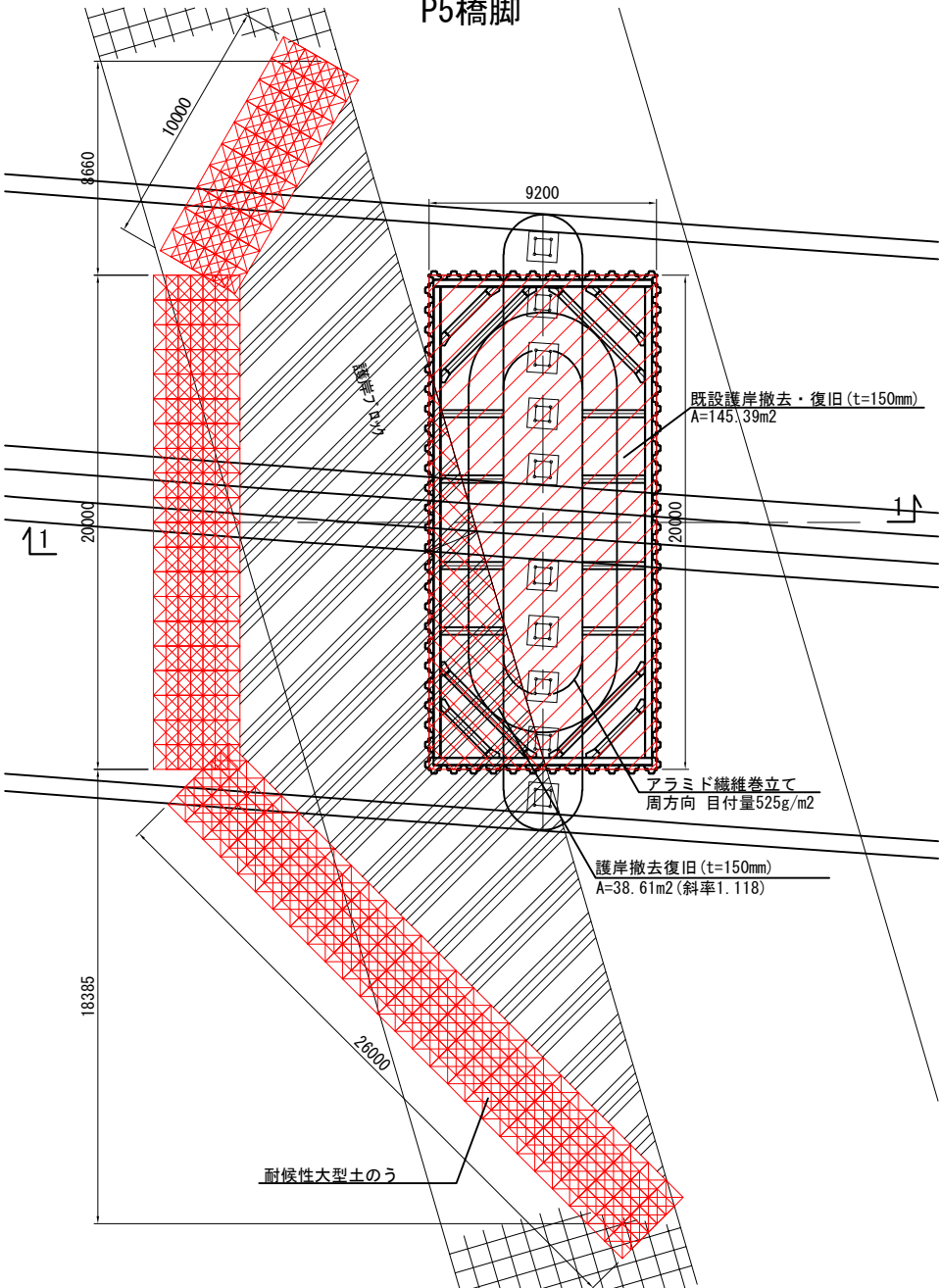


	B-LINE(下ノ線)								
	G1		G2		G3		G4		G5
	R	L	R	L	R	L	R	L	
a	135. 2	300	130	340	158. 8	347. 5	80	215. 2	
Δa1	8. 9	3. 9	13. 9	6. 9	12. 9	5. 9	2. 9	12. 9	
Δa2	7. 4	0. 9	4. 9	4. 9	0. 9	5. 9	-0. 1	8. 4	
a'	136. 7	303. 0	139. 0	342. 0	170. 8	347. 5	83. 0	219. 7	
b	857. 5	830	860	760	700. 6	820. 2	780	843. 1	
b'	497. 5	520	550	450	390. 6	510. 2	470	483. 1	
c	758. 3	592. 0	756. 0	553. 0	724. 2	547. 5	812. 0	675. 3	
d	1478	1312	1476	1273	1444	1268	1532	1395	
e	245	195	195	195	195	195	195	245	
f	447. 5	470	500	400	340. 6	460. 2	420	433. 1	
g	882	905	935	835	776	895	855	868	

平面図
P3橋脚

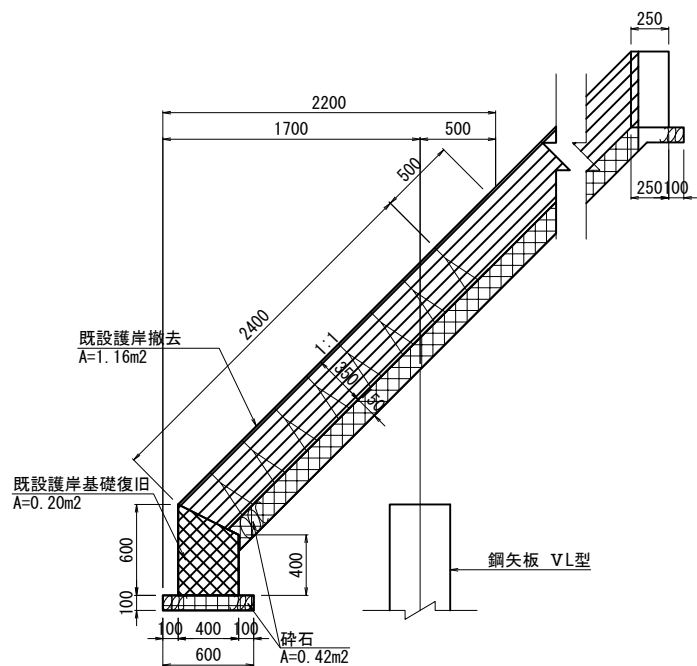


平面図
P5橋脚

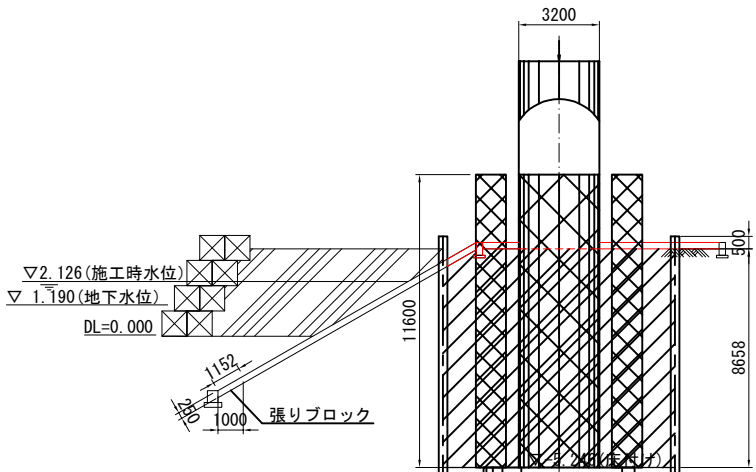


既設護岸横断面図
P3橋脚

S=1:50



側面図
P5橋脚

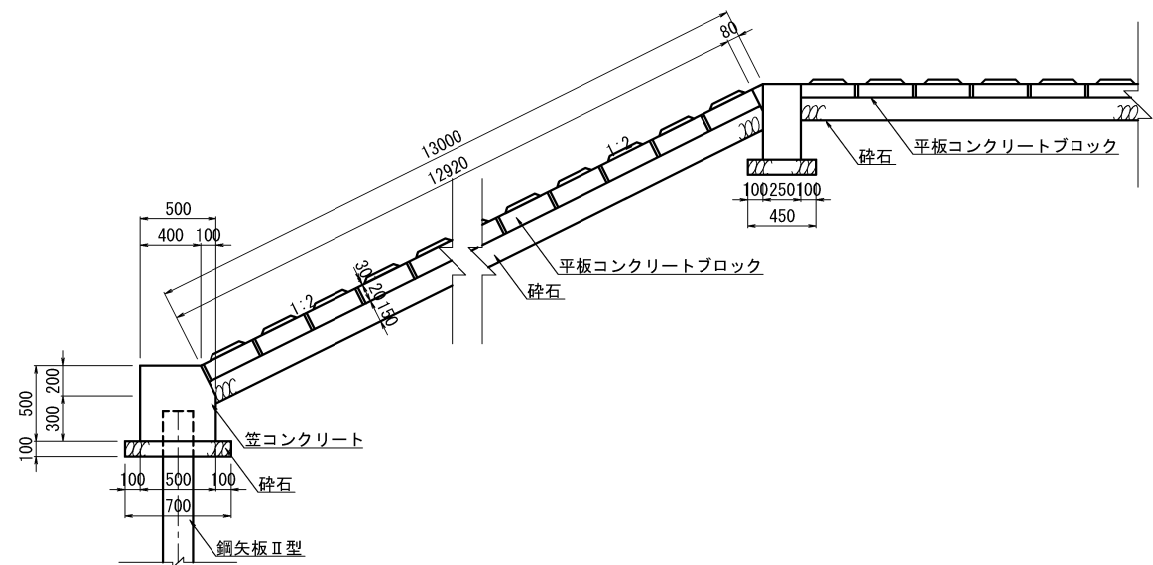


注記

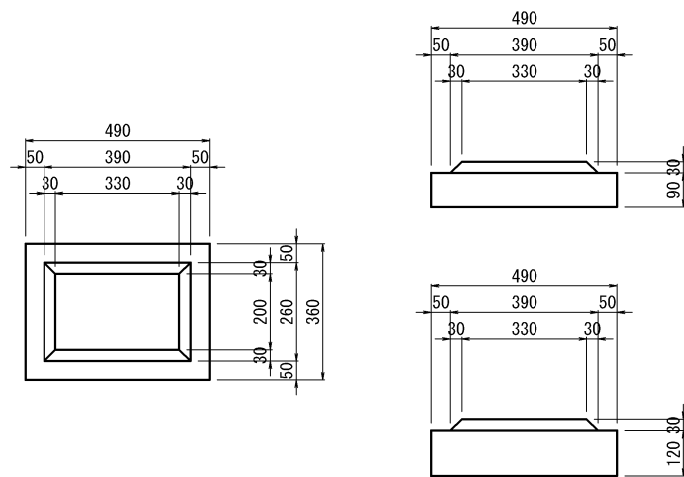
- 施工時に必要に応じ現地盤を確認し、地盤の変状、支障物等がある場合は適宜修正を行うこと
- 護岸基礎コンクリートの仕様は、18-8-25 (BB) とする

常磐自動車道 久慈川橋耐震補強工事			
図面の種類	久慈川橋 既設護岸撤去・復旧図(その1)		
縮尺	図示	図面番号	59 / 208
設計会社名	株式会社 長大		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

P5橋脚側護岸斜面部
詳細図 S=1:50

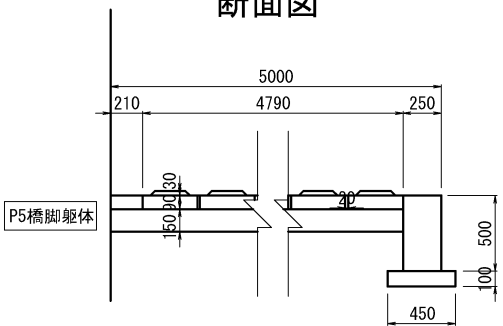


平板コンクリートブロック
詳細図 S=1:20

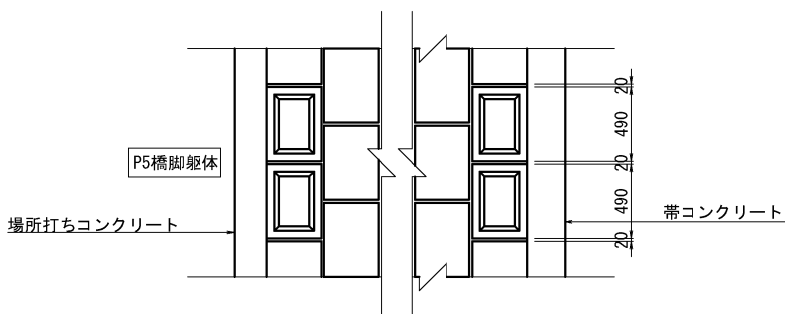


P5橋脚側護岸水平部
詳細図 S=1:50

断面図



平面図



注記

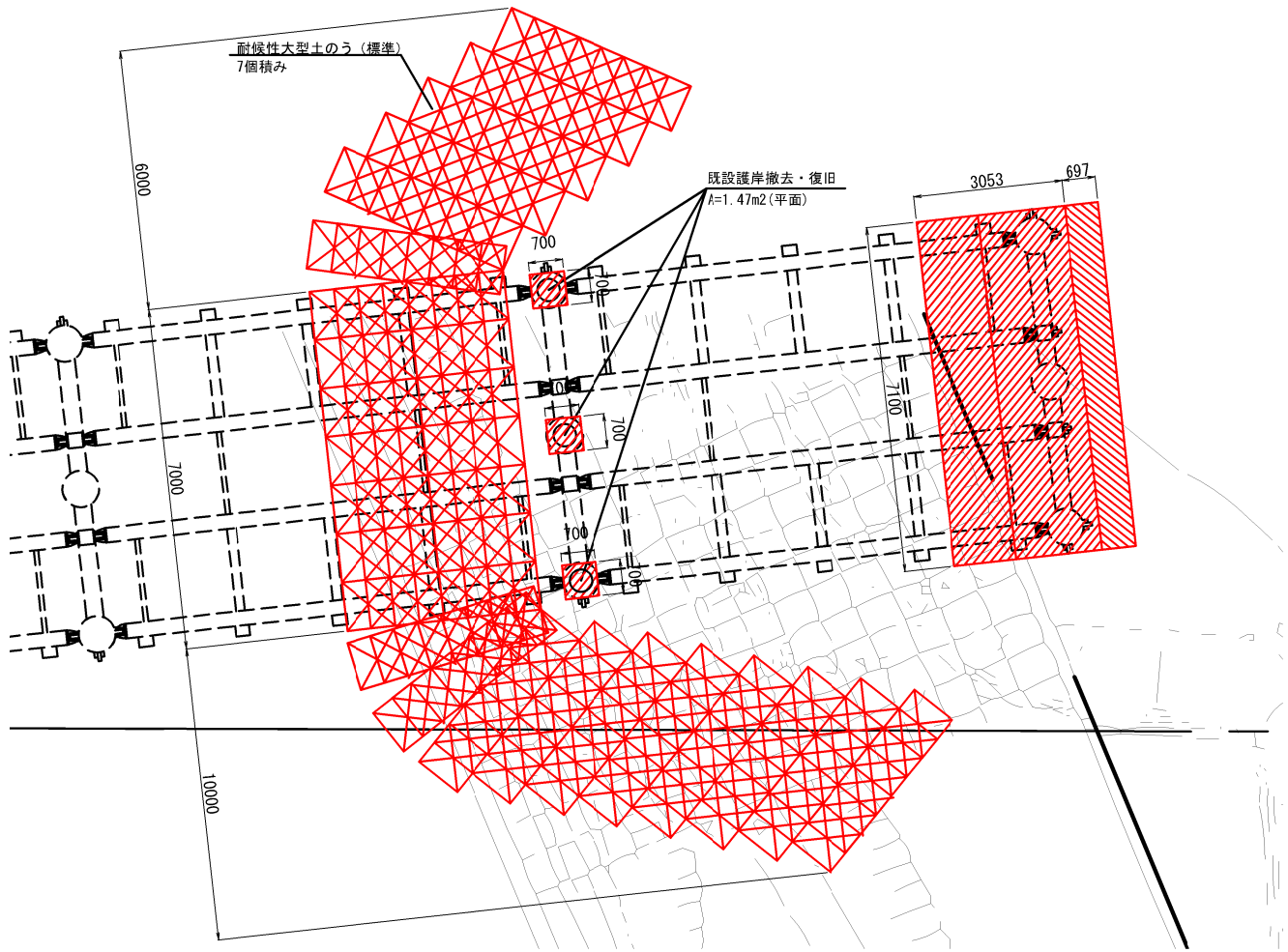
1. 施工時に必要に応じ現地盤を確認し、地盤の変状、支障物等がある場合は適宜修正を行うこと

常磐自動車道 久慈川橋耐震補強工事			
図面の種類	久慈川橋 既設護岸撤去・復旧図(その2)		
	縮尺	図示	図面番号 60 / 208
設計会社名	株式会社 長大		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

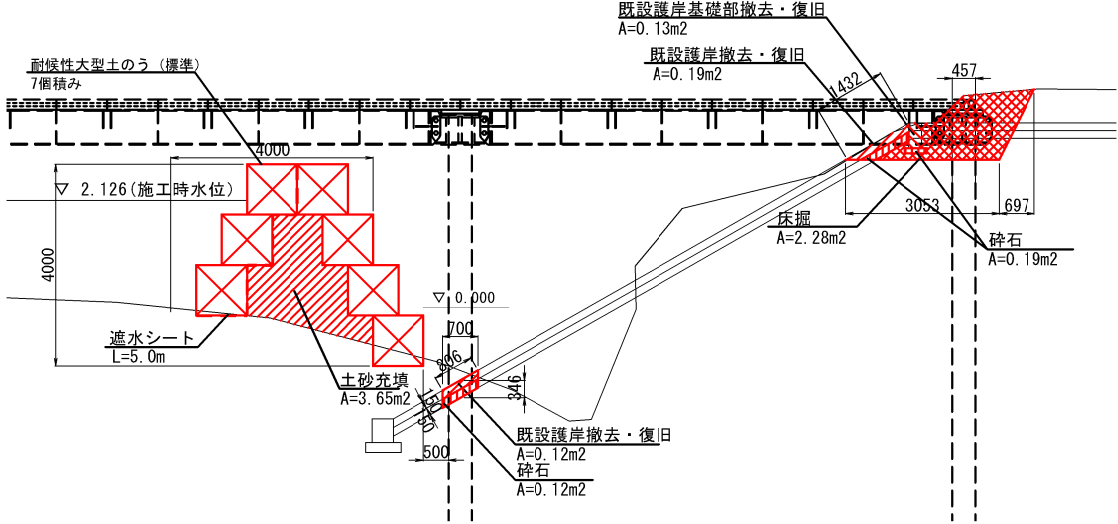
久慈川橋 既設護岸撤去・復旧図(その3)
工事用仮橋部(P4~P5)

S=1:150

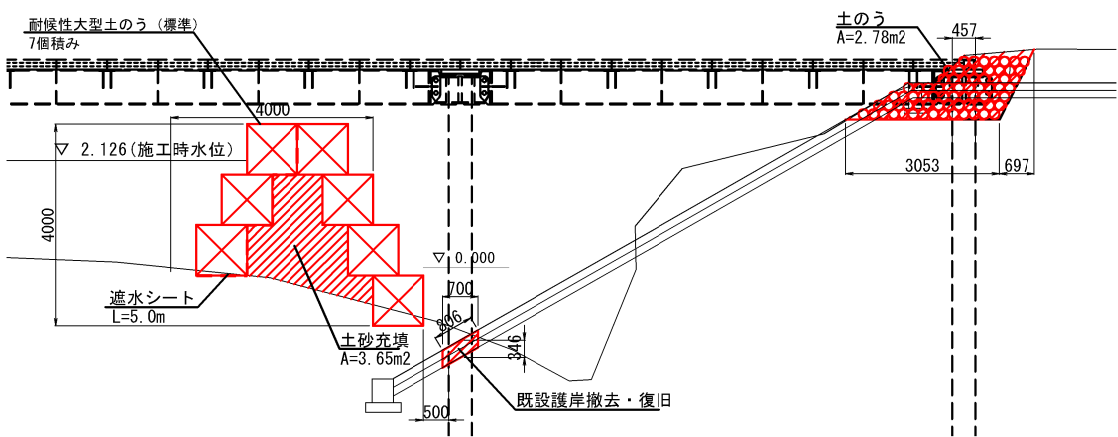
平面図



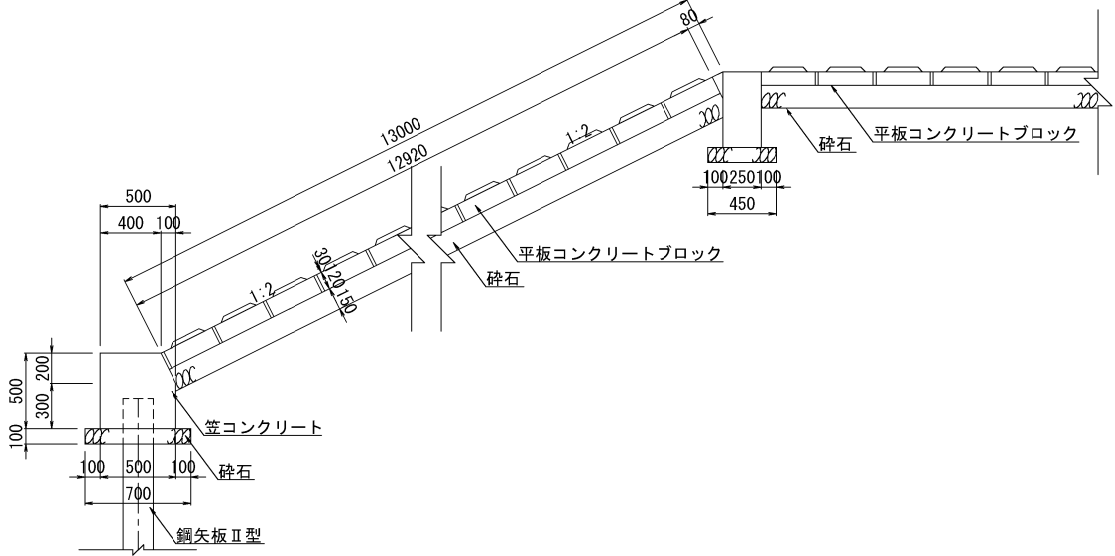
側面図



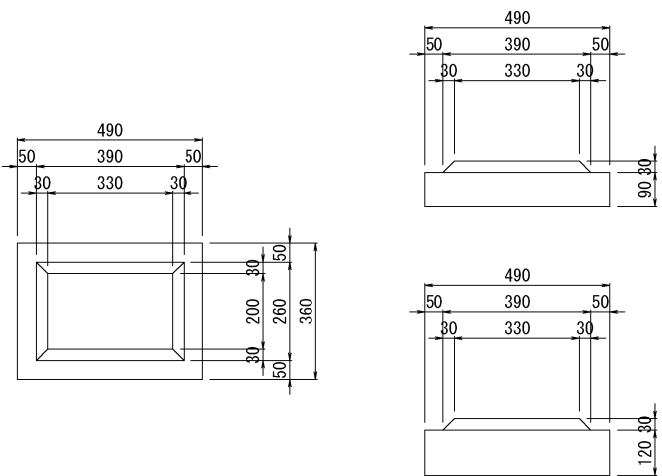
側面図
(施工時)



護岸斜面部
詳細図 S=1:50



平板コンクリートブロック
詳細図 S=1:20

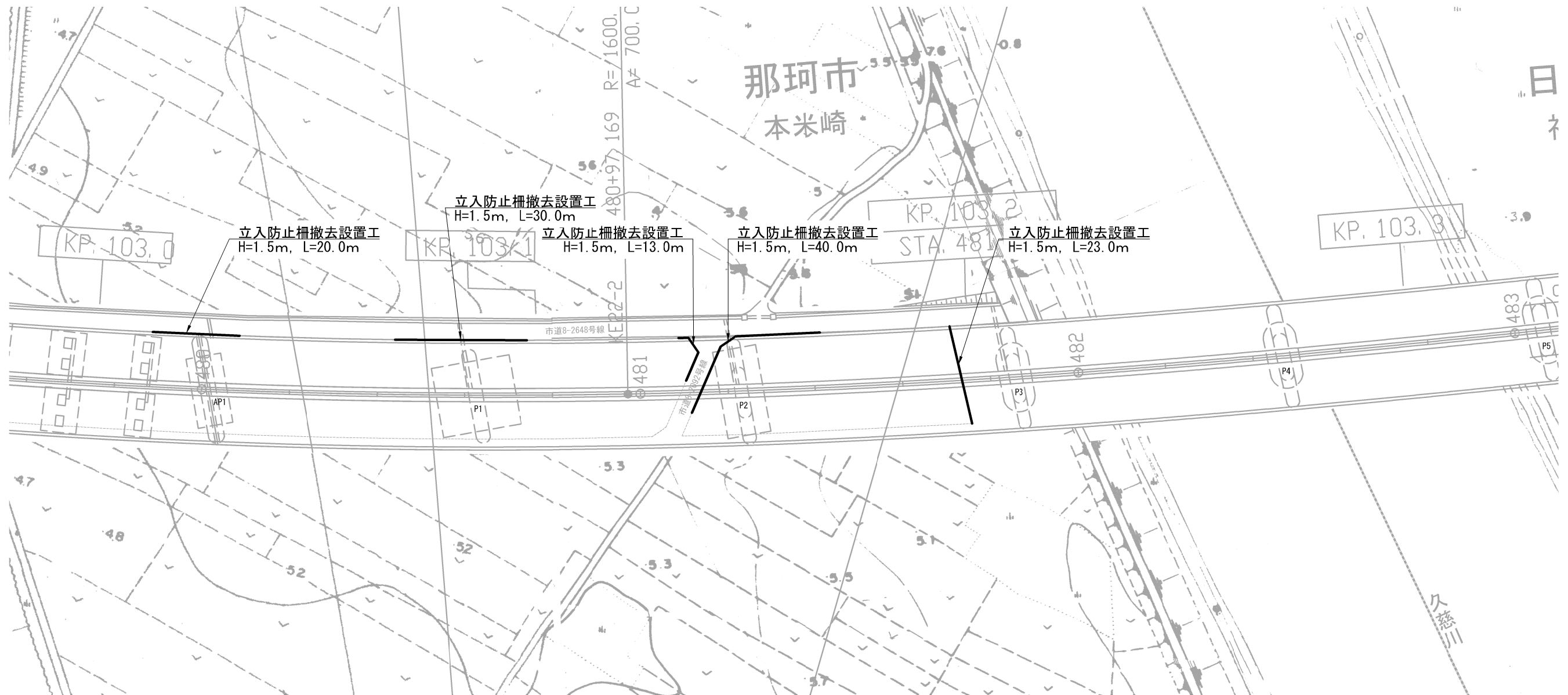


注記

- 施工時に必要に応じ現地盤を確認し、地盤の変状、支障物等がある場合は適宜修正を行うこと
- 仮橋設置後、現地盤～仮橋接続のため、土のうを敷き詰めることとする

常磐自動車道 久慈川橋耐震補強工事			
図面の種類	久慈川橋 既設護岸撤去・復旧図(その3)		
縮尺	図示	図面番号	61 / 208
設計会社名	株式会社 長大		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
事務所名	水戸管理事務所		

平面図 S = 1 : 1, 000



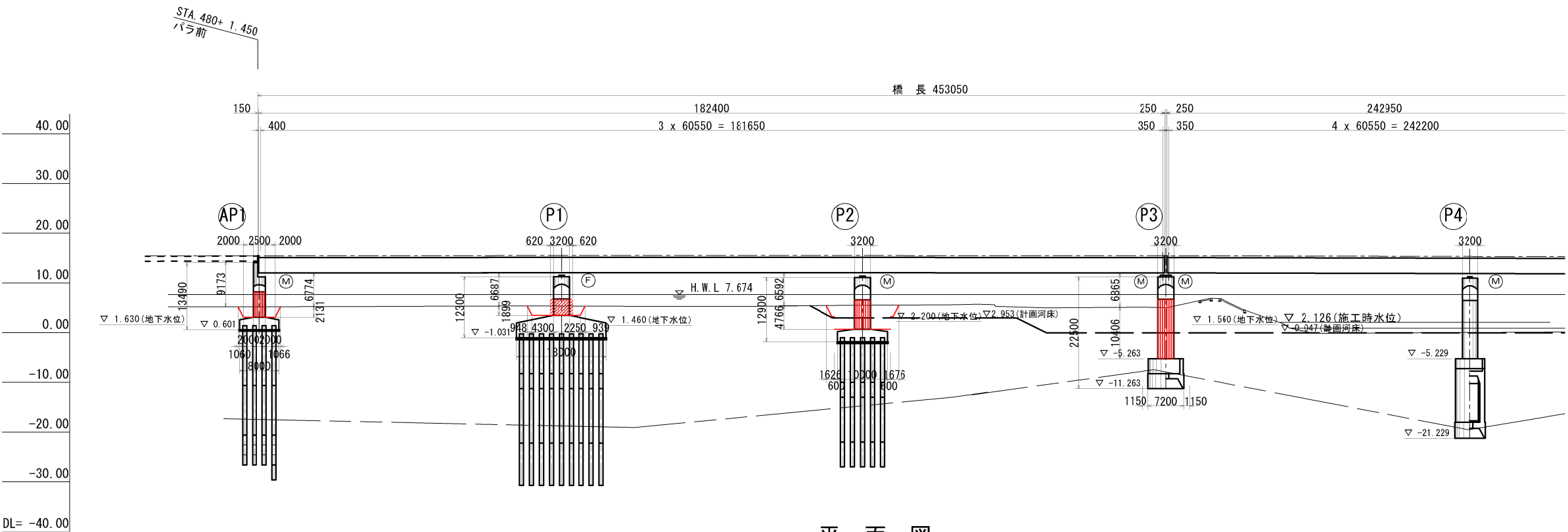
久慈川橋
防護柵撤去設置工 数量表

項目番号	名称	算定式	単位	数量
15-(11)	立入防止柵撤去設置工 (一般型非積雪地用)	20.0+30.0+13.0+40.0+23.0	m	126.0

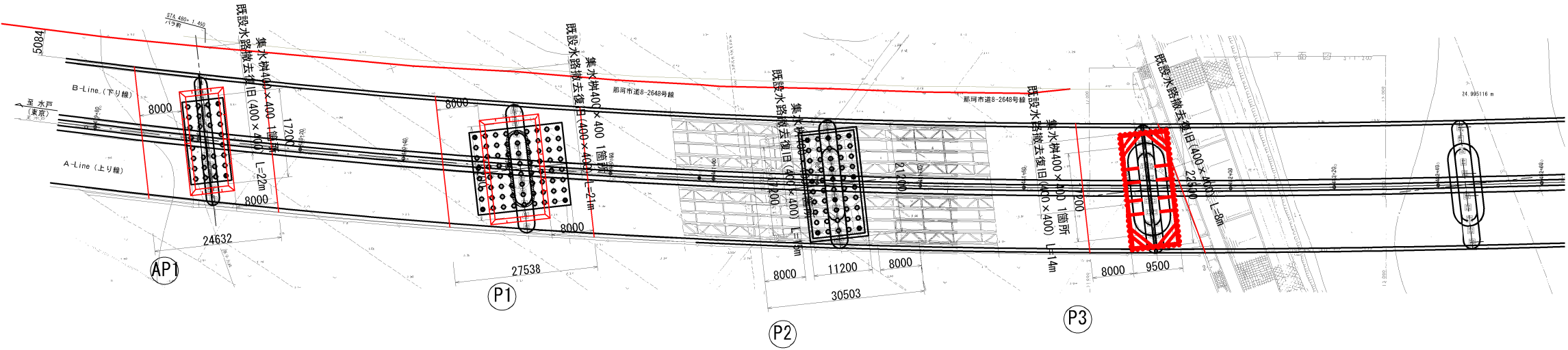
常磐自動車道 久慈川橋耐震補強工事				
図面の種類	久慈川橋 防護柵撤去設置工			
縮尺	図示	図面番号	62 / 208	
設計会社名	_____			
施工会社名	_____			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所			

久慈川橋 既設用排水溝撤去・設置工(その1) 縮尺 1:1000

側 面 図

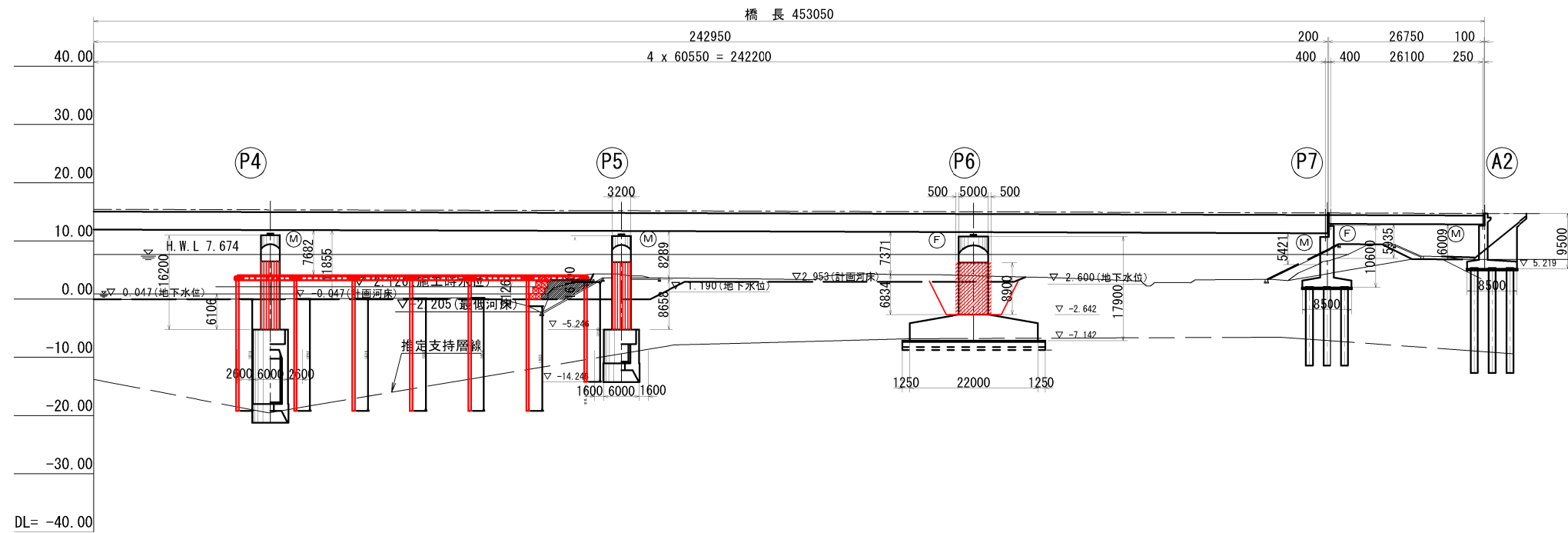


平 面 図

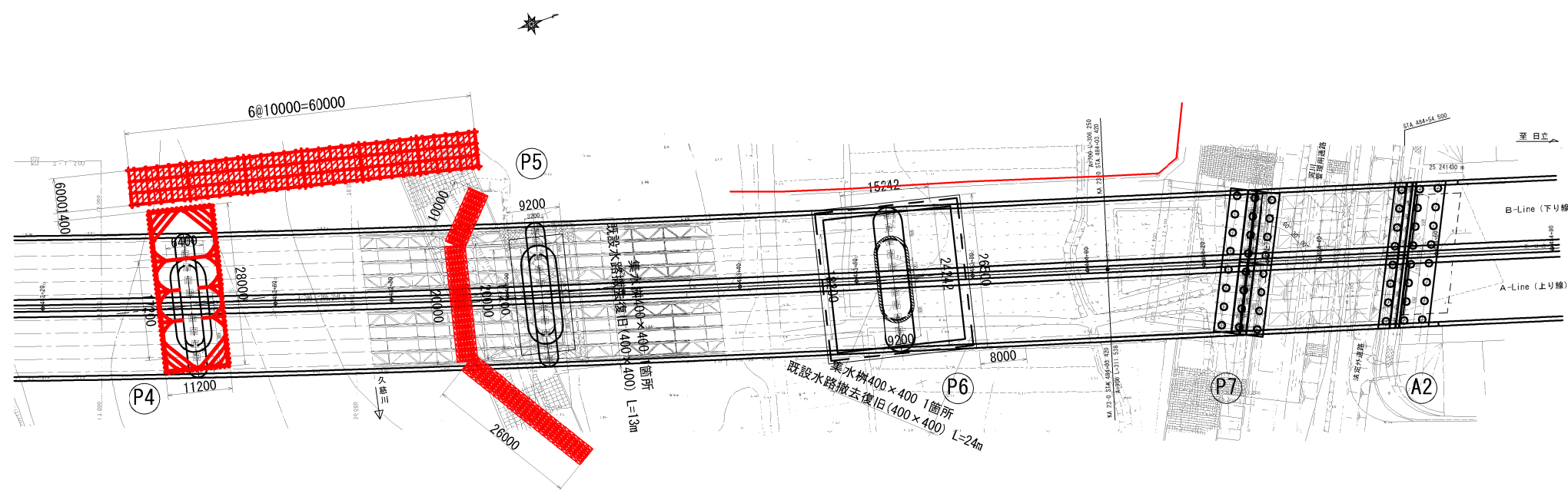


常磐自動車道 久慈川橋耐震補強工事			
図面の種類	久慈川橋		
	既設用排水溝撤去・設置工(その1)		
縮 尺	図示	図面番号	63 / 208
設計会社名	株式会社 長 大		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

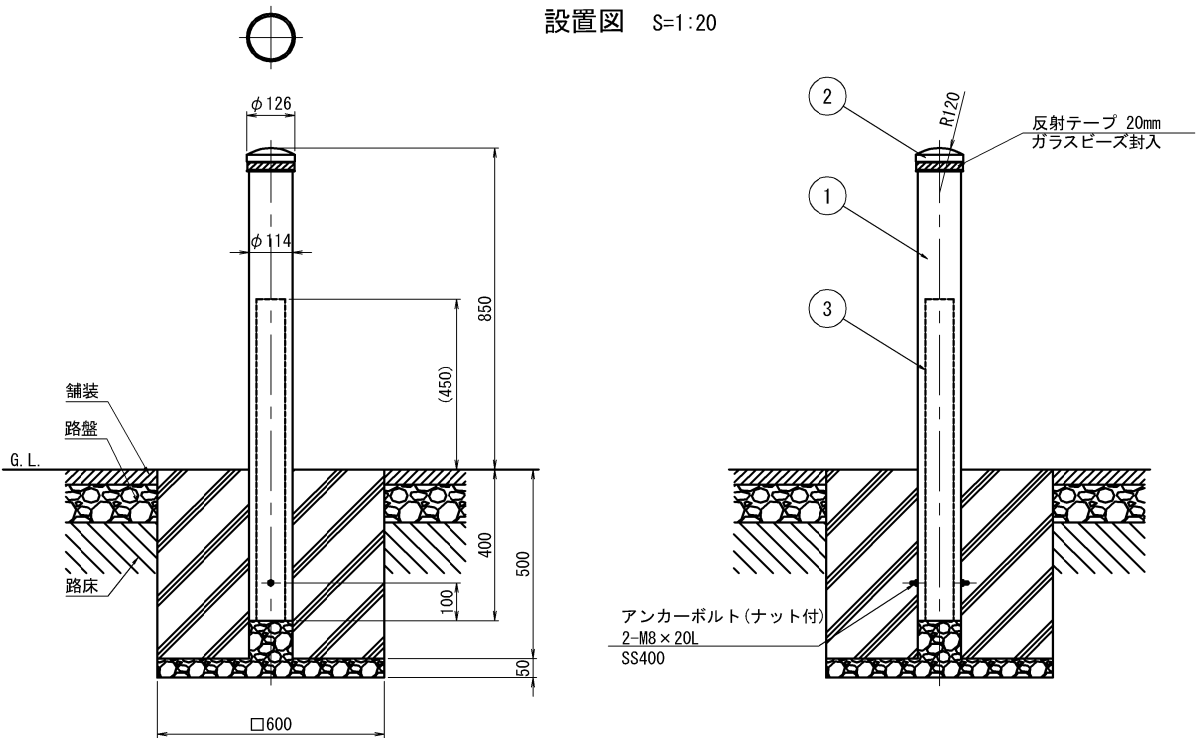
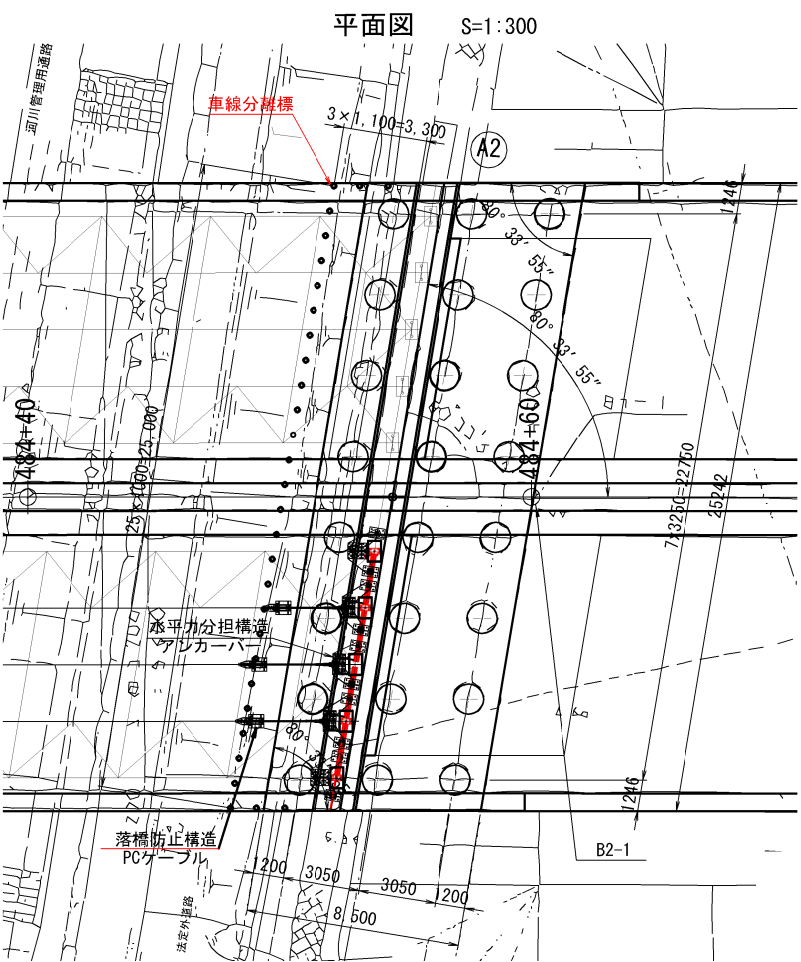
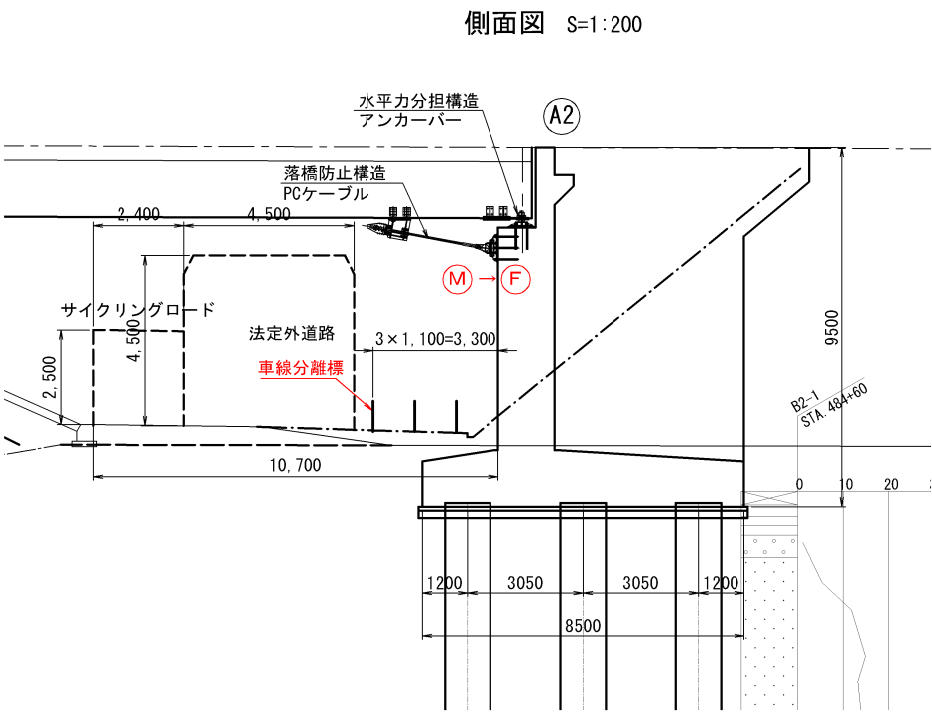
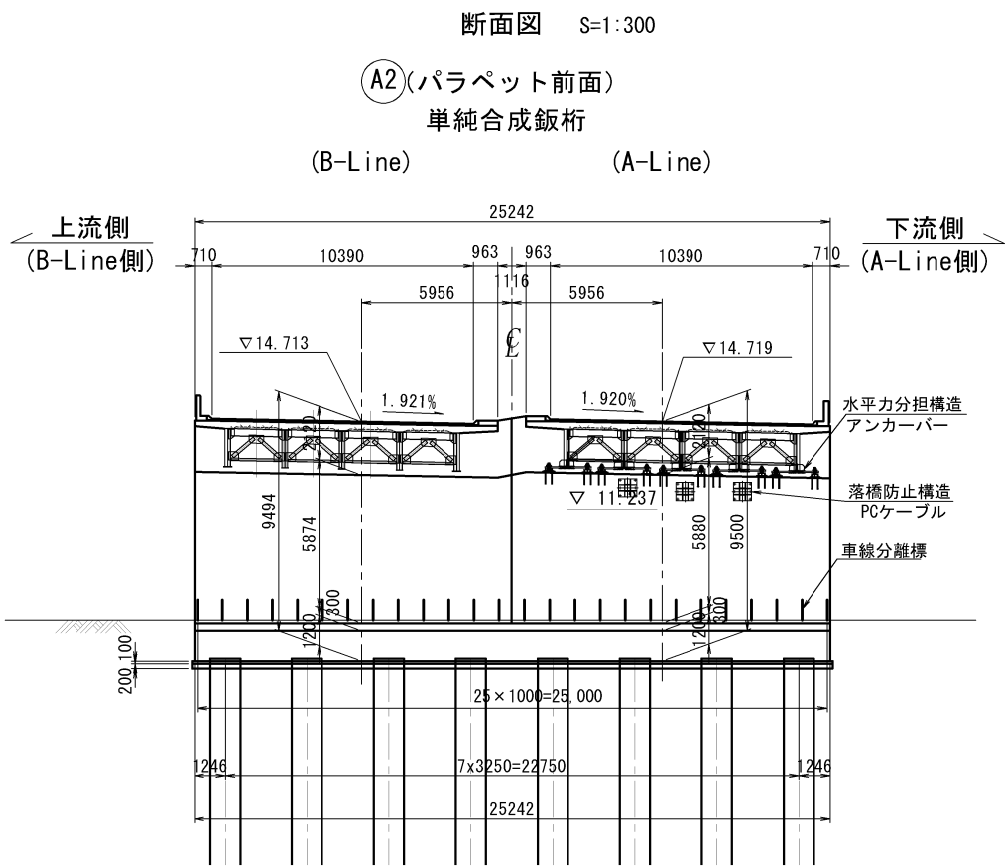
側 面 図



平面图



常盤自動車道 久慈川橋耐震補強工事			
図面の種類		久慈川橋 既設用排水溝撤去・設置工(その2)	
縮 尺	図示	図面番号	64/208
設計会社名	株式会社 長 大		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

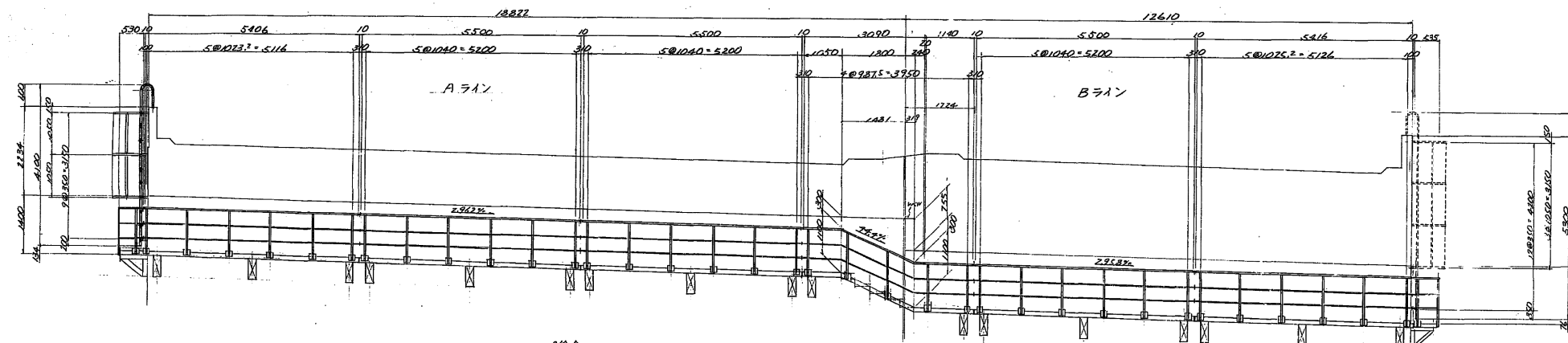


番号	品名	数量	材質	備考
1	パイプ	1	銅管 STK400	φ114.3×t4.5 亜鉛メッキ鋼管、焼付塗装
2	ヘッドキャップ	1	鋳鋼品 S25C	φ125.8×H62 電気亜鉛メッキ後、焼付塗装
3	インパクトスリーブ	1	スチール STKR400	カチオン電着塗装

n=30本

常磐自動車道 久慈川橋耐震補強工事			
図面の種類	久慈川橋 車線分離標配置図		
縮尺	図示	図面番号	65 / 208
設計会社名	株式会社 長大		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

A1橋台検査路 S:1:150

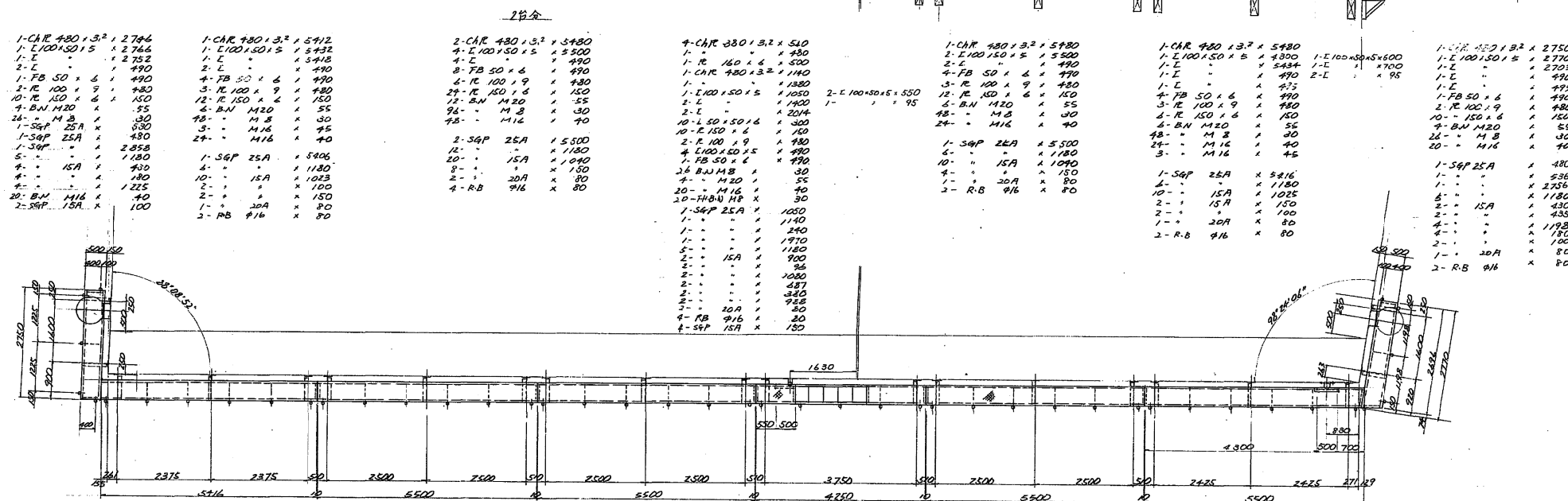


橋子 (A-ライン)

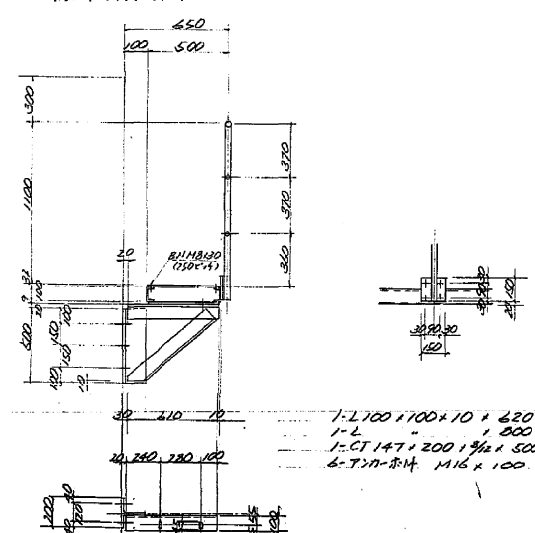
- 2-1E 65 x 6 x 4871
- 3-1E 1 x 1 x 1840
- 3-1E 1 x 1 x 2155
- 2-1E 1 x 1 x 300
- 6-1E 1 x 1 x 200
- 6-1E 1 x 1 x 40
- 10-1E 402 x 394 (SR24)
- 2-1E 50 x 6 x 250
- 17-1E 116 x 40
- 10-1E 116 x 100

橋子 (B-ライン) *下部工施工時が50はすす。

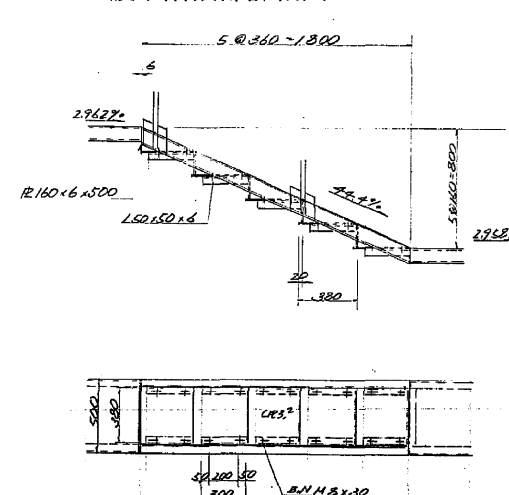
- 2-1E 65 x 6 x 6071
- 4-1E 1 x 1 x 1840
- 3-1E 1 x 1 x 2155
- 2-1E 1 x 1 x 300
- 6-1E 1 x 1 x 200
- 6-1E 1 x 1 x 40
- 13-1E 402 x 394 (SR24)
- 2-1E 50 x 6 x 250
- 12-1E 116 x 100



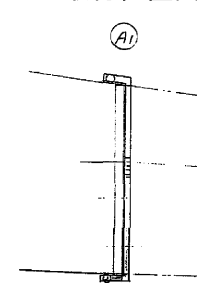
標準断面図 S:1:50



渡り階段部詳細図 S:1:50



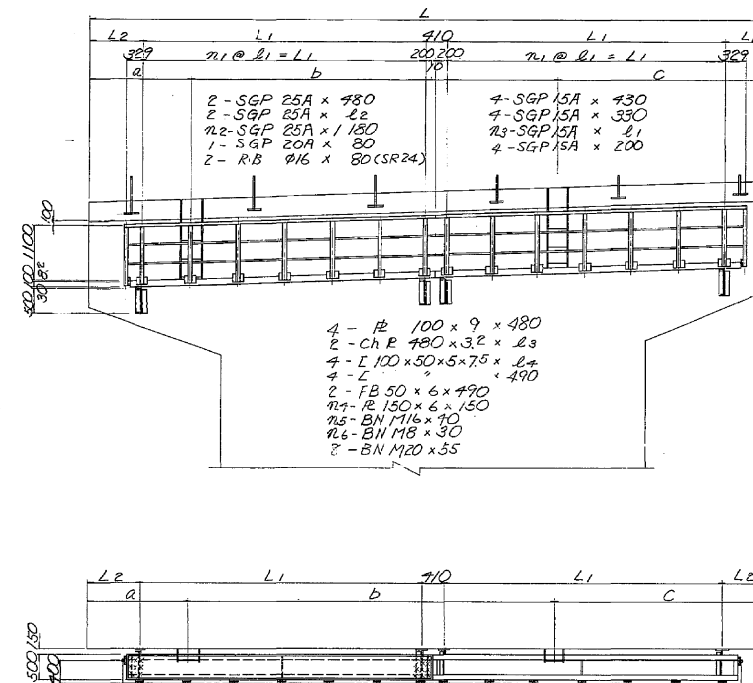
取付位置図



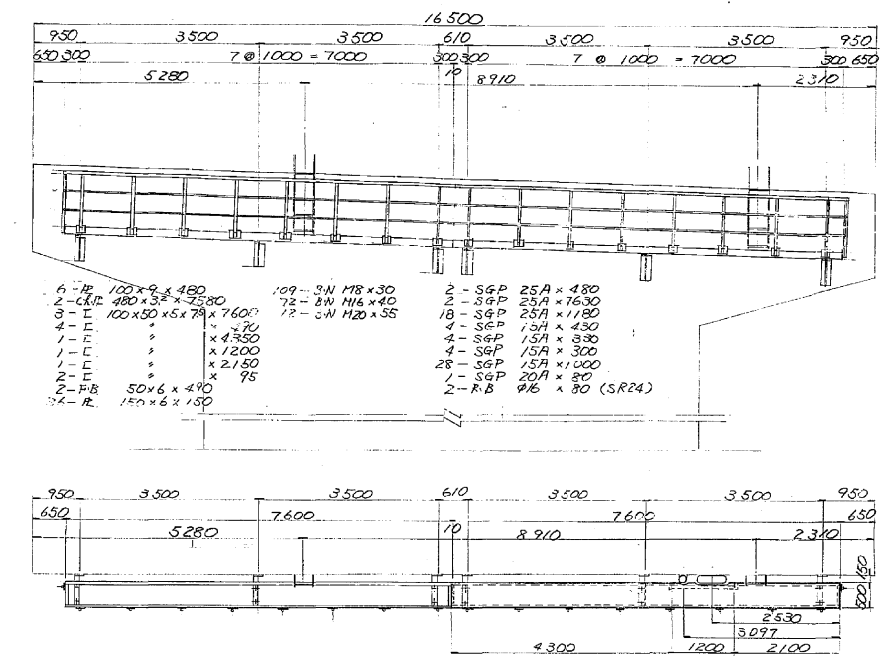
常磐自動車道 久慈川橋耐震補強工事			
図面の種類	茂宮川高架橋 A1(A-ライン) 検査路 撤去工		
	縮尺	図示	図面番号 66/208
設計会社名	株式会社 長大		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

茂宮川高架橋 P1・P3(A-ライン) 検査路 撤去工

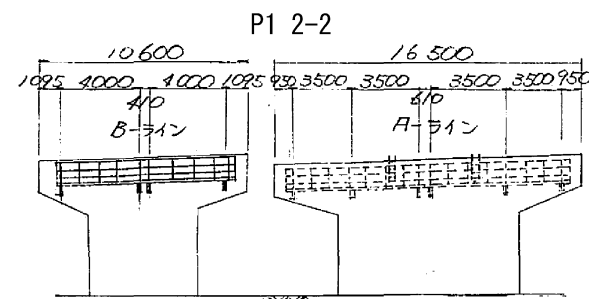
A-ライン P3 S=1:150



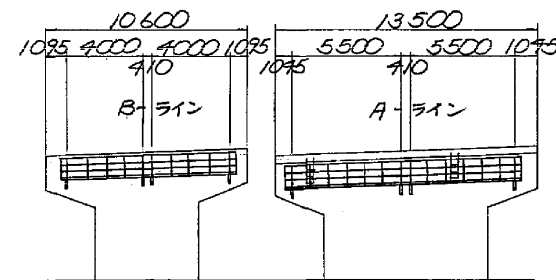
A-ライン P1 S=1:150



正面図 S=1:400



P3 4-4

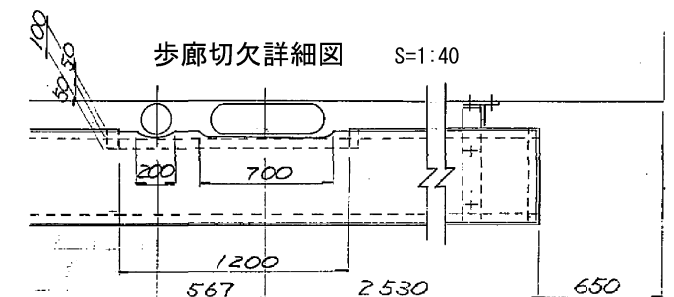


A-ライン - 寸法表

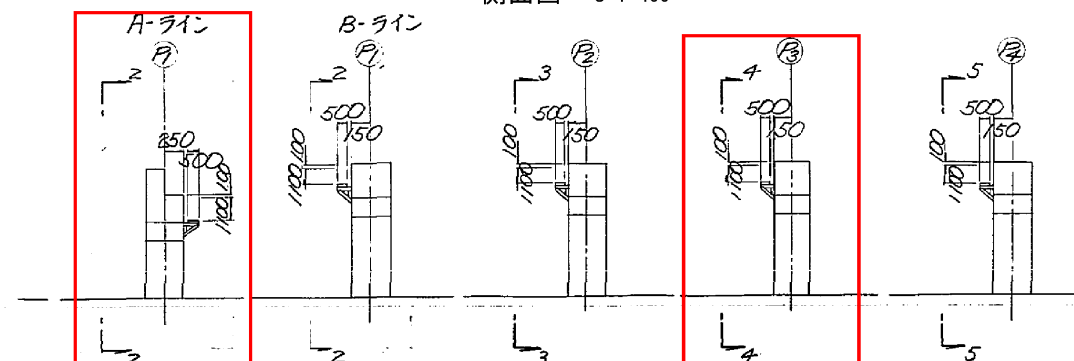
	L	L1	L2	l1	l2	l3	l4
P3	13500	5500	1075	917	6030	5980	6000
P4	12200	5000	875	1000	5530	5480	5500

	a	b	C	n1	n2	n3	n4	n5	n6
P3	2000	7200	4300	6	16	24	32	64	92
P4	2300	4000	5700	5	14	20	28	56	84

歩廊切欠詳細図 S=1:40

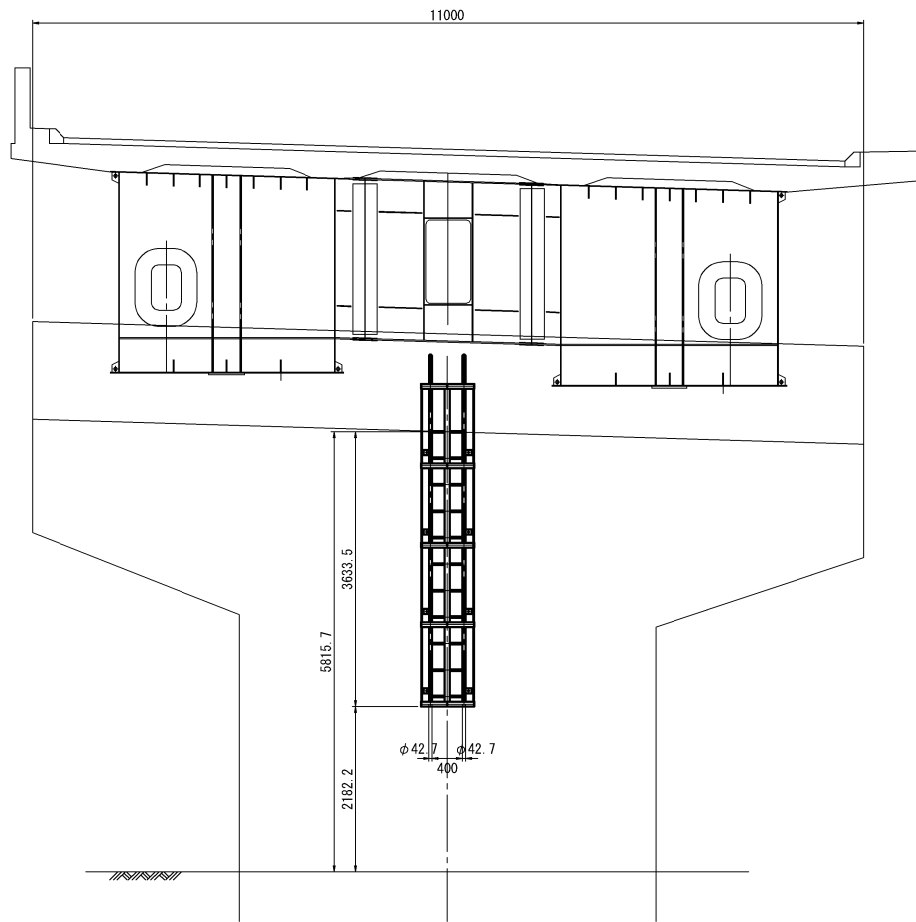


側面図 S=1:400



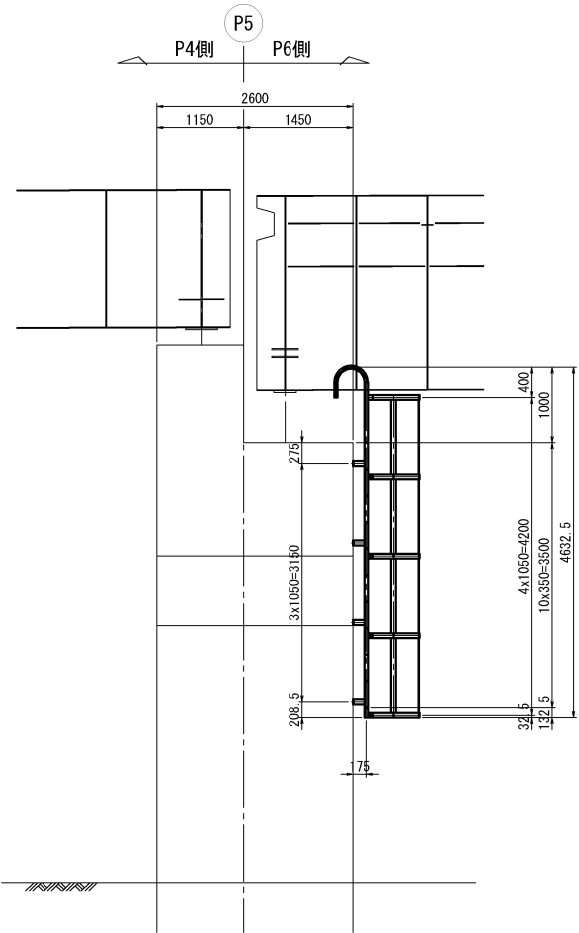
常盤自動車道 久慈川橋耐震補強工事			
茂宮川高架橋 P1・P3(A-ライン) 検査路 撤去工			
図面の種類	縮尺	図示	図面番号 67/208
設計会社名	株式会社 長大		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
事務所名	水戸管理事務所		

終 点 側



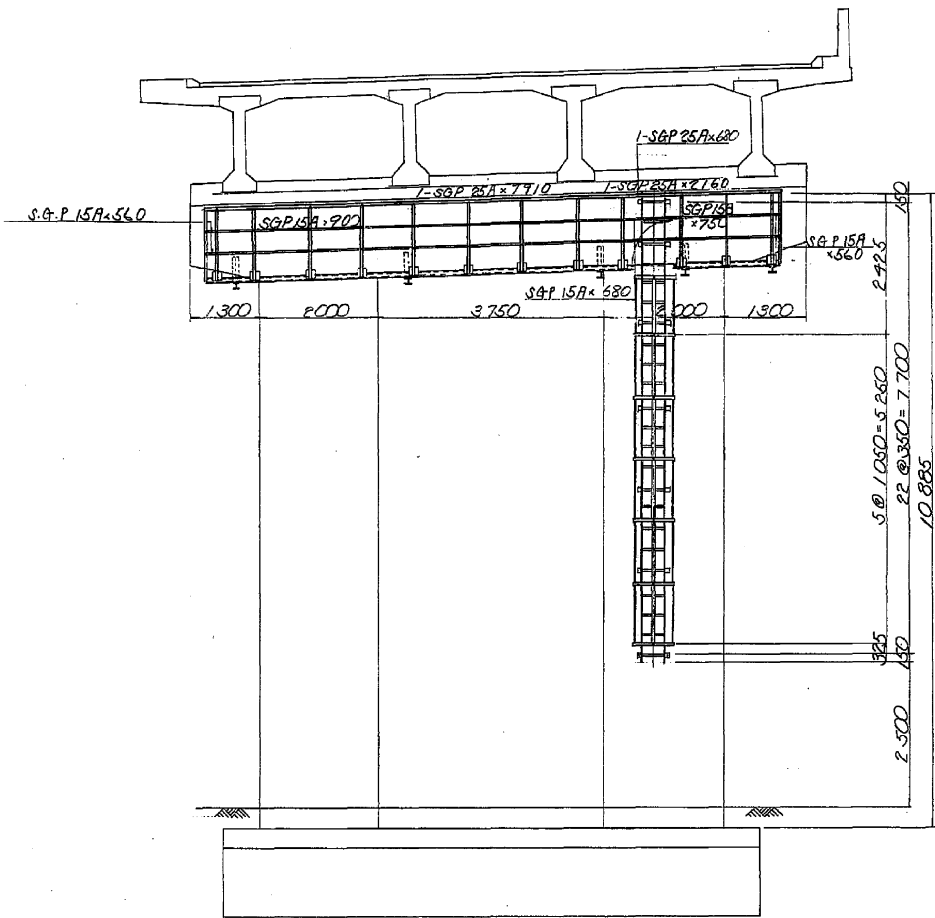
- 2-Pipe 32A x 4433 (SGP)
- 2-Pipe 32A x 828 (SGP)
- 5-PL 65 x 6 x 1797
- 3-PL 65 x 6 x 4265
- 8-PL 65 x 6 x 248
- 10-PL 65 x 6 x 60
- 25-BN M16 x 40 (2-#付)
- 8-ホールインアンカー M16 x 100

側 面 図

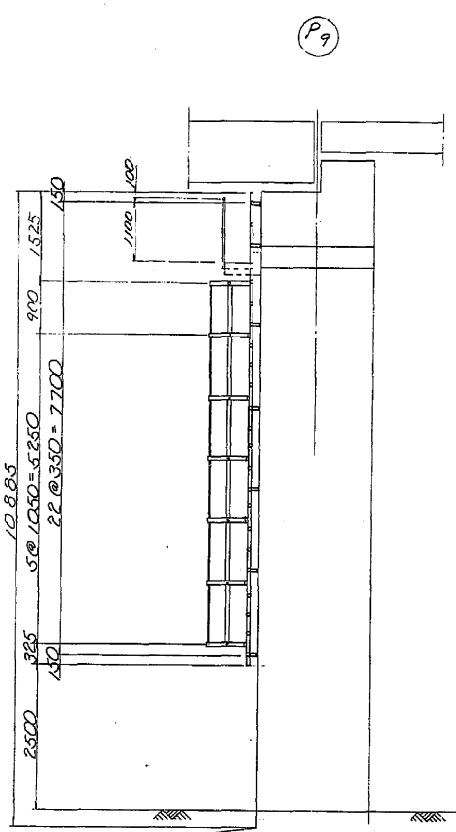


常盤自動車道 久慈川橋耐震補強工事			
図面の種類	茂宮川高架橋		
	P5(A-ライン) 検査路 撤去・設置工		
縮 尺	図示	図面番号	69 / 208
設計会社名	株式会社 長 大		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

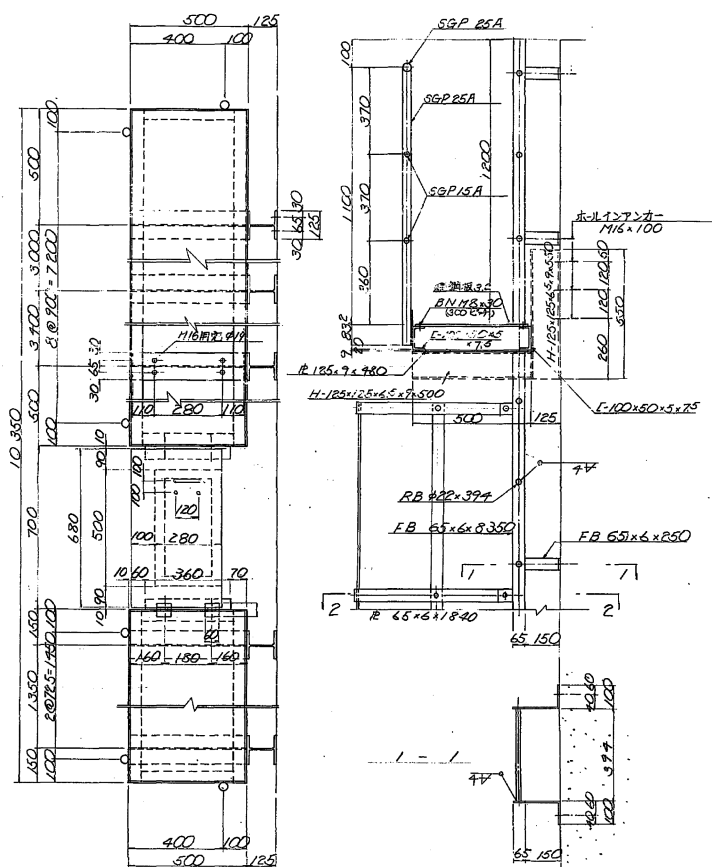
P9 正面図 S=1:120



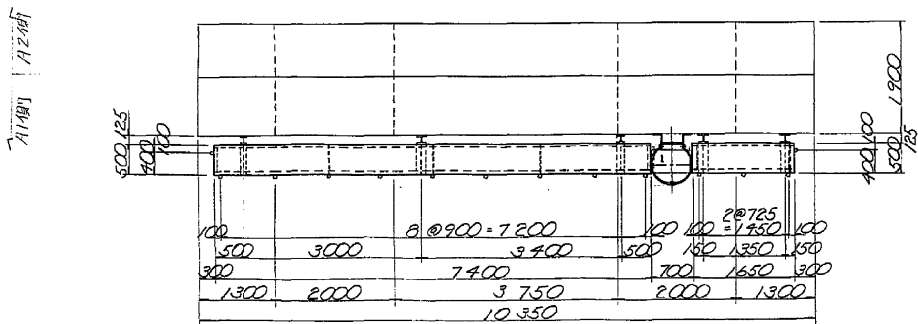
P9 側面図 S=1:120



平面詳細図 S=1:30



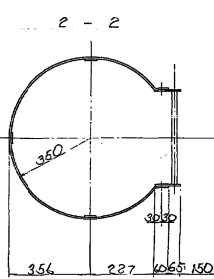
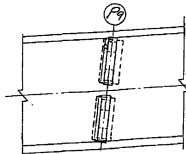
P9 平面図 S=1:120



重量表

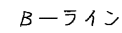
種別	寸法 (mm)	数量	単位	重量 (kg)	合計	材質
E	100x50x50	7400	4	9.36	69.3	SS41
		1650	4	15.4	62	
		490	8	4.59	37	
CR.R	480x32	7380	2	26.48	93.8	
		1630	2	20.7	41	
F.B	50x6	490	6	2.36	1.16	
R	125x9	480	10	70.65	4.24	
		150	56	47.10	1.06	
B.N	M8	30	140	0.025	1	
	M16	40	112	0.149	17	
	M16	50	40	0.172	7	
SGP	20A	80	4	1.68	0.134	
SGP	25A	7910	2	2.43	14.2	SS41
		2160	2	5.25	11	
		1180	28	2.87	80	
	15A	560	8	1.31	0.734	
		900	32	1.18	38	
		725	8	0.950	8	
		100	8	0.131	1	
		680	2	0.891	4	
	25A	680	2	2.43	1.663	
R.B	8/8	80	8	1.58	0.126	SR24
CR.R	680x32	380	2	26.48	6.84	SS41
E	100x50x50	360	4	9.36	3.37	
L	40x40x5	500	4	2.95	1.48	
		280	4	0.826	3	
R.B	8/8	320	4	1.04	0.333	SR24
F.B	50x4.5	180	2	1.77	0.319	SS41
B.N	M16	40	8	0.149	1	
J	60x6	2	2	20.65	0.890	
R	90x9	140	2	23.8	11.9	SS41
H	125x125x4.9	500	10	13.1	131	
		550	10	0.310	19	
Ac Bolt	M16	100	60	0.310	19	
R	65x6	8000	4	47.1	24.5	SS41
		1840	14	5.83	79	
		6215	6	19.0	114	
		210	28	0.184	5	
		280	28	0.1745	21	
R.B	8/8	394	46	2.98	1.17	SR24
B.N	M16	40	70	0.149	10	SS41
Ac Bolt	M16	100	28	0.310	9	
総重量 76632 kg						

取付位置図

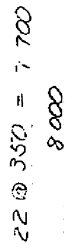


常磐自動車道 久慈川橋耐震補強工事			
図面の種類	茂宮川高架橋 P9(A-ライン) 検査路 撤去工		
縮 尺	図示	図面番号	70/208
設計会社名	株式会社 長大		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

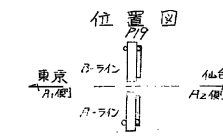
S=1 : 150



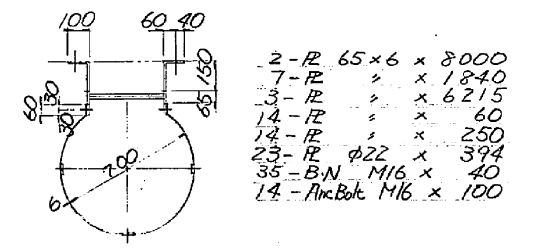
S=1:40



S=1 : 30

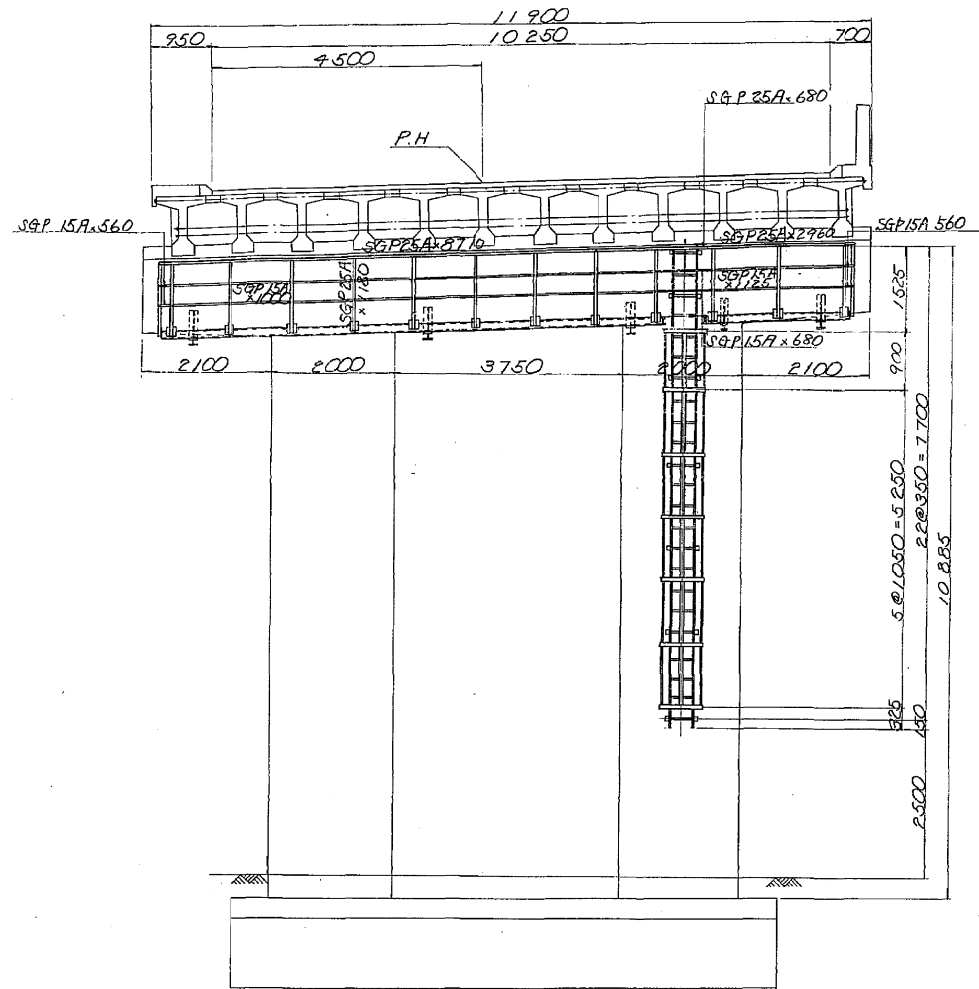


S=1 : 30

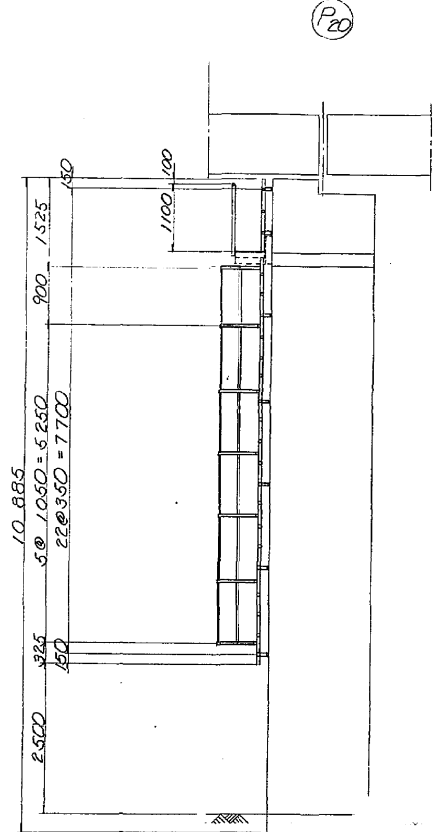


常磐自動車道 久慈川橋耐震補強工事			
図面の種類	茂宮川高架橋 P19 (A-ライン) 検査路 搬入工		
縮 尺	図示	図面番号	71 / 208
設計会社名	株式会社 長 大		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

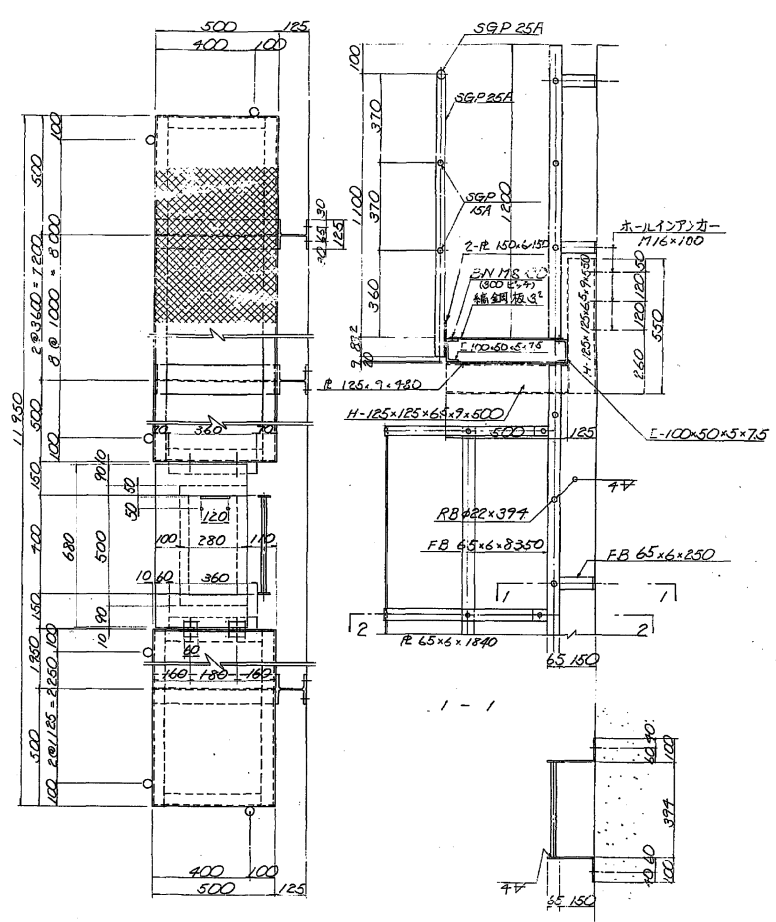
正面図 S=1:120



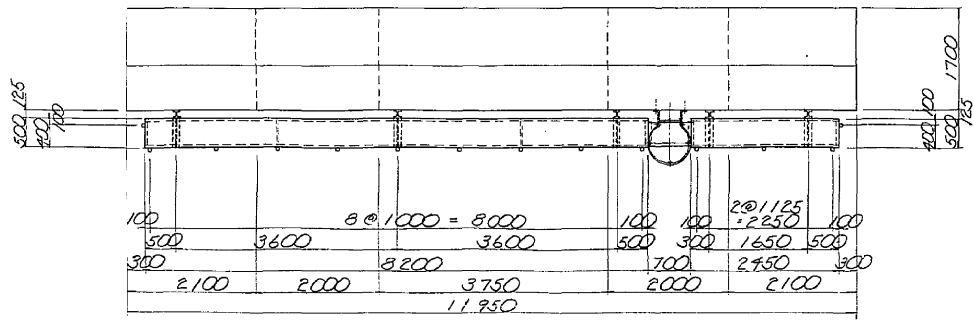
側面図 S=1:120



平面詳細図 S=1:30



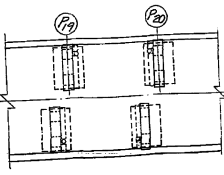
平面図 S=1:120



種別	寸法 (mm)	数量	単位	重量 (kg)	合計
Γ	100x50x5.7 ⁵	8,200	4	9.36	76.8
Γ	2,450	4	2	22.9	92
Γ	4,900	8	2	4.59	37
Ch. R	480x32	8,180	2	26.48	104.59
Γ	2,430	2	2	30.9	62
R.B	50x6	490	6	2.36	1.16
R	125x9	480	10	70.65	4.24
Γ	150x6	150	56	47.10	1.06
B.N	M16	50	40	0.172	7
Γ	M16	40	112	0.149	17
Γ	M8	30	168	0.025	4
SGP	20A	80	1	1.68	0.134
SGP	25A	8,710	2	2.43	21.2
Γ	2,960	2	2	7.19	14
Γ	680	2	2	1.65	3
Γ	1,180	28	2	2.87	80
Γ	1,5A	1,000	32	1.31	42
Γ	1,125	8	2	1.47	12
Γ	1,560	8	2	0.734	6
Γ	680	4	2	0.891	7
Γ	100	8	2	0.131	1
R.B	φ16	80	8	1.58	0.126
Ch. R	680x32	380	2	26.48	6.84
Γ	100x50x5.7 ⁵	360	4	9.36	3.36
L	40x40x5	500	4	2.95	1.48
Γ	280	4	2	0.826	3
R.B	φ13	320	4	1.04	0.333
F.B	50x4.5	180	2	1.77	0.319
B.N	M16	40	40	0.149	1
J	60x60	4	2	0.891	7
R	70x7	140	2	70.65	0.890
H	125x125x6.5 ⁴	500	10	23.8	11.9
Γ	550	10	2	13.1	13.1
Anch Bolt	M16	100	60	0.310	19
R	65x6	2,000	4	47.1	24.5
Γ	1,840	14	2	5.63	79
Γ	6,215	6	2	19.0	114
Γ	60	28	2	0.184	5
Γ	250	28	2	0.765	21
R.B	φ22	594	46	2.98	1.17
B.N	M16	40	70	0.149	54
Anch Bolt	M16	100	28	0.310	9

総重量 10742 kg

取付位置図



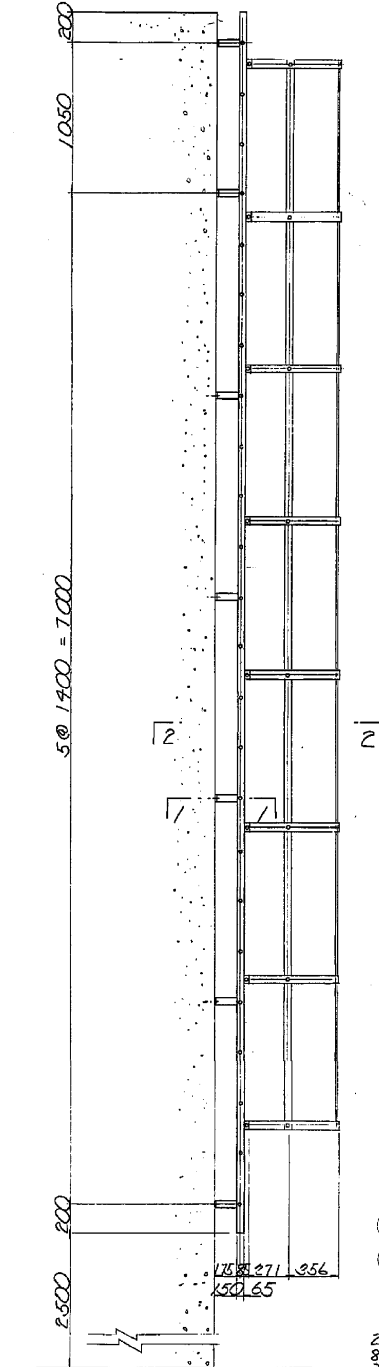
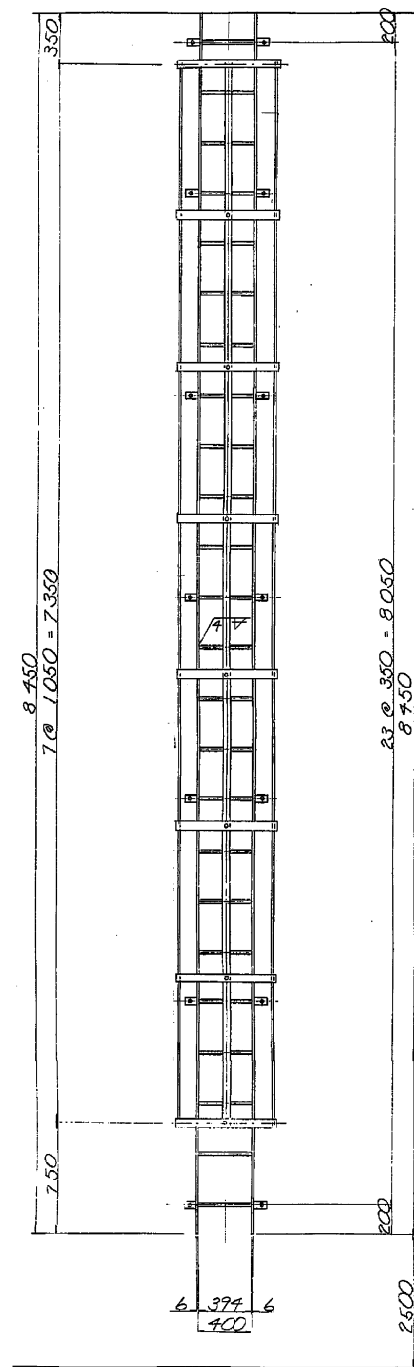
常磐自動車道 久慈川橋耐震補強工事			
図面の種類	茂宮川高架橋 P20(A-ライン) 検査路 撤去工		
縮 尺	図示	図面番号	72/208
設計会社名	株式会社 長 大		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

正面図

P9 Az側

P14 Az側

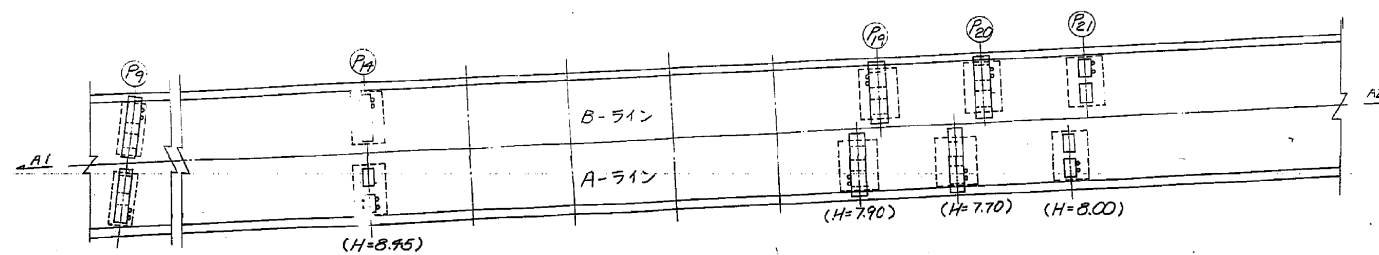
側面図



P9 Az側
P14 Az側

2-R 65 x 6 x 8,450
3- " " x 1,840
3- " " x 7,415
16- " " x 60
14- " " x 250
24-RB φ22 x 394 (SR24)
40-B.N. M16 x 40
14-ボルトナット M16 x 100

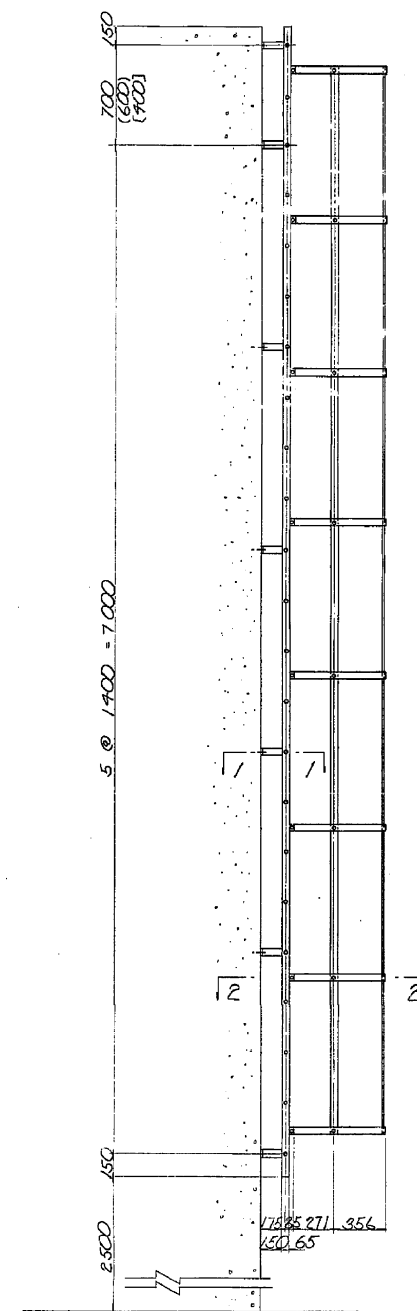
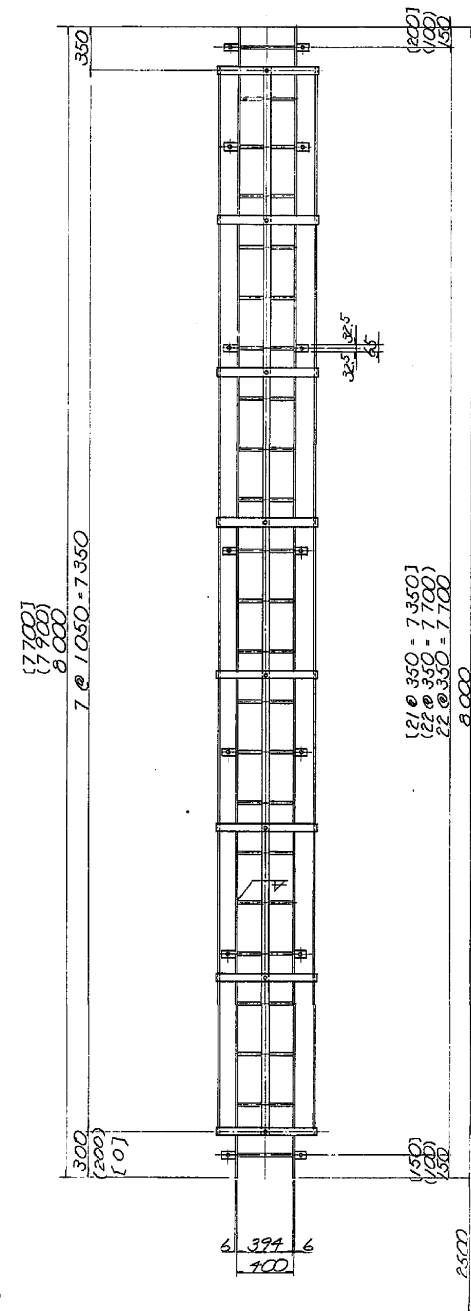
取付位置図



正面図

但し () P9 A1側
() P20 Az側

側面図



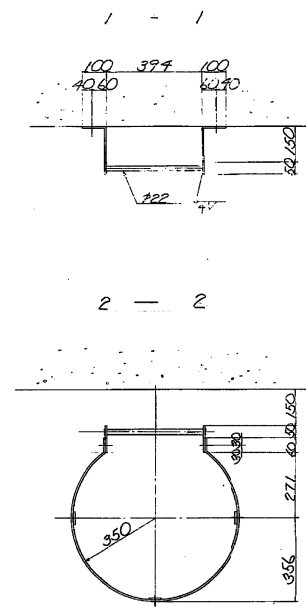
P20 A2側

P21 A2側

2-R 65 x 6 x 8,000
3- " " x 1,840
3- " " x 7,415
16- " " x 60
14- " " x 250
24-RB φ22 x 394
40-B.N. M16 x 40
14-ボルトナット M16 x 100

2-R 65 x 6 x 7,700
3- " " x 1,840
3- " " x 7,415
16- " " x 60
14- " " x 250
24-RB φ22 x 394
40-B.N. M16 x 40
14-ボルトナット M16 x 100

断面図 S=1:30

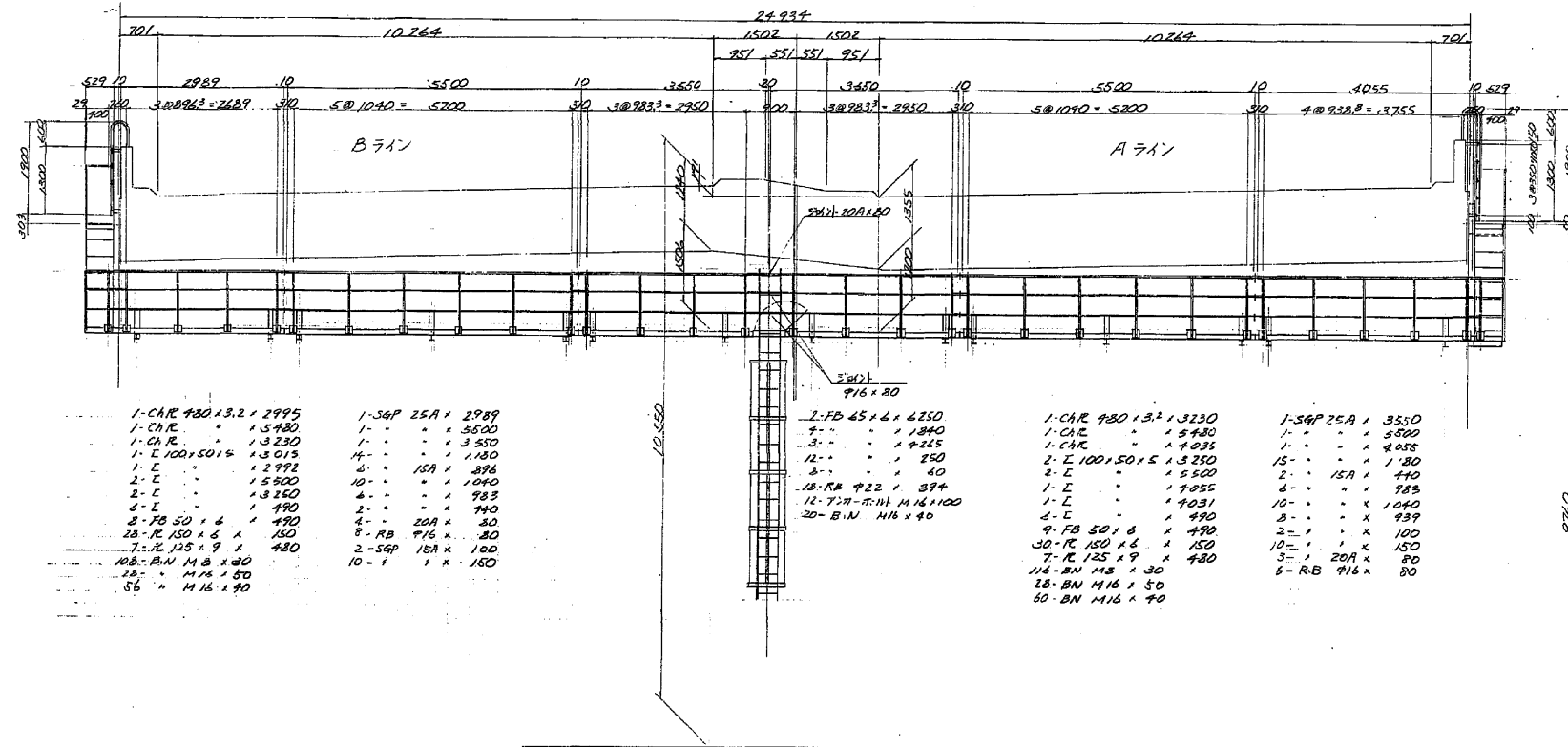


P20 A1側

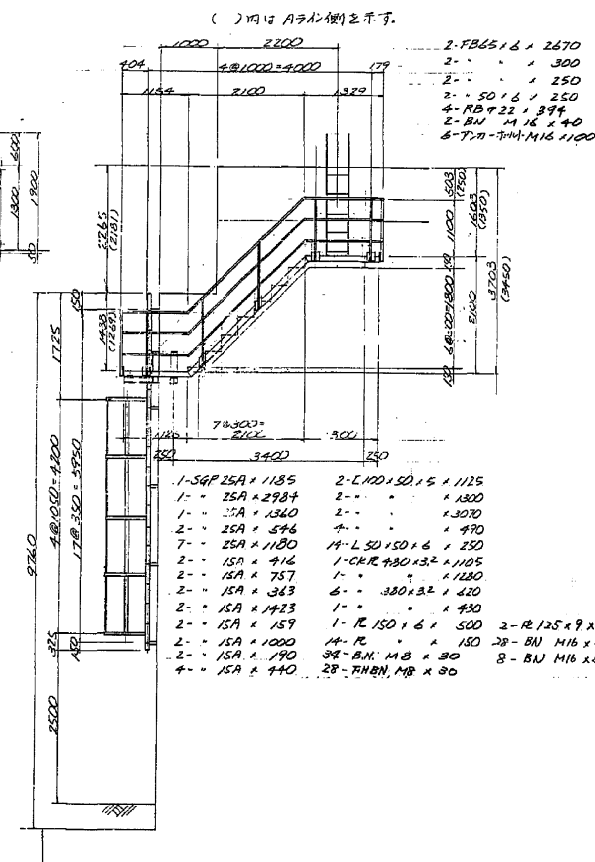
2-R 65 x 6 x 7,900
3- " " x 1,840
3- " " x 7,415
16- " " x 60
14- " " x 250
24-RB φ22 x 394 (SR24)
40-B.N. M16 x 40
14-ボルトナット M16 x 100

常磐自動車道 久慈川橋耐震補強工事			
茂宮川高架橋			
P9・P14・P19・P20・P21 (A-ライン)			
検査路 撤去・設置工			
図面の種類	図示	図面番号	73/208
縮尺			
設計会社名	株式会社 長大		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

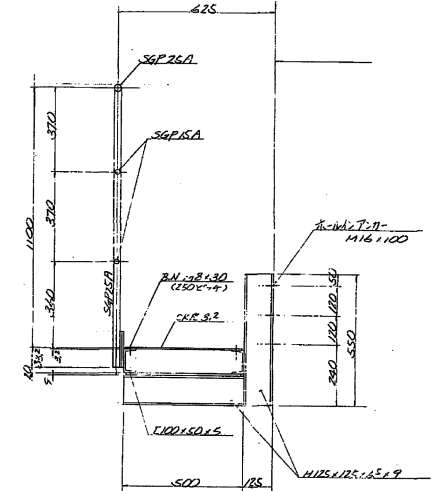
A2 正面図 S=1:150



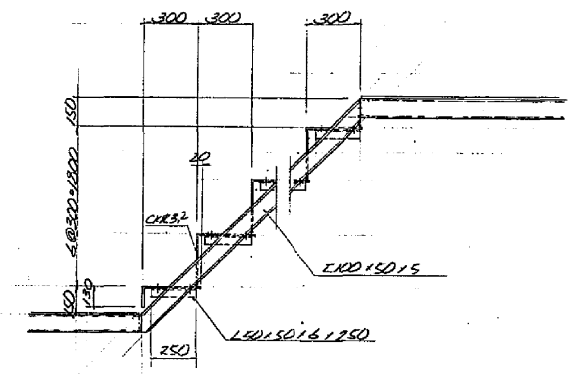
A2 側面図 S=1:150



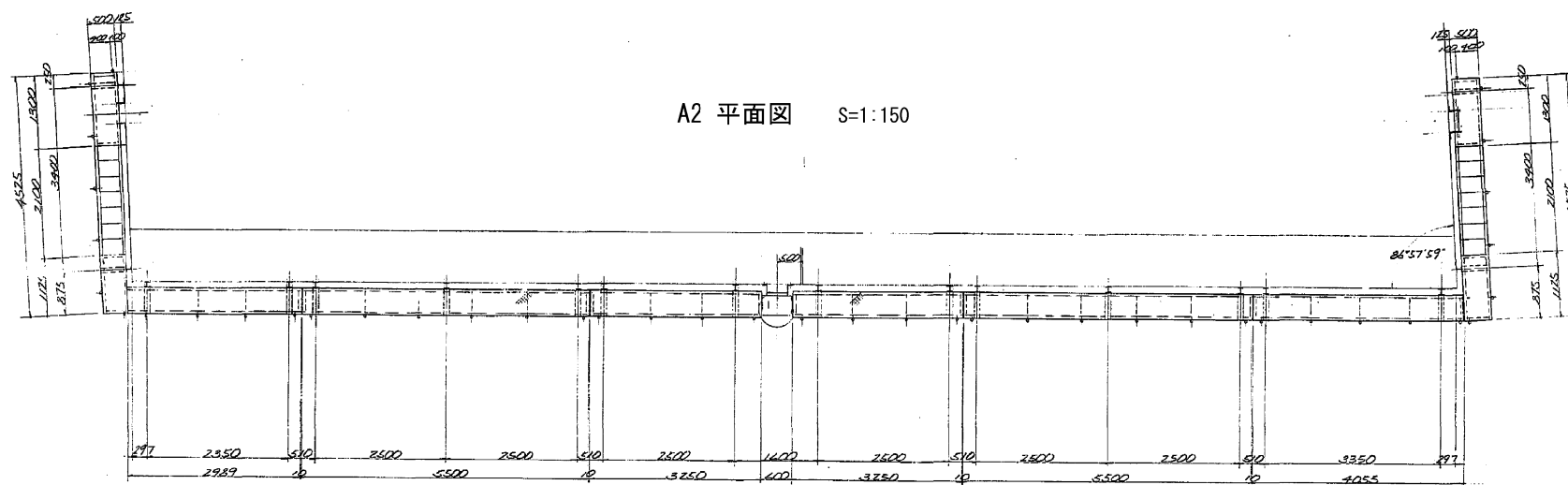
標準断面図 S=1:30



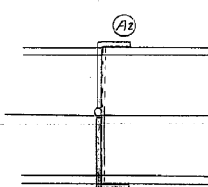
階段部詳細図 S=1:40



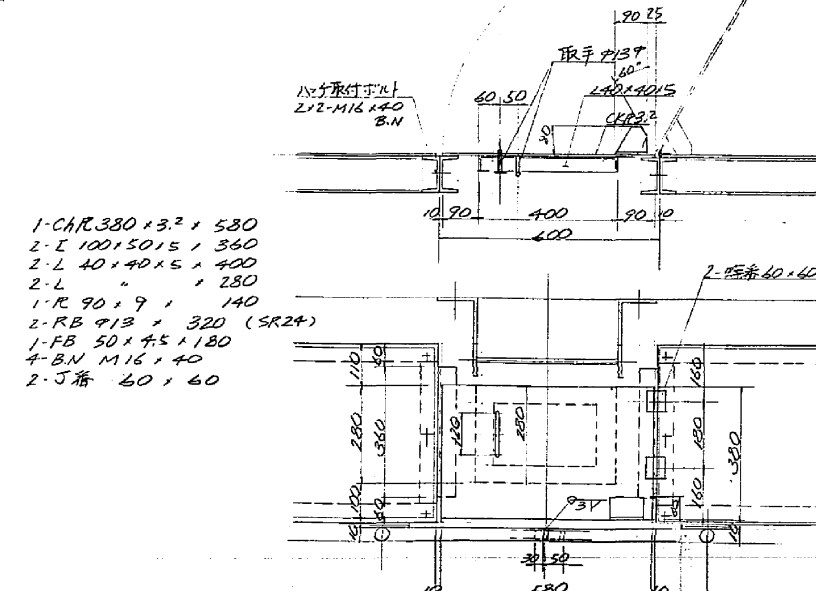
A2 平面図 S=1:150



取付位置図

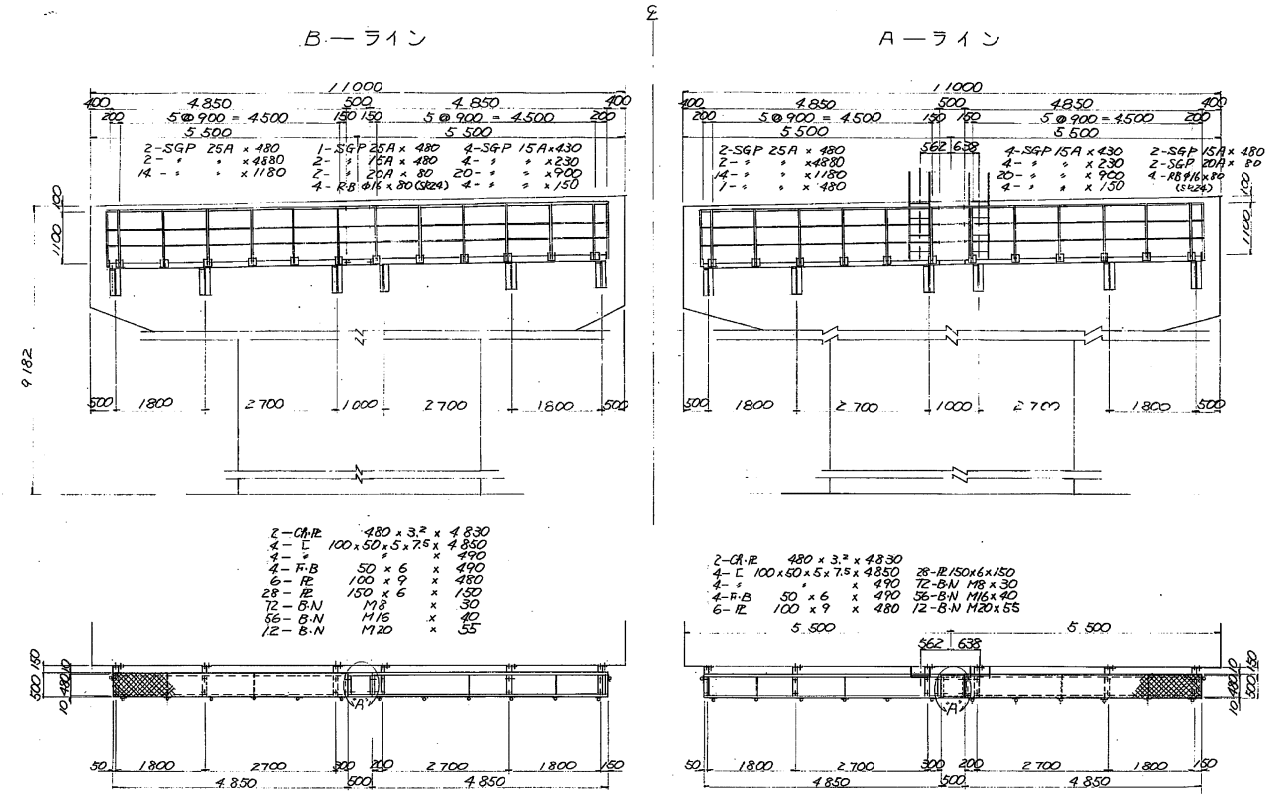


ハッチ部詳細図 S=1:20

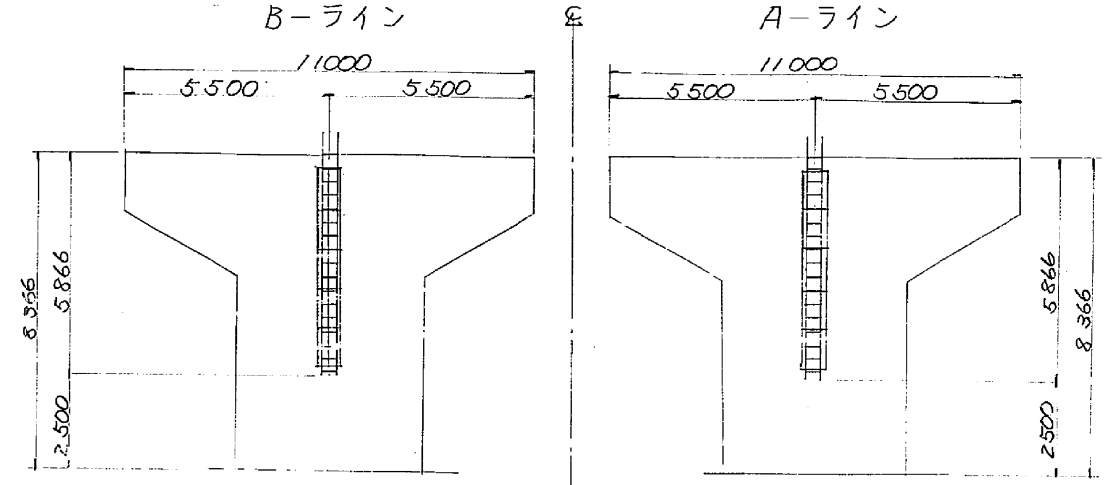


常磐自動車道 久慈川橋耐震補強工事			
図面の種類	茂宮川高架橋 A2(A-ライン) 検査路 撤去工		
縮尺	図示	図面番号	74/208
設計会社名	株式会社 長大		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

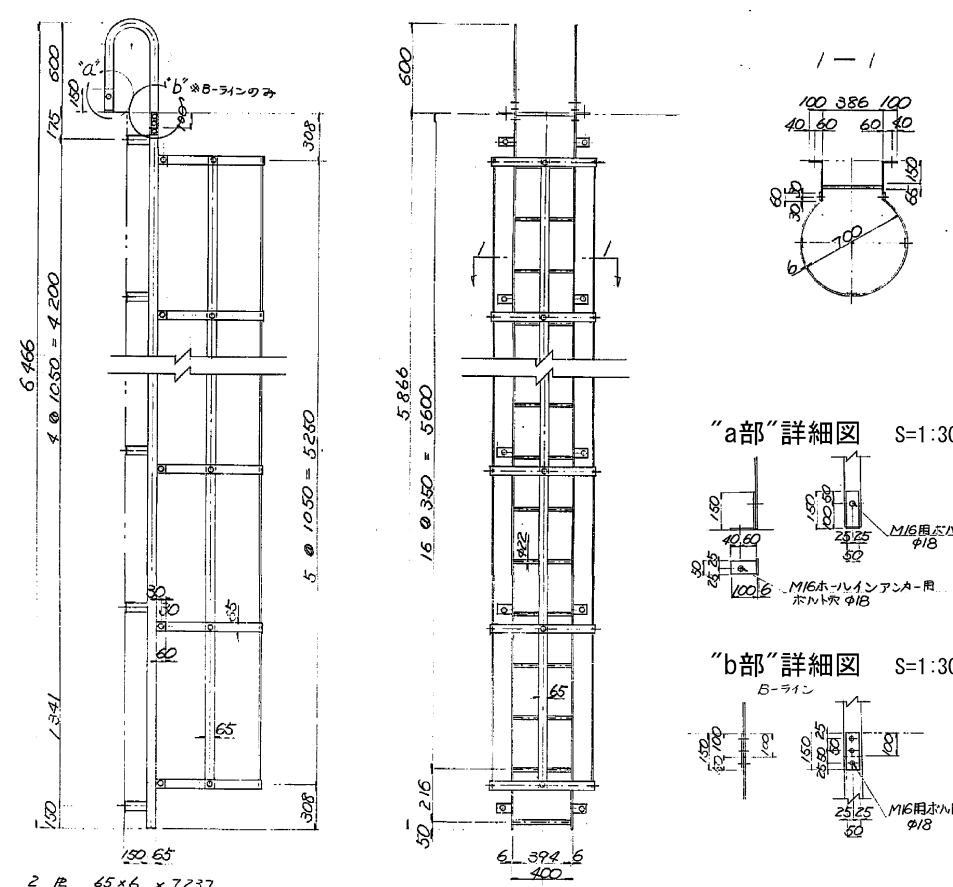
P5橋脚 S=1:150



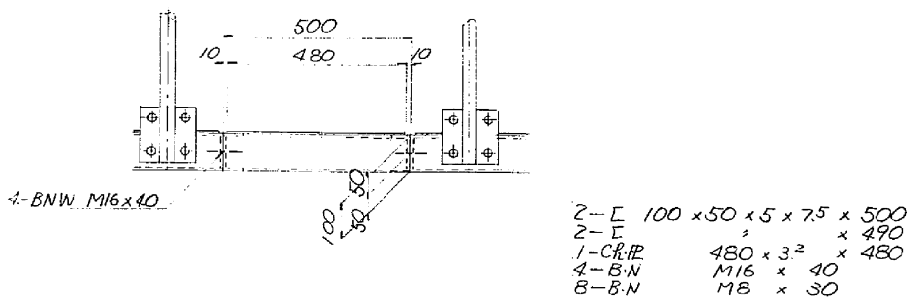
P8橋脚 検査梯子 S=1:200



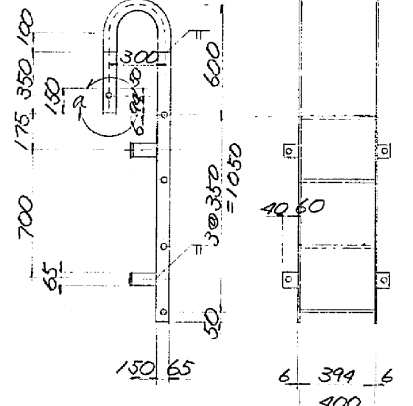
梯子詳細図 S=1:50



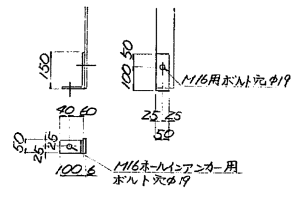
A部詳細図 S=1:20



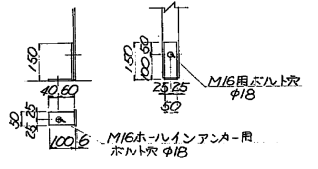
小梯子詳細図 S=1:40



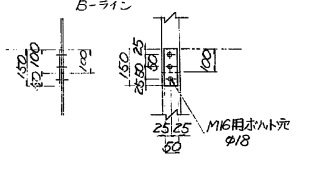
"a部"詳細図 S=1:30



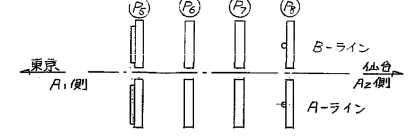
"a部"詳細図 S=1:30



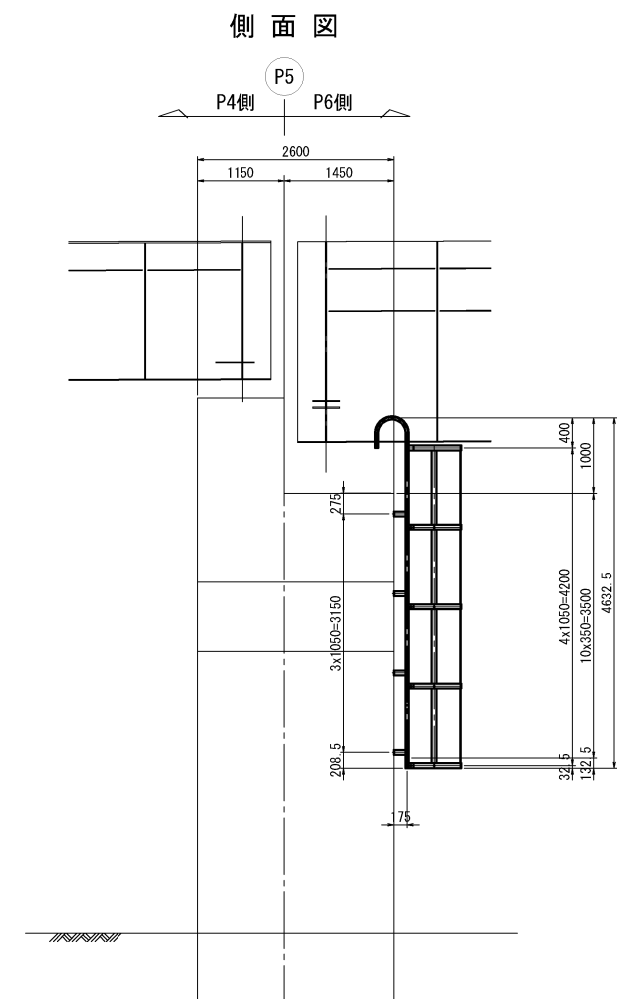
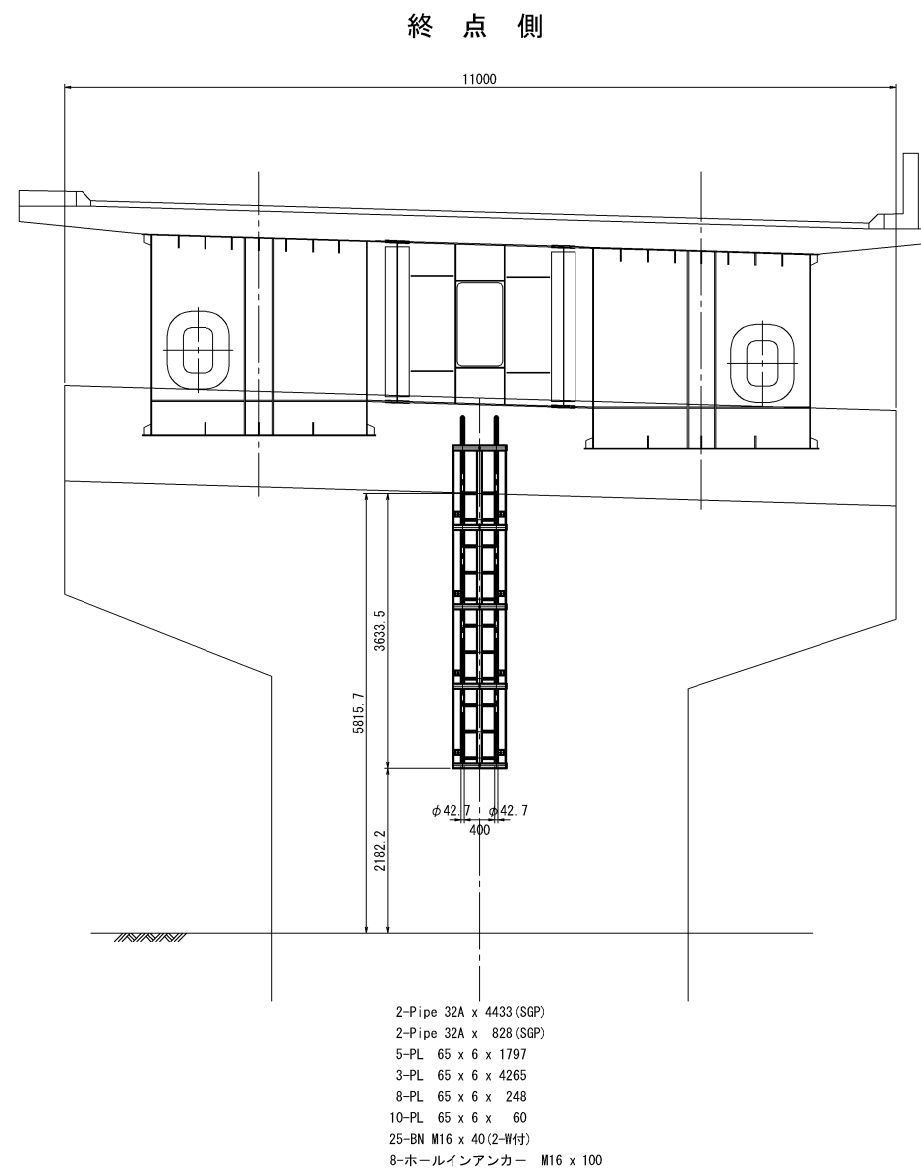
"b部"詳細図 S=1:30



位置図



常盤自動車道 久慈川橋耐震補強工事			
図面の種類	茂宮川高架橋 P5・P8(B-ライン) 検査路 撤去工		
縮尺	図示	図面番号	75/208
設計会社名	株式会社 長大		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
事務所名	水戸管理事務所		

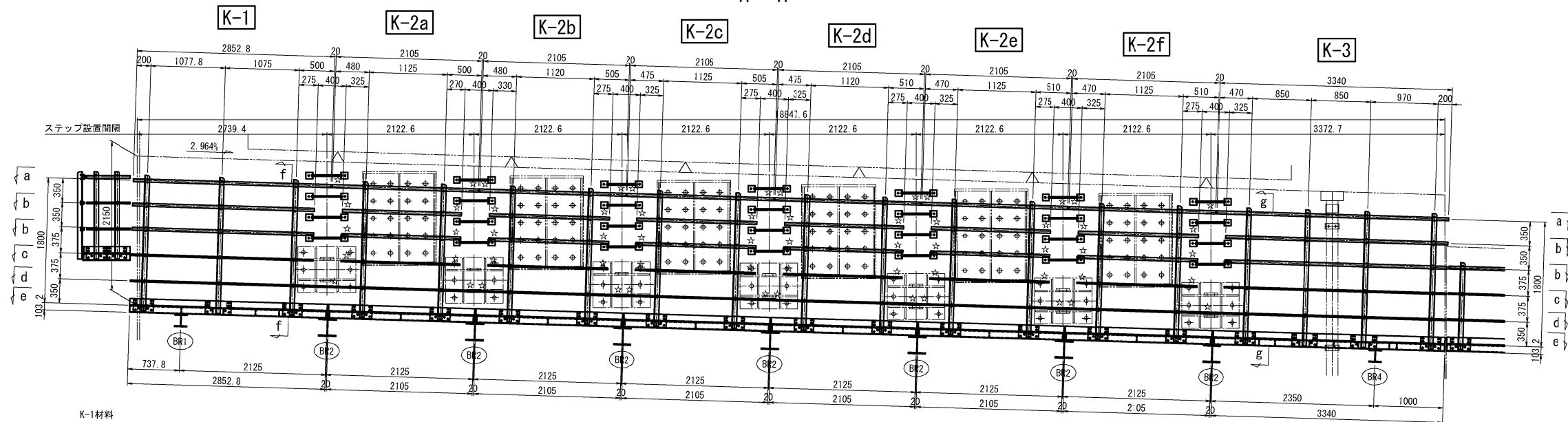


常盤自動車道 久慈川橋耐震補強工事			
図面の種類	茂宮川高架橋		
	P5(B-ライン) 検査路 撤去・設置工		
縮 尺	図示	図面番号	76 / 208
設計会社名	株式会社 長 大		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

下部工検査路(1)

A - A

配置図 S=1:250



K-1材料

3-Pipe $\phi 42.7 \times 2.3 \times 2182$ (STK400)
3-Pipe $\phi 42.7 \times 2.3 \times 973$ (STK400)
1-Pipe $\phi 42.7 \times 2.3 \times 714$ (STK400)
2-Pipe $\phi 42.7 \times 2.3 \times 489$ (STK400)
2-Pipe $\phi 21.7 \times 1.9 \times 2161$ (STK400)
2-Pipe $\phi 21.7 \times 1.9 \times 952$ (STK400)
1-Pipe $\phi 21.7 \times 1.9 \times 489$ (STK400)
1-Pipe $\phi 21.7 \times 1.9 \times 714$ (STK400)
4-L 65 x 65 x 6 x 1958

1-PL 90 x 3.2 x 1153
1-PL 90 x 3.2 x 753
1-PL 90 x 3.2 x 933
1-PL 90 x 3.2 x 700
1-PL 90 x 3.2 x 1131
1-PL 90 x 3.2 x 1450
5-PL 190 x 14 x 285(SM400A)
2-PL 190 x 14 x 370(SM400A)
28-BN M16 x 50(2-W)
28-BN M10 x 35(2-W)
12-U Bolt 呼び 32C
8-U Bolt 呼び 15C

K-2a, d材料(製作数: 各1)

1-Pipe $\phi 42.7 \times 2.3 \times 2105$ (STK400)
2-Pipe $\phi 42.7 \times 2.3 \times 1720$ (STK400)
1-Pipe $\phi 21.7 \times 1.9 \times 1720$ (STK400)
1-Pipe $\phi 21.7 \times 1.9 \times 2105$ (STK400)
2-L 65 x 65 x 6 x 1958
2-PL 90 x 3.2 x 2105
4-PL 190 x 14 x 285(SM400A)
16-BN M16 x 50(2-W)
16-BN M10 x 35(2-W)
6-U Bolt 呼び 32C
4-U Bolt 呼び 15C

K-2b, c, e, f材料(製作数: 各1)

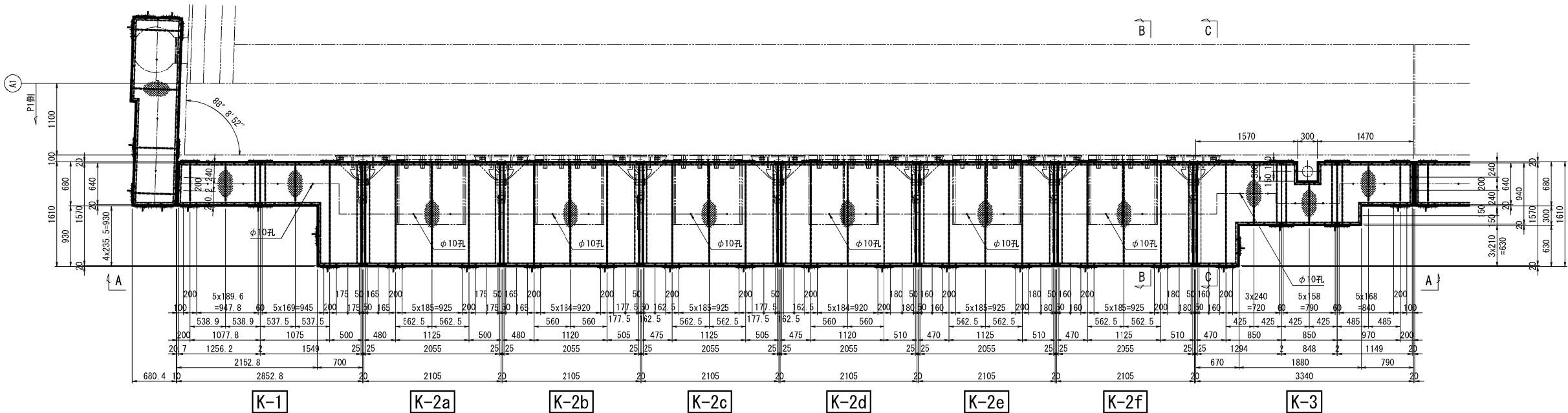
1-Pipe $\phi 42.7 \times 2.3 \times 2105$ (STK400)
2-Pipe $\phi 42.7 \times 2.3 \times 1725$ (STK400)
1-Pipe $\phi 21.7 \times 1.9 \times 1725$ (STK400)
1-Pipe $\phi 21.7 \times 1.9 \times 2105$ (STK400)
2-L 65 x 65 x 6 x 1958
2-PL 90 x 3.2 x 2105
4-PL 190 x 14 x 285(SM400A)
16-BN M16 x 50(2-W)
16-BN M10 x 35(2-W)
6-U Bolt 呼び 32C
4-U Bolt 呼び 15C

K-3材料

1-Pipe $\phi 42.7 \times 2.3 \times 684$ (STK400)
3-Pipe $\phi 42.7 \times 2.3 \times 673$ (STK400)
3-Pipe $\phi 42.7 \times 2.3 \times 1923$ (STK400)
3-Pipe $\phi 42.7 \times 2.3 \times 343$ (STK400)
3-Pipe $\phi 42.7 \times 2.3 \times 819$ (STK400)
2-Pipe $\phi 42.7 \times 2.3 \times 539$ (STK400)
1-Pipe $\phi 21.7 \times 1.9 \times 539$ (STK400)
2-Pipe $\phi 21.7 \times 1.9 \times 652$ (STK400)
2-Pipe $\phi 21.7 \times 1.9 \times 1902$ (STK400)
2-Pipe $\phi 21.7 \times 1.9 \times 322$ (STK400)
2-Pipe $\phi 21.7 \times 1.9 \times 798$ (STK400)
1-Pipe $\phi 21.7 \times 1.9 \times 684$ (STK400)
5-L 65 x 65 x 6 x 1958

1-PL 90 x 3.2 x 670
1-PL 90 x 3.2 x 633
1-PL 90 x 3.2 x 528
1-PL 90 x 3.2 x 600
1-PL 90 x 3.2 x 255
3-PL 90 x 3.2 x 303
1-PL 90 x 3.2 x 793
1-PL 90 x 3.2 x 1195
1-PL 90 x 3.2 x 125
1-PL 90 x 3.2 x 306
1-PL 90 x 3.2 x 175
1-PL 90 x 3.2 x 1045

5-PL 190 x 14 x 285(SM400A)
4-PL 190 x 14 x 370(SM400A)
36-BN M16 x 50(2-W)
36-BN M10 x 35(2-W)
15-U Bolt 呼び 32C
10-U Bolt 呼び 15C



K-1材料

1-CH PL 640 x 3.2 x 1256(SS400相当品)
1-CH PL 1570 x 3.2 x 1549(SS400相当品)
1-CH 100 x 50 x 5 x 7.5 x 2831
1-CH 100 x 50 x 5 x 7.5 x 680
1-CH 100 x 50 x 5 x 7.5 x 2203
1-CH 100 x 50 x 5 x 7.5 x 980
1-CH 100 x 50 x 5 x 7.5 x 700

1-L 75 x 75 x 6 x 1600
2-L 75 x 75 x 6 x 670
3-FB 90 x 9 x 670
1-FB 90 x 9 x 1600
37-BN M10 x 30(1-W, 1-TW)
1-PL 160 x 9 x 660(SM400A)
1-PL 60 x 9 x 1590(SM400A)

K-2a~K-2f材料(製作数: 各1)

1-CH PL 1570 x 3.2 x 2055(SS400相当品)
2-CH 100 x 50 x 5 x 7.5 x 2105
2-L 75 x 75 x 6 x 1600
3-FB 90 x 9 x 1600
24-BN M10 x 30(1-W, 1-TW)
2-PL 60 x 9 x 1590(SM400A)

K-3材料

1-CH PL 1570 x 3.2 x 1294(SS400相当品)
1-CH PL 940 x 3.2 x 848(SS400相当品)
1-CH PL 940 x 3.2 x 1149(SS400相当品)
1-CH 100 x 50 x 5 x 7.5 x 1570
3-CH 100 x 50 x 5 x 7.5 x 350
1-CH 100 x 50 x 5 x 7.5 x 400
1-CH 100 x 50 x 5 x 7.5 x 1470
1-CH 100 x 50 x 5 x 7.5 x 670
1-CH 100 x 50 x 5 x 7.5 x 680
1-CH 100 x 50 x 5 x 7.5 x 1930
1-CH 100 x 50 x 5 x 7.5 x 840
1-CH 100 x 50 x 5 x 7.5 x 680

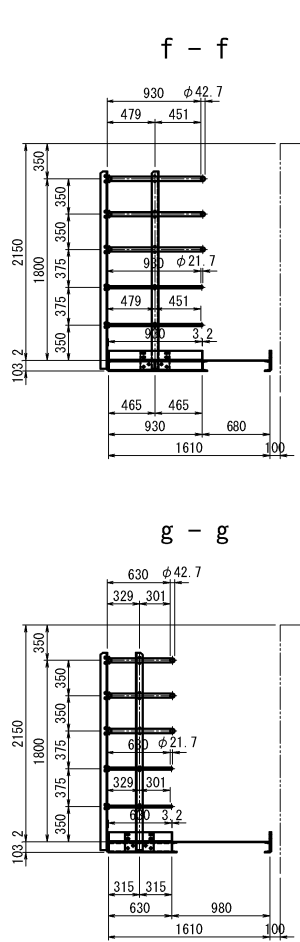
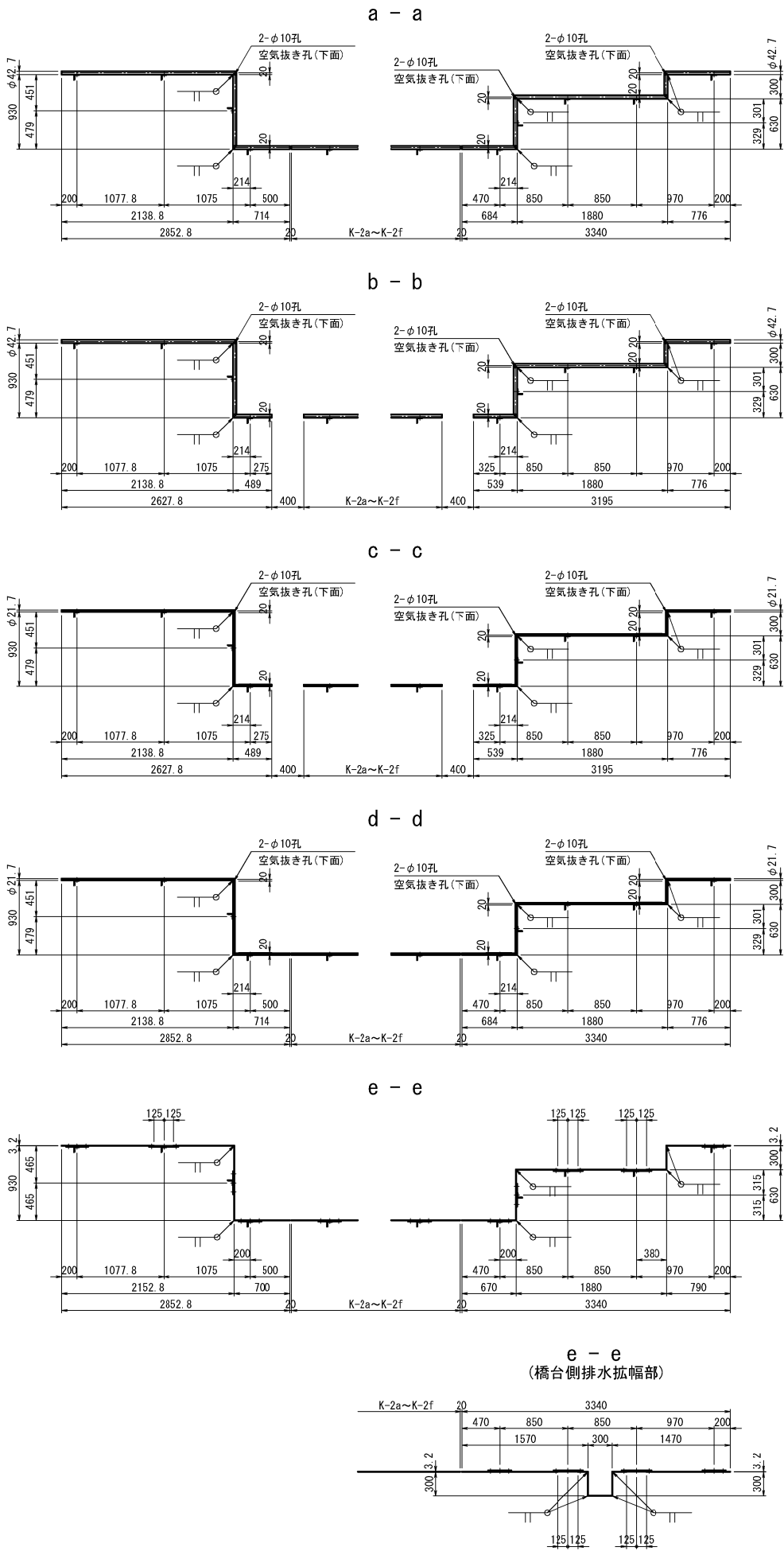
1-L 75 x 75 x 6 x 1600
4-L 75 x 75 x 6 x 970
1-FB 90 x 9 x 1600
1-FB 90 x 9 x 970
3-FB 90 x 9 x 670
47-BN M10 x 30(1-W, 1-TW)
1-PL 60 x 9 x 1590(SM400A)
1-PL 160 x 9 x 960(SM400A)

注 記

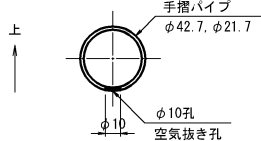
- 施工に当たっては、現地調査を行い再確認すること。
特に鋼板の製作は、再計測後実施すること。
- 特記なき材質は、全てSS400とする。
- Uボルト付き(C形)以外のナットは、全て弛み止めナットを使用すること。
- 部材は、全て溶融亜鉛めっきとする。
亜鉛の付着量は、JIS H8641 H02T77とする。
但し、ボルト・ナット及び厚さ3.2mm以下の部材は、H02T49とする。
- ボルト孔は、めっき付着量を考慮し、ボルト径+3mmを標準とする。
- 床材に鋼板を使用する場合は、直径10mmの排水孔を間隔1m(0.7m)程度に1箇所程度設けること。
- ☆印箇所の手摺は、抜け落ち防止加工を施す。

常磐自動車道 久慈川橋耐震補強工事			
図面の種類	茂宮川高架橋 A1(A-ライン) 検査路 新設工(その1)		
縮 尺	図示	図面番号	77/208
設計会社名	株式会社 長 大		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

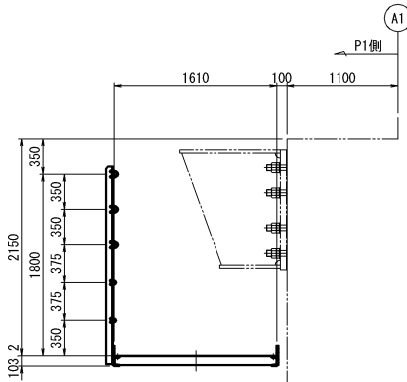
下部工検査路(2)



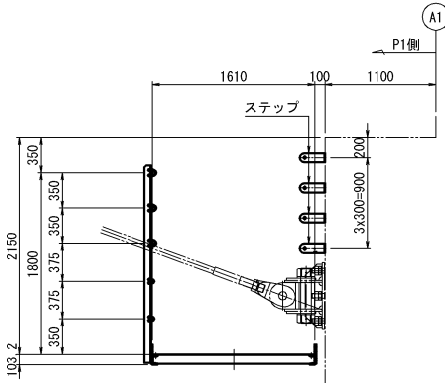
手摺空気抜き孔断面詳細 S=1:5



B - B

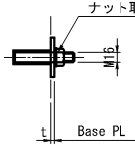


C - C

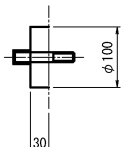


コンクリートアンカー撤去工

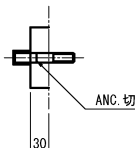
1) ナットを外し、受け台などを撤去。



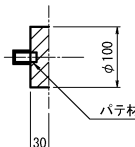
2) φ100 x 30程度削孔。



3) アンカーを切断。

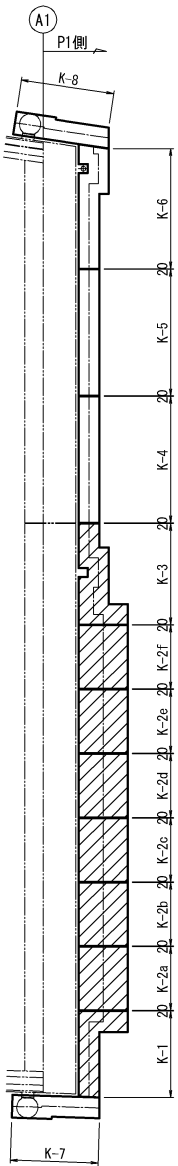


4) 削孔部をパテ材にて埋戻し。



撤去本数	基数	ANC. 本数	計
受け台	21	6	126
計			126

配置図 S=1:250



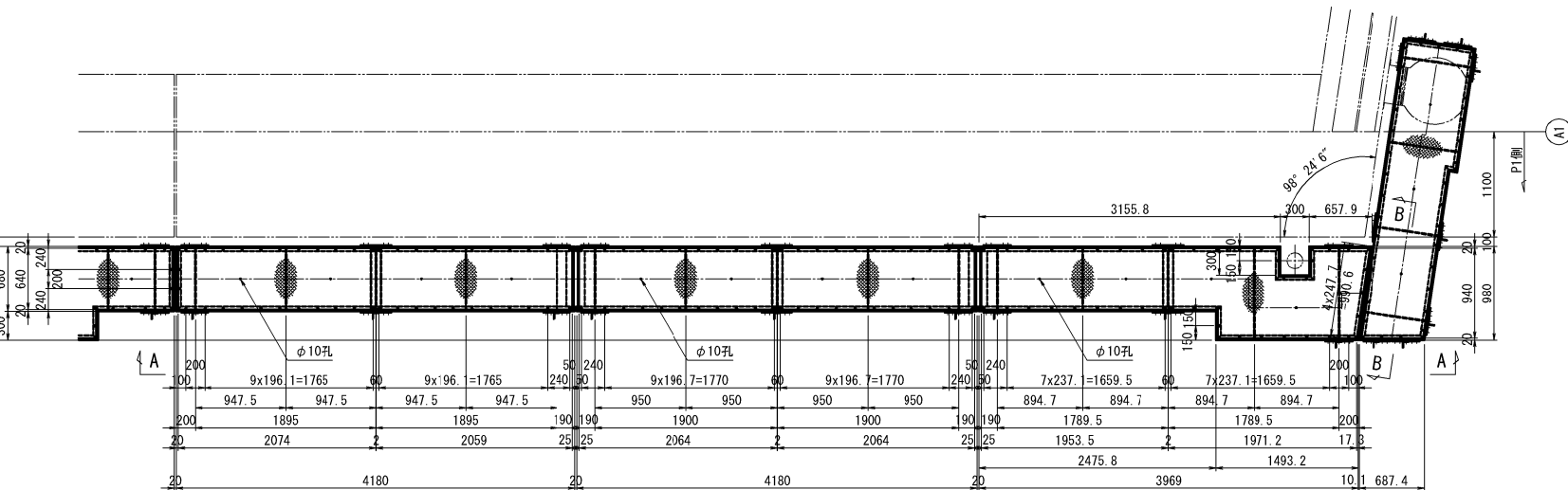
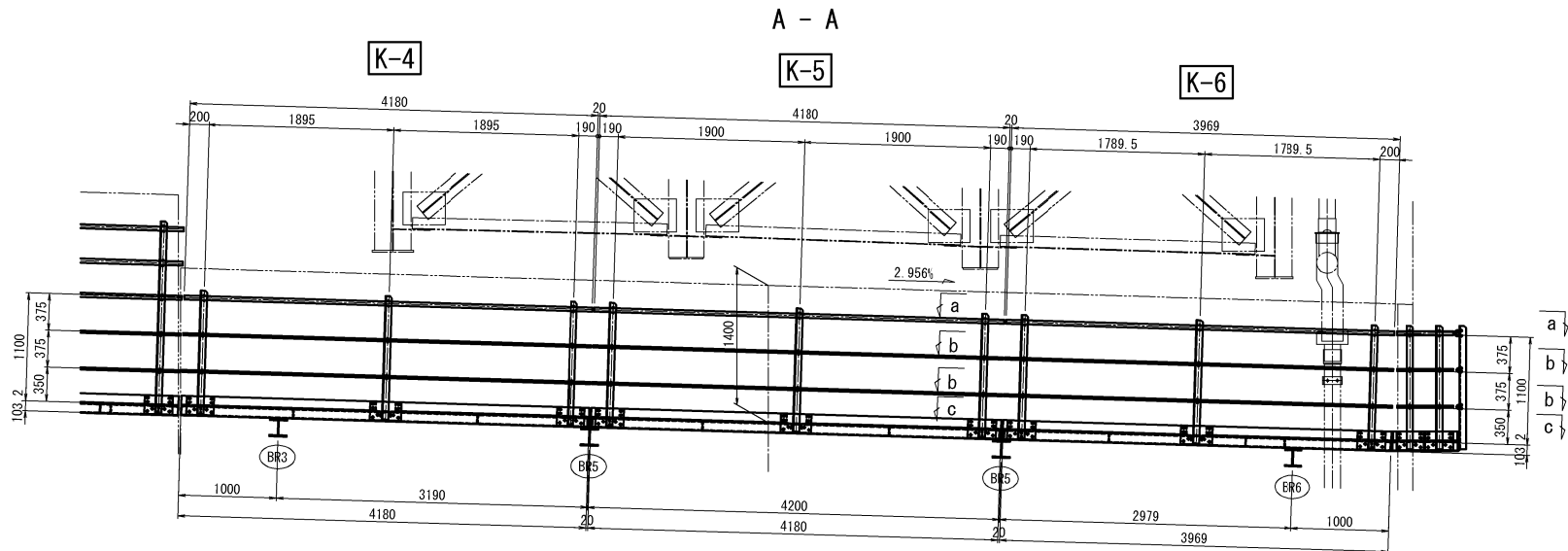
注 記

1. 施工に当たっては、現地調査を行い再確認すること。
特に鋼板の製作は、再計測後実施すること。
2. 特記なき材質は、全てSS400とする。
3. Uボルト付き(C形)以外のナットは、全て弛み止めナットを使用すること。
4. 部材は、全て溶融亜鉛めっきとする。
亜鉛の付着量は、JIS H8641 H02T77とする。
但し、ボルト・ナット及び厚さ3.2mm以下の部材は、HDZT49とする。
5. ボルト孔は、めっき付着量を考慮し、ボルト径+3mmを標準とする。
6. 床材に編鋼板を使用する場合は、直径10mmの排水孔を間隔1m(0.7m)程度に1箇所程度設けること。
7. ☆印箇所の手摺は、抜け落ち防止加工を施す。

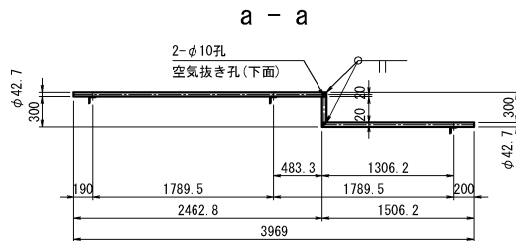
常磐自動車道 久慈川橋耐震補強工事			
図面の種類	茂宮川高架橋 A1(A-ライン) 検査路 新設工(その2)		
縮 尺	図示	図面番号	78 / 208
設計会社名	株式会社 長 大		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

下部工検査路(3)

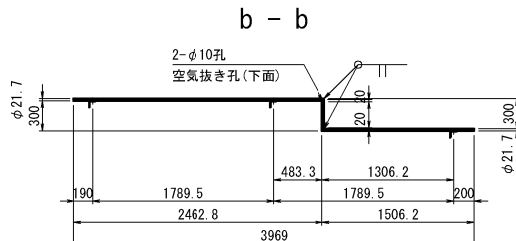
A - A



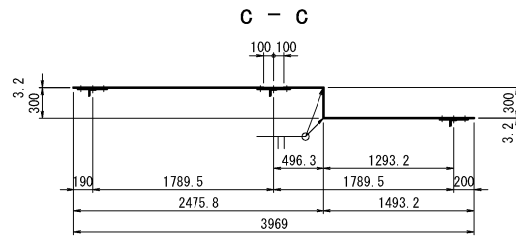
a - a



b - b

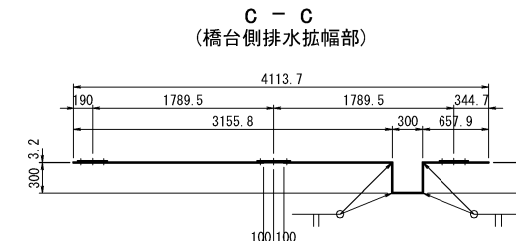


c - c

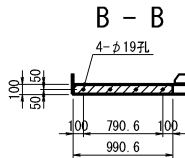


C - C

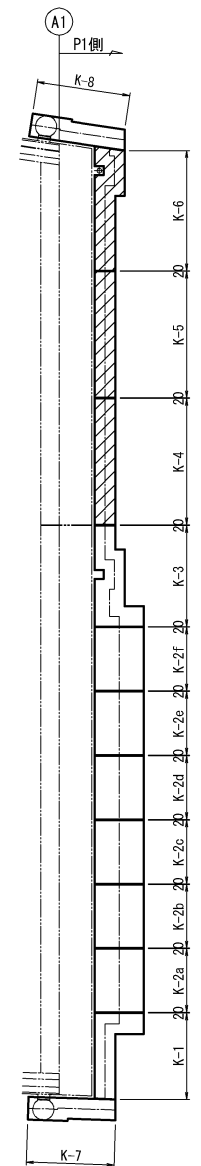
(橋台側排水拡幅部)



B - B



配置図 S=1:250

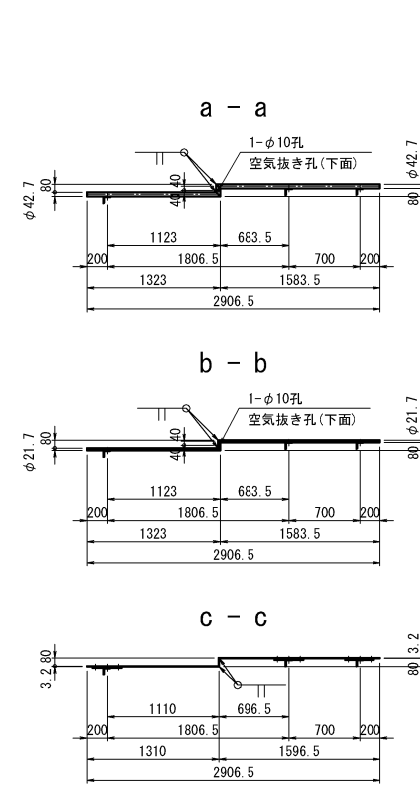
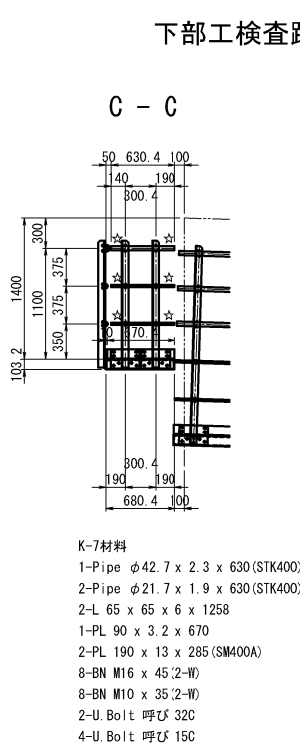
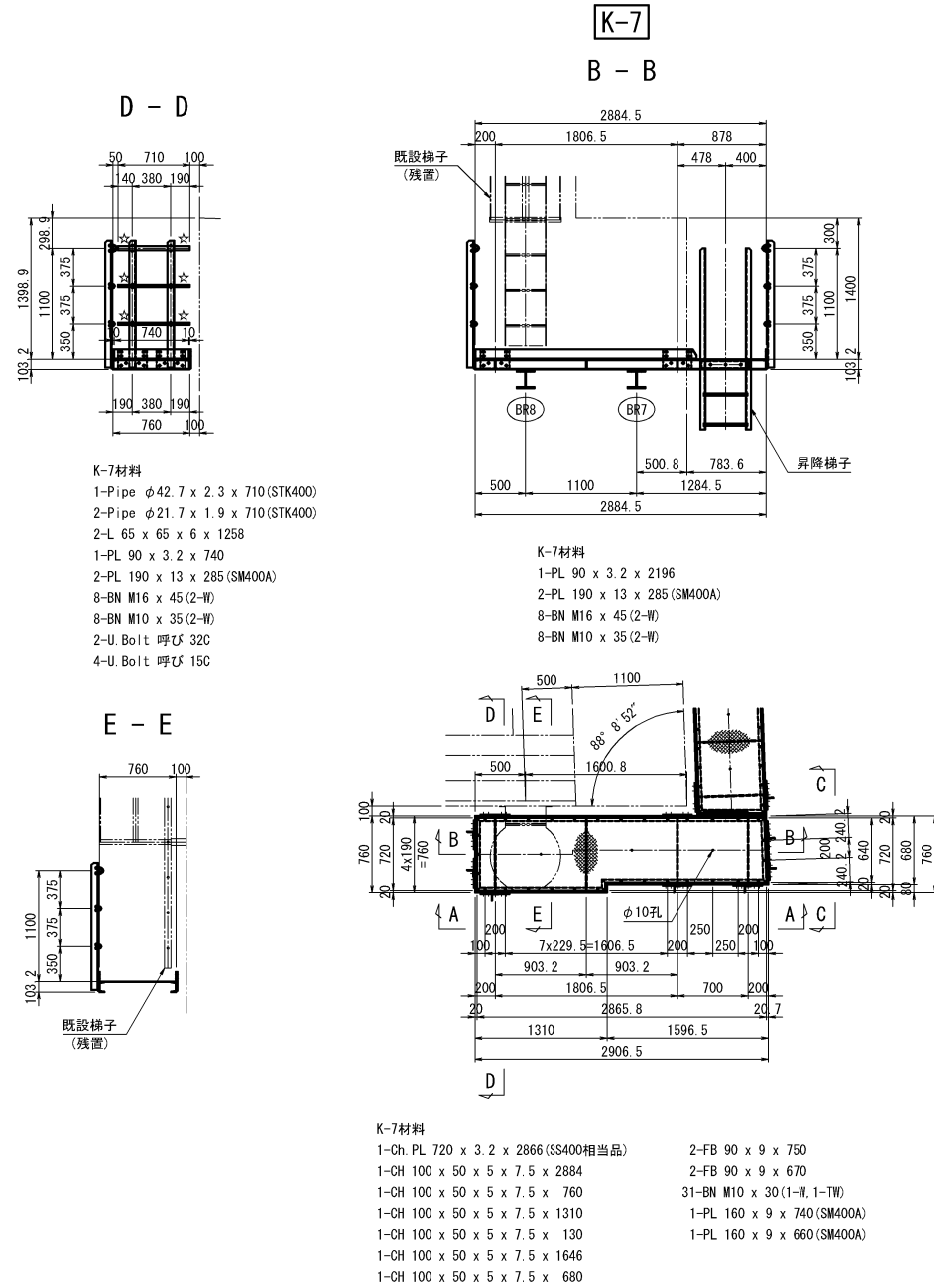


注 記

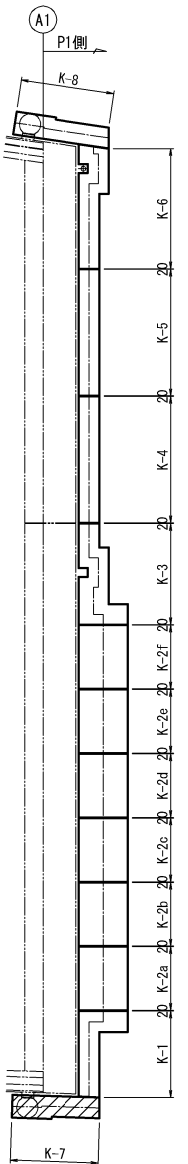
1. 施工に当っては、現地調査を行い再確認すること。
特に鋼板の製作は、再計測後実施すること。
2. 特記なき材質は、全てSS400とする。
3. Uボルト付き(C形)以外のナットは、全て弛み止めナットを使用すること。
4. 部材は、全て溶融亜鉛めっきとする。
亜鉛の付着量は、JIS H8641 H02T77とする。
但し、ボルト・ナット及び厚さ3.2mm以下の部材は、H02T49とする。
5. ボルト孔は、めっき付着量を考慮し、ボルト径+3mmを標準とする。
6. 床材に編鋼板を使用する場合は、直径10mmの排水孔を間隔1m(0.7m)程度に1箇所程度設けすること。
7. ☆印箇所の手摺は、抜け落ち防止加工を施す。

常磐自動車道 久慈川橋耐震補強工事			
図面の種類	茂宮川高架橋 A1(A-ライン) 検査路 新設工(その3)		
縮 尺	図示	図面番号	79/208
設計会社名	株式会社 長 大		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

下部工検査路(4)



配置図 S=1:250



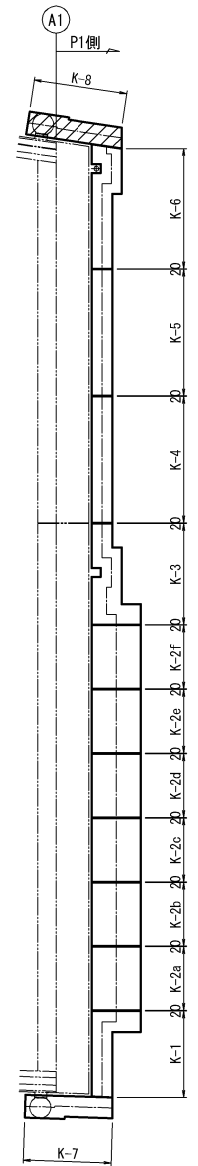
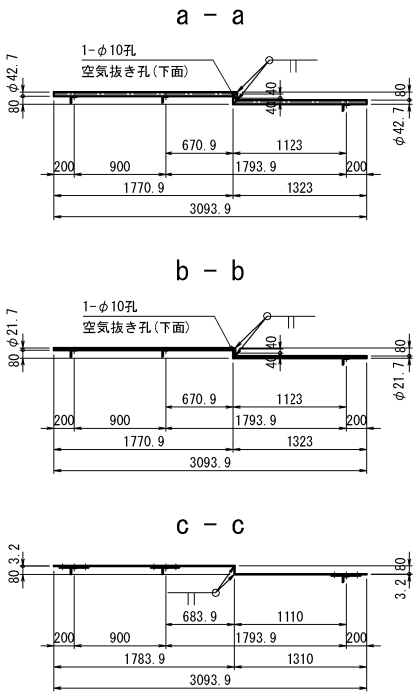
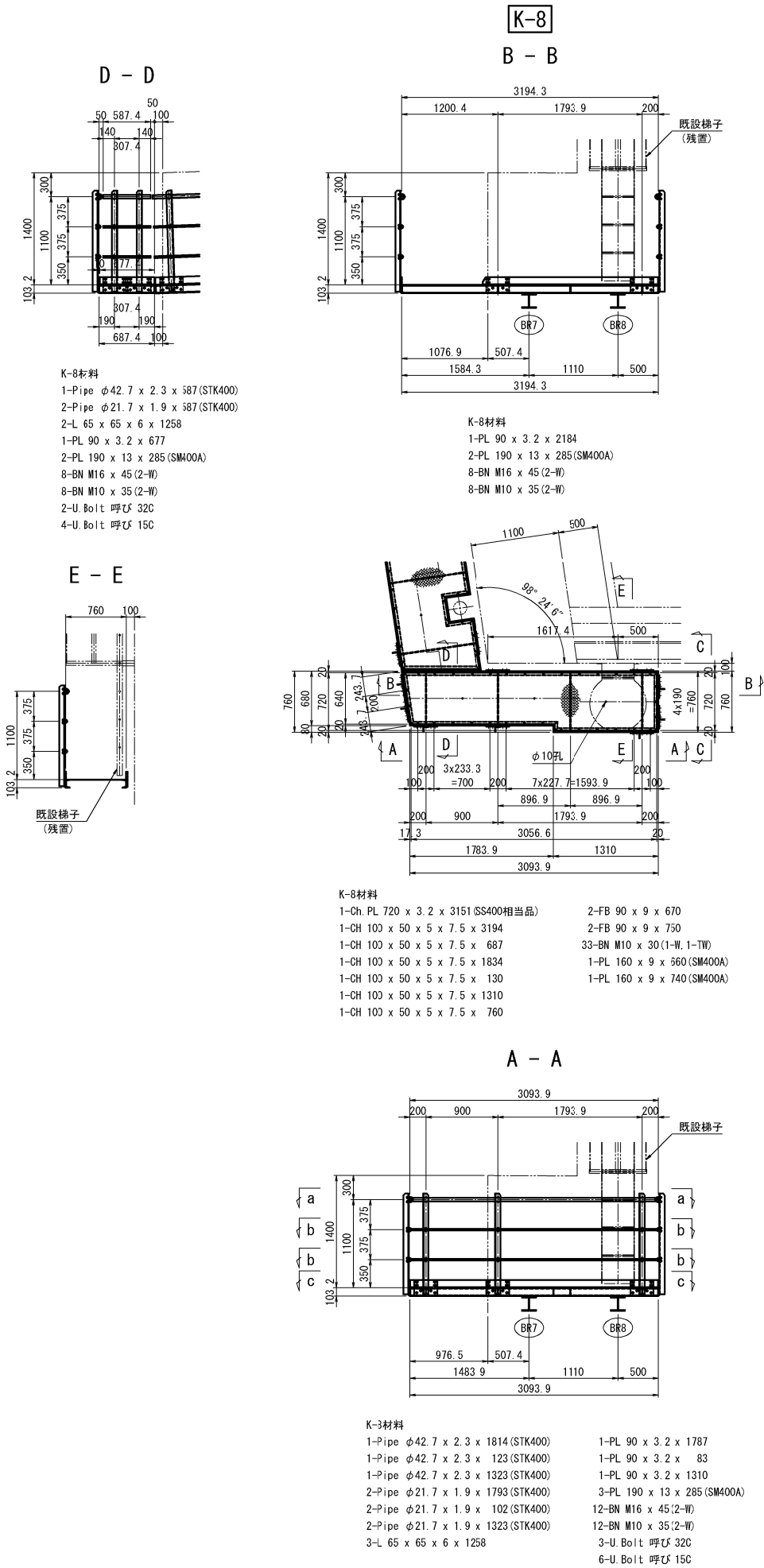
注 記

1. 施工に当たっては、現地調査を行い再確認すること。
特に鋼板の製作は、再計測後実施すること。
2. 特記なき材質は、全てSS400とする。
3. Uボルト付き(C形)以外のナットは、全て弛み止めナットを使用すること。
4. 部材は、全て溶融亜鉛めっきとする。
亜鉛の付着量は、JIS H8641 H0ZT77とする。
但し、ボルト・ナット及び厚さ3.2mm以下の部材は、HDZT49とする。
5. ボルト孔は、めっき付着量を考慮し、ボルト径+3mmを標準とする。
6. 床材に編鋼板を使用する場合は、直径10mmの排水孔を間隔1m(0.7m)程度に1箇所程度設けること。
7. ☆印箇所の手摺は、抜け落ち防止加工を施す。

常磐自動車道 久慈川橋耐震補強工事			
図面の種類	茂宮川高架橋 A1(A-ライン) 検査路 新設工(その4)		
縮 尺	図示	図面番号	80 / 208
設計会社名	株式会社 長 大		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

下部工検査路(5)

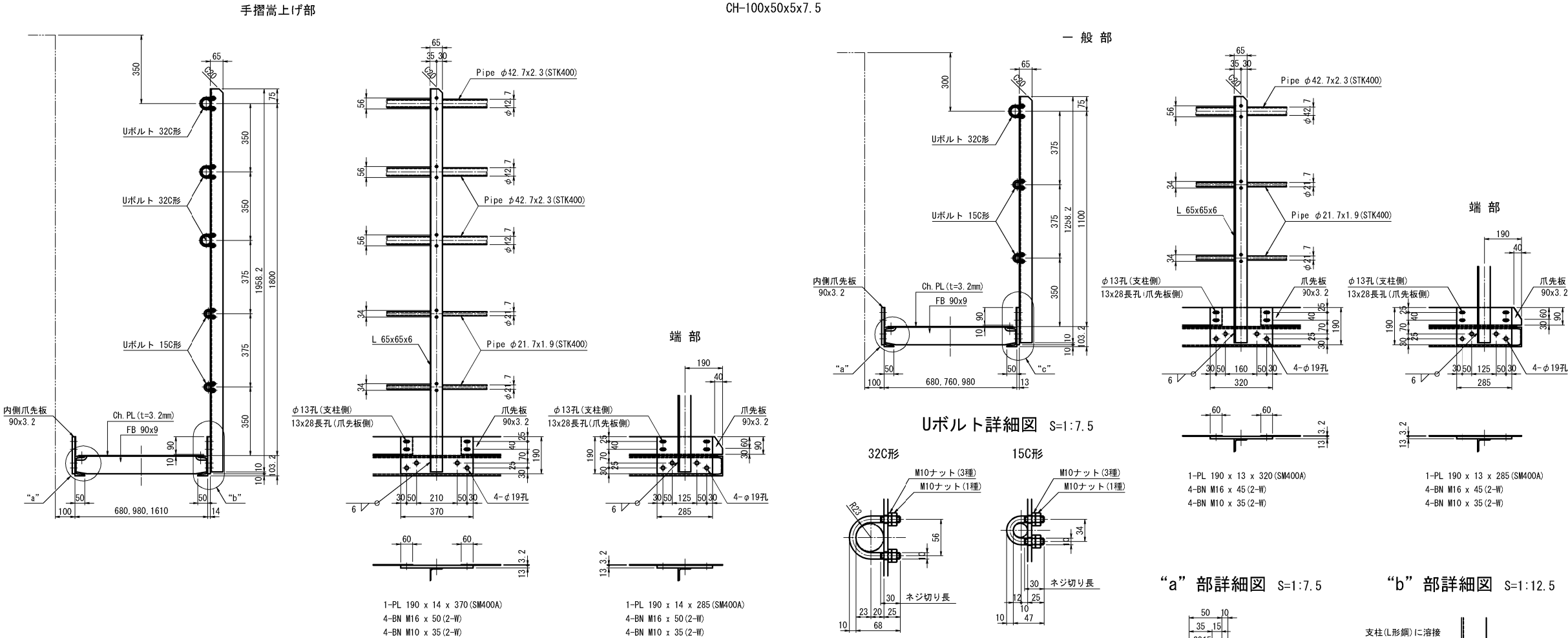
配置図 S=1:250



- 注 記
1. 施工に当っては、現地調査を行い再確認すること。
特に鋼板の製作は、再計測後実施すること。
 2. 特記なき材質は、全てSS400とする。
 3. Uボルト付き(C形)以外のナットは、全て弛み止めナットを使用すること。
 4. 部材は、全て溶融亜鉛めっきとする。
亜鉛の付着量は、JIS H8641 HDZ777とする。
但し、ボルト・ナット及び厚さ3.2mm以下の部材は、HDZ749とする。
 5. ボルト孔は、めっき付着量を考慮し、ボルト径+3mmを標準とする。
 6. 床材に編鋼板を使用する場合は、直径10mmの排水孔を間隔1m(0.7m)程度に1箇所程度設けること。
 7. ☆印箇所の手摺は、抜け落ち防止加工を施す。

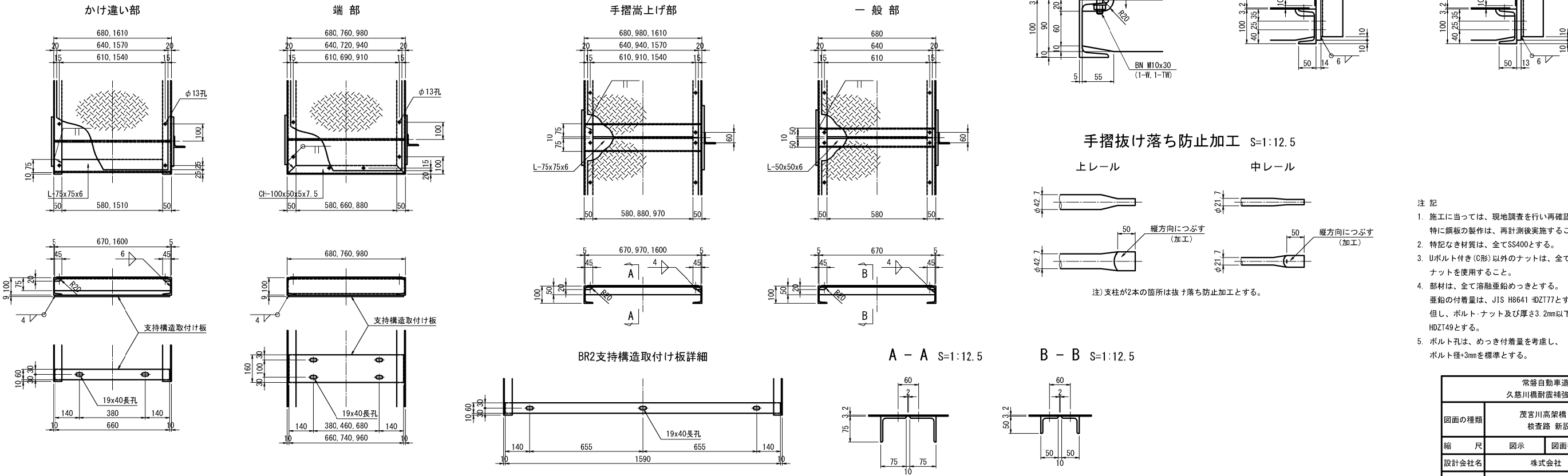
常磐自動車道 久慈川橋耐震補強工事			
図面の種類	茂宮川高架橋 A1(A-ライン) 検査路 新設工(その5)		
縮 尺	図示	図面番号	81 / 208
設計会社名	株式会社 長 大		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

歩廊断面及び構造詳細図
CH-100x50x5x7.5



歩廊端部詳細図

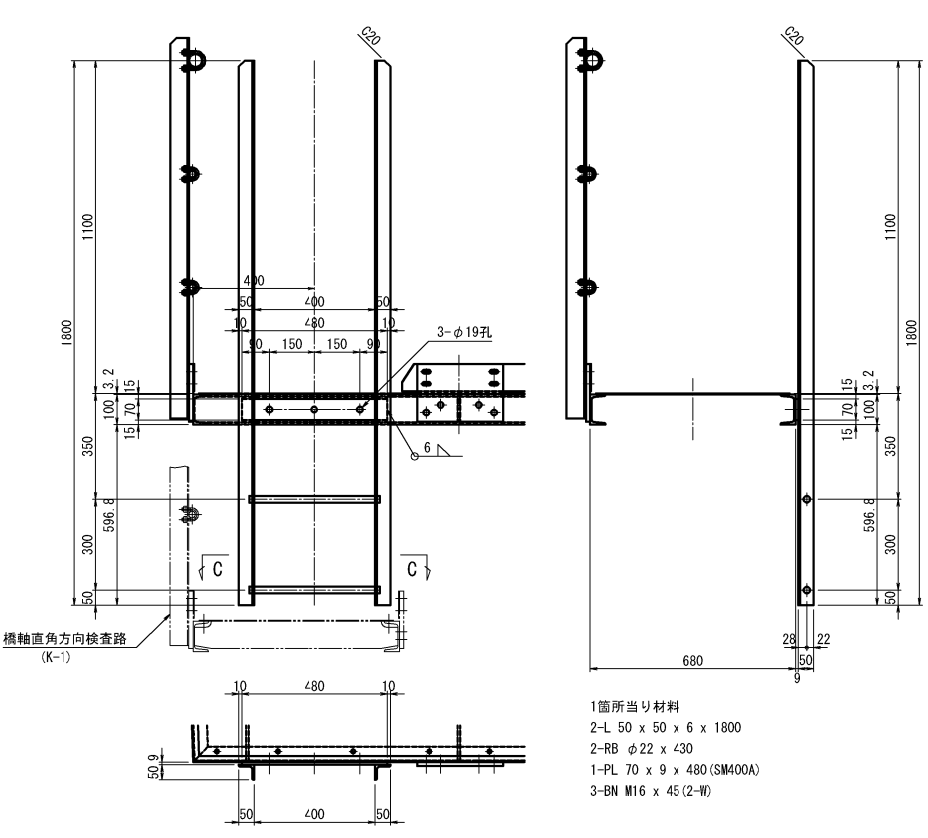
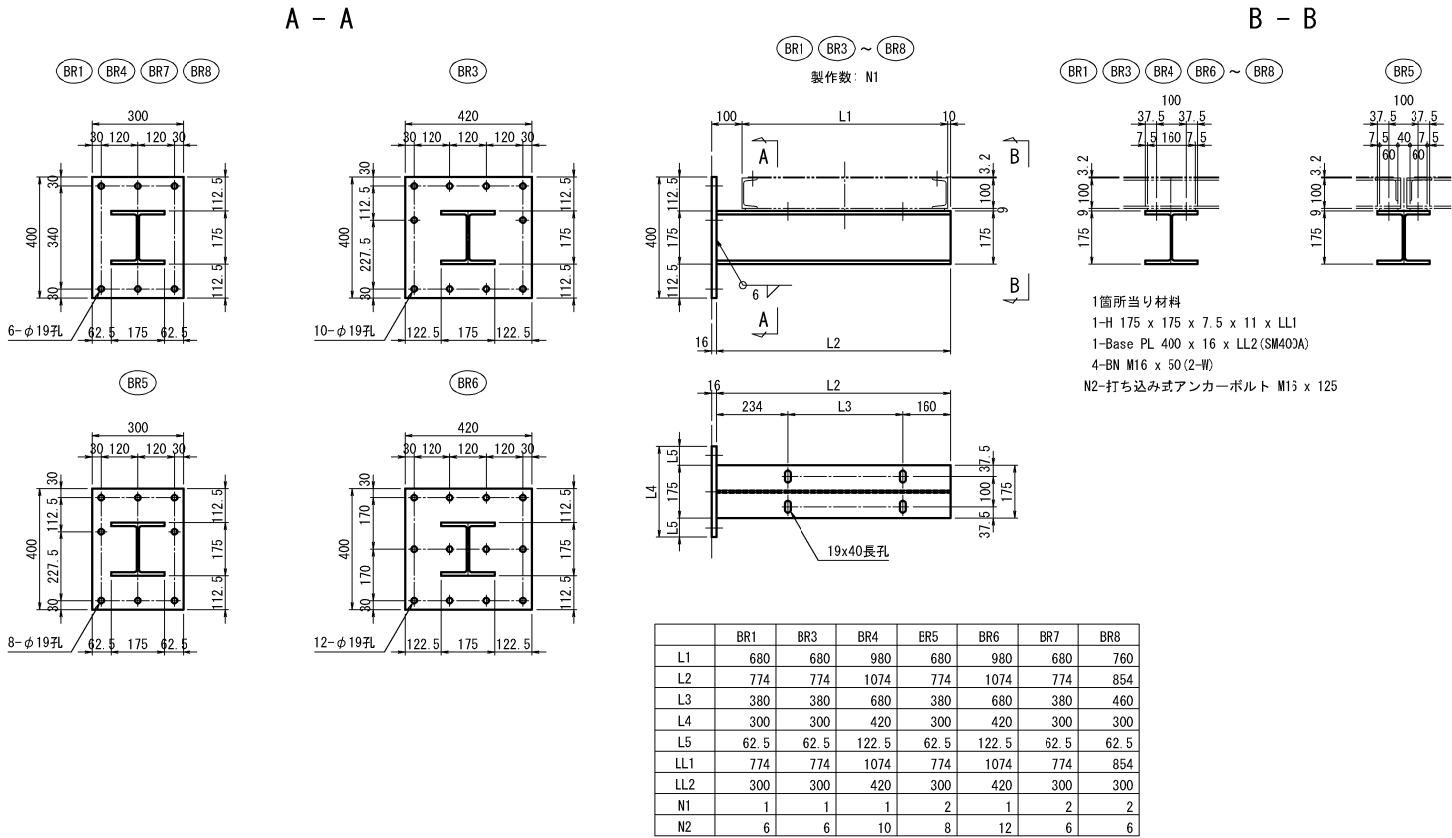
歩廊分割部詳細図



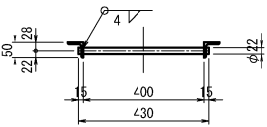
常磐自動車道 久慈川橋耐震補強工事			
図面の種類	茂宮川高架橋 A1(A-ライン) 検査路 新設工(その6)		
縮尺	図示	図面番号	82/208
設計会社名	株式会社 長大		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

受台詳細図

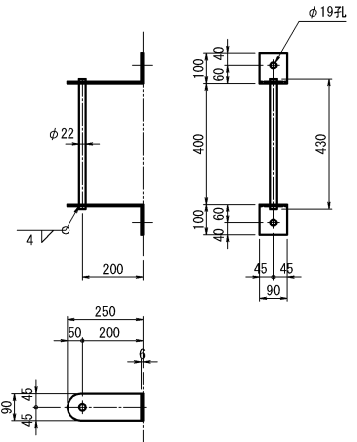
昇降梯子詳細図



C - C



ステップ詳細図



1箇所当り部材 (設置数: 28箇所)
1-RB $\phi 22$ x 430
2-PL 90 x 6 x 350
2-打ち込み式アンカーボルト M16 x 125

- 注 記
1. 施工に当っては、現地調査を行い再確認すること。
特に鋼板の製作は、再計測後実施すること。
 2. 特記なき材質は、全てSS400とする。
 3. Uボルト付き (G形) 以外のナットは、全て弛み止めナットを使用すること。
 4. 部材は、全て溶融亜鉛めっきとする。
亜鉛の付着量は、JIS H8641 HDZ777とする。
但し、ボルト・ナット及び厚さ3.2mm以下の部材は、HDZT49とする。
 5. ボルト孔は、めっき付着量を考慮し、ボルト径+3mmを標準とする。

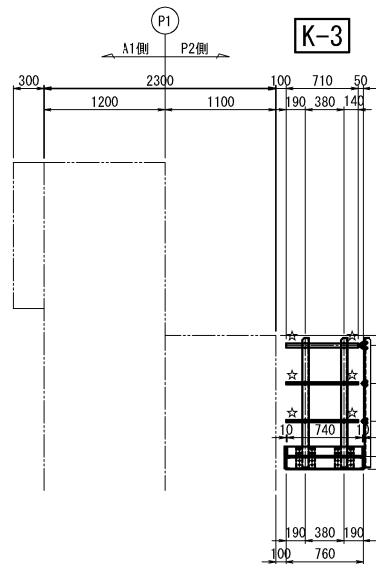
常磐自動車道 久慈川橋耐震補強工事			
図面の種類	茂宮川高架橋 A1(A-ライン) 検査路 新設工(その7)		
縮 尺	図示	図面番号	83 / 208
設計会社名	株式会社 長 大		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

下部工検査路(1)

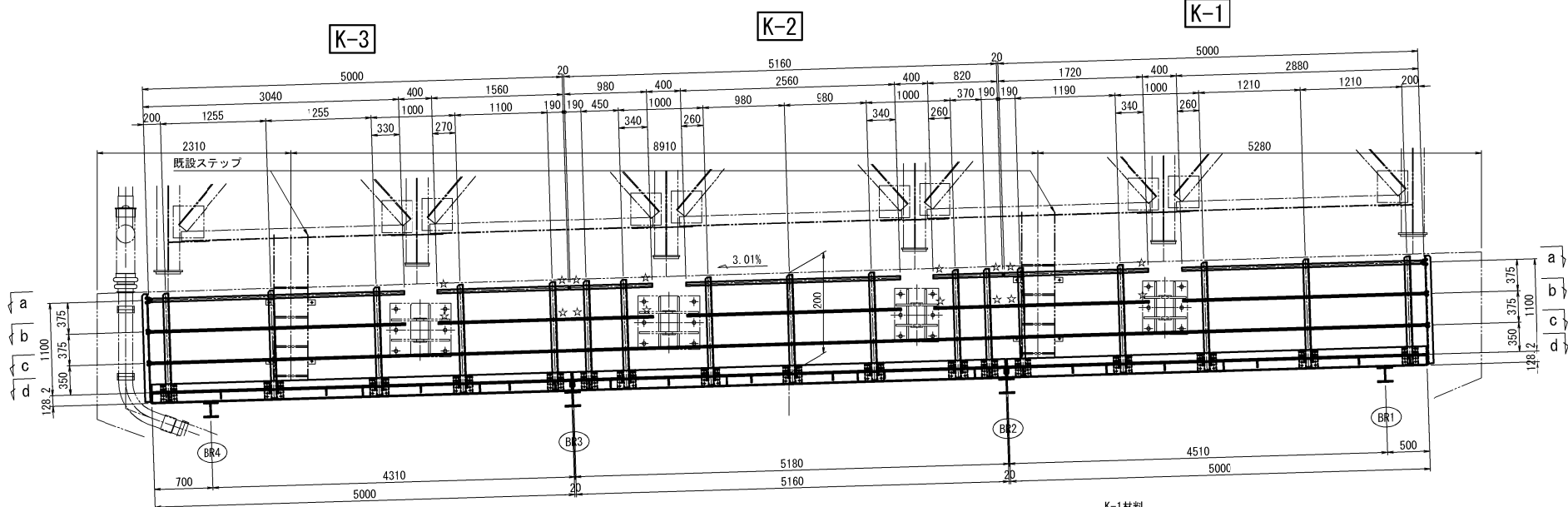
A - A

C - C

B - B



K-3材料
1-Pipe φ42.7 x 2.3 x 710(STK400)
1-Pipe φ21.7 x 1.9 x 710(STK400)
2-L 65 x 65 x 6 x 1283
1-PL 90 x 3.2 x 740
2-PL 215 x 13 x 185 (SM400A)
8-BN M16 x 50 (2-W)
8-BN M10 x 35 (2-W)
2-U Bolt 呼び 32C
4-U Bolt 呼び 15C



K-3材料
1-Pipe φ42.7 x 2.3 x 2540(STK400)
1-Pipe φ42.7 x 2.3 x 273(STK400)
1-Pipe φ42.7 x 2.3 x 543(STK400)
1-Pipe φ42.7 x 2.3 x 483(STK400)
1-Pipe φ42.7 x 2.3 x 353(STK400)
1-Pipe φ42.7 x 2.3 x 1120(STK400)
2-Pipe φ21.7 x 1.9 x 2519(STK400)
2-Pipe φ21.7 x 1.9 x 252(STK400)
1-Pipe φ21.7 x 1.9 x 543(STK400)
1-Pipe φ21.7 x 1.9 x 483(STK400)
1-Pipe φ21.7 x 1.9 x 1426(STK400)
2-Pipe φ21.7 x 1.9 x 332(STK400)
2-Pipe φ21.7 x 1.9 x 1099(STK400)
5-L 65 x 65 x 6 x 1283

2-PL 90 x 3.2 x 1405
1-PL 90 x 3.2 x 1008
1-PL 90 x 3.2 x 233
2-PL 90 x 3.2 x 150
2-PL 90 x 3.2 x 900
1-PL 90 x 3.2 x 313
1-PL 90 x 3.2 x 1093
1-PL 90 x 3.2 x 1155
1-PL 90 x 3.2 x 1240
4-PL 215 x 13 x 185 (SM400A)
6-PL 215 x 13 x 220 (SM400A)
40-BN M16 x 50 (2-W)
40-BN M10 x 35 (2-W)
5-U Bolt 呼び 32C
10-U Bolt 呼び 15C

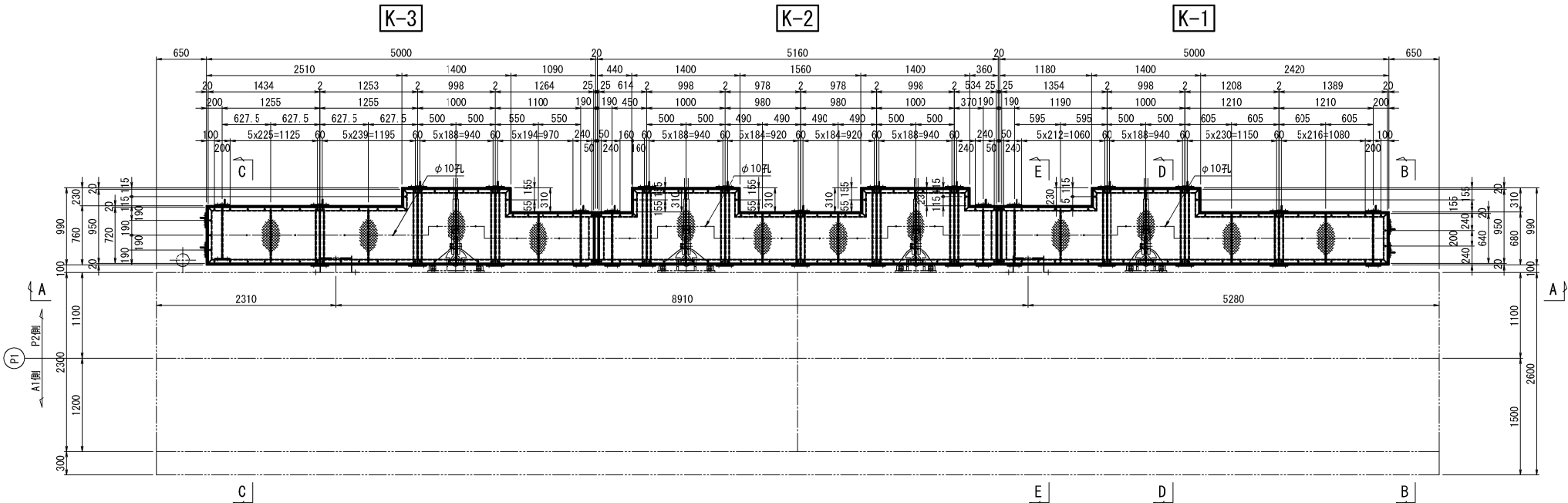
K-2材料
1-Pipe φ42.7 x 2.3 x 470(STK400)
3-Pipe φ42.7 x 2.3 x 353(STK400)
2-Pipe φ42.7 x 2.3 x 553(STK400)
2-Pipe φ42.7 x 2.3 x 473(STK400)
1-Pipe φ42.7 x 2.3 x 1619(STK400)
1-Pipe φ42.7 x 2.3 x 273(STK400)
1-Pipe φ42.7 x 2.3 x 390(STK400)
2-Pipe φ21.7 x 1.9 x 449(STK400)
6-Pipe φ21.7 x 1.9 x 332(STK400)
2-Pipe φ21.7 x 1.9 x 553(STK400)
2-Pipe φ21.7 x 1.9 x 473(STK400)
2-Pipe φ21.7 x 1.9 x 1426(STK400)
2-Pipe φ21.7 x 1.9 x 1577(STK400)
2-Pipe φ21.7 x 1.9 x 252(STK400)
2-Pipe φ21.7 x 1.9 x 369(STK400)
7-L 65 x 65 x 6 x 1283

1-PL 90 x 3.2 x 443
3-PL 90 x 3.2 x 313
4-PL 90 x 3.2 x 150
4-PL 90 x 3.2 x 900
2-PL 90 x 3.2 x 733
1-PL 90 x 3.2 x 233
1-PL 90 x 3.2 x 363
1-PL 90 x 3.2 x 590
2-PL 90 x 3.2 x 880
1-PL 90 x 3.2 x 510
4-PL 215 x 13 x 185 (SM400A)
10-PL 215 x 13 x 220 (SM400A)
56-BN M16 x 50 (2-W)
56-BN M10 x 35 (2-W)
7-U Bolt 呼び 32C
14-U Bolt 呼び 15C

K-1材料
1-Pipe φ42.7 x 2.3 x 1210(STK400)
1-Pipe φ42.7 x 2.3 x 273(STK400)
1-Pipe φ42.7 x 2.3 x 553(STK400)
1-Pipe φ42.7 x 2.3 x 473(STK400)
1-Pipe φ42.7 x 2.3 x 353(STK400)
1-Pipe φ42.7 x 2.3 x 2450(STK400)
2-Pipe φ21.7 x 1.9 x 1189(STK400)
2-Pipe φ21.7 x 1.9 x 252(STK400)
1-Pipe φ21.7 x 1.9 x 553(STK400)
1-Pipe φ21.7 x 1.9 x 473(STK400)
1-Pipe φ21.7 x 1.9 x 1426(STK400)
2-Pipe φ21.7 x 1.9 x 332(STK400)
2-Pipe φ21.7 x 1.9 x 2429(STK400)
5-L 65 x 65 x 6 x 1283

1-PL 90 x 3.2 x 1183
1-PL 90 x 3.2 x 233
2-PL 90 x 3.2 x 150
2-PL 90 x 3.2 x 900
1-PL 90 x 3.2 x 313
1-PL 90 x 3.2 x 963
2-PL 90 x 3.2 x 1360
1-PL 90 x 3.2 x 1330
1-PL 90 x 3.2 x 1110
4-PL 215 x 13 x 185 (SM400A)
6-PL 215 x 13 x 220 (SM400A)
40-BN M16 x 50 (2-W)
40-BN M10 x 35 (2-W)
5-U Bolt 呼び 32C
10-U Bolt 呼び 15C

K-1材料
1-Pipe φ42.7 x 2.3 x 630(STK400)
1-Pipe φ21.7 x 1.9 x 630(STK400)
2-L 65 x 65 x 6 x 1283
1-PL 90 x 3.2 x 660
2-PL 215 x 13 x 185 (SM400A)
8-BN M16 x 50 (2-W)
8-BN M10 x 35 (2-W)
2-U Bolt 呼び 32C
4-U Bolt 呼び 15C



K-3材料
1-Ch. PL 720 x 3.2 x 1434 (SS400相当品)
1-Ch. PL 950 x 3.2 x 1253 (SS400相当品)
1-Ch. PL 950 x 3.2 x 998 (SS400相当品)
1-Ch. PL 950 x 3.2 x 1264 (SS400相当品)
1-CH 125 x 65 x 6 x 8 x 2575
1-CH 125 x 65 x 6 x 8 x 295
1-CH 125 x 65 x 6 x 8 x 1400
1-CH 125 x 65 x 6 x 8 x 375
1-CH 125 x 65 x 6 x 8 x 1155
1-CH 125 x 65 x 6 x 8 x 760
1-CH 125 x 65 x 6 x 8 x 5000

2-L 50 x 50 x 6 x 748
4-L 50 x 50 x 6 x 978
3-FB 90 x 9 x 743
1-FB 90 x 9 x 973
2-FB 90 x 9 x 668
57-BN M10 x 30 (1-W, 1-TW)
1-PL 160 x 9 x 740 (SM400A)
1-PL 60 x 9 x 640 (SM400A)

K-2材料
1-Ch. PL 950 x 3.2 x 614 (SS400相当品)
2-Ch. PL 950 x 3.2 x 998 (SS400相当品)
2-Ch. PL 950 x 3.2 x 978 (SS400相当品)
1-Ch. PL 950 x 3.2 x 534 (SS400相当品)
1-CH 125 x 65 x 6 x 8 x 505
3-CH 125 x 65 x 6 x 8 x 375
2-CH 125 x 65 x 6 x 8 x 1400
1-CH 125 x 65 x 6 x 8 x 1690
1-CH 125 x 65 x 6 x 8 x 295
1-CH 125 x 65 x 6 x 8 x 425
1-CH 125 x 65 x 6 x 8 x 5160

8-L 50 x 50 x 6 x 978
2-L 50 x 50 x 6 x 668
3-FB 90 x 9 x 668
2-FB 90 x 9 x 978
1-FB 90 x 9 x 748
66-BN M10 x 30 (1-W, 1-TW)
1-PL 60 x 9 x 640 (SM400A)
1-PL 60 x 9 x 740 (SM400A)

K-1材料
1-Ch. PL 950 x 3.2 x 1354 (SS400相当品)
1-Ch. PL 950 x 3.2 x 998 (SS400相当品)
1-Ch. PL 950 x 3.2 x 1208 (SS400相当品)
1-Ch. PL 640 x 3.2 x 1389 (SS400相当品)
1-CH 125 x 65 x 6 x 8 x 1245
1-CH 125 x 65 x 6 x 8 x 295
1-CH 125 x 65 x 6 x 8 x 1400
1-CH 125 x 65 x 6 x 8 x 375
1-CH 125 x 65 x 6 x 8 x 2485
1-CH 125 x 65 x 6 x 8 x 680
1-CH 125 x 65 x 6 x 8 x 5000

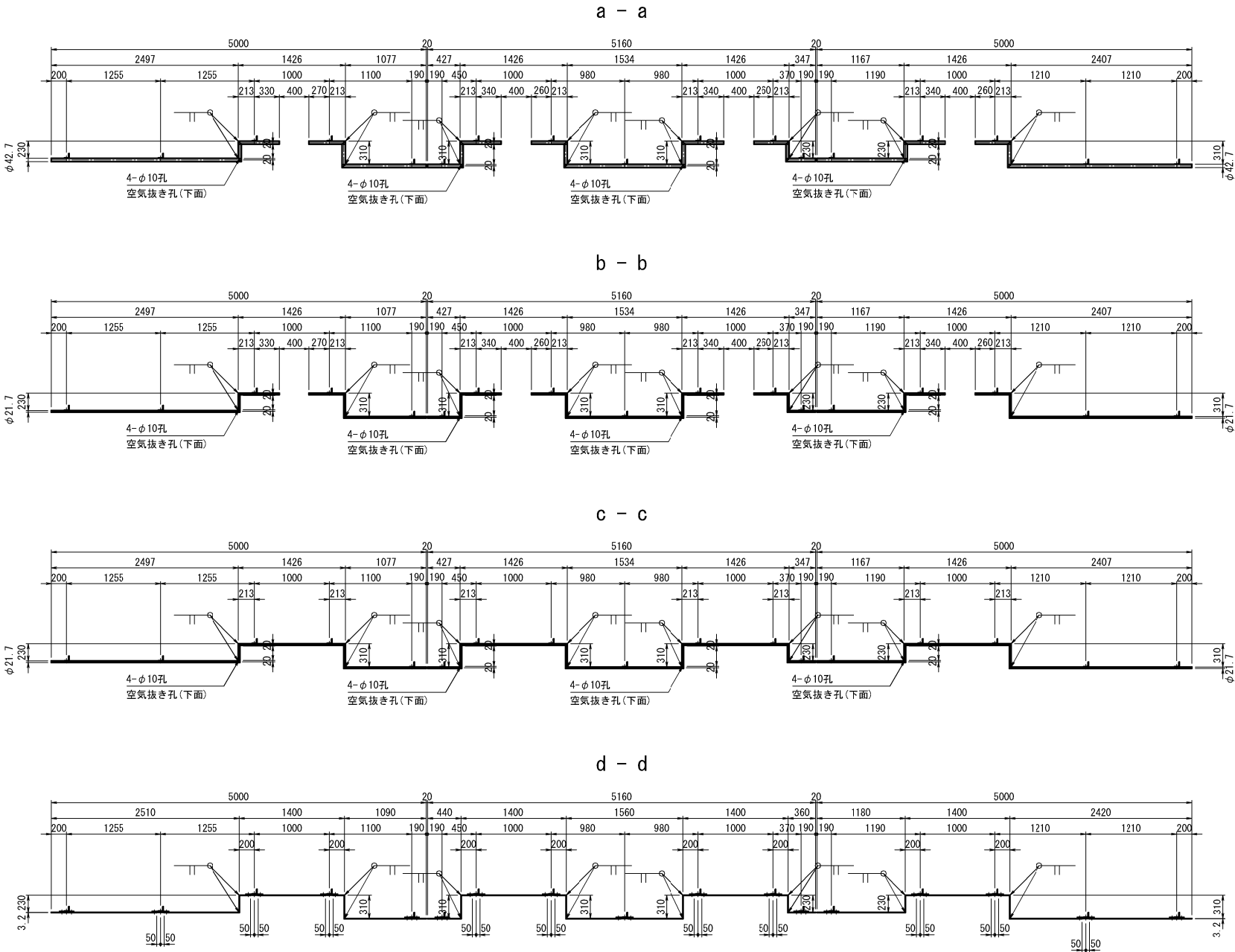
4-L 50 x 50 x 6 x 978
2-L 50 x 50 x 6 x 668
2-FB 90 x 9 x 748
1-FB 90 x 9 x 978
3-FB 90 x 9 x 668
56-BN M10 x 30 (1-W, 1-TW)
1-PL 60 x 9 x 740 (SM400A)
1-PL 160 x 9 x 640 (SM400A)

注 記

- 施工に当っては、現地調査を行い再確認すること。
特に鋼板の製作は、再計測後実施すること。
- 特記なき材質は、全てSS400とする。
- Uボルト付き(C形)以外のナットは、全て弛み止めナットを使用すること。
- 部材は、全て溶融亜鉛めっきとする。
亜鉛の付着量は、JIS H8641 H02T77とする。
但し、ボルト・ナット及び厚さ3.2mm以下の部材は、HDZT49とする。
- ボルト孔は、めっき付着量を考慮し、ボルト径+3mmを標準とする。
- 床材に編鋼板を使用する場合は、直径10mmの排水孔を間隔1m(0.7m)程度に1箇所程度設けること。
- ☆印箇所の手摺は、抜け落ち防止加工を施す。

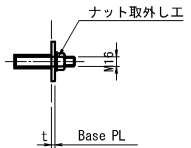
常磐自動車道 久慈川橋耐震補強工事			
図面の種類	茂宮川高架橋 P1 (A-ライン) 検査路 新設工(その1)		
縮 尺	図示	図面番号	84/208
設計会社名	株式会社 長 大		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

下部工検査路(2)

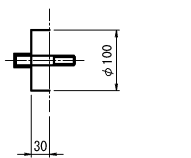


コンクリートアンカー撤去工

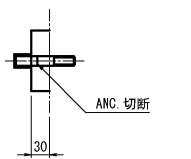
1) ナットを取外し、受け台などを撤去。



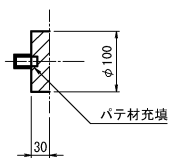
2) φ100 x 30程度削孔。



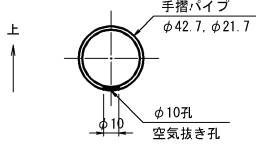
3) アンカーを切断。



4) 削孔部をパテ材にて埋戻し。



手摺空気抜き孔断面詳細 S=1:5

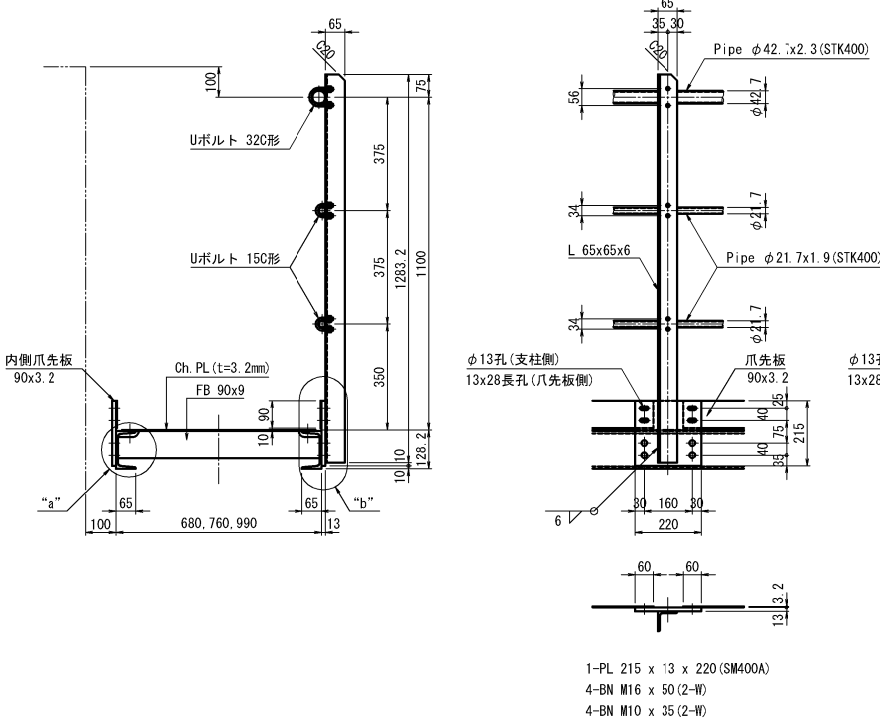


撤去本数			
	基数	ANC 本数	計
受け台	6	6	36
計			36

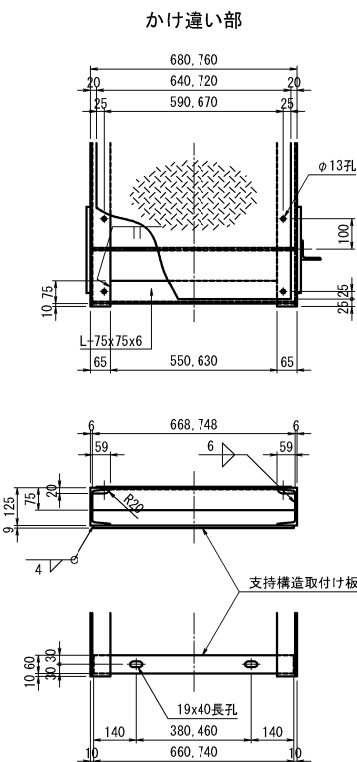
- 注 記
1. 施工に当っては、現地調査を行い再確認すること。
特に鋼板の製作は、再計測後実施すること。
 2. 特記なき材質は、全てSS400とする。
 3. Uボルト付き(C形)以外のナットは、全て弛み止めナットを使用すること。
 4. 部材は、全て溶融亜鉛めっきとする。
亜鉛の付着量は、JIS H8641 H0ZT77とする。
但し、ボルト・ナット及び厚さ3.2mm以下の部材は、HDZT49とする。
 5. ボルト孔は、めっき付着量を考慮し、ボルト径+3mmを標準とする。
 6. 床材に編鋼板を使用する場合は、直径10mmの排水孔を間隔1m(0.7m)程度に1箇所程度設けること。
 7. ☆印箇所の手摺は、抜け落ち防止加工を施す。

常磐自動車道 久慈川橋耐震補強工事			
図面の種類	茂宮川高架橋 P1 (A-ライン) 検査路 新設工(その2)		
縮 尺	図示	図面番号	85 / 208
設計会社名	株式会社 長 大		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

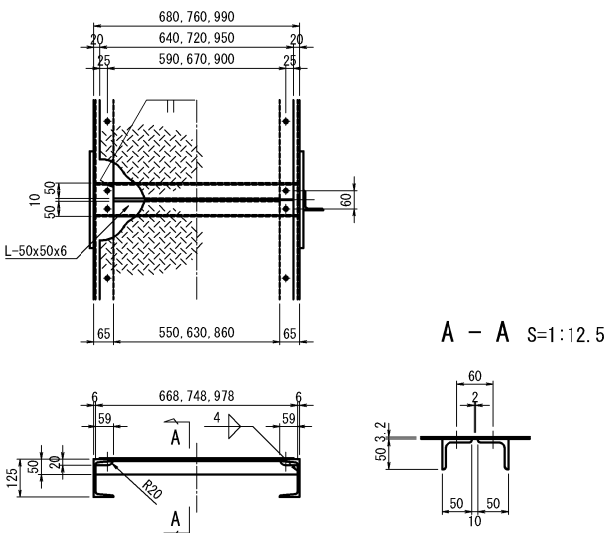
歩廊断面及び構造詳細図
CH-125x65x6x8



歩廊端部詳細図

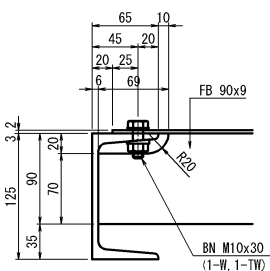


歩廊分割部詳細図

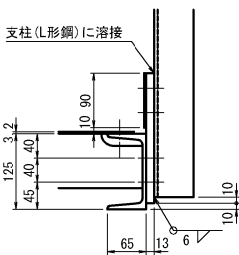


A - A S=1:12.5

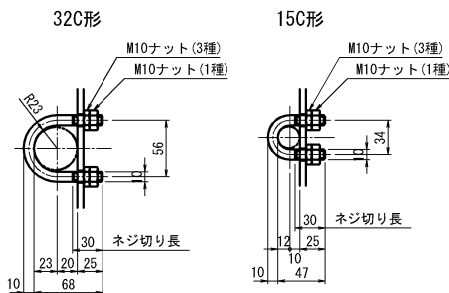
“a”部詳細図 S=1:7.5



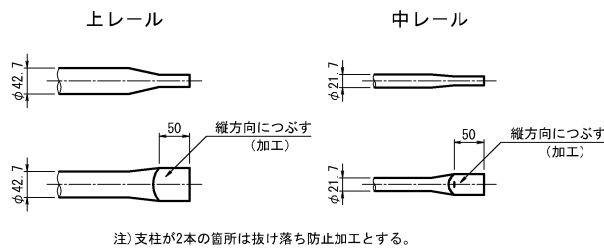
“b”部詳細図 S=1:12.5



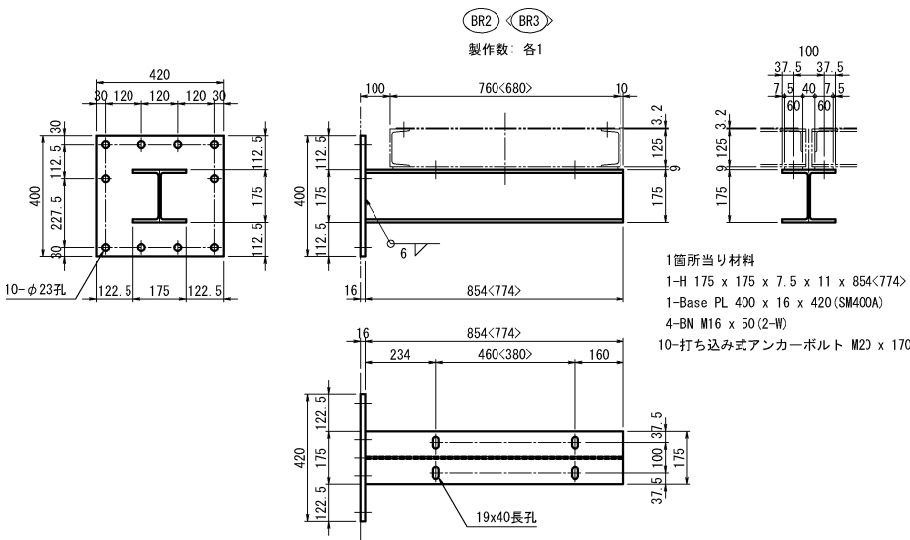
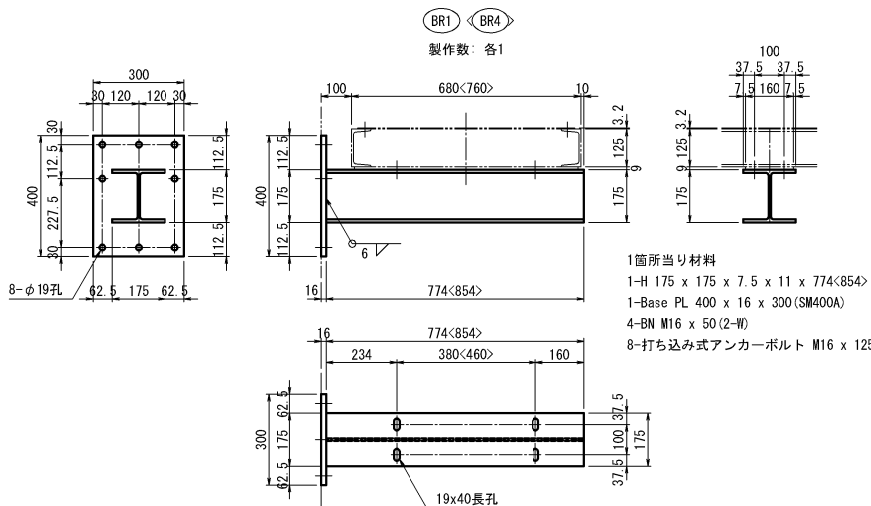
Uボルト詳細図 S=1:7.5



手摺抜け落ち防止加工 S=1:12.5



受台詳細図

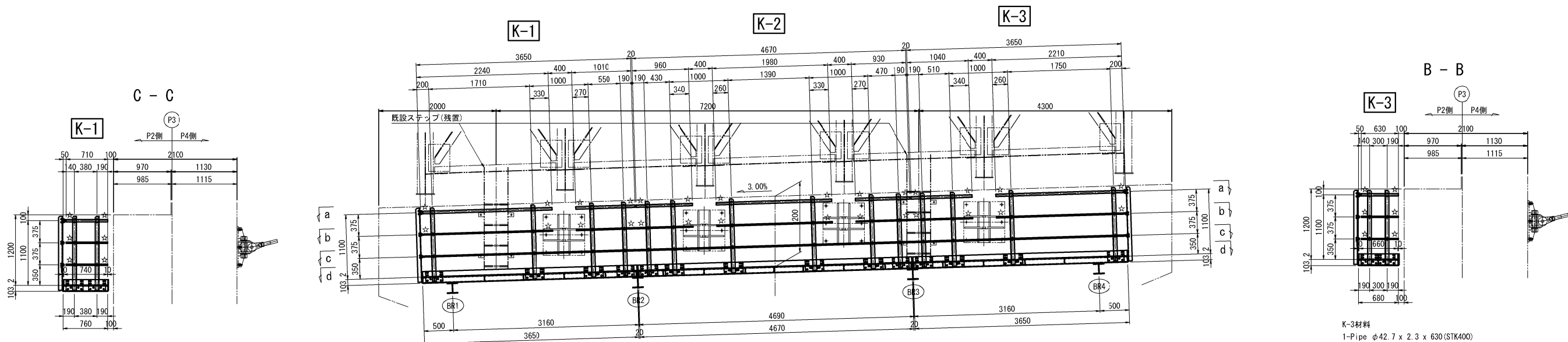


- 注 記
1. 施工に当たっては、現地調査を行い再確認すること。
特に鋼板の製作は、再計測後実施すること。
 2. 特記なき材質は、全てSS400とする。
 3. Uボルト付き (C形) 以外のナットは、全て弛み止めナットを使用すること。
 4. 部材は、全て溶融亜鉛めっきとする。
亜鉛の付着量は、JIS H8641 HDZ777とする。
但し、ボルト・ナット及び厚さ3.2mm以下の部材は、HDZ749とする。
 5. ボルト孔は、めっき付着量を考慮し、ボルト径+3mmを標準とする。

常磐自動車道 久慈川橋耐震補強工事			
図面の種類	茂宮川高架橋 P1 (A-ライン) 検査路 新設工(その3)		
縮 尺	図示	図面番号	86/208
設計会社名	株式会社 長 大		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

下部工検査路(1)

A - A



K-1材料

1-Pipe $\phi 42.7 \times 2.3 \times 710$ (STK400)
1-Pipe $\phi 21.7 \times 1.9 \times 710$ (STK400)
2-L 65 x 65 x 6 x 1258
1-PL 90 x 3.2 x 740
2-PL 190 x 13 x 285 (SM400A)
8-BN M16 x 45 (2-W)
8-BN M10 x 35 (2-W)
2-U Bolt 呼び 32C
4-U Bolt 呼び 15C

K-1材料

1-Pipe $\phi 42.7 \times 2.3 \times 1740$ (STK400)
1-Pipe $\phi 42.7 \times 2.3 \times 183$ (STK400)
1-Pipe $\phi 42.7 \times 2.3 \times 543$ (STK400)
1-Pipe $\phi 42.7 \times 2.3 \times 483$ (STK400)
1-Pipe $\phi 42.7 \times 2.3 \times 263$ (STK400)
1-Pipe $\phi 42.7 \times 2.3 \times 570$ (STK400)
2-Pipe $\phi 21.7 \times 1.9 \times 1719$ (STK400)
2-Pipe $\phi 21.7 \times 1.9 \times 162$ (STK400)
1-Pipe $\phi 21.7 \times 1.9 \times 543$ (STK400)
1-Pipe $\phi 21.7 \times 1.9 \times 483$ (STK400)
1-Pipe $\phi 21.7 \times 1.9 \times 1426$ (STK400)
2-Pipe $\phi 21.7 \times 1.9 \times 242$ (STK400)
2-Pipe $\phi 21.7 \times 1.9 \times 549$ (STK400)
4-L 65 x 65 x 6 x 1258

1-PL 90 x 3.2 x 1713
1-PL 90 x 3.2 x 143
2-PL 90 x 3.2 x 100
2-PL 90 x 3.2 x 800
1-PL 90 x 3.2 x 223
1-PL 90 x 3.2 x 543
1-PL 90 x 3.2 x 1810
1-PL 90 x 3.2 x 640
4-PL 190 x 13 x 285 (SM400A)
4-PL 190 x 13 x 320 (SM400A)
32-BN M16 x 45 (2-W)
32-BN M10 x 35 (2-W)
4-U Bolt 呼び 32C
8-U Bolt 呼び 15C

K-2材料

1-Pipe $\phi 42.7 \times 2.3 \times 450$ (STK400)
3-Pipe $\phi 42.7 \times 2.3 \times 263$ (STK400)
1-Pipe $\phi 42.7 \times 2.3 \times 553$ (STK400)
1-Pipe $\phi 42.7 \times 2.3 \times 473$ (STK400)
1-Pipe $\phi 42.7 \times 2.3 \times 1049$ (STK400)
1-Pipe $\phi 42.7 \times 2.3 \times 543$ (STK400)
1-Pipe $\phi 42.7 \times 2.3 \times 483$ (STK400)
1-Pipe $\phi 42.7 \times 2.3 \times 183$ (STK400)
1-Pipe $\phi 42.7 \times 2.3 \times 490$ (STK400)
2-Pipe $\phi 21.7 \times 1.9 \times 429$ (STK400)
6-Pipe $\phi 21.7 \times 1.9 \times 242$ (STK400)
1-Pipe $\phi 21.7 \times 1.9 \times 553$ (STK400)
1-Pipe $\phi 21.7 \times 1.9 \times 473$ (STK400)
2-Pipe $\phi 21.7 \times 1.9 \times 1426$ (STK400)
2-Pipe $\phi 21.7 \times 1.9 \times 1007$ (STK400)
1-Pipe $\phi 21.7 \times 1.9 \times 543$ (STK400)
1-Pipe $\phi 21.7 \times 1.9 \times 483$ (STK400)
2-Pipe $\phi 21.7 \times 1.9 \times 162$ (STK400)
2-Pipe $\phi 21.7 \times 1.9 \times 469$ (STK400)
6-L 65 x 65 x 6 x 1258

1-PL 90 x 3.2 x 423
3-PL 90 x 3.2 x 223
4-PL 90 x 3.2 x 100
4-PL 90 x 3.2 x 800
1-PL 90 x 3.2 x 996
1-PL 90 x 3.2 x 143
1-PL 90 x 3.2 x 463
1-PL 90 x 3.2 x 520
1-PL 90 x 3.2 x 1190
1-PL 90 x 3.2 x 560
4-PL 190 x 13 x 285 (SM400A)
8-PL 190 x 13 x 320 (SM400A)
48-BN M16 x 45 (2-W)
48-BN M10 x 35 (2-W)
6-U Bolt 呼び 32C
12-U Bolt 呼び 15C

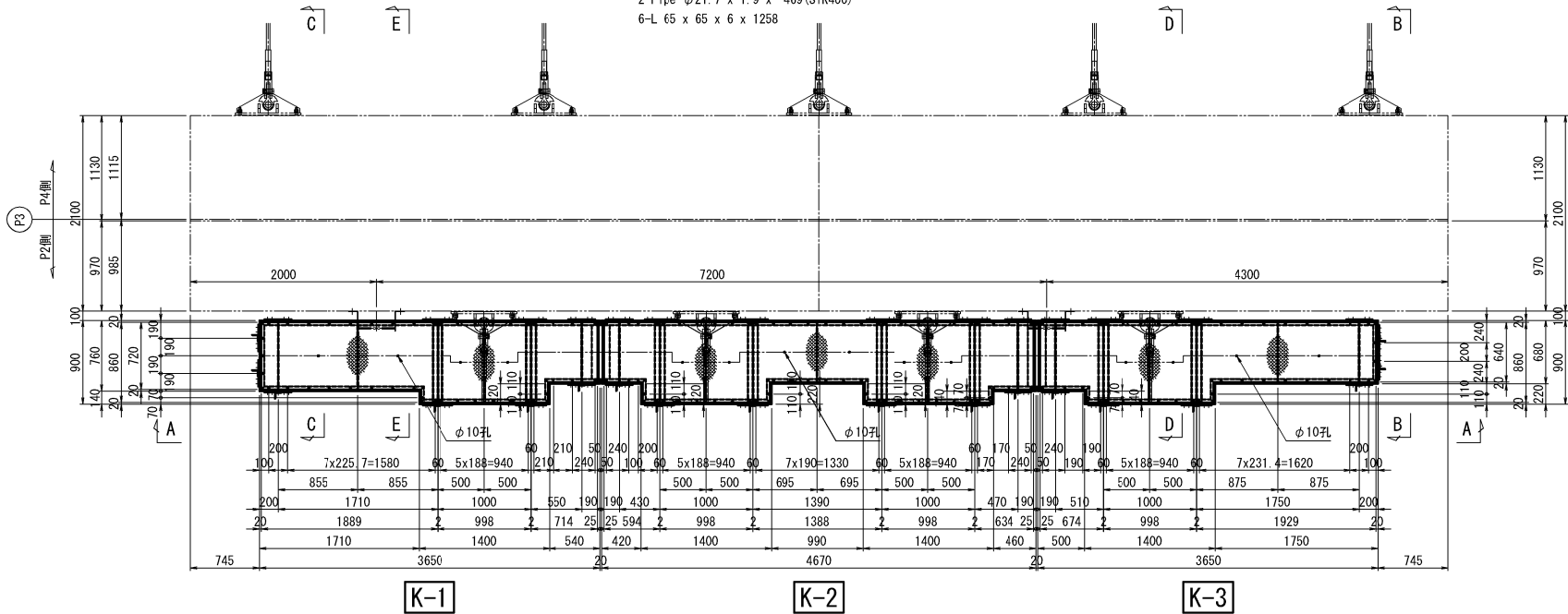
K-3材料

1-Pipe $\phi 42.7 \times 2.3 \times 530$ (STK400)
1-Pipe $\phi 42.7 \times 2.3 \times 183$ (STK400)
1-Pipe $\phi 42.7 \times 2.3 \times 553$ (STK400)
1-Pipe $\phi 42.7 \times 2.3 \times 473$ (STK400)
1-Pipe $\phi 42.7 \times 2.3 \times 263$ (STK400)
1-Pipe $\phi 42.7 \times 2.3 \times 1780$ (STK400)
2-Pipe $\phi 21.7 \times 1.9 \times 509$ (STK400)
2-Pipe $\phi 21.7 \times 1.9 \times 162$ (STK400)
1-Pipe $\phi 21.7 \times 1.9 \times 553$ (STK400)
1-Pipe $\phi 21.7 \times 1.9 \times 473$ (STK400)
1-Pipe $\phi 21.7 \times 1.9 \times 1426$ (STK400)
2-Pipe $\phi 21.7 \times 1.9 \times 242$ (STK400)
2-Pipe $\phi 21.7 \times 1.9 \times 1759$ (STK400)
4-L 65 x 65 x 6 x 1258

1-PL 90 x 3.2 x 503
1-PL 90 x 3.2 x 143
2-PL 90 x 3.2 x 100
2-PL 90 x 3.2 x 800
1-PL 90 x 3.2 x 223
1-PL 90 x 3.2 x 1753
1-PL 90 x 3.2 x 600
1-PL 90 x 3.2 x 1850
4-PL 190 x 13 x 285 (SM400A)
4-PL 190 x 13 x 320 (SM400A)
32-BN M16 x 45 (2-W)
32-BN M10 x 35 (2-W)
4-U Bolt 呼び 32C
8-U Bolt 呼び 15C

K-3材料

1-Pipe $\phi 42.7 \times 2.3 \times 630$ (STK400)
1-Pipe $\phi 21.7 \times 1.9 \times 630$ (STK400)
2-L 65 x 65 x 6 x 1258
1-PL 90 x 3.2 x 660
2-PL 190 x 13 x 285 (SM400A)
8-BN M16 x 45 (2-W)
8-BN M10 x 35 (2-W)
2-U Bolt 呼び 32C
4-U Bolt 呼び 15C



K-1材料

1-Ch. PL 860 x 3.2 x 1889 (SS400相当品)
1-Ch. PL 860 x 3.2 x 998 (SS400相当品)
1-Ch. PL 860 x 3.2 x 714 (SS400相当品)
1-CH 100 x 50 x 5 x 7.5 x 3650
1-CH 100 x 50 x 5 x 7.5 x 760
1-CH 100 x 50 x 5 x 7.5 x 1760
1-CH 100 x 50 x 5 x 7.5 x 190
1-CH 100 x 50 x 5 x 7.5 x 1400
1-CH 100 x 50 x 5 x 7.5 x 270
1-CH 100 x 50 x 5 x 7.5 x 590

1-L 75 x 75 x 6 x 670
4-L 50 x 50 x 6 x 890
2-FB 90 x 9 x 750
1-FB 90 x 9 x 890
1-FB 90 x 9 x 670
43-BN M10 x 30 (1-W, 1-TW)
1-PL 160 x 9 x 740 (SM400A)
1-PL 60 x 9 x 660 (SM400A)

K-2材料

1-Ch. PL 860 x 3.2 x 594 (SS400相当品)
2-Ch. PL 860 x 3.2 x 998 (SS400相当品)
1-Ch. PL 860 x 3.2 x 1348 (SS400相当品)
1-Ch. PL 860 x 3.2 x 614 (SS400相当品)
1-CH 100 x 50 x 5 x 7.5 x 4670
1-CH 100 x 50 x 5 x 7.5 x 470
3-CH 100 x 50 x 5 x 7.5 x 270
2-CH 100 x 50 x 5 x 7.5 x 1400
1-CH 100 x 50 x 5 x 7.5 x 1090
1-CH 100 x 50 x 5 x 7.5 x 190
1-CH 100 x 50 x 5 x 7.5 x 510

1-L 75 x 75 x 6 x 670
1-L 75 x 75 x 6 x 750
8-L 50 x 50 x 6 x 890
2-FB 90 x 9 x 670
2-FB 90 x 9 x 890
1-FB 90 x 9 x 750
60-BN M10 x 30 (1-W, 1-TW)
1-PL 60 x 9 x 660 (SM400A)
1-PL 60 x 9 x 740 (SM400A)

K-3材料

1-Ch. PL 860 x 3.2 x 674 (SS400相当品)
1-Ch. PL 860 x 3.2 x 998 (SS400相当品)
1-Ch. PL 860 x 3.2 x 1929 (SS400相当品)
1-CH 100 x 50 x 5 x 7.5 x 3650
1-CH 100 x 50 x 5 x 7.5 x 550
1-CH 100 x 50 x 5 x 7.5 x 190
1-CH 100 x 50 x 5 x 7.5 x 1400
1-CH 100 x 50 x 5 x 7.5 x 270
1-CH 100 x 50 x 5 x 7.5 x 1800
1-CH 100 x 50 x 5 x 7.5 x 680

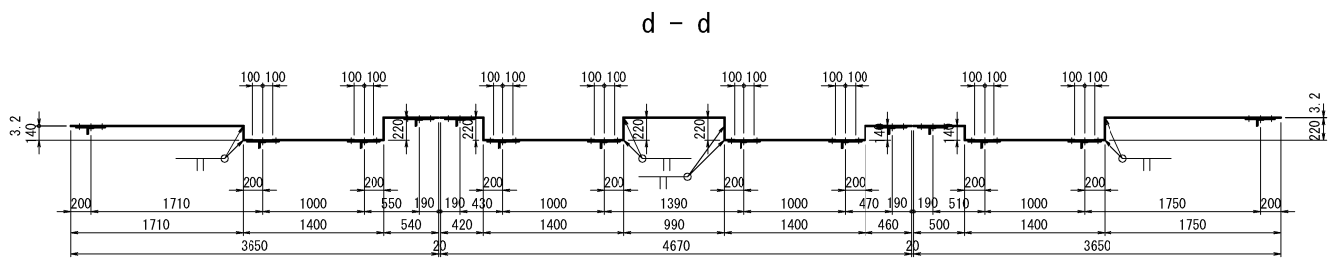
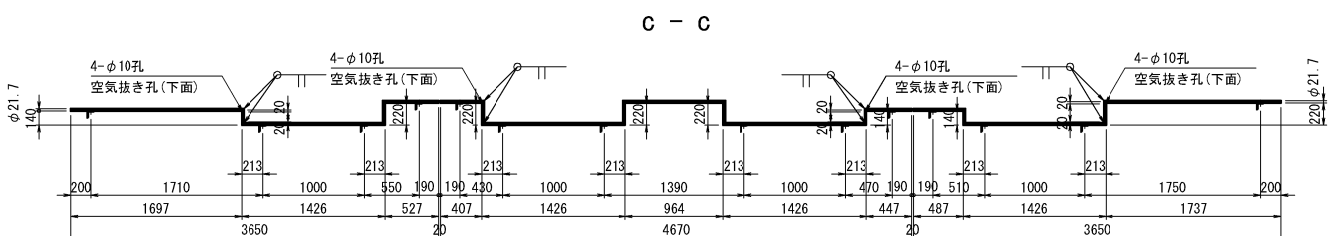
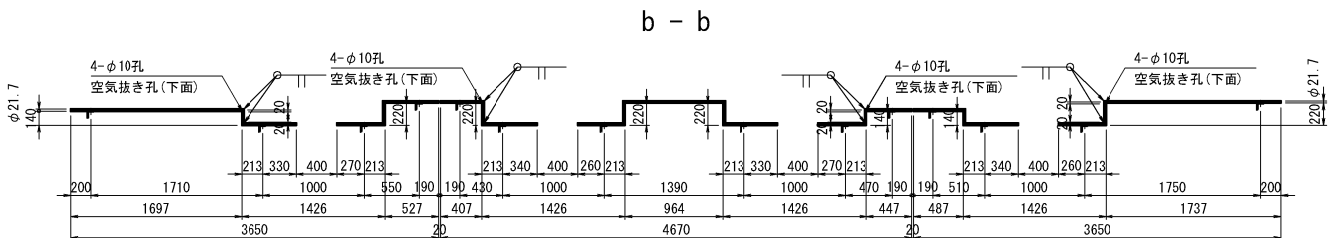
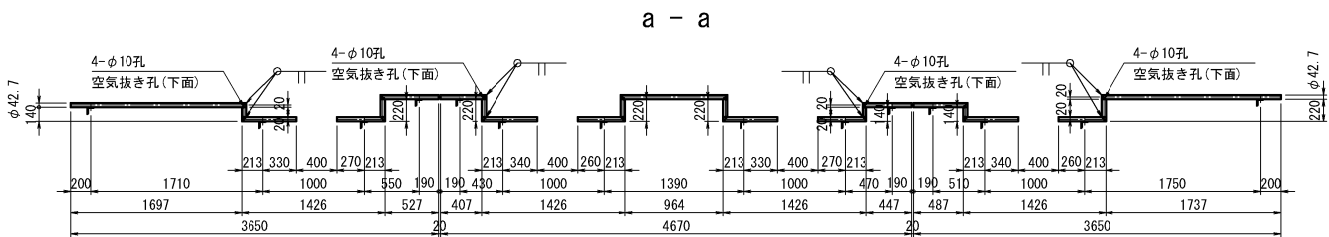
1-L 75 x 75 x 6 x 750
4-L 50 x 50 x 6 x 890
1-FB 90 x 9 x 750
1-FB 90 x 9 x 890
2-FB 90 x 9 x 670
42-BN M10 x 30 (1-W, 1-TW)
1-PL 60 x 9 x 740 (SM400A)
1-PL 160 x 9 x 660 (SM400A)

注 記

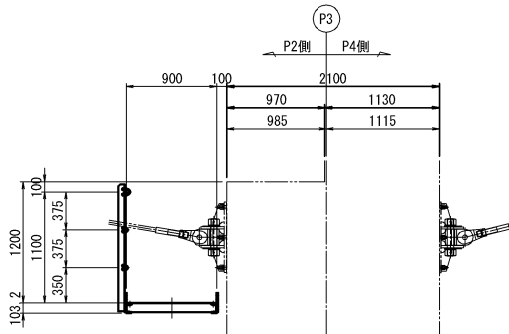
- 施工に当っては、現地調査を行い再確認すること。
特に鋼板の製作は、再計測後実施すること。
- 特記なき材質は、全てSS400とする。
- Uボルト付き(C形)以外のナットは、全て弛み止めナットを使用すること。
- 部材は、全て溶融亜鉛めっきとする。
亜鉛の付着量は、JIS H8641 H02T77とする。
但し、ボルト・ナット及び厚さ3.2mm以下の部材は、H02T49とする。
- ボルト孔は、めっき付着量を考慮し、ボルト径+3mmを標準とする。
- 床材に編鋼板を使用する場合は、直径10mmの排水孔を間隔1m(0.7m)程度に1箇所程度設けること。
- ☆印箇所の手摺は、抜け落ち防止加工を施す。

常磐自動車道 久慈川橋耐震補強工事			
図面の種類	茂宮川高架橋 P3(A-ライン) 検査路 新設工(その1)		
縮 尺	図示	図面番号	87/208
設計会社名	株式会社 長 大		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

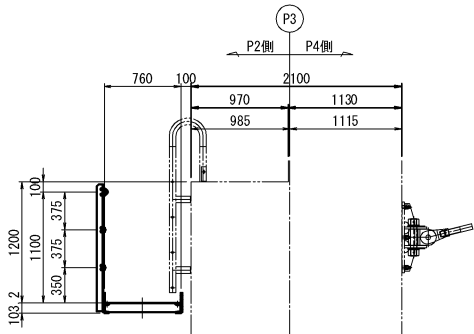
下部工検査路(2)



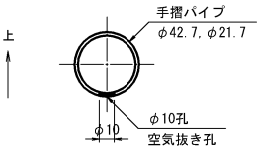
D - D



E - E

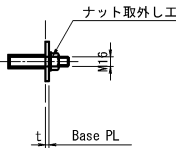


手摺空気抜き孔断面詳細 S=1:5

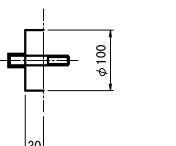


コンクリートアンカー撤去工

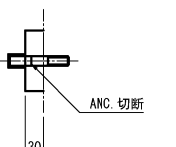
1) ナットを取外し、受け台などを撤去。



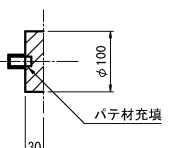
2) φ100 x 30程度削孔。



3) アンカーを切断。



4) 削孔部をパテ材にて埋戻し。



撤去本数

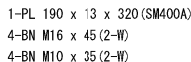
	基数	ANC. 本数	計
受け台	4	6	24
計			24

注 記

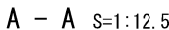
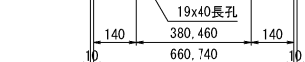
- 施工に当たっては、現地調査を行い再確認すること。
特に鋼板の製作は、再計測後実施すること。
- 特記なき材質は、全てSS400とする。
- Uボルト付き(C形)以外のナットは、全て弛み止めナットを使用すること。
- 部材は、全て溶融亜鉛めっきとする。
亜鉛の付着量は、JIS H8641 HDZ777とする。
但し、ボルト・ナット及び厚さ3.2mm以下の部材は、HDZ749とする。
- ボルト孔は、めっき付着量を考慮し、ボルト径+3mmを標準とする。
- 床材に編鋼板を使用する場合は、直径10mmの排水孔を間隔1m(0.7m)程度に1箇所程度設けること。
- ☆印箇所の手摺は、抜け落ち防止加工を施す。

常磐自動車道 久慈川橋耐震補強工事			
図面の種類	茂宮川高架橋 P3(A-ライン) 検査路 新設工(その2)		
縮 尺	図示	図面番号	88 / 208
設計会社名	株式会社 長大		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

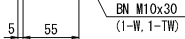
CH-100x50x5x7.5



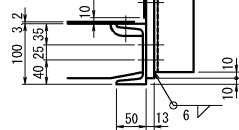
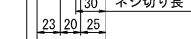
かけ違い部



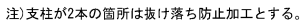
S=1:7.5



S=1:12.5

 $S=1:7.5$ 

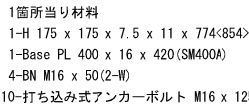
S=1:12.5



受台詳細図



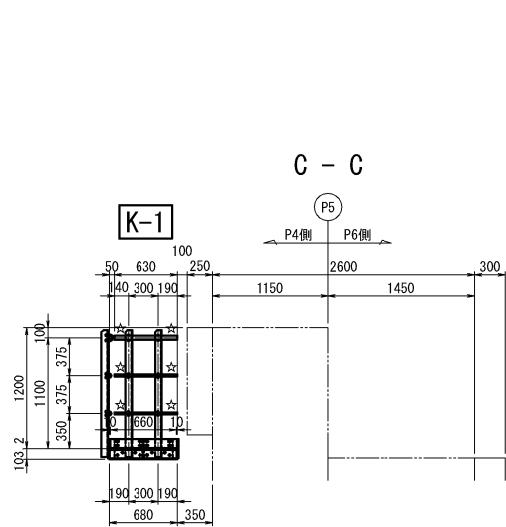
製作数：各1



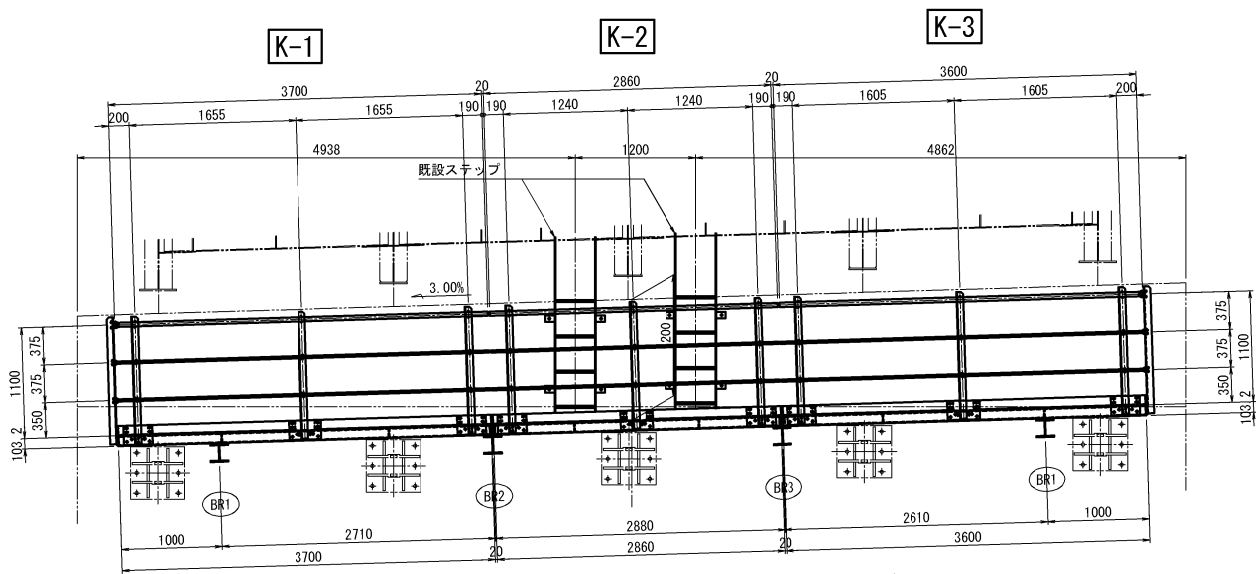
1. 施工に当たっては、現地調査を行い再確認すること。
特に鋼板の製作は、再計測後実施すること。
2. 特記なき材質は、全てSS400とする。
3. Uボルト付き（C形）以外のナットは、全て弛み止めナットを使用すること。
4. 部材は、全て溶融亜鉛めっきとする。
亜鉛の付着量は、JIS H8641・HDZ77とする。
但し、ボルト・ナット及び厚さ3.2mm以下の部材は、HDZ49とする。
5. ボルト孔は、めっき付着量を考慮し、
ボルト径+3mmを標準とする。

常路自動車道 久慈川橋耐震補強工事			
図面の種類	茂吉川高架橋 P3(A-ラナン) 検査路 新設工(その3)		
縮 尺	図示	図面番号	89/208
設計会社名	株式会社 長 大		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

下部工検査路
A - A



K-1材料
1-Pipe φ42.7 x 2.3 x 630 (STK400)
1-Pipe φ21.7 x 1.9 x 630 (STK400)
2-L 65 x 65 x 6 x 1258
1-PL 90 x 3.2 x 660
2-PL 190 x 13 x 285 (SM400A)
8-BN M16 x 45 (2-W)
8-BN M10 x 35 (2-W)
2-U Bolt 呼び 32C
4-U Bolt 呼び 15C

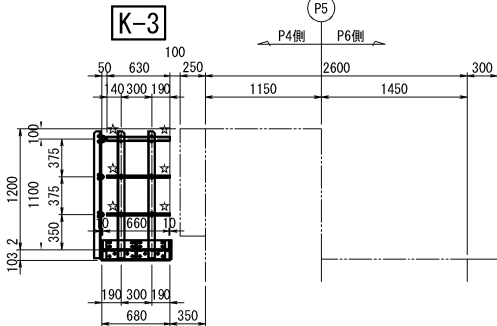


K-1材料
1-Pipe φ42.7 x 2.3 x 3700 (STK400)
2-Pipe φ21.7 x 1.9 x 3700 (STK400)
3-L 65 x 65 x 6 x 1258
2-PL 90 x 3.2 x 1755
2-PL 90 x 3.2 x 1745
4-PL 190 x 13 x 285 (SM400A)
2-PL 190 x 13 x 320 (SM400A)
24-BN M16 x 45 (2-W)
24-BN M10 x 35 (2-W)
3-U Bolt 呼び 32C
6-U Bolt 呼び 15C

K-2材料
1-Pipe φ42.7 x 2.3 x 2860 (STK400)
2-Pipe φ21.7 x 1.9 x 2860 (STK400)
3-L 65 x 65 x 6 x 1258
4-PL 90 x 3.2 x 1330
4-PL 190 x 13 x 285 (SM400A)
2-PL 190 x 13 x 320 (SM400A)
24-BN M16 x 45 (2-W)
24-BN M10 x 35 (2-W)
3-U Bolt 呼び 32C
6-U Bolt 呼び 15C

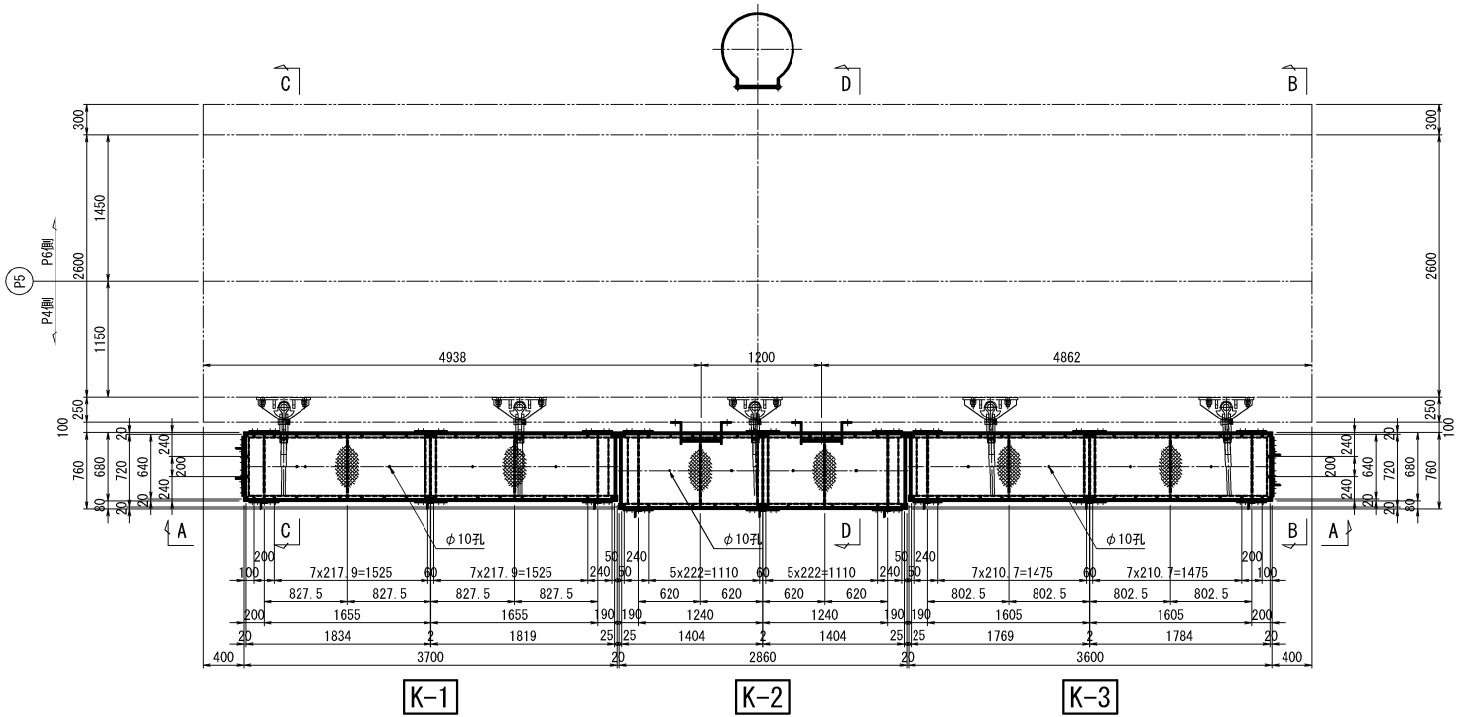
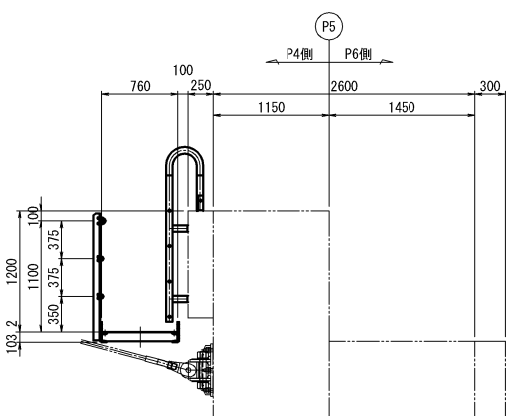
K-3材料
1-Pipe φ42.7 x 2.3 x 3600 (STK400)
2-Pipe φ21.7 x 1.9 x 3600 (STK400)
3-L 65 x 65 x 6 x 1258
2-PL 90 x 3.2 x 1695
2-PL 90 x 3.2 x 1705
4-PL 190 x 13 x 285 (SM400A)
2-PL 190 x 13 x 320 (SM400A)
24-BN M16 x 45 (2-W)
24-BN M10 x 35 (2-W)
3-U Bolt 呼び 32C
6-U Bolt 呼び 15C

B - B



K-3材料
1-Pipe φ42.7 x 2.3 x 630 (STK400)
1-Pipe φ21.7 x 1.9 x 630 (STK400)
2-L 65 x 65 x 6 x 1258
1-PL 90 x 3.2 x 660
2-PL 190 x 13 x 285 (SM400A)
8-BN M16 x 45 (2-W)
8-BN M10 x 35 (2-W)
2-U Bolt 呼び 32C
4-U Bolt 呼び 15C

D - D



K-1材料
1-Ch. PL 640 x 3.2 x B34 (SS400相当品)
1-Ch. PL 640 x 3.2 x B19 (SS400相当品)
2-Ch 100 x 50 x 5 x 7.5 x 3700
1-Ch 100 x 50 x 5 x 7.5 x 680
1-L 75 x 75 x 6 x 670
2-L 50 x 50 x 6 x 670
4-FB 90 x 9 x 670
38-BN M10 x 30 (1-W, 1-TW)
1-PL 160 x 9 x 660 (SM400A)
1-PL 60 x 9 x 660 (SM400A)

K-2材料
2-Ch. PL 720 x 3.2 x 1404 (SS400相当品)
2-Ch 100 x 50 x 5 x 7.5 x 2860
2-L 75 x 75 x 6 x 750
2-L 50 x 50 x 6 x 750
4-FB 90 x 9 x 750
28-BN M10 x 30 (1-W, 1-TW)
2-PL 60 x 9 x 740 (SM400A)

K-3材料
1-Ch. PL 540 x 3.2 x 1769 (SS400相当品)
1-Ch. PL 540 x 3.2 x 1784 (SS400相当品)
2-Ch 100 x 50 x 5 x 7.5 x 3600
1-Ch 100 x 50 x 5 x 7.5 x 680
1-L 75 x 75 x 6 x 670
2-L 50 x 50 x 6 x 670
4-FB 90 x 9 x 670
38-BN M10 x 30 (1-W, 1-TW)
1-PL 60 x 9 x 660 (SM400A)
1-PL 160 x 9 x 660 (SM400A)

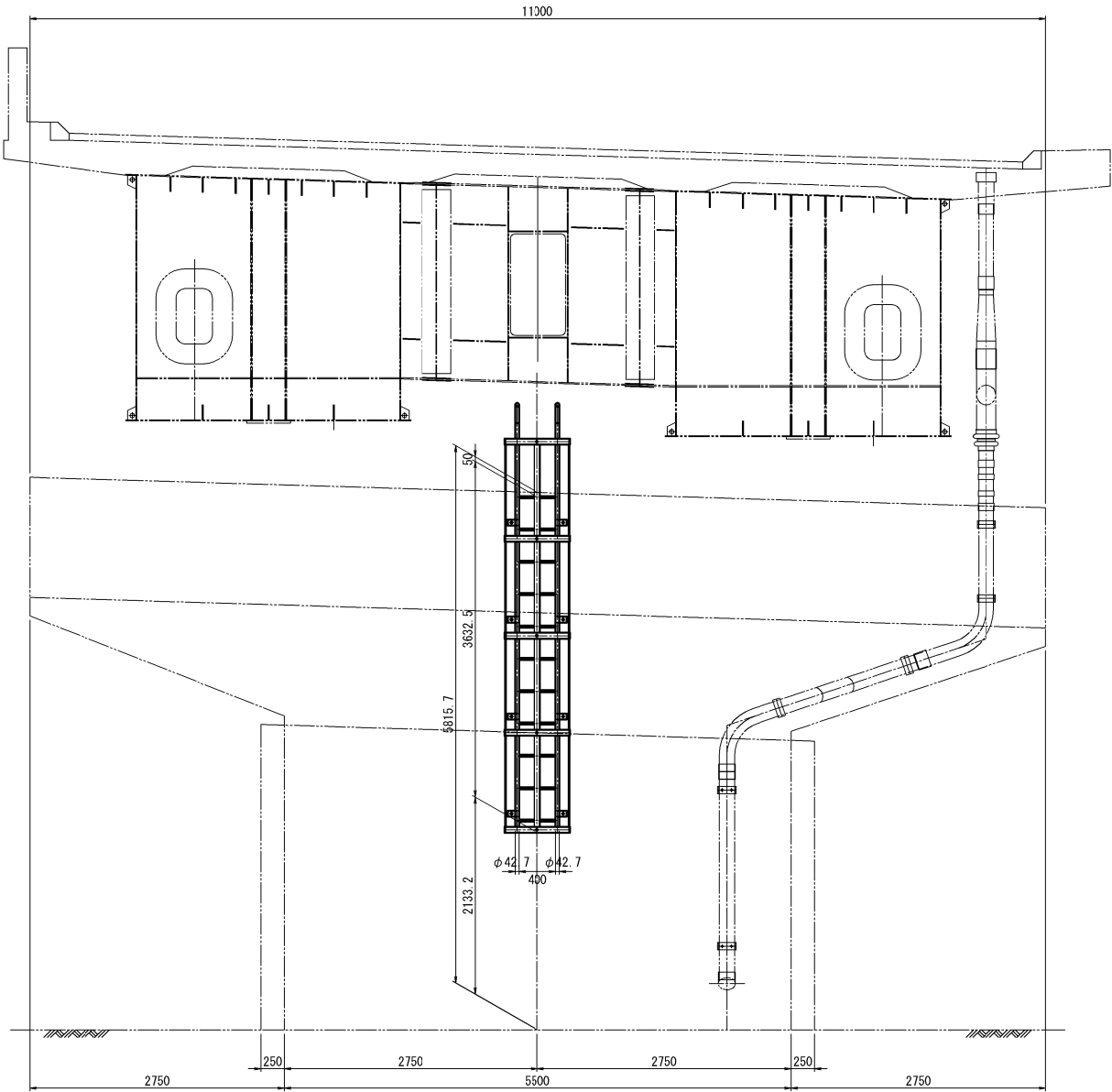
注 記

1. 施工に当たっては、現地調査を行い再確認すること。
特に鋼板の製作は、再計測後実施すること。
2. 特記なき材質は、全てSS400とする。
3. Uボルト付き(C形)以外のナットは、全て弛み止めナットを使用すること。
4. 部材は、全て溶融亜鉛めっきとする。
亜鉛の付着量は、JIS H8641 H02T77とする。
但し、ボルト・ナット及び厚さ3.2mm以下の部材は、HDZT49とする。
5. ボルト孔は、めっき付着量を考慮し、ボルト径+3mmを標準とする。
6. 床材に編鋼板を使用する場合は、直径10mmの排水孔を間隔1m(0.7m)程度に1箇所程度設けること。
7. ☆印箇所の手摺は、抜け落ち防止加工を施す。

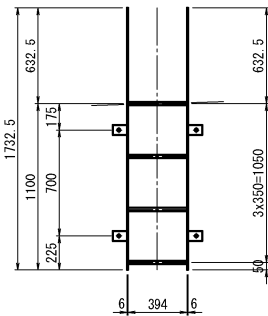
常磐自動車道 久慈川橋耐震補強工事			
図面の種類	茂宮川高架橋 P5(A-ライン) 検査路 新設工(その1)		
縮 尺	図示	図面番号	90 / 208
設計会社名	株式会社 長 大		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

昇降梯子詳細

終点側正面図



ステップ詳細



撤去・設置工(2組)

- 2-PL 65 x 6 x 1450
- 2-PL 65 x 6 x 671
- 2-PL 65 x 6 x 350
- 4-PL 65 x 6 x 250
- 2-FB 50 x 6 x 250
- 4-RB φ22 x 394
- 2-BN M16 x 40

新設工(2組)

- 6-打ち込み式アンカーボルト M16 x 125

撤去・設置工(1組)

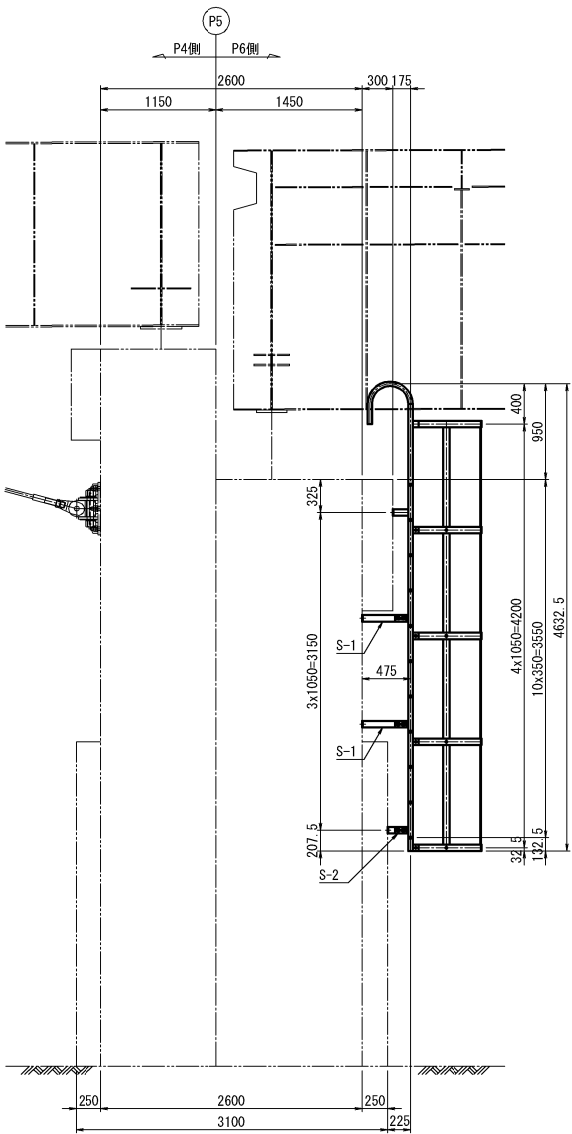
- 2-Pipe 32A x 4433 (SGP)
- 2-Pipe 32A x 828 (SGP)
- 5-PL 65 x 6 x 1797
- 3-PL 65 x 6 x 4265
- 6-PL 65 x 6 x 130・・・切断、孔あけ加工
- 2-PL 65 x 6 x 248
- 10-PL 65 x 6 x 60
- 25-BN M15 x 40

新設工

- 2-打ち込み式アンカーボルト M16 x 125

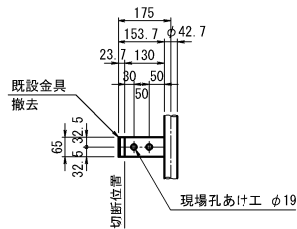
撤去工(1組)

- 6-PL 65 x 6 x 118
- 8-打ち込み式アンカーボルト M16 x 100

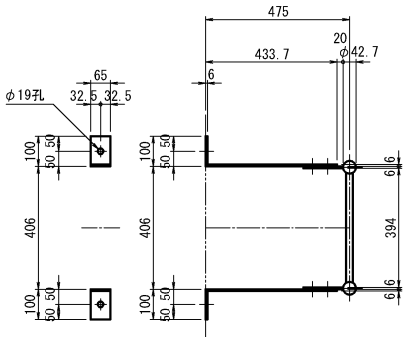
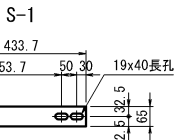


金具新設部詳細図 S=1:25

- 1) 既設金具を切断、孔あけ(S-1,S-2共通)



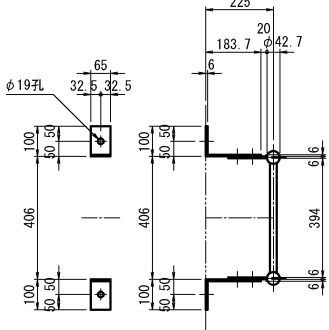
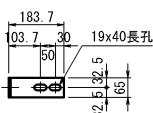
- 2) 新規金具設置



1箇所当り部材(設置数:2箇所)

- 2-FB 65 x 6 x 534
- 4-BN M16 x 40(2-付)
- 2-打ち込み式アンカーボルト M16 x 125

S-2

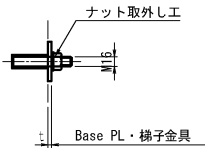


1箇所当り部材(設置数:1箇所)

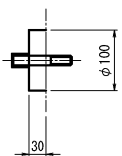
- 2-FB 65 x 6 x 284
- 4-BN M16 x 40(2-付)
- 2-打ち込み式アンカーボルト M16 x 125

コンクリートアンカー撤去工

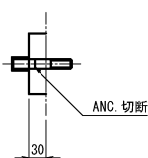
- 1) ナットを取外し、受け台などを撤去。



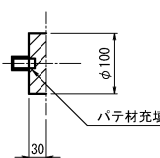
- 2) φ100 x 30程度削孔。



- 3) アンカーを切断。



- 4) 削孔部をバテ材にて埋戻し。



撤去本数

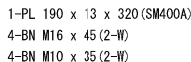
	基数	ANC. 本数	計
受け台	6	6	36
梯子	8	1	8
ステップ	12	1	12
計			56

注 記

- 1. 施工に当たっては、現地調査を行い再確認すること。
特に鋼板の製作は、再計測後実施すること。
- 2. 特記なき材質は、全てSS400とする。
- 3. Uボルト付き(G形)以外のナットは、全て弛み止めナットを使用すること。
- 4. 部材は、全て溶融亜鉛めっきとする。
亜鉛の付着量は、JIS H8641 HDZ777とする。
但し、ボルト・ナット及び厚さ3.2mm以下の部材は、HDZ749とする。
- 5. ボルト孔は、めっき付着量を考慮し、ボルト径+3mmを標準とする。

常磐自動車道 久慈川橋耐震補強工事			
図面の種類	茂宮川高架橋 P5(A-ライン) 検査路 新設工(その2)		
縮 尺	図示	図面番号	91 / 208
設計会社名	株式会社 長大		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

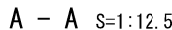
CH-100x50x5x7.5



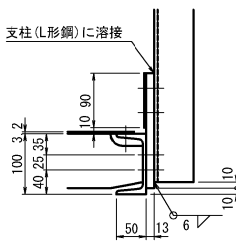
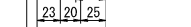
歩廊端部詳細図



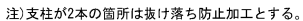
歩廊分割部詳細図

 $S=1:7.5$ 

S=1:12.5

 $S=1:7.5$ 

手摺抜け落ち防止加工 S=1:12.5



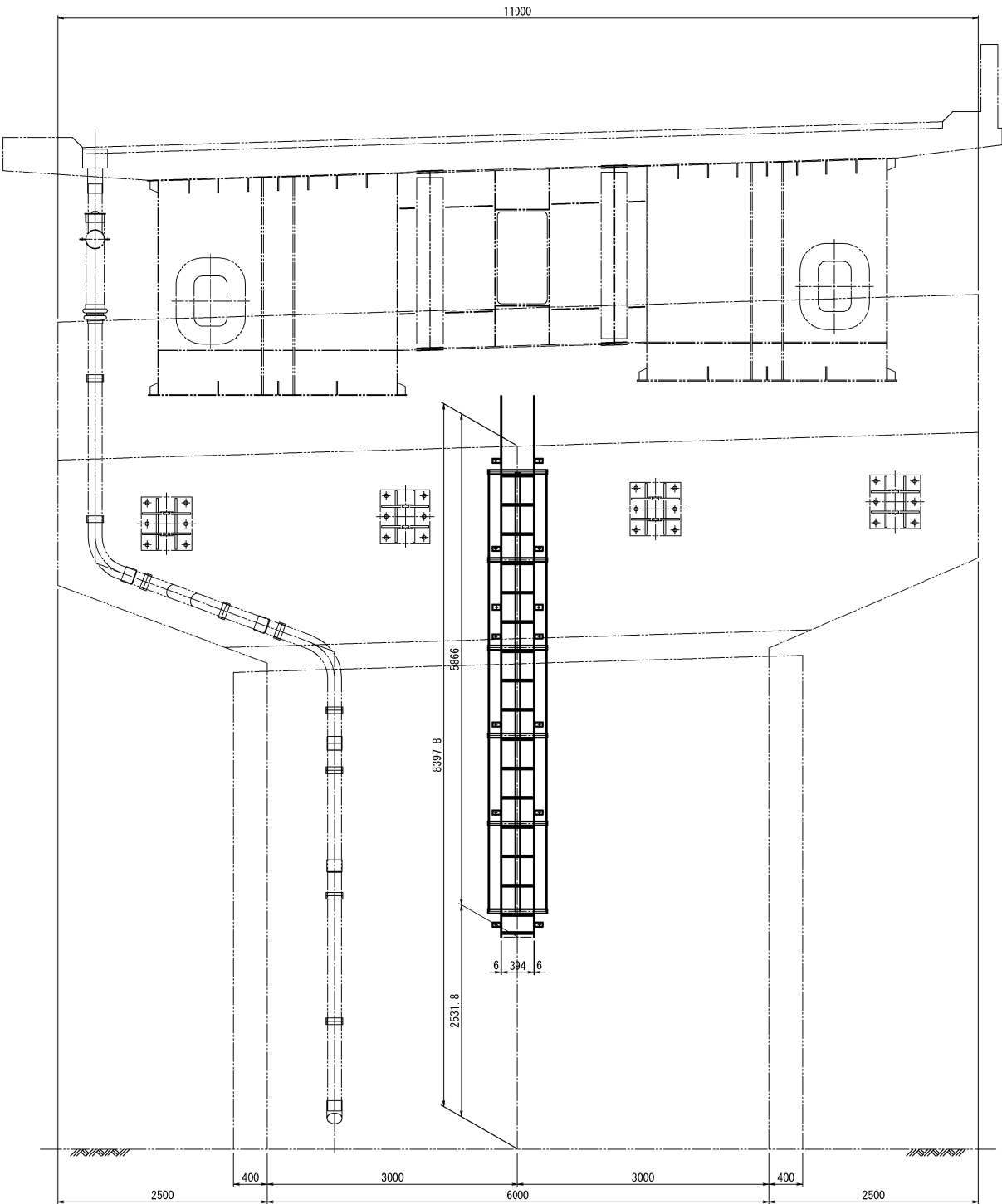
受台詳細図



1. 施工に当たっては、現地調査を行い再確認すること。
特に鋼板の製作は、再計測後実施すること。
2. 特記なき材形は、全てSS400とする。
3. Uボルト付き（G形）以外のナットは、全て弛み止めナットを使用すること。
部材は、全て溶融亜鉛めっきとする。
重鉛の付着量は、JIS H8641、HDZ77とする。
但し、ボルト・ナット及び厚さ3.2mm以下の部材は、HDZ49とする。
5. ボルト孔は、めっき付き着量を考慮し、
ボルト径+3mmを標準とする。

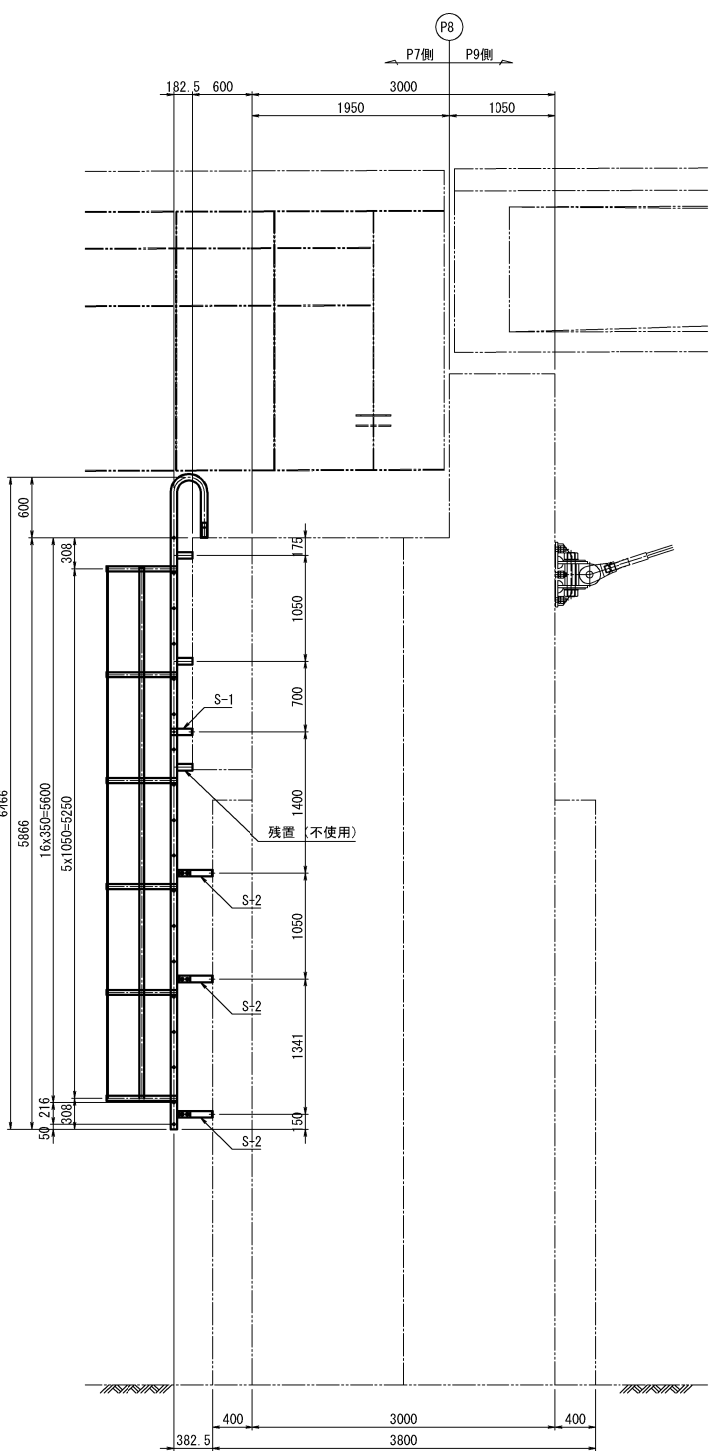
常盤自動車道 久慈川橋耐震補強工事			
図面の種類	茂吉川高架橋 P5 (A-ラ-ン) 橋桁道 新設工(その3)		
縮 尺	図示	図面番号	92/208
設計会社名	株式会社 長 大		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

起点側正面図



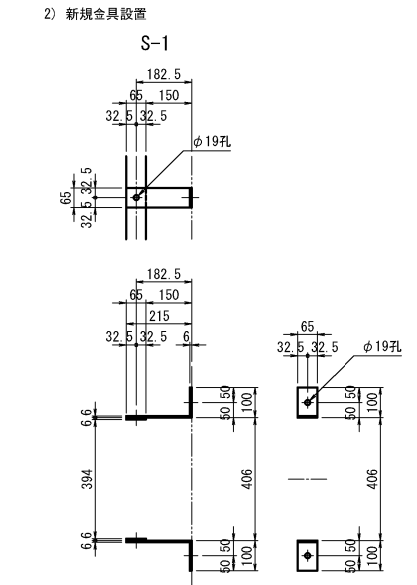
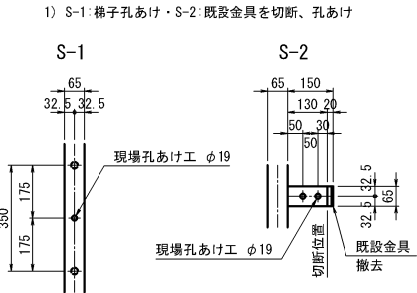
- 撤去・設置工(1組)
- 2-PL 55 x 6 x 7237
 - 6-PL 55 x 6 x 1840
 - 3-PL 55 x 6 x 5315
 - 12-PL 65 x 6 x 60
 - 4-PL 55 x 6 x 250
 - 2-PL 55 x 6 x 250・・・不使用
 - 6-PL 35 x 6 x 130・・・切断、孔あけ加工
 - 2-FB 50 x 6 x 250
 - 18-RB φ22 x 394(SR24)
 - 35-BN M16 x 40

- 新設工
- 6-打ち込み式アンカーボルト M16 x 125

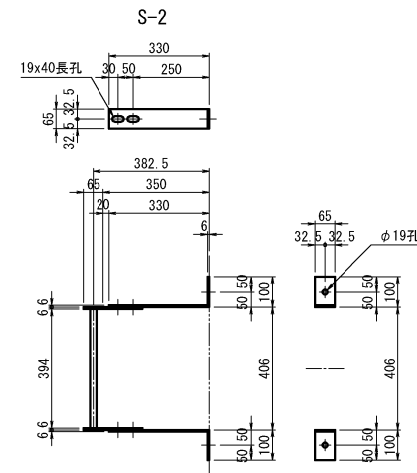


- 撤去工(1組)
- 6-PL 65 x 6 x 120
 - 14-打ち込み式アンカーボルト M16 x 100

金具新設部詳細図 S=1:25

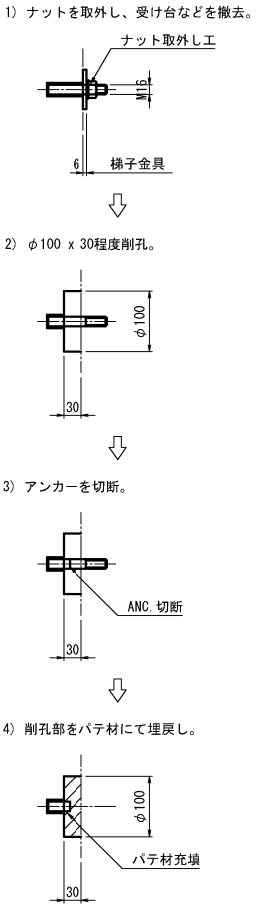


- 1箇所当り部材(設置数:1箇所)
- 2-FB 65 x 6 x 315
 - 2-BN M16 x 40(2-W付)
 - 2-打ち込み式アンカーボルト M16 x 125



- 1箇所当り部材(設置数:3箇所)
- 2-FE 65 x 6 x 430
 - 4-BN M16 x 40(2-W付)
 - 2-打ち込み式アンカーボルト M16 x 125

コンクリートアンカー撤去工



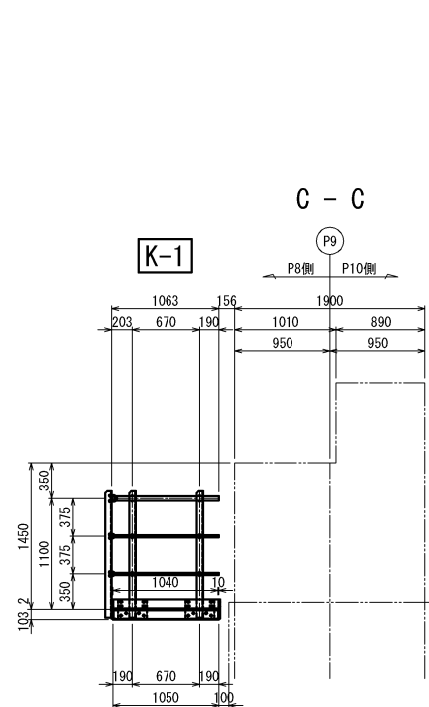
撤去本数

	基数	ANC. 本数	計
受け台	0	0	0
梯子	14	1	14
計			14

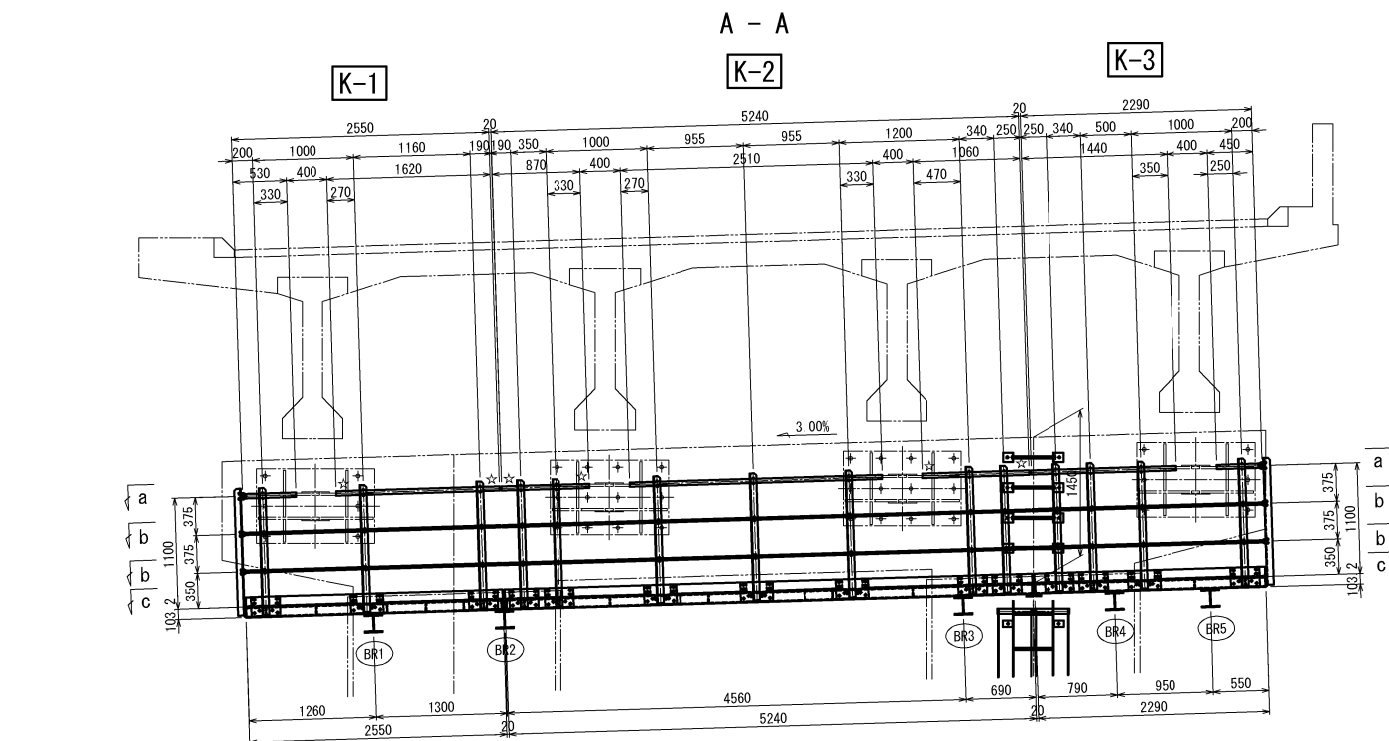
- 注 記
- 施工に当たっては、現地調査を行い再確認すること。
特に鋼板の製作は、再計測後実施すること。
 - 特記なき材質は、全てSS400とする。
 - Uボルト付き(G形)以外のナットは、全て弛み止めナットを使用すること。
 - 部材は、全て溶融垂鉛めっきとする。
垂鉛の付着量は、JIS H8641 HDZ777とする。
但し、ボルト・ナット及び厚さ3.2mm以下の部材は、HDZ749とする。
 - ボルト孔は、めっき付着量を考慮し、ボルト径+3mmを標準とする。

常磐自動車道 久慈川橋耐震補強工事			
図面の種類	茂宮川高架橋 P8(A-ライン) 検査路 撤去・設置工、新設工		
縮 尺	図示	図面番号	93 / 208
設計会社名	株式会社 長 大		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

下部工検査路(1)



- K-1材料
- 1-Pipe φ42.7 x 2.3 x 1063(STK400)
 - 2-Pipe φ21.7 x 1.9 x 1063(STK400)
 - 2-L 65 x 65 x 6 x 1258
 - 1-PL 90 x 3.2 x 1040
 - 2-PL 190 x 13 x 285(SM400A)
 - 8-BN M16 x 45(2-W)
 - 8-BN M10 x 35(2-W)
 - 2-U Bolt 呼び 32C
 - 4-U Bolt 呼び 15C



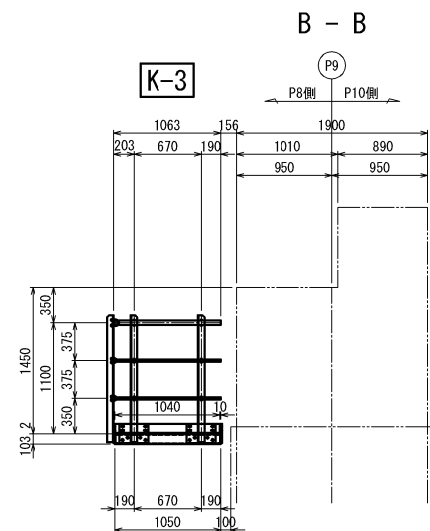
- K-1材料
- 1-Pipe φ42.7 x 2.3 x 543(STK400)
 - 1-Pipe φ42.7 x 2.3 x 483(STK400)
 - 2-Pipe φ42.7 x 2.3 x 413(STK400)
 - 1-Pipe φ42.7 x 2.3 x 819(STK400)
 - 1-Pipe φ42.7 x 2.3 x 403(STK400)
 - 2-Pipe φ21.7 x 1.9 x 1426(STK400)
 - 4-Pipe φ21.7 x 1.9 x 392(STK400)
 - 2-Pipe φ21.7 x 1.9 x 777(STK400)
 - 2-Pipe φ21.7 x 1.9 x 403(STK400)
 - 3-L 65 x 65 x 6 x 1258

- 2-PL 90 x 3.2 x 1100
- 1-PL 90 x 3.2 x 100
- 2-PL 90 x 3.2 x 373
- 1-PL 90 x 3.2 x 766
- 1-PL 90 x 3.2 x 390
- 1-PL 90 x 3.2 x 1250
- 4-PL 190 x 13 x 285(SM400A)
- 2-PL 190 x 13 x 320(SM400A)
- 24-BN M16 x 45(2-W)
- 24-BN M10 x 35(2-W)
- 3-U Bolt 呼び 32C
- 6-U Bolt 呼び 15C

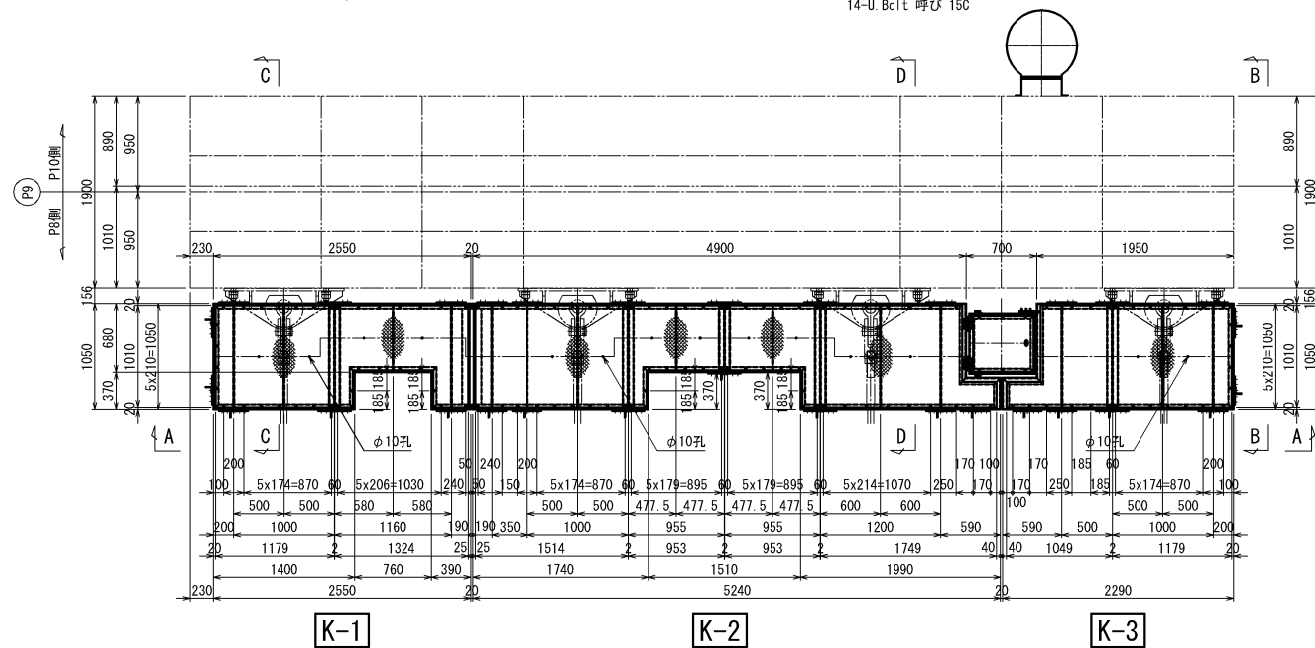
- K-2材料
- 1-Pipe φ42.7 x 2.3 x 870(STK400)
 - 2-Pipe φ42.7 x 2.3 x 413(STK400)
 - 1-Pipe φ42.7 x 2.3 x 1569(STK400)
 - 1-Pipe φ42.7 x 2.3 x 543(STK400)
 - 1-Pipe φ42.7 x 2.3 x 1060(STK400)
 - 2-Pipe φ21.7 x 1.9 x 1753(STK400)
 - 4-Pipe φ21.7 x 1.9 x 392(STK400)
 - 2-Pipe φ21.7 x 1.9 x 1527(STK400)
 - 2-Pipe φ21.7 x 1.9 x 2003(STK400)
 - 7-L 65 x 65 x 6 x 1258

- 2-PL 90 x 3.2 x 1440
- 2-PL 90 x 3.2 x 100
- 2-PL 90 x 3.2 x 373
- 2-PL 90 x 3.2 x 658
- 1-PL 90 x 3.2 x 1690
- 2-PL 90 x 3.2 x 755
- 1-PL 90 x 3.2 x 1350
- 7-PL 190 x 13 x 285(SM400A)
- 6-PL 190 x 13 x 320(SM400A)
- 52-BN M16 x 45(2-W)
- 52-BN M10 x 35(2-W)
- 7-U Bolt 呼び 32C
- 14-U Bolt 呼び 15C

- K-3材料
- 1-Pipe φ42.7 x 2.3 x 1440(STK400)
 - 1-Pipe φ42.7 x 2.3 x 463(STK400)
 - 2-Pipe φ21.7 x 1.9 x 2303(STK400)
 - 4-L 65 x 65 x 6 x 1258
 - 1-PL 90 x 3.2 x 990
 - 2-PL 90 x 3.2 x 1100
 - 1-PL 90 x 3.2 x 650
 - 4-PL 190 x 13 x 285(SM400A)
 - 2-PL 190 x 13 x 320(SM400A)
 - 24-BN M16 x 45(2-W)
 - 24-BN M10 x 35(2-W)
 - 4-U Bolt 呼び 32C
 - 8-U Bolt 呼び 15C



- K-3材料
- 1-Pipe φ42.7 x 2.3 x 1063(STK400)
 - 2-Pipe φ21.7 x 1.9 x 1063(STK400)
 - 2-L 65 x 65 x 6 x 1258
 - 1-PL 90 x 3.2 x 1040
 - 2-PL 190 x 13 x 285(SM400A)
 - 8-BN M16 x 45(2-W)
 - 8-BN M10 x 35(2-W)
 - 2-U Bolt 呼び 32C
 - 4-U Bolt 呼び 15C



- K-1材料
- 1-Ch. PL 1010 x 3.2 x 1179(SS400相当品)
 - 1-Ch. PL 1010 x 3.2 x 1324(SS400相当品)
 - 1-CH 100 x 50 x 5 x 7.5 x 2550
 - 1-CH 100 x 50 x 5 x 7.5 x 1050
 - 1-CH 100 x 50 x 5 x 7.5 x 1400
 - 2-CH 100 x 50 x 5 x 7.5 x 420
 - 1-CH 100 x 50 x 5 x 7.5 x 860
 - 1-CH 100 x 50 x 5 x 7.5 x 390

- 1-L 75 x 75 x 6 x 1040
- 2-L 50 x 50 x 6 x 1040
- 3-FB 90 x 9 x 1040
- 1-FB 90 x 9 x 670
- 34-BN M10 x 30(1-W, 1-TW)
- 1-PL 160 x 9 x 1030(SM400A)
- 1-PL 60 x 9 x 1030(SM400A)

- K-2材料
- 1-Ch. PL 1010 x 3.2 x 1514(SS400相当品)
 - 2-Ch. PL 1010 x 3.2 x 953(SS400相当品)
 - 1-Ch. PL 1010 x 3.2 x 1749(SS400相当品)
 - 1-CH 100 x 50 x 5 x 7.5 x 4894
 - 1-CH 100 x 50 x 5 x 7.5 x 1740
 - 2-CH 100 x 50 x 5 x 7.5 x 420
 - 1-CH 100 x 50 x 5 x 7.5 x 1610
 - 1-CH 100 x 50 x 5 x 7.5 x 1984
 - 1-CH 125 x 65 x 6 x 8 x 800
 - 1-CH 125 x 65 x 6 x 8 x 405
 - 1-CH 125 x 65 x 6 x 8 x 315

- 1-L 75 x 75 x 6 x 1040
- 4-L 50 x 50 x 6 x 1040
- 2-L 50 x 50 x 6 x 670
- 5-FB 90 x 9 x 1040
- 2-FB 90 x 9 x 670
- 60-BN M10 x 30(1-W, 1-TW)
- 1-PL 60 x 9 x 1030(SM400A)
- 1-PL 160 x 9 x 1030(SM400A)

- K-3材料
- 1-Ch. PL 1010 x 3.2 x 1049(SS400相当品)
 - 1-Ch. PL 1010 x 3.2 x 1179(SS400相当品)
 - 1-CH 100 x 50 x 5 x 7.5 x 1944
 - 1-CH 100 x 50 x 5 x 7.5 x 2284
 - 1-CH 100 x 50 x 5 x 7.5 x 1050
 - 1-CH 125 x 65 x 6 x 8 x 800
 - 1-CH 125 x 65 x 6 x 8 x 405
 - 1-CH 125 x 65 x 6 x 8 x 315

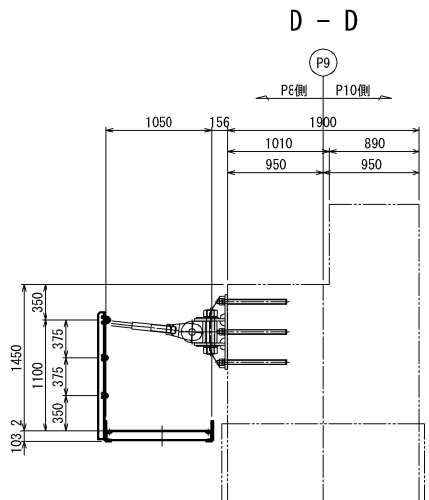
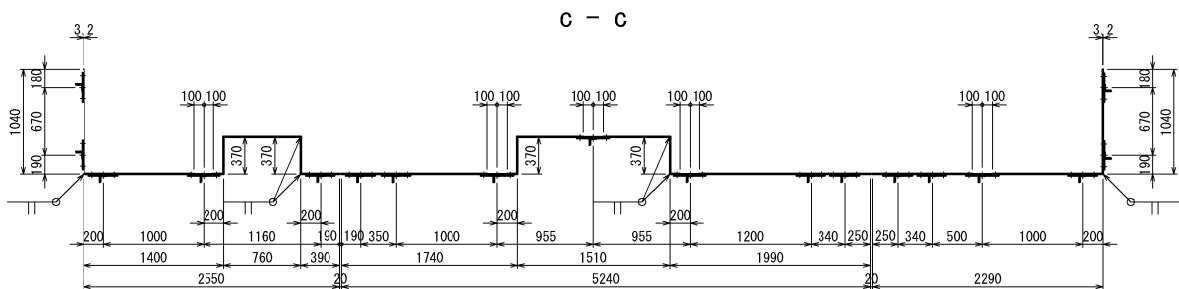
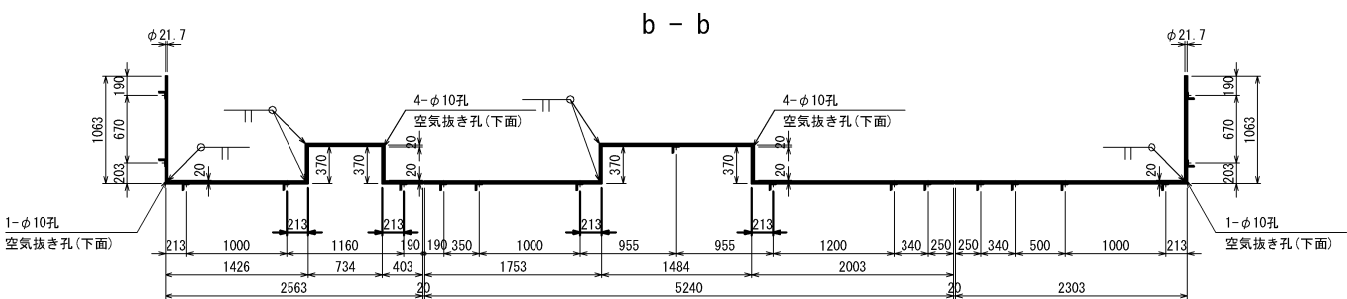
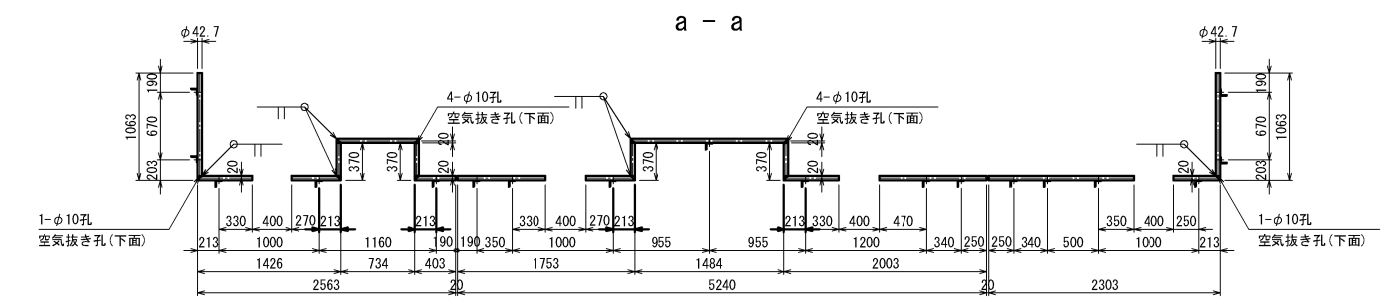
- 2-L 50 x 50 x 6 x 1040
- 3-FB 90 x 9 x 1040
- 28-BN M10 x 30(1-W, 1-TW)
- 2-PL 160 x 9 x 1030(SM400A)

注 記

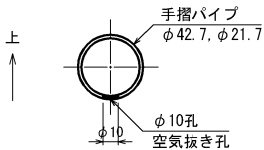
- 施工に当っては、現地調査を行い再確認すること。
特に鋼板の製作は、再計測後実施すること。
- 特記なき材質は、全てSS400とする。
- Uボルト付き(C形)以外のナットは、全て締め止めナットを使用すること。
- 部材は、全て溶融亜鉛めっきとする。
亜鉛の付着量は、JIS H8641 H0ZT77とする。
但し、ボルト・ナット及び厚さ3.2mm以下の部材は、HDZT49とする。
- ボルト孔は、めっき付着量を考慮し、ボルト径+3mmを標準とする。
- 床材に編鋼板を使用する場合は、直径10mmの排水孔を間隔1m(0.7m²)程度に1箇所程度設けること。
- ☆印箇所の手摺は、抜け落ち防止加工を施す。

常磐自動車道 久慈川橋耐震補強工事			
図面の種類	茂宮川高架橋 P9 (A-ライン) 検査路 新設工(その1)		
縮 尺	図示	図面番号	94/208
設計会社名	株式会社 長 大		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

下部工検査路(2)



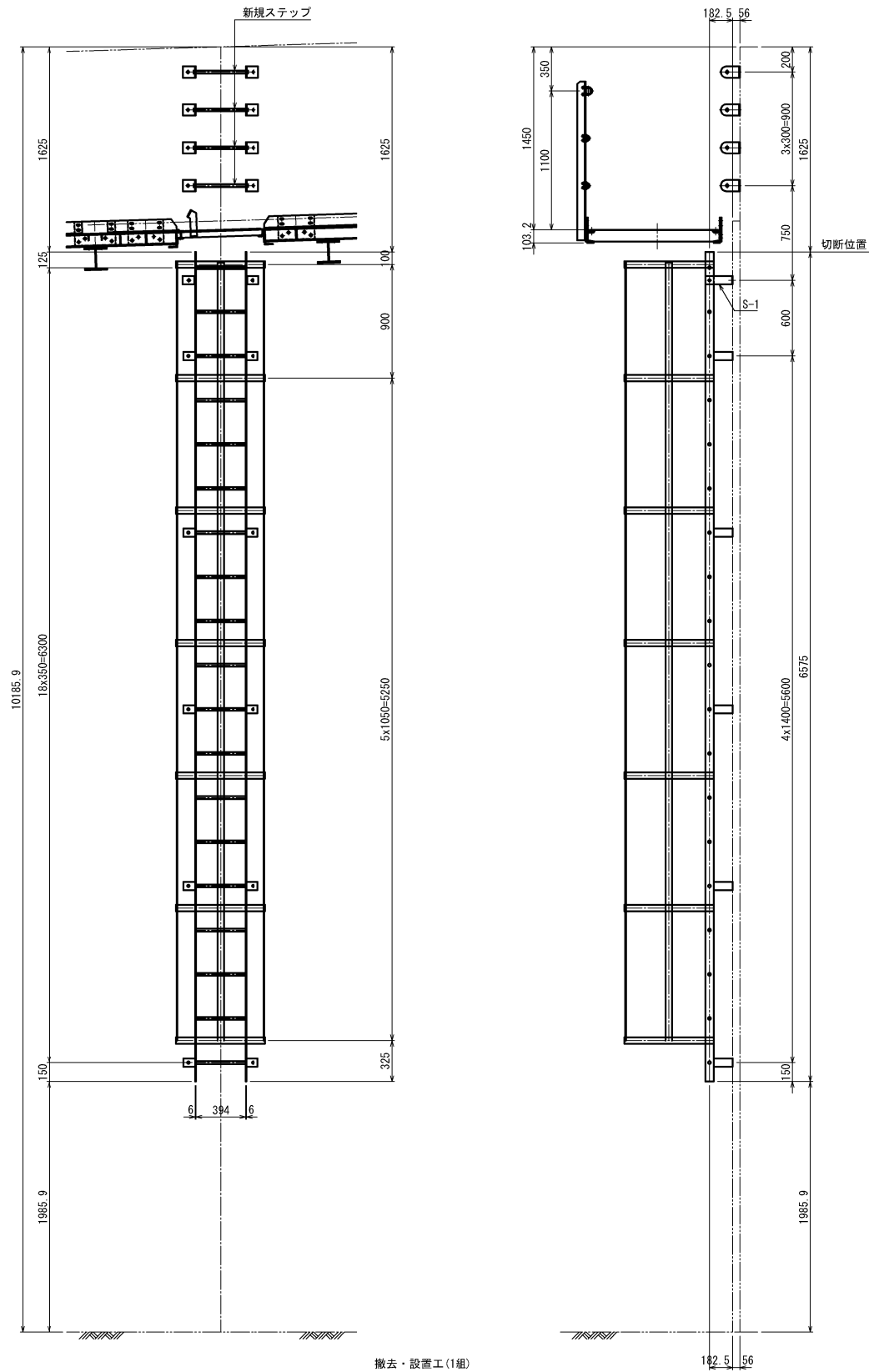
手摺空気抜き孔断面詳細 S=1:5



- 注 記
1. 施工に当っては、現地調査を行い再確認すること。
特に鋼板の製作は、再計測後実施すること。
 2. 特記なき材質は、全てSS400とする。
 3. Uボルト付き(C形)以外のナットは、全て弛み止めナットを使用すること。
 4. 部材は、全て溶融亜鉛めっきとする。
亜鉛の付着量は、JIS H8641 H0ZT77とする。
但し、ボルト・ナット及び厚さ3.2mm以下の部材は、HDZT49とする。
 5. ボルト孔は、めっき付着量を考慮し、ボルト径+3mmを標準とする。
 6. 床材に鋼鋼板を使用する場合は、直径10mmの排水孔を間隔1m(0.7m²)程度に1箇所程度設けること。
 7. ☆印箇所の手摺は、抜け落ち防止加工を施す。

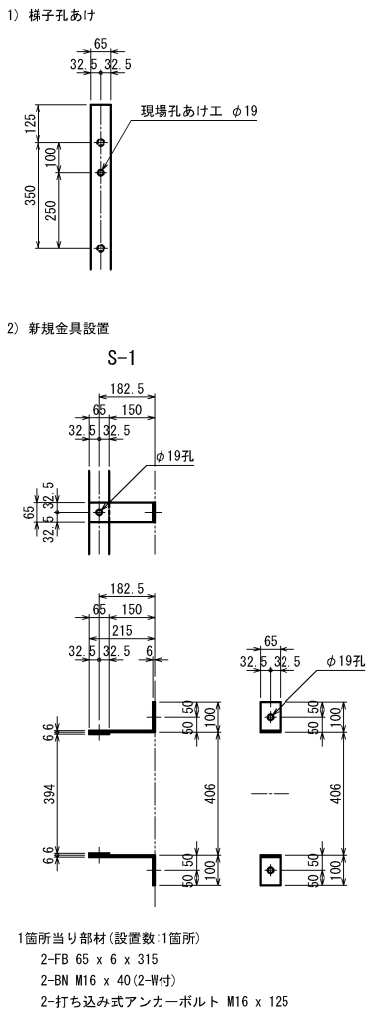
常磐自動車道 久慈川橋耐震補強工事			
図面の種類	茂宮川高架橋 P9 (A-ライン) 検査路 新設工(その2)		
縮 尺	図示	図面番号	95 / 208
設計会社名	株式会社 長 大		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

昇降梯子詳細(1)

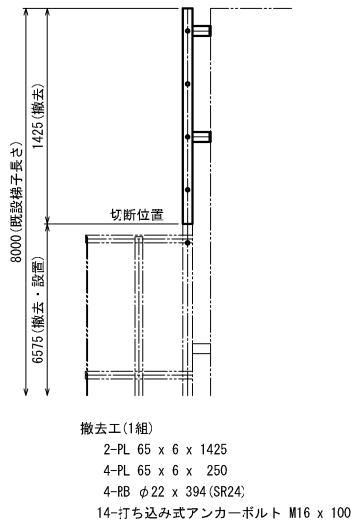


- 撤去・設置工(1組)
- 2-PL 65 x 6 x 6575
 - 7-PL 65 x 6 x 1840
 - 3-PL 65 x 6 x 6215
 - 14-PL 65 x 6 x 60
 - 10-PL 65 x 6 x 250
 - 19-RB φ22 x 394 (SR24)
 - 35-BN M16 x 40
- 新設工
- 10-打ち込み式アンカーボルト M13 x 125

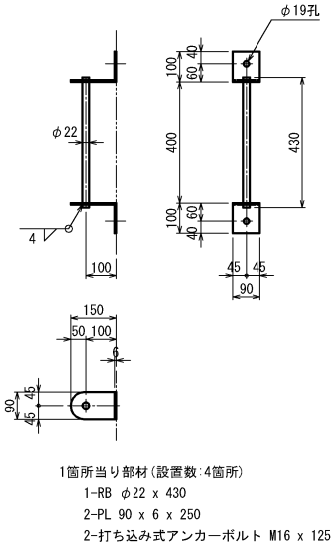
金具新設部詳細図 S=1:25



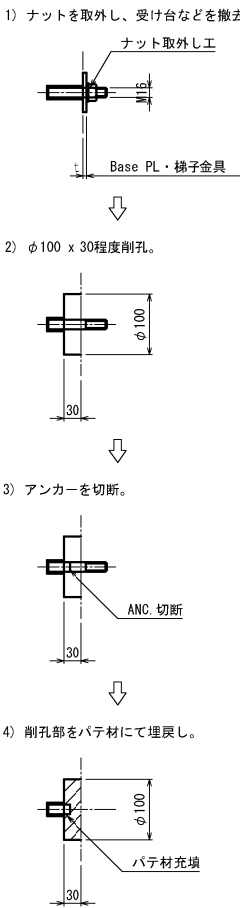
昇降梯子撤去範囲



新規ステップ詳細図 S=1:25



コンクリートアンカー撤去工



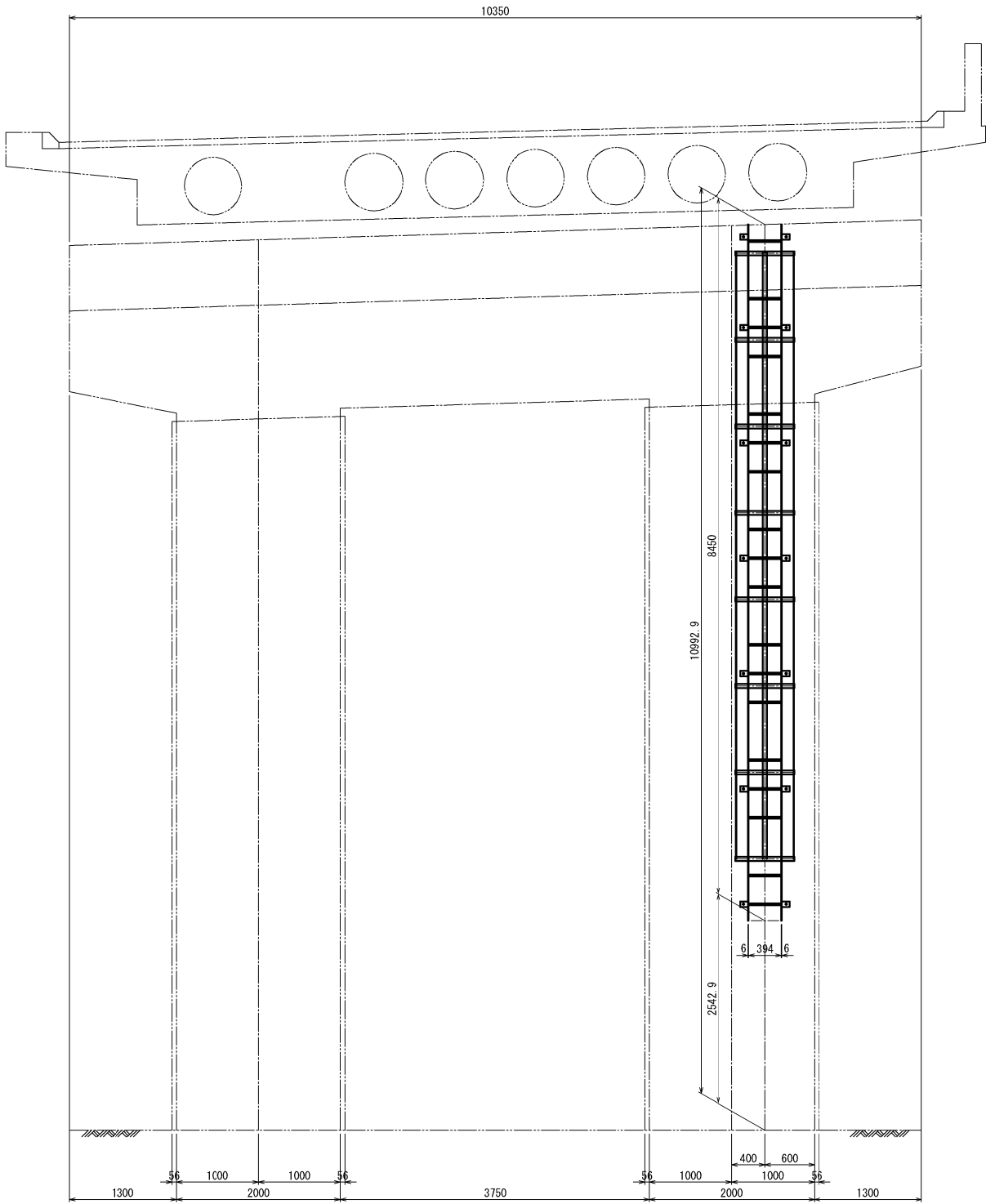
撤去本数			
	基数	ANC. 本数	計
受け台	5	6	30
梯子	28	1	28
計			58

- 注 記
- 施工に当っては、現地調査を行い再確認すること。
特に鋼板の製作は、再計測後実施すること。
 - 特記なき材質は、全てSS400とする。
 - Uボルト付き(G形)以外のナットは、全て弛み止めナットを使用すること。
 - 部材は、全て溶融垂鉛めっきとする。
垂鉛の付着量は、JIS H8641 HDZ777とする。
但し、ボルト・ナット及び厚さ3.2mm以下の部材は、HDZ749とする。
 - ボルト孔は、めっき付着量を考慮し、ボルト径+3mmを標準とする。

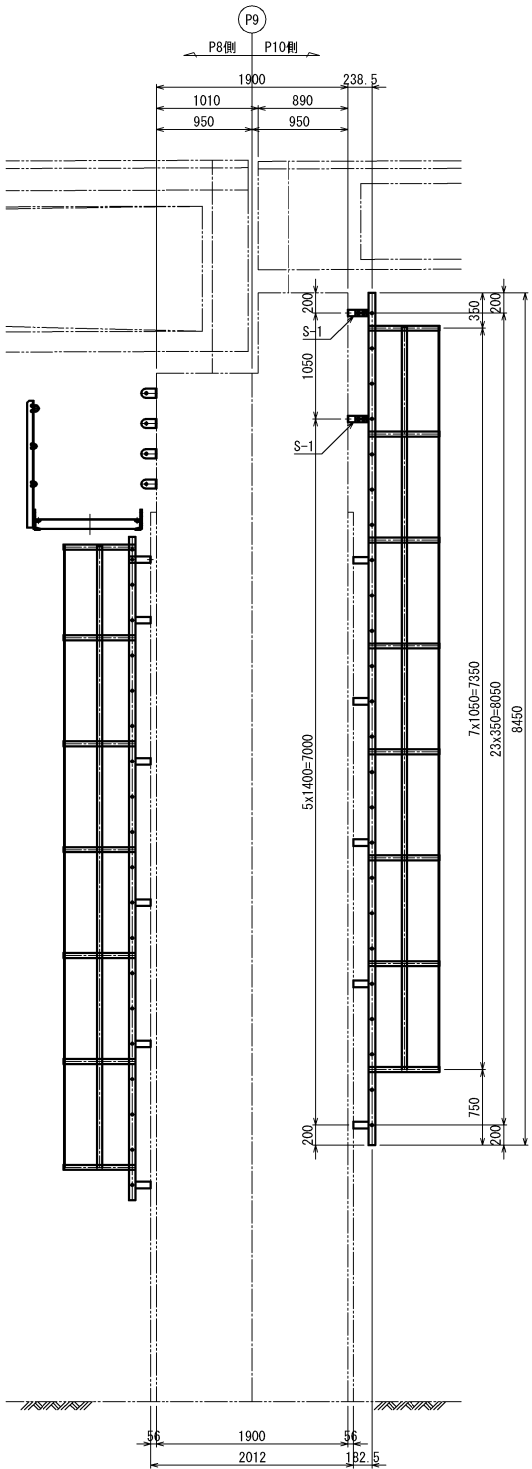
常磐自動車道 久慈川橋耐震補強工事			
図面の種類	茂宮川高架橋 P9 (A-ライン) 検査路 新設工(その3)		
縮 尺	図示	図面番号	96 / 208
設計会社名	株式会社 長 大		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

昇降梯子詳細(2)

終点側正面図

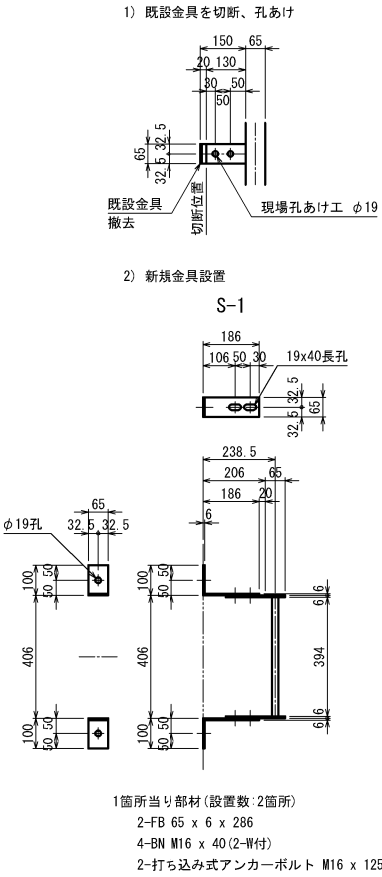


- 撤去・設置工(1組)
- 2-PL 65 x 6 x 8450
 - 8-PL 65 x 6 x 1840
 - 3-PL 65 x 6 x 7415
 - 16-PL 65 x 6 x 60
 - 10-PL 65 x 6 x 250
 - 4-PL 65 x 6 x 130・・・切断、孔あけ加工
 - 24-RB φ22 x 394 (SR24)
 - 40-BN M16 x 40
- 新設工
- 10-打ち込み式アンカーボルト M16 x 125



- 撤去工(1組)
- 2-PL 65 x 6 x 120
 - 14-打ち込み式アンカーボルト M16 x 100

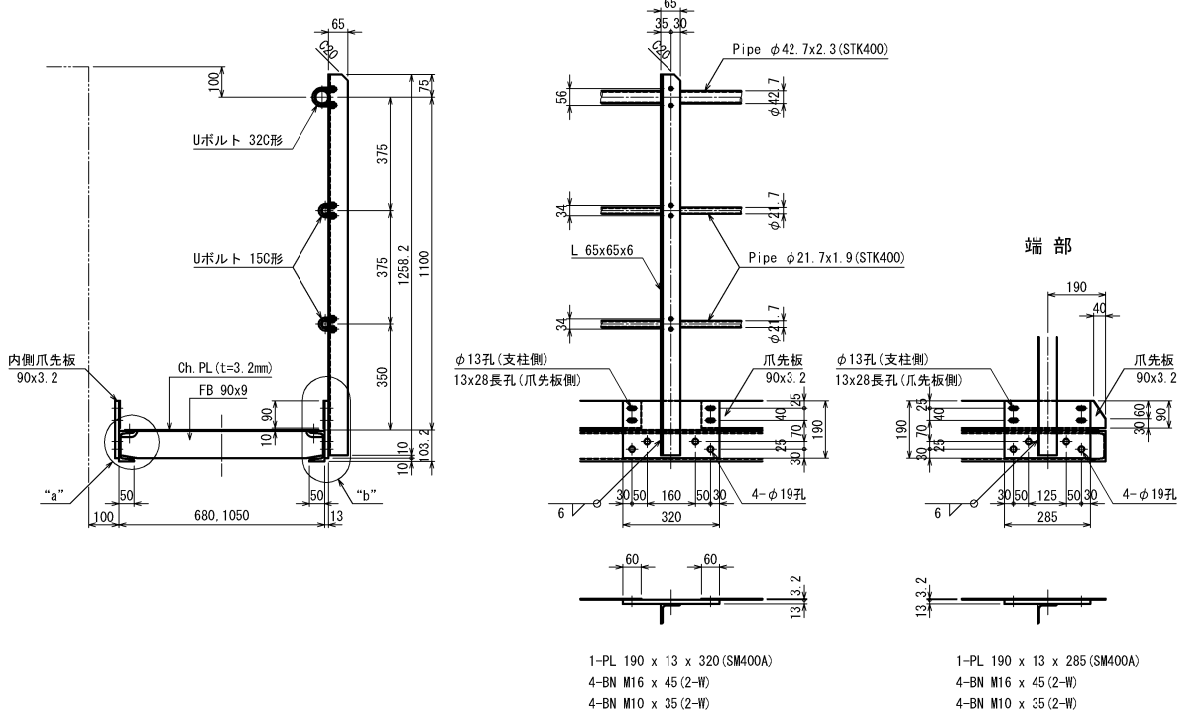
金具新設部詳細図 S=1:25



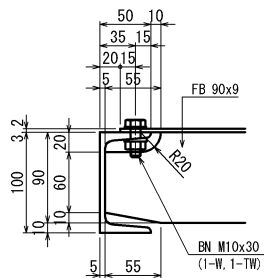
- 注 記
- 施工に当っては、現地調査を行い再確認すること。
特に鋼板の製作は、再計測後実施すること。
 - 特記なき材質は、全てSS400とする。
 - Uボルト付き(G形)以外のナットは、全て弛み止めナットを使用すること。
 - 部材は、全て溶融亜鉛めっきとする。
亜鉛の付着量は、JIS H8641 HDZ777とする。
但し、ボルト・ナット及び厚さ3.2mm以下の部材は、HDZ749とする。
 - ボルト孔は、めっき付着量を考慮し、
ボルト径+3mmを標準とする。

常磐自動車道 久慈川橋耐震補強工事			
図面の種類	茂宮川高架橋 P9 (A-ライン) 検査路 新設工(その4)		
縮 尺	図示	図面番号	97 / 208
設計会社名	株式会社 長 大		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

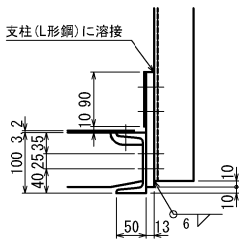
歩廊断面及び構造詳細図
CH-100x50x5x7.5



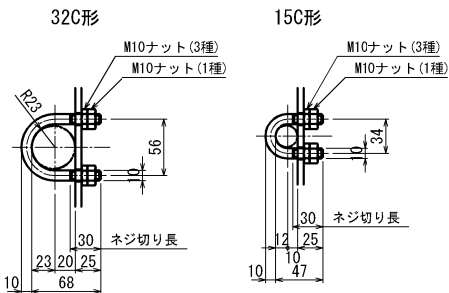
“a” 部詳細図 S=1:7.5



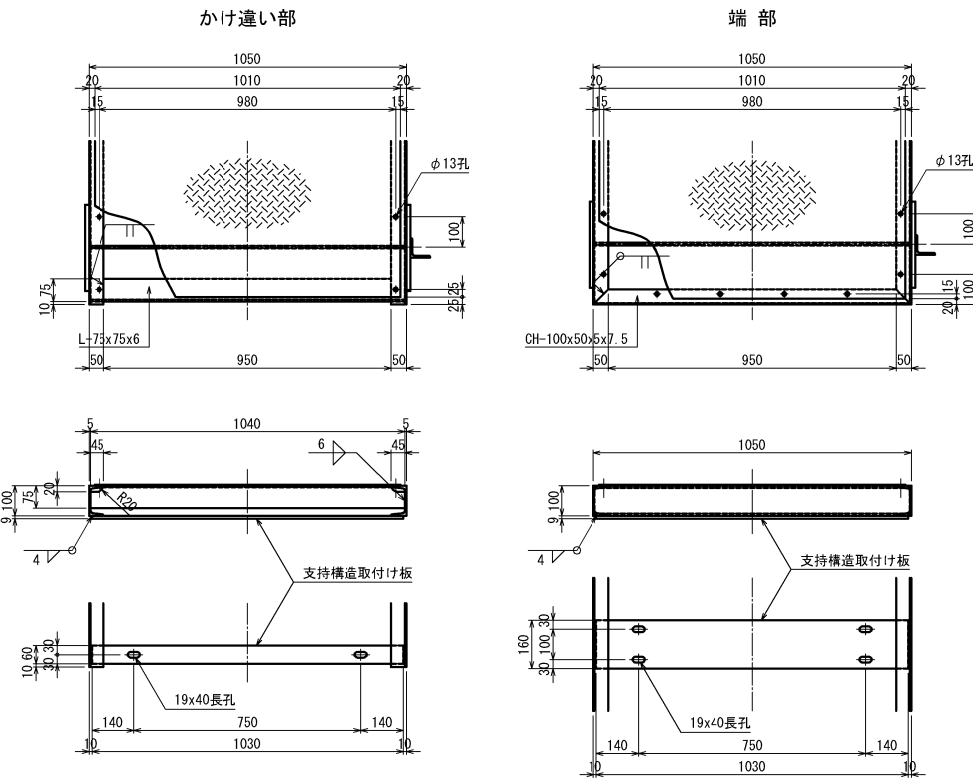
“b” 部詳細図 S=1:12.5



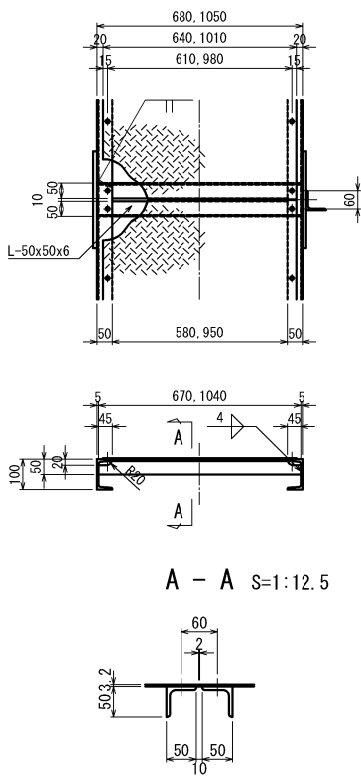
Uボルト詳細図 S=1:7.5



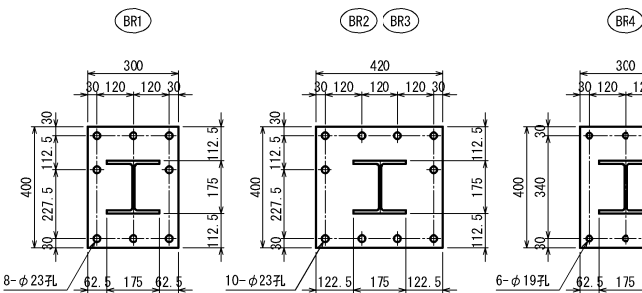
歩廊端部詳細図



歩廊分割部詳細図

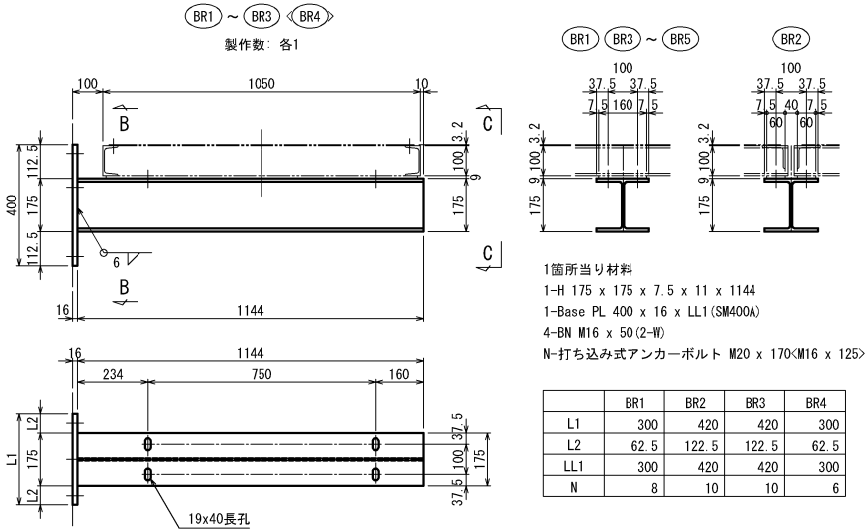


B - B

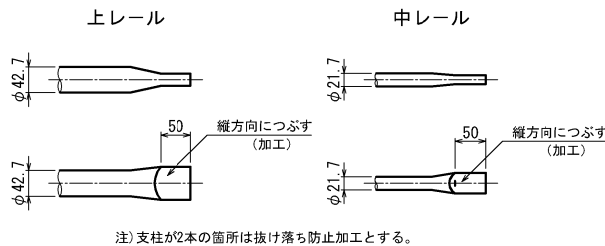


受台詳細図

C - C



手摺抜け落ち防止加工 S=1:12.5

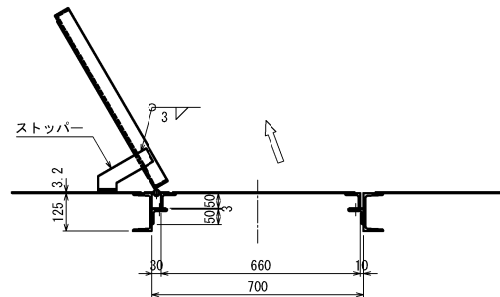
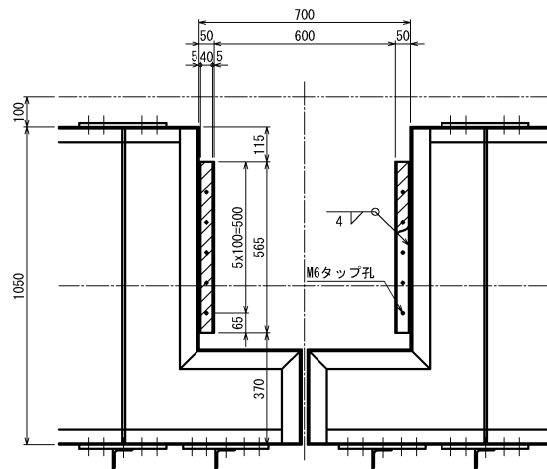
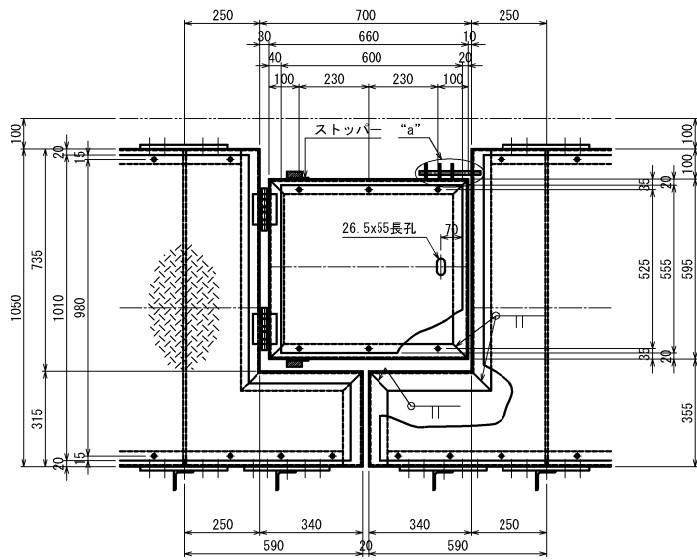


注 記

1. 施工に当たっては、現地調査を行い再確認すること。
特に鋼板の製作は、再計測後実施すること。
2. 特記なき材質は、全てSS400とする。
3. Uボルト付き (G形) 以外のナットは、全て弛み止めナットを使用すること。
4. 部材は、全て溶融垂鉛めっきとする。
垂鉛の付着量は、JIS H8641 HDZ777とする。
但し、ボルト・ナット及び厚さ3.2mm以下の部材は、HDZ749とする。
5. ボルト孔は、めっき付着量を考慮し、ボルト径+3mmを標準とする。

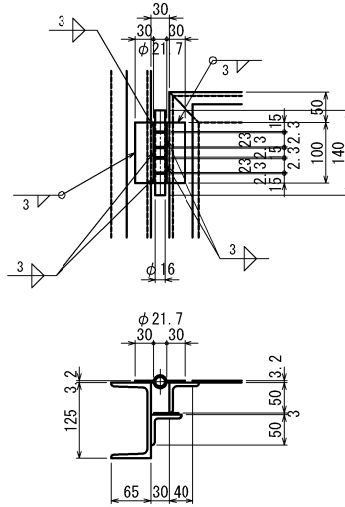
常磐自動車道 久慈川橋耐震補強工事			
図面の種類	茂宮川高架橋 P9 (A-ライン) 検査路 新設工(その5)		
縮 尺	図示	図面番号	98/208
設計会社名	株式会社 長 大		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

マンホール詳細



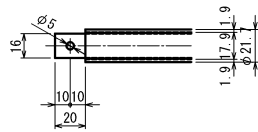
	2-L 50 x 50 x 5 x 660	
	2-L 50 x 50 x 5 x 595	
	1-Ch. PL 555 x 3.2 x 600 (SS400相当品)	
	6-BN M10 x 30 (2-Ⅱ)	
1-L 50 x 50 x 6 x 565		1-L 50 x 50 x 6 x 565
※ 1-ゴム 40 x 3 x 565 (エチレンプロピレンゴム)		※ 1-ゴム 40 x 3 x 565 (エチレンプロピレンゴム)
5-皿ネジ M6 x 8		5-皿ネジ M6 x 8
		2-FB 50 x 5 x 50
		1-FB 50 x 5 x 50

蝶番詳細 S=1:12.5

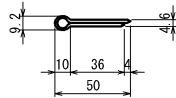


1箇所当り部材(設置数 2箇所)
 2-PL 30 x 3.2 x 10C(SM400A)
 3-PIPE $\phi 21.7 \times 1.9 \times 15$ (STK400)
 2-PIPE $\phi 21.7 \times 1.9 \times 23$ (STK400)
 1-RB $\phi 16 \times 140$
 2-割ピン $\phi 5 \times 36$ (SWRM8)

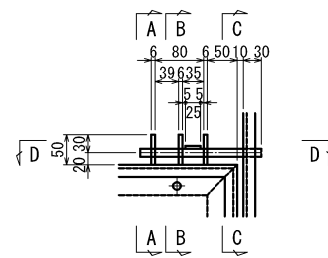
ピン端部詳細 S=1:5



割ピン詳細 S=1:5



“a”部詳細図 S=1:12.5

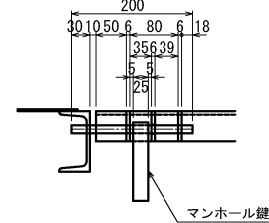
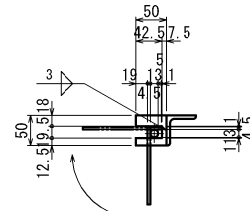


A - A

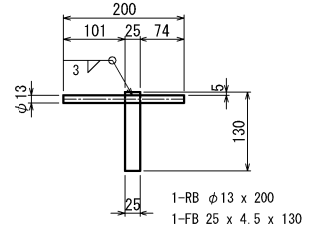
C - C

B - B

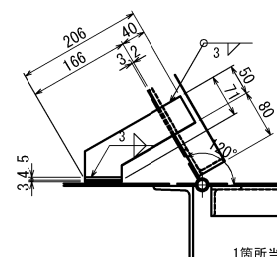
D - D



マンホール鍵詳細 S=1:12.5



ストッパー詳細 S=1:12.5



1箇所当り部材(設置数:2箇所)
 1-PL 25 x 4.5 x 60(SM400A)
 1-PL 206 x 4.5 x 71(SM400A)
 ※ 1-ゴム 25 x 3 x 60(エチレンプロピレンゴム)
 2-皿ネジ M6 x 8

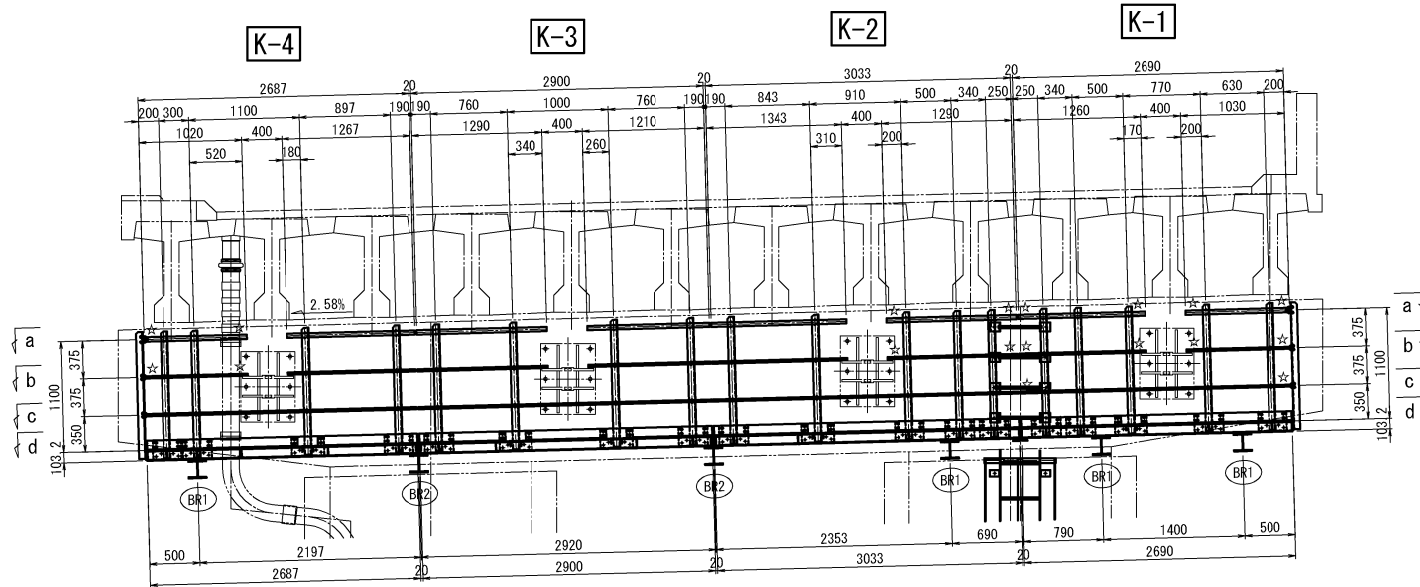
注記

1. 施工に当たっては、現地調査を行い再確認すること。
特に鋼板の製作は、再計測後実施すること。
2. 特記なき材質は、全てSS400とする。
3. Uボルト付き（G形）以外のナットは、全て弛み止めナットを使用すること。
4. ※印付部材以外は、全て溶融亜鉛めっきとする。
亜鉛の付着量は、JIS H8641・HDZ777とする。
但し、ボルト・ナット及び厚さ3.2mm以下の部材は、HDZ749とする。
5. ボルト孔は、めっき付着量を考慮し、
ボルト径+3mmを標準とする。

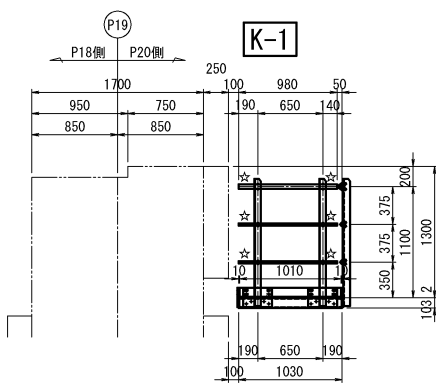
常盤自動車道 久慈川橋耐震補強工事			
図面の種類	茂宮高架橋 P9 (A-ラノ) 検査路 新設工 (その 6)		
縮 尺	図示	図面番号	99 / 208
設計会社名	株式会社 長 大		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

下部工検査路(1)

A - A



B - B



K-4材料

1-Pipe $\phi 42.7 \times 2.3 \times 980$ (STK400)
2-Pipe $\phi 21.7 \times 1.3 \times 980$ (STK400)
2-L $65 \times 65 \times 6 \times 1258$
1-PL $90 \times 3.2 \times 1010$
2-PL $190 \times 13 \times 285$ (SM400A)
8-BN M16 $\times 45$ (2-W)
8-BN M10 $\times 35$ (2-W)
2-U Bolt 呼び 32C
4-U Bolt 呼び 15C

K-4材料

1-Pipe $\phi 42.7 \times 2.3 \times 1020$ (STK400)
2-Pipe $\phi 42.7 \times 2.3 \times 393$ (STK400)
1-Pipe $\phi 42.7 \times 2.3 \times 917$ (STK400)
1-Pipe $\phi 21.7 \times 1.9 \times 1020$ (STK400)
1-Pipe $\phi 21.7 \times 1.9 \times 393$ (STK400)
1-Pipe $\phi 21.7 \times 1.9 \times 372$ (STK400)
1-Pipe $\phi 21.7 \times 1.9 \times 896$ (STK400)
1-Pipe $\phi 21.7 \times 1.9 \times 1813$ (STK400)
1-Pipe $\phi 21.7 \times 1.9 \times 372$ (STK400)
1-Pipe $\phi 21.7 \times 1.9 \times 896$ (STK400)
4-L $65 \times 65 \times 6 \times 1258$

K-3材料

2-Pipe $\phi 42.7 \times 2.3 \times 780$ (STK400)
2-Pipe $\phi 42.7 \times 2.3 \times 393$ (STK400)
1-Pipe $\phi 42.7 \times 2.3 \times 553$ (STK400)
1-Pipe $\phi 42.7 \times 2.3 \times 473$ (STK400)
2-Pipe $\phi 21.7 \times 1.9 \times 759$ (STK400)
2-Pipe $\phi 21.7 \times 1.9 \times 372$ (STK400)
1-Pipe $\phi 21.7 \times 1.9 \times 553$ (STK400)
1-Pipe $\phi 21.7 \times 1.9 \times 473$ (STK400)
2-Pipe $\phi 21.7 \times 1.9 \times 759$ (STK400)
2-Pipe $\phi 21.7 \times 1.9 \times 372$ (STK400)
1-Pipe $\phi 21.7 \times 1.9 \times 1426$ (STK400)
4-L $65 \times 65 \times 6 \times 1258$

K-2材料

1-Pipe $\phi 42.7 \times 2.3 \times 863$ (STK400)
1-Pipe $\phi 42.7 \times 2.3 \times 393$ (STK400)
1-Pipe $\phi 42.7 \times 2.3 \times 523$ (STK400)
1-Pipe $\phi 42.7 \times 2.3 \times 1290$ (STK400)
1-Pipe $\phi 21.7 \times 1.9 \times 842$ (STK400)
1-Pipe $\phi 21.7 \times 1.9 \times 372$ (STK400)
1-Pipe $\phi 21.7 \times 1.9 \times 523$ (STK400)
1-Pipe $\phi 21.7 \times 1.9 \times 1290$ (STK400)
1-Pipe $\phi 21.7 \times 1.9 \times 842$ (STK400)
1-Pipe $\phi 21.7 \times 1.9 \times 372$ (STK400)
1-Pipe $\phi 21.7 \times 1.9 \times 2213$ (STK400)
5-L $65 \times 65 \times 6 \times 1258$

K-1材料

1-Pipe $\phi 42.7 \times 2.3 \times 1260$ (STK400)
1-Pipe $\phi 42.7 \times 2.3 \times 1030$ (STK400)
1-Pipe $\phi 21.7 \times 1.9 \times 1260$ (STK400)
1-Pipe $\phi 21.7 \times 1.9 \times 1030$ (STK400)
1-Pipe $\phi 21.7 \times 1.9 \times 2690$ (STK400)
5-L $65 \times 65 \times 6 \times 1258$

1-PL $90 \times 3.2 \times 990$
1-PL $90 \times 3.2 \times 1500$
1-PL $90 \times 3.2 \times 2690$
8-BN M16 $\times 45$ (2-W)
8-BN M10 $\times 35$ (2-W)
2-PL $190 \times 13 \times 320$ (SM400A)
40-BN M16 $\times 45$ (2-W)
40-BN M10 $\times 35$ (2-W)
5-U Bolt 呼び 32C
10-U Bolt 呼び 15C

K-1材料

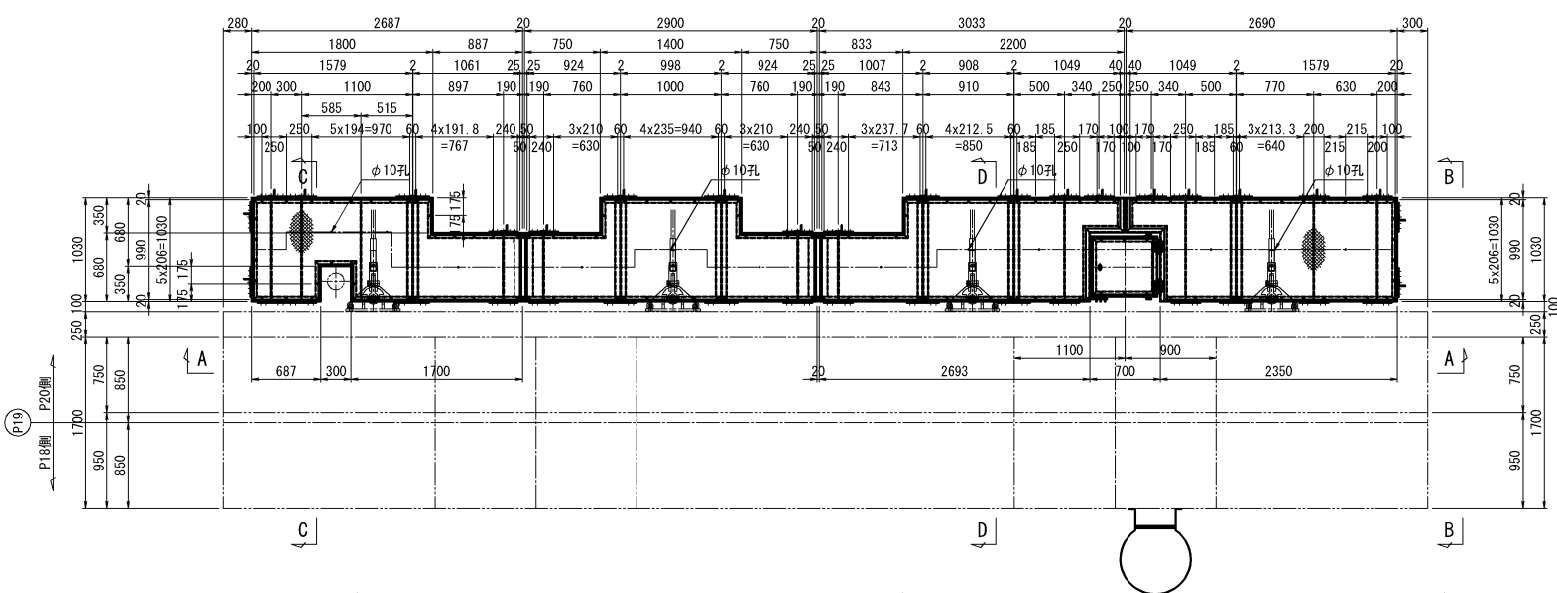
1-Pipe $\phi 42.7 \times 2.3 \times 980$ (STK400)
2-Pipe $\phi 21.7 \times 1.9 \times 980$ (STK400)
2-L $65 \times 65 \times 6 \times 1258$
1-PL $90 \times 3.2 \times 1010$
2-PL $190 \times 13 \times 285$ (SM400A)
8-BN M16 $\times 45$ (2-W)
8-BN M10 $\times 35$ (2-W)
2-U Bolt 呼び 32C
4-U Bolt 呼び 15C

K-4

K-3

K-2

K-1



K-4材料

1-Ch. PL $990 \times 3.2 \times 1579$ (SS400相当品)
1-Ch. PL $990 \times 3.2 \times 1061$ (SS400相当品)
1-CH $100 \times 50 \times 5 \times 7.5 \times 1800$
4-CH $100 \times 50 \times 5 \times 7.5 \times 400$
1-CH $100 \times 50 \times 5 \times 7.5 \times 937$
1-CH $100 \times 50 \times 5 \times 7.5 \times 1030$
1-CH $100 \times 50 \times 5 \times 7.5 \times 687$
1-CH $100 \times 50 \times 5 \times 7.5 \times 1700$

1-L $75 \times 75 \times 6 \times 670$
2-L $50 \times 50 \times 6 \times 1020$
3-FB $90 \times 9 \times 1020$
1-FB $90 \times 9 \times 670$
35-BN M10 $\times 30$ (1-W, 1-TW)
1-PL $160 \times 9 \times 1010$ (SM400A)
1-PL $60 \times 9 \times 660$ (SM400A)

K-3材料

2-Ch. PL $990 \times 3.2 \times 924$ (SS400相当品)
1-Ch. PL $990 \times 3.2 \times 998$ (SS400相当品)
2-CH $100 \times 50 \times 5 \times 7.5 \times 800$
2-CH $100 \times 50 \times 5 \times 7.5 \times 400$
1-CH $100 \times 50 \times 5 \times 7.5 \times 1400$
1-CH $100 \times 50 \times 5 \times 7.5 \times 2900$

2-L $75 \times 75 \times 6 \times 670$
4-L $50 \times 50 \times 6 \times 1020$
2-FB $90 \times 9 \times 670$
32-BN M10 $\times 30$ (1-W, 1-TW)
2-PL $60 \times 9 \times 660$ (SM400A)

K-2材料

1-Ch. PL $990 \times 3.2 \times 907$ (SS400相当品)
1-Ch. PL $990 \times 3.2 \times 908$ (SS400相当品)
1-Ch. PL $990 \times 3.2 \times 049$ (SS400相当品)
1-CH $100 \times 50 \times 5 \times 7.5 \times 883$
1-CH $100 \times 50 \times 5 \times 7.5 \times 400$
1-CH $100 \times 50 \times 5 \times 7.5 \times 2194$
1-CH $100 \times 50 \times 5 \times 7.5 \times 2687$
1-CH $125 \times 65 \times 6 \times 8 \times 750$
1-CH $125 \times 65 \times 6 \times 8 \times 405$
1-CH $125 \times 65 \times 6 \times 8 \times 345$

1-L $75 \times 75 \times 6 \times 670$
4-L $50 \times 50 \times 6 \times 1020$
1-FB $90 \times 9 \times 670$
1-FB $90 \times 9 \times 1020$
31-BN M10 $\times 30$ (1-W, 1-TW)
1-PL $160 \times 9 \times 660$ (SM400A)
1-PL $60 \times 9 \times 1010$ (SM400A)

K-1材料

1-Ch. PL $990 \times 3.2 \times 1049$ (SS400相当品)
1-Ch. PL $990 \times 3.2 \times 1579$ (SS400相当品)
1-CH $100 \times 50 \times 5 \times 7.5 \times 2684$
1-CH $100 \times 50 \times 5 \times 7.5 \times 1030$
1-CH $100 \times 50 \times 5 \times 7.5 \times 2344$
1-CH $125 \times 65 \times 6 \times 8 \times 750$
1-CH $125 \times 65 \times 6 \times 8 \times 405$
1-CH $125 \times 65 \times 6 \times 8 \times 345$

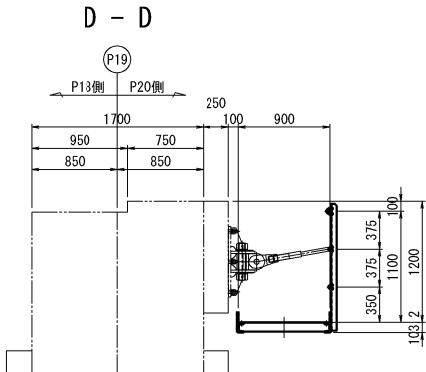
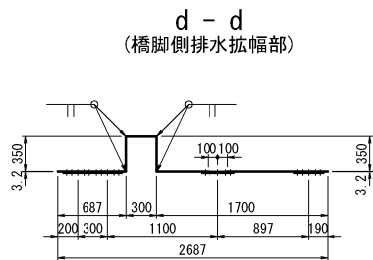
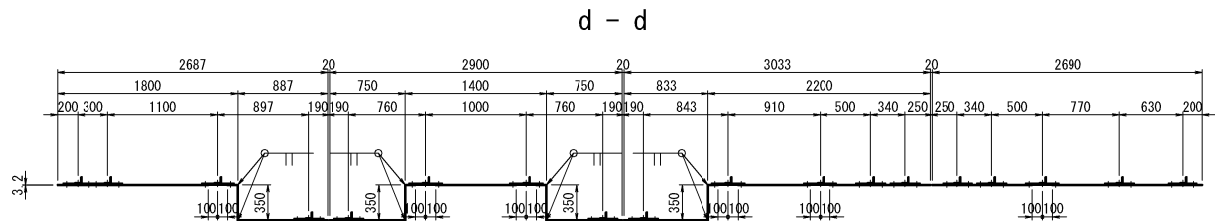
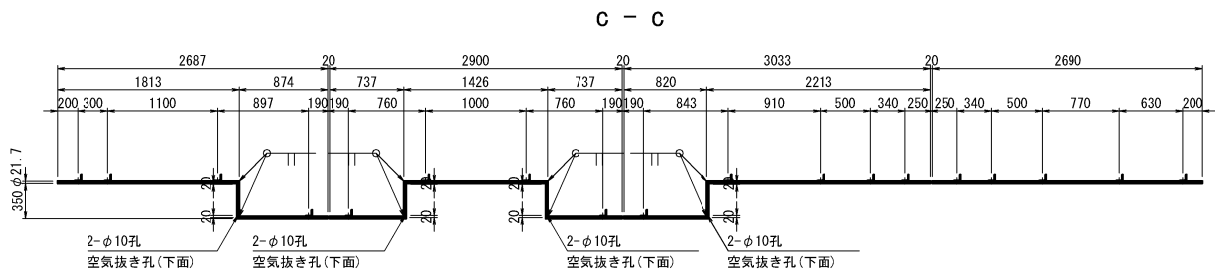
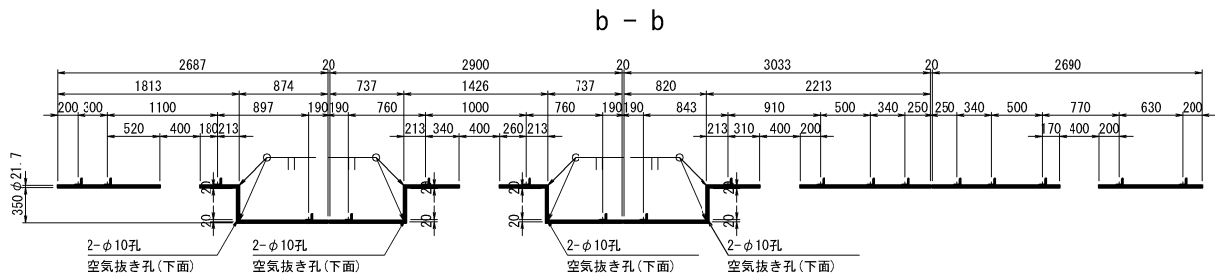
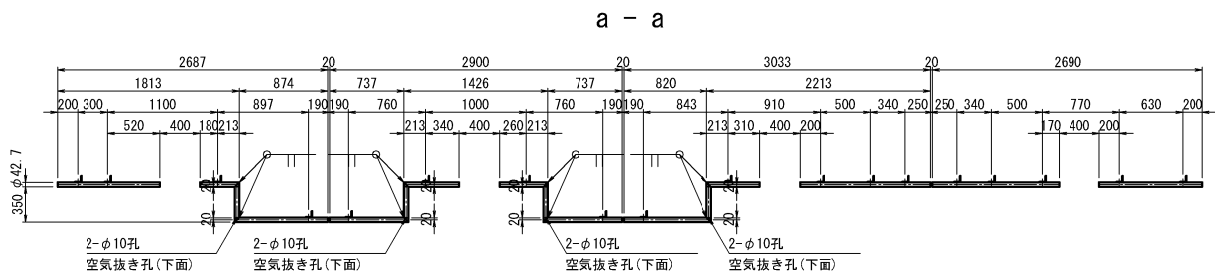
2-L $50 \times 50 \times 6 \times 1020$
3-FB $90 \times 9 \times 1020$
30-BN M10 $\times 30$ (1-W, 1-TW)
2-PL $160 \times 9 \times 1010$ (SM400A)

注 記

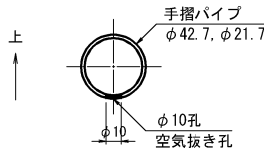
- 施工に当っては、現地調査を行い再確認すること。
特に鋼板の製作は、再計測後実施すること。
- 特記なき材質は、全てSS400とする。
- Uボルト付き(C形)以外のナットは、全て弛み止めナットを使用すること。
- 部材は、全て溶融亜鉛めっきとする。
亜鉛の付着量は、JIS H8641 H0ZT77とする。
但し、ボルト・ナット及び厚さ3.2mm以下の部材は、H0ZT49とする。
- ボルト孔は、めっき付着量を考慮し、ボルト径+3mmを標準とする。
- 床材に編鋼板を使用する場合は、直径10mmの排水孔を間隔1m(0.7m²)程度に1箇所程度設けること。
- ☆印箇所の手摺は、抜け落ち防止加工を施す。

常磐自動車道 久慈川橋耐震補強工事			
図面の種類	茂宮川高架橋 P19(A-ライン) 検査路 新設工(その1)		
縮 尺	図示	図面番号	100/208
設計会社名	株式会社 長 大		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

下部工検査路(2)



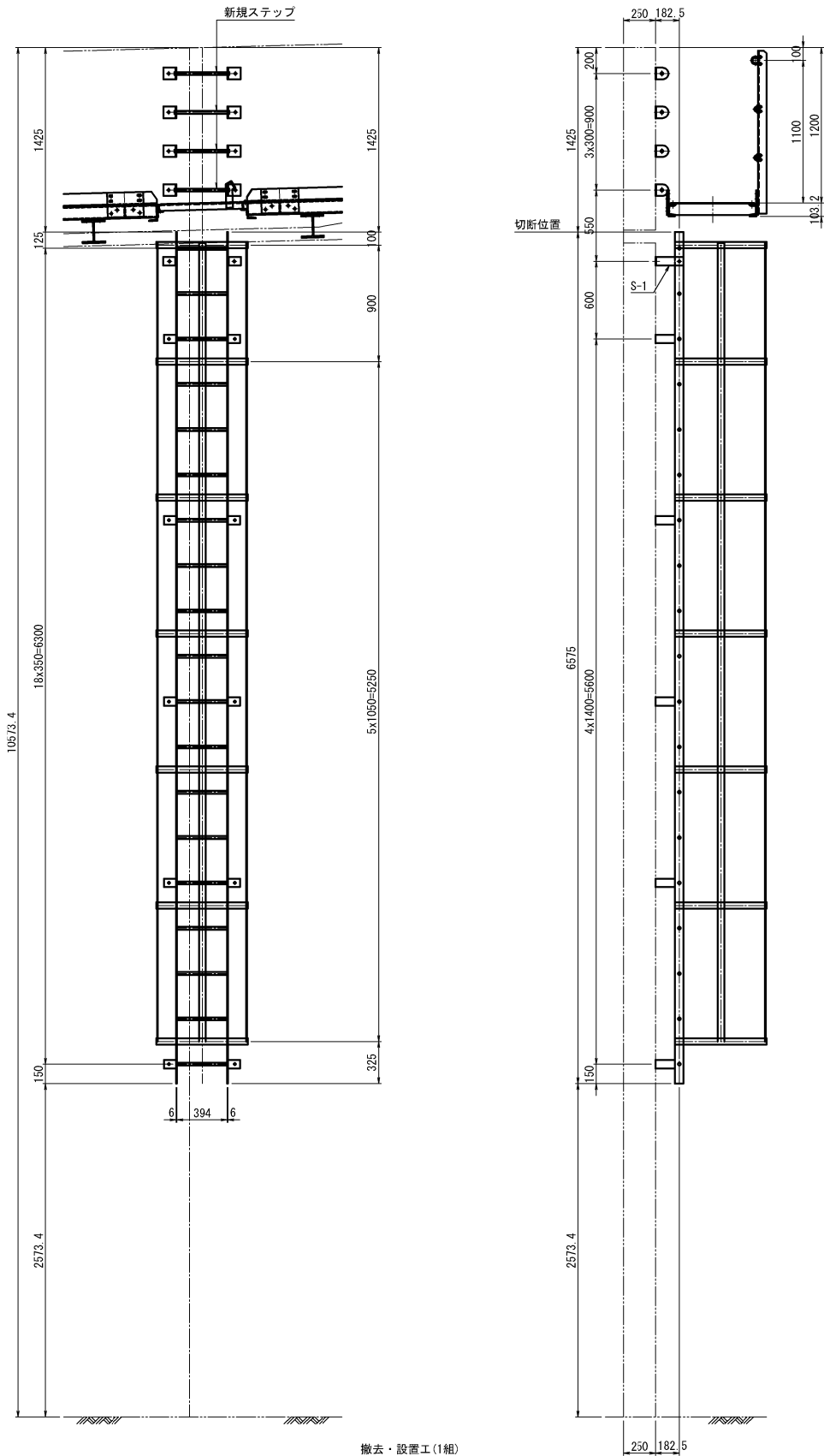
手摺空気抜き孔断面詳細 S=1:5



- 注 記
1. 施工に当たっては、現地調査を行い再確認すること。
特に鋼板の製作は、再計測後実施すること。
 2. 特記なき材質は、全てSS400とする。
 3. Uボルト付き(C形)以外のナットは、全て弛み止めナットを使用すること。
 4. 部材は、全て溶融亜鉛めっきとする。
亜鉛の付着量は、JIS H8641 HDZ777とする。
但し、ボルト・ナット及び厚さ3.2mm以下の部材は、HDZ749とする。
 5. ボルト孔は、めっき付着量を考慮し、ボルト径+3mmを標準とする。
 6. 床材に編鋼板を使用する場合は、直径10mmの排水孔を間隔1m(0.7m²)程度に1箇所程度設けること。
 7. ☆印箇所の手摺は、抜け落ち防止加工を施す。

常磐自動車道 久慈川橋耐震補強工事			
図面の種類	茂宮川高架橋 P19(A-ライン) 検査路 新設工(その2)		
縮 尺	図示	図面番号	101 / 208
設計会社名	株式会社 長 大		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

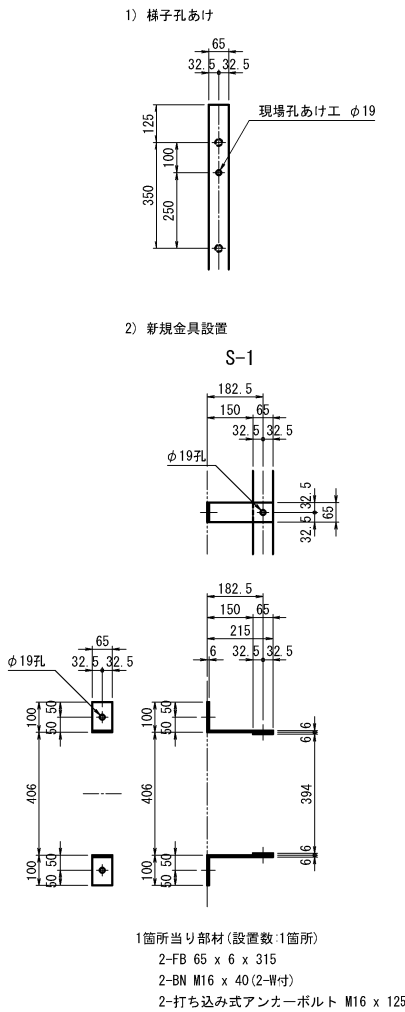
昇降梯子詳細(1)



撤去・設置工(1組)
2-PL 65 x 6 x 6575
7-PL 65 x 6 x 1840
3-PL 65 x 6 x 6215
14-PL 65 x 6 x 60
10-PL 65 x 6 x 250
19-RB φ22 x 394 (SR24)
35-BN M16 x 40

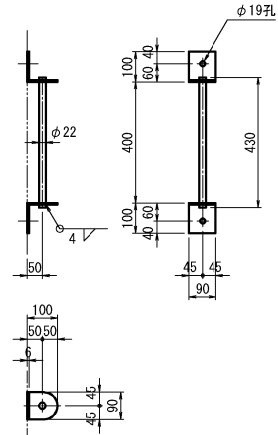
新設工
10-打ち込み式アンカーボルト M16 x 125

金具新設部詳細図 S=1:25



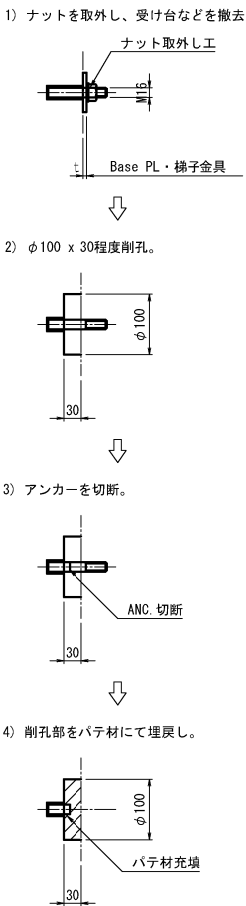
1箇所当り部材(設置数:1箇所)
2-FB 65 x 6 x 315
2-BN M16 x 40 (2-W付)
2-打ち込み式アンカーボルト M16 x 125

新規ステップ詳細図 S=1:25



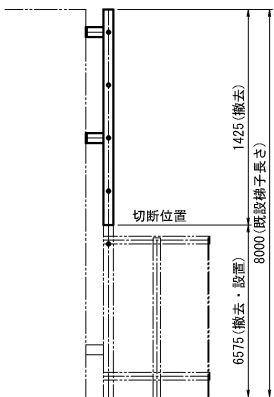
1箇所当り部材(設置数:4箇所)
1-RB φ22 x 430
2-PL 90 x 6 x 200
2-打ち込み式アンカーボルト M16 x 125

コンクリートアンカー撤去工



撤去本数			
	基数	ANC. 本数	計
受け台	5	6	30
梯子	28	1	28
計			58

昇降梯子撤去範囲



撤去工(1組)
2-PL 65 x 6 x 1425
4-PL 65 x 6 x 250
4-RB φ22 x 394 (SR24)
14-打ち込み式アンカーボルト M16 x 100

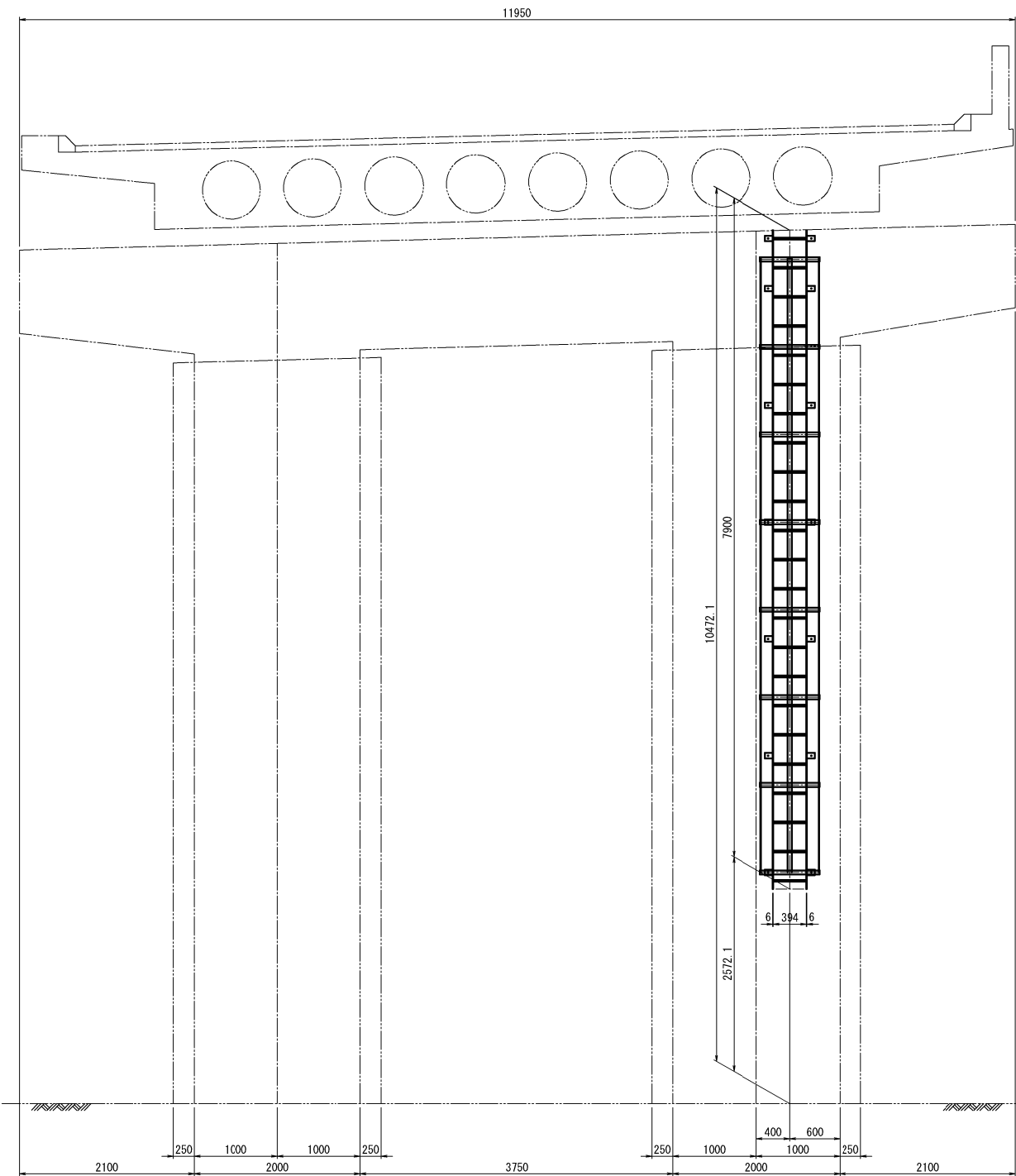
注 記

1. 施工に当たっては、現地調査を行い再確認すること。
特に鋼板の製作は、再計測後実施すること。
2. 特記なき材質は、全てSS400とする。
3. Uボルト付き(G形)以外のナットは、全て弛み止めナットを使用すること。
4. 部材は、全て溶融垂鉛めっきとする。
垂鉛の付着量は、JIS H8641 HDZ777とする。
但し、ボルト・ナット及び厚さ3.2mm以下の部材は、HDZ749とする。
5. ボルト孔は、めっき付着量を考慮し、ボルト径+3mmを標準とする。

常磐自動車道 久慈川橋耐震補強工事			
図面の種類	茂宮川高架橋 P19(A-ライン) 検査路 新設工(その3)		
縮 尺	図示	図面番号	102 / 208
設計会社名	株式会社 長 大		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

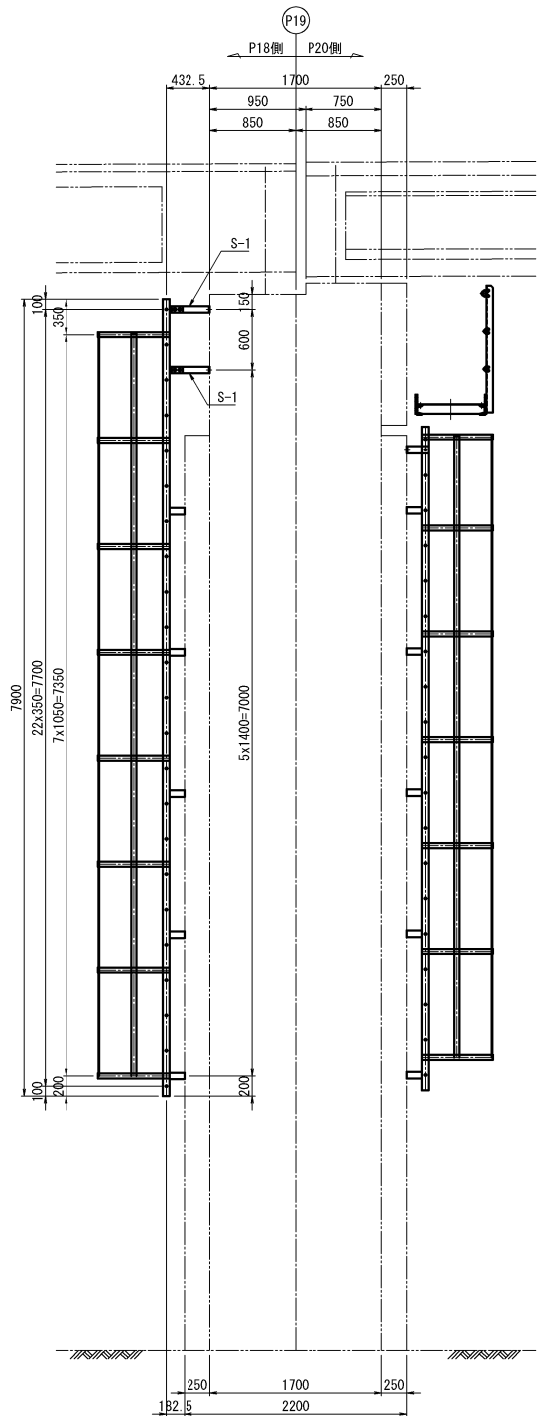
昇降梯子詳細(2)

起点側正面図



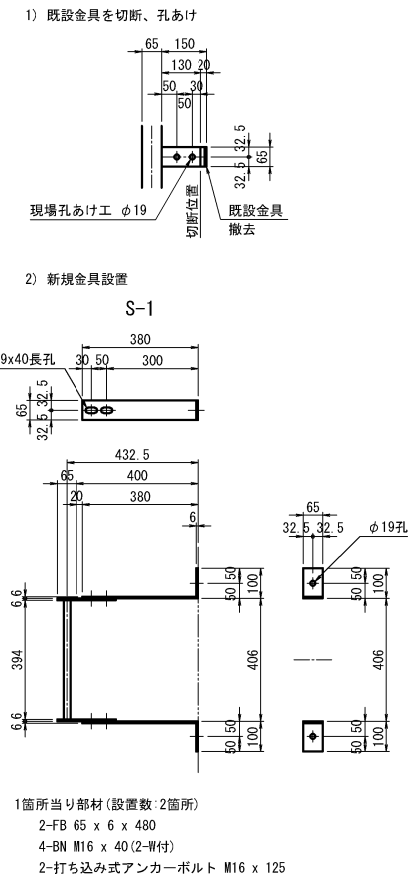
- 撤去・設置工(1組)
- 2-PL 65 x 6 x 7900
 - 8-PL 65 x 6 x 1840
 - 3-PL 65 x 6 x 7415
 - 16-PL 65 x 6 x 60
 - 10-PL 65 x 6 x 250
 - 4-PL 65 x 6 x 130・・・切断、孔あけ加工
 - 23-FB 22 x 394 (SR24)
 - 40-BN M16 x 40

- 新設工
- 10-打ち込み式アンカーボルト M16 x 125



- 撤去工(1組)
- 2-PL 65 x 6 x 120
 - 14-打ち込み式アンカーボルト M16 x 100

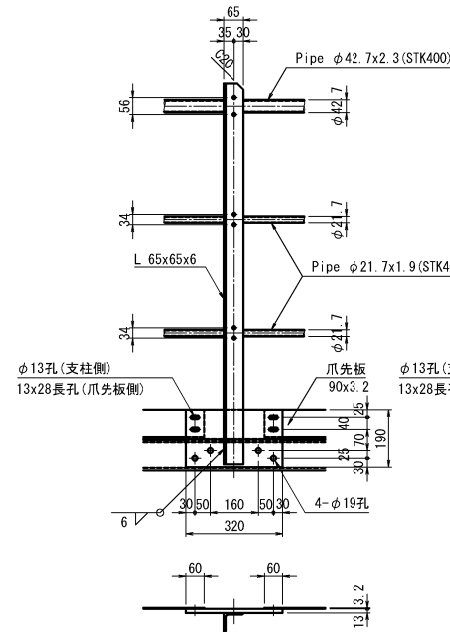
金具新設部詳細図 S=1:25



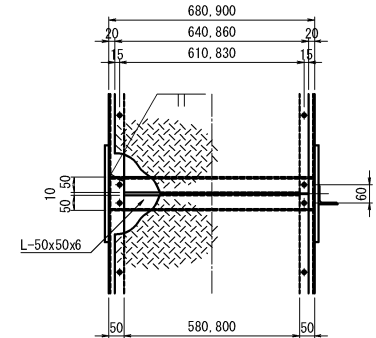
- 注 記
- 施工に当たっては、現地調査を行い再確認すること。
特に鋼板の製作は、再計測後実施すること。
 - 特記なき材質は、全てSS400とする。
 - Uボルト付き(G形)以外のナットは、全て弛み止めナットを使用すること。
 - 部材は、全て溶融亜鉛めっきとする。
亜鉛の付着量は、JIS H8641 HDZ777とする。
但し、ボルト・ナット及び厚さ3.2mm以下の部材は、HDZ749とする。
 - ボルト孔は、めっき付着量を考慮し、ボルト径+3mmを標準とする。

常磐自動車道 久慈川橋耐震補強工事			
図面の種類	茂宮川高架橋 P19(A-ライン) 検査路 新設工(その4)		
縮 尺	図示	図面番号	103 / 208
設計会社名	株式会社 長 大		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

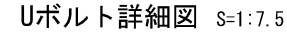
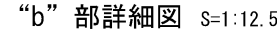
CH-100x50x5x7.5

[illegible][illegible]

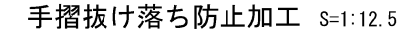
かけ違い部



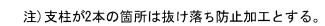
“a” 部詳細図 S=1:7.5



Uボルト詳細図 S=1:7.5

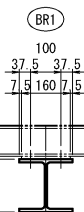


手摺抜け落ち防止加工 S=1:12.5



BR1, BR2

製作数：N

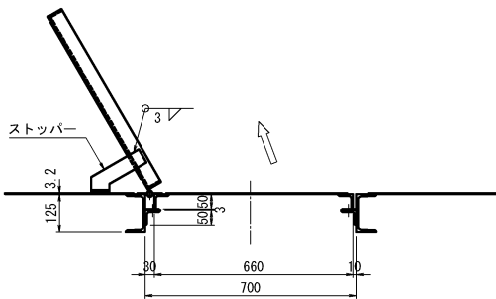
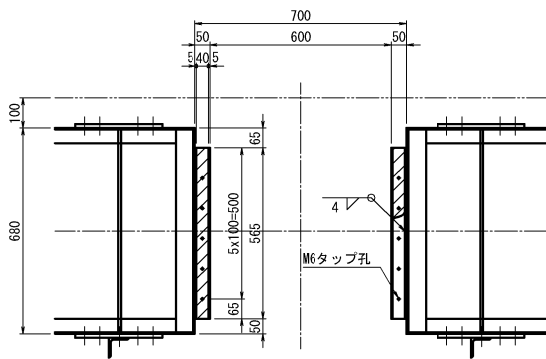
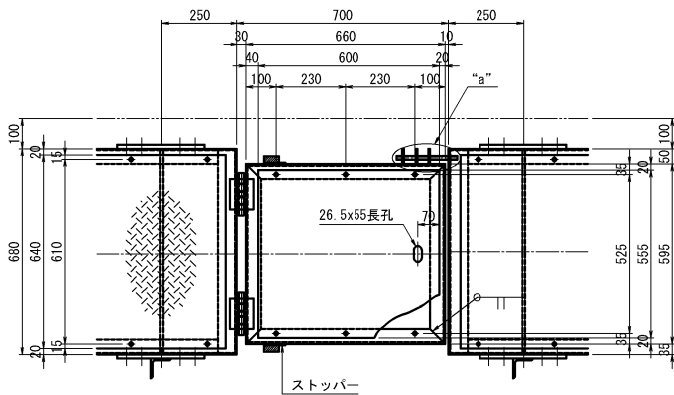


	BR1	BR2
L1	1030	680
L2	1124	774
L3	730	380
LL1	1124	774
N	4	2

1. 施工に当たっては、現地調査を行い再確認すること。
特に鋼板の製作は、再計測後実施すること。
2. 特記なき材質は、全てS400とする。
3. 以外付き（C形）以外のナットは、全て強みめ
ナットを使用すること。
4. 部材は、全て溶融亜鉛めっきとする。
亜鉛の付着量は、JIS H8641・HDZ77とする。
但し、ボルト・ナット及び厚さ3.2mm以下の部材は、
HDZ749とする。
5. ボルト孔は、めっき付着量を考慮し、
ボルト径+3mmを標準とする。

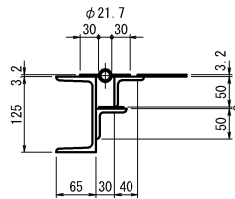
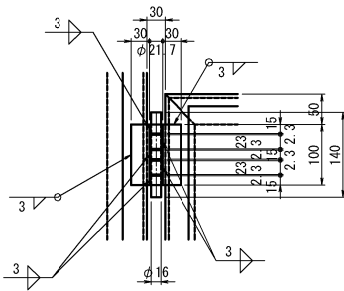
常磐自動車道 久慈川橋耐震補強工事			
図面の種類	茂呂川高架橋 P19 (A-ライン) 検査路 新設工 (その5)		
縮 尺	図示	図面番号	104/208
設計会社名	株式会社 長 大		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

マンホール詳細



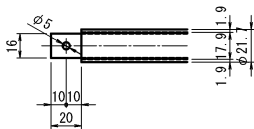
- 2-L 50 x 50 x 5 x 660
2-L 50 x 50 x 5 x 595
1-Ch. PL 555 x 3.2 x 600 (SS400相当品)
6-BN M10 x 30 (Z-W)
- 1-L 50 x 50 x 6 x 565
※ 1-ゴム 40 x 3 x 565 (エチレンプロピレンゴム)
5-皿ネジ M6 x 8
- 1-L 50 x 50 x 6 x 565
※ 1-ゴム 40 x 3 x 565 (エチレンプロピレンゴム)
5-皿ネジ M6 x 8
2-FB 50 x 5 x 50
1-FB 50 x 5 x 50

蝶番詳細 S=1:12.5

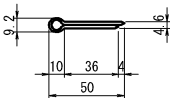


- 1箇所当り部材(設置数:2箇所)
2-PL 30 x 3.2 x 10C (SM400A)
3-PIPE $\phi 21.7$ x 1.9 x 15 (STK400)
2-PIPE $\phi 21.7$ x 1.9 x 23 (STK400)
1-RB $\phi 16$ x 140
2-割ピン $\phi 5$ x 36 (SWRM8)

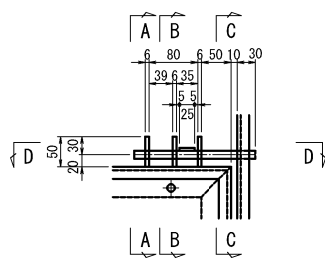
ピン端部詳細 S=1:5



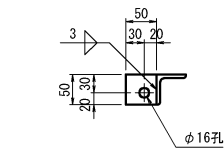
割ピン詳細 S=1:5



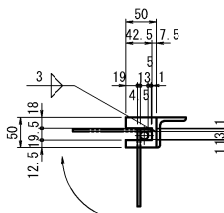
“a”部詳細図 S=1:12.5



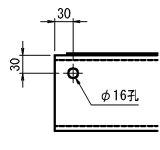
A - A



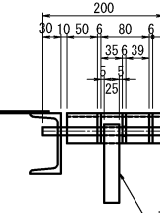
B - B



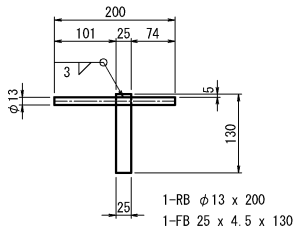
C - C



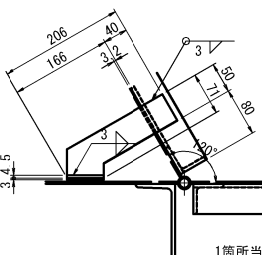
D - D



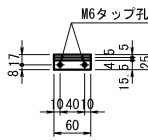
マンホール鍵詳細 S=1:12.5



ストッパー詳細 S=1:12.5



- 1箇所当り部材(設置数:2箇所)
1-PL 25 x 4.5 x 60 (SM400A)
1-PL 206 x 4.5 x 71 (SM400A)
※ 1-ゴム 25 x 3 x 60 (エ=レンプロピレンゴム)
2-皿ネジ M6 x 8



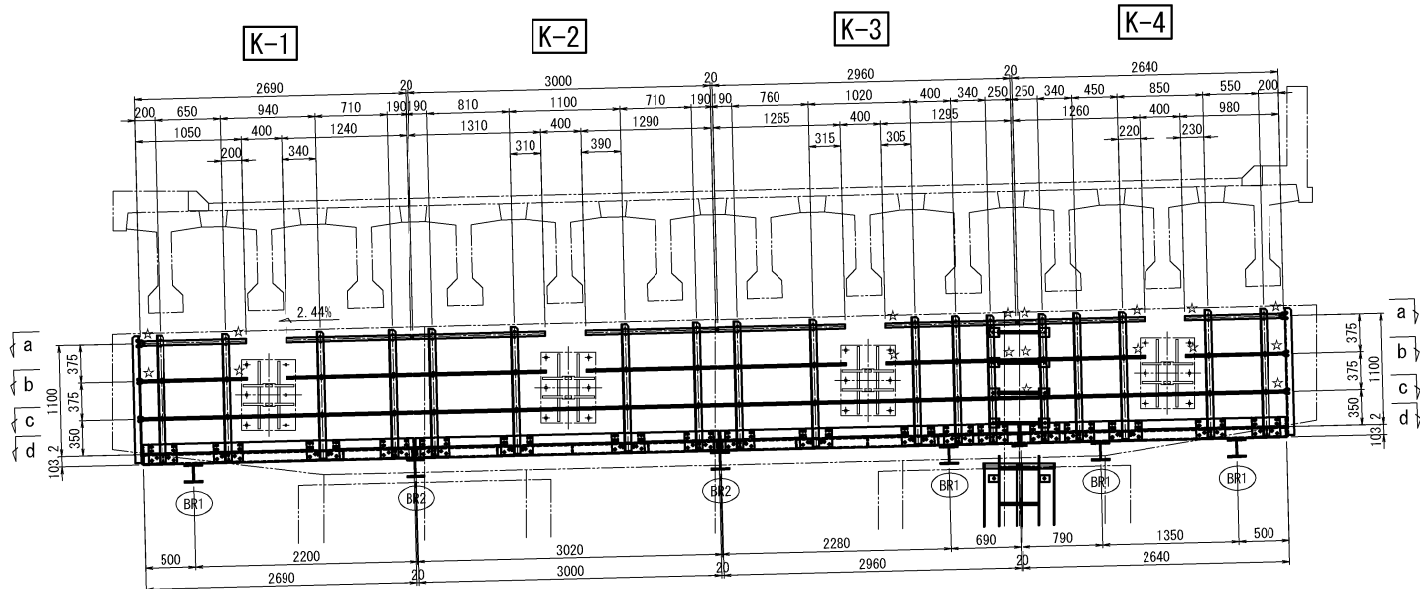
注 記

- 施工に当たっては、現地調査を行い再確認すること。
特に銅板の製作は、再計測後実施すること。
- 特記なき材質は、全てSS400とする。
- Uボルト付き(G形)以外のナットは、全て弛み止めナットを使用すること。
- ※印付部材以外は、全て溶融亜鉛めっきとする。
亜鉛の付着量は、JIS H8641 HDZ777とする。
但し、ボルト・ナット及び厚さ3.2mm以下の部材は、HDZ749とする。
- ボルト孔は、めっき付着量を考慮し、
ボルト径+3mmを標準とする。

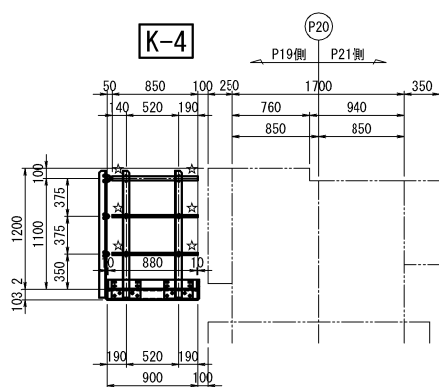
常磐自動車道 久慈川橋耐震補強工事			
図面の種類	茂宮川高架橋 P19(A-ライン) 検査路 新設工(その5)		
縮 尺	図示	図面番号	105 / 208
設計会社名	株式会社 長 大		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

下部工検査路(1)

A - A



B - B



K-1材料

1-Pipe $\phi 42.7 \times 2.3 \times 850$ (STK400)
2-Pipe $\phi 21.7 \times 1.9 \times 850$ (STK400)
2-L 65 x 65 x 6 x 1258
1-PL 90 x 3.2 x 880
2-PL 190 x 13 x 285 (SM400A)
8-BN M16 x 45 (2-W)
8-BN M10 x 35 (2-W)
2-U Bolt 呼び 32C
4-U Bolt 呼び 15C

K-1材料

1-Pipe $\phi 42.7 \times 2.3 \times 1050$ (STK400)
1-Pipe $\phi 42.7 \times 2.3 \times 553$ (STK400)
1-Pipe $\phi 42.7 \times 2.3 \times 263$ (STK400)
1-Pipe $\phi 42.7 \times 2.3 \times 730$ (STK400)
1-Pipe $\phi 21.7 \times 1.9 \times 1050$ (STK400)
1-Pipe $\phi 21.7 \times 1.9 \times 553$ (STK400)
1-Pipe $\phi 21.7 \times 1.9 \times 242$ (STK400)
1-Pipe $\phi 21.7 \times 1.9 \times 709$ (STK400)
1-Pipe $\phi 21.7 \times 1.9 \times 2003$ (STK400)
1-Pipe $\phi 21.7 \times 1.9 \times 242$ (STK400)
1-Pipe $\phi 21.7 \times 1.9 \times 709$ (STK400)
4-L 65 x 65 x 6 x 1258

K-2材料

1-PL 90 x 3.2 x 1690
1-PL 90 x 3.2 x 100
1-PL 90 x 3.2 x 223
1-PL 90 x 3.2 x 703
1-PL 90 x 3.2 x 2690
6-PL 190 x 13 x 285 (SM400A)
2-PL 190 x 13 x 320 (SM400A)
32-BN M16 x 45 (2-W)
32-BN M10 x 35 (2-W)
4-U Bolt 呼び 32C
8-U Bolt 呼び 15C

K-2材料

1-Pipe $\phi 42.7 \times 2.3 \times 830$ (STK400)
2-Pipe $\phi 42.7 \times 2.3 \times 263$ (STK400)
1-Pipe $\phi 42.7 \times 2.3 \times 523$ (STK400)
1-Pipe $\phi 42.7 \times 2.3 \times 603$ (STK400)
1-Pipe $\phi 42.7 \times 2.3 \times 730$ (STK400)
1-Pipe $\phi 21.7 \times 1.9 \times 809$ (STK400)
2-Pipe $\phi 21.7 \times 1.9 \times 242$ (STK400)
1-Pipe $\phi 21.7 \times 1.9 \times 523$ (STK400)
1-Pipe $\phi 21.7 \times 1.9 \times 603$ (STK400)
1-Pipe $\phi 21.7 \times 1.9 \times 709$ (STK400)
1-Pipe $\phi 21.7 \times 1.9 \times 809$ (STK400)
2-Pipe $\phi 21.7 \times 1.9 \times 242$ (STK400)
1-Pipe $\phi 21.7 \times 1.9 \times 1526$ (STK400)
1-Pipe $\phi 21.7 \times 1.9 \times 709$ (STK400)
4-L 65 x 65 x 6 x 1258

K-3材料

1-PL 90 x 3.2 x 803
2-PL 90 x 3.2 x 223
2-PL 90 x 3.2 x 100
1-PL 90 x 3.2 x 900
1-PL 90 x 3.2 x 703
1-PL 90 x 3.2 x 3000
4-PL 190 x 13 x 285 (SM400A)
4-PL 190 x 13 x 320 (SM400A)
32-BN M16 x 45 (2-W)
32-BN M10 x 35 (2-W)
4-U Bolt 呼び 32C
8-U Bolt 呼び 15C

K-3材料

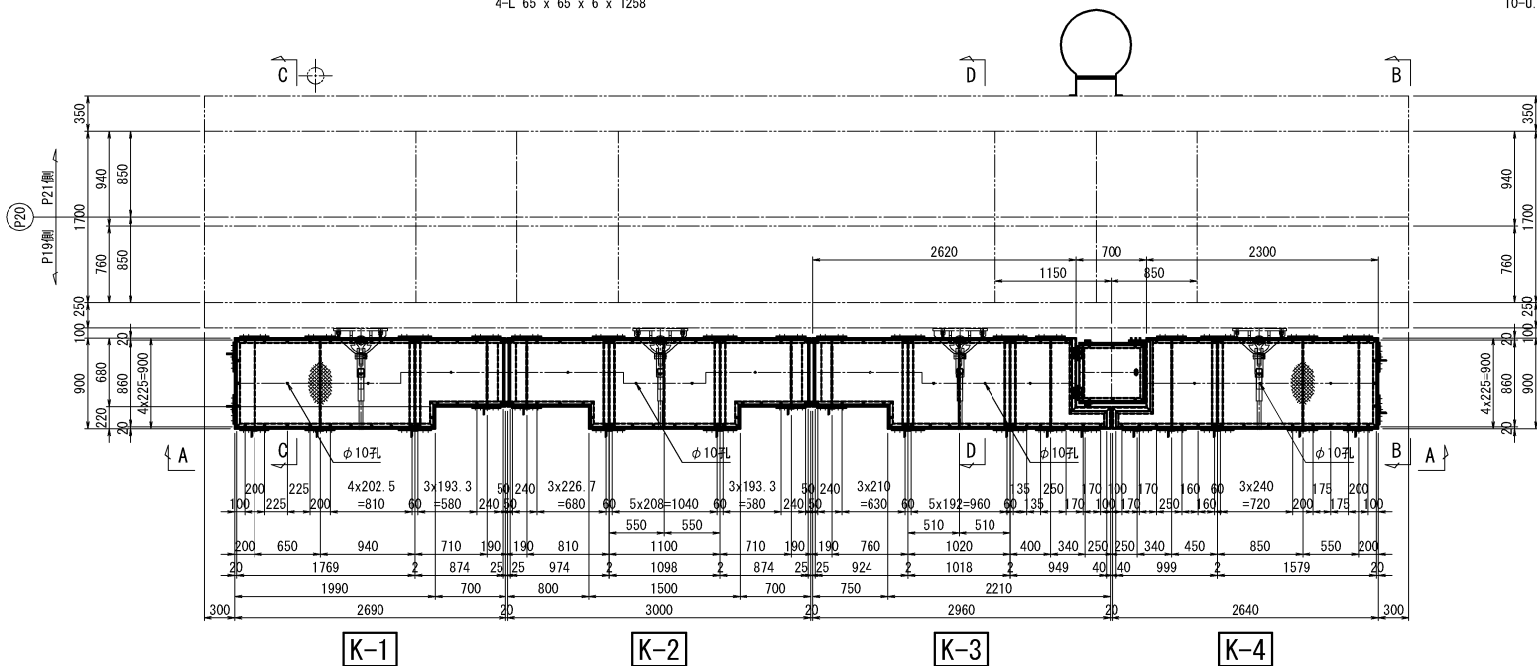
1-Pipe $\phi 42.7 \times 2.3 \times 780$ (STK400)
1-Pipe $\phi 42.7 \times 2.3 \times 263$ (STK400)
1-Pipe $\phi 42.7 \times 2.3 \times 528$ (STK400)
1-Pipe $\phi 42.7 \times 2.3 \times 1295$ (STK400)
1-Pipe $\phi 21.7 \times 1.9 \times 759$ (STK400)
1-Pipe $\phi 21.7 \times 1.9 \times 242$ (STK400)
1-Pipe $\phi 21.7 \times 1.9 \times 528$ (STK400)
1-Pipe $\phi 21.7 \times 1.9 \times 1295$ (STK400)
1-Pipe $\phi 21.7 \times 1.9 \times 759$ (STK400)
1-Pipe $\phi 21.7 \times 1.9 \times 242$ (STK400)
1-Pipe $\phi 21.7 \times 1.9 \times 2223$ (STK400)
5-L 65 x 65 x 6 x 1258

K-4材料

1-PL 90 x 3.2 x 753
1-PL 90 x 3.2 x 223
1-PL 90 x 3.2 x 100
1-PL 90 x 3.2 x 820
1-PL 90 x 3.2 x 890
1-PL 90 x 3.2 x 2960
6-PL 190 x 13 x 285 (SM400A)
4-PL 190 x 13 x 320 (SM400A)
40-BN M16 x 45 (2-W)
40-BN M10 x 35 (2-W)
5-U Bolt 呼び 32C
10-U Bolt 呼び 15C

K-4材料

1-Pipe $\phi 42.7 \times 2.3 \times 1260$ (STK400)
1-Pipe $\phi 42.7 \times 2.3 \times 980$ (STK400)
1-PL 90 x 3.2 x 880
2-PL 190 x 13 x 285 (SM400A)
1-Pipe $\phi 21.7 \times 1.9 \times 1260$ (STK400)
1-Pipe $\phi 21.7 \times 1.9 \times 980$ (STK400)
1-Pipe $\phi 21.7 \times 1.9 \times 2640$ (STK400)
5-L 65 x 65 x 6 x 1258
1-PL 90 x 3.2 x 940
1-PL 90 x 3.2 x 1500
1-PL 90 x 3.2 x 2640
8-PL 190 x 13 x 285 (SM400A)
2-PL 190 x 13 x 320 (SM400A)
40-BN M16 x 45 (2-W)
40-BN M10 x 35 (2-W)
5-U Bolt 呼び 32C
10-U Bolt 呼び 15C



K-1材料

1-Ch. PL 860 : 3.2 x 1769 (SS400相当品)
1-Ch. PL 860 : 3.2 x 874 (SS400相当品)
1-CH 100 x 50 x 5 x 7.5 x 2690
1-CH 100 x 50 x 5 x 7.5 x 900
1-CH 100 x 50 x 5 x 7.5 x 1990
1-CH 100 x 50 x 5 x 7.5 x 270
1-CH 100 x 50 x 5 x 7.5 x 750

K-1材料

1-L 75 x 75 x 6 x 670
2-L 50 x 50 x 6 x 890
2-FB 90 x 9 x 890
1-FB 90 x 9 x 670
32-BN M10 x 30 (1-W, 1-TW)
1-PL 160 x 9 x 880 (SM400A)
1-PL 60 x 9 x 660 (SM400A)

K-2材料

1-Ch. PL 860 x 3.2 x 974 (SS400相当品)
1-Ch. PL 860 x 3.2 x 1098 (SS400相当品)
1-Ch. PL 860 x 3.2 x 874 (SS400相当品)
1-CH 100 x 50 x 5 x 7.5 x 3000
1-CH 100 x 50 x 5 x 7.5 x 850
2-CH 100 x 50 x 5 x 7.5 x 270
1-CH 100 x 50 x 5 x 7.5 x 1500
1-CH 100 x 50 x 5 x 7.5 x 750

K-2材料

2-L 75 x 75 x 6 x 670
4-L 50 x 50 x 6 x 890
2-FB 90 x 9 x 670
1-FB 90 x 9 x 890
34-BN M10 x 30 (1-W, 1-TW)
2-PL 60 x 9 x 660 (SM400A)

K-3材料

1-Ch. PL 860 x 3.2 x 924 (SS400相当品)
1-Ch. PL 860 x 3.2 x 1018 (SS400相当品)
1-Ch. PL 860 x 3.2 x 949 (SS400相当品)
1-CH 100 x 50 x 5 x 7.5 x 2614
1-CH 100 x 50 x 5 x 7.5 x 800
1-CH 100 x 50 x 5 x 7.5 x 270
1-CH 100 x 50 x 5 x 7.5 x 2204
1-CH 125 x 65 x 6 x 8 x 750
2-L 125 x 65 x 6 x 8 x 405
1-CH 125 x 65 x 6 x 8 x 215

K-3材料

1-L 75 x 75 x 6 x 670
4-L 50 x 50 x 6 x 890
1-FB 90 x 9 x 670
2-FB 90 x 9 x 890
33-BN M10 x 30 (1-W, 1-TW)
1-PL 60 x 9 x 660 (SM400A)
1-PL 160 x 9 x 880 (SM400A)

K-4材料

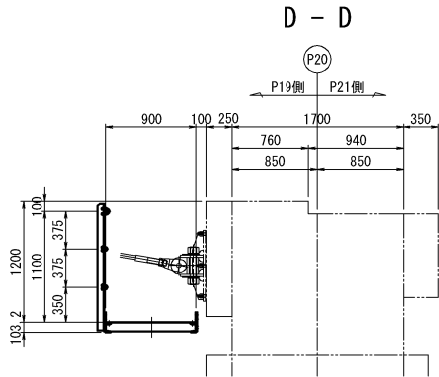
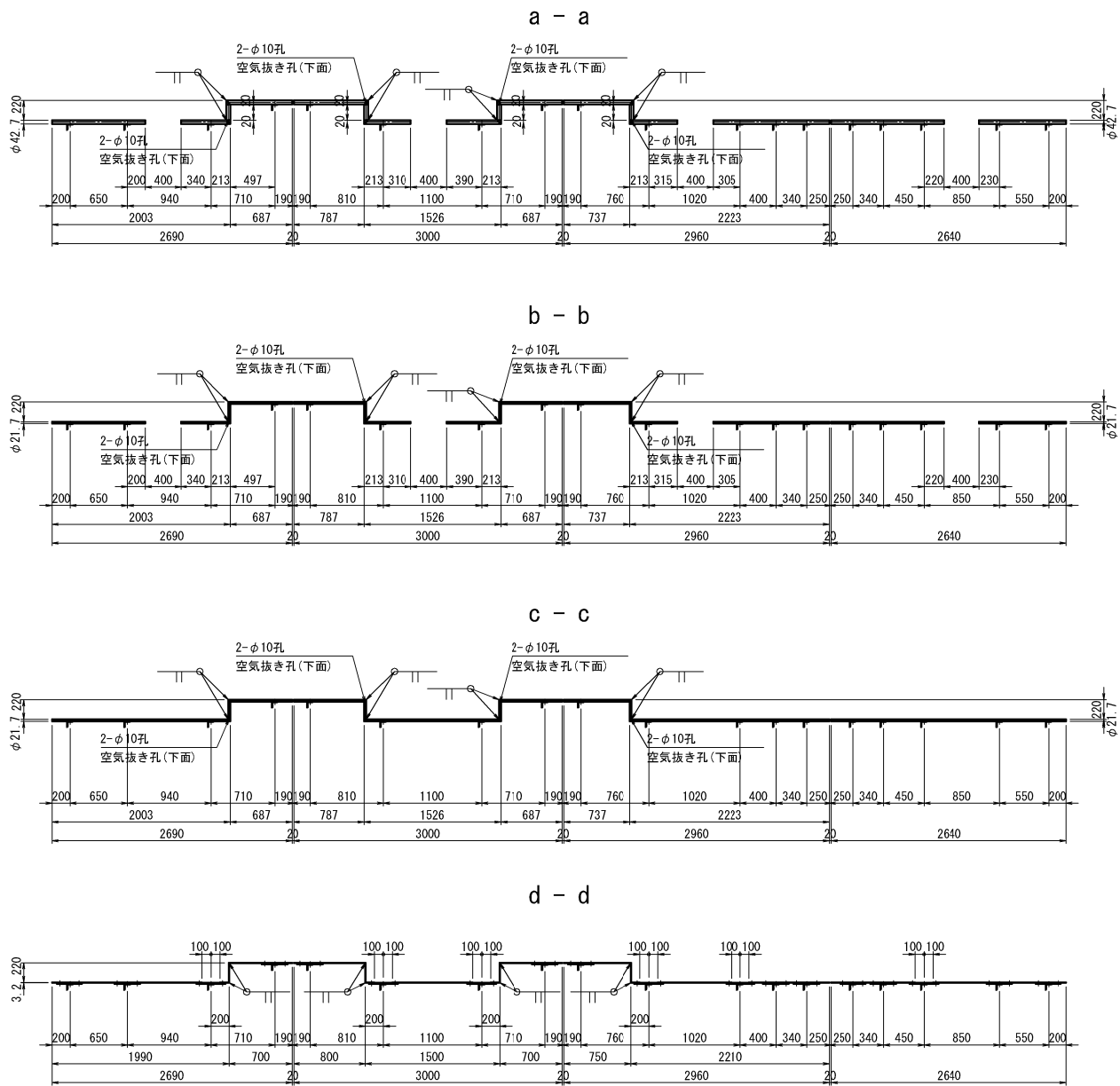
1-Ch. PL 860 x 3.2 x 999 (SS400相当品)
1-Ch. PL 860 x 3.2 x 1579 (SS400相当品)
1-CH 100 x 50 x 5 x 7.5 x 2294
1-CH 100 x 50 x 5 x 7.5 x 900
1-CH 100 x 50 x 5 x 7.5 x 2634
1-CH 125 x 65 x 6 x 8 x 750
1-CH 125 x 65 x 6 x 8 x 405
1-CH 125 x 65 x 6 x 8 x 215
2-L 50 x 50 x 6 x 890
3-FB 90 x 9 x 890
29-BN M10 x 30 (1-W, 1-TW)
2-PL 160 x 9 x 880 (SM400A)

注 記

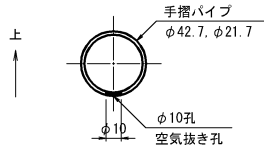
- 施工に当たっては、現地調査を行い再確認すること。
特に鋼板の製作は、再計測後実施すること。
- 特記なき材質は、全てSS400とする。
- Uボルト付き(C形)以外のナットは、全て弛み止めナットを使用すること。
- 部材は、全て溶融亜鉛めっきとする。
亜鉛の付着量は、JIS H8641 H0Z177とする。
但し、ボルト・ナット及び厚さ3.2mm以下の部材は、HDZ149とする。
- ボルト孔は、めっき付着量を考慮し、ボルト径+3mmを標準とする。
- 床材に編組板を使用する場合は、直径10mmの排水孔を間隔1m(0.7m)程度に1箇所程度設けること。
- ☆印箇所の手摺は、抜け落ち防止加工を施す。

常磐自動車道 久慈川橋耐震補強工事			
図面の種類	茂宮川高架橋 P20(A-ライン) 検査路 新設工(その1)		
縮 尺	図示	図面番号	106/208
設計会社名	株式会社 長 大		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

下部工検査路(2)



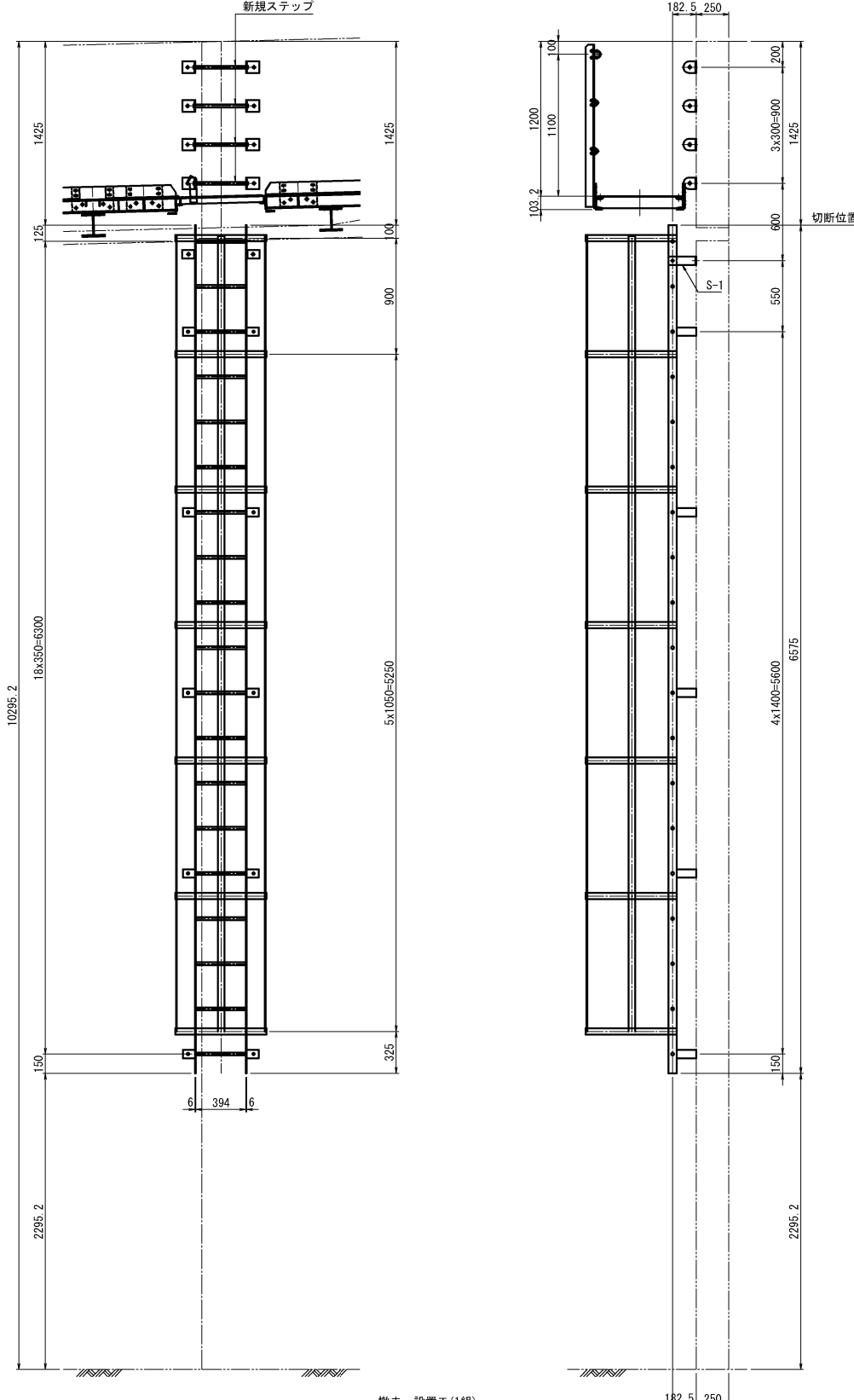
手摺空気抜き孔断面詳細 S=1:5



- 注 記
1. 施工に当たっては、現地調査を行い再確認すること。
特に鋼板の製作は、再計測後実施すること。
 2. 特記なき材質は、全てSS400とする。
 3. Uボルト付き(C形)以外のナットは、全て弛み止めナットを使用すること。
 4. 部材は、全て溶融亜鉛めっきとする。
亜鉛の付着量は、JIS H8641 H02T77とする。
但し、ボルト・ナット及び厚さ3.2mm以下の部材は、HDZT49とする。
 5. ボルト孔は、めっき付着量を考慮し、ボルト径+3mmを標準とする。
 6. 床材に編鋼板を使用する場合は、直径10mmの排水孔を間隔1m(0.7m)程度に1箇所程度設けること。
 7. ☆印箇所の手摺は、抜け落ち防止加工を施す。

常磐自動車道 久慈川橋耐震補強工事			
図面の種類	茂宮川高架橋 P20 (A-ライン) 検査路 新設工(その2)		
縮 尺	図示	図面番号	107 / 208
設計会社名	株式会社 長 大		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

昇降梯子詳細(1)



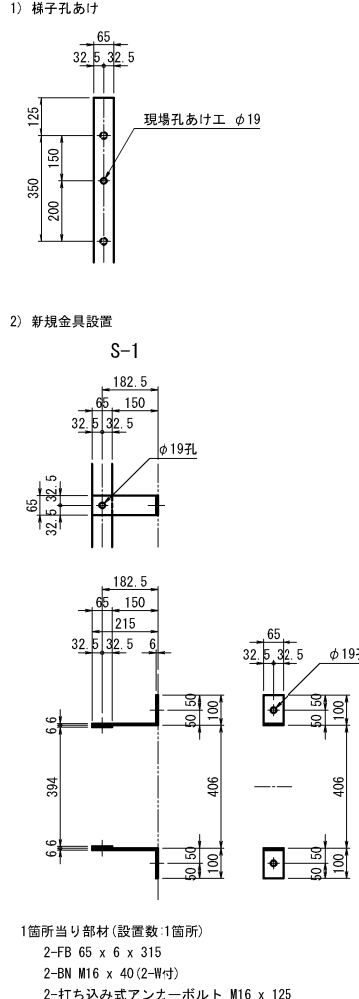
撤去・設置工(1組)

- 2-PL 65 x 6 x 6575
- 7-PL 65 x 6 x 1840
- 3-PL 65 x 6 x 6215
- 14-PL 65 x 6 x 60
- 10-PL 65 x 6 x 250
- 19-RB $\phi 22 \times 394$ (SR24)
- 35-BN M16 x 40

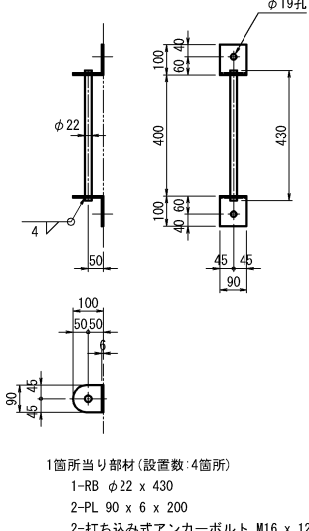
新設工

- 10-打ち込み式アンカーボルト M16 x 125

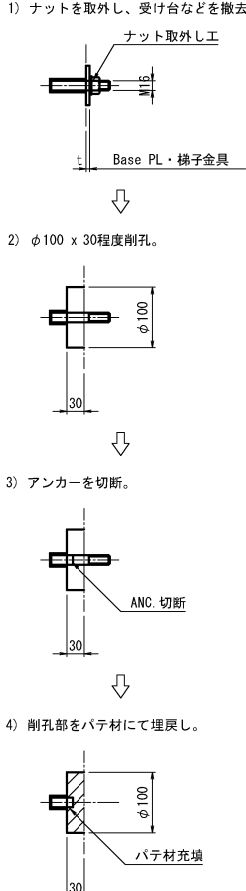
金具新設部詳細図 S=1:25



新規ステップ詳細図 S=1:25

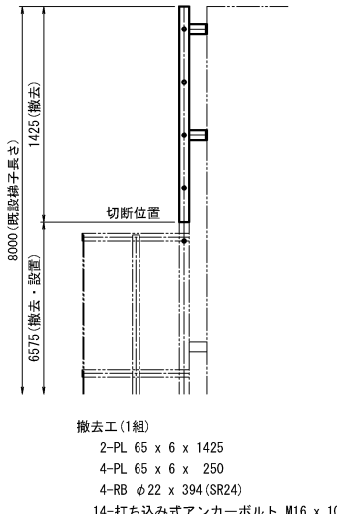


コンクリートアンカー撤去工



撤去本数			
	基数	ANC. 本数	計
受け台	5	6	30
梯子	28	1	28
計			58

升降梯子撤去範圍

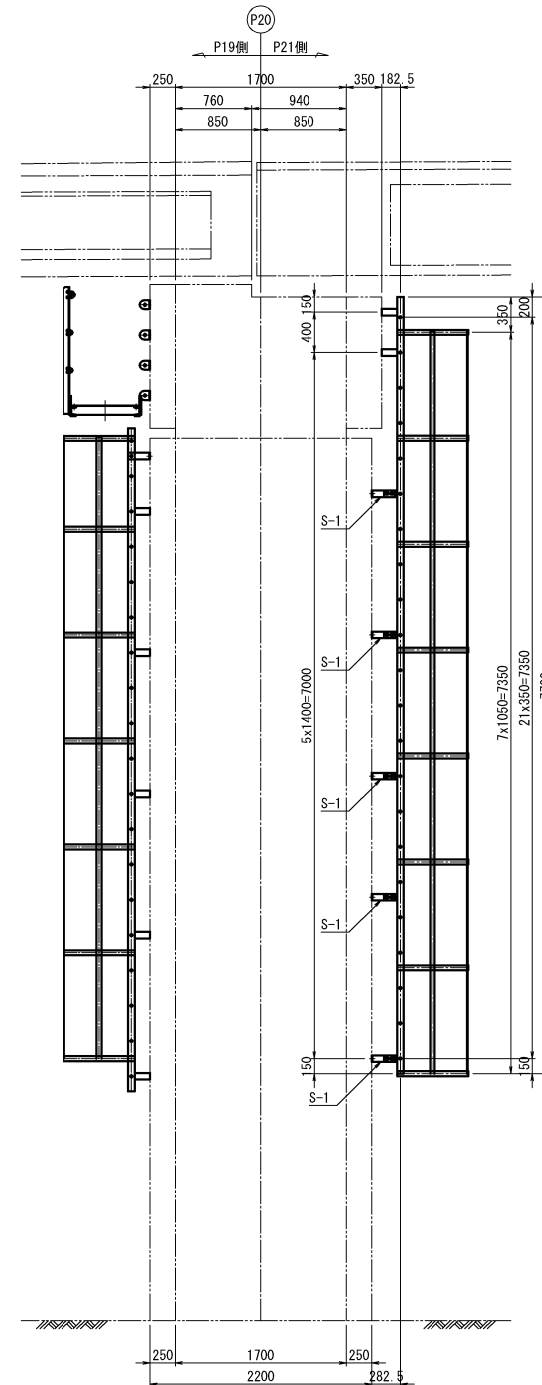


注 記

1. 施工に当っては、現地調査を行い再確認すること。
2. 特に鋼板の製作は、再計測後実施すること。
3. 特記なき材質は、全てSS400とする。
4. Uボルト付き(C形)以外のナットは、全て締め止めナットを使用すること。
5. 部材は、全て溶融亜鉛めっきとする。
亜鉛の付着量は、JIS H8641・HDZT77とする。
但し、ボルト・ナット及び厚さ3.2mm以下の部材は、HDZT49とする。
6. ボルト孔は、めっき付着量を考慮し、ボルト径+3mmを標準とする。

常磐自動車道				
久慈川橋脚震損補強工事				
図面の種類	茂吉川高架橋 P20(A-ライン) 検査路 新設工 (その3)			
縮 尺	図示	図面番号	108/208	
設計会社名	株式会社 長 大			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 北沢総理事務所			

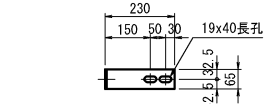
昇降梯子詳細(2)



S=1:25

- [illegible]

- S-1



- 2-FB 65 x 6 x 330

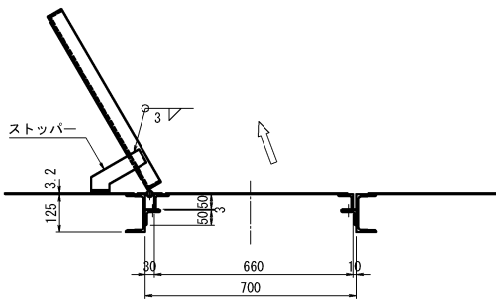
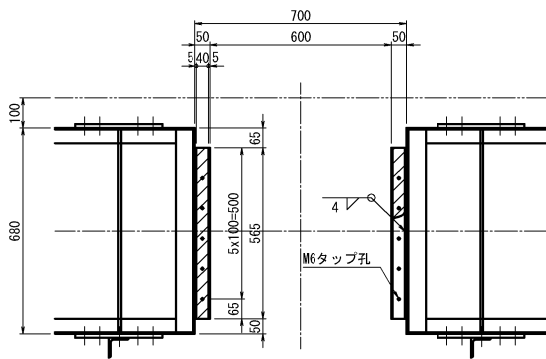
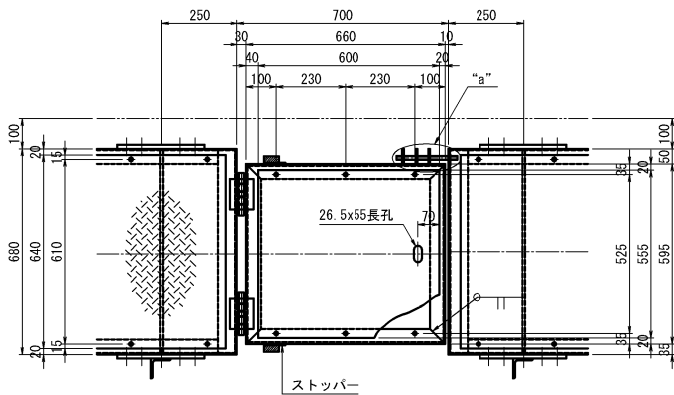
- 4-BN M16 x 40 (2-W付)

- ## 2-打ち込み式アンカー

1. 施工に当たっては、現地調査を行い再確認すること。
特に鋼板の製作は、再計測後実施すること。
2. 特記なき材質は、全てSS400とする。
3. Uボルト付き（G形）以外のナットは、全て弛み止め
ナットを使用すること。
4. 部材は、全て溶融亜鉛めっきとする。
亜鉛の付着量は、JIS H8641・HDZ77とする。
但し、ボルト・ナット及び厚さ3.2mm以下の部材は、
HDZ49とする。
5. ボルト孔は、めっき付着量を考慮し、
ボルト径+3mmを標準とする。

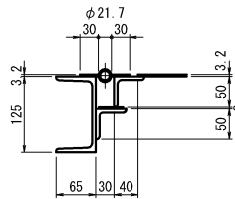
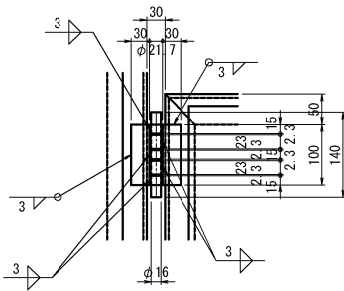
常磐自動車道 久慈川橋耐震補強工事			
図面の種類	茂宮川高架橋 P20 (A-ライン) 株査路 新設工 (その 4)		
縮 尺	図示	図面番号	109 / 208
設計会社名	株式会社 長 大		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

マンホール詳細



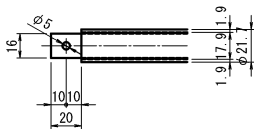
- 2-L 50 x 50 x 5 x 660
2-L 50 x 50 x 5 x 595
1-Ch. PL 555 x 3.2 x 600 (SS400相当品)
6-BN M10 x 30 (Z-W)
- 1-L 50 x 50 x 6 x 565
※ 1-ゴム 40 x 3 x 565 (エチレンプロピレンゴム)
5-皿ネジ M6 x 8
- 1-L 50 x 50 x 6 x 565
※ 1-ゴム 40 x 3 x 565 (エチレンプロピレンゴム)
5-皿ネジ M6 x 8
2-FB 50 x 5 x 50
1-FB 50 x 5 x 50

蝶番詳細 S=1:12.5

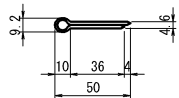


- 1箇所当り部材 (設置数: 2箇所)
2-PL 30 x 3.2 x 100 (SM400A)
3-PIPE $\phi 21.7$ x 1.9 x 15 (STK400)
2-PIPE $\phi 21.7$ x 1.9 x 23 (STK400)
1-RB $\phi 16$ x 140
2-割ピン $\phi 5$ x 36 (SWRM8)

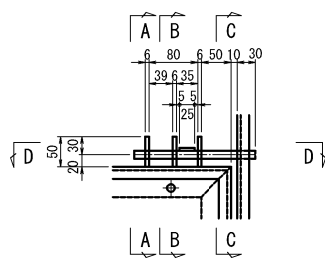
ピン端部詳細 S=1:5



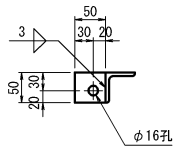
割ピン詳細 S=1:5



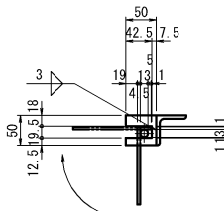
“a”部詳細図 S=1:12.5



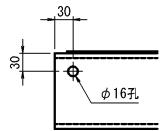
A - A



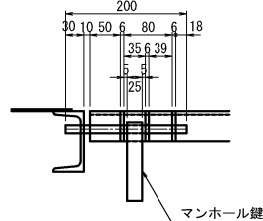
B - B



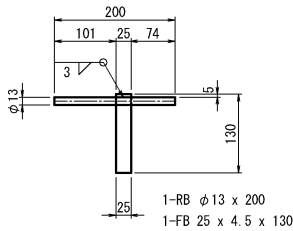
C - C



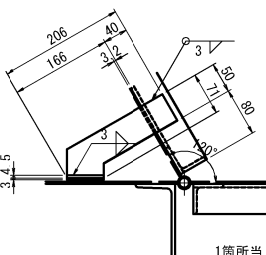
D - D



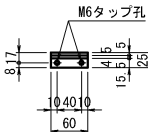
マンホール鍵詳細 S=1:12.5



ストッパー詳細 S=1:12.5



- 1箇所当り部材 (設置数: 2箇所)
1-PL 25 x 4.5 x 60 (SM400A)
1-PL 206 x 4.5 x 71 (SM400A)
※ 1-ゴム 25 x 3 x 60 (エ=レンプロピレンゴム)
2-皿ネジ M6 x 8

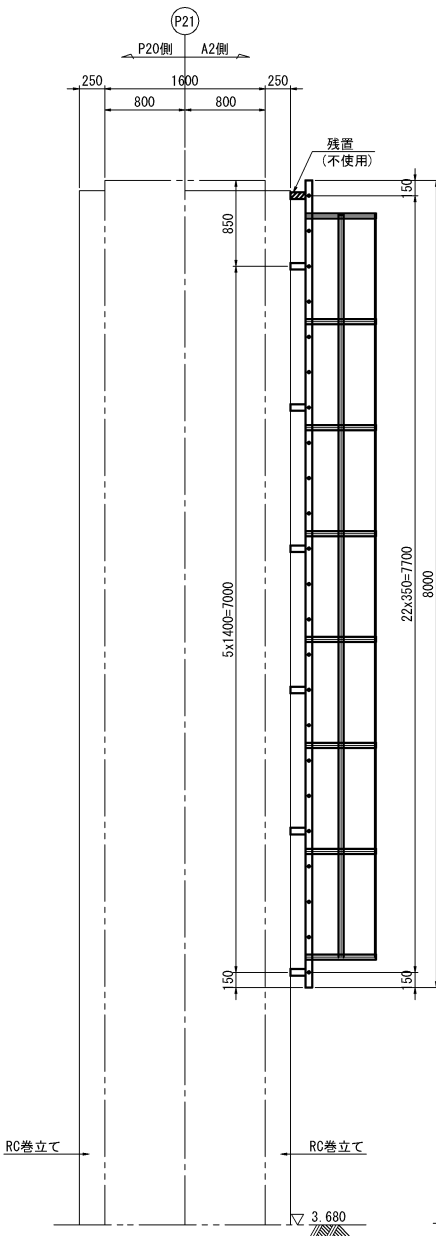


注 記

- 施工に当っては、現地調査を行い再確認すること。
特に銅板の製作は、再計測後実施すること。
- 特記なき材質は、全てSS400とする。
- Uボルト付き (G形) 以外のナットは、全て弛み止めナットを使用すること。
- ※印付部材以外は、全て溶融亜鉛めっきとする。
亜鉛の付着量は、JIS H8641 HDZ777とする。
但し、ボルト・ナット及び厚さ3.2mm以下の部材は、HDZ749とする。
- ボルト孔は、めっき付着量を考慮し、
ボルト径+3mmを標準とする。

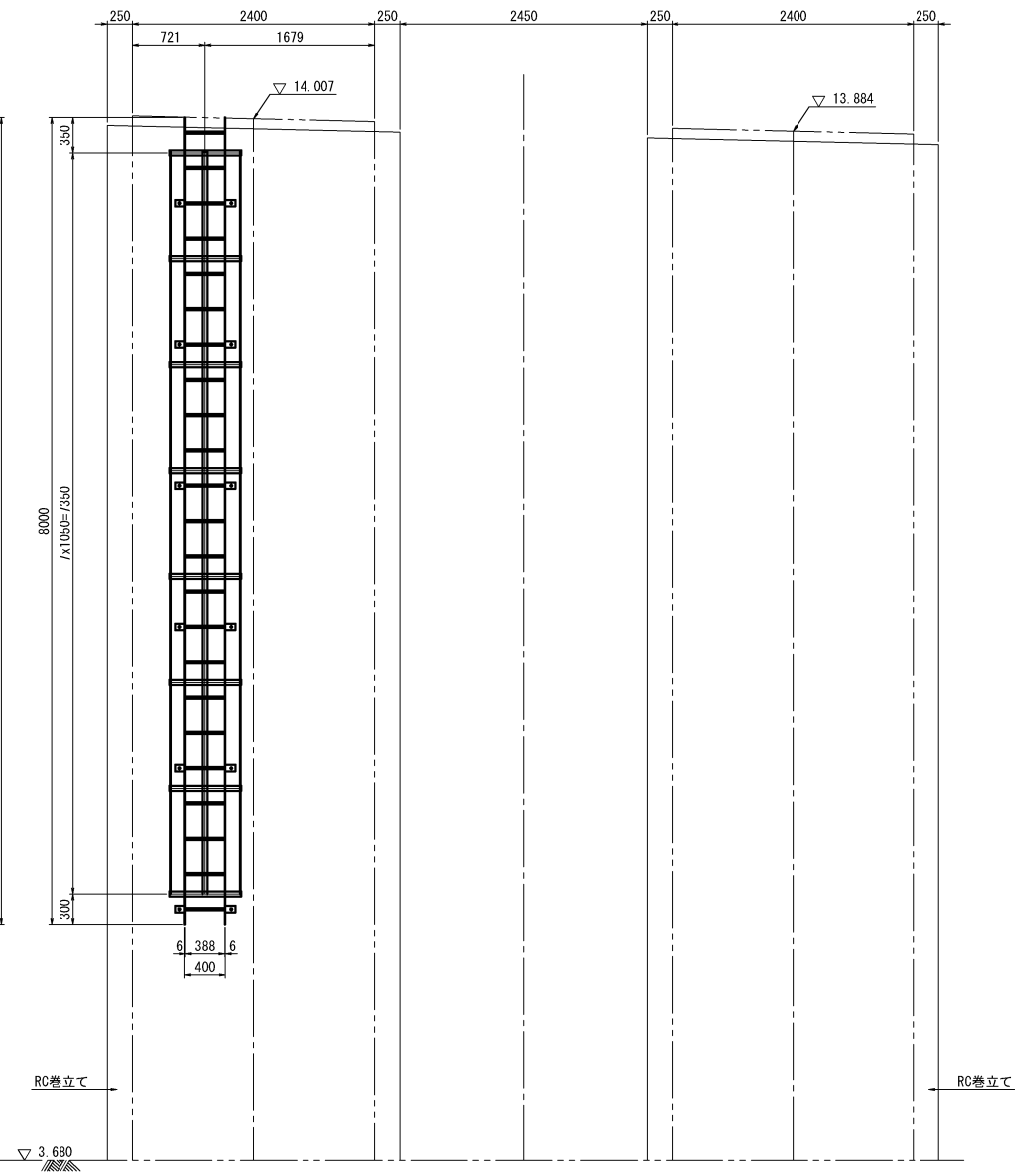
常磐自動車道 久慈川橋耐震補強工事			
図面の種類	茂宮川高架橋 P20 (A-ライン) 検査路 新設工(その6)		
縮 尺	図示	図面番号	111 / 208
設計会社名	株式会社 長 大		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

側面図



正面図

終点側



撤去・設置工

- 2-PL 65 x 6 x 8000
- 8-PL 65 x 6 x 1840
- 3-PL 65 x 6 x 7415
- 16-PL 65 x 6 x 60
- 12-PL 65 x 6 x 250
- 2-PL 65 x 6 x 250---不使用
- 23-RB φ22 x 394

撤去工

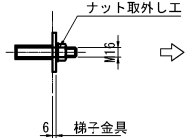
- 14-打ち込み式アンカーボルト M16 x 100

新設工

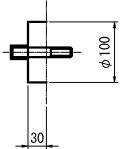
- 12-打ち込み式アンカーボルト M16 x 125

コンクリートアンカー撤去工

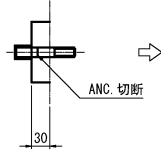
1) ナットを外し、受け台などを撤去。



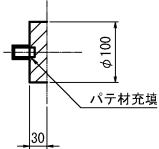
2) φ100 x 30程度削孔。



3) アンカーを切断。



4) 削孔部をパテ材にて埋戻し。



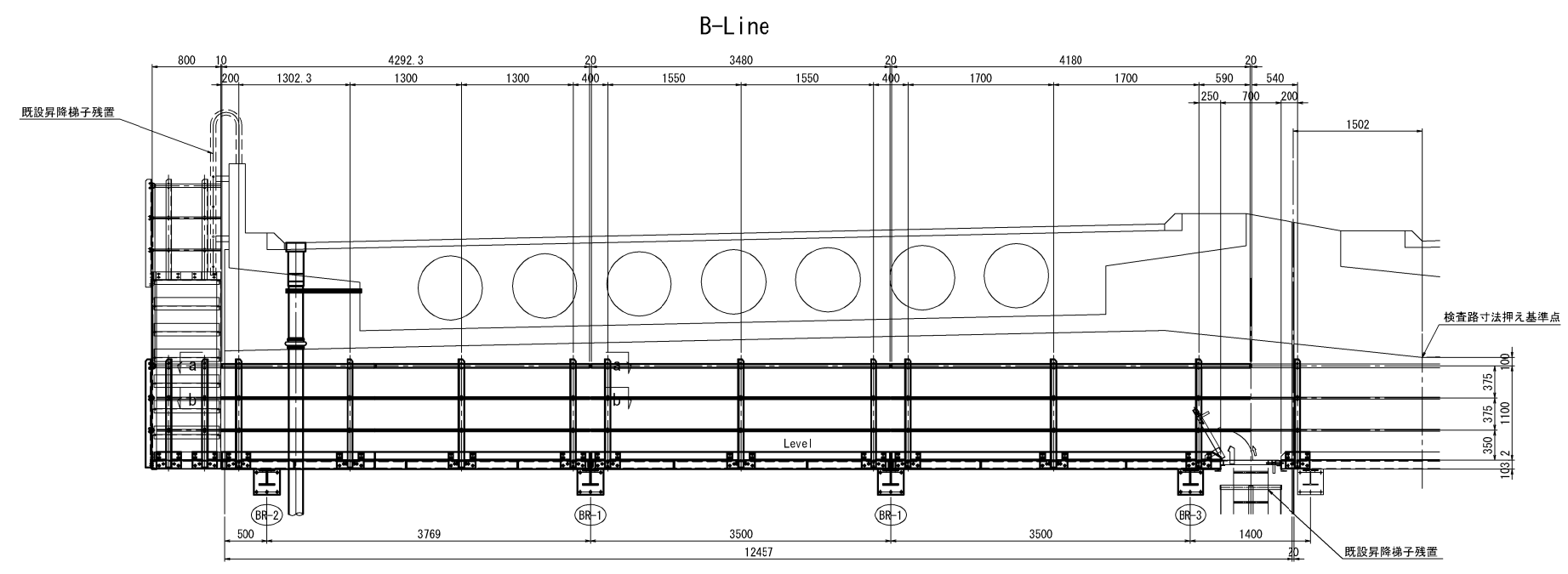
撤去本数

	基数	ANC. 本数	計
受け台	0	0	0
梯子	14	1	14
計			14

注 記

- 施工に当っては、現地調査を行い再確認すること。
特に鋼板の製作は、再計測後実施すること。
- 特記なき材質は、全てS4400とする。
- ナットは、全て弛み止めナットを使用すること。
- 部材は、全て溶融亜鉛めっきとする。
亜鉛の付着量は、JIS H641 HDZT77とする。
但し、ボルト・ナット及び厚さ3.2mm以下の部材は、
HDZT49とする。

常磐自動車道 久慈川橋耐震補強工事			
図面の種類	茂宮川高架橋 P21 (A-ライン 終点側) 検査路 新設工		
縮 尺	図示	図面番号	112 / 208
設計会社名	株式会社 長 大		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水 戸 管 理 事 務 所		



K-1 材料

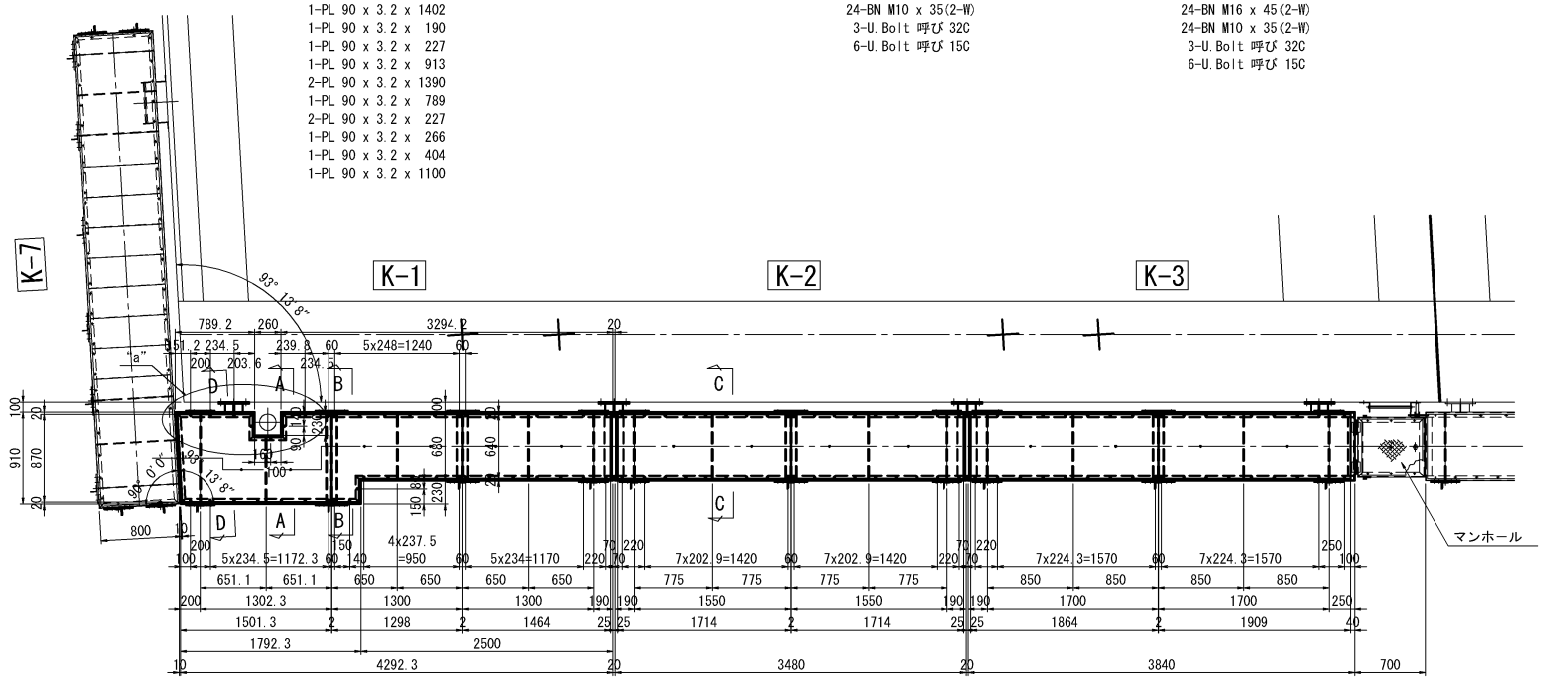
- 1-Pipe φ42.7 x 2.3 x 1804 (STK400)
- 1-Pipe φ42.7 x 2.3 x 273 (STK400)
- 1-Pipe φ42.7 x 2.3 x 2531 (STK400)
- 2-Pipe φ21.7 x 1.9 x 1804 (STK400)
- 2-Pipe φ21.7 x 1.9 x 252 (STK400)
- 2-Pipe φ21.7 x 1.9 x 2510 (STK400)
- 4-L 65 x 65 x 6 x 1258
- 1-PL 90 x 3.2 x 1402
- 1-PL 90 x 3.2 x 190
- 1-PL 90 x 3.2 x 227
- 1-PL 90 x 3.2 x 913
- 2-PL 90 x 3.2 x 1390
- 1-PL 90 x 3.2 x 789
- 2-PL 90 x 3.2 x 227
- 1-PL 90 x 3.2 x 266
- 1-PL 90 x 3.2 x 404
- 1-PL 90 x 3.2 x 1100

K-2 材料

- 4-PL 190 x 13 x 285 (SM400A)
- 4-PL 190 x 13 x 320 (SM400A)
- 32-BN M16 x 45 (2-W)
- 32-BN M10 x 35 (2-W)
- 4-U Bolt 呼び 32C
- 8-U Bolt 呼び 15C
- 1-Pipe φ42.7 x 2.3 x 3480 (STK400)
- 2-Pipe φ21.7 x 1.9 x 3480 (STK400)
- 3-L 65 x 65 x 6 x 1258
- 4-PL 90 x 3.2 x 1640
- 4-PL 190 x 13 x 285 (SM400A)
- 2-PL 190 x 13 x 320 (SM400A)
- 24-BN M16 x 45 (2-W)
- 24-BN M10 x 35 (2-W)
- 3-U Bolt 呼び 32C
- 6-U Bolt 呼び 15C

K-3 材料

- 1-Pipe φ42.7 x 2.3 x 4180 (STK400)
- 2-Pipe φ21.7 x 1.9 x 4180 (STK400)
- 3-L 65 x 65 x 6 x 1258
- 2-PL 90 x 3.2 x 1790
- 2-PL 90 x 3.2 x 1850
- 4-PL 190 x 13 x 285 (SM400A)
- 2-PL 190 x 13 x 320 (SM400A)
- 24-BN M16 x 45 (2-W)
- 24-BN M10 x 35 (2-W)
- 3-U Bolt 呼び 32C
- 6-U Bolt 呼び 15C



K-1 材料

- 1-Ch. PL 879 x 3.2 x 1531 (SS400相当品)
- 1-Ch. PL 879 x 3.2 x 1298 (SS400相当品)
- 1-Ch. PL 644 x 3.2 x 1464 (SS400相当品)
- 1-CH 100 x 50 x 5 x 7.5 x 1792
- 3-CH 100 x 50 x 5 x 7.5 x 280
- 1-CH 100 x 50 x 5 x 7.5 x 2550
- 1-CH 100 x 50 x 5 x 7.5 x 789
- 1-CH 100 x 50 x 5 x 7.5 x 360
- 1-CH 100 x 50 x 5 x 7.5 x 3294
- 1-CH 100 x 50 x 5 x 7.5 x 911

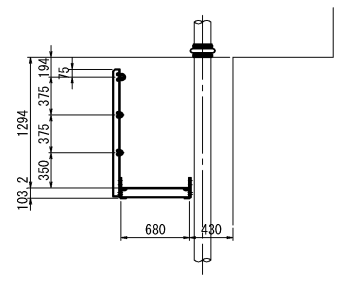
K-2 材料

- 2-Ch. PL 640 x 3.2 x 1714 (SS400相当品)
- 2-CH 100 x 50 x 5 x 7.5 x 3480
- 2-L 75 x 75 x 6 x 670
- 1-FB 90 x 9 x 900
- 4-FB 90 x 9 x 670
- 43-BN M10 x 30 (1-W, 1-TW)
- 1-PL 160 x 9 x 890 (SM400A)
- 1-PL 60 x 9 x 660 (SM400A)

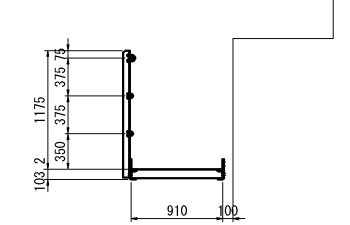
K-3 材料

- 1-Ch. PL 640 x 3.2 x 1864 (SS400相当品)
- 1-Ch. PL 640 x 3.2 x 1909 (SS400相当品)
- 2-CH 100 x 50 x 5 x 7.5 x 3834
- 1-CH 125 x 65 x 6 x 8 x 680
- 1-L 75 x 75 x 6 x 670
- 2-L 50 x 50 x 6 x 670
- 4-FB 90 x 9 x 670
- 36-BN M10 x 30 (1-W, 1-TW)
- 1-PL 60 x 9 x 660 (SM400A)
- 1-PL 160 x 9 x 660 (SM400A)

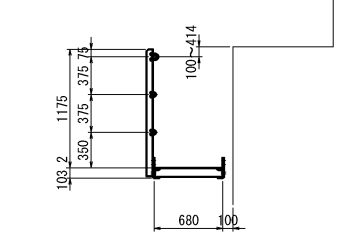
A - A



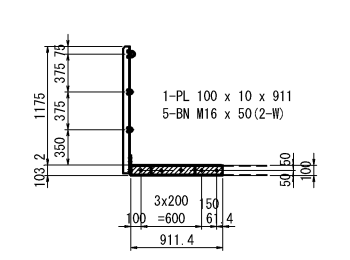
B - B



C - C



D - D

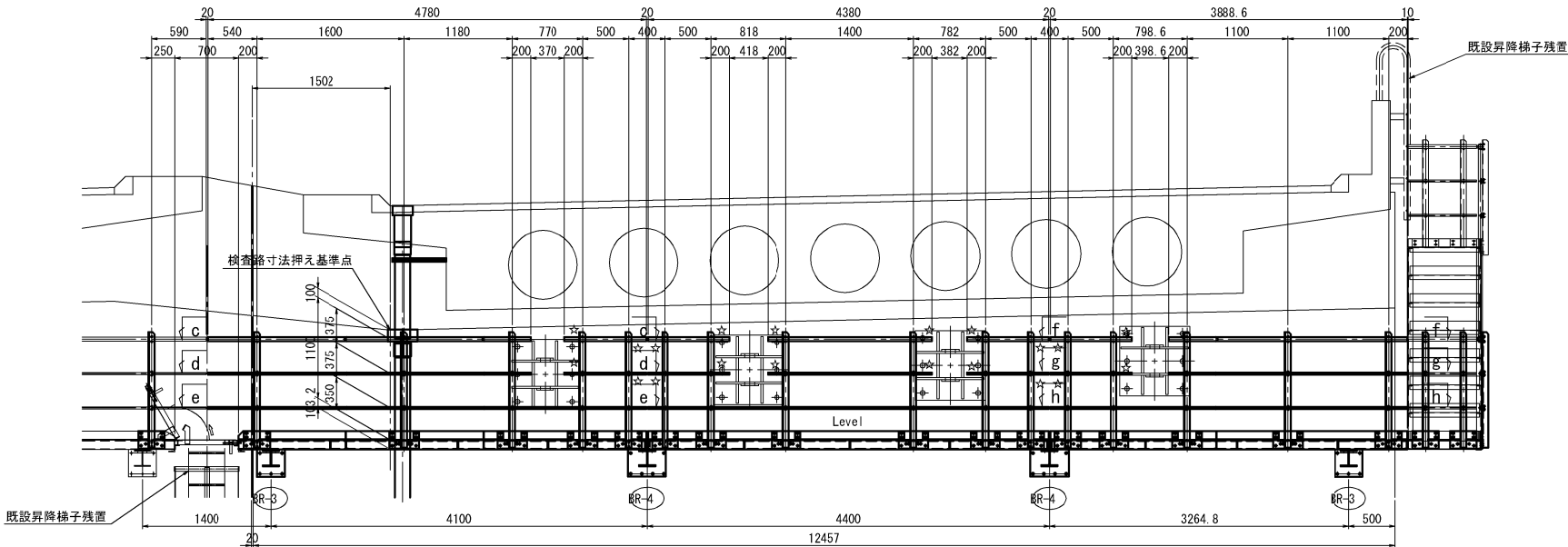


注 記

1. 施工に当たっては、現地調査を行い再確認すること。
特に鋼板の製作は、再計測後実施すること。
2. 特記なき材質は、全てSS400とする。
3. Uボルト付き(G形)以外のナットは、全て弛み止めナットを使用すること。
4. 部材は、全て溶融亜鉛めっきとする。
亜鉛の付着量は、JIS H8641 IDZT77とする。
但し、ボルト・ナット及び厚さ3.2mm以下の部材は、HDZT49とする。
5. a-a, b-b, "a" 部詳細は、「A2(A,B-ライン) 検査路 新設工(その4)」図を参照のこと。

常磐自動車道 久慈川橋耐震補強工事			
図面の種類	茂宮川高架橋 A2(A,B-ライン) 検査路 新設工(その1)		
縮 尺	図示	図面番号	113 / 208
設計会社名	株式会社 長 大		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

A-Line



K-4 材料

1-Pipe $\phi 42.7 \times 2.3 \times 1539$ (STK400)
1-Pipe $\phi 42.7 \times 2.3 \times 273$ (STK400)
1-Pipe $\phi 42.7 \times 2.3 \times 1543$ (STK400)
1-Pipe $\phi 42.7 \times 2.3 \times 233$ (STK400)
1-Pipe $\phi 42.7 \times 2.3 \times 524$ (STK400)
1-Pipe $\phi 42.7 \times 2.3 \times 890$ (STK400)
2-Pipe $\phi 21.7 \times 1.9 \times 1528$ (STK400)
2-Pipe $\phi 21.7 \times 1.9 \times 252$ (STK400)
2-Pipe $\phi 21.7 \times 1.9 \times 1522$ (STK400)
2-Pipe $\phi 21.7 \times 1.9 \times 212$ (STK400)
1-Pipe $\phi 21.7 \times 1.9 \times 513$ (STK400)
1-Pipe $\phi 21.7 \times 1.9 \times 890$ (STK400)
1-Pipe $\phi 21.7 \times 1.9 \times 1773$ (STK400)
5-L $65 \times 65 \times 6 \times 1258$

1-PL $90 \times 3.2 \times 1654$
3-PL $90 \times 3.2 \times 227$
1-PL $90 \times 3.2 \times 266$
1-PL $90 \times 3.2 \times 967$
2-PL $90 \times 3.2 \times 570$
2-PL $90 \times 3.2 \times 590$
1-PL $90 \times 3.2 \times 1171$
1-PL $90 \times 3.2 \times 532$
1-PL $90 \times 3.2 \times 771$
1-PL $90 \times 3.2 \times 187$
1-PL $90 \times 3.2 \times 212$
4-PL $190 \times 13 \times 285$ (SM400A)
5-PL $190 \times 13 \times 320$ (SM400A)
36-BN M16 $\times 45$ (2-W)
36-BN M10 $\times 35$ (2-W)
5-U Bolt 呼び 32C
10-U Bolt 呼び 15C

K-5 材料

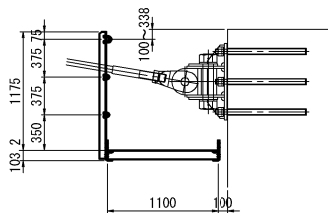
2-Pipe $\phi 42.7 \times 2.3 \times 890$ (STK400)
1-Pipe $\phi 42.7 \times 2.3 \times 1830$ (STK400)
2-Pipe $\phi 21.7 \times 1.9 \times 890$ (STK400)
1-Pipe $\phi 21.7 \times 1.9 \times 1830$ (STK400)
1-Pipe $\phi 21.7 \times 1.9 \times 4390$ (STK400)
6-L $65 \times 65 \times 6 \times 1258$
4-PL $90 \times 3.2 \times 590$
2-PL $90 \times 3.2 \times 618$
2-PL $90 \times 3.2 \times 1200$
2-PL $90 \times 3.2 \times 582$
4-PL $190 \times 13 \times 285$ (SM400A)
8-PL $190 \times 13 \times 320$ (SM400A)
48-BN M16 $\times 45$ (2-W)
48-BN M10 $\times 35$ (2-W)
6-U Bolt 呼び 32C
12-U Bolt 呼び 15C

K-6 材料

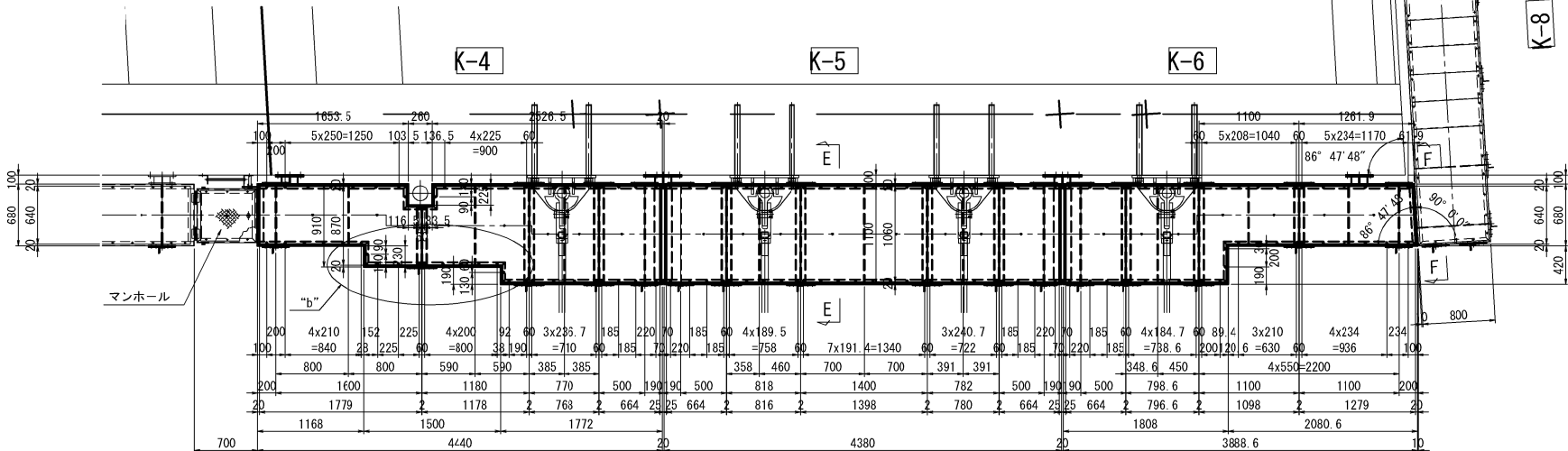
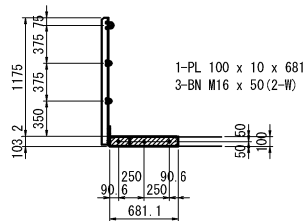
1-Pipe $\phi 42.7 \times 2.3 \times 890$ (STK400)
1-Pipe $\phi 42.7 \times 2.3 \times 532$ (STK400)
1-Pipe $\phi 42.7 \times 2.3 \times 463$ (STK400)
1-Pipe $\phi 42.7 \times 2.3 \times 2111$ (STK400)
1-Pipe $\phi 21.7 \times 1.9 \times 890$ (STK400)
1-Pipe $\phi 21.7 \times 1.9 \times 521$ (STK400)
2-Pipe $\phi 21.7 \times 1.9 \times 2101$ (STK400)
2-Pipe $\phi 21.7 \times 1.9 \times 442$ (STK400)
1-Pipe $\phi 21.7 \times 1.9 \times 1810$ (STK400)
5-L $65 \times 65 \times 6 \times 1258$

2-PL $90 \times 3.2 \times 590$
2-PL $90 \times 3.2 \times 599$
1-PL $90 \times 3.2 \times 900$
2-PL $90 \times 3.2 \times 1200$
1-PL $90 \times 3.2 \times 220$
1-PL $90 \times 3.2 \times 417$
1-PL $90 \times 3.2 \times 684$
4-PL $190 \times 13 \times 285$ (SM400A)
6-PL $190 \times 13 \times 320$ (SM400A)
40-BN M16 $\times 45$ (2-W)
40-BN M10 $\times 35$ (2-W)
5-U Bolt 呼び 32C
10-U Bolt 呼び 15C

E - E



F - F



K-4 材料

1-Ch. PL $870 \times 3.2 \times 1779$ (SS400相当品)
1-Ch. PL $1060 \times 3.2 \times 1178$ (SS400相当品)
1-Ch. PL $1060 \times 3.2 \times 768$ (SS400相当品)
1-Ch. PL $1060 \times 3.2 \times 664$ (SS400相当品)
1-Ch. $125 \times 65 \times 6 \times 8 \times 680$
1-Ch $100 \times 50 \times 5 \times 7.5 \times 1648$
1-Ch $100 \times 50 \times 5 \times 7.5 \times 360$
1-Ch $100 \times 50 \times 5 \times 7.5 \times 2527$
1-Ch $100 \times 50 \times 5 \times 7.5 \times 1212$
1-Ch $100 \times 50 \times 5 \times 7.5 \times 1550$
3-Ch $100 \times 50 \times 5 \times 7.5 \times 280$
1-Ch $100 \times 50 \times 5 \times 7.5 \times 240$
1-Ch $100 \times 50 \times 5 \times 7.5 \times 1772$

1-L $75 \times 75 \times 6 \times 1090$
2-L $50 \times 50 \times 6 \times 670$
4-L $50 \times 50 \times 6 \times 1090$
2-FB $90 \times 9 \times 670$
1-FB $90 \times 9 \times 900$
2-FB $90 \times 9 \times 1090$
51-BN M10 $\times 30$ (1-W, 1-TW)
1-PL $60 \times 9 \times 1080$ (SM400A)
1-PL $160 \times 9 \times 660$ (SM400A)

K-5 材料

2-Ch. PL $1060 \times 3.2 \times 664$ (SS400相当品)
1-Ch. PL $1060 \times 3.2 \times 816$ (SS400相当品)
1-Ch. PL $1060 \times 3.2 \times 1398$ (SS400相当品)
1-Ch. PL $1060 \times 3.2 \times 780$ (SS400相当品)
2-Ch $100 \times 50 \times 5 \times 7.5 \times 4380$
2-L $75 \times 75 \times 6 \times 1090$
8-L $50 \times 50 \times 6 \times 1090$
5-FB $90 \times 9 \times 1090$
50-BN M10 $\times 30$ (1-W, 1-TW)
2-PL $60 \times 9 \times 1080$ (SM400A)

K-6 材料

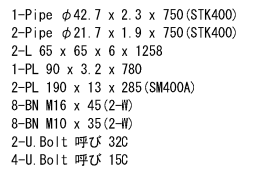
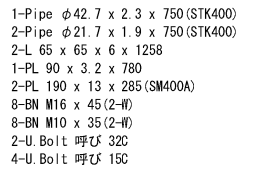
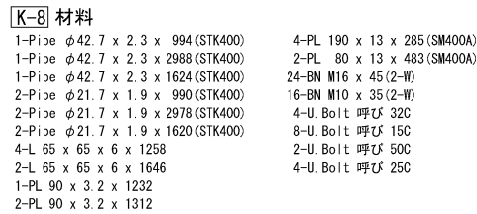
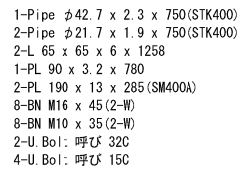
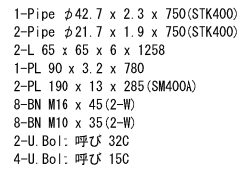
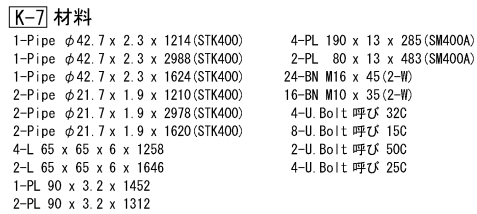
1-Ch. PL $1060 \times 3.2 \times 664$ (SS400相当品)
1-Ch. PL $1060 \times 3.2 \times 797$ (SS400相当品)
1-Ch. PL $1060 \times 3.2 \times 1098$ (SS400相当品)
1-Ch. PL $640 \times 3.2 \times 1279$ (SS400相当品)
1-Ch $100 \times 50 \times 5 \times 7.5 \times 681$
1-Ch $100 \times 50 \times 5 \times 7.5 \times 3851$
1-Ch $100 \times 50 \times 5 \times 7.5 \times 1808$
1-Ch $100 \times 50 \times 5 \times 7.5 \times 470$
1-Ch $100 \times 50 \times 5 \times 7.5 \times 2131$

1-L $75 \times 75 \times 6 \times 1090$
2-L $50 \times 50 \times 6 \times 670$
4-L $50 \times 50 \times 6 \times 1090$
3-FE $90 \times 9 \times 670$
2-FE $90 \times 9 \times 1090$
44-BN M10 $\times 30$ (1-W, 1-TW)
1-PL $160 \times 9 \times 660$ (SM400A)
1-PL $60 \times 9 \times 1080$ (SM400A)

注 記

1. 施工に当たっては、現地調査を行い再確認すること。
特に鋼板の製作は、再計測後実施すること。
2. 特記なき材質は、全てSS400とする。
3. Uボルト付き(C形)以外のナットは、全て弛み止めナットを使用すること。
4. 部材は、全て溶融垂鉛めっきとする。
垂鉛の付着量は、JIS H8641 IDZT77とする。
但し、ボルト・ナット及び厚さ3.2mm以下の部材は、HDZT49とする。
5. ☆印箇所の手摺は、抜け落ち防止加工を施す。
6. c-c~h-h “b” 部詳細は、「A2(A,B-ライン) 検査路 新設工(その4)」図を参照のこと。

常磐自動車道 久慈川橋耐震補強工事			
図面の種類	茂宮川高架橋 A2(A,B-ライン) 検査路 新設工(その2)		
縮 尺	図示	図面番号	114/208
設計会社名	株式会社 長 大		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		



注記

1. 施工に当たっては、現地調査を行い再確認すること。
特に鋼板の製作は、再計測後実施すること。
2. 特記なき材質は、全てSS400とする。
3. Uボルト付き(C形)以外のナットは、全て締め止めナットを使用すること。
4. 部材は、全て溶融亜鉛めっきとする。
垂鉛の付量量は、JIS H8641 IDZ777とする。
但し、ホルト・ナット及び厚さ3.2mm以下の部材は、HDZ749とする。
5. ☆印箇所の手摺は、抜け落ち防止加工を施す。

2. 特記なき材質は、全てSS400とする。
3. Uボルト付き（C形）の全てのナットは、全て締め止めナットを使用すること。
4. 部材は、全て溶融亜鉛めっきとする。
亜鉛の付着量は、JIS H8641 HDZ777とする。
但し、ボルト・ナット及び厚さ3.2mm以下の部材は、HDZ749とする。
5. 凸印箇所の手摺は、抜け落ち防止加工を施す。

4. 部材は、全て溶融亜鉛めっきとする。
亜鉛の付着量は、JIS H8641 IDZT77とする。
但し、ボルト・ナット及び厚さ3.2mm以下の部材は、
HDZT49とする。
5. ☆印箇所の手摺は、抜け落ち防止加工を施す。

4. 部材は、全て溶融亜鉛めっきとする。
垂鉛の付着量は、JIS H8641 HDZT77とする。
但し、ボルト・ナット及び厚さ3.2mm以下の部材は、
HDZT49とする。
5. ☆印箇所の手摺は、抜け落ち防止加工を施す。

5. ☆印箇所の手摺は、抜け落ち防止加工を施す。

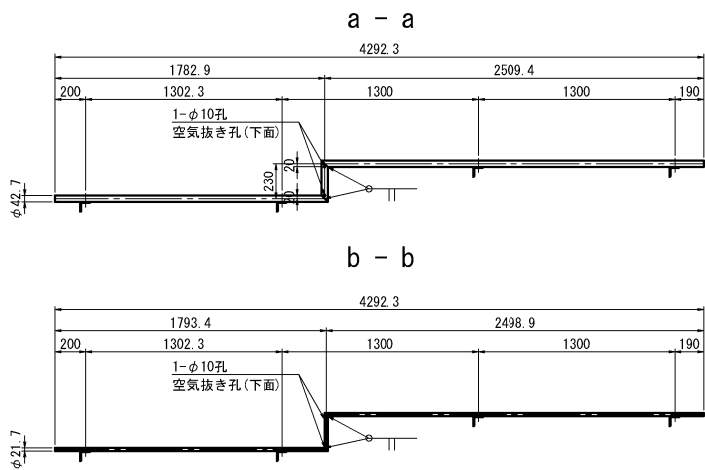
9. 4中圖所の予指は、抜り溶ち防止加工を施す。

- 非營利組織

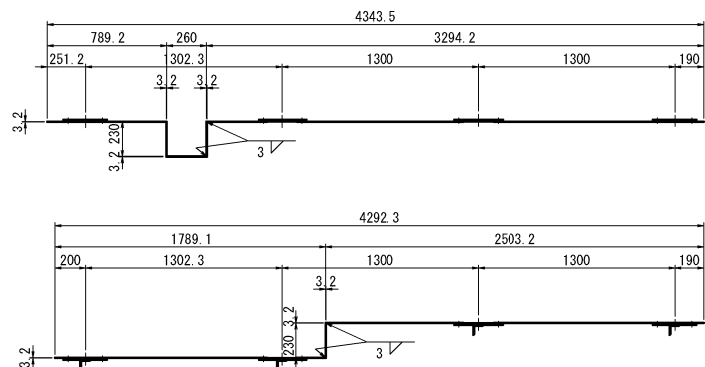
常盤自動車道 久慈川橋脚震補強工事				
図面の種類	茂岡川高架橋 A2 (A.8-ライン) 検査路 新設工 (その3)			
縮 尺	図示	図面番号	115 / 208	
設計会社名	株式会社 長 大			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所			

図面の種類	茂吉川高架橋 A2(A・B-ライン) 検査路 新設工(その3)		
縮 尺	図示	図面番号	115/208
設計会社名	株式会社 長 大		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

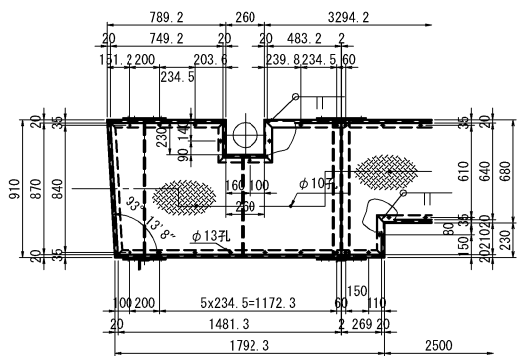
拡幅部手摺曲げ詳細



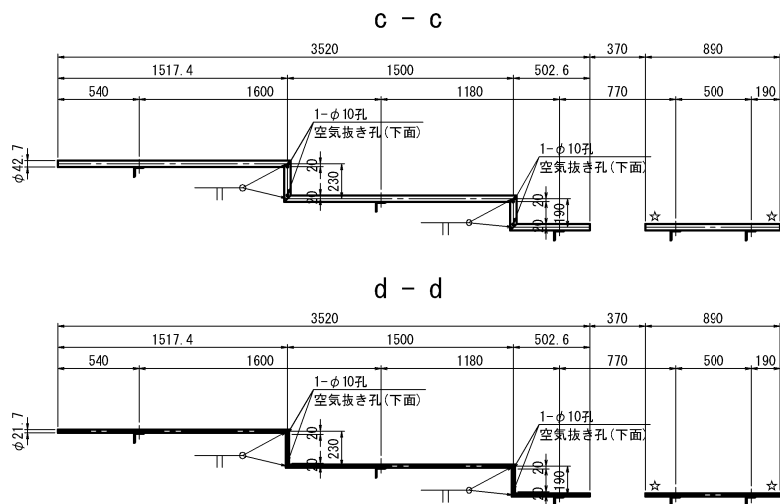
拡幅部爪先板曲げ詳細



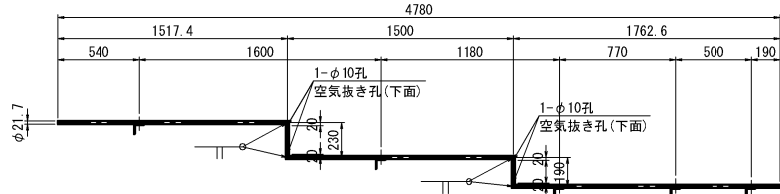
“a” 部詳細図



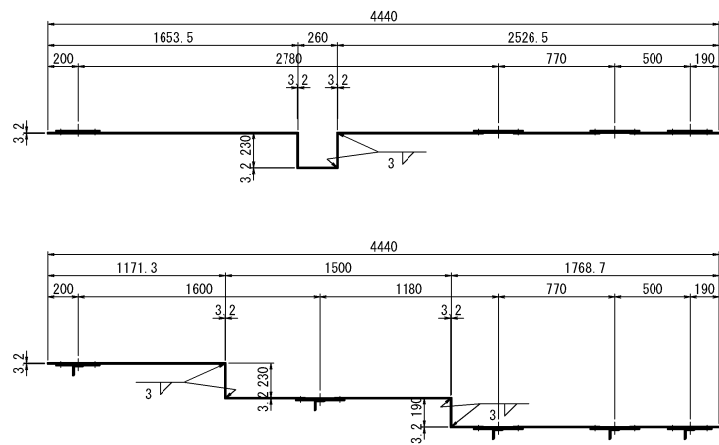
拡幅部手摺曲げ詳細



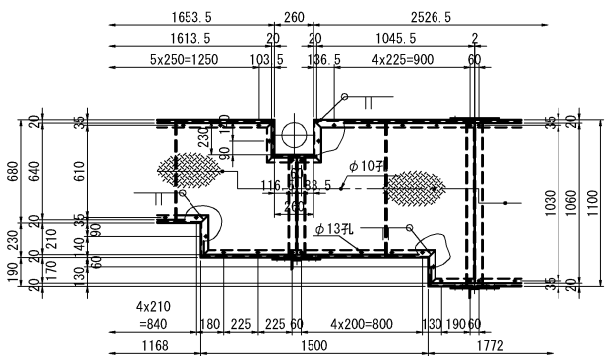
e - e



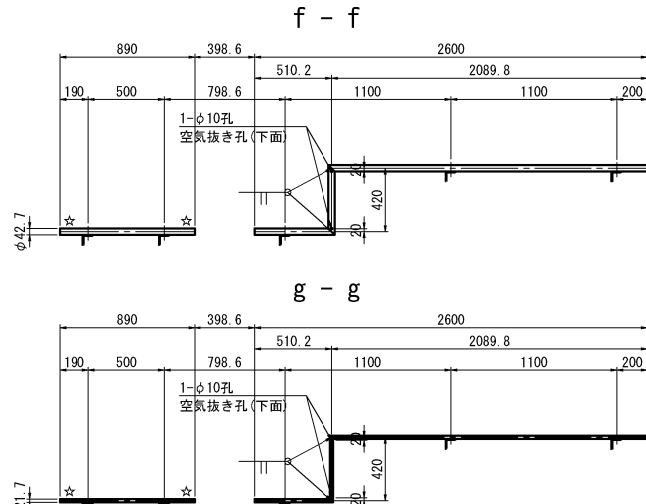
拡幅部爪先板曲げ詳細



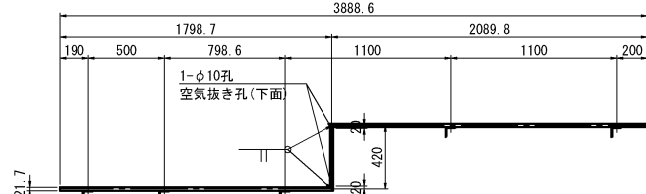
“b” 部詳細図



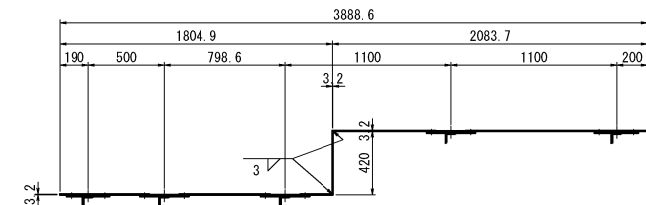
拡幅部手摺曲げ詳細



h - h



拡幅部爪先板曲げ詳細

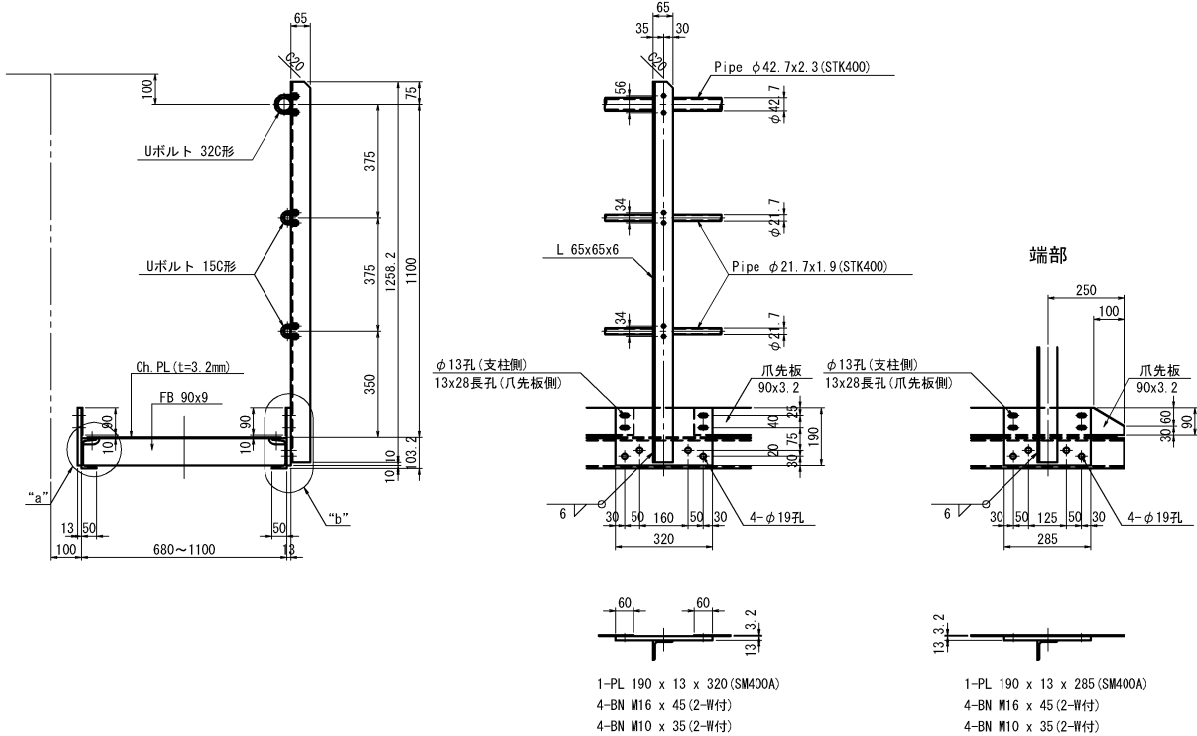


- 注 記
1. 施工に当たっては、現地調査を行い再確認すること。
特に鋼板の製作は、再計測後実施すること。
 2. 特記なき材質は、全てSS400とする。
 3. Uボルト付き(G形)以外のナットは、全て弛み止めナットを使用すること。
 4. 部材は、全て溶融亜鉛めっきとする。
亜鉛の付着量は、JIS H8641 4DZT77とする。
但し、ボルト・ナット及び厚さ3.2mm以下の部材は、HDZT49とする。
 5. ☆印箇所の手摺は、抜け落ち防止加工を施す。

常磐自動車道 久慈川橋耐震補強工事			
図面の種類	茂宮川高架橋 A2(A,B-ライン) 検査路 新設工(その4)		
縮 尺	図示	図面番号	116／208
設計会社名	株式会社 長 大		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

歩廊断面及び構造詳細図

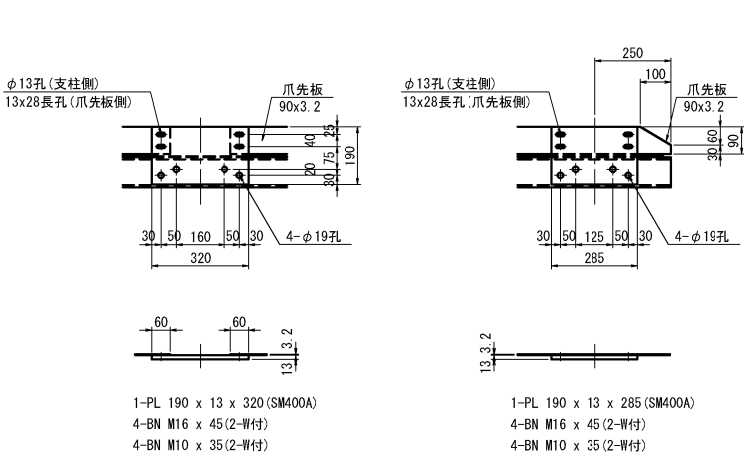
爪先板有り



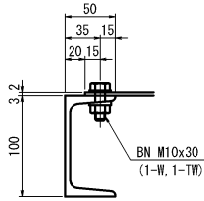
橋脚側爪先板詳細

一般部

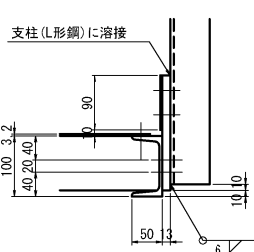
端部



“a” 部詳細図 S=1:7.5

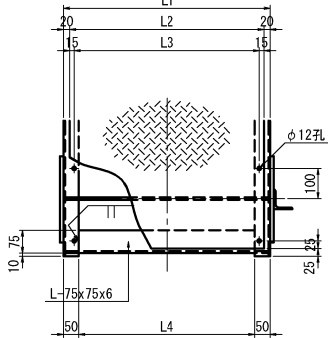


“b” 部詳細図 S=1:12.5

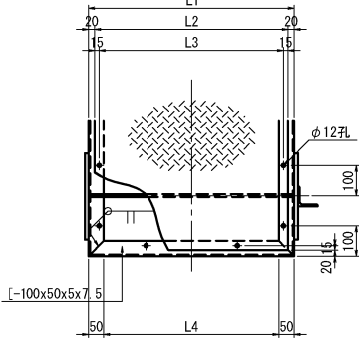


歩廊端部詳細図

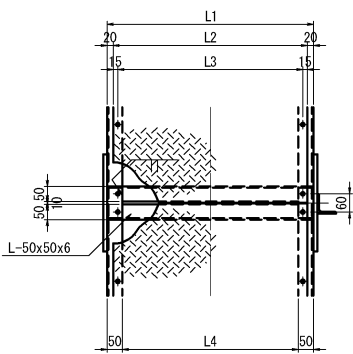
かけ違い部



端部



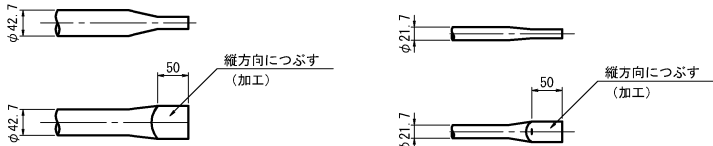
歩廊分割部詳細図



手摺抜け落ち防止加工 S=1:12.5

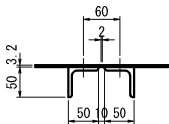
上レール

中レール



注) 支柱が2本の箇所は抜け落ち防止加工とする。

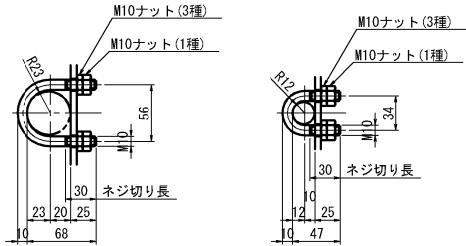
A - A S=1:12.5



Uボルト詳細図 S=1:7.5

32C形

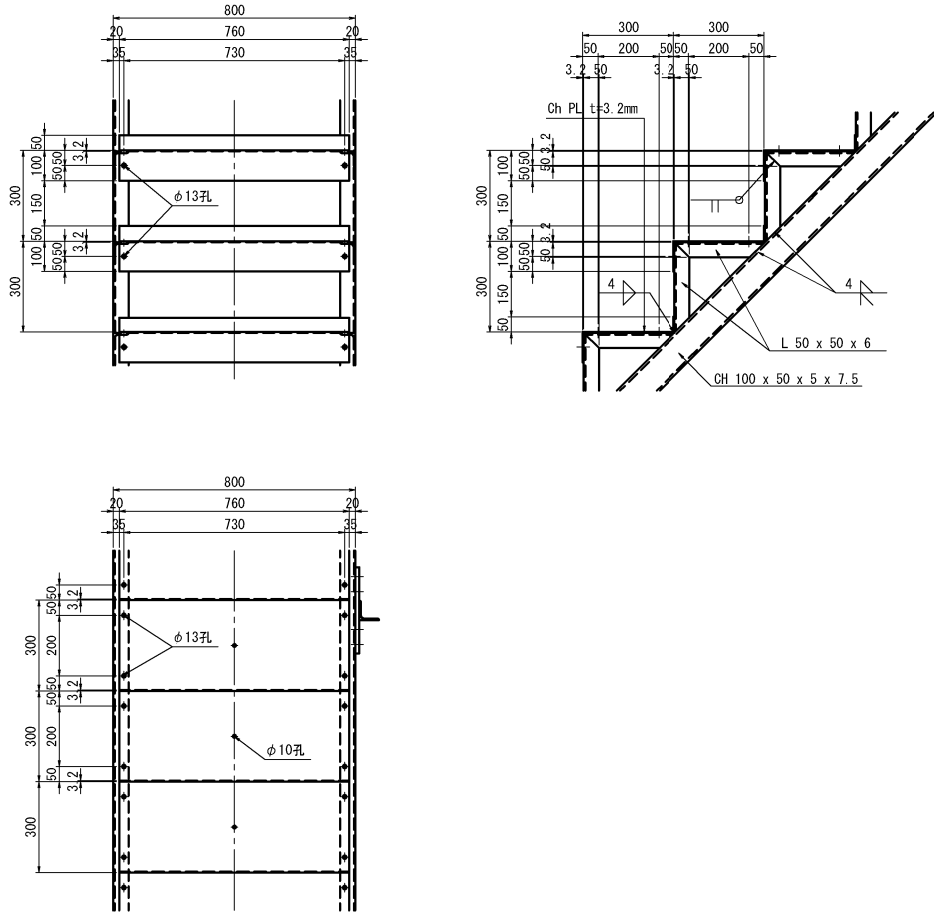
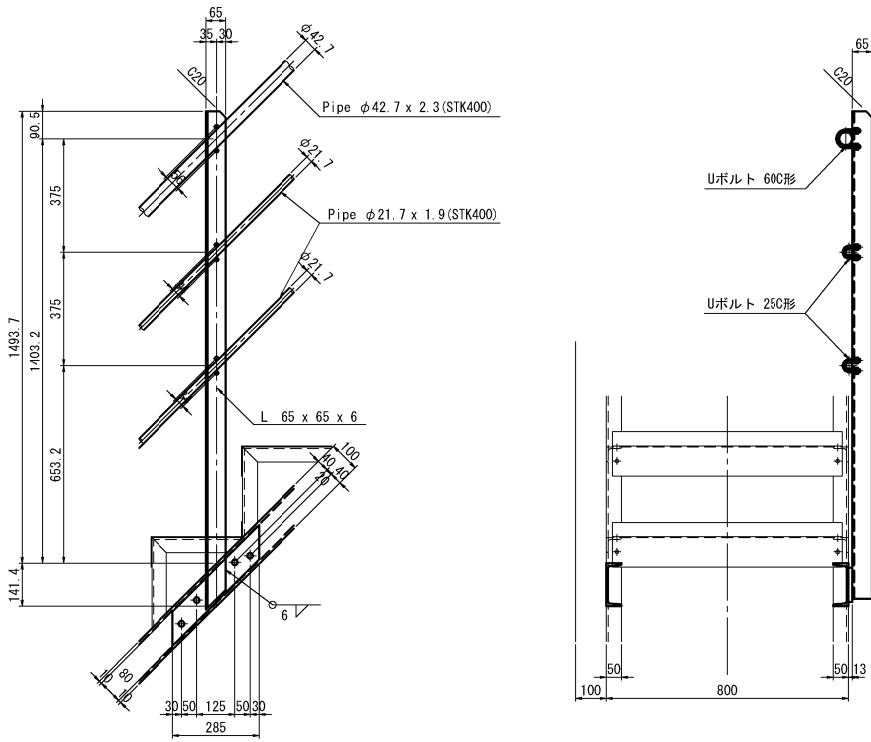
15C形



- 注 記
- 特記なき材質は、全てSS400とする。
 - Uボルト付き以外のナットは、全て弛み止めナットを使用すること。
 - 部材は、全て溶融亜鉛めっきとする。亜鉛の付着量は、JIS H8641 4DZ77とする。但し、ボルト・ナット及び厚さ3.2mm以下の部材は、HDZT49とする。

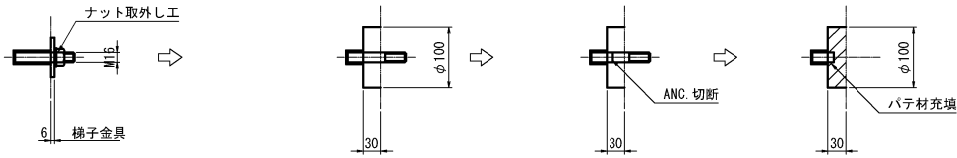
常磐自動車道 久慈川橋耐震補強工事			
図面の種類	茂宮川高架橋 A2(A、B-ライン) 検査路 新設工(その5)		
縮 尺	図示	図面番号	117/208
設計会社名	株式会社 長 大		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

階段詳細図



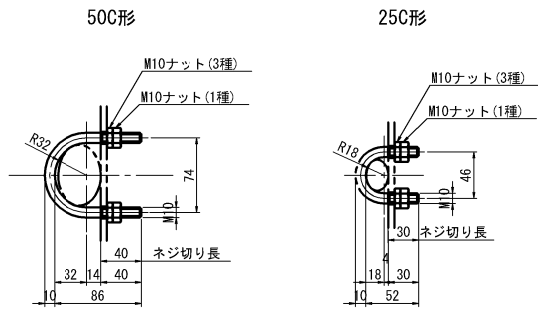
コンクリートアンカー撤去工

- 1) ナットを取外し、受け台などを撤去。 2) $\phi 100 \times 30$ 程度削孔。 3) アンカーを切断。 4) 削孔部をパテ材にて埋戻し。



撤去本数			
	基数	ANC. 本数	計
受け台	18	6	108

Uボルト詳細図 S=1:7.5

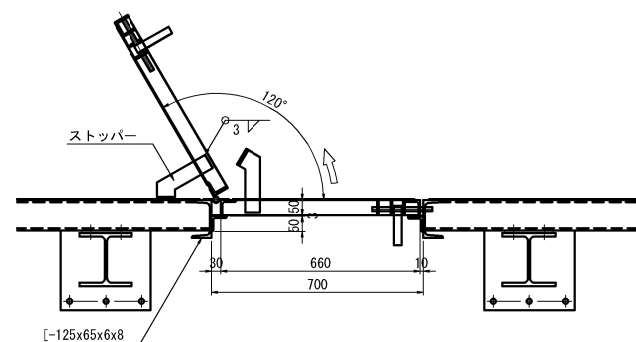
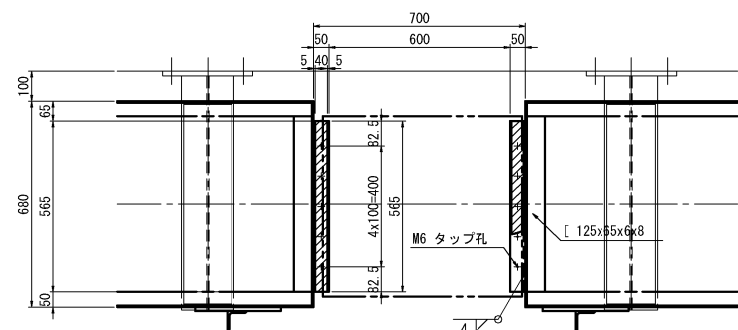
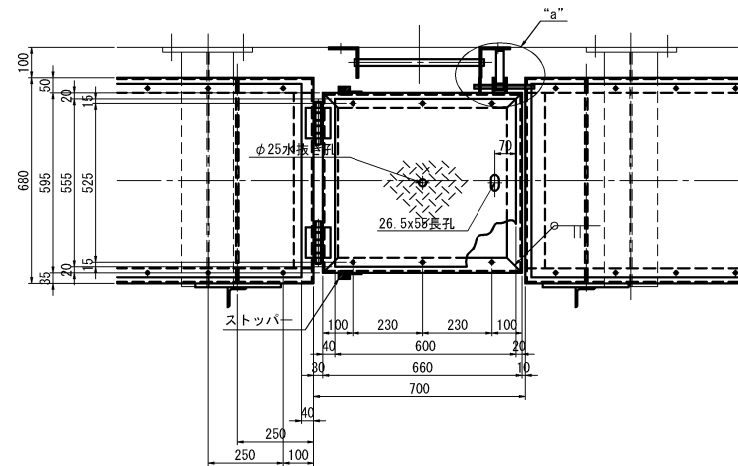


注記

1. 施工に当たっては、現地調査を行い再確認すること。
特に鋼板の製作は、再計測後実施すること。
2. 特記なき材料は、全てSS400とする。
3. Uボルト付き以外のナットは、全て締め止めナットを使用すること。
4. 部材は、全て溶融亜鉛めっきとする。
亜鉛の付着量は、JIS H8641 IDZ777とする。
但し、ボルト・ナット及び厚さ3.2mm以下の部材は、
HDZ149とする。

常磐自動車道 久慈川橋耐震補強工事			
図面の種類	茂岡川高架橋 A2 (A・B-ライン) 検査路 新設工 (その 6)		
縮 尺	図示	図面番号	118 / 208
設計会社名	株式会社 長 大		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 水戸管理事務所		関東支社

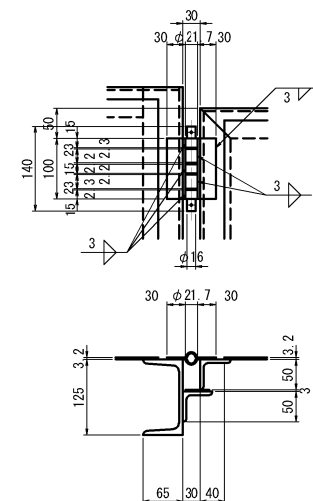
マンホール詳細図



製作数:1

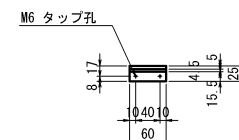
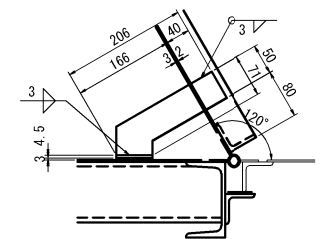
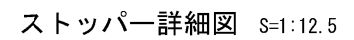
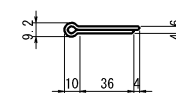
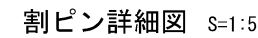
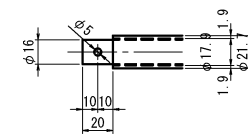
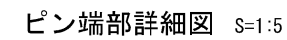
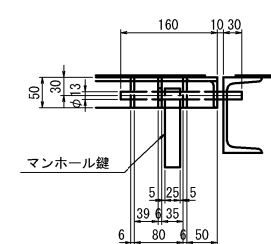
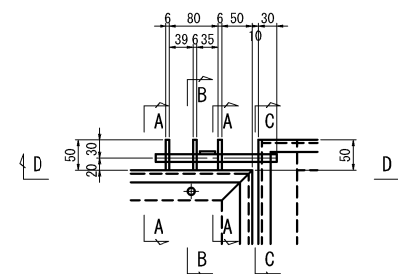
※ 2-ゴム 40 x 3 x 565 (エチレンプロピレンゴム)
10-皿ネジ M6 x 8

2-L 50 x 50 x 6 x 660
2-L 50 x 50 x 6 x 595
1-Ch. PL 555 x 3.2 : 600 (SS400相当品)
2-FB 50 x 6 x 50
1-FB 50 x 6 x 50
6-BN M10 x 30 (2-W)



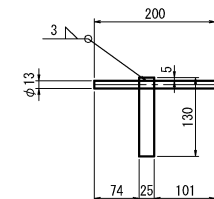
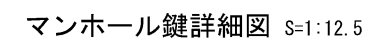
1箇所当り部材(設置数:2箇所)

2-PL 30 x 3.2 x 100
3-Pipe $\phi 21.7 \times 1.9 \times 15$ (STK400)
2-Pipe $\phi 21.7 \times 1.9 \times 23$ (STK400)
1-RB $\phi 16 \times 140$
2-割ピン $\phi 5 \times 36$ (SWRM8)



1箇所当り部材(設置数:2箇所)

1-PL 25 x 4.5 x 60
1-PL 206 x 4.5 x 71
※ 1-ゴム 25 x 3 x 60(エチレンプロピレンゴム)
2-皿ネジ M6 x 8



1箇所当り部材(設置数:1箇所)

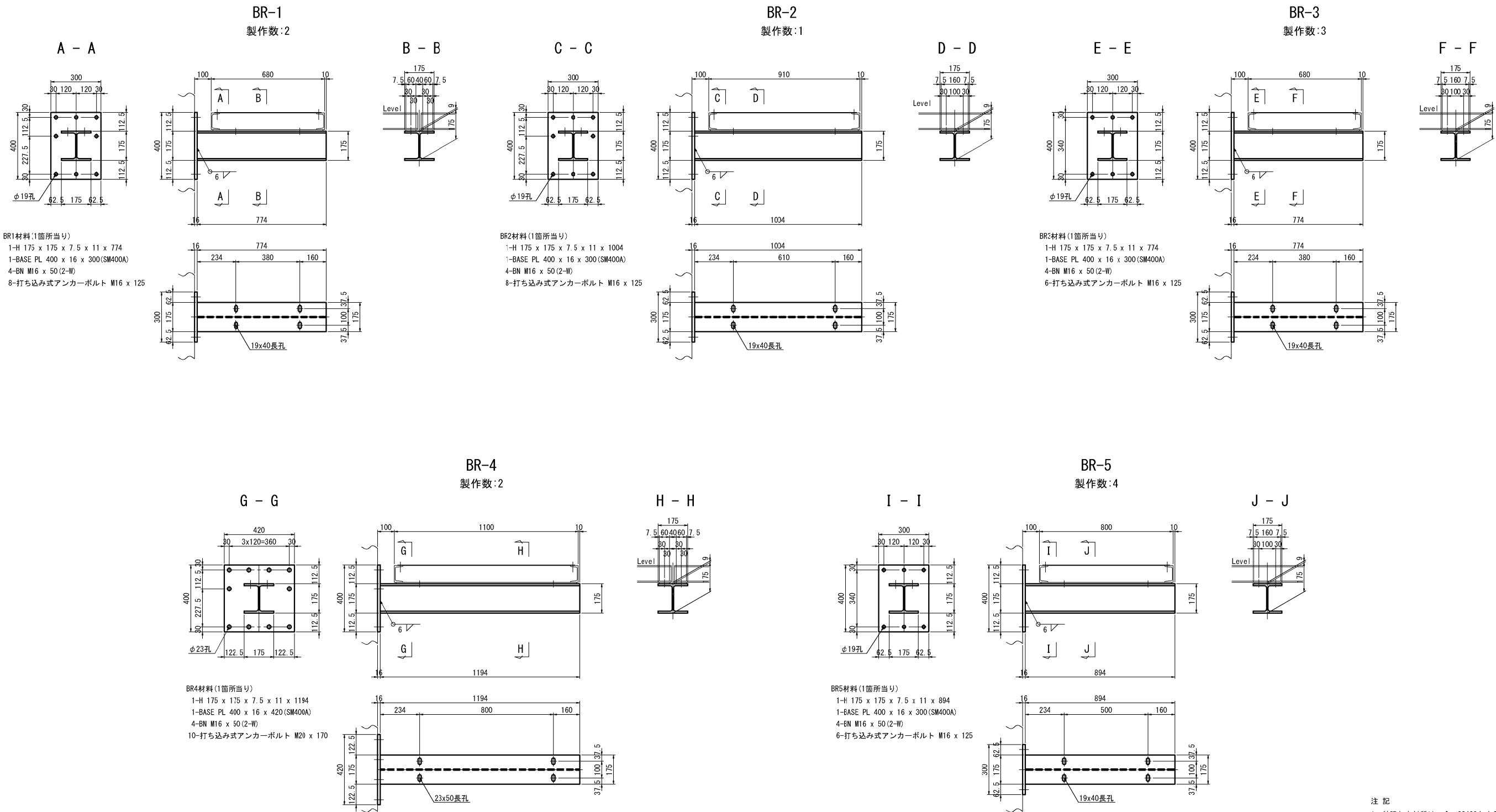
1-RB $\phi 13 \times 200$
1-FB $25 \times 4.5 \times 130$

注記

1. 施工に当っては、現地調査を行い再確認すること。
特に鋼板の製作は、再計測後実施すること。
2. 特記なき材質は、全てSS400とする。
3. Uボルト付き(C形)以外のナットは、全て締め止め
ナットを使用すること。
4. ※印付部材以外は、全て溶融亜鉛めっきとする。
亜鉛の付着量は、JIS H8641 HDZ777とする。
但し、ボルト・ナット及び厚さ3.2mm以下の部材は、
HDZ749とする。

常磐自動車道 久慈川橋耐震補強工事			
図面の種類	茂吉川高架橋 A2 (A、B-ライン) 株査路 新設工(その?)		
縮 尺	図示	図面番号	119/208
設計会社名	株式会社 長 大		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

ブラケット詳細図

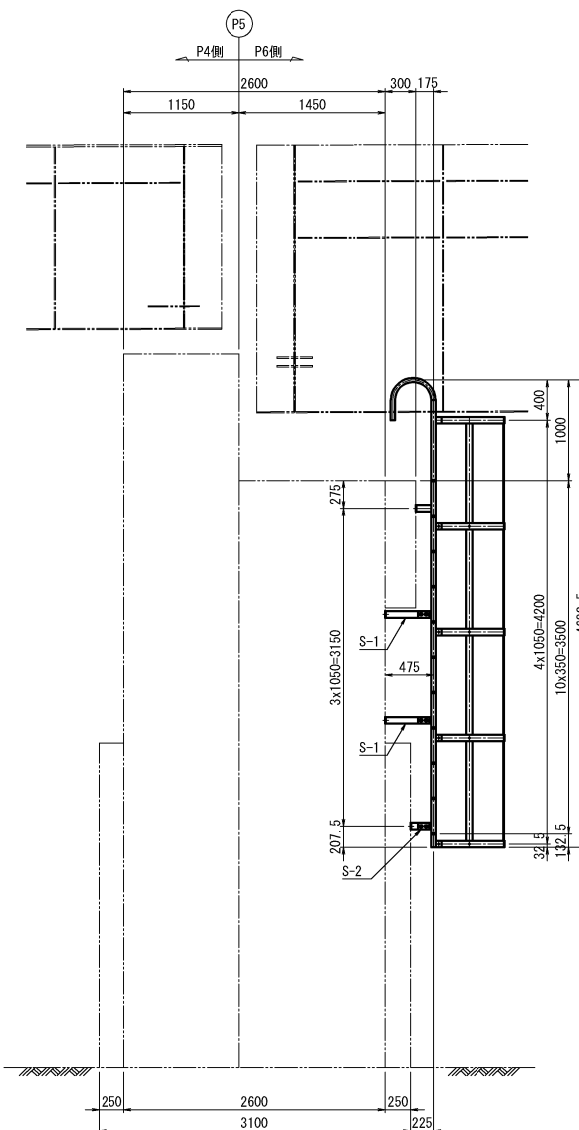


注 記

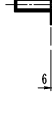
- 特記なき材質は、全てSS400とする。
- ナットは、全て弛み止めナットを使用すること。
- 部材は、全て溶融亜鉛めっきとする。
亜鉛の付着量は、JIS H8641 HDZT77とする。
但し、ボルト・ナット及び厚さ3.2mm以下の部材は、
HDZT49とする。

常磐自動車道 久慈川橋耐震補強工事			
図面の種類	茂宮川高架橋 A2(A,B-ライン) 検査路 新設工(その8)		
縮 尺	図示	図面番号	120/208
設計会社名	株式会社 長 大		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		


8-打ち込み式アンカーボルト M16 x 100



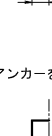
1) ナットを取外し、受け台などを撤去。



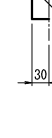
2) $\phi 100 \times 30$ 程度削孔。



3) アンカーを切断。

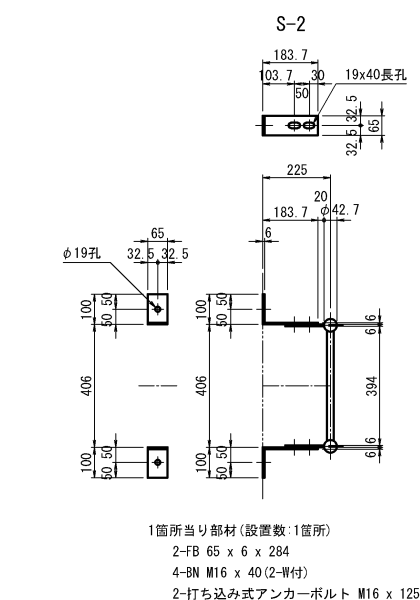


4) 削孔部をパテ材にて埋戻し。



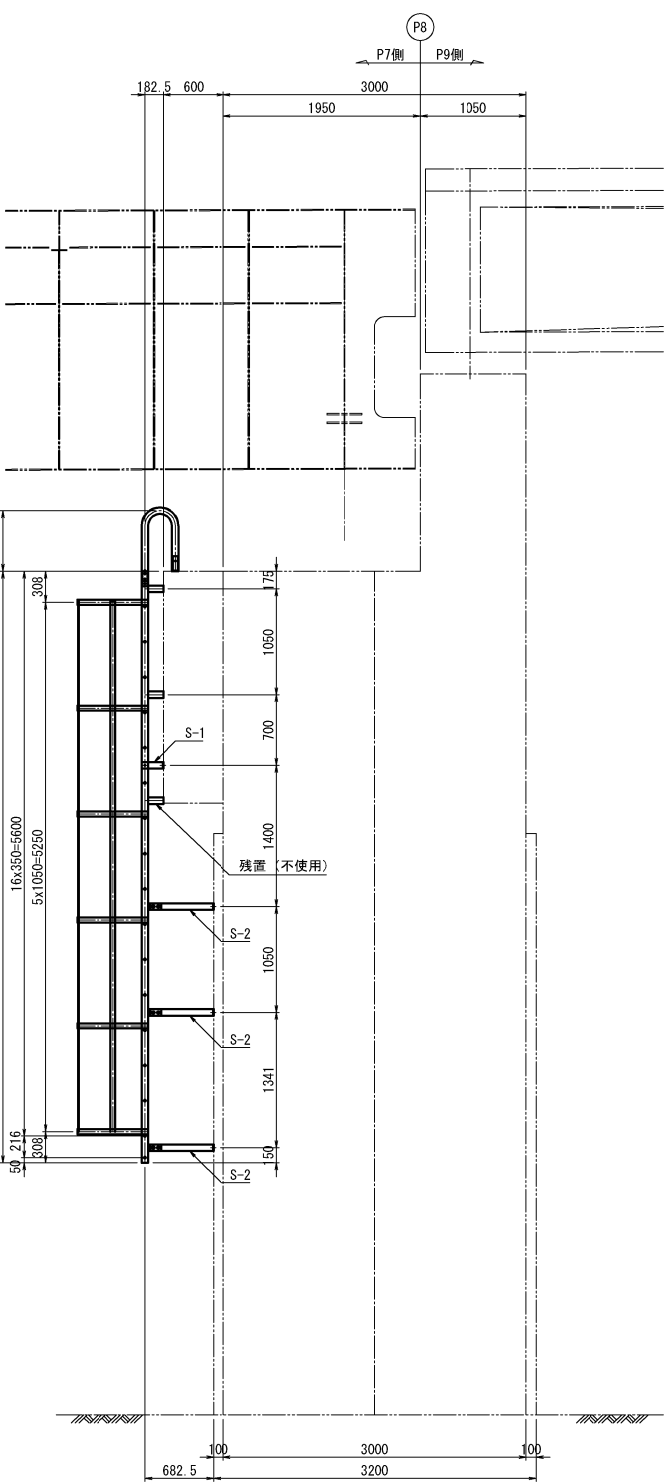
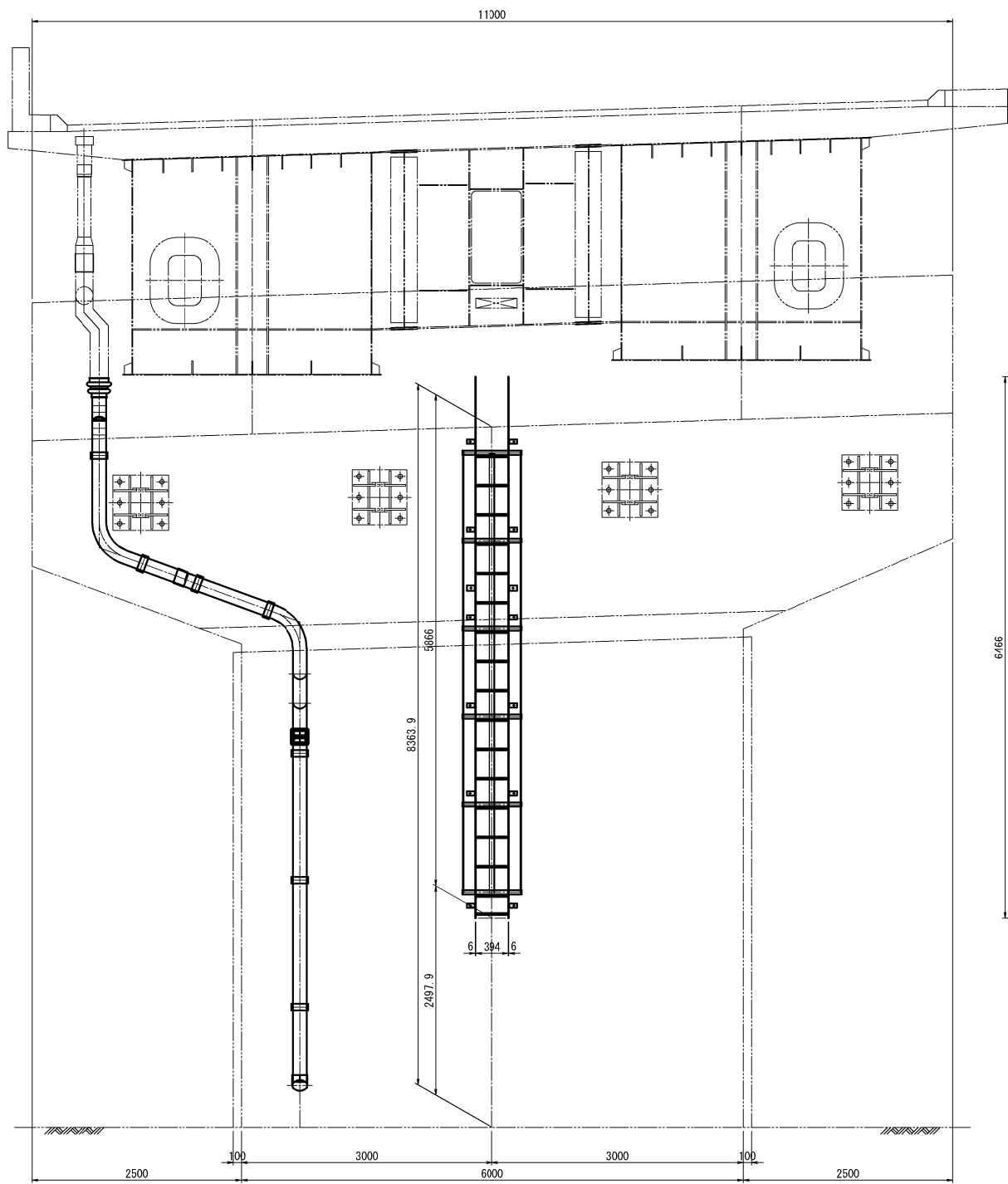
撤去本数			
	基数	ANC 本数	計
受け台	0	0	0
梯子	8	1	8
計			8

1. 施工に当たっては、現地調査を行い再確認すること。
特に鋼板の製作は、再計測後実施すること。
2. 特記なき材質は、全てSS400とする。
3. Uボルト付き(〇形)以外のナットは、全て締め止め
ナットを使用すること。
4. 部材は、全て溶融亜鉛めっきとする。
亜鉛の付着量は、JIS H8641・HDZ777とする。
但し、ボルト・ナット及び厚さ3.2mm以下の部材は、
HDZ749とする。
5. ボルト孔は、めっき付着量を考慮し、
ボルト径+3mmを標準とする。

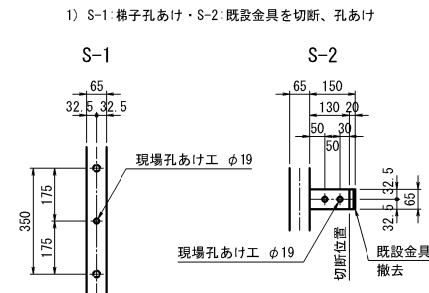


常盤自動車道			
久慈川橋耐震補強工事			
図面の種類	茂吉川高架橋 P5 (B-ライン) 検査路 撤去・設高車、新設工		
縮 尺	図式	図面番号	121 / 208
設計会社名	株式会社 長 大		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

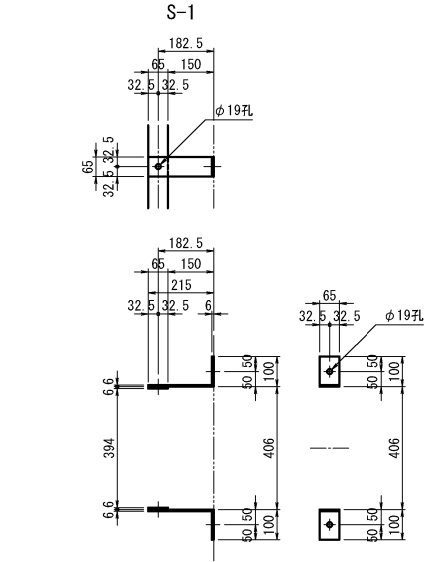
起点側正面図



金具新設部詳細図 S=1:25

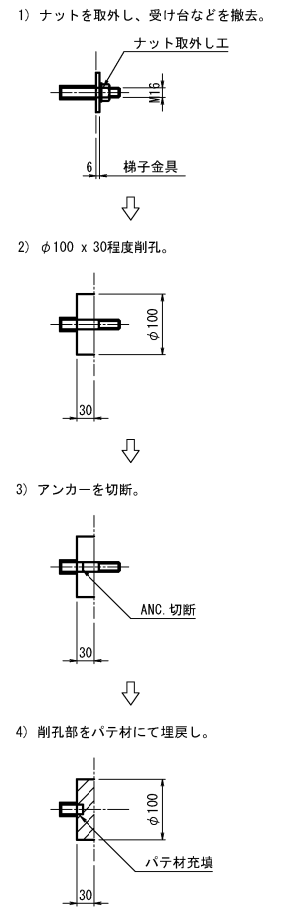


2) 新規金具設置



1箇所当り部材(設置数:1箇所)
2-FB 65 x 6 x 315
2-BN M16 x 40 (2-W付)
2-打ち込み式アンカーボルト M16 x 125

打ち込み式アンカーボルト撤去工



撤去本数			
	基数	ANC. 本数	計
受け台	0	0	0
梯子	14	1	14
計			14

- 注 記
- 施工に当っては、現地調査を行い再確認すること。
特に鋼板の製作は、再計測後実施すること。
 - 特記なき材質は、全てSS400とする。
 - Uボルト付き(G形)以外のナットは、全て弛み止めナットを使用すること。
 - 部材は、全て溶融垂鉛めっきとする。
垂鉛の付着量は、JIS H8641 HDZ777とする。
但し、ボルト・ナット及び厚さ3.2mm以下の部材は、HDZ749とする。
 - ボルト孔は、めっき付着量を考慮し、ボルト径+3mmを標準とする。

撤去・設置工(1組)

2-PL 55 x 6 x 5866
2-PL 55 x 6 x 1371
6-PL 55 x 6 x 1840
3-PL 55 x 6 x 5315
12-PL 65 x 6 x 60
4-PL 55 x 6 x 250
2-PL 55 x 6 x 250・・・不使用
6-PL 55 x 6 x 130・・・切断、孔あけ加工
2-FB 50 x 6 x 250
2-FB 50 x 6 x 150
18-RB φ22 x 394(SR24)
38-BN M16 x 40

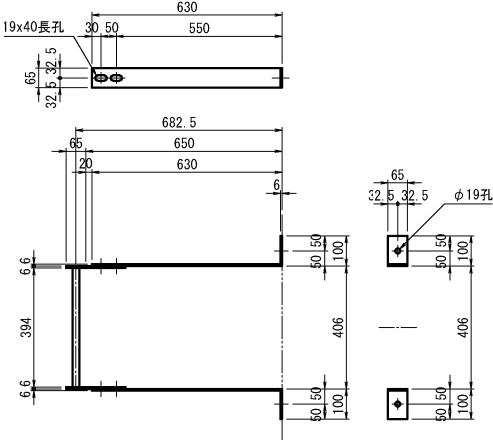
新規部材(再設置用)

6-打ち込み式アンカーボルト M16 x 125

撤去工(1組)

6-PL 65 x 6 x 120
14-打ち込み式アンカーボルト M16 x 100

S-2



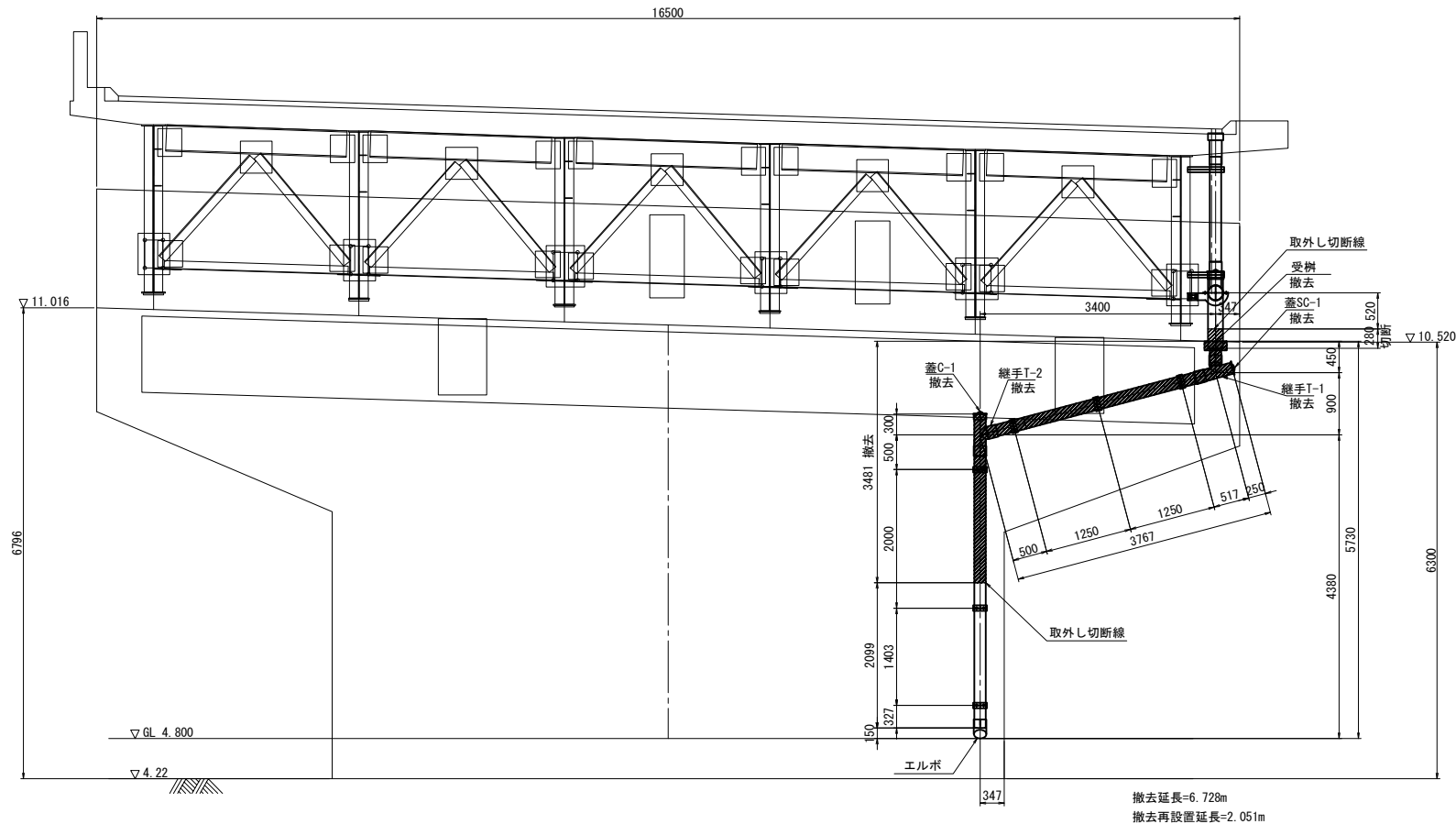
1箇所当り部材(設置数:2箇所)
2-FE 65 x 6 x 730
4-BN M16 x 40 (2-W付)
2-打ち込み式アンカーボルト M16 x 125

常設自動車道 久慈川橋耐震補強工事			
図面の種類	茂宮川高架橋 P8(B-ライン) 検査路 撤去・設置工、新設工		
縮 尺	図示	図面番号	122/208
設計会社名	株式会社 長 大		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

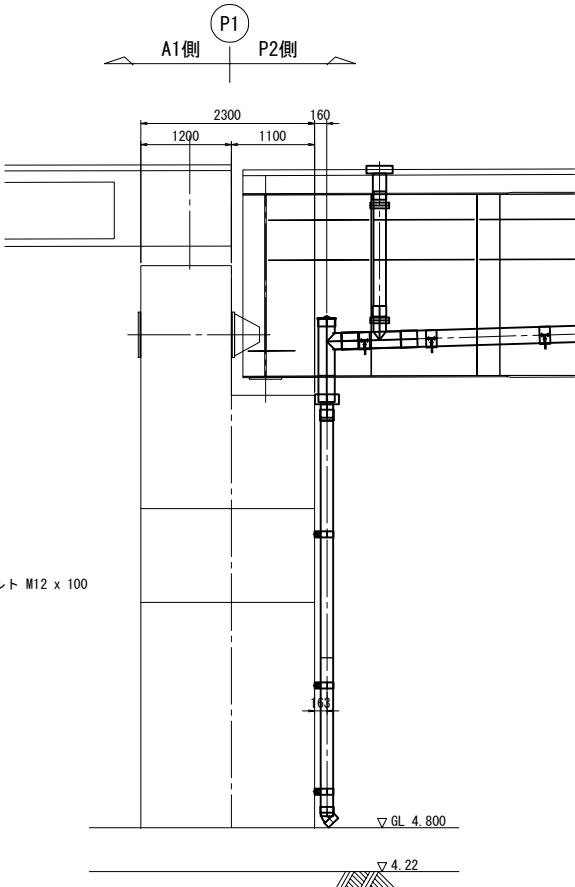
正面図

既設撤去図

側面図



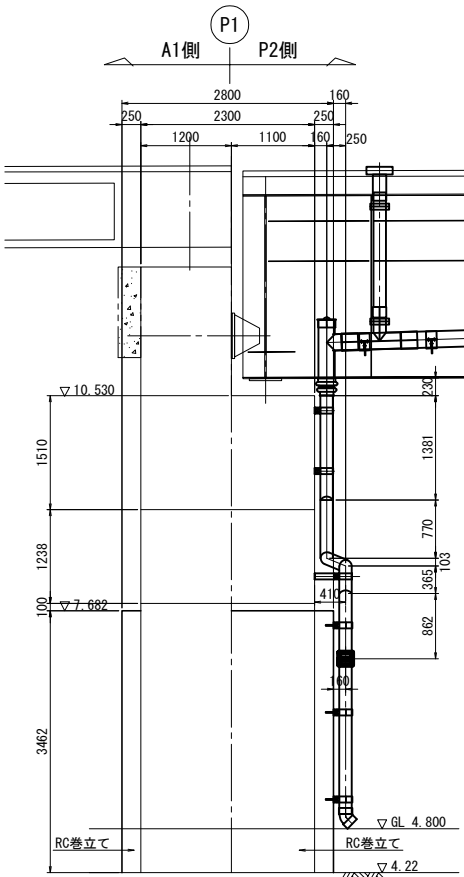
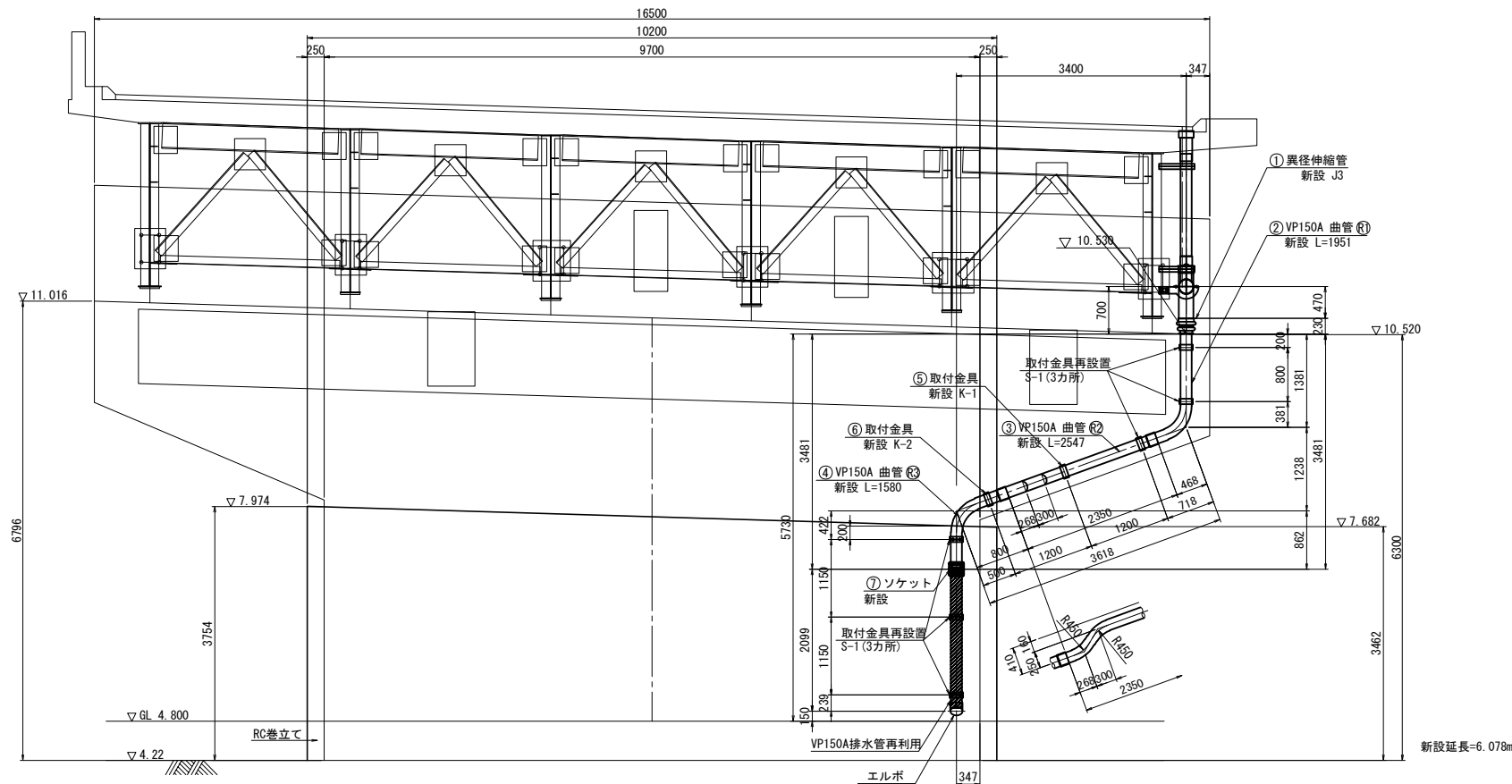
撤去工
1-受樹
1-継手T-1
1-蓋SC-1
1-継手T-2
1-蓋C-1
VP150A排水管 L=6448
VP200A排水管 L=280
12-BN M12 x 40(2-W)
12-打ち込み式アンカーボルト M12 x 100



正面図

設置図

側面図



新設工
① 異径伸縮管 J3
② 1-曲管 R1
③ 1-曲管 R2
④ 1-曲管 R3
⑤ 1-取付金具 K-1
⑥ 1-取付金具 K-2
⑦ 1-ソケット
12-BN M12 x 40(2-W)
12-打ち込み式アンカーボルト M12 x 100

撤去・設置工
VP150A 排水管 L=2051
6-取付金具 S-1

注記
1. 既設取付金具は原則再利用とする。
2. 現地実測の上、製作のこと。
3. 特記なき材質は、全てSS400とする。
4. ナットは全て弛み止めナットを使用すること。
5. 新設部材は、全て溶融亜鉛めっきとする。
垂鉛の付着量は、JIS H8641 HDZT77とする。
但し、ボルト・ナット及び厚さ3.2mm以下の部材は、
HDZT49とする。

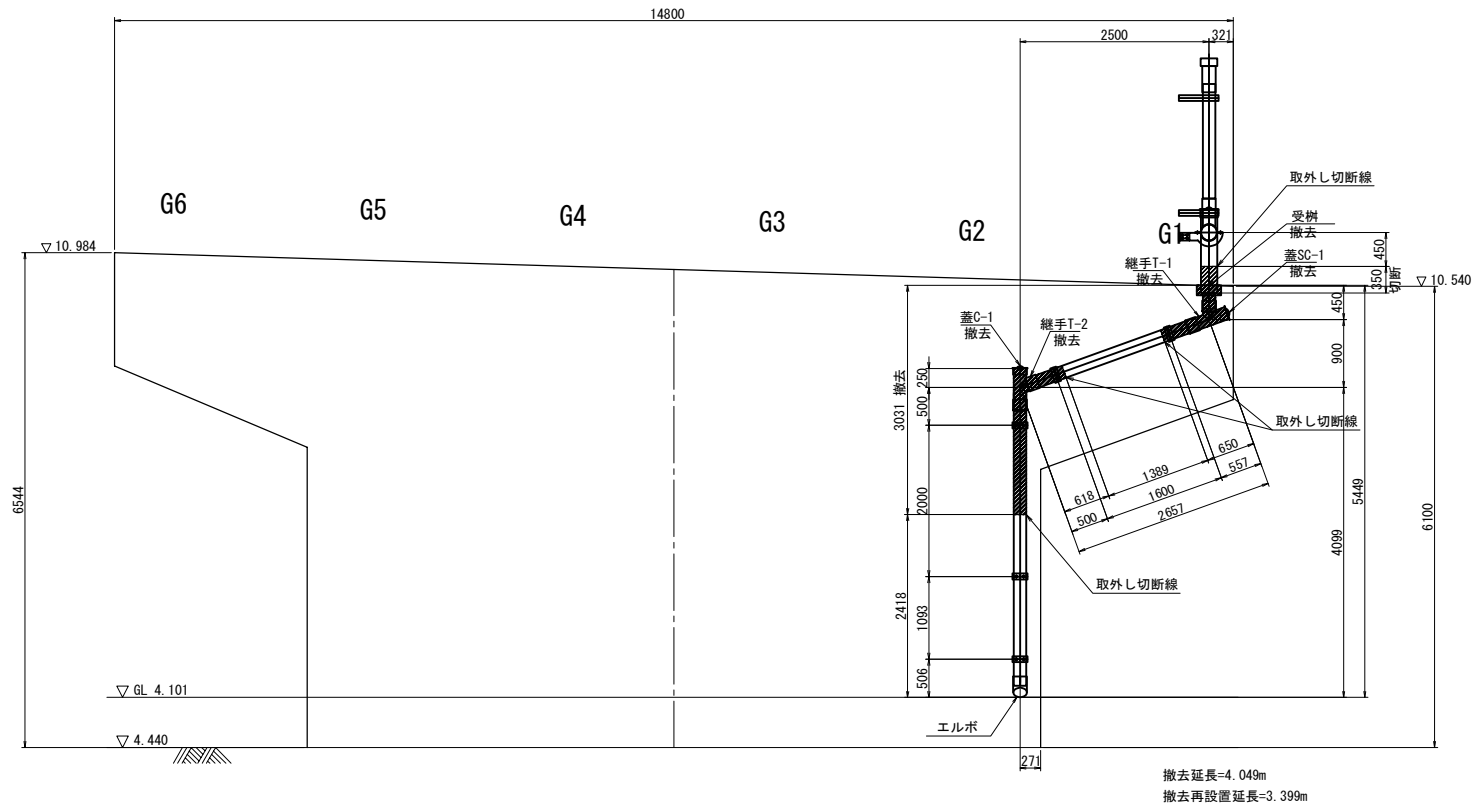
常磐自動車道 久慈川橋耐震補強工事			
図面の種類	茂宮川高架橋 P1(A-ライン 終点側) 排水装置撤去・設置工、新設工		
縮 尺	図示	図面番号	123 / 208
設計会社名	株式会社 長大		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

茂宮川高架橋 P2(A-ライン 終点側) 排水装置撤去・設置工、新設工
既設撤去図

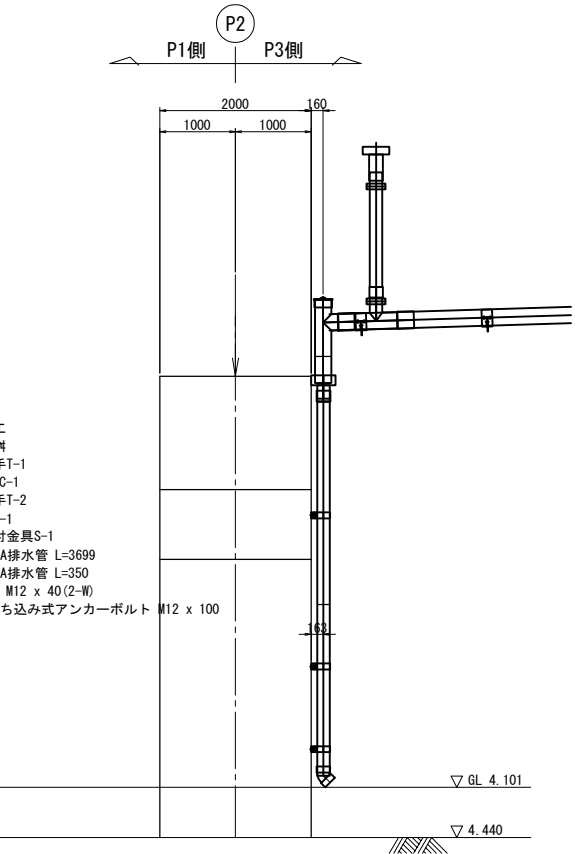
S=1:100

124/208

正面図

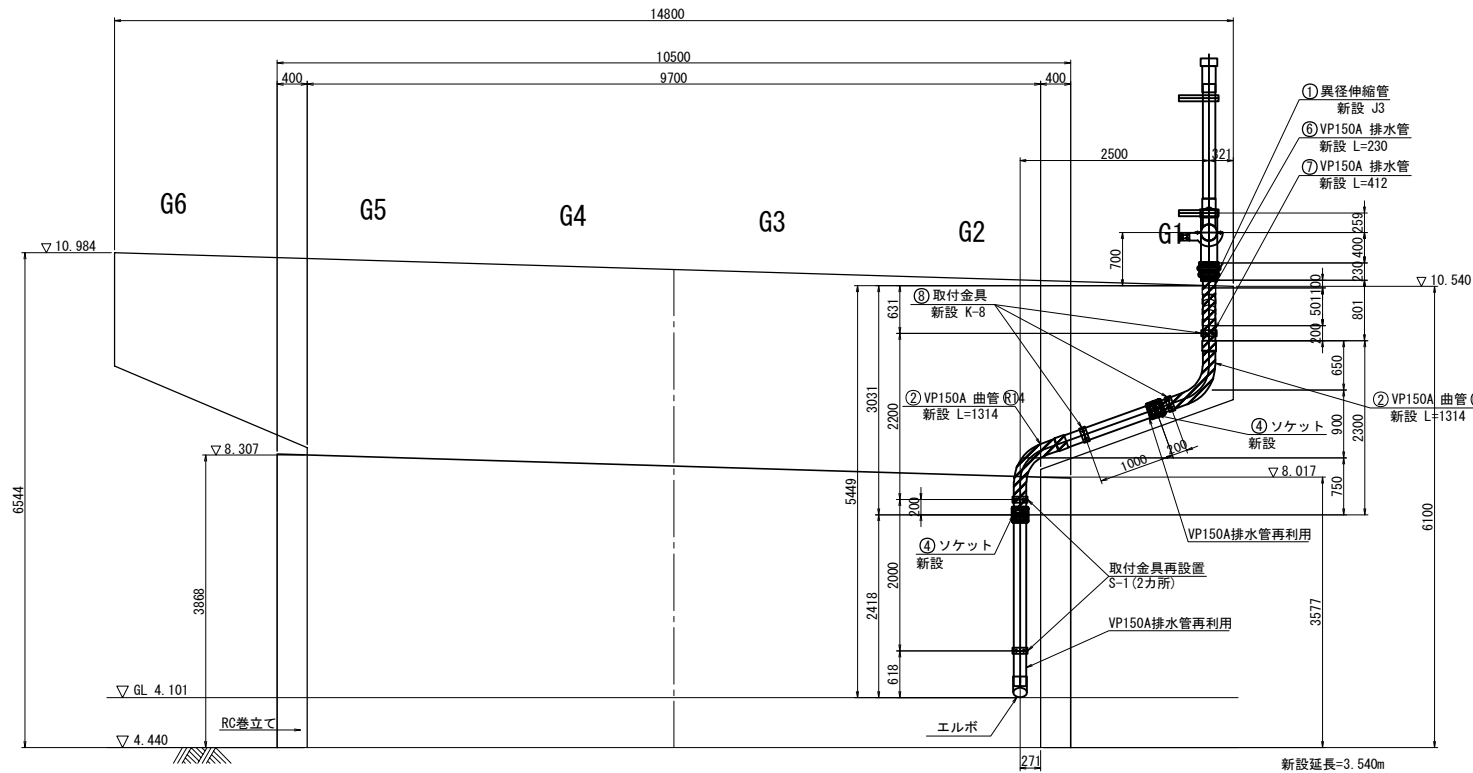


側面図

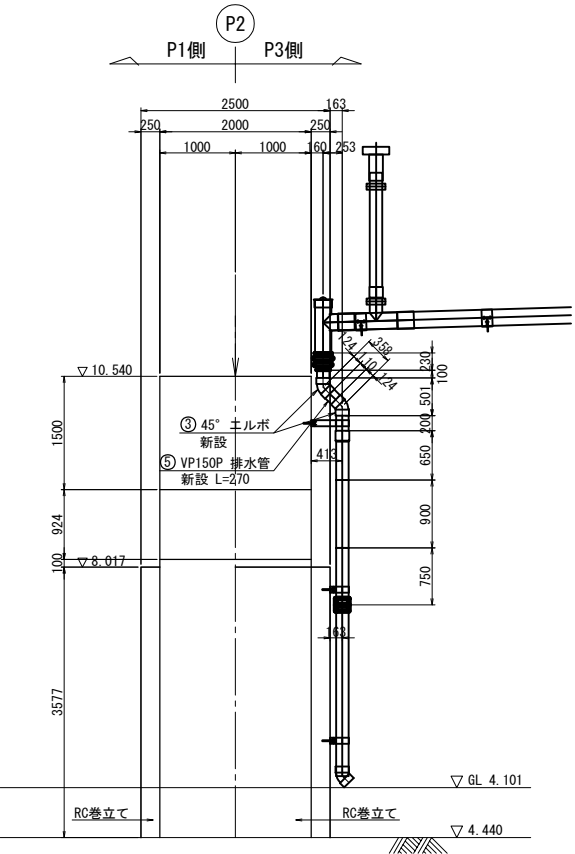


設置図

正面図



側面図



- 新設工
- ① 異径伸縮管 J3
 - ② 曲管 R14
 - ③ 2-45° エルボ
 - ④ 2-ソケット
 - ⑤ 1-VP150A 排水管 L=270
 - ⑥ 1-VP150A 排水管 L=230
 - ⑦ 1-VP150A 排水管 L=412
 - ⑧ 3-取付金具 K-8
 - 4-BN M12 x 40 (2-W)
 - 4-打ち込み式アンカーボルト M12 x 100
- 撤去・設置工
- VP150A 排水管 L=3607
 - 2-取付金具 S-1

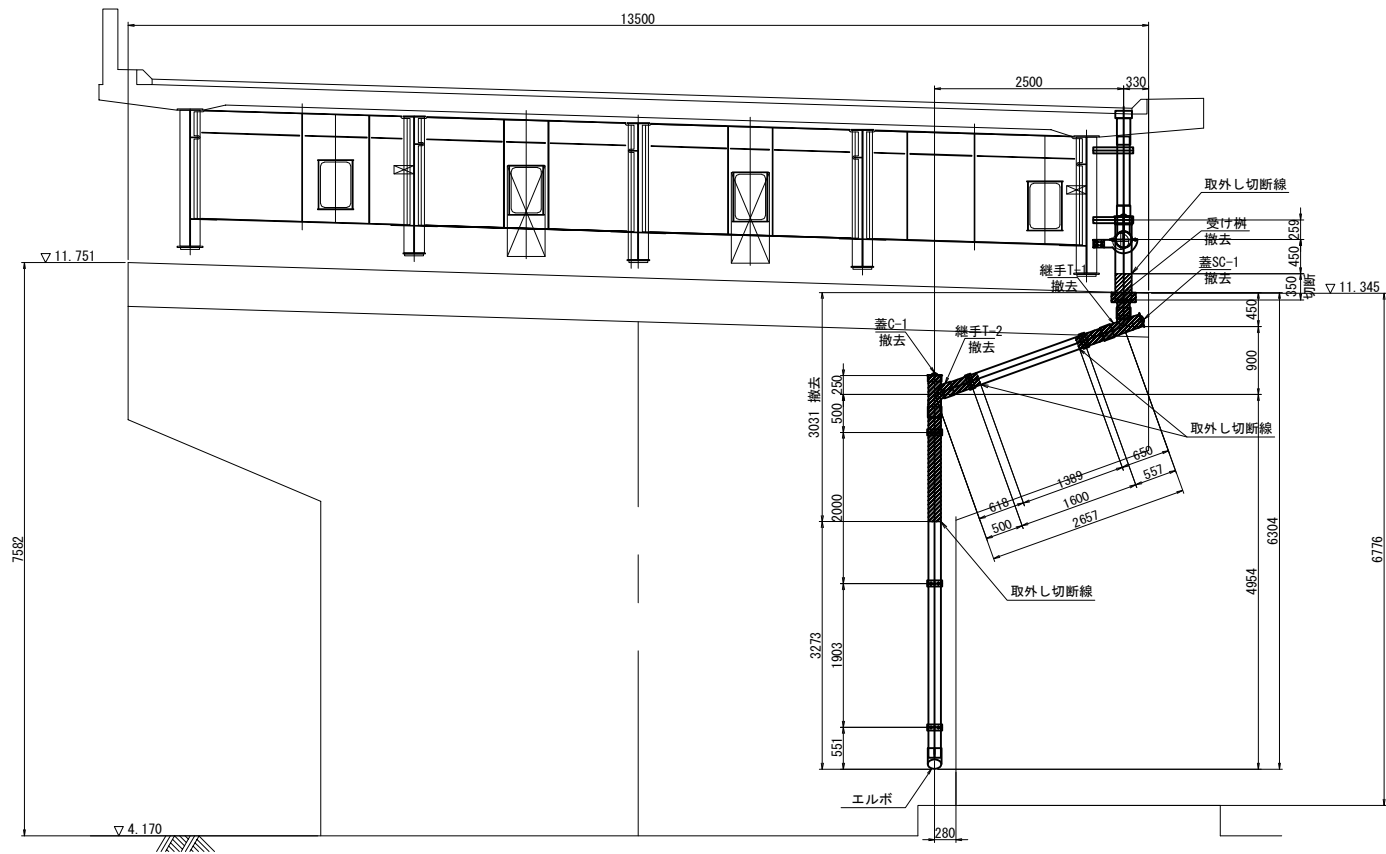
- 注記
- 既設取付金具は原則再利用とする。
 - 現地実測の上、製作のこと。
 - 特記なき材質は、全てSS400とする。
 - ナットは全て弛み止めナットを使用すること。
 - 新設部材は、全て溶融亜鉛めっきとする。
垂鉛の付着量は、JIS H8641 HDZT77とする。
但し、ボルト・ナット及び厚さ3.2mm以下の部材は、
HDZT49とする。

常磐自動車道 久慈川橋耐震補強工事			
図面の種類	茂宮川高架橋 P2 (A-ライン 終点側) 排水装置撤去・設置工、新設工		
縮 尺	図示	図面番号	124/208
設計会社名	株式会社 長大		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

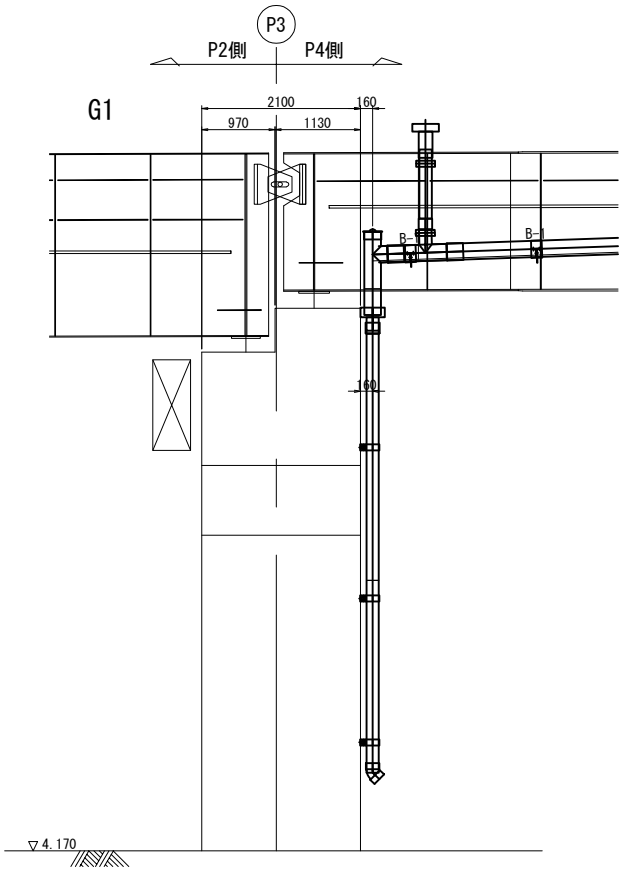
茂宮川高架橋 P3(A-ライン 終点側) 排水装置撤去・設置工、新設工 縮尺 1:100
既設撤去図

125 / 208

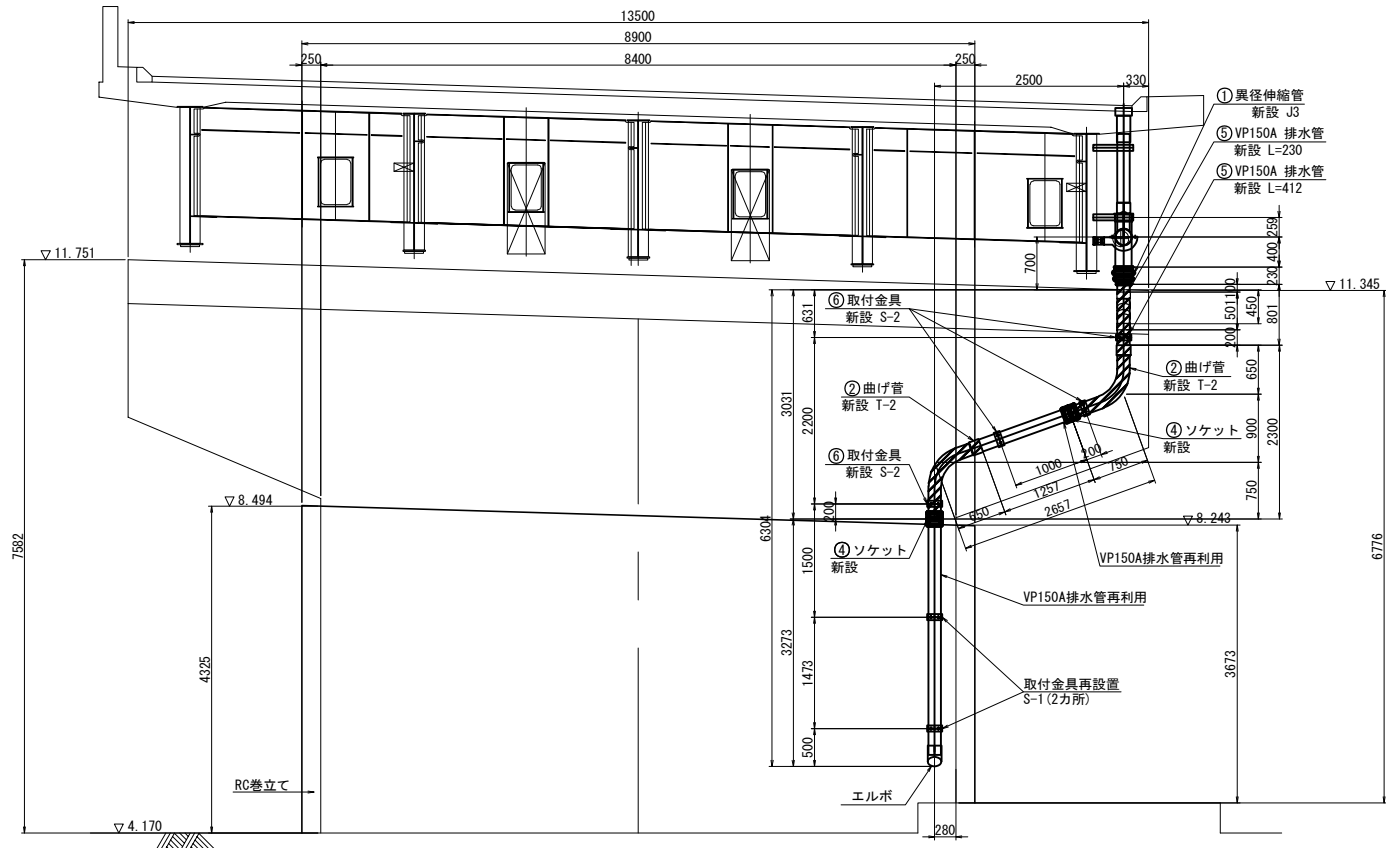
正面図



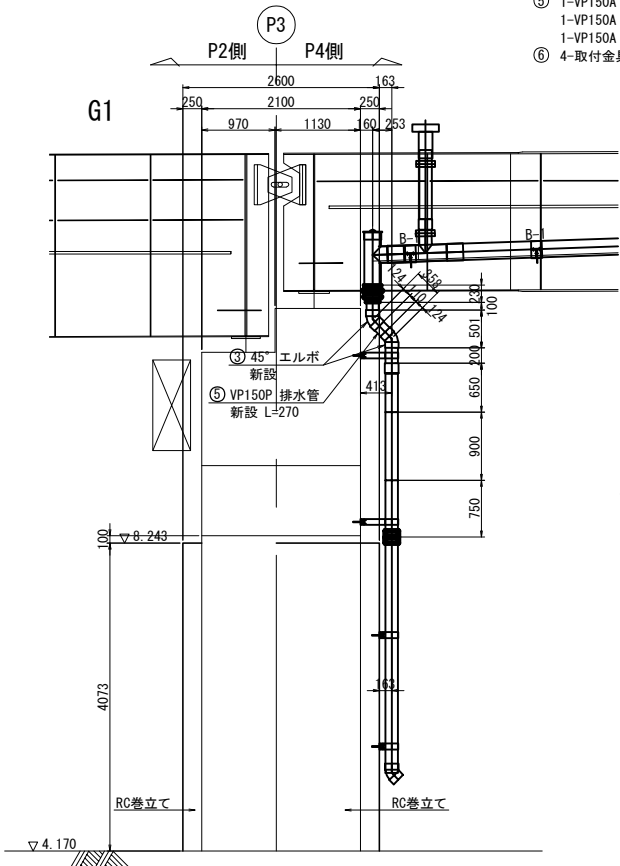
側面図



設置図



側面図



- 新設部品
- ① 異径伸縮管 J3
 - ② 2-曲げ管 T-2
 - ③ 2-45° エルボ
 - ④ 2-ソケット
 - ⑤ 1-VP150A 排水管 L=270
 - ⑥ 1-VP150A 排水管 L=230
 - ⑦ 1-VP150A 排水管 L=412
 - ⑧ 4-取付金具 S-2
- 再利用部品
- VP150A 排水管 L=4254
- 再設置部品
- 2-取付金具 S-1

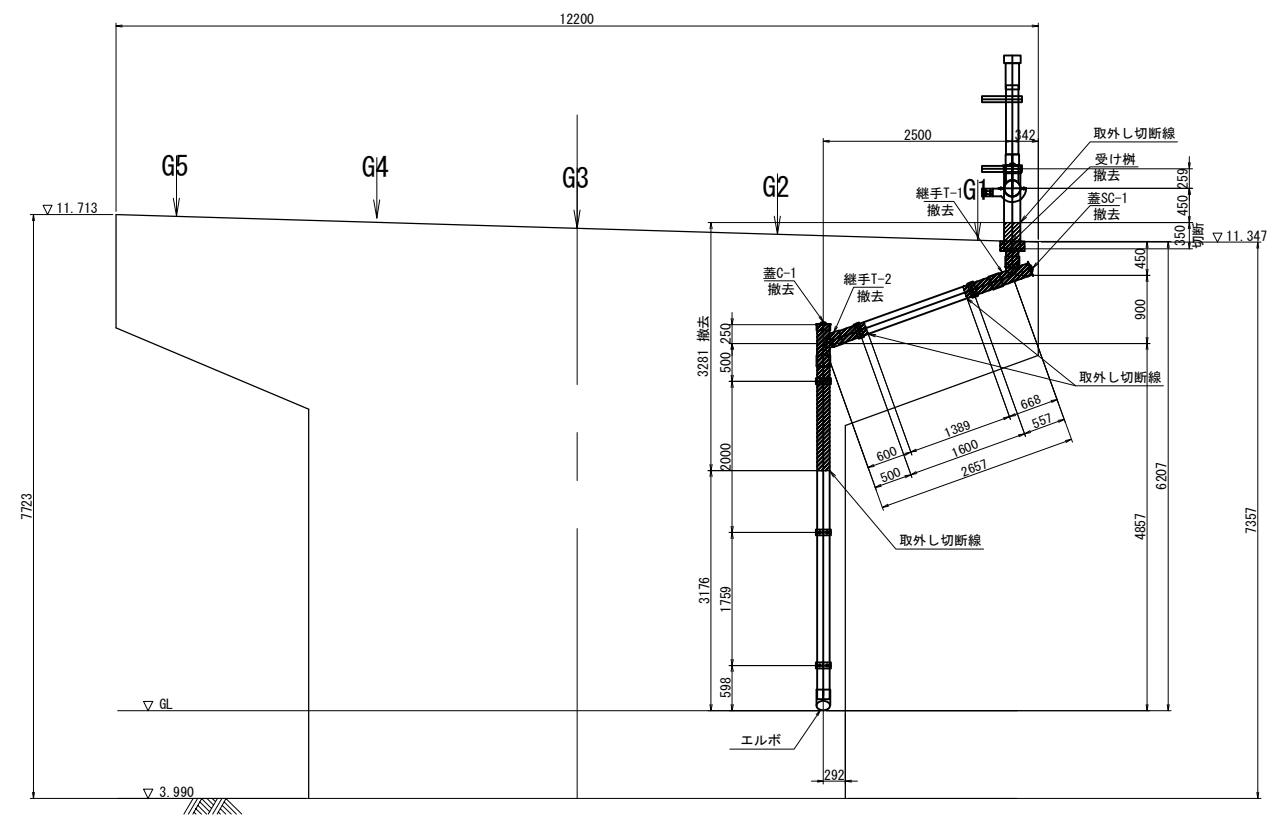
注記

1. 既設取付金具は原則再利用とする。
2. 現地実測の上、製作のこと。
3. 特記なき材質は、全てSS400とする。
4. ナットは全て締め止めナットを使用すること。
5. 新設部材は、全て溶融亜鉛めっきとする。
亜鉛の付着量は、JIS H8641 HDZT77とする。
但し、ボルト・ナット及び厚さ3.2mm以下の部材は、
HDZT49とする。

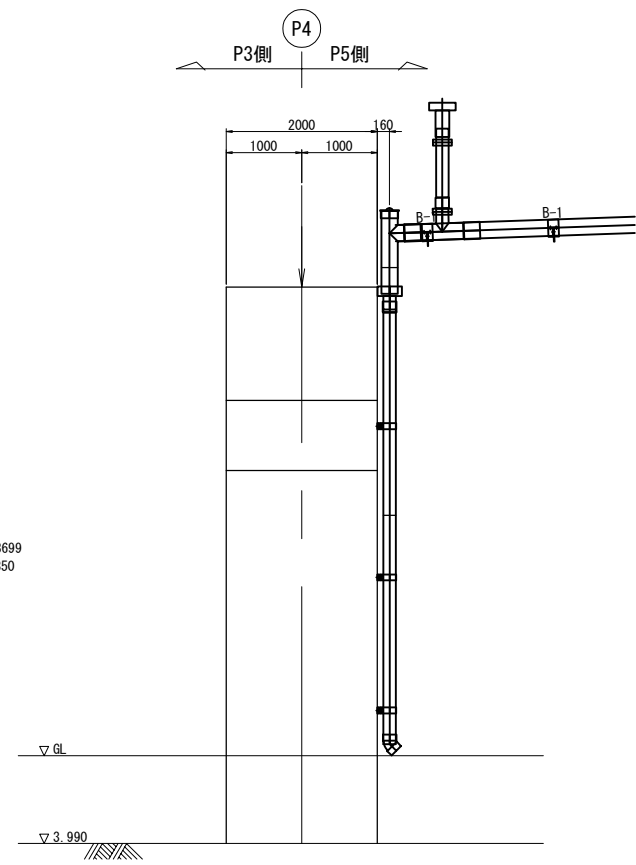
常磐自動車道 久慈川橋耐震補強工事			
図面の種類	茂宮川高架橋 P3(A-ライン 終点側) 排水装置撤去・設置工、新設工		
縮 尺	図示	図面番号	125 / 208
設計会社名	株式会社 長大		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

茂宮川高架橋 P4(A-ライン 終点側) 排水装置撤去・設置工、新設工 S=1:100
既設撤去図

正面図

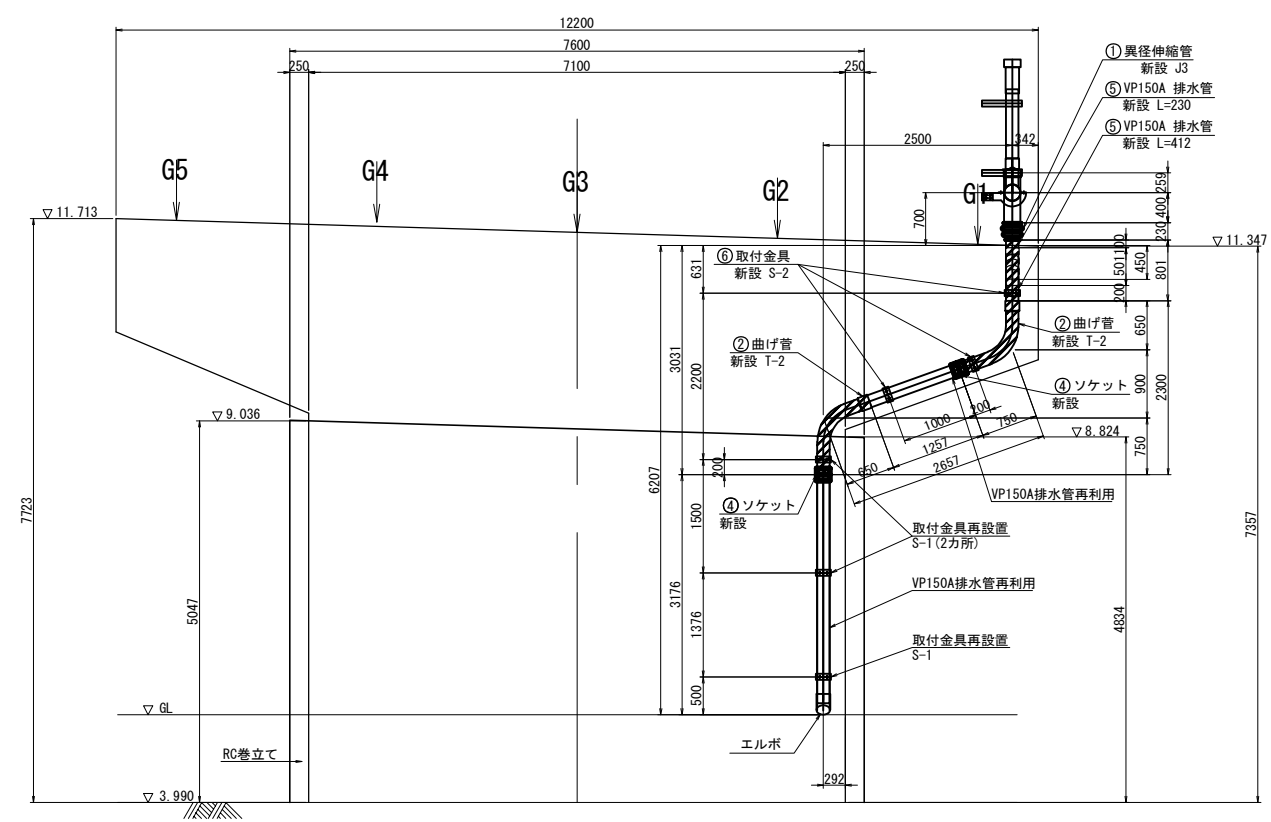


側面図

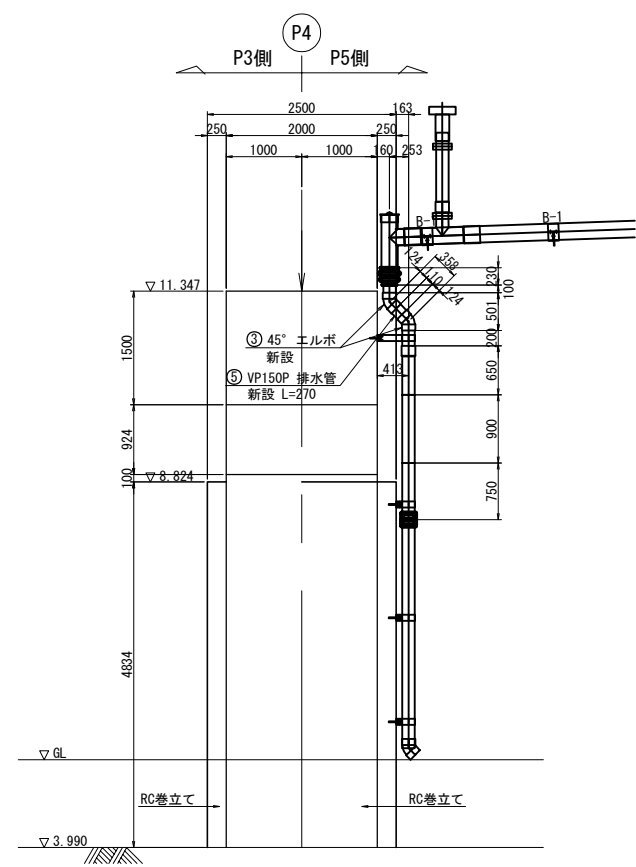


- 撤去部品
1-受樹
1-継手T-1
1-蓋SC-1
1-継手T-2
1-蓋C-1
2-取付金具S-1
VP150A排水管 L=3699
VP200A排水管 L=350

設置図



側面図

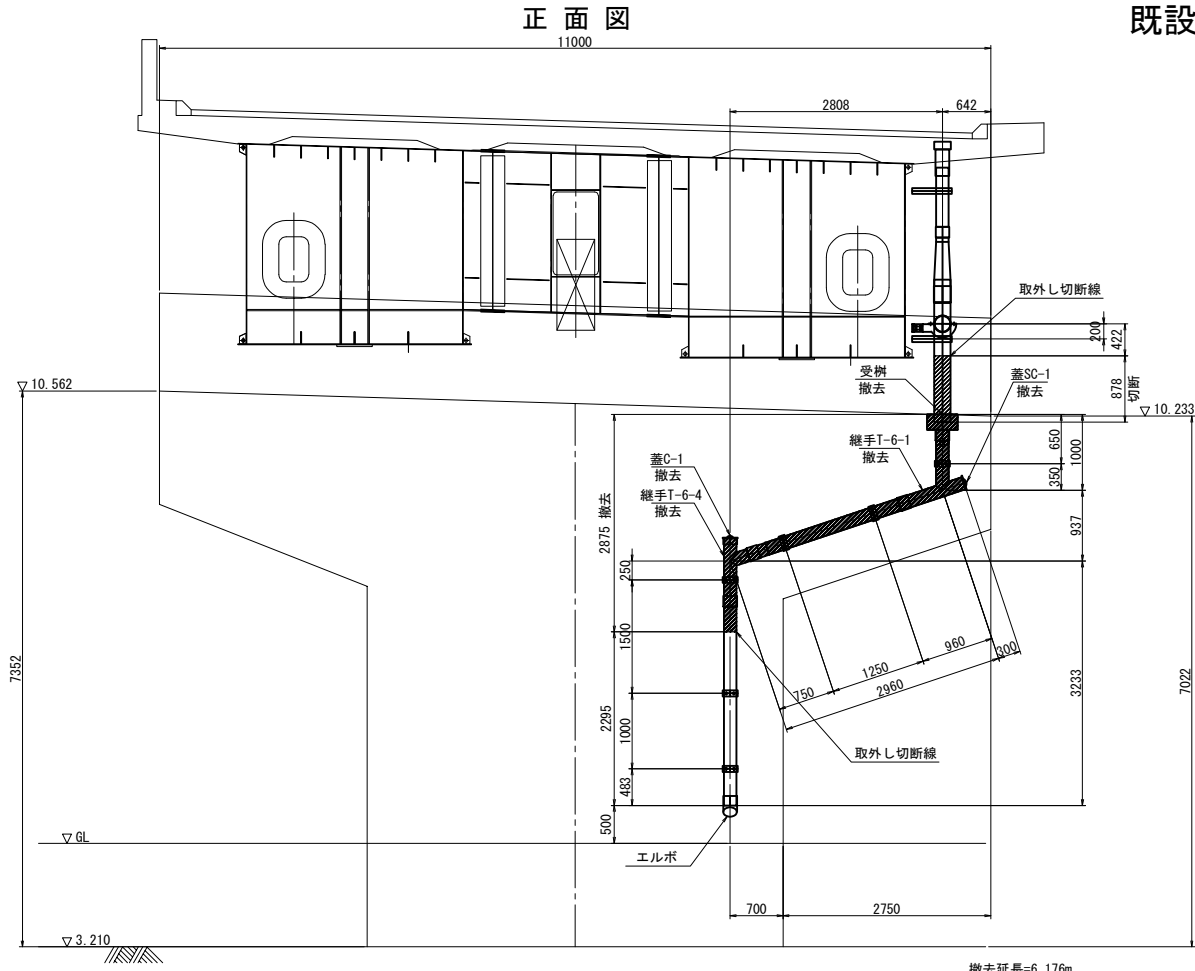


- 新設部品
① 1-異径伸縮管 J3
② 2-曲げ管 T-2
③ 2-45° エルボ
④ 2-ソケット
⑤ 1-VP150A 排水管 L=270
1-VP150A 排水管 L=230
1-VP150A 排水管 L=412
⑥ 3-取付金具 S-2
- 再利用部品
VP150A 排水管 L=4254
- 再設置部品
3-取付金具 S-1

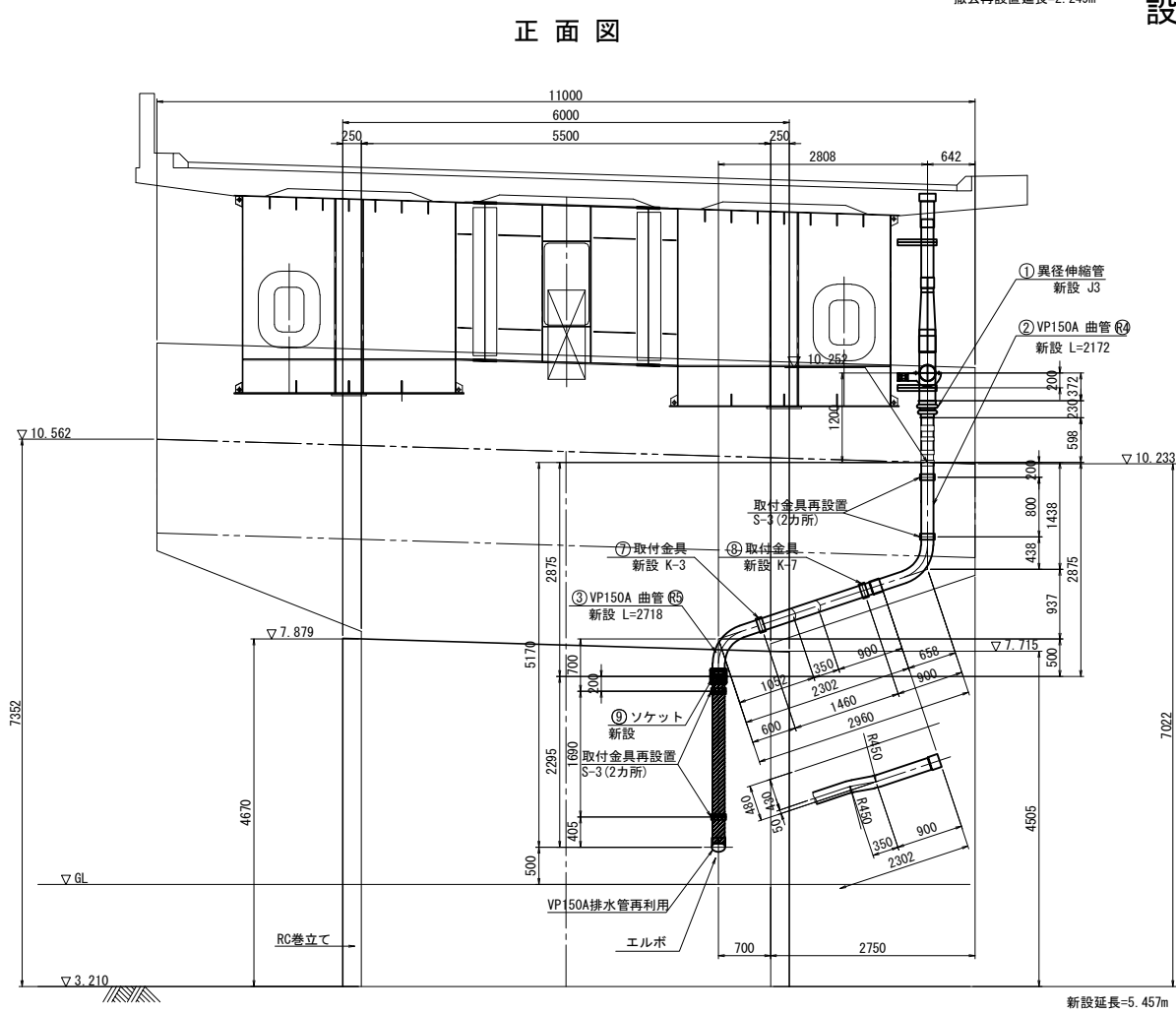
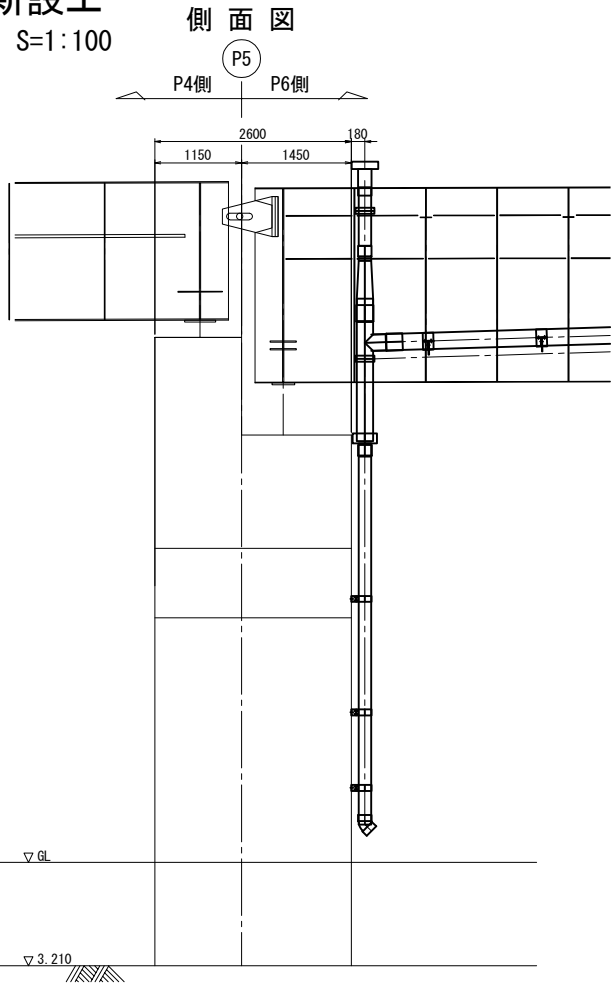
注記
1. 既設取付金具は原則再利用とする。
2. 現地実測の上、製作のこと。
3. 特記なき材質は、全てSS400とする。
4. ナットは全て弛み止めナットを使用すること。
5. 新設部材は、全て溶融亜鉛めっきとする。
垂鉛の付着量は、JIS H8641 HDZT77とする。
但し、ボルト・ナット及び厚さ3.2mm以下の部材は、
HDZT49とする。

常磐自動車道 久慈川橋耐震補強工事			
図面の種類	茂宮川高架橋 P4(A-ライン 終点側) 排水装置撤去・設置工、新設工		
	縮 尺	図示	図面番号 126 / 208
設計会社名	株式会社 長大		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

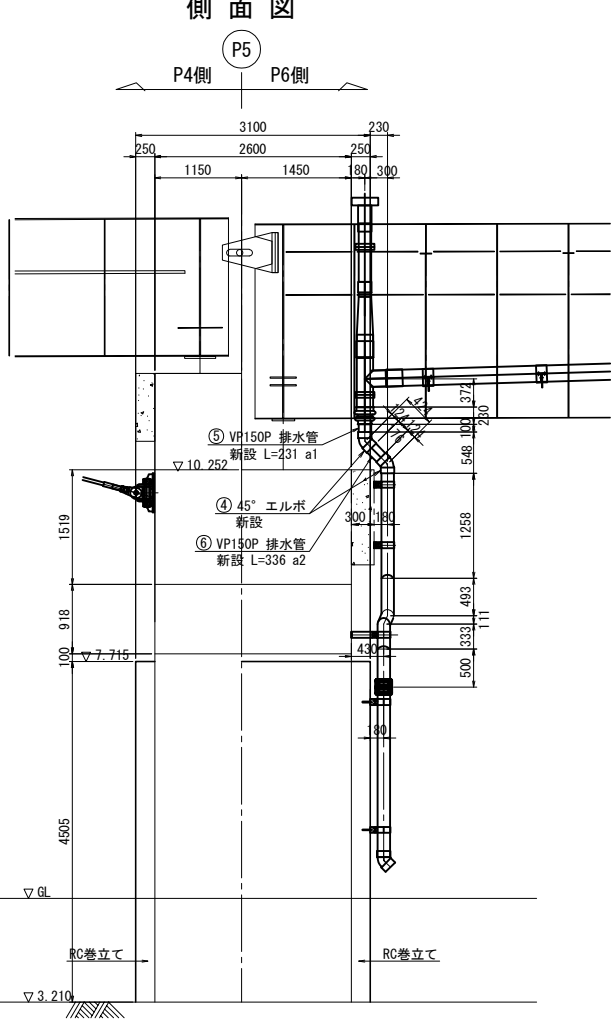
茂宮川高架橋 P5 (A-ライン 終点側) 排水装置撤去・設置工、新設工



- 撤去工
- 1-受樹
 - 1-継手T-6-1
 - 1-蓋SC-1
 - 1-継手T-6-4
 - 1-蓋C-1
 - 2-取付金具S-3
 - VP150A排水管 L=5298
 - VP200A排水管 L=878
 - 12-BN M12 x 40 (2-#)
 - 12-打ち込み式アンカーボルト M12 x 100



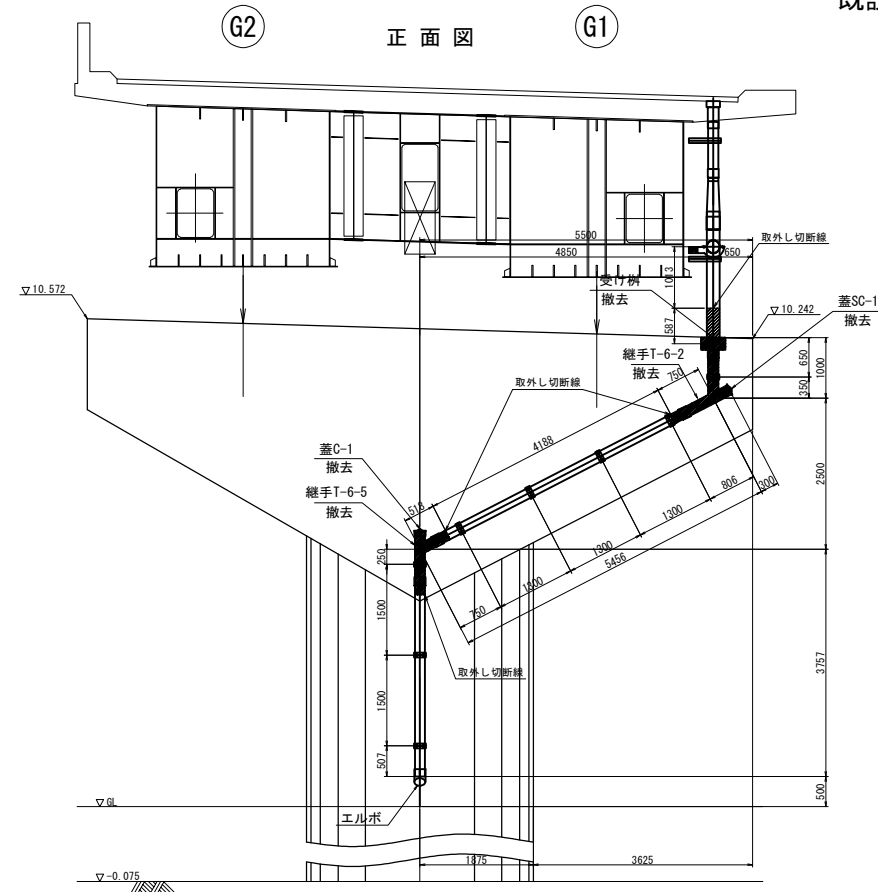
- 新設工
- ①-異径伸縮管 J3
 - ②-1-曲管 R4
 - ③-1-曲管 R5
 - ④-2-45° エルボ
 - ⑤-1-VP150A 排水管 L=231 a1
 - ⑥-1-VP150A 排水管 L=336 a2
 - ⑦-1-取付金具 K-3
 - ⑧-1-取付金具 K-7
 - ⑨-1-ソケット
 - 8-BN M12 x 40 (2-#)
 - 8-打ち込み式アンカーボルト M12 x 100
- 撤去・設置工
- VP150A 排水管 L=2249
 - 4-取付金具 S-3



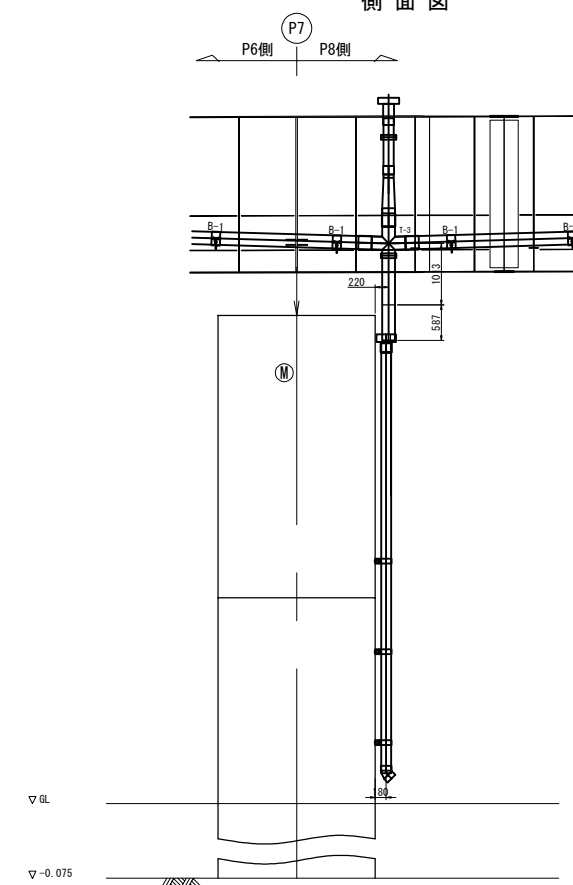
- 注記
1. 既設取付金具は原則再利用とする。
 2. 現地実測の上、製作のこと。
 3. 特記なき材質は、全てSS400とする。
 4. ナットは全て弛み止めナットを使用すること。
 5. 新設部材は、全て溶融亜鉛めっきとする。
垂鉛の付着量は、JIS H8641 HDZT77とする。
但し、ボルト・ナット及び厚さ3.2mm以下の部材は、HDZT49とする。

常磐自動車道 久慈川橋耐震補強工事			
図面の種類	茂宮川高架橋 P5 (A-ライン 終点側) 排水装置撤去・設置工、新設工		
縮 尺	図示	図面番号	127 / 208
設計会社名	株式会社 長大		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

正 面 图

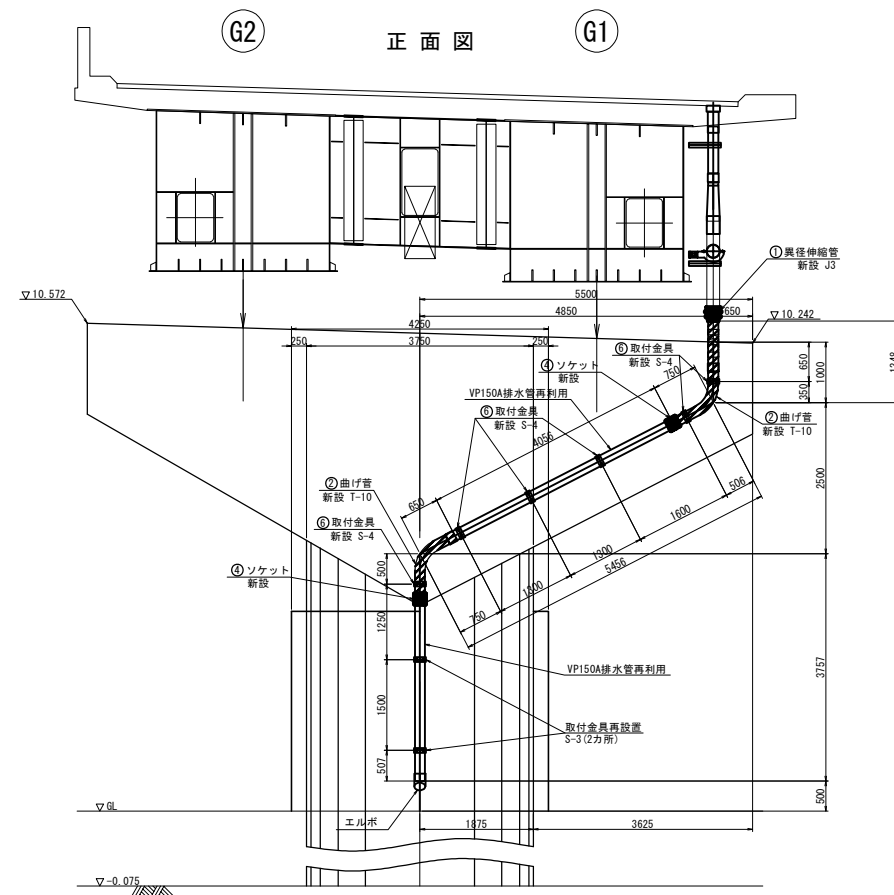


側面図

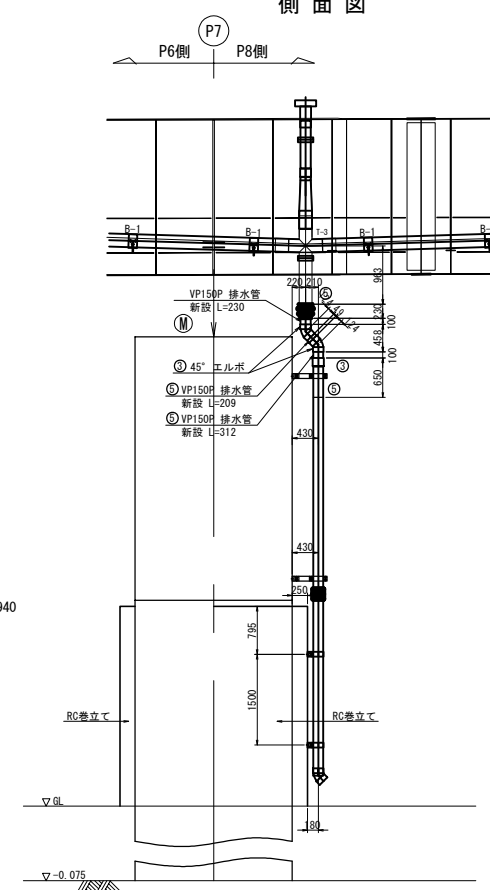


設置図

正 面 圖



側面図



- 撤去部品
1-受樹
1-継手T-6-2
1-蓋SC-1
1-継手T-6-5
1-蓋C-1
6-取付金具S-3
VP150A排水管 L=3418
VP200A排水管 L=587

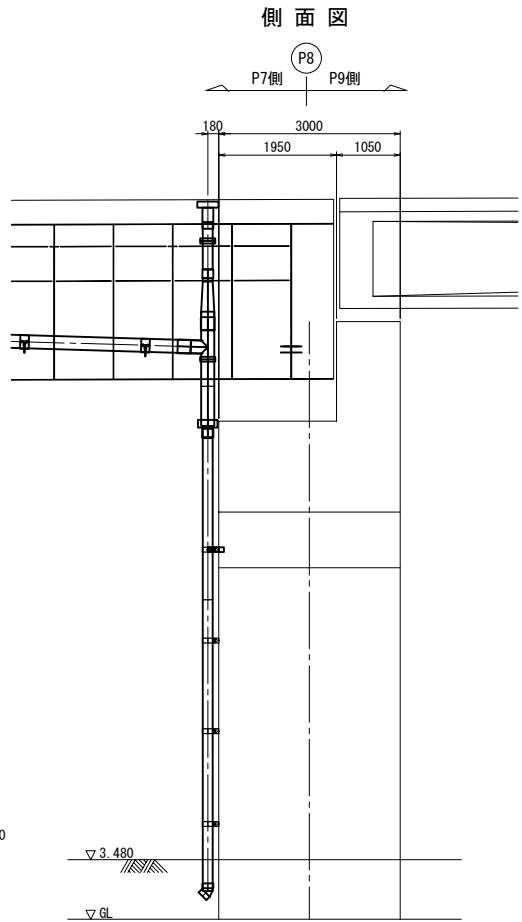
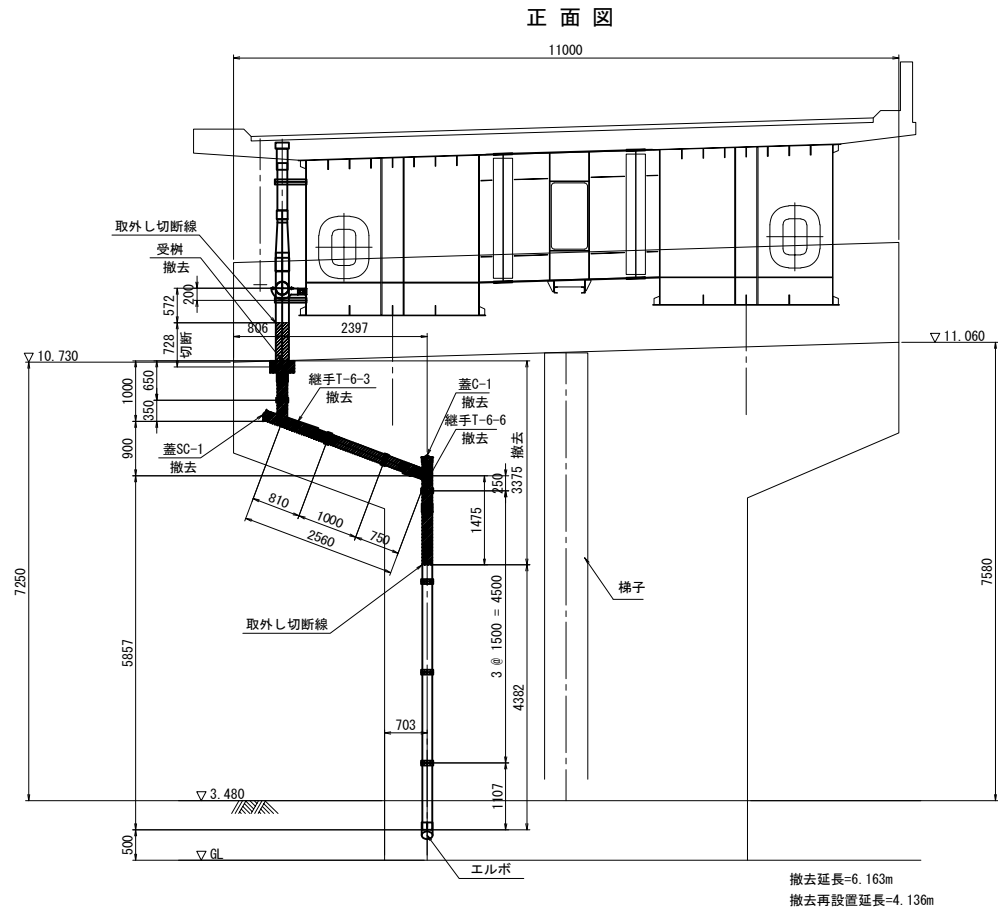
- 新設部品
- ① 1-異径伸縮管 J3
 - ② 2-曲げ管 T-10
 - ③ 2-45° エルボ
 - ④ 2-ソケット
 - ⑤ 1-VP150A 排水管 L=230
1-VP150A 排水管 L=209
1-VP150A 排水管 L=312
 - ⑥ 6-取付金具 S-4

- 再利用部品
VP150A 排水管 L=6940

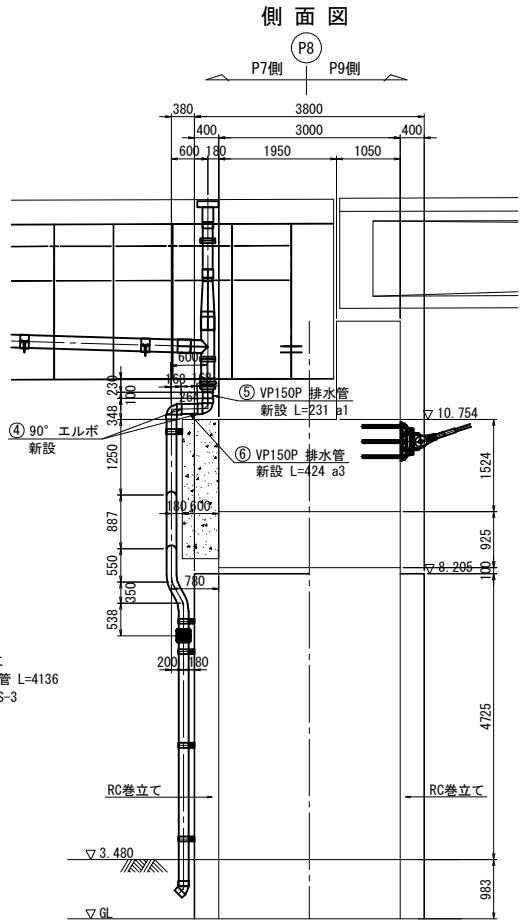
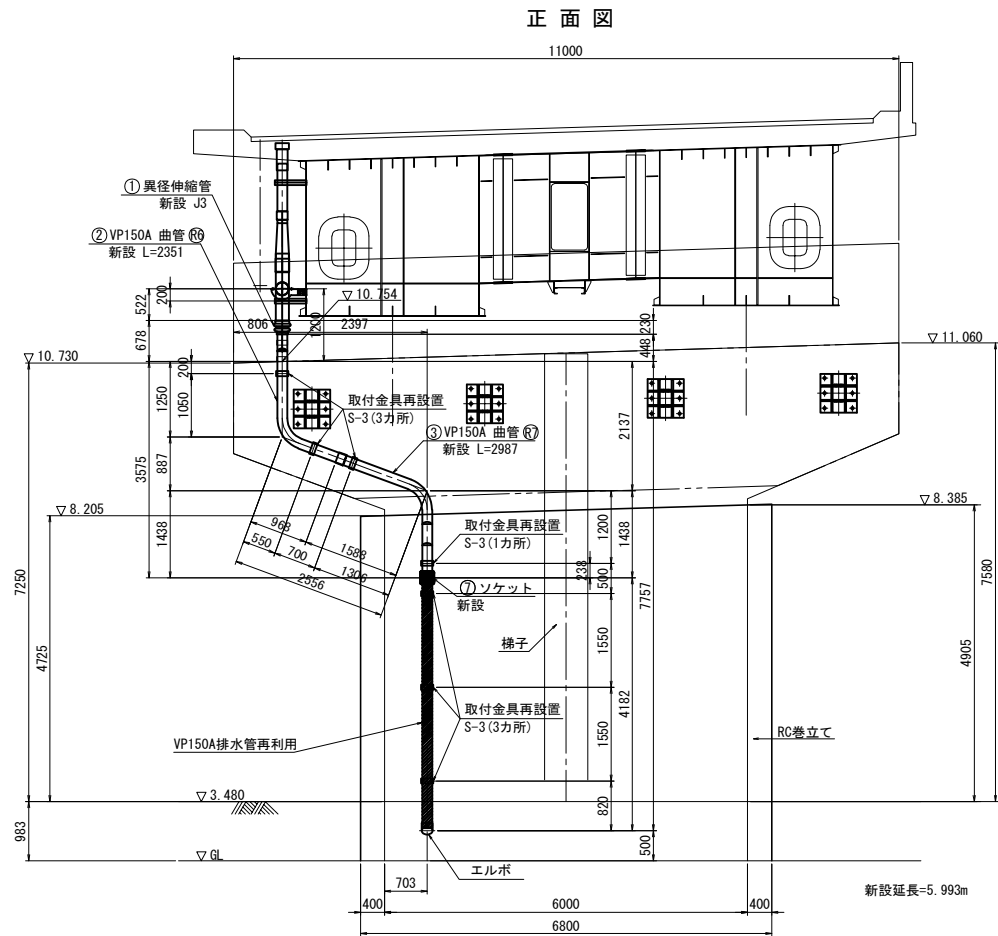
- 再設置部品
2-取付金具 S-3

- 注記
1. 既設取付金具は原則再利用とする。
 2. 現地実測の上、製作のこと。
 3. 特記なき材質は、全てSS400とする。
 4. ナットは全て弛み止めナットを使用すること。
 5. 新設部材は、全て溶融亜鉛めっきとする。
- 亜鉛の付着量は、JIS H8641 HDZT77とする。
- 但し、ボルト・ナット及び厚さ3.2mm以下の部材は、HDZT49とする。

常磐自動車道 久慈川橋耐震補強工事			
図面の種類	茂宮川高架橋 P7(A-ライン 終点側) 排水装置撤去・設置工、新設工		
縮 尺	図示	図面番号	128／208
設計会社名	株式会社 長大		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		



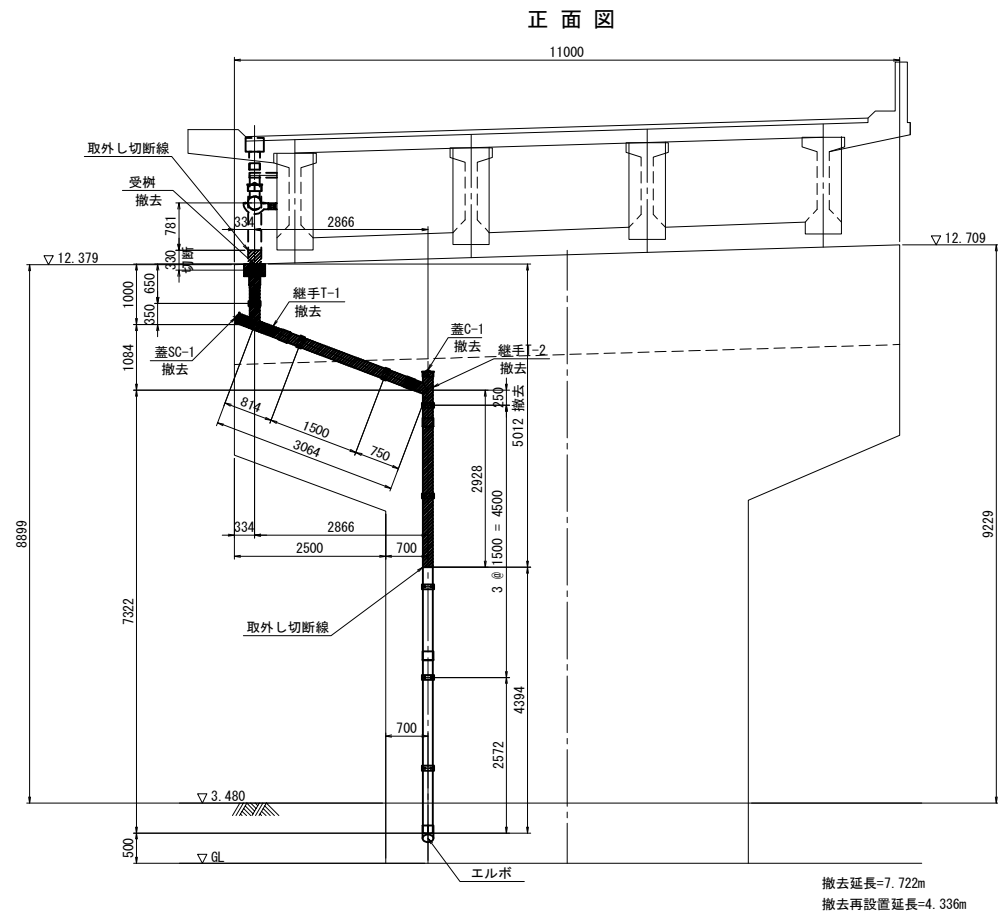
設置図



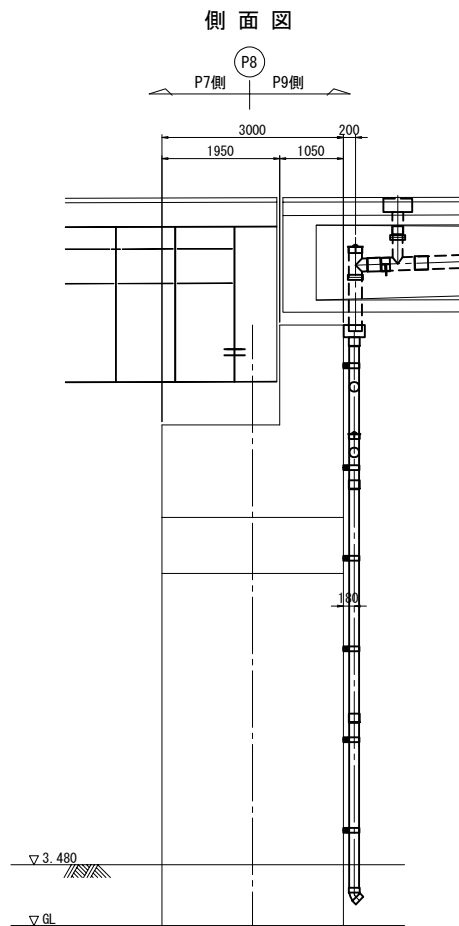
注記

1. 既設取付金具は原則再利用とする。
2. 現地実測の上、製作のこと。
3. 特記なき材質は、全てSS400とする。
4. ナットは全て弛み止めナットを使用すること。
5. 新設部材は、全て溶融亜鉛めっきとする。
亜鉛の付着量は、JIS H8641 HDZT77とする。
但し、ボルト・ナット及び厚さ3.2mm以下の部材は、
HDZT49とする。

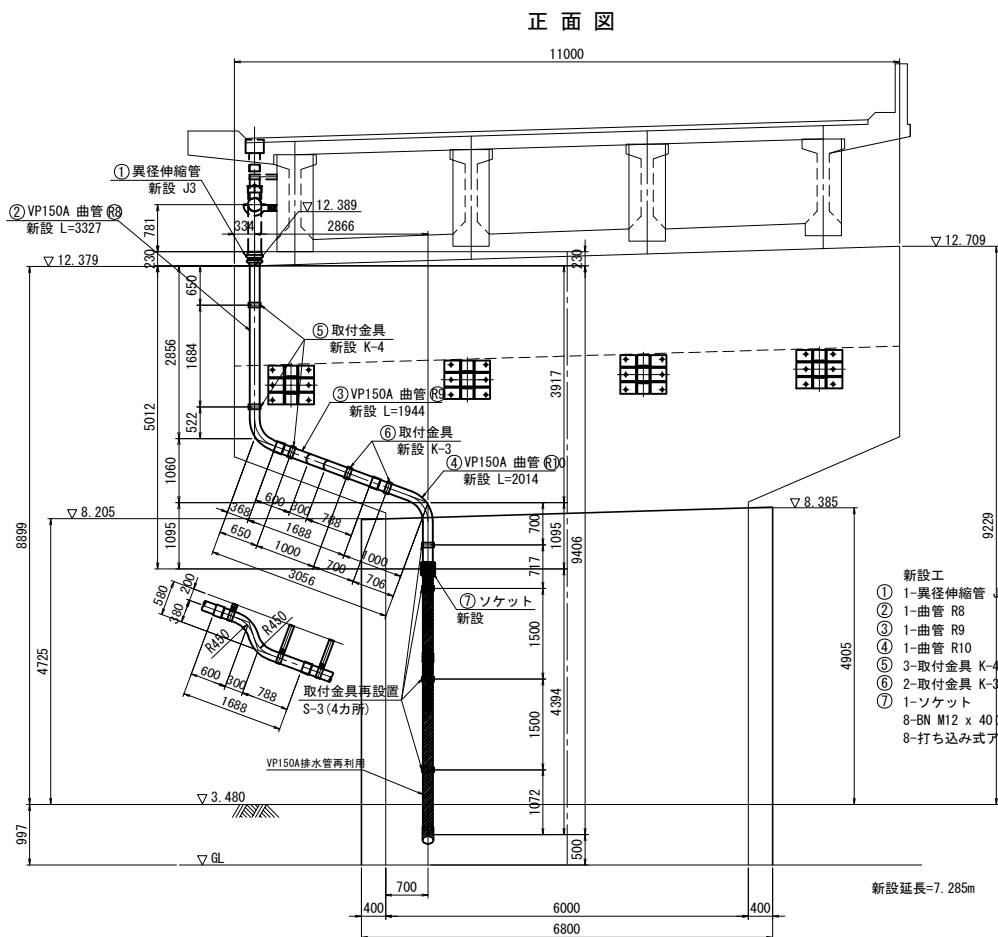
常磐自動車道 久慈川橋耐震補強工事			
図面の種類	茂宮川高架橋 P8(A-ライン 起点側) 排水装置撤去・設置工、新設工		
縮 尺	図示	図面番号	129 / 208
設計会社名	株式会社 長大		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		



撤去工
1-受樹
1-継手T-1
1-蓋SC-1
1-継手T-2
1-蓋C-1
4-取付金具S-3
VP150A排水管 L=7392
VP200A排水管 L=330
16-BN M12 x 40 (2-W)
16-打ち込み式アンカーボルト M12 x 100

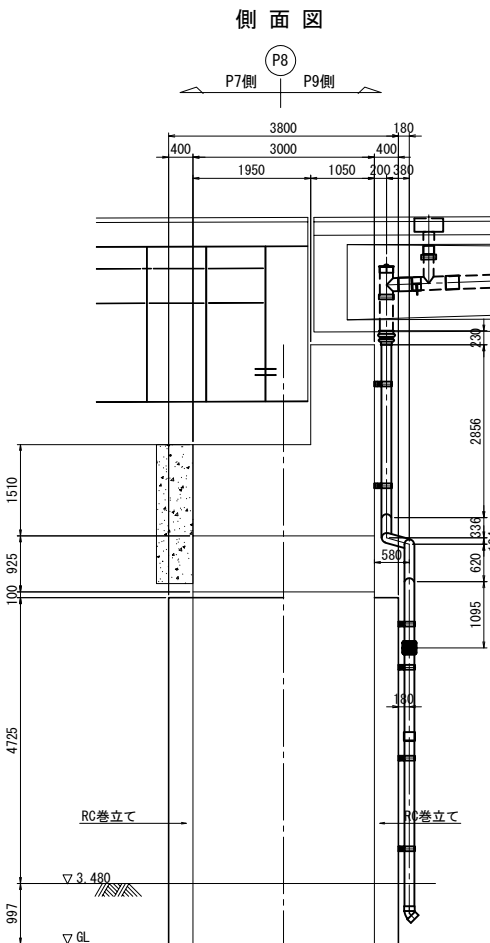


設置図



新設工
① 異径伸縮管 J3
② 1-曲管 R8
③ 1-曲管 R9
④ 1-曲管 R10
⑤ 3-取付金具 K-4
⑥ 2-取付金具 K-3
⑦ 1-ソケット
8-BN M12 x 40 (2-W)
8-打ち込み式アンカーボルト M12 x 100

撤去・設置工
VP150A 排水管 L=4348
4-取付金具 S-3

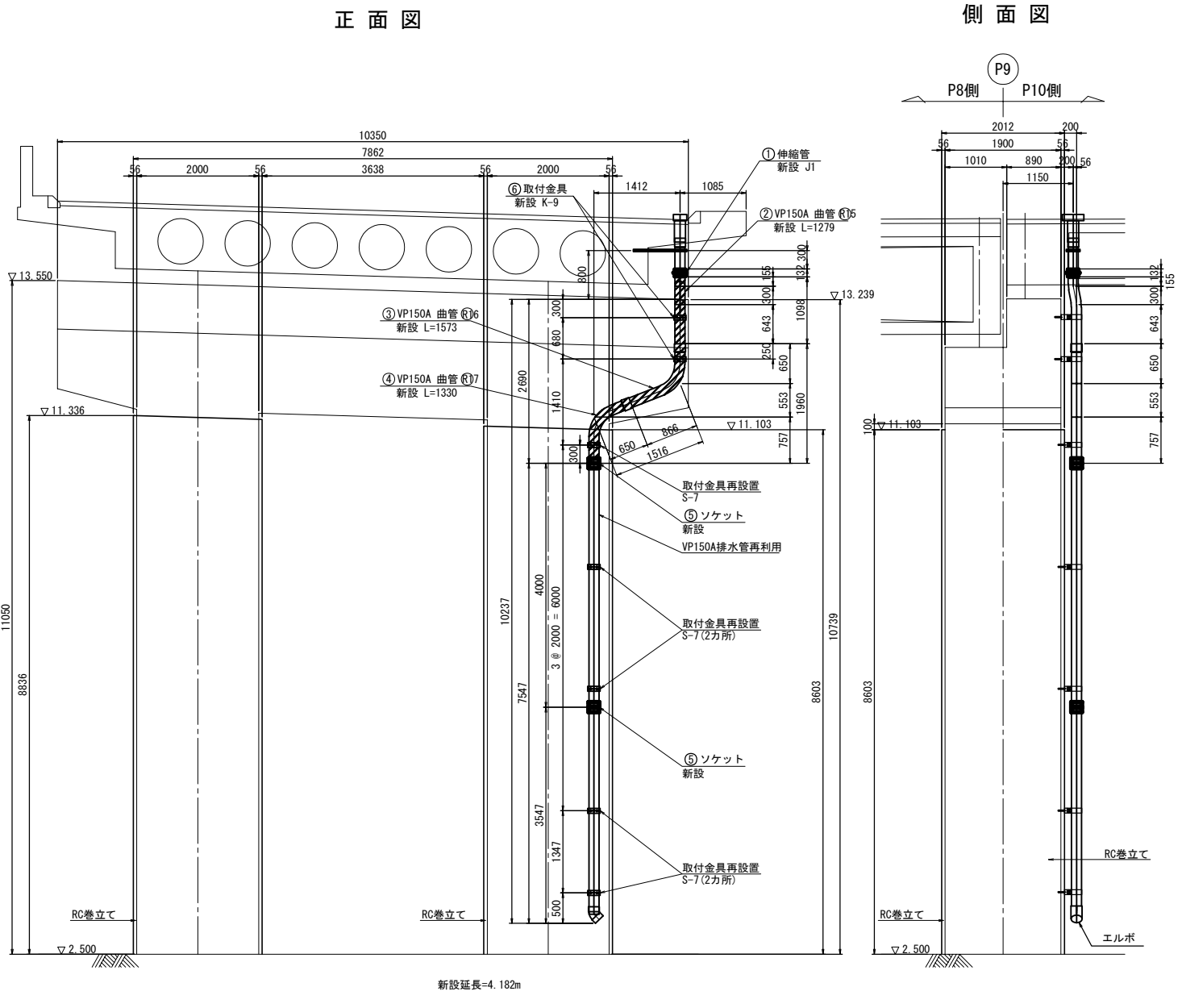
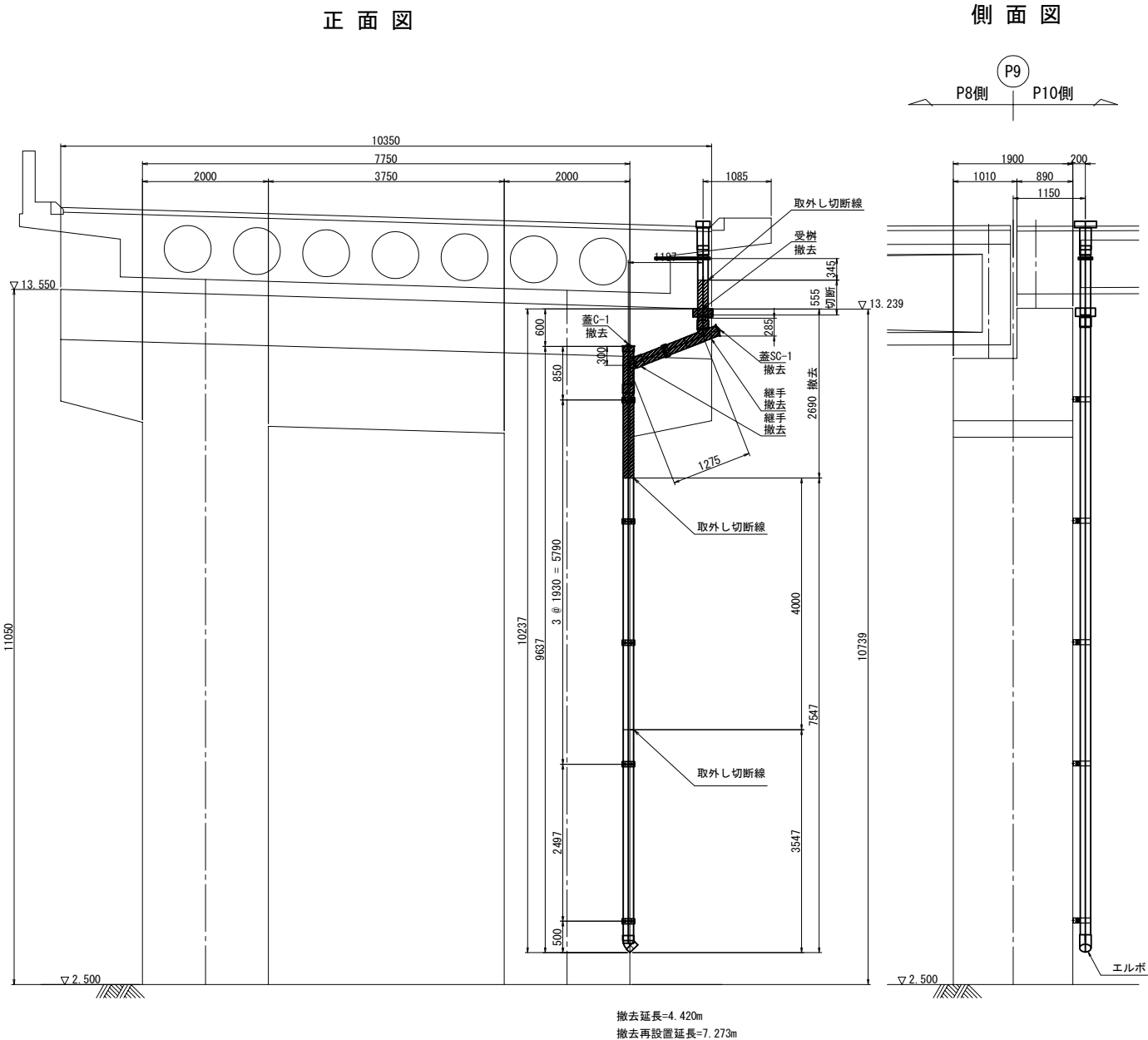


注記
1. 既設取付金具は原則再利用とする。
2. 現地実測の上、製作のこと。
3. 特記なき材質は、全てSS400とする。
4. ナットは全て弛み止めナットを使用すること。
5. 新設部材は、全て溶融亜鉛めっきとする。
垂鉛の付着量は、JIS H8641 HDZT77とする。
但し、ボルト・ナット及び厚さ3.2mm以下の部材は、
HDZT49とする。

常盤自動車道 久慈川橋耐震補強工事			
図面の種類	茂宮川高架橋 P8 (A-ライン 終点側) 排水装置撤去・設置工、新設工		
縮 尺	図示	図面番号	130 / 208
設計会社名	株式会社 長大		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

既設撤去図

設置図



撤去工
1-受樹
2-継手
1-蓋SC-1
1-蓋C-1
1-取付金具S-7
VP150A排水管 L=4420
12-BN M12 x 40 (2-W)
12-打ち込み式アンカーボルト M12 x 100

新設工
① 1-伸縮管 JT
② 1-曲管 R15
③ 1-曲管 R16
④ 1-曲管 R17
⑤ 2-ソケット
2-取付金具 K-9
10-BN M12 x 40 (2-W)
10-打ち込み式アンカーボルト M12 x 100

撤去・設置工
VP150A 排水管 L=7346
5-取付金具 S-7

注記
1. 既設取付金具は原則再利用とする。
2. 現地実測の上、製作のこと。
3. 特記なき材質は、全てSS400とする。
4. ナットは全て弛み止めナットを使用すること。
5. 新設部材は、全て溶融亜鉛めっきとする。
亜鉛の付着量は、JIS H8641 HDZT77とする。
但し、ボルト・ナット及び厚さ3.2mm以下の部材は、HDZT49とする。

常磐自動車道 久慈川橋耐震補強工事			
図面の種類	茂宮川高架橋 P9 (A-ライン 終点側) 排水装置撤去・設置工、新設工		
縮 尺	図示	図面番号	131 / 208
設計会社名	株式会社 長大		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

既設撤去図

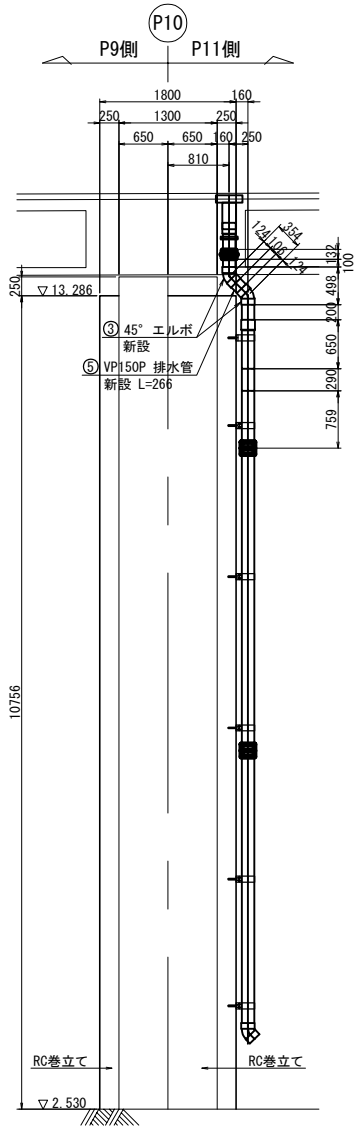
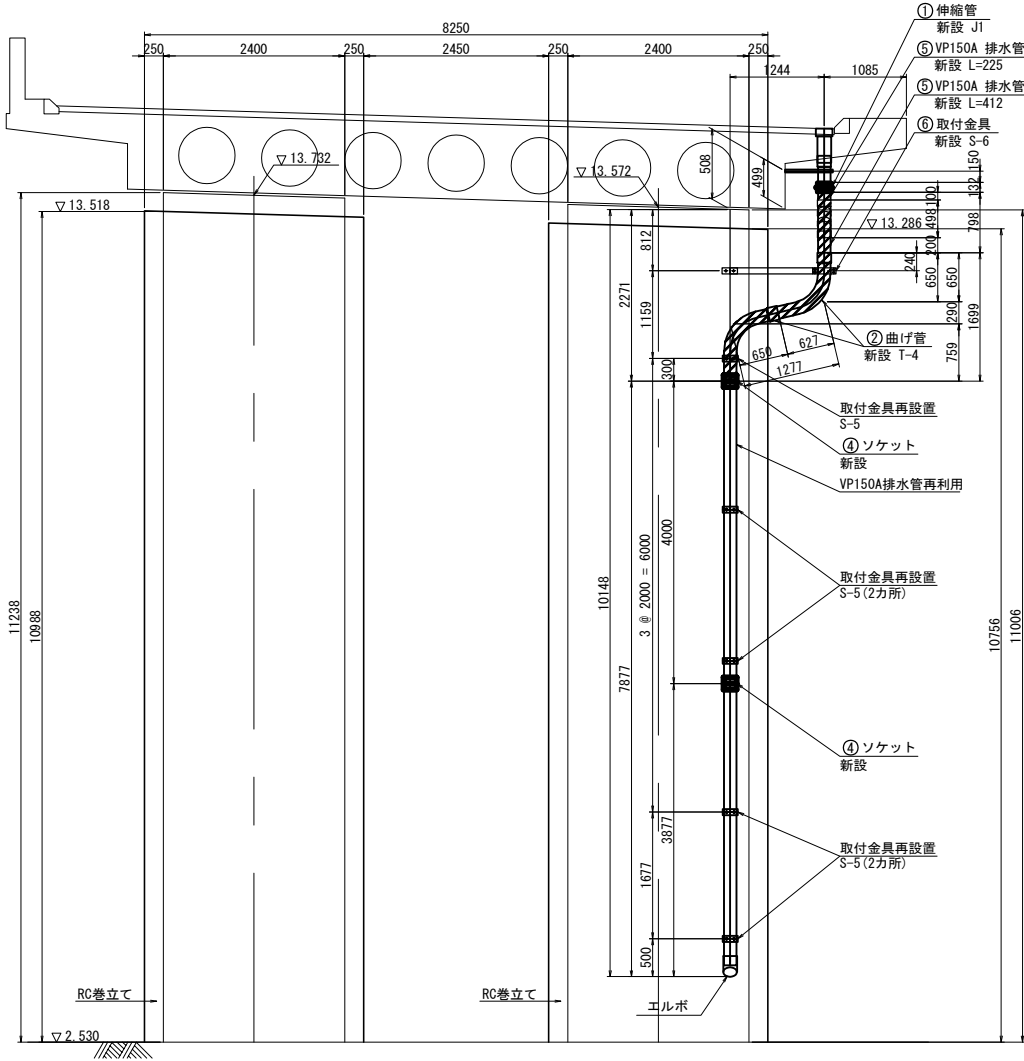
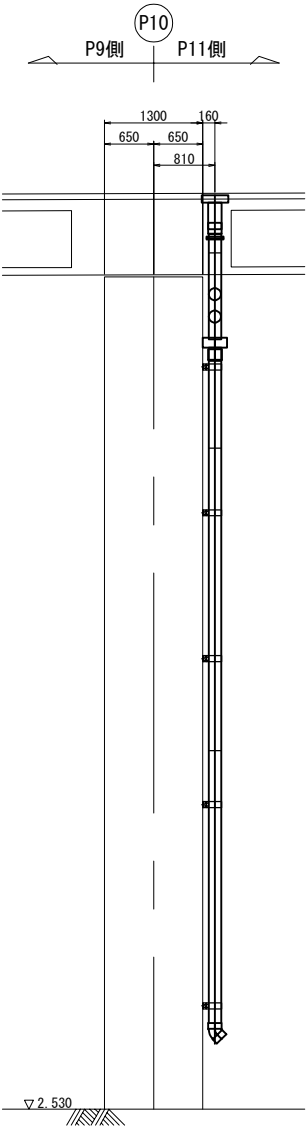
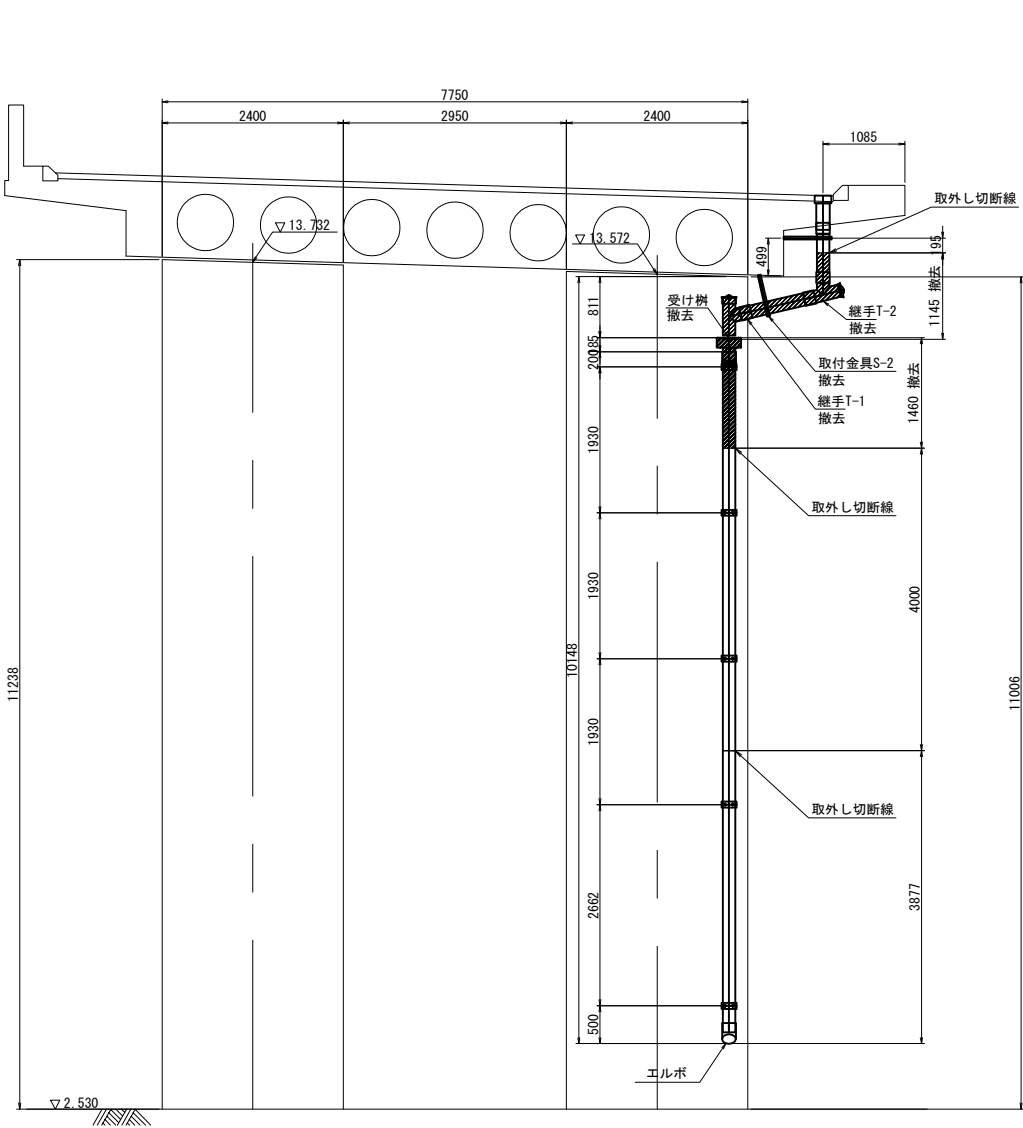
設置図

正面図

側面図

正面図

側面図



撤去部品
1-受け桟
1-継手T-1
1-継手T-2
1-取付金具S-2
VP150A排水管 L=4071

新設部品
① 伸縮管 J1
② 2-曲げ管 T-4
③ 2-45° エルボ
④ 2-ソケット
⑤ 1-VP150A 排水管 L=266
1-VP150A 排水管 L=225
1-VP150A 排水管 L=412
⑥ 1-取付金具 S-6

再利用部品
VP150A 排水管 L=7602

再設置部品
5-取付金具 S-5

注記
1. 既設取付金具は原則再利用とする。
2. 現地実測の上、製作のこと。
3. 特記なき材質は、全てSS400とする。
4. ナットは全て締め止めナットを使用すること。
5. 新設部材は、全て溶融亜鉛めっきとする。
垂鉛の付着量は、JIS H8641 HDZT77とする。
但し、ボルト・ナット及び厚さ3.2mm以下の部材は、
HDZT49とする。

常盤自動車道 久慈川橋耐震補強工事			
図面の種類	茂宮川高架橋 P10(A-ライン 終点側) 排水装置撤去・設置工、新設工		
縮 尺	図示	図面番号	132 / 208
設計会社名	株式会社 長大		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

既設撤去図

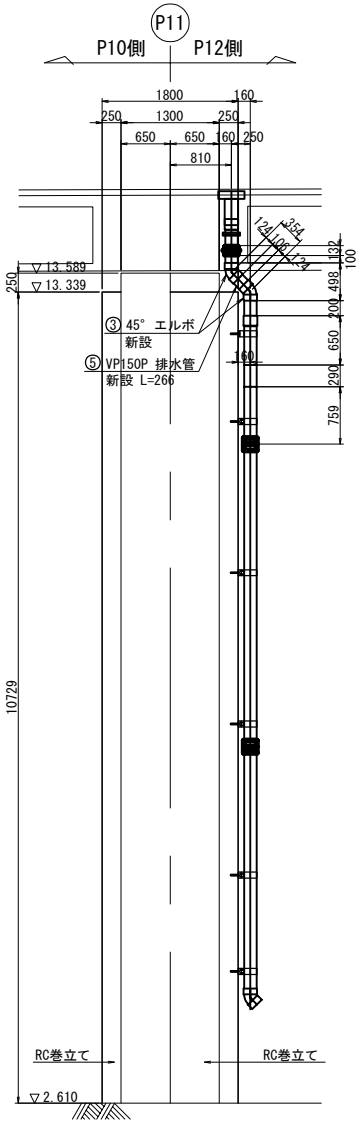
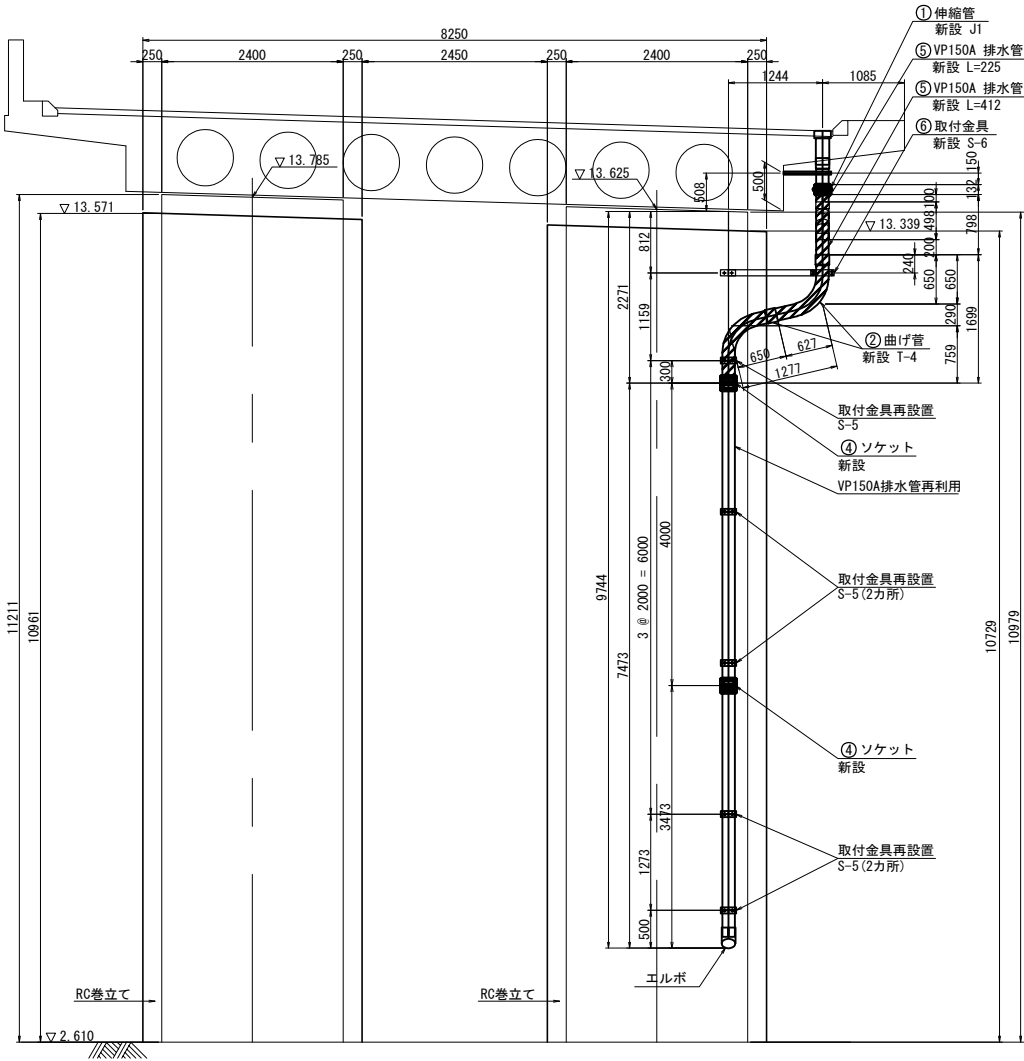
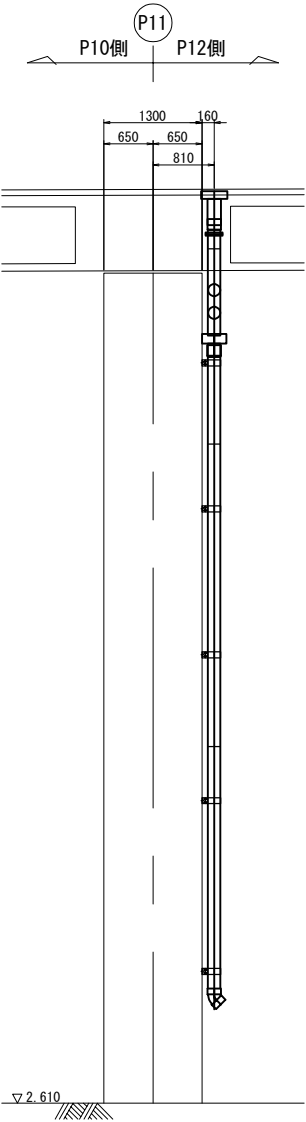
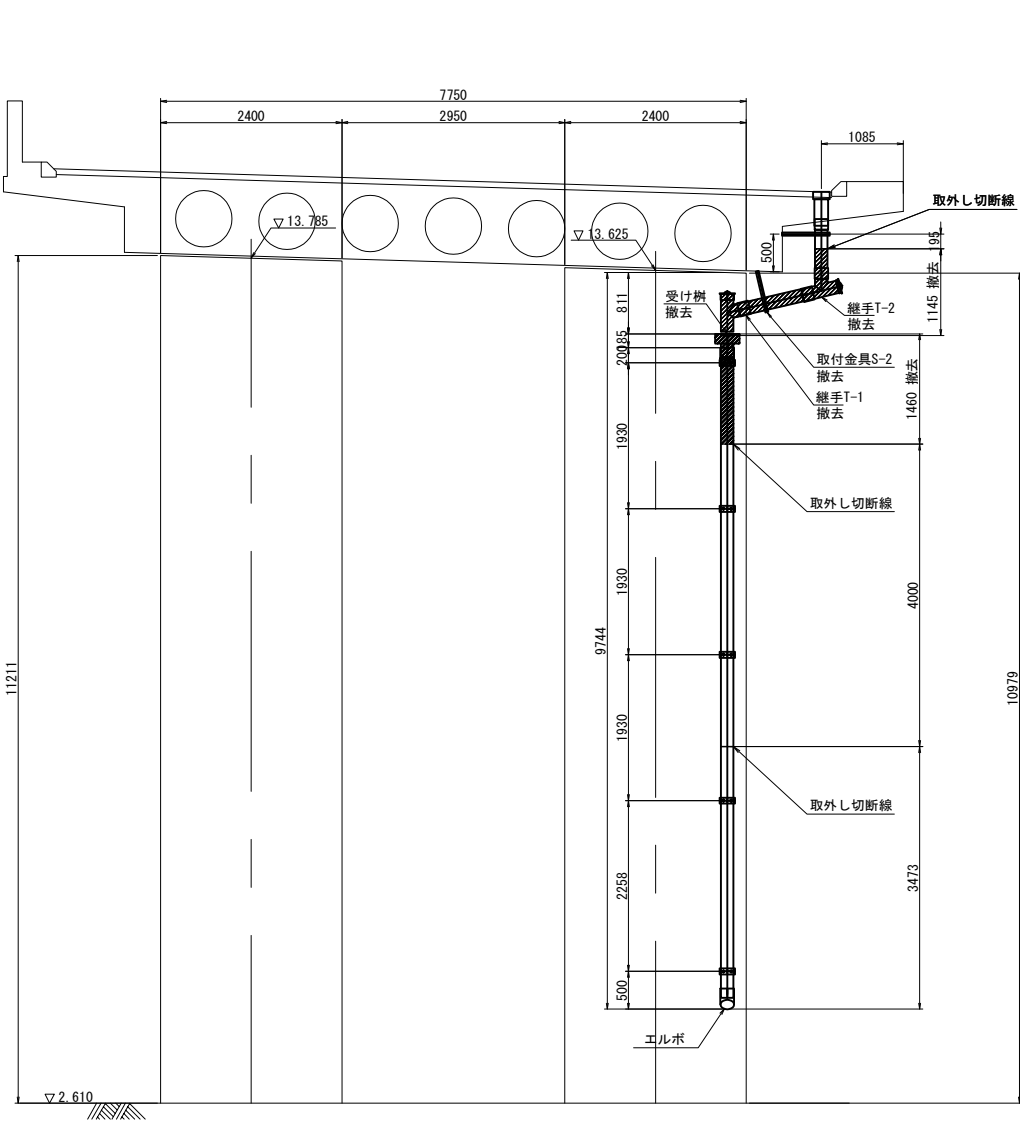
設置図

正面図

側面図

正面図

側面図



撤去部品
1-受桟
1-継手T-1
1-継手T-2
1-取付金具S-2
VP150A排水管 L=4071

新設部品
① 1-伸縮管 J1
② 2-曲げ管 T-4
③ 2-45° エルボ
④ 2-ソケット
⑤ 1-VP150A 排水管 L=266
1-VP150A 排水管 L=225
1-VP150A 排水管 L=412
⑥ 1-取付金具 S-6

再利用部品
VP150A 排水管 L=7198

再設置部品
5-取付金具 S-5

注記
1. 既設取付金具は原則再利用とする。
2. 現地実測の上、製作のこと。
3. 特記なき材質は、全てSS400とする。
4. ナットは全て弛み止めナットを使用すること。
5. 新設部材は、全て溶融亜鉛めっきとする。
垂鉛の付着量は、JIS H8641 HDZT77とする。
但し、ボルト・ナット及び厚さ3.2mm以下の部材は、
HDZT49とする。

常磐自動車道 久慈川橋耐震補強工事			
図面の種類	茂宮川高架橋 P11 (A-ライン 終点側) 排水装置撤去・設置工、新設工		
縮 尺	図示	図面番号	133 / 208
設計会社名	株式会社 長大		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

既設撤去図

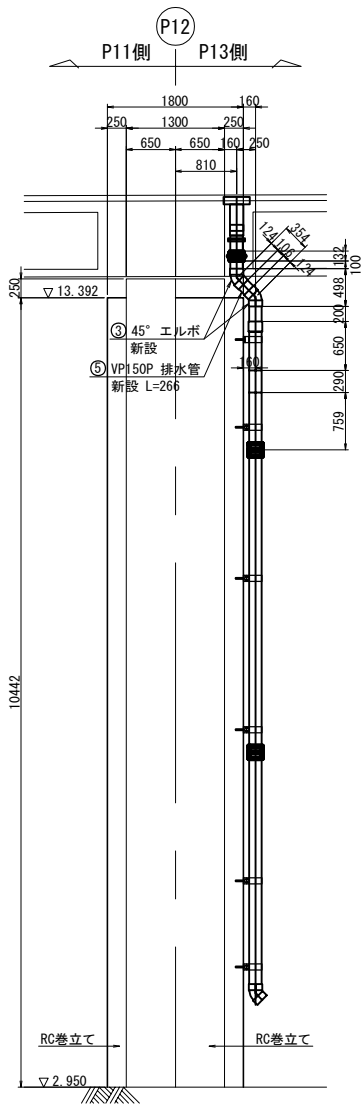
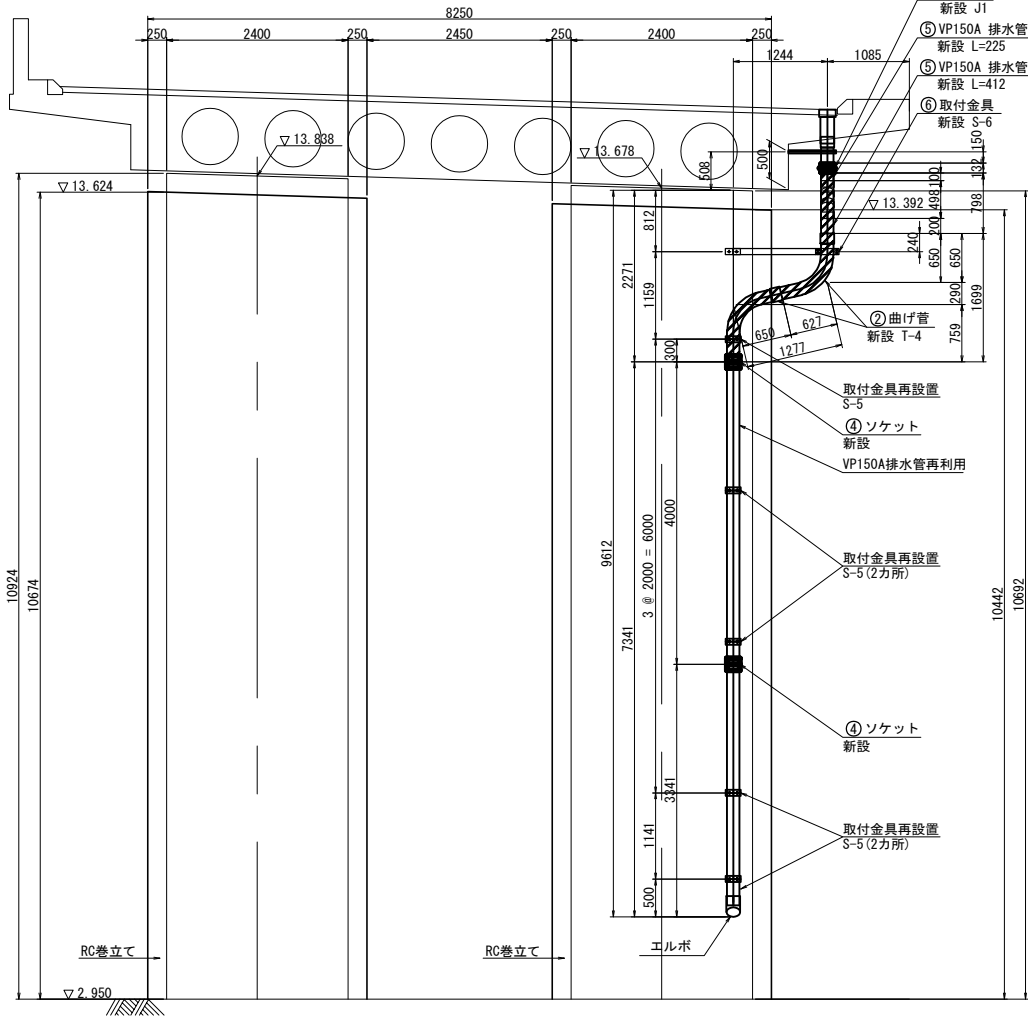
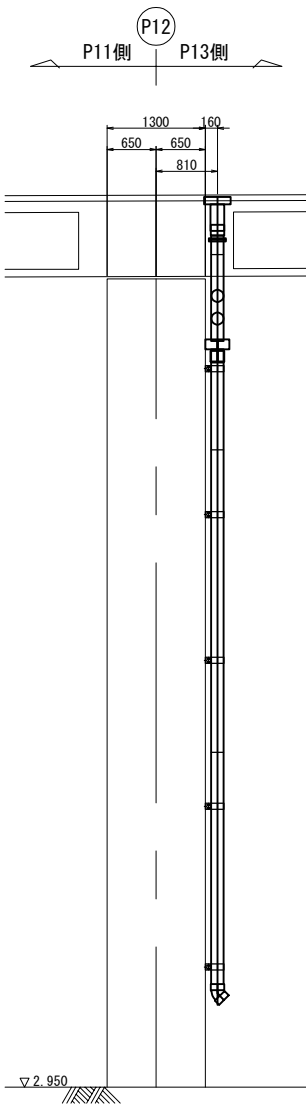
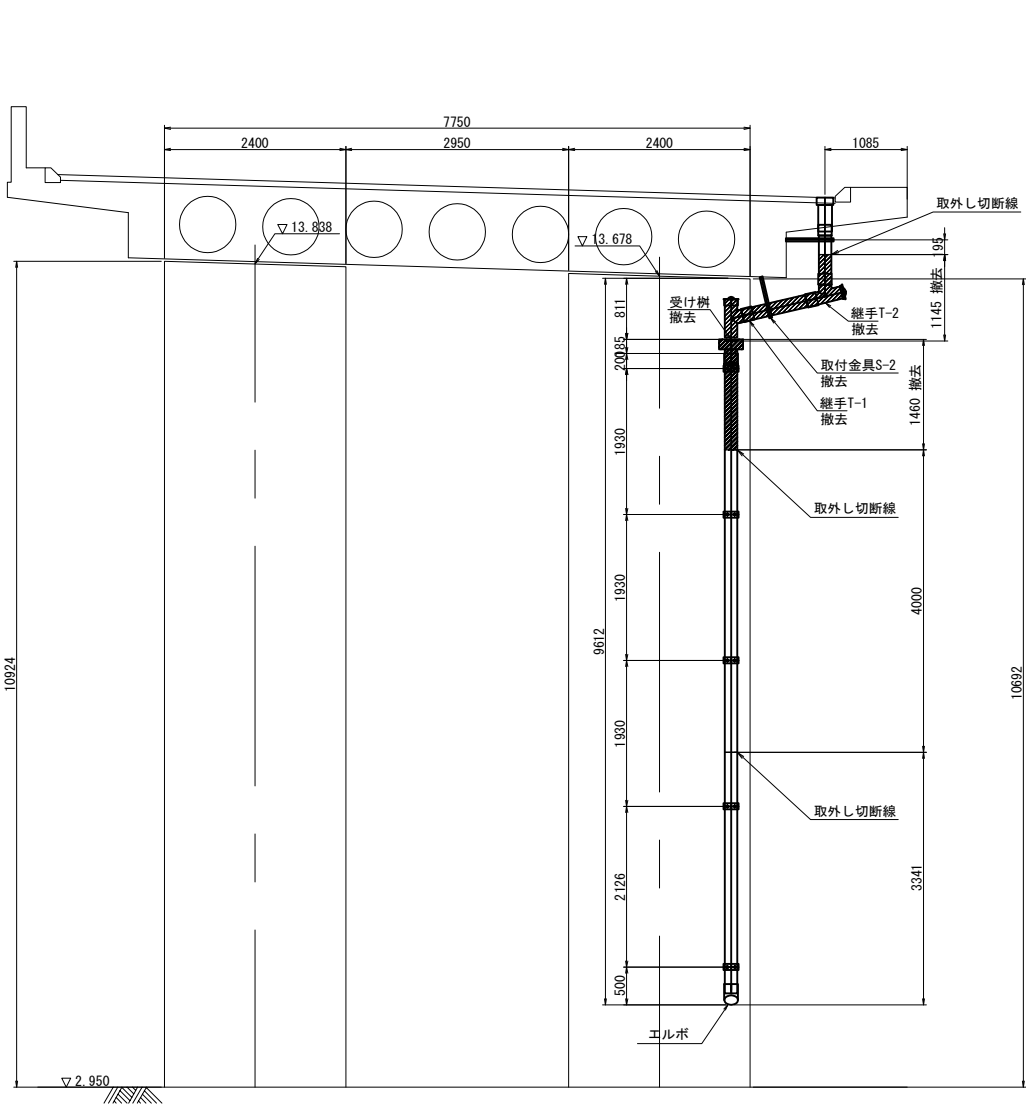
設置図

正面図

側面図

正面図

側面図



撤去部品
1-受桟
1-継手T-1
1-継手T-2
1-取付金具S-2
VP150A排水管 L=4071

新設部品
① 1-伸縮管 J1
② 2-曲げ管 T-4
③ 2-45° エルボ
④ 2-ソケット
⑤ 1-VP150A 排水管 L=266
1-VP150A 排水管 L=225
1-VP150A 排水管 L=412
⑥ 1-取付金具 S-6

再利用部品
VP150A 排水管 L=7066

再設置部品
5-取付金具 S-5

注記
1. 既設取付金具は原則再利用とする。
2. 現地実測の上、製作のこと。
3. 特記なき材質は、全てSS400とする。
4. ナットは全て弛み止めナットを使用すること。
5. 新設部材は、全て溶融亜鉛めっきとする。
亜鉛の付着量は、JIS H8641 HDZT77とする。
但し、ボルト・ナット及び厚さ3.2mm以下の部材は、
HDZT49とする。

常磐自動車道 久慈川橋耐震補強工事			
図面の種類	茂宮川高架橋 P12(A-ライン 終点側) 排水装置撤去・設置工、新設工		
縮 尺	図示	図面番号	134 / 208
設計会社名	株式会社 長大		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

既設撤去図

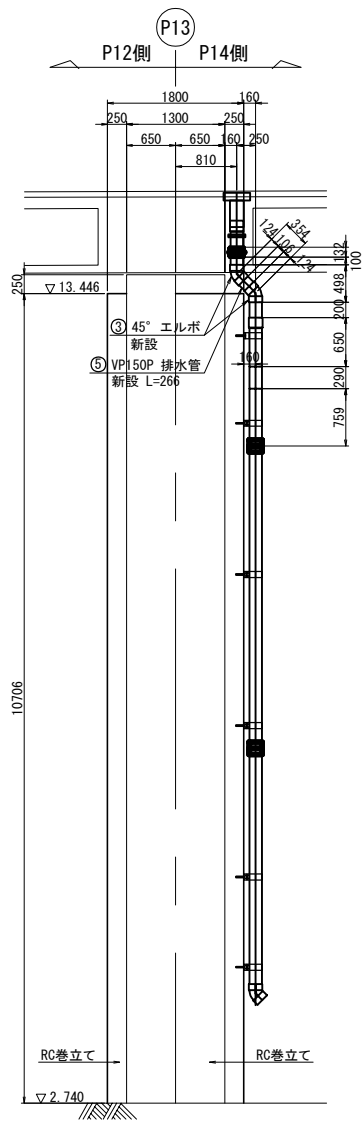
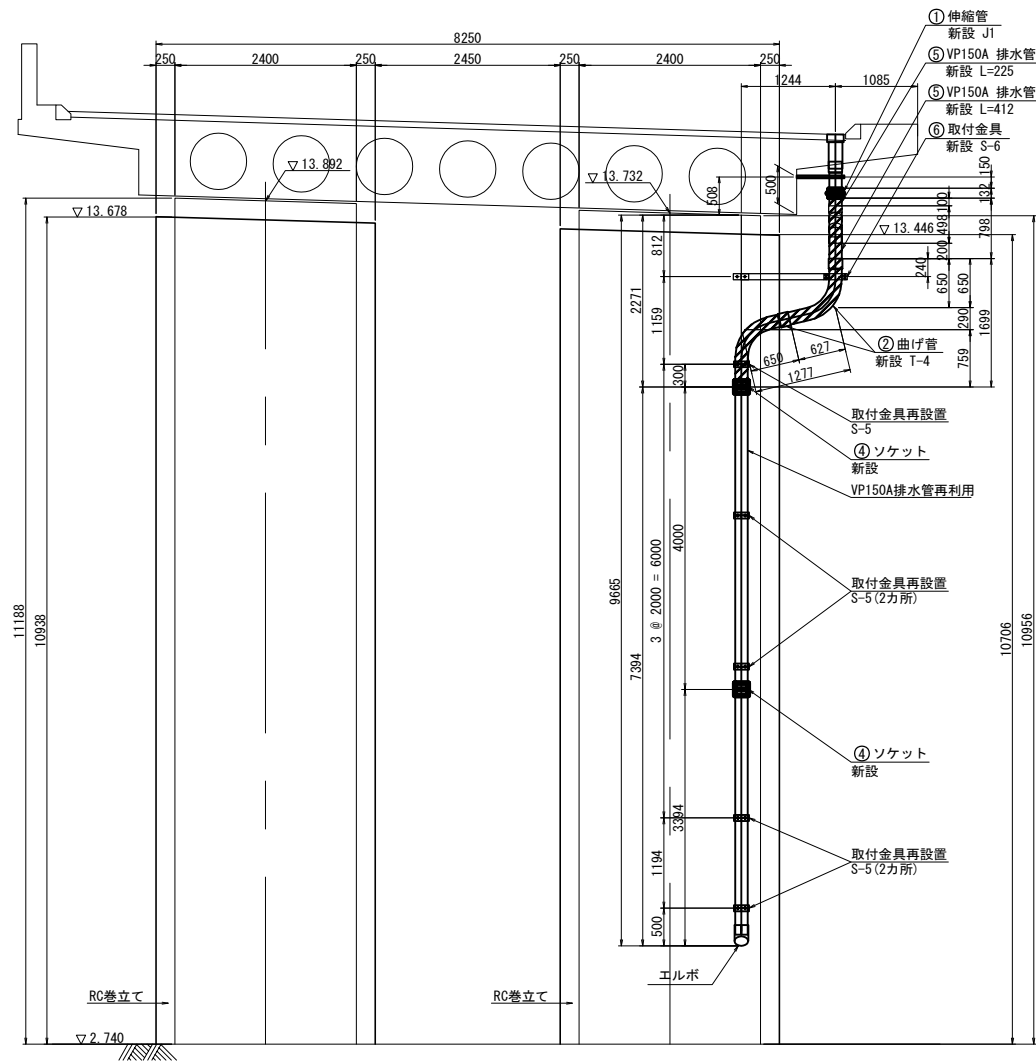
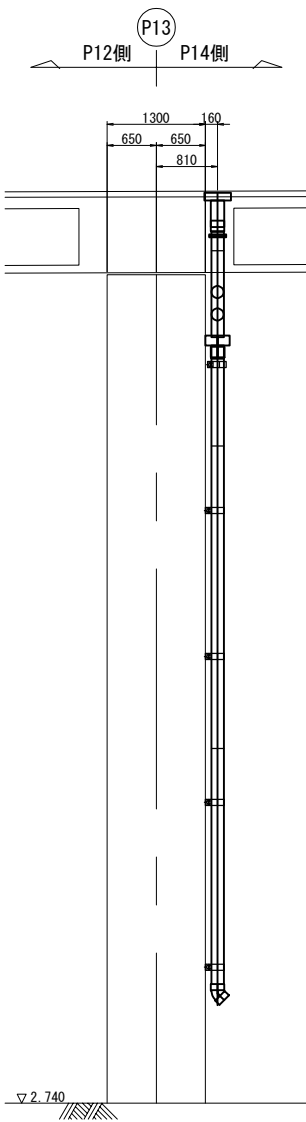
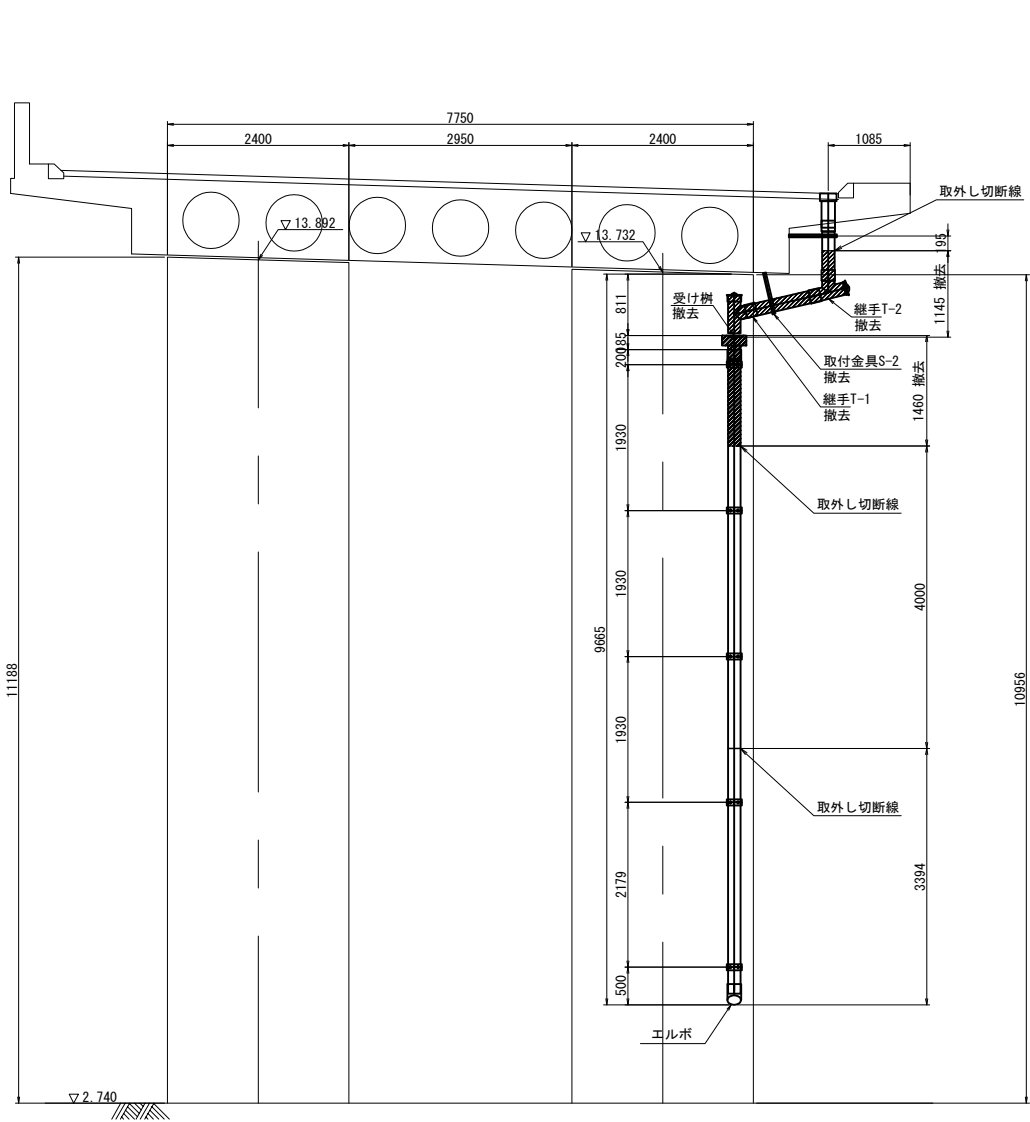
設置図

正面図

側面図

正面図

側面図



撤去部品
1-受付け
1-継手T-1
1-継手T-2
1-取付金具S-2
VP150A排水管 L=4071

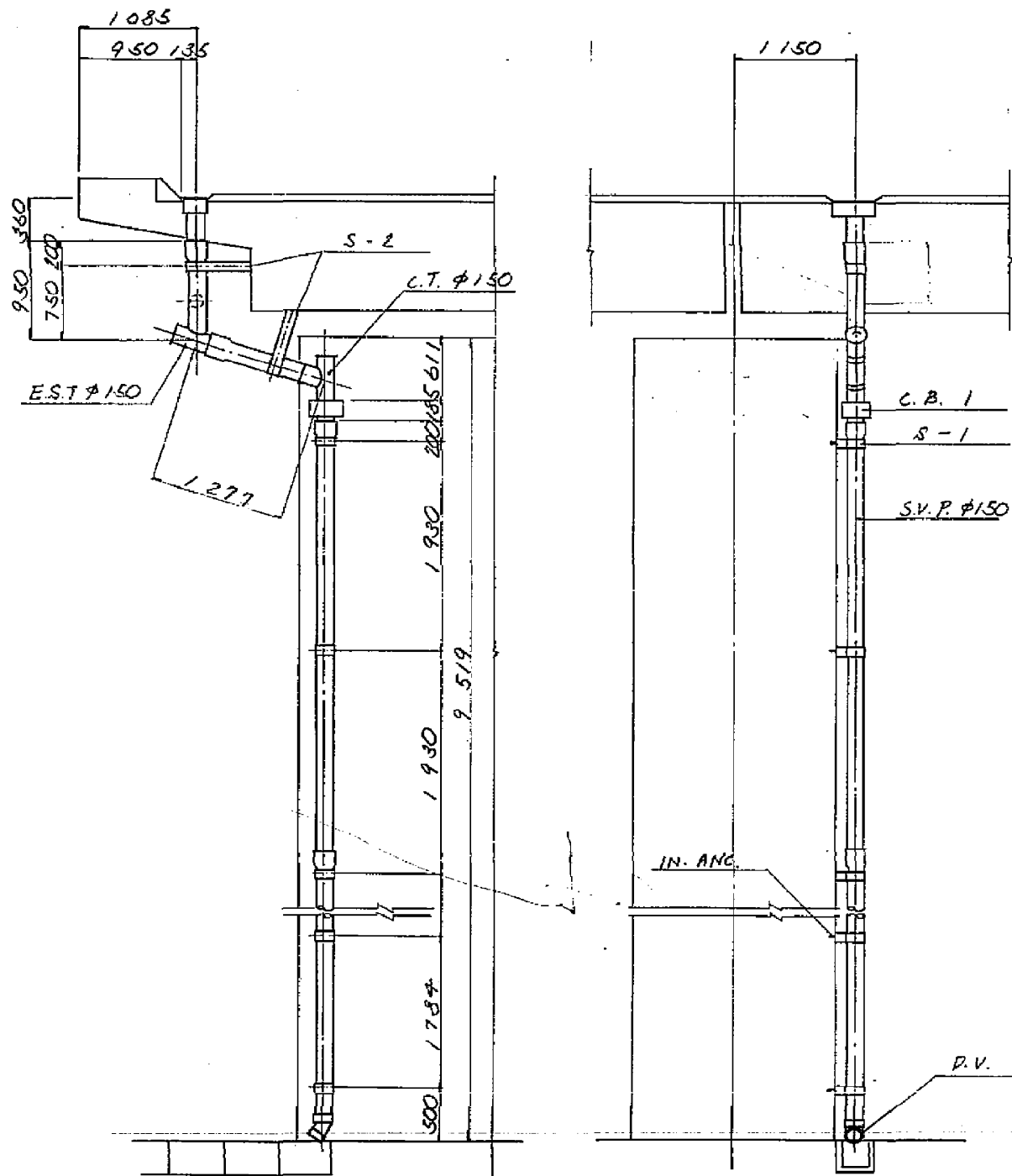
新設部品
① 1-伸縮管 J1
② 2-曲げ管 T-4
③ 2-45° エルボ
④ 2-ソケット
⑤ 1-VP150A 排水管 L=266
1-VP150A 排水管 L=225
1-VP150A 排水管 L=412
⑥ 1-取付金具 S-6

再利用部品
VP150A 排水管 L=7119

再設置部品
5-取付金具 S-5

- 注記
1. 既設取付金具は原則再利用とする。
 2. 現地実測の上、製作のこと。
 3. 特記なき材質は、全てSS400とする。
 4. ナットは全て弛み止めナットを使用すること。
 5. 新設部材は、全て溶融亜鉛めっきとする。
垂鉛の付着量は、JIS H8641 HDZT77とする。
但し、ボルト・ナット及び厚さ3.2mm以下の部材は、
HDZT49とする。

常磐自動車道 久慈川橋耐震補強工事			
図面の種類	茂宮川高架橋 P13(A-ライン 終点側)		
	排水装置撤去・設置工、新設工		
縮 尺	図示	図面番号	135 / 208
設計会社名	株式会社 長大		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		



種 別	形 状	単 位	P14	
			Aライン	Bライン
排水機	Types-1	個	1	1
塩ビ管	φ150 S.V.P.	m	19.816	10.132
4-2/1	φ150 90° 17°	個	1	1
4-2/2 (新)	φ150 90° 17°	個	1	1
受 皿	φ150	個	1	1
ブ ラ ケ ッ ト		個	1	1
サ ポ ー ト	S-1	個	6	6
サ ポ ー ト	S-2	個	2	2
45° 曲 り 管	φ150	個	1	1
塩ビ管	φ150 SVP	m	1.4	1.1
流水延長		m	11.4	11.5

撤去延長=11.085m
撤去再設置延長=11.085m

注記
1. 既設取付金具は原則再利用とする。

常盤自動車道 久慈川橋耐震補強工事			
図面の種類	茂宮川高架橋 P14(A-ライン 終点側) 排水装置撤去・設置工		
縮 尺	図示	図面番号	136/208
設計会社名	株式会社 長大		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

既設撤去図

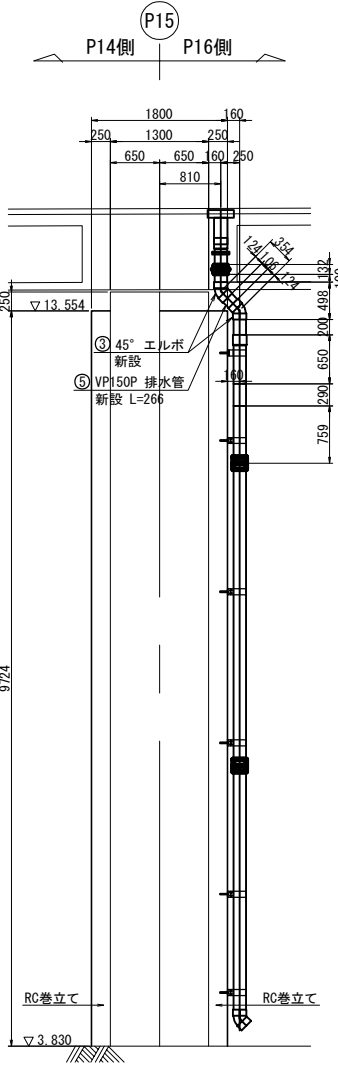
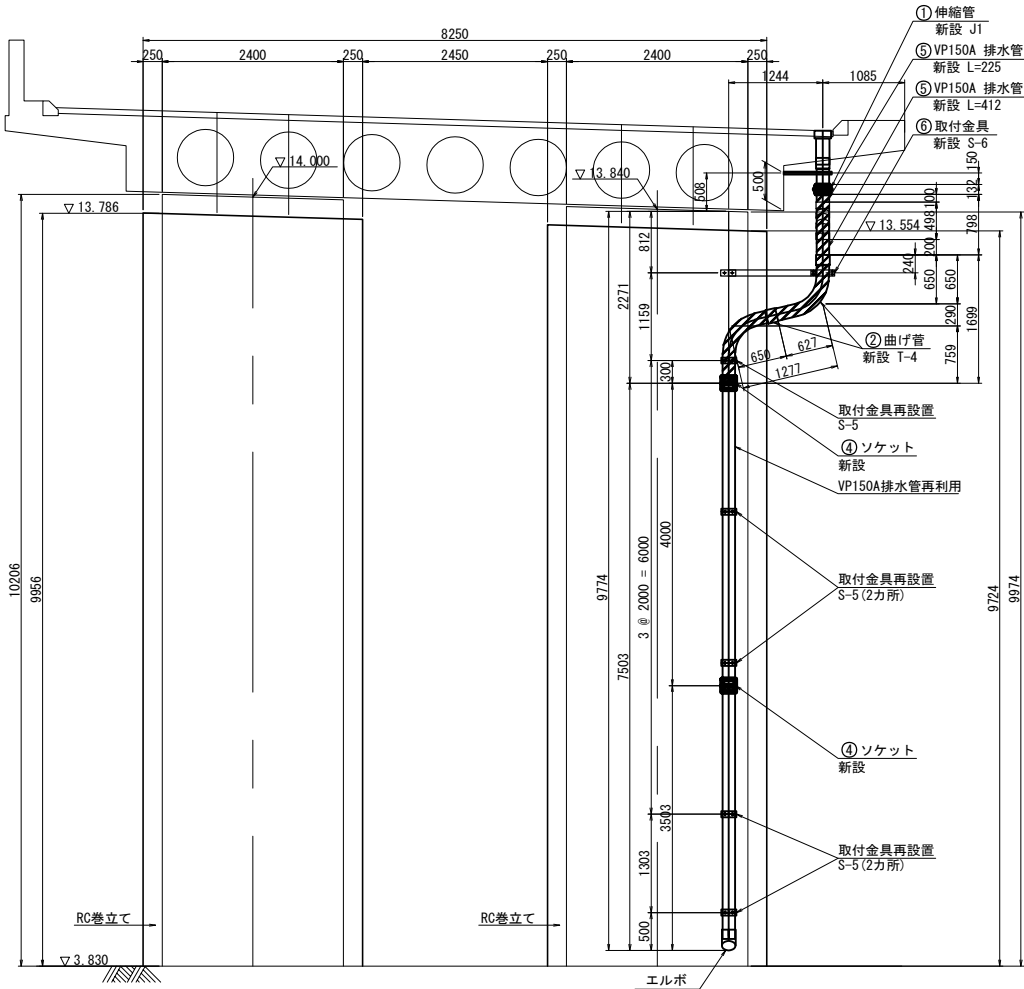
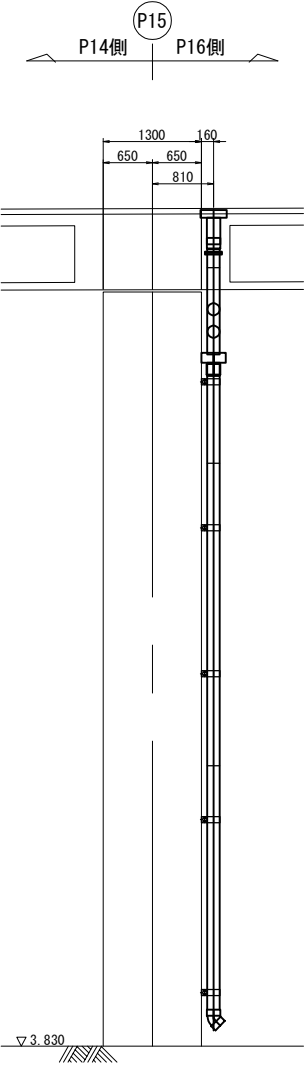
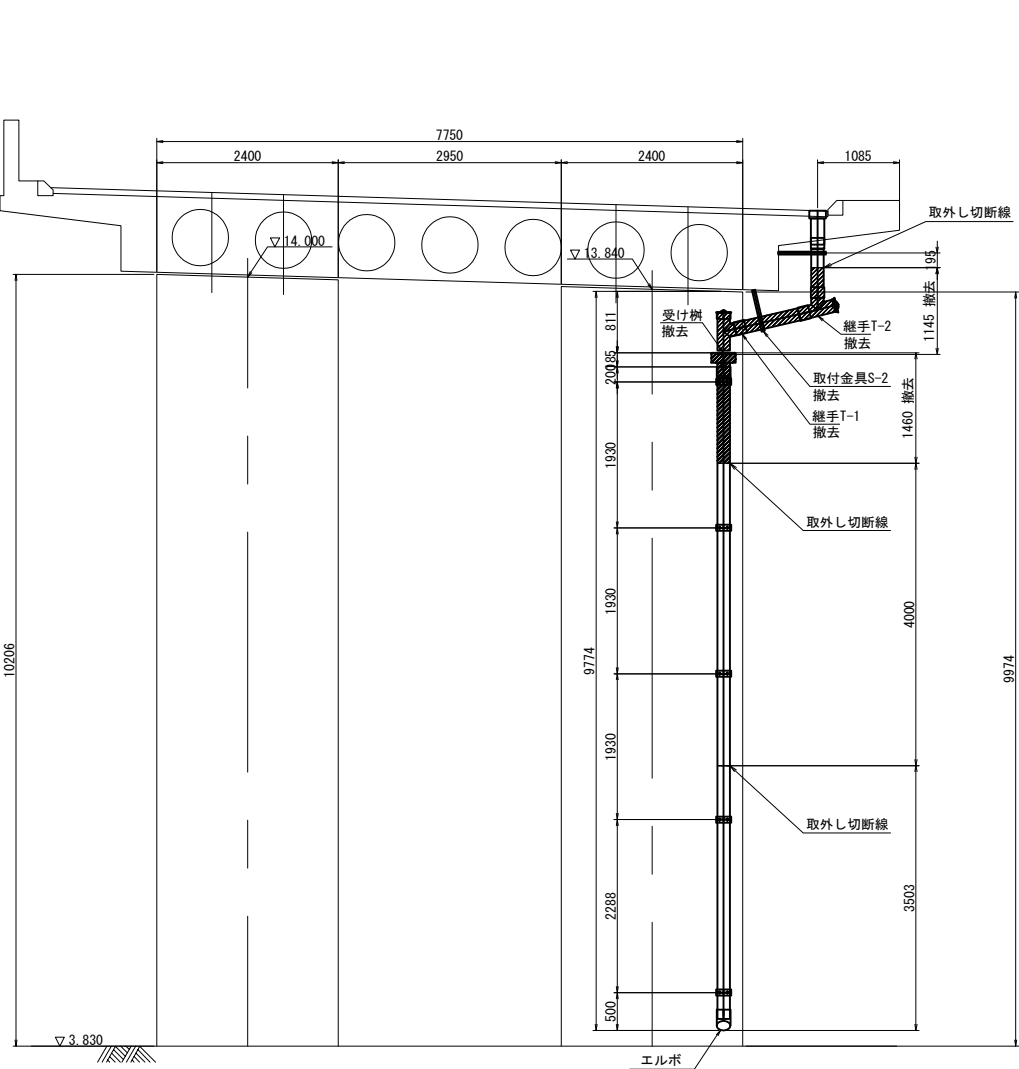
設置図

正面図

側面図

正面図

側面図



撤去部品
1-受樹
1-継手T-1
1-継手T-2
1-取付金具S-2
VP150A排水管 L=4071

新設部品
① 伸縮管 J1
② 2-曲げ管 T-4
③ 2-45° エルボ
④ 2-ソケット
⑤ 1-VP150A 排水管 L=266
1-VP150A 排水管 L=225
1-VP150A 排水管 L=412
⑥ 1-取付金具 S-6

再利用部品
VP150A 排水管 L=7228

再設置部品
5-取付金具 S-5

注記
1. 既設取付金具は原則再利用とする。
2. 現地実測の上、製作のこと。
3. 特記なき材質は、全てSS400とする。
4. ナットは全て弛み止めナットを使用すること。
5. 新設部材は、全て溶融亜鉛めっきとする。
亜鉛の付着量は、JIS H8641 HDZT77とする。
但し、ボルト・ナット及び厚さ3.2mm以下の部材は、
HDZT49とする。

常磐自動車道 久慈川橋耐震補強工事			
図面の種類	茂宮川高架橋 P15 (A-ライン 終点側) 排水装置撤去・設置工、新設工		
縮 尺	図示	図面番号	137 / 208
設計会社名	株式会社 長大		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

既設撤去図

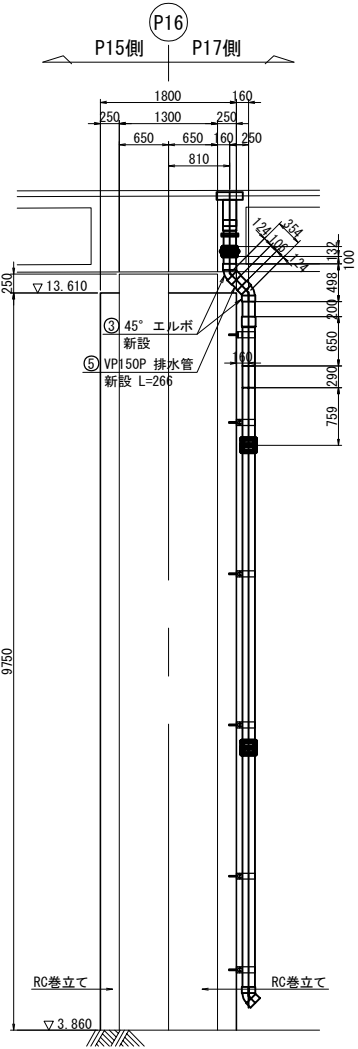
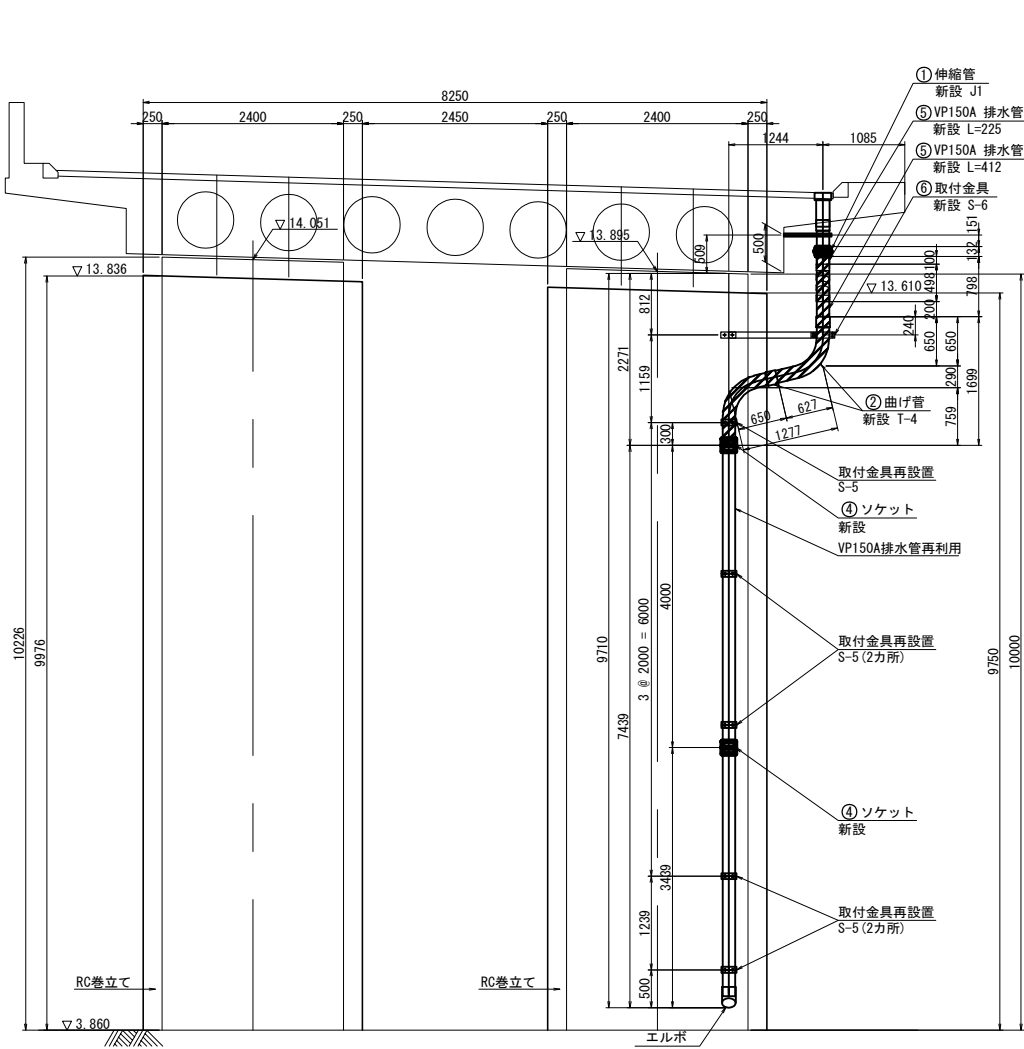
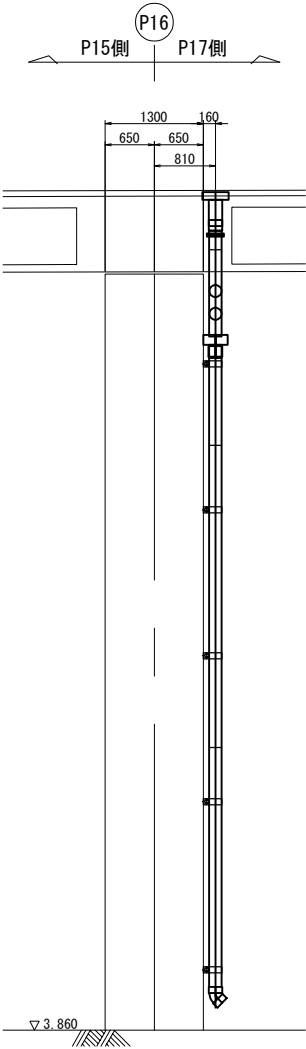
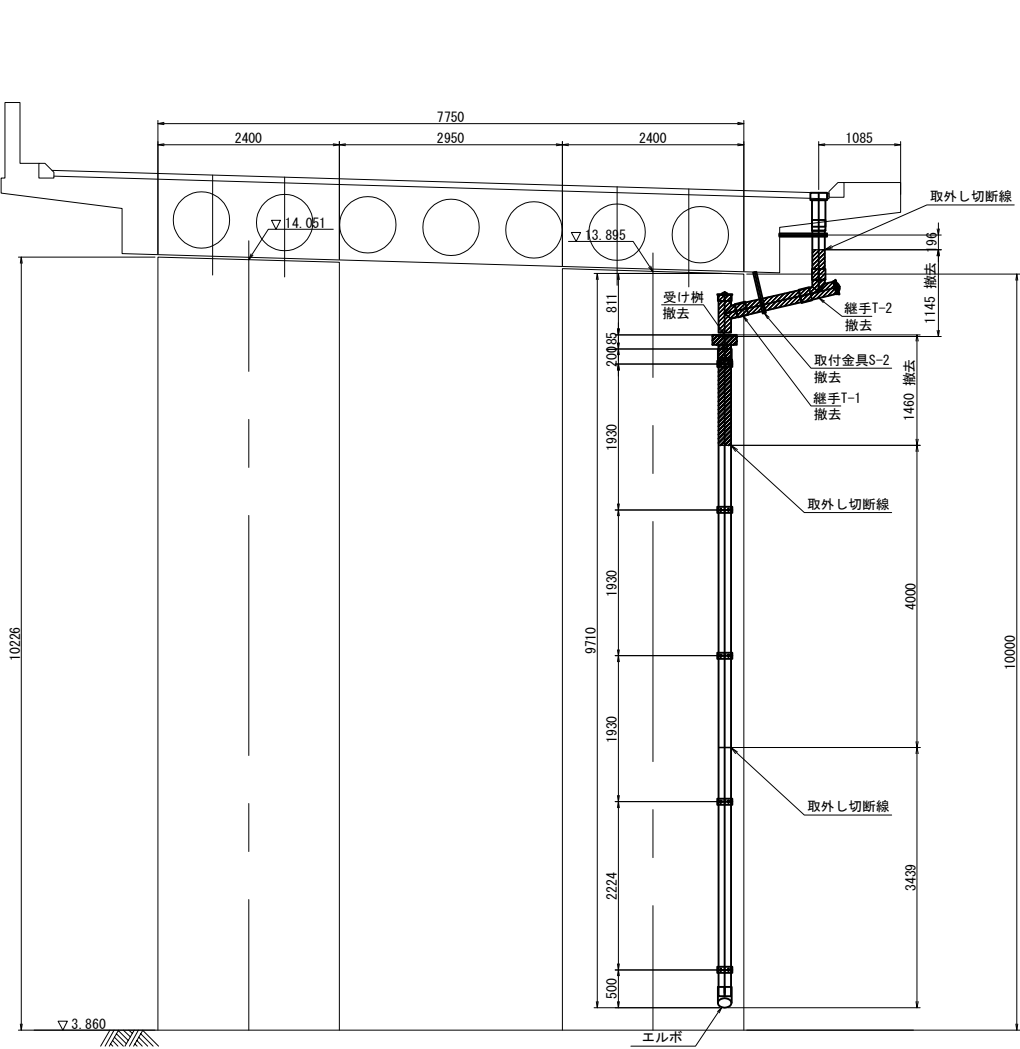
設置図

正面図

側面図

正面図

側面図



撤去部品
1-受樹
1-継手T-1
1-継手T-2
1-取付金具S-2
VP150A排水管 L=4071

新設部品
① 1-伸縮管 J1
② 2-曲げ管 T-4
③ 2-45° エルボ
④ 2-ソケット
⑤ 1-VP150A 排水管 L=266
1-VP150A 排水管 L=225
1-VP150A 排水管 L=412
⑥ 1-取付金具 S-6

再利用部品
VP150A 排水管 L=7164

再設置部品
5-取付金具 S-5

注記
1. 既設取付金具は原則再利用とする。
2. 現地実測の上、製作のこと。
3. 特記なき材質は、全てSS400とする。
4. ナットは全て弛み止めナットを使用すること。
5. 新設部材は、全て溶融亜鉛めっきとする。
亜鉛の付着量は、JIS H8641 HDZT77とする。
但し、ボルト・ナット及び厚さ3.2mm以下の部材は、
HDZT49とする。

常盤自動車道 久慈川橋耐震補強工事			
図面の種類	茂宮川高架橋 P16 (A-ライン 終点側) 排水装置撤去・設置工、新設工		
縮 尺	図示	図面番号	138 / 208
設計会社名	株式会社 長大		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

既設撤去図

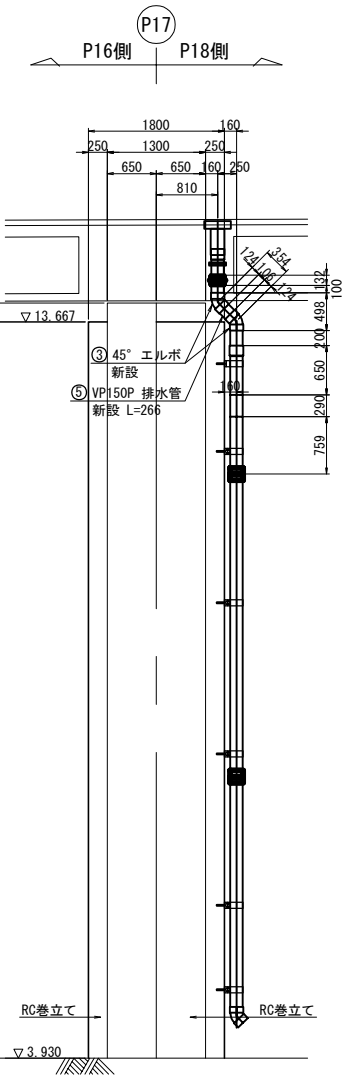
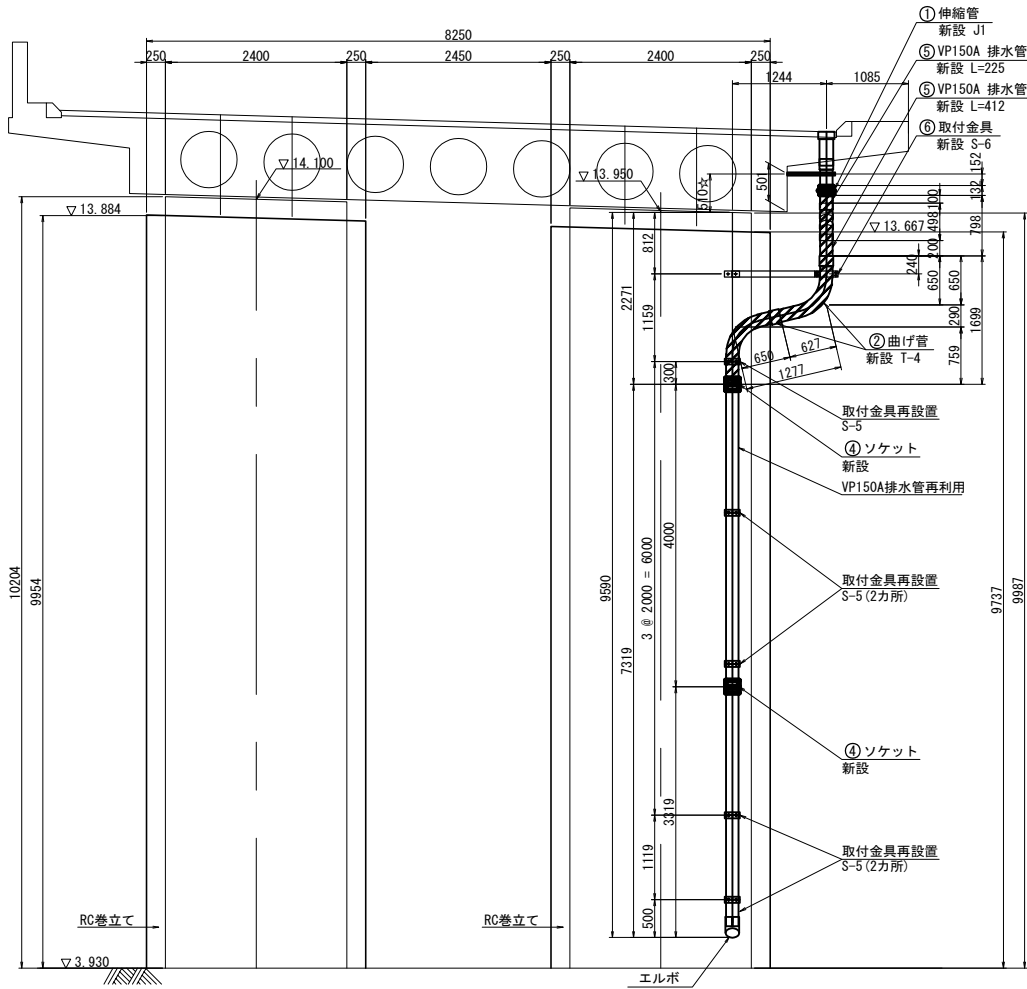
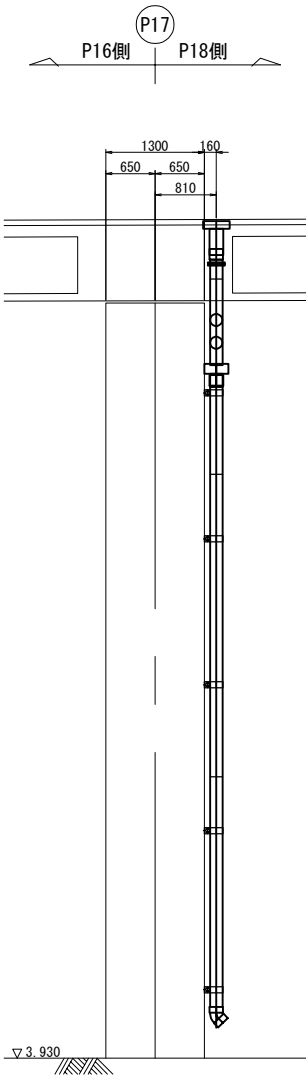
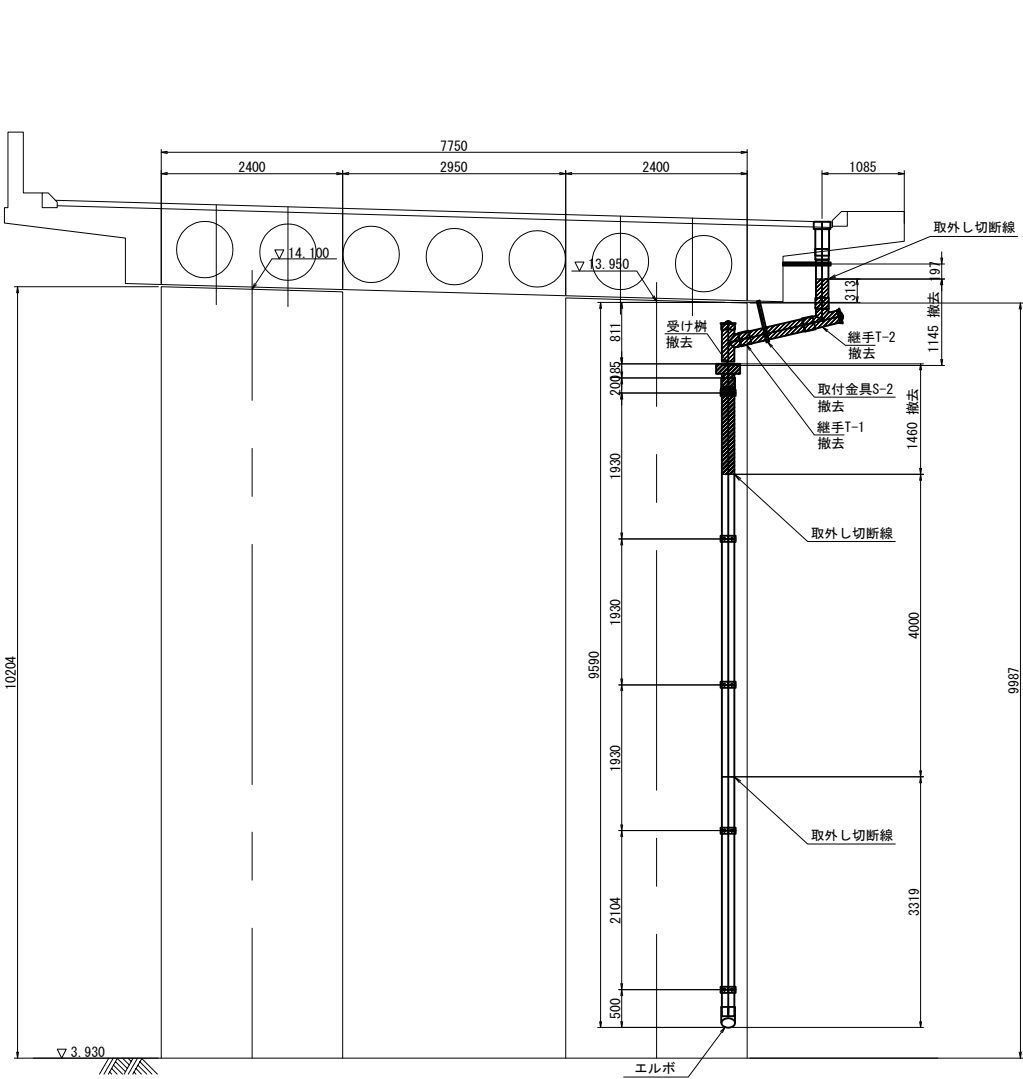
設置図

正面図

側面図

正面図

側面図



撤去部品
1-受樹
1-継手T-1
1-継手T-2
1-取付金具S-2
VP150A排水管 L=4071

新設部品
① 伸縮管 J1
② 2-曲げ管 T-4
③ 2-45° エルボ
④ 2-ソケット
⑤ 1-VP150A 排水管 L=266
1-VP150A 排水管 L=225
1-VP150A 排水管 L=412
⑥ 1-取付金具 S-6

再利用部品
VP150A 排水管 L=7044

再設置部品
5-取付金具 S-5

注記
1. 既設取付金具は原則再利用とする。
2. 現地実測の上、製作のこと。
3. 特記なき材質は、全てSS400とする。
4. ナットは全て弛み止めナットを使用すること。
5. 新設部材は、全て溶融亜鉛めっきとする。
亜鉛の付着量は、JIS H8641 HDZT77とする。
但し、ボルト・ナット及び厚さ3.2mm以下の部材は、
HDZT49とする。

常磐自動車道 久慈川橋耐震補強工事			
図面の種類	茂宮川高架橋 P17(A-ライン 終点側) 排水装置撤去・設置工、新設工		
縮 尺	図示	図面番号	139 / 208
設計会社名	株式会社 長大		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

既設撤去図

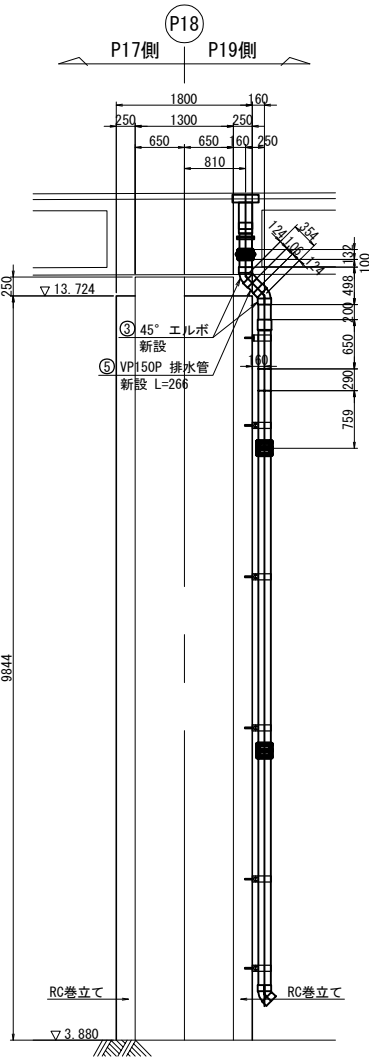
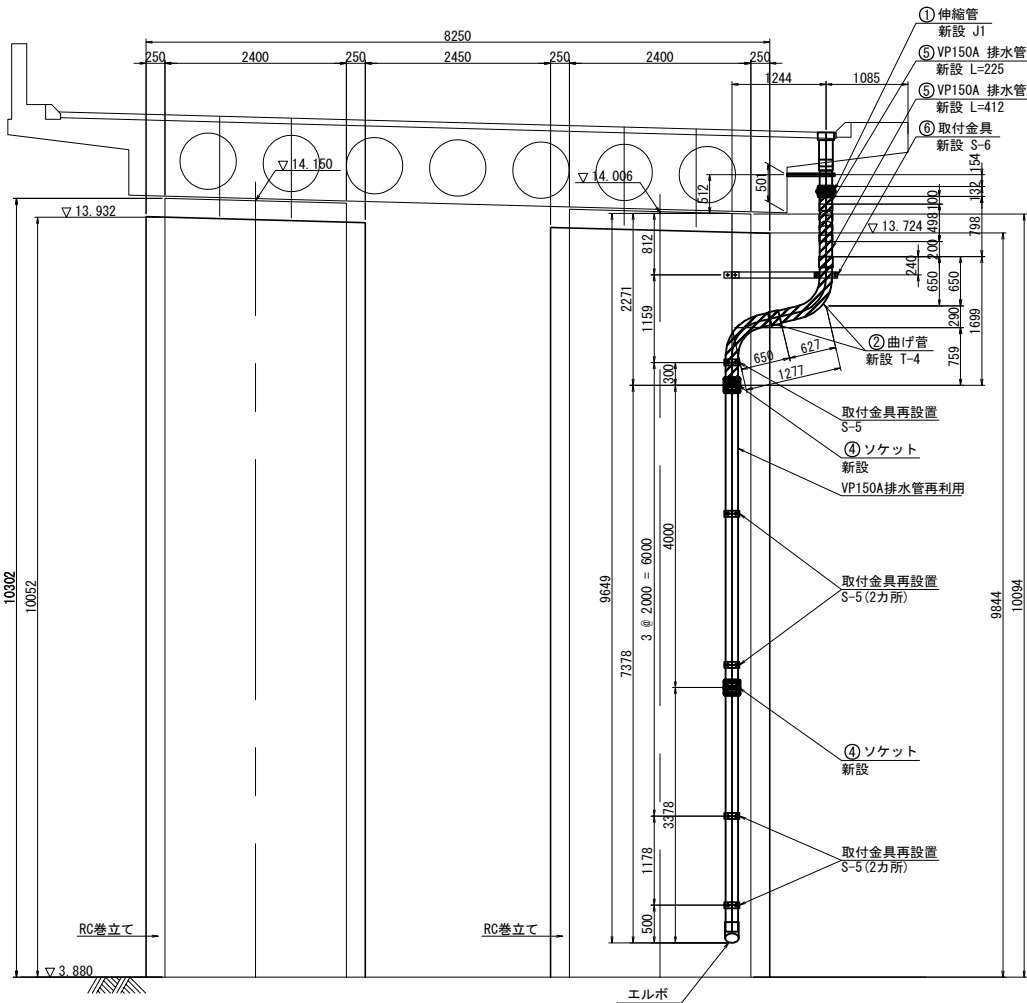
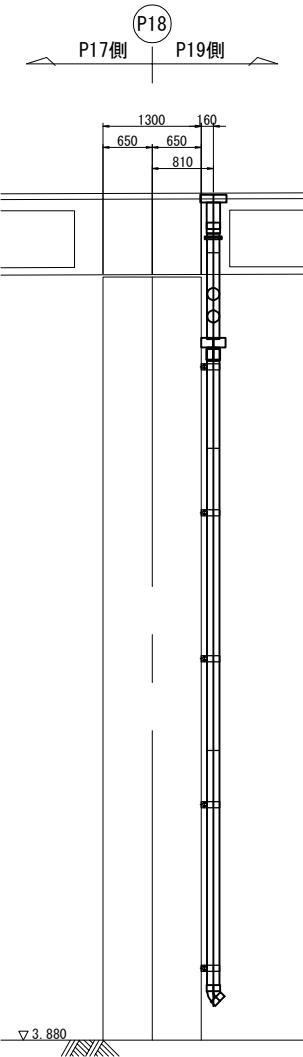
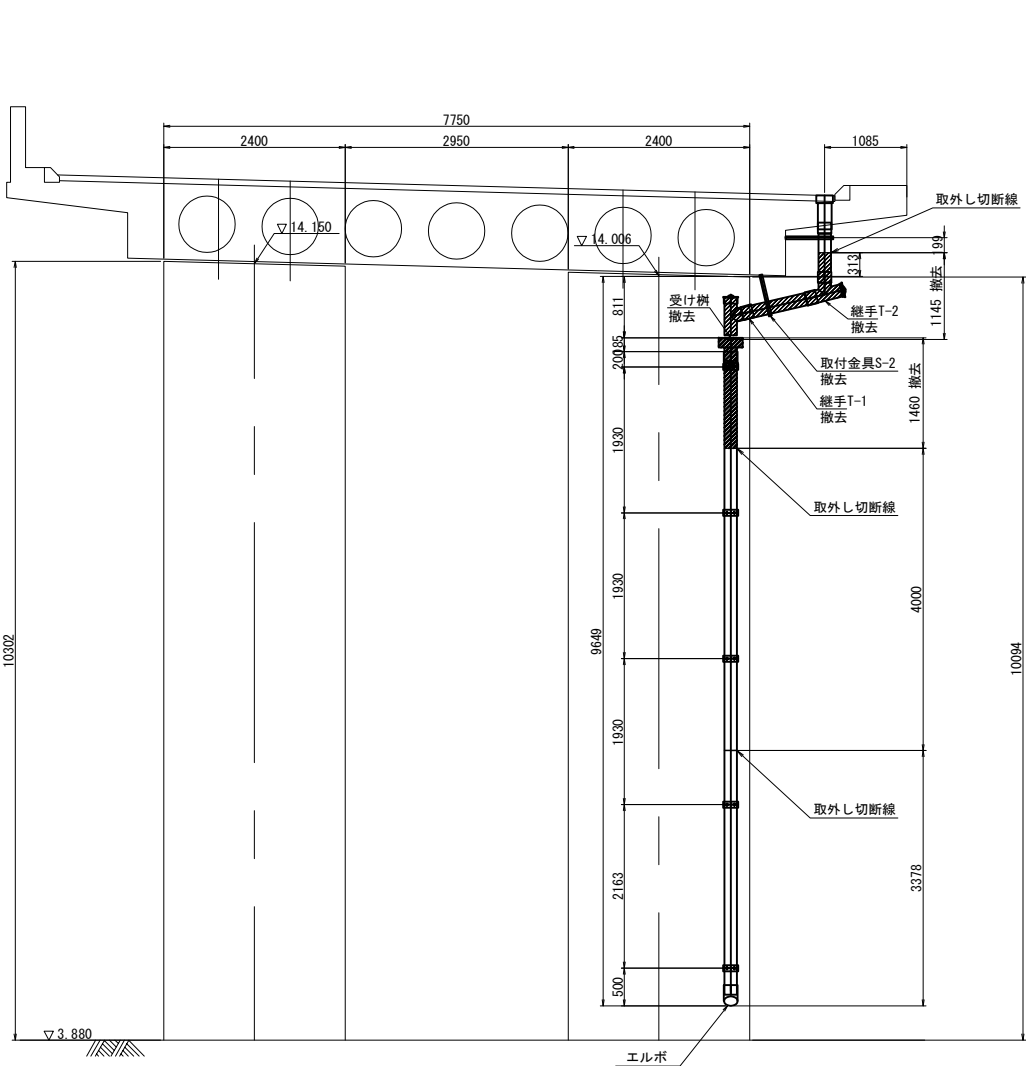
設置図

正面図

側面図

正面図

側面図



撤去部品
1-受樹
1-継手T-1
1-継手T-2
1-取付金具S-2
VP150A排水管 L=4071

新設部品
① 伸縮管 J1
② 2-曲げ管 T-4
③ 2-45° エルボ
④ 2-ソケット
⑤ 1-VP150A 排水管 L=266
1-VP150A 排水管 L=225
1-VP150A 排水管 L=412
⑥ 1-取付金具 S-6

再利用部品
VP150A 排水管 L=7103

再設置部品
5-取付金具 S-5

注記
1. 既設取付金具は原則再利用とする。
2. 現地実測の上、製作のこと。
3. 特記なき材質は、全てSS400とする。
4. ナットは全て弛み止めナットを使用すること。
5. 新設部材は、全て溶融亜鉛めっきとする。
亜鉛の付着量は、JIS H8641 HDZT77とする。
但し、ボルト・ナット及び厚さ3.2mm以下の部材は、
HDZT49とする。

常盤自動車道 久慈川橋耐震補強工事			
図面の種類	茂宮川高架橋 P18 (A-ライン 終点側) 排水装置撤去・設置工、新設工		
縮 尺	図示	図面番号	140 / 208
設計会社名	株式会社 長大		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

既設撤去図

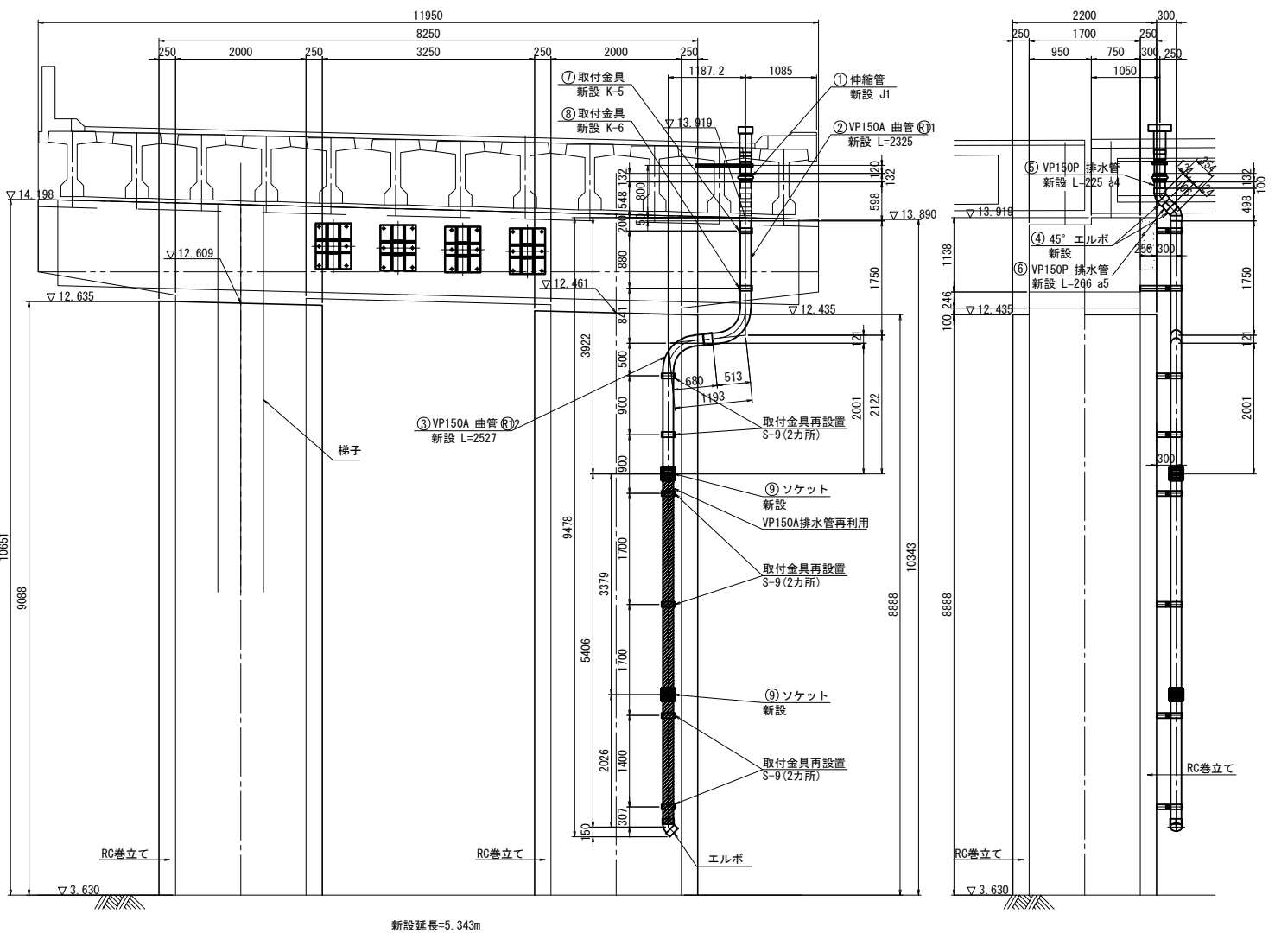
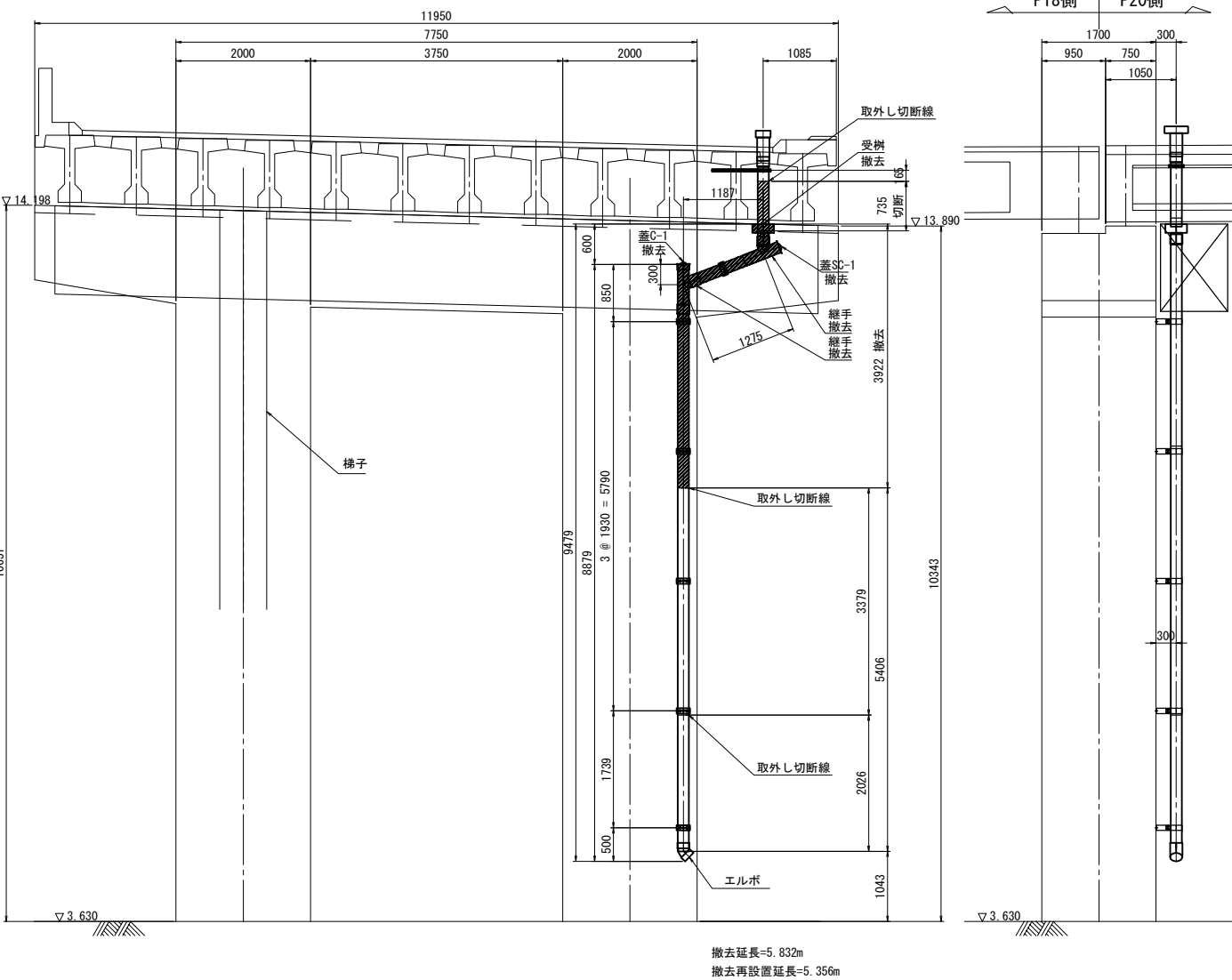
設置図

正面図

側面図

正面図

側面図



撤去工
1-受樹
1-継手(チーズ管)
1-蓋SC-1
1-継手(チーズ管)
1-蓋C-1
VP150A排水管 L=5832
12-BN M12 x 40(2-W)
12-打ち込み式アンカーボルト M12 x 100

新設工
① 1-伸縮管 J1
② 1-曲管 R11
③ 1-曲管 R12
④ 2-45° エルボ
⑤ 1-VP150A 排水管 L=225 a4
⑥ 1-VP150A 排水管 L=266 a5
⑦ 1-取付金具 K-5
⑧ 1-取付金具 K-6
⑨ 2-ソケット
12-BN M12 x 40(2-W)
12-打ち込み式アンカーボルト M12 x 100

撤去・設置工
VP150A 排水管 L=5356
6-取付金具 S-9

注記
1. 既設取付金具は原則再利用とする。
2. 現地実測の上、製作のこと。
3. 特記なき材質は、全てSS400とする。
4. ナットは全て弛み止めナットを使用すること。
5. 新設部材は、全て溶融亜鉛めっきとする。
亜鉛の付着量は、JIS H8641 HDZT77とする。
但し、ボルト・ナット及び厚さ5mm以下の部材は、
HDZT49とする。

常磐自動車道 久慈川橋耐震補強工事			
図面の種類	茂宮川高架橋 P19(A-ライン 終点側) 排水装置撤去・設置工、新設工		
	縮尺	図示	図面番号 141/208
設計会社名	株式会社 長大		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

既設撤去図

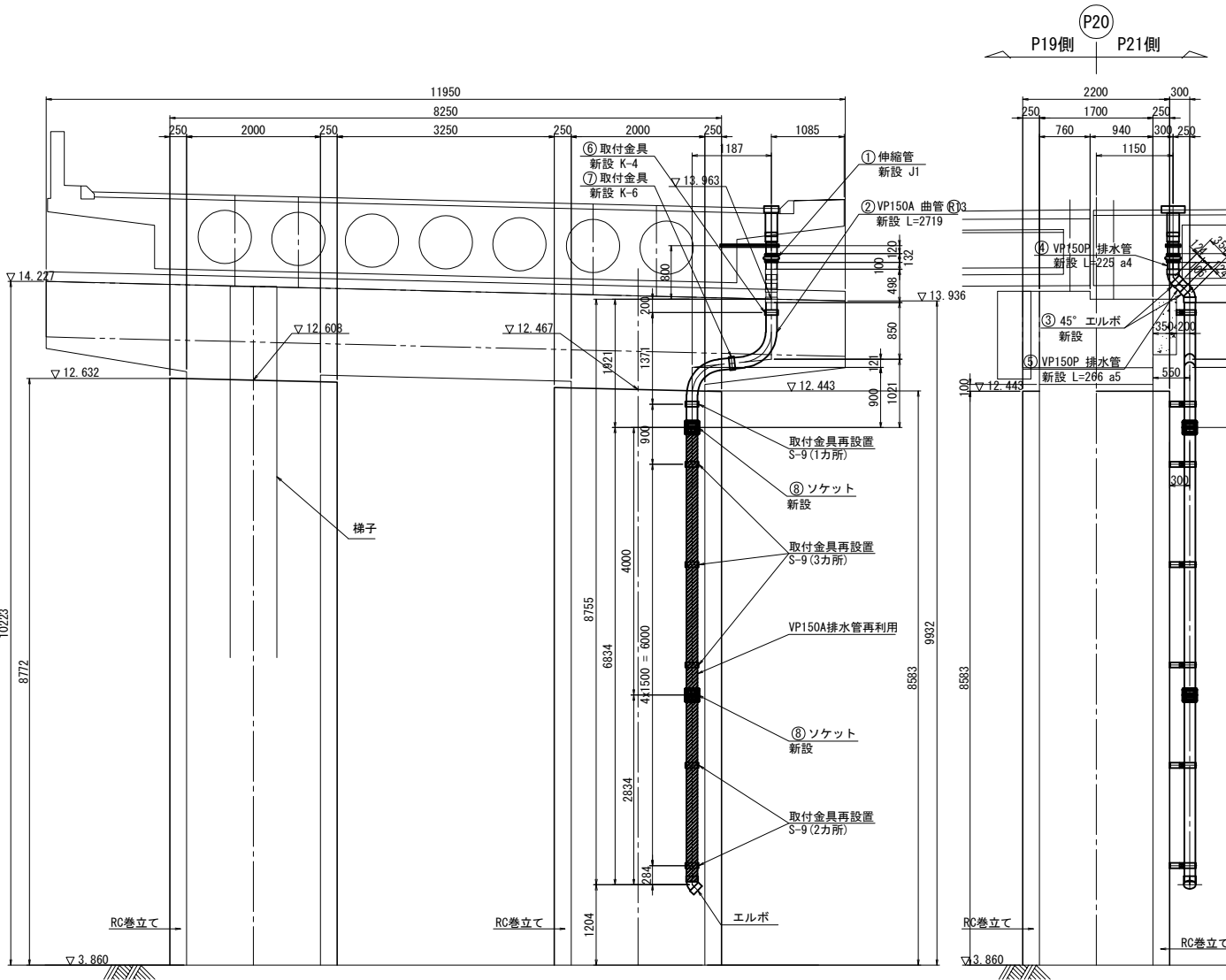
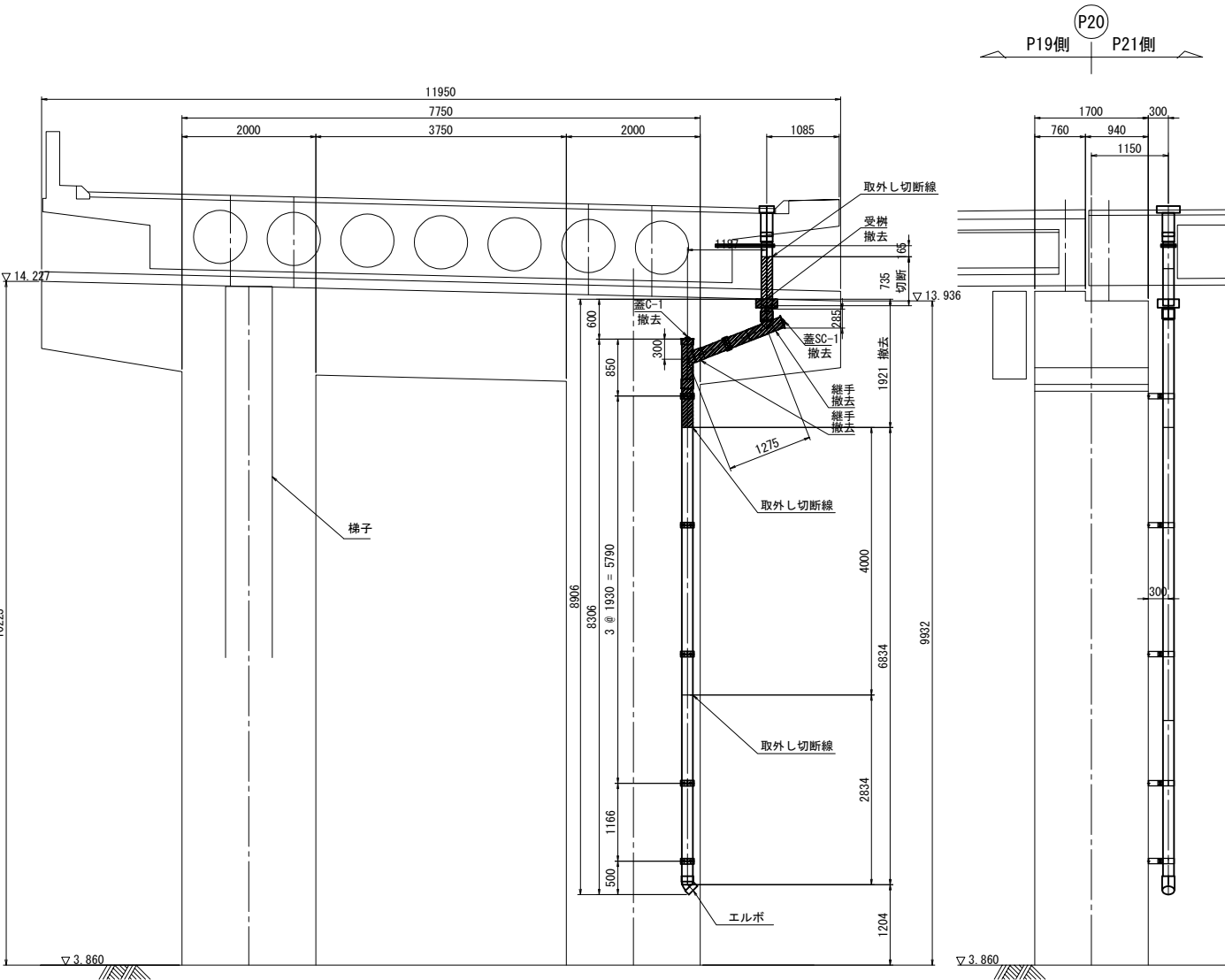
設置図

正面図

側面図

正面図

側面図



撤去延長=3.831m
撤去再設置延長=6.784m

新設延長=3.210m

撤去工
1-受槽
1-継手(チーズ管)
1-蓋SC-1
1-継手(チーズ管)
1-蓋C-1
VP150A排水管 L=3831
12-BN M12 x 40(2-W)
12-打ち込み式アンカーボルト M12 x 100

新設工
① 1-伸縮管 J1
② 1-曲管 R13
③ 2-45° エルボ
④ 1-VP150A 排水管 L=225 a4
⑤ 1-VP150A 排水管 L=266 a5
⑥ 1-取付金具 K-4
⑦ 1-取付金具 K-6
⑧ 2-ソケット
12-BN M12 x 40(2-W)
12-打ち込み式アンカーボルト M12 x 100

撤去・設置工
VP150A 排水管 L=6784
6-取付金具 S-9

注記
1. 既設取付金具は原則再利用とする。
2. 現地実測の上、製作のこと。
3. 特記なき材質は、全てSS400とする。
4. ナットは全て弛み止めナットを使用すること。
5. 新設部材は、全て溶融亜鉛めっきとする。
垂鉛の付着量は、JIS H8641 HDZT77とする。
但し、ボルト・ナット及び厚さ5mm以下の部材は、HDZT49とする。

常盤自動車道 久慈川橋耐震補強工事			
図面の種類	茂宮川高架橋 P20 (A-ライン 終点側) 排水装置撤去・設置工、新設工		
縮 尺	図示	図面番号	142 / 208
設計会社名	株式会社 長大		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

既設撤去図

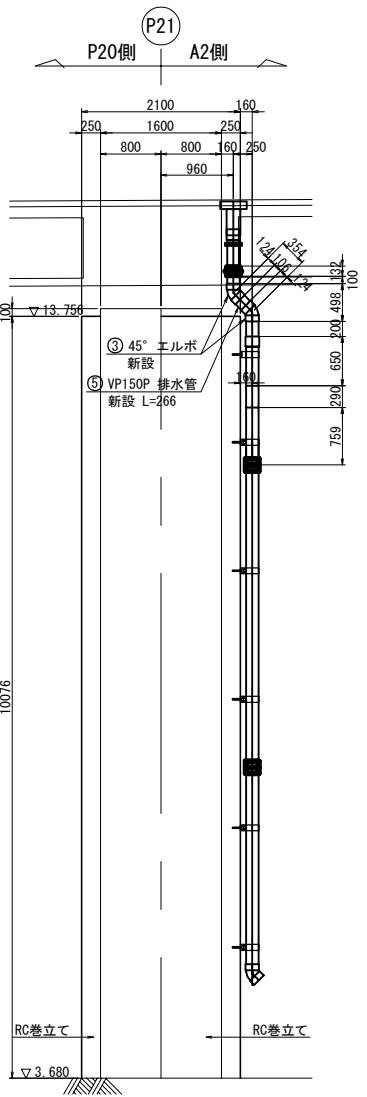
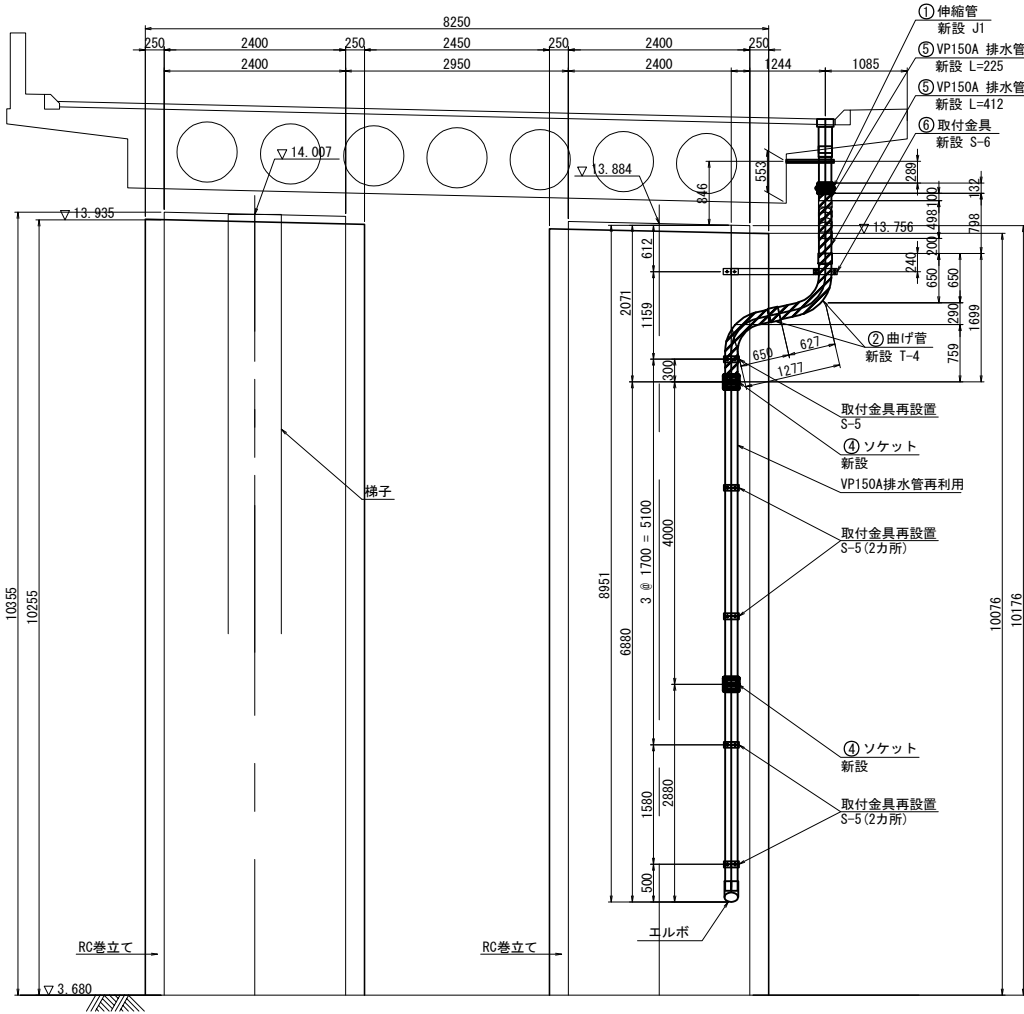
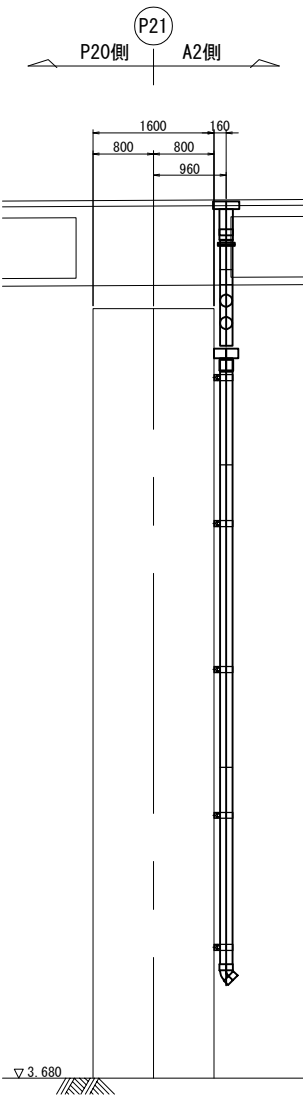
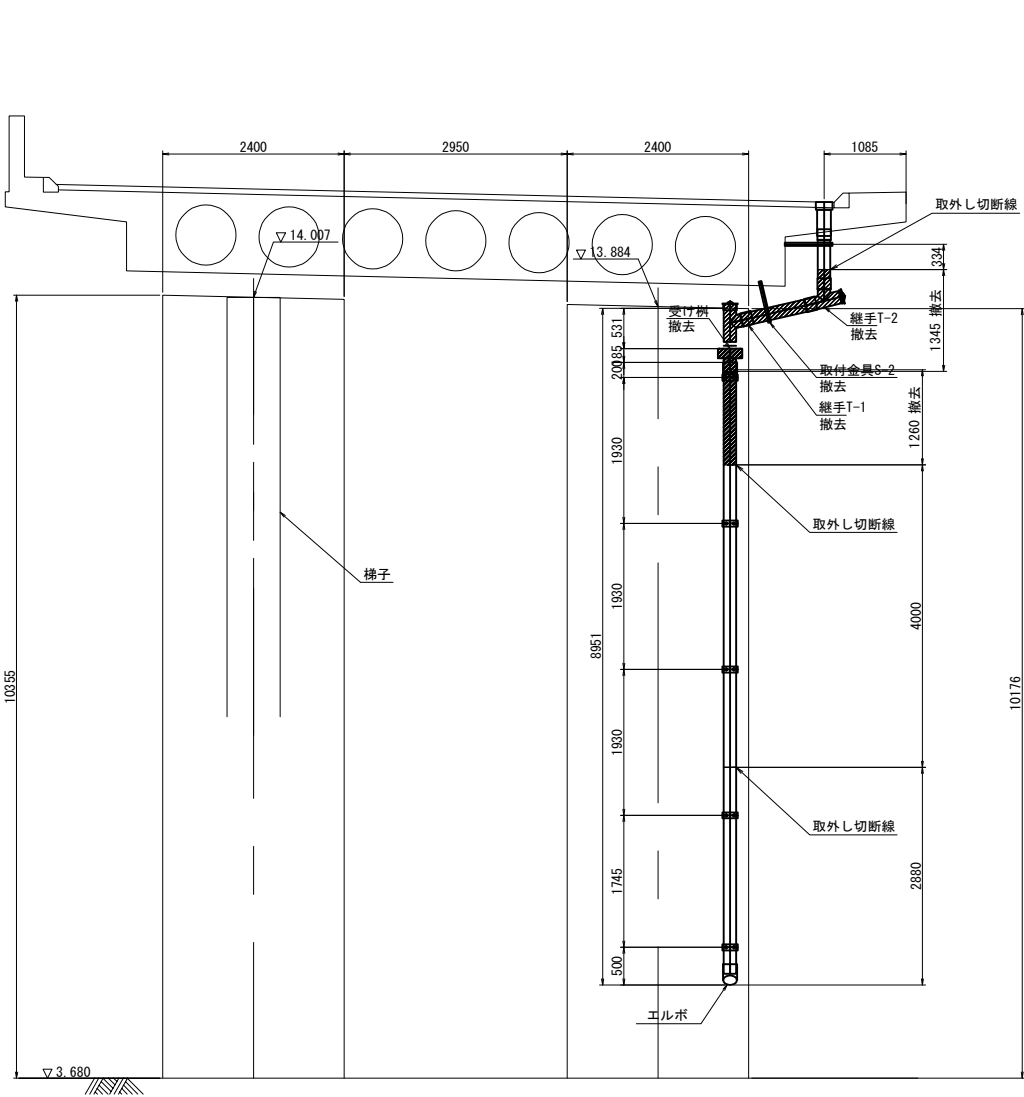
設置図

正面図

側面図

正面図

側面図



撤去部品
1-受樹
1-継手T-1
1-継手T-2
1-取付金具S-2
VP150A排水管 L=4072

新設部品
① 伸縮管 J1
② 2-曲げ管 T-4
③ 2-45° エルボ
④ 2-ソケット
⑤ 1-VP150A 排水管 L=266
1-VP150A 排水管 L=225
1-VP150A 排水管 L=412
⑥ 1-取付金具 S-6

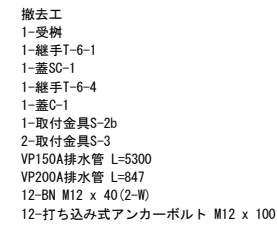
再利用部品
VP150A 排水管 L=6605

再設置部品
5-取付金具 S-5

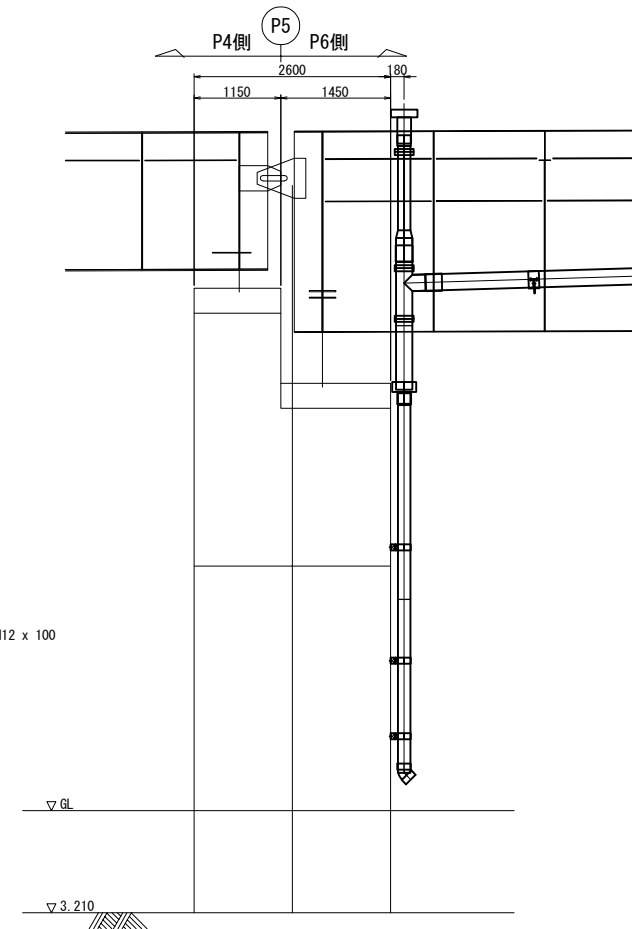
注記
1. 既設取付金具は原則再利用とする。
2. 現地実測の上、製作のこと。
3. 特記なき材質は、全てSS400とする。
4. ナットは全て弛み止めナットを使用すること。
5. 新設部材は、全て溶融亜鉛めっきとする。
亜鉛の付着量は、JIS H8641 HDZT77とする。
但し、ボルト・ナット及び厚さ3.2mm以下の部材は、
HDZT49とする。

常磐自動車道 久慈川橋耐震補強工事			
図面の種類	茂宮川高架橋 P21 (A-ライン 終点側) 排水装置撤去・設置工、新設工		
	縮 尺	図示	図面番号 143 / 208
設計会社名	株式会社 長大		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

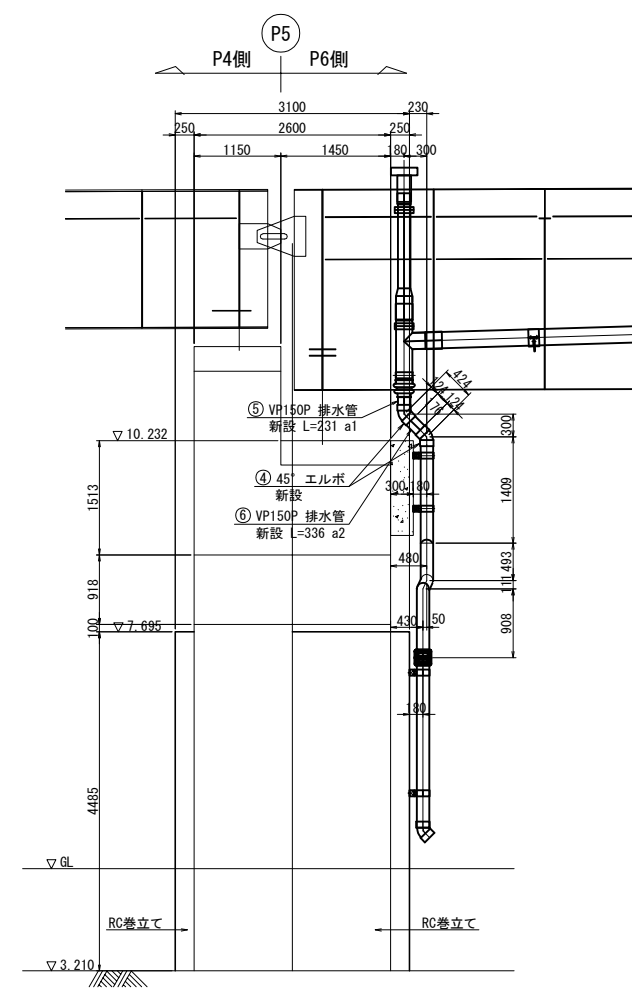
側面図



撤去延長=6.147m
撤去再設置延長=2.247m



設置図



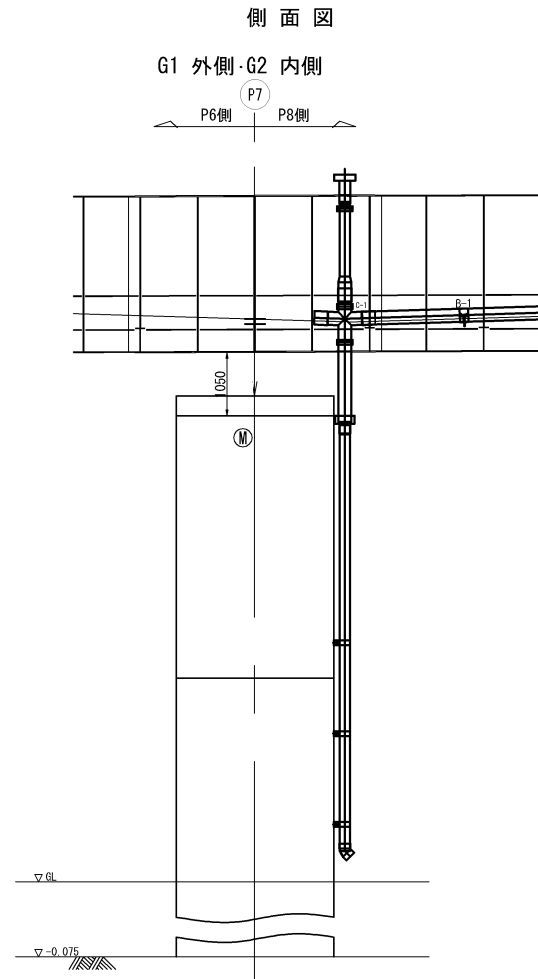
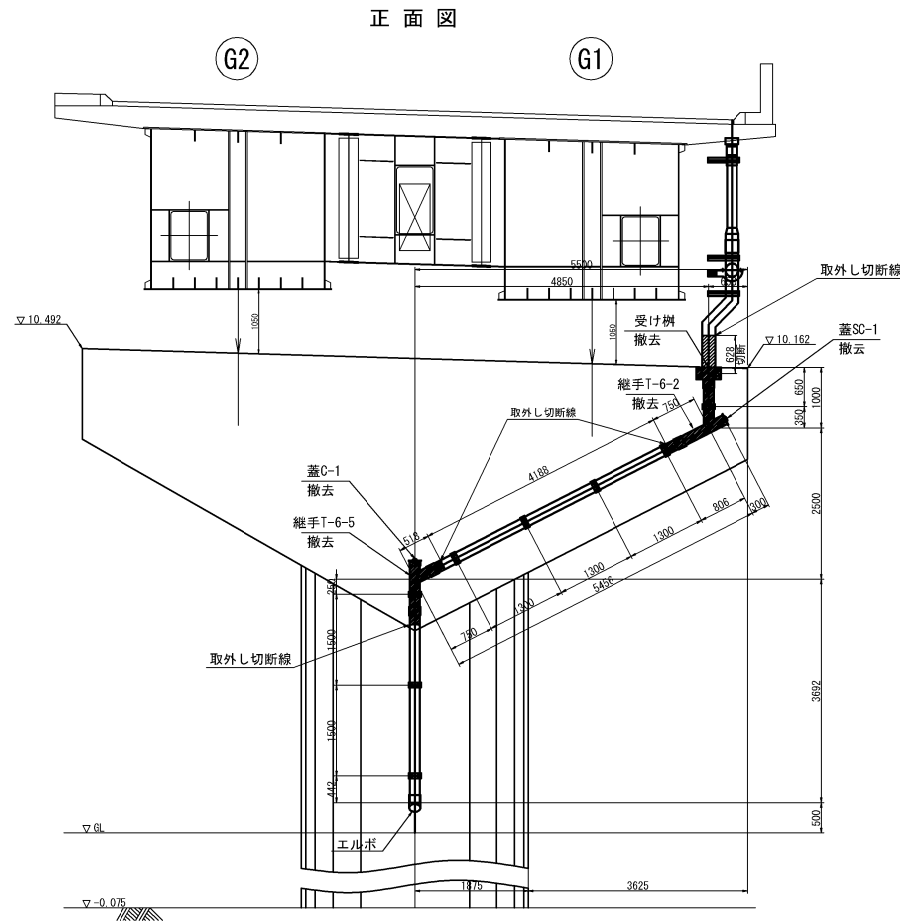
- | | | |
|---|--------------------------|-------------------|
| ① | 新設工 | 撤去・設置工 |
| ② | 1-異径伸縮管 J3 | VP150A 排水管 L=2247 |
| ③ | 1-曲管 R1 | 4-取付金具 S-3 |
| ④ | 1-曲管 R2 | |
| ⑤ | 2-45° エルボ | |
| ⑥ | 1-VP150A 排水管 L=231 a1 | |
| ⑦ | 1-VP150A 排水管 L=336 a2 | |
| ⑧ | 1-取付金具 K-1 | |
| ⑨ | 1-取付金具 K-2 | |
| ⑩ | 1-取付金具 K-3 | |
| ⑪ | 1-ソケット | |
| | 8-BN M12 x 40 (2-Ⅱ) | |
| | 8-打ち込み式アンカーボルト M12 x 100 | |

注記

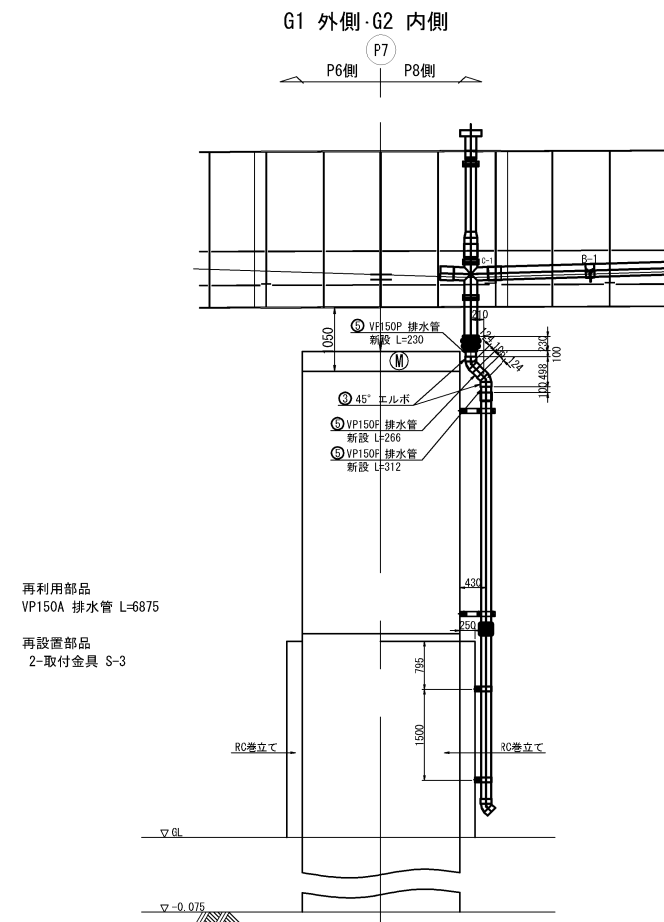
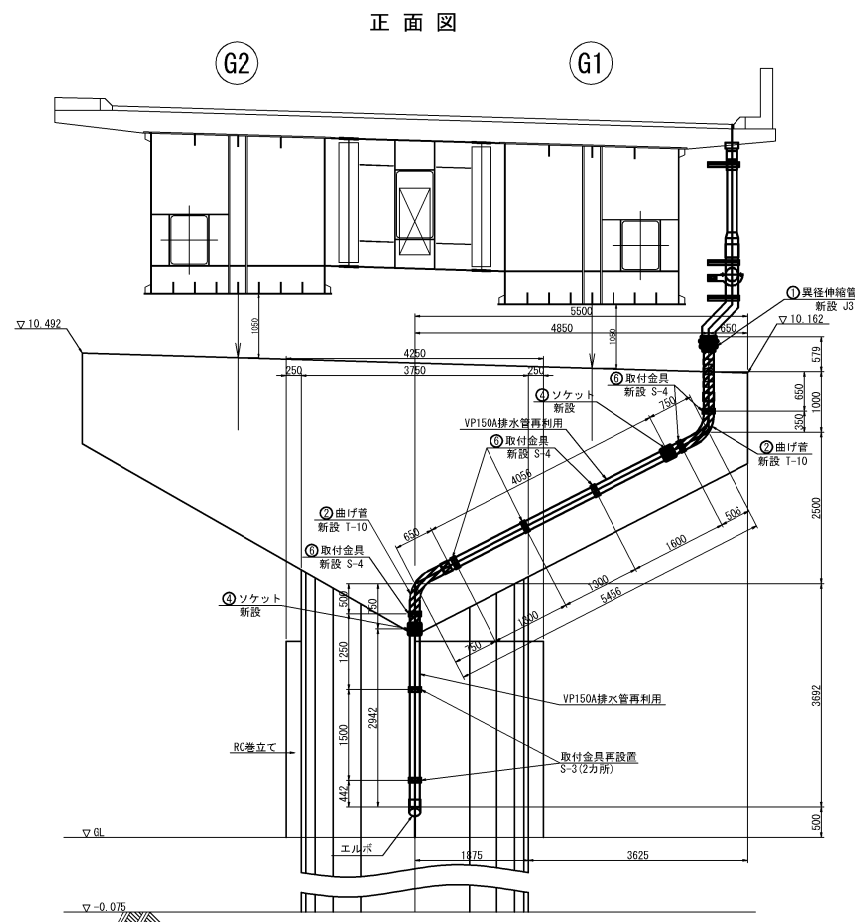
1. 既設取付金具は原則再利用とする。
2. 現地実測の上、製作のこと。
3. 特記なき材質は、全てSS400とする。
4. ナットは全て締め止めナットを使用すること。
5. 新設部材は、全て溶融亜鉛めっきとする。
重さの付着量は、JIS H8641 HDZ777とする。
但し、ボルト・ナット及び厚さ5mm以下の部材は、
HDZ749とする。

	常磐自動車道 久慈川橋耐震補強工事		
図面の種類	茂宮川高架橋 P5 (B-ライン 終点側) 排水装置撤去・設置工、新設工		
縮 尺	図示	図面番号	144／208
設計会社名	株式会社 長大		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

既設撤去図



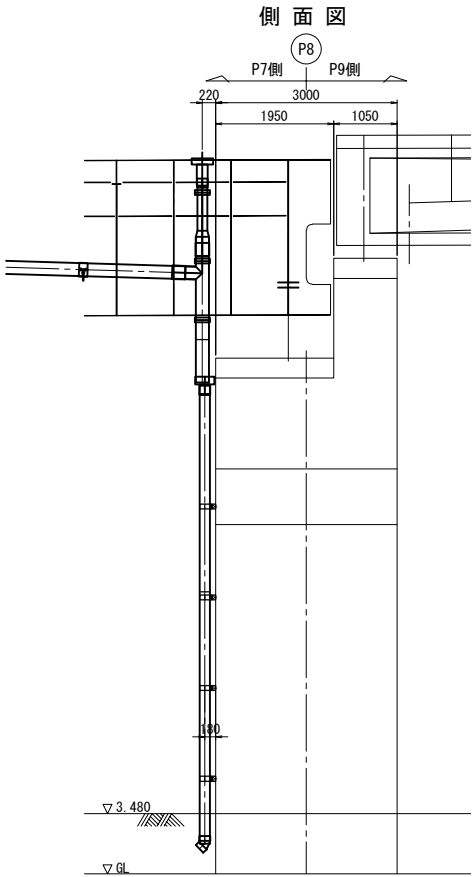
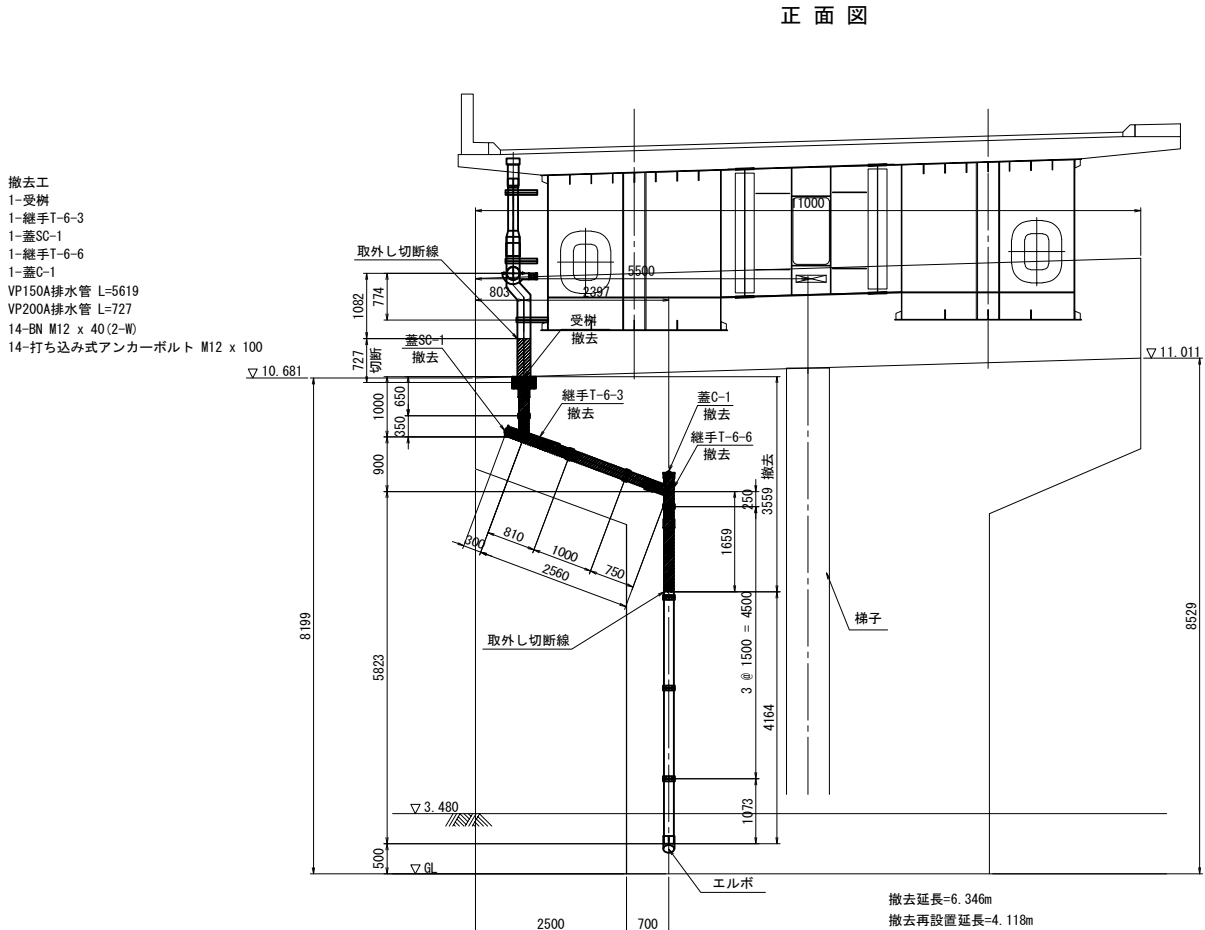
設置図



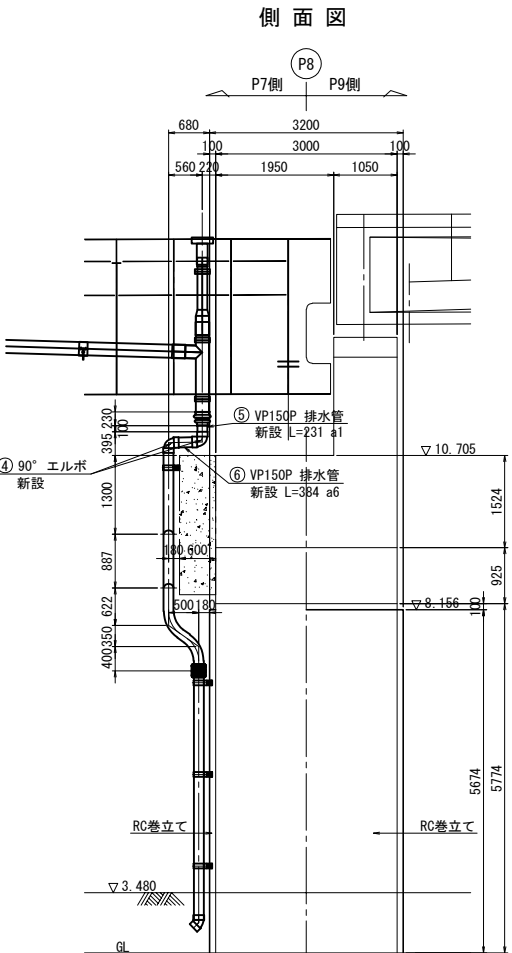
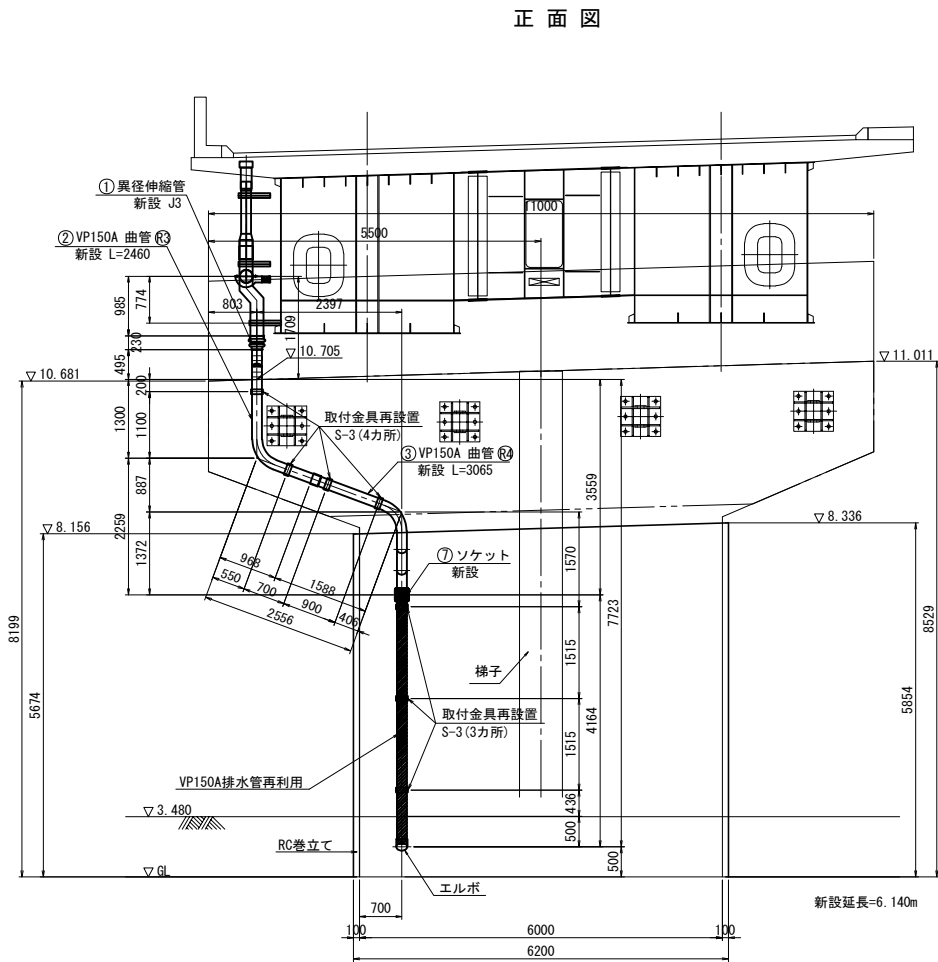
- 注記
- 既設取付金具は原則再利用とする。
 - 現地実測の上、製作のこと。
 - 特記なき材質は、全てSS400とする。
 - ナットは全て弛み止めナットを使用すること。
 - 新設部材は、全て溶融亜鉛めっきとする。
亜鉛の付着量は、JIS H8641 HDZT77とする。
但し、ボルト・ナット及び厚さ5mm以下の部材は、
HDZT49とする。

常盤自動車道 久慈川橋耐震補強工事			
図面の種類	茂宮川高架橋 P7(B-ライン 終点側) 排水装置撤去・設置工、新設工		
縮 尺	図示	図面番号	145/208
設計会社名	株式会社 長 大		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

既設撤去図



設置図



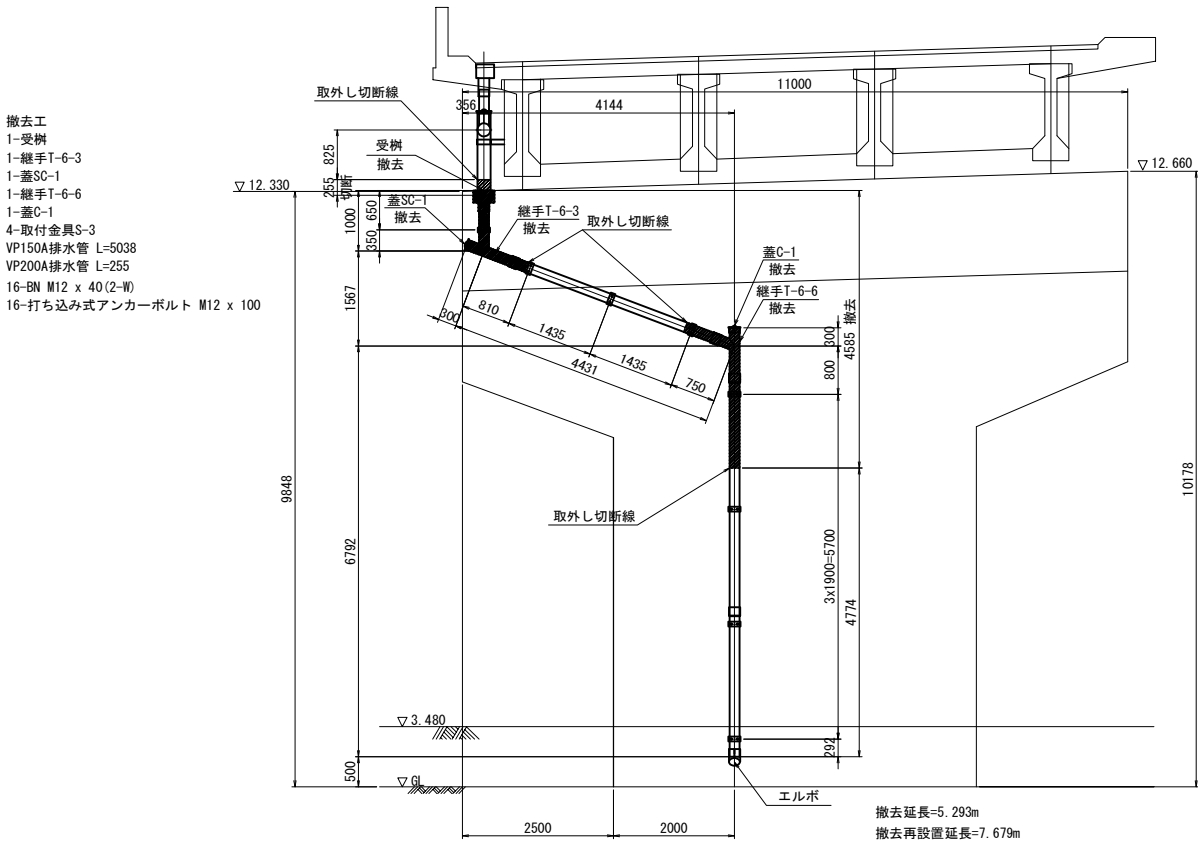
- 新設工
- ① 異径伸縮管 J3
 - ② 1-曲管 R3
 - ③ 1-曲管 R4
 - ④ 2-90° エルボ
 - ⑤ 1-VP150A 排水管 L=231 a1
 - ⑥ 1-VP150A 排水管 L=384 a6
 - ⑦ 1-ソケット
- 14-BN M12 x 40(2-W)
14-打ち込み式アンカーボルト M12 x 100
- 撤去・設置工
VP150A 排水管 L=4118
7-取付金具 S-3

注記

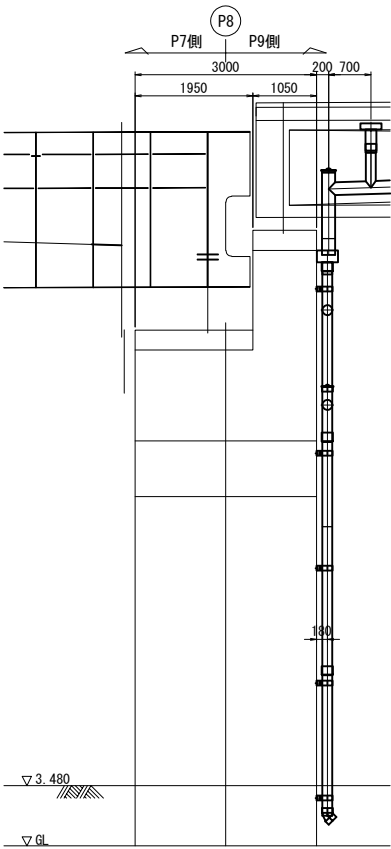
- 既設取付金具は原則再利用とする。
- 現地実測の上、製作のこと。
- 特記なき材質は、全てSS400とする。
- ナットは全て弛み止めナットを使用すること。
- 新設部材は、全て溶融亜鉛めっきとする。
垂鉛の付着量は、JIS H8641 HDZT77とする。
但し、ボルト・ナット及び厚さ5mm以下の部材は、HDZT49とする。

常磐自動車道 久慈川橋耐震補強工事			
図面の種類	茂宮川高架橋 P8 (B-ライン 起点側) 排水装置撤去・設置工、新設工		
縮 尺	図示	図面番号	146 / 208
設計会社名	株式会社 長大		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

正面図

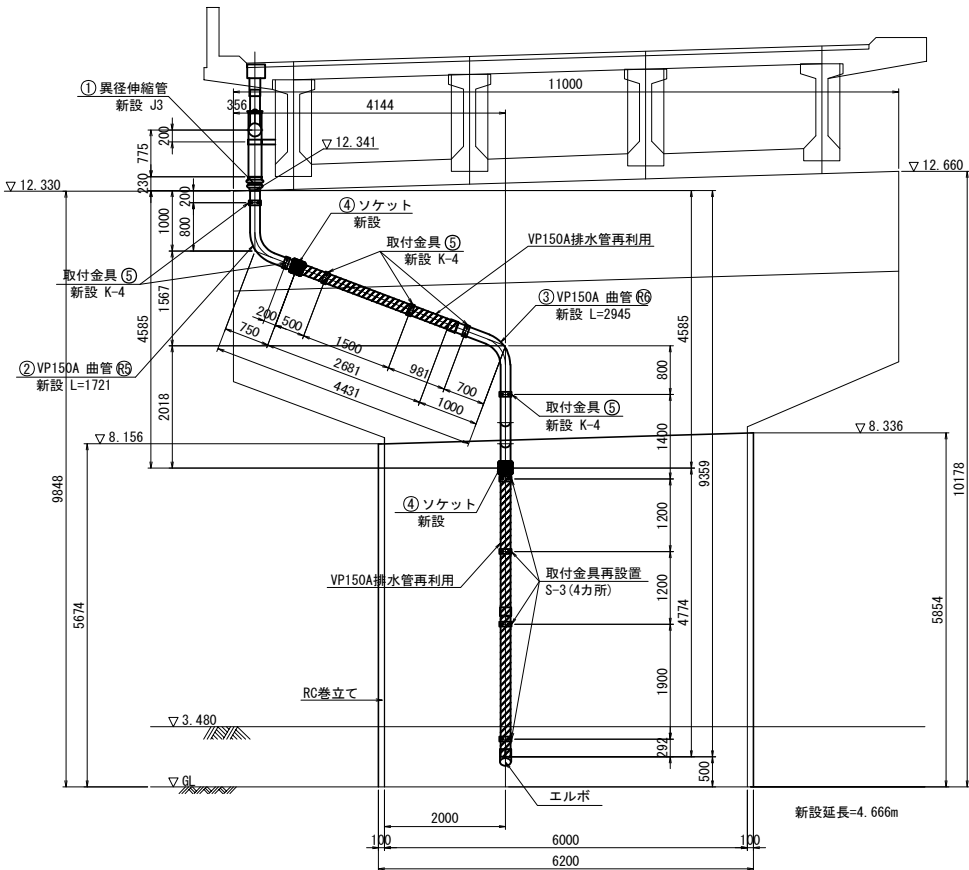


側面図

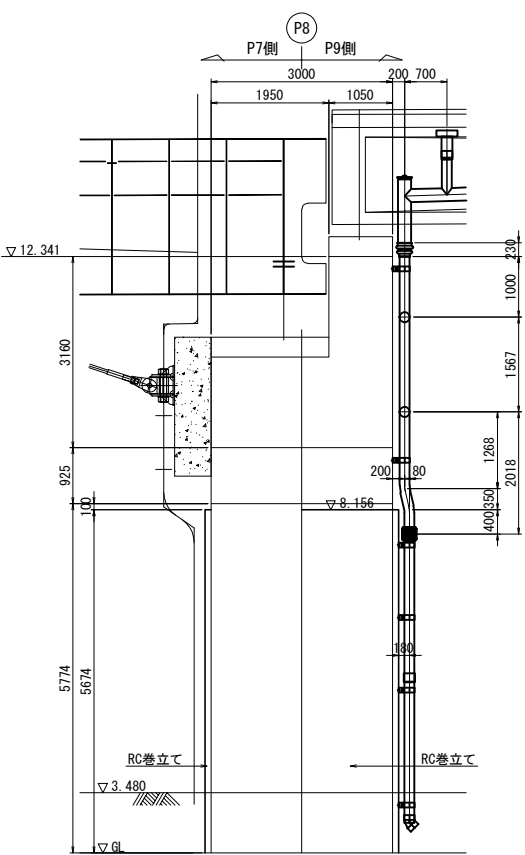


設置図

正面図



側面図



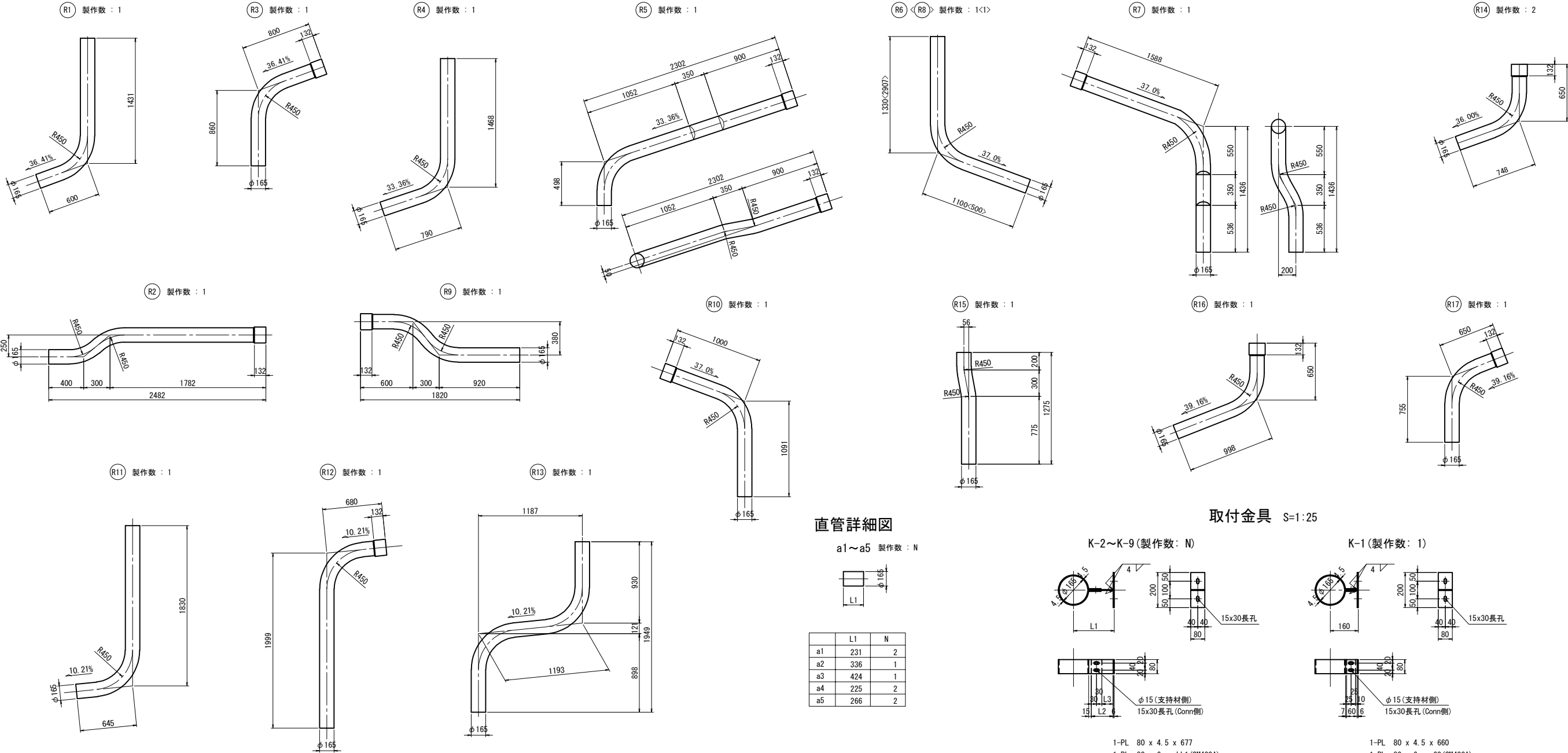
- 新設工
① 1-異径伸縮管 J3
② 1-曲管 R5
③ 1-曲管 R6
④ 2-ソケット
⑤ 6-取付金具 K-4
8-BN M12 x 40(2-W)
8-打ち込み式アンカーボルト M12 x 100
- 撤去・設置工
VP150A 排水管 L=7679
4-取付金具 S-3

- 注記
1. 既設取付金具は原則再利用とする。
2. 現地実測の上、製作のこと。
3. 特記なき材質は、全てSS400とする。
4. ナットは全て弛み止めナットを使用すること。
5. 新設部材は、全て溶融亜鉛めっきとする。
垂鉛の付着量は、JIS H8641 HDZT77とする。
但し、ボルト・ナット及び厚さ5mm以下の部材は、
HDZT49とする。

常磐自動車道 久慈川橋耐震補強工事			
図面の種類	茂宮川高架橋 P8(B-ライン 終点側) 排水装置撤去・設置工、新設工		
縮 尺	図示	図面番号	147 / 208
設計会社名	株式会社 長大		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

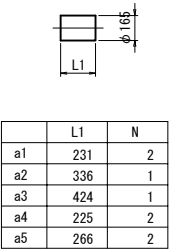
P1, P2, P5, P8, P9, P19, P20 (A-ライン)

加工管詳細図

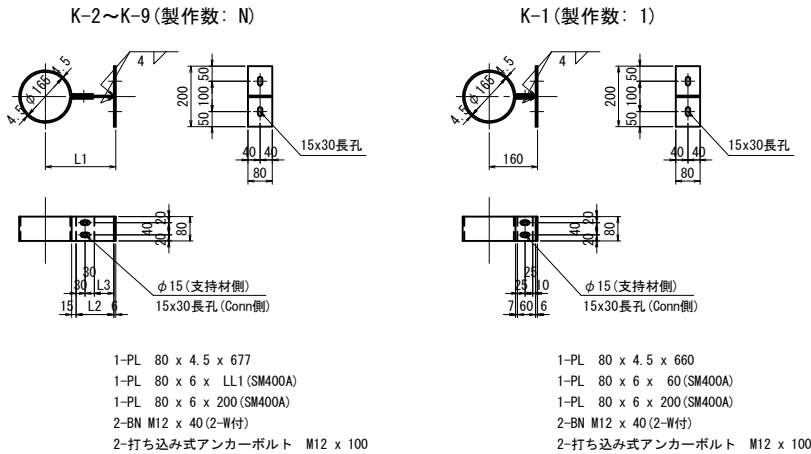


直管詳細図

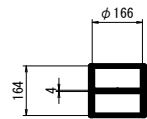
a1～a5 製作数：N



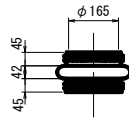
取付金具 S=1:25



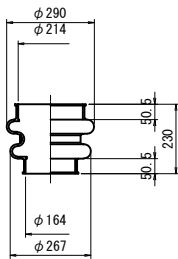
ソケット VP150A S=1:25
製作数：12



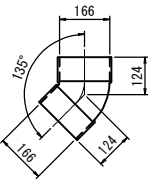
J1 伸縮管 150A S=1:25
製作数：3



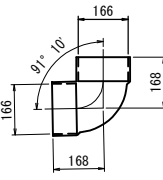
J3 異径伸縮管 200Ax150A S=1:25
製作数：5



45° エルボ S=1:25
製作数：8



90° エルボ S=1:25
製作数：2



	L1	L2	L3	LL1
K-2	410	302	242	302
K-3	430	322	262	322
K-4	200	92	32	92
K-5	300	192	132	192
K-6	550	442	382	442
K-7	480	372	312	372
K-8	413	305	245	305
K-9	256	148	88	148

製作数：N	P1	P2	P5	P8 (起点)	P8 (終点)	P9	P19	P20
K-2	1	—	—	—	—	—	—	—
K-3	—	—	1	—	2	—	—	—
K-4	—	—	—	—	3	—	—	1
K-5	—	—	—	—	—	—	1	—
K-6	—	—	—	—	—	—	1	1
K-7	—	—	1	—	—	—	—	—
K-8	—	3	—	—	—	—	—	—
K-9	—	—	—	—	—	2	—	—

- 注 記
- 特記なき材質は、全てSS400とする。
 - ナットは全て弛み止めナットを使用すること。
 - 部材は、全て溶融亜鉛めっきとする。
垂鉛の付着量は、JIS H8641 HDZT77とする。
但し、ボルト・ナット及び厚さ5mm以下の部材は、HDZT49とする。
 - ボルト孔は、めっき付着量を考慮し、ボルト径+3mmを標準とする。

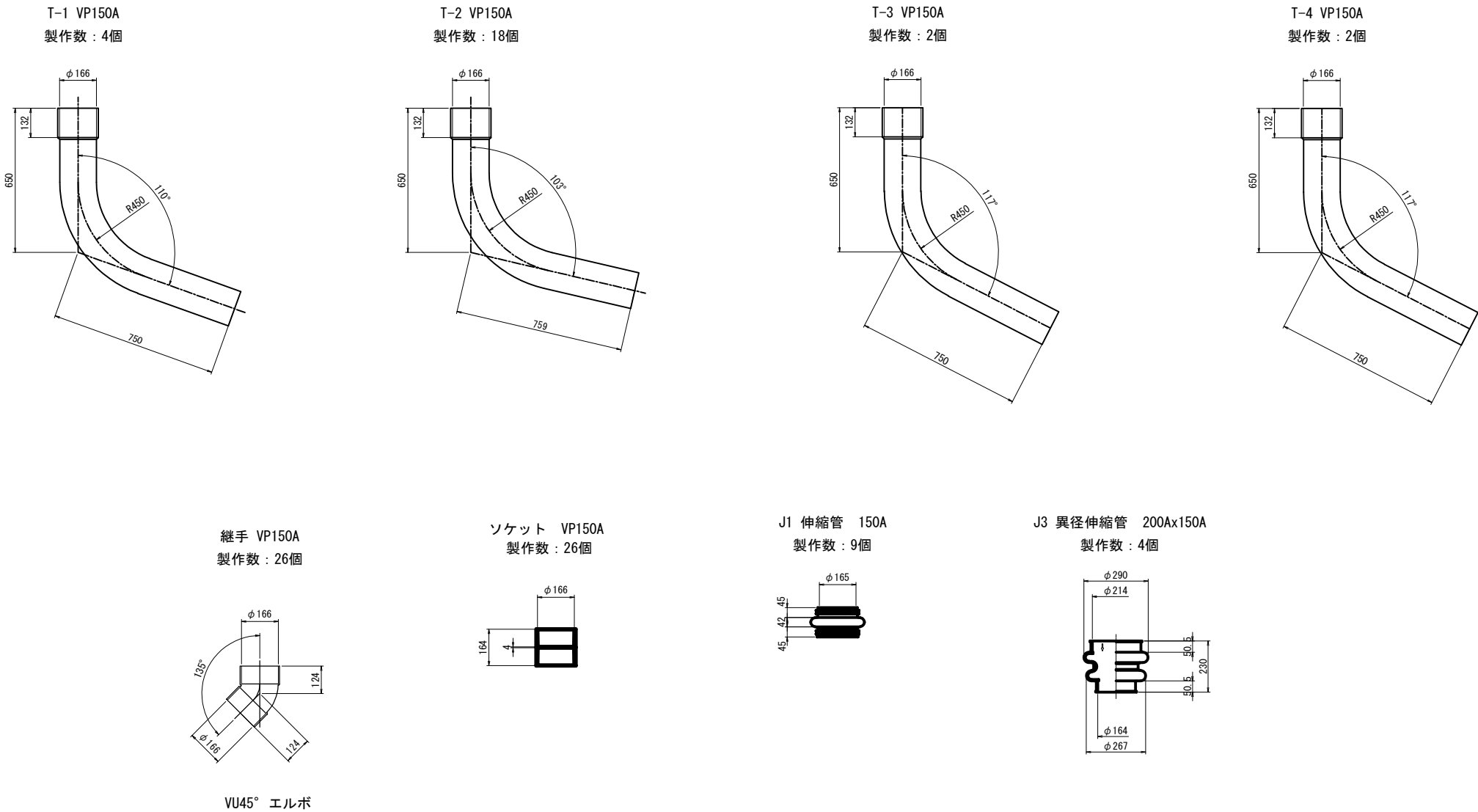
常盤自動車道 久慈川橋耐震補強工事			
図面の種類	茂宮川高架橋 排水装置詳細図（その1）		
	縮 尺	図示	図面番号 148 / 208
設計会社名	株式会社 長大		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

茂宮川高架橋 排水装置詳細図(その2)

S=1:25

P3, P4, P7, P10, P11, P12, P13, P15, P16, P17, P18, P21 (A-ライン), P7 (B-ライン)

加工管詳細図



符号	製作数	A-LINE													B-LINE	
		P3	P4	P7	P10	P11	P12	P13	P15	P16	P17	P18	P21	P7		
T-1	4	2	2													
T-2	18				2	2	2	2	2	2	2	2	2			
T-3	2			2												
T-4	2														2	
エルボ	26	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2		
ソケット	26	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2		
J1	9				1	1	1	1	1	1	1	1	1			
J3	4	1	1	1										1		

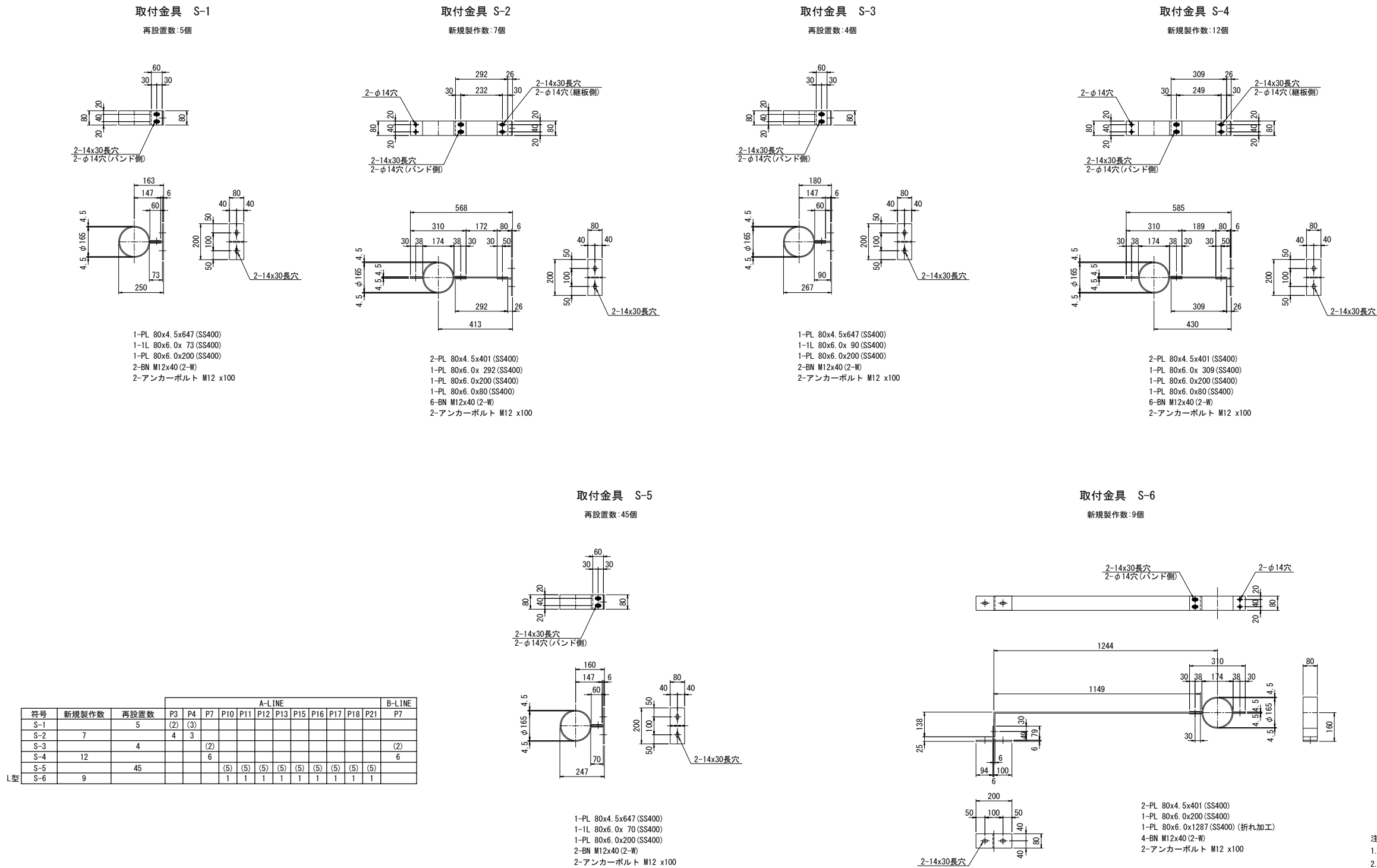
常磐自動車道 久慈川橋耐震補強工事			
図面の種類	茂宮川高架橋 排水装置詳細図(その2)		
	縮尺	図示	図面番号 149 / 208
設計会社名	株式会社 長大		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

茂宮川高架橋 排水装置詳細図(その3)

S=1:25

P3, P4, P7, P10, P11, P12, P13, P15, P16, P17, P18, P21 (A-ライン), P7 (B-ライン)

取付金具詳細図

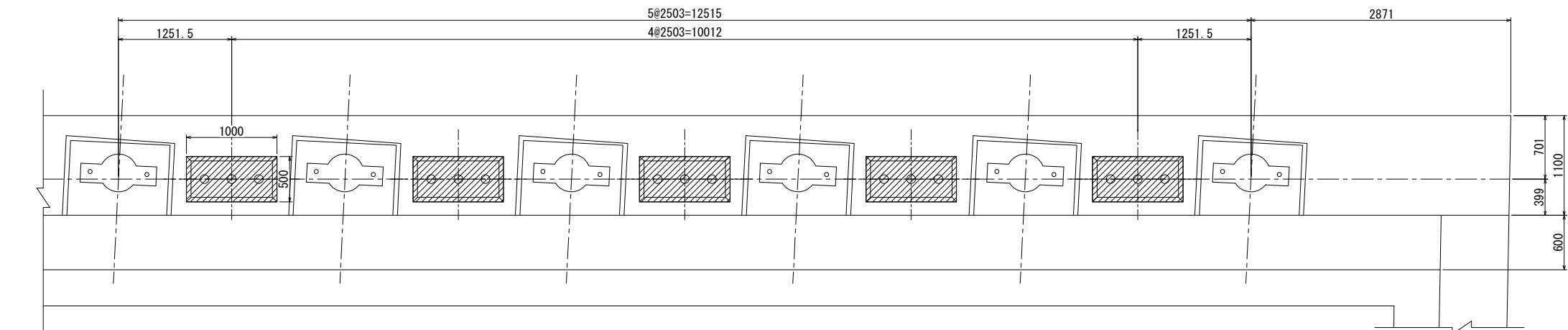


- 注 記
- 特記なき材質は、全てSS400とする。
 - ナットは全て弛み止めナットを使用すること。
 - 部材は、全て溶融亜鉛めっきとする。
垂鉛の付着量は、JIS H8641 HDZT77とする。
但し、ボルト・ナット及び厚さ5mm以下の部材は、HDZT49とする。
 - ボルト孔は、めっき付着量を考慮し、ボルト径+3mmを標準とする。

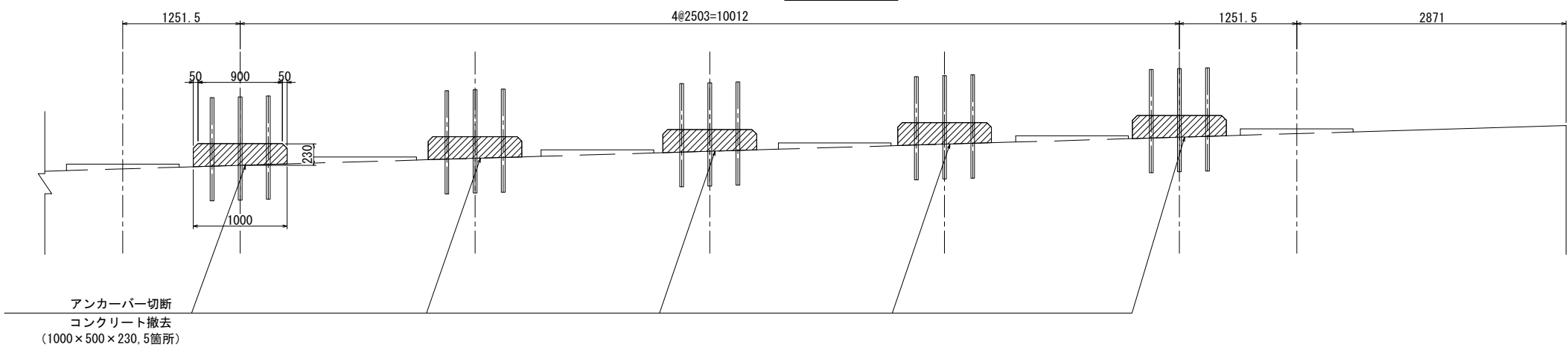
常磐自動車道 久慈川橋耐震補強工事				
図面の種類	茂宮川高架橋 排水装置詳細図(その3)			
	縮 尺	図示	図面番号	150 / 208
設計会社名	株式会社 長大			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所			

茂宮川高架橋 A1(A-ライン) 既設耐震連結装置 撤去工
(アンカーバー切断・コンクリート撤去)

平面図 S=1:30



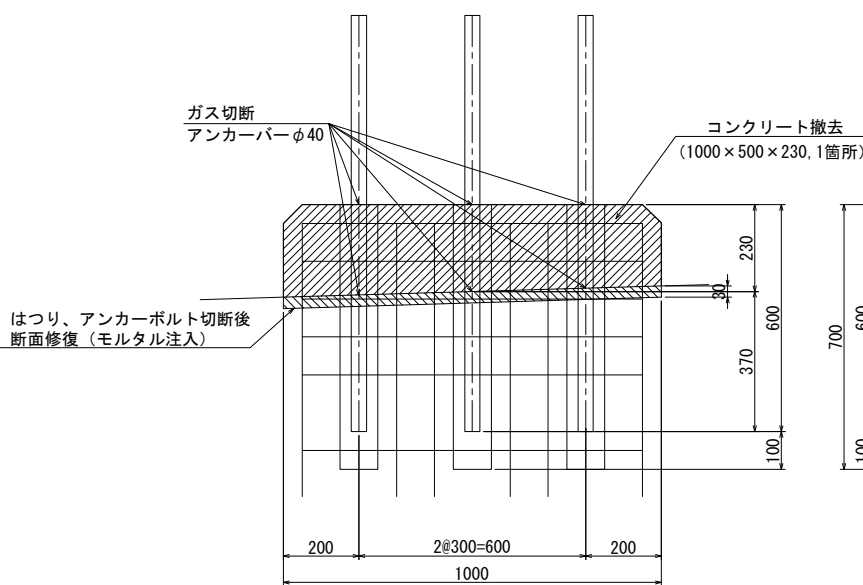
断面図 S=1:30



アンカーバー切断・コンクリート撤去断面修復詳細図 S=1:10

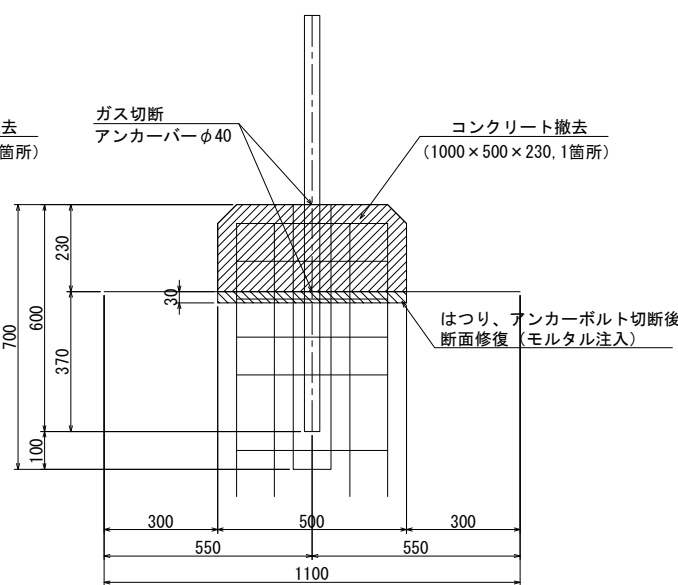
正面図

A-A

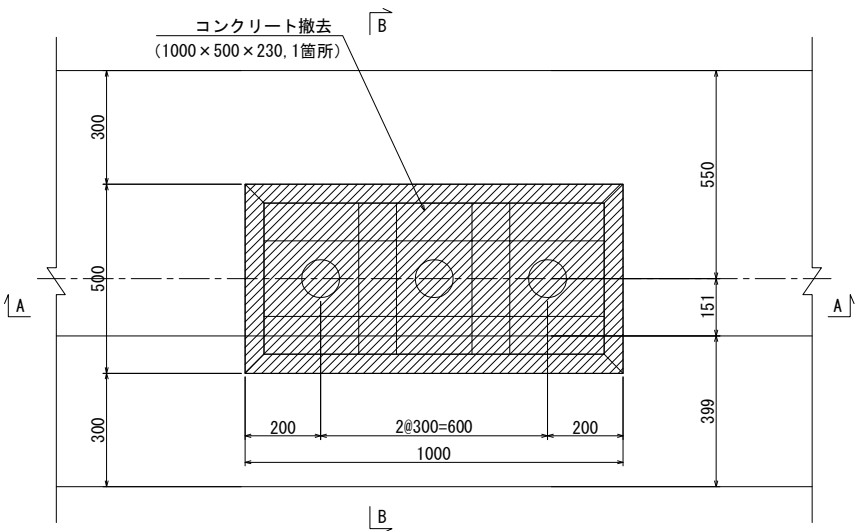


側面図

B-B



平面図



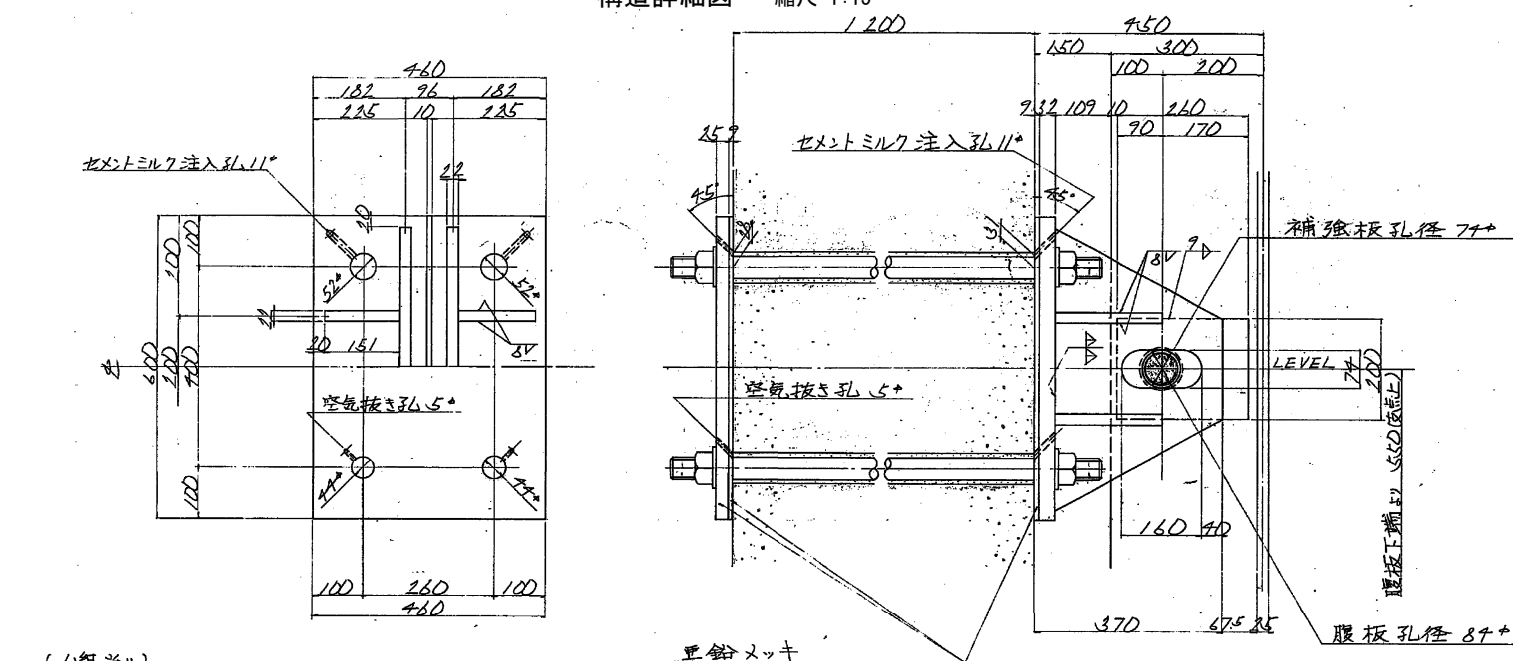
- 注記)
- 図中の補修計画は、既存点検データ、現地踏査に基づくものであるが、工事に際しては現地状況を十分把握し、併せて監督職員の承諾を得た上で実施すること。
 - 施工数量については、現地再確認を行った上、監督職員の承諾を得て決定すること。

常磐自動車道 久慈川橋耐震補強工事			
図面の種類	茂宮川高架橋 A1(A-ライン) 既設耐震連結装置 撤去工		
縮 尺	図示	図面番号	152／208
設計会社名	株式会社 長大		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

茂宮川高架橋 P1(A-ライン) 既設耐震連結装置 撤去工(その1)

【G1, G3, G5, G6 桁用】

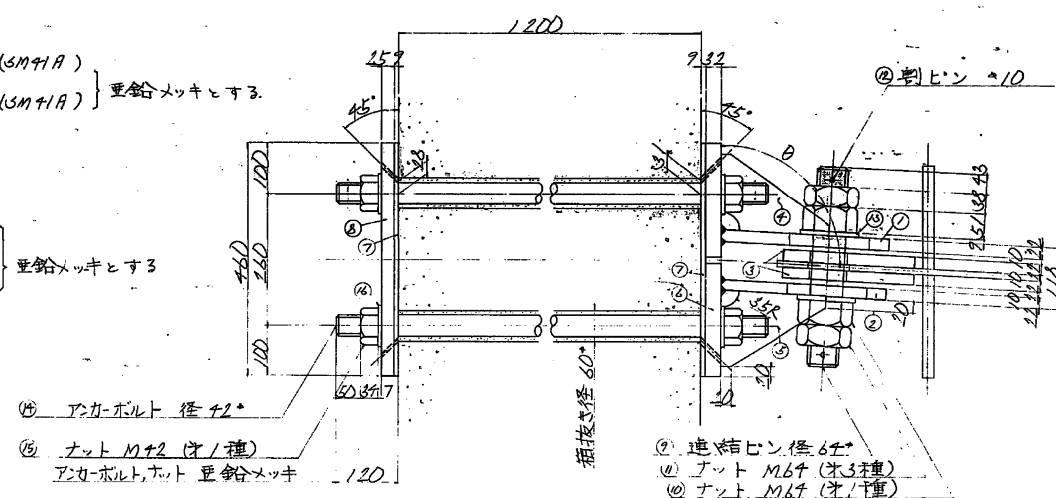
構造詳細図 縮尺 1:15



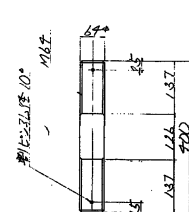
(ノ組当り)

① 1-F 560 × 22 × 21
② 1-F 560 × 22 × 21
③ 2-F 200 × 22 × 260
④ 2-F 151 × 22 × 263
⑤ 2-F 151 × 22 × 209
⑥ 2-F 225 × 32 × 600 (SM+I A)
⑦ 2-F 740 × 9 × 600 } 重合金メッキとする。
⑧ 1-F 460 × 25 × 600 (SM+I A)

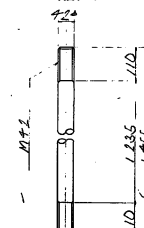
⑦ 1-Pin 264 × 400
⑩ 2-Nut M64 (オノ種)
⑪ 2-Nut M64 (オノ種)
⑫ 2-ワッピン 110 × 110
⑬ 2-Washer 115 × 7
⑭ 4-Axle Bolt φ 42 × 1440 } 重合金メッキとする
⑮ 8-Nut M42 (オノ型)
⑯ 8-Washer φ 78 × 7



⑨ 連結ピン
縮尺 1:20

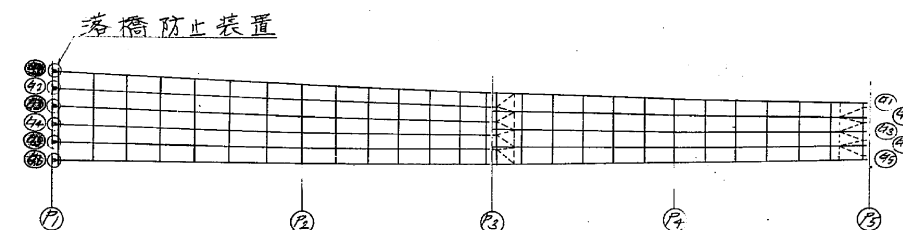


⑭ アンカーボルト
縮尺 1:20



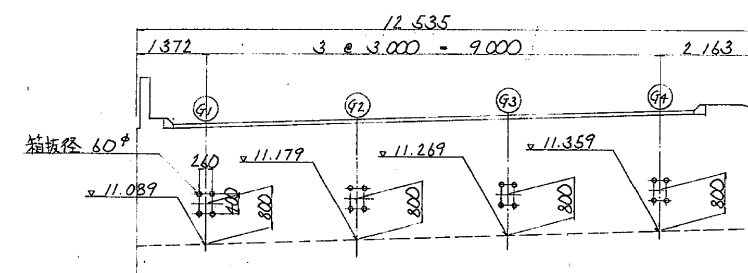
	θ	l_1	l_2	l_3
Q_1	$73^\circ - 18' - 27''$	33°	327	218
Q_2	$72^\circ - 45' - 19''$	$'$	$'$	216
Q_3	$72^\circ - 16' - 59''$	33.1	328	215
Q_4	$71^\circ - 48' - 43''$	$'$	$'$	214
Q_5	$71^\circ - 30' - 26''$	33.0	$'$	213
Q_6	$70^\circ - 51' - 39''$	$'$	$'$	211

配置図



A1 アンカーボルト橋台位置図 縮尺 1:150

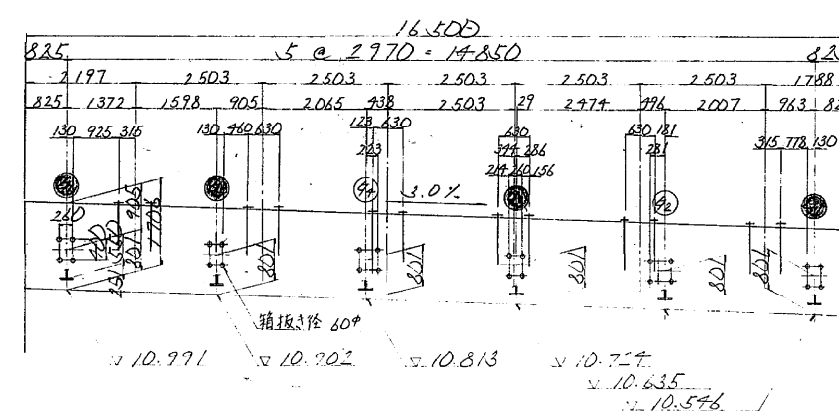
B - LINE



注) B-LINE 今回施工分は⑦、⑧、⑭、⑮、⑯である。

P1 アンカーボルト橋脚位置図 縮尺 1:150

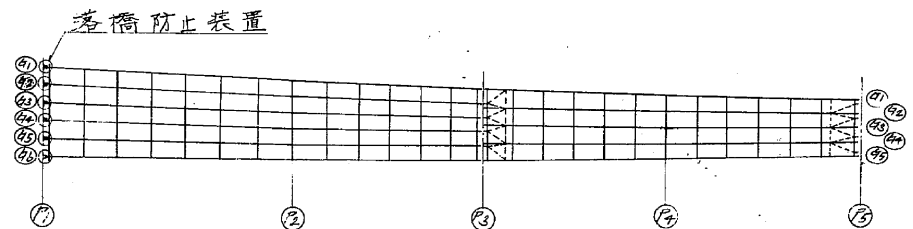
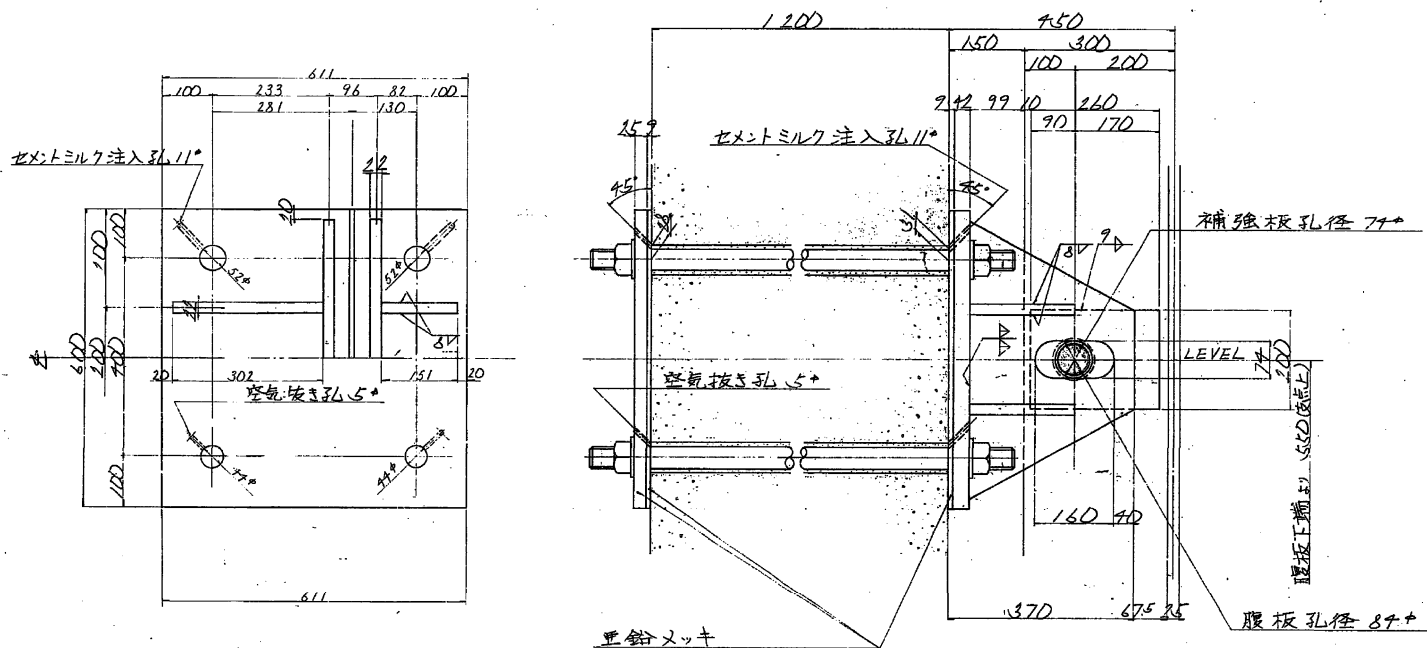
A-LINE



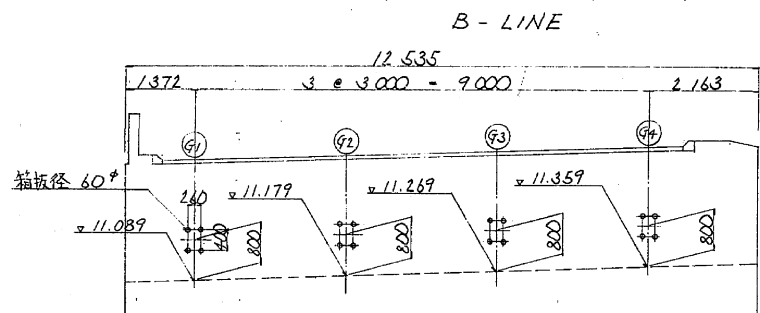
常磐自動車道 久慈川橋耐震補強工事			
図面の種類	茂宮高架構造 P1 (A-ライン) 既設耐震連結装置 撤去工(その1)		
縮 尺	図示	図面番号	153/208
設計会社名	株式会社 長大		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 水戸管理事務所		関東支社

構造詳細図 縮尺 1:15

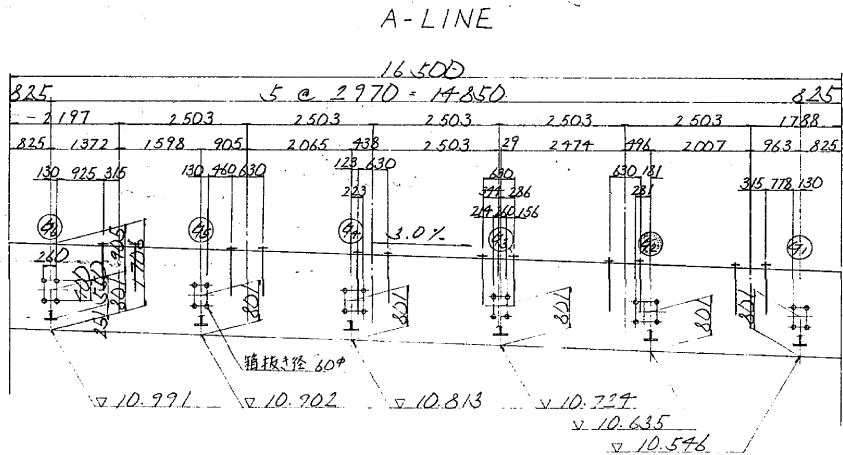
配置図



A1 アンカーボルト橋台位置図 縮尺 1:150



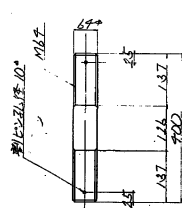
P1 アンカーボルト橋脚位置図 縮尺 1:150



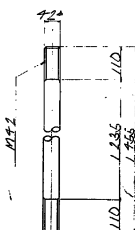
- ① 1-P 540 x 22 x 81
- ② 1-P 540 x 22 x 81
- ③ 2-P 200 x 22 x 260
- ④ 2-P 151 x 22 x 83
- ⑤ 2-P 302 x 22 x 209
- ⑥ 1-P 225 x 42 x 600 (SM41C)
- ⑦ 1-P 376 x 42 x 600 (SM41C)
- ⑧ 2-P 600 x 9 x 611
- ⑨ 1-P 600 x 25 x 611 (SM41A) } 亜鉛メッキとする
- ⑩ 1-Pin 64 x 400
- ⑪ 2-Nut M16 (オ1個)
- ⑫ 2-Nut M16 (オ3個)
- ⑬ 2-ワッシャー 115 x 7
- ⑭ 4-Anchor Bolt 4 x 2 x 1440 } 亜鉛メッキとする
- ⑮ 8-Nut M16 (オ1個)
- ⑯ 8-Washer 78 x 7

- ⑭ アンカーボルト 径 42
- ⑮ ナット M16 (オ1個)
- ⑯ アンカーボルト、ナット 亜鉛メッキ

⑩ 連結ピン 縮尺 1:20



⑮ アンカーボルト 縮尺 1:20



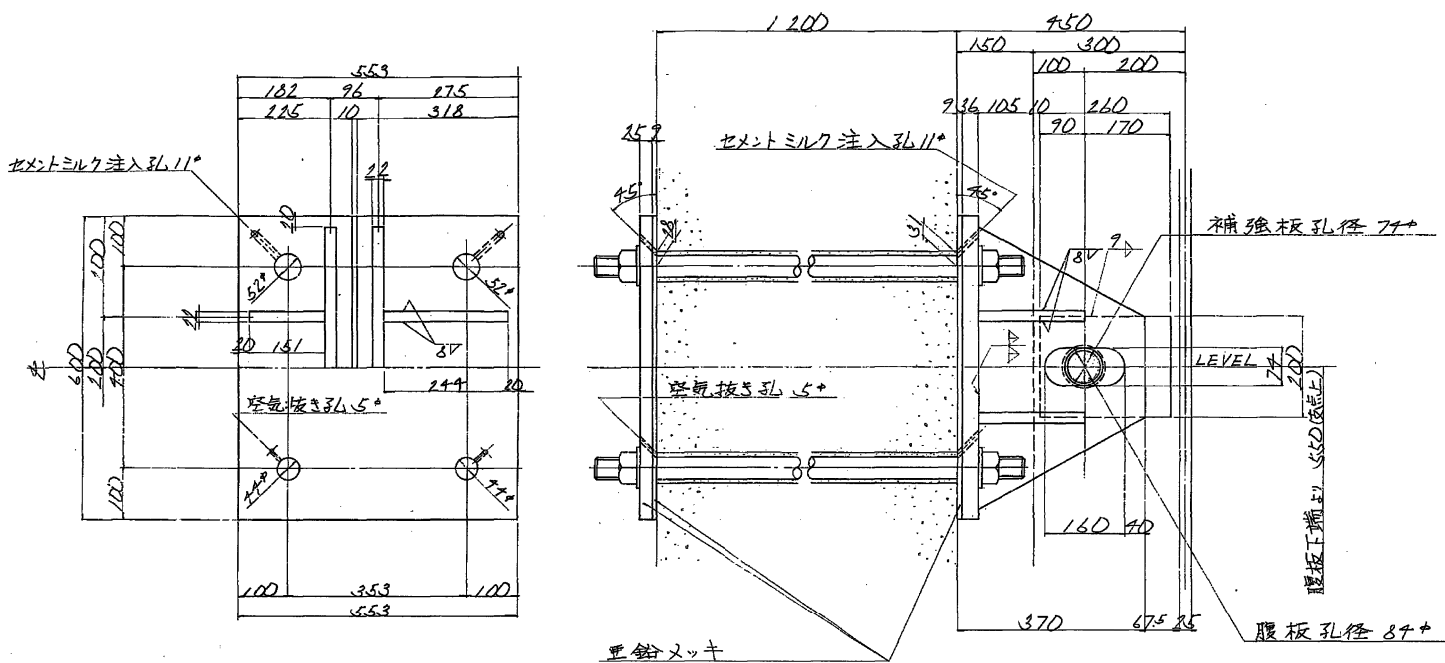
	φ	h ₁	h ₂	h ₃
φ1	83-185-17	325	327	216
φ2	72-185-17	325	327	216
φ3	92-185-17	325	327	216
φ4	92-185-17	325	327	216
φ5	92-185-17	325	327	216
φ6	92-185-17	325	327	216
φ7	92-185-17	325	327	216
φ8	92-185-17	325	327	216
φ9	92-185-17	325	327	216
φ10	92-185-17	325	327	216

常盤自動車道 久慈川橋耐震補強工事			
図面の種類	茂宮川高架橋 P1 (A-ライン) 既設耐震連結装置 撤去工(その2)		
縮 尺	図示	図面番号	154/208
設計会社名	株式会社 長大		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
事務所名	水戸管理事務所		

茂宮川高架橋 P1 (A-ライン) 既設耐震連結装置 撤去工 (その3)

【G4 桁用】

構造詳細図 縮尺 1:15

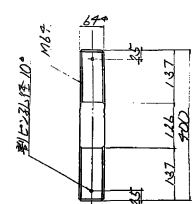


- *① 1-P1 560 × 22 × 21
- *② 1-P1 560 × 22 × 21
- *③ 2-P1 200 × 22 × 260
- *④ 2-P1 244 × 22 × 263
- *⑤ 2-P1 151 × 22 × 209
- *⑥ 1-P1 225 × 36 × 600 (SM41B)
- *⑦ 1-P1 318 × 36 × 600 (SM41B)
- *⑧ 2-P1 553 × 9 × 600 (SM41A)
- *⑨ 1-P1 553 × 25 × 600 (SM41A)
- *⑩ 1-Pin φ64 × 700
- *⑪ 2-Nut M16+ (オ1種)
- *⑫ 2-Nut M16+ (オ3種)
- *⑬ 2-割ピン φ10 × 110
- *⑭ 2-Washer 115 × 7
- *⑮ 4-Anker Bolt φ42 × 1440
- *⑯ 8-Nut M42 (オ1種)
- *⑰ 8-Washer φ78 × 7

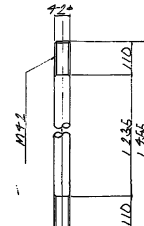
⑮ アンカーボルト 径φ42+

⑯ ナット M42 (オ1種)
アンカーボルト、ナット 重鉛メッキ

⑩ 連結ピン 縮尺 1:20

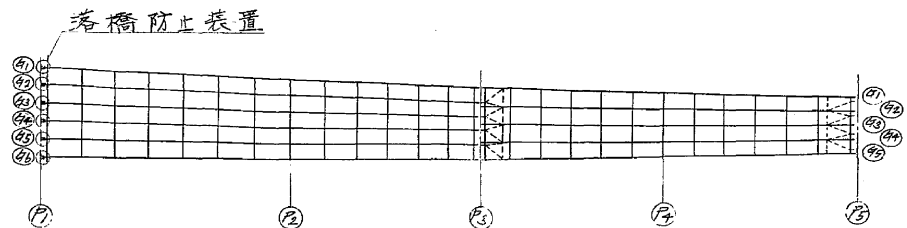


⑮ アンカーボルト 縮尺 1:20



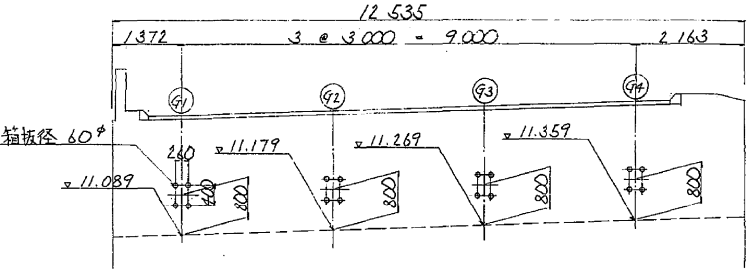
	φ	h ₁	h ₂	h ₃
G1	13'-13'-17'	312	327	218
G2	12'-12'-14'	.	.	216
G3	12'-12'-15'	331	328	215
G4	12'-12'-15'	.	.	217
G5	12'-12'-15'	330	.	218
G6	12'-12'-15'	.	.	211

配置図



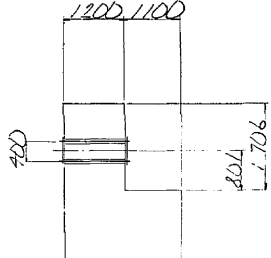
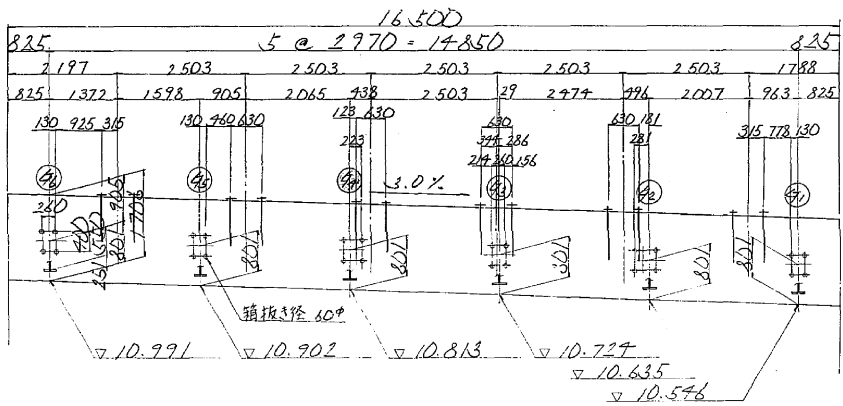
A1 アンカーボルト橋台位置図 縮尺 1:150

B-LINE



P1 アンカーボルト橋脚位置図 縮尺 1:150

A-LINE



常盤自動車道 久慈川橋耐震補強工事			
図面の種類	茂宮川高架橋 P1 (A-ライン) 既設耐震連結装置 撤去工 (その3)		
縮 尺	図示	図面番号	155/208
設計会社名	株式会社 長大		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
事務所名	水戸管理事務所		

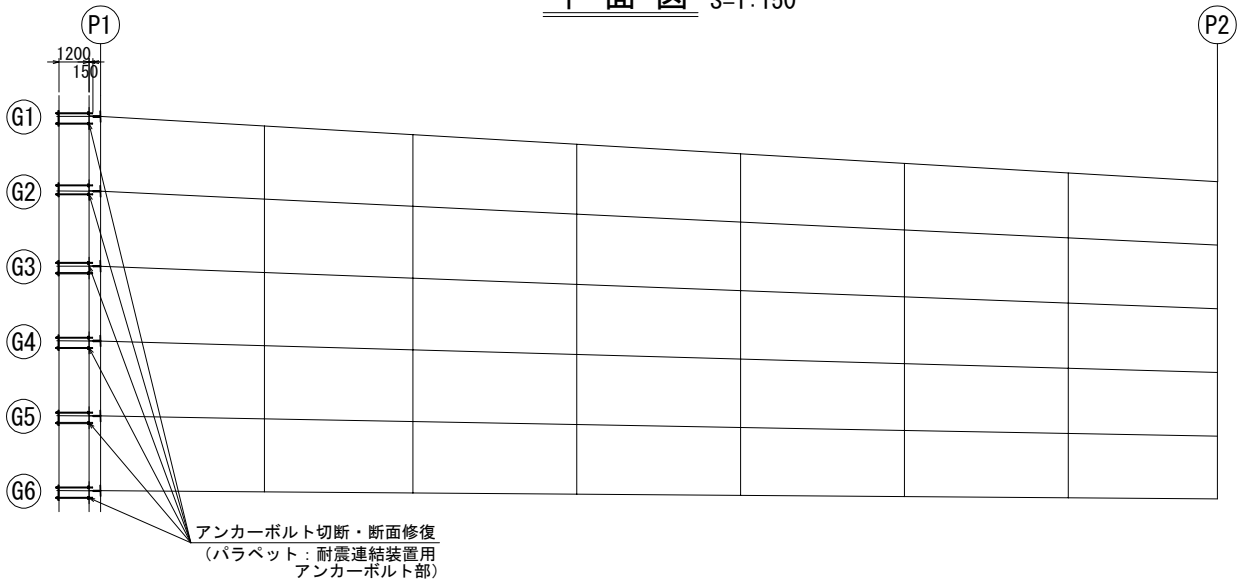
茂宮川高架橋 P1 (A-ライン) 既設耐震連結装置 撤去工(その4)
(アンカーボルト切断・断面修復)

アンカーボルト切断・断面修復詳細図 S=1:10

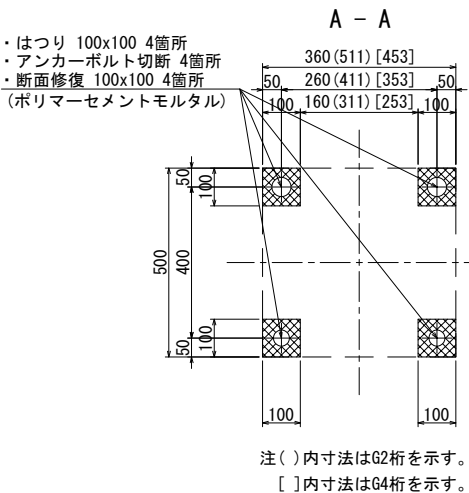
N=6

G1, (G2), G3, [G4], G5, G6 桁 用

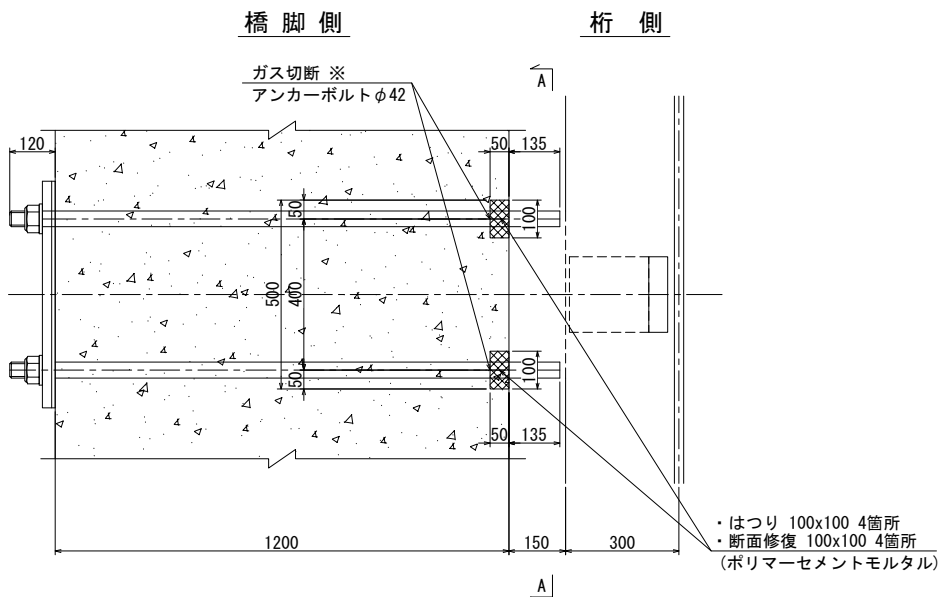
平面図 S=1:150



断面図

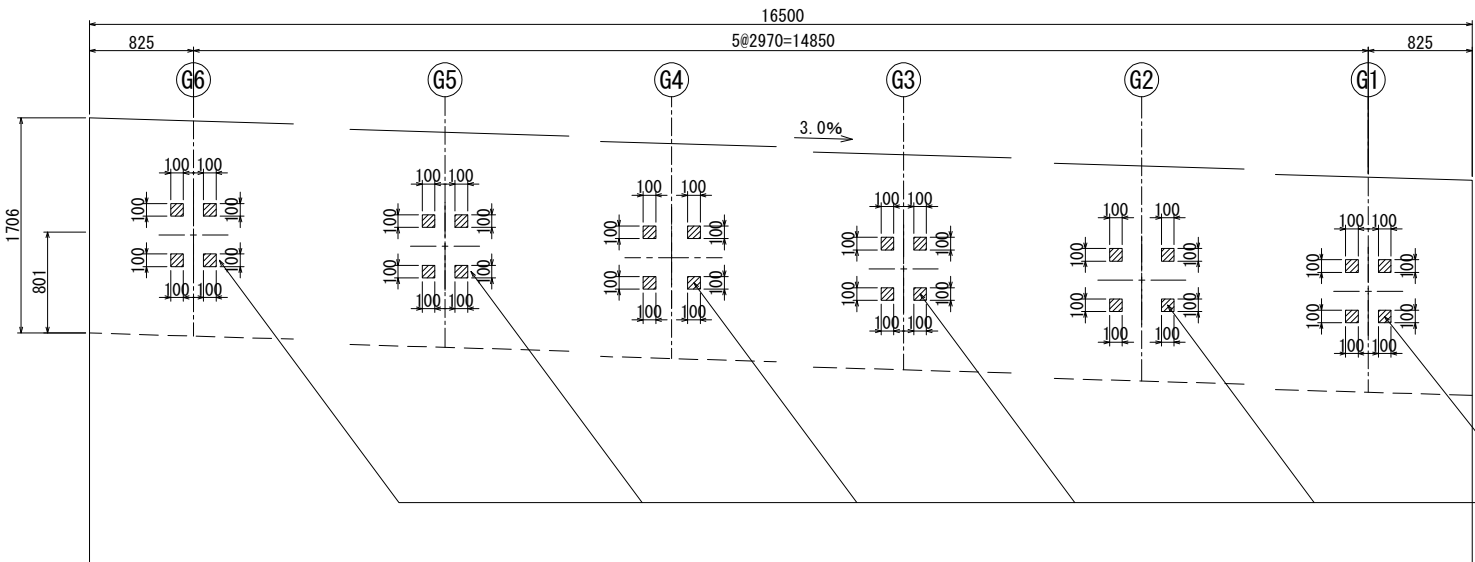


側面図

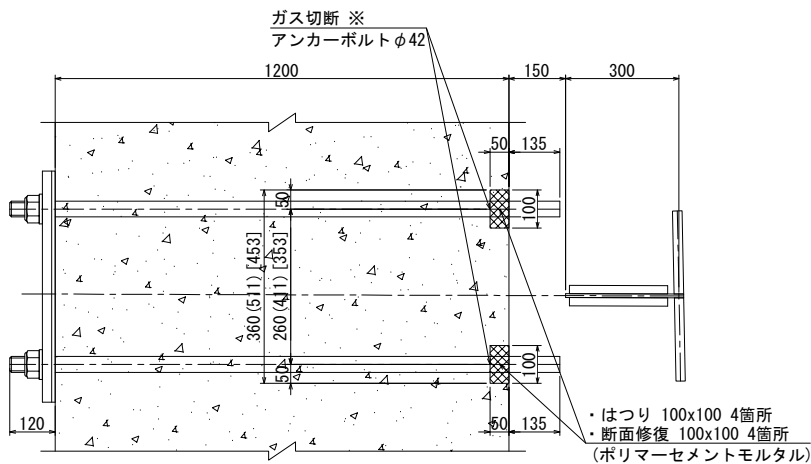


正面図 S=1:30

P1橋脚(A-ライン)



平面図



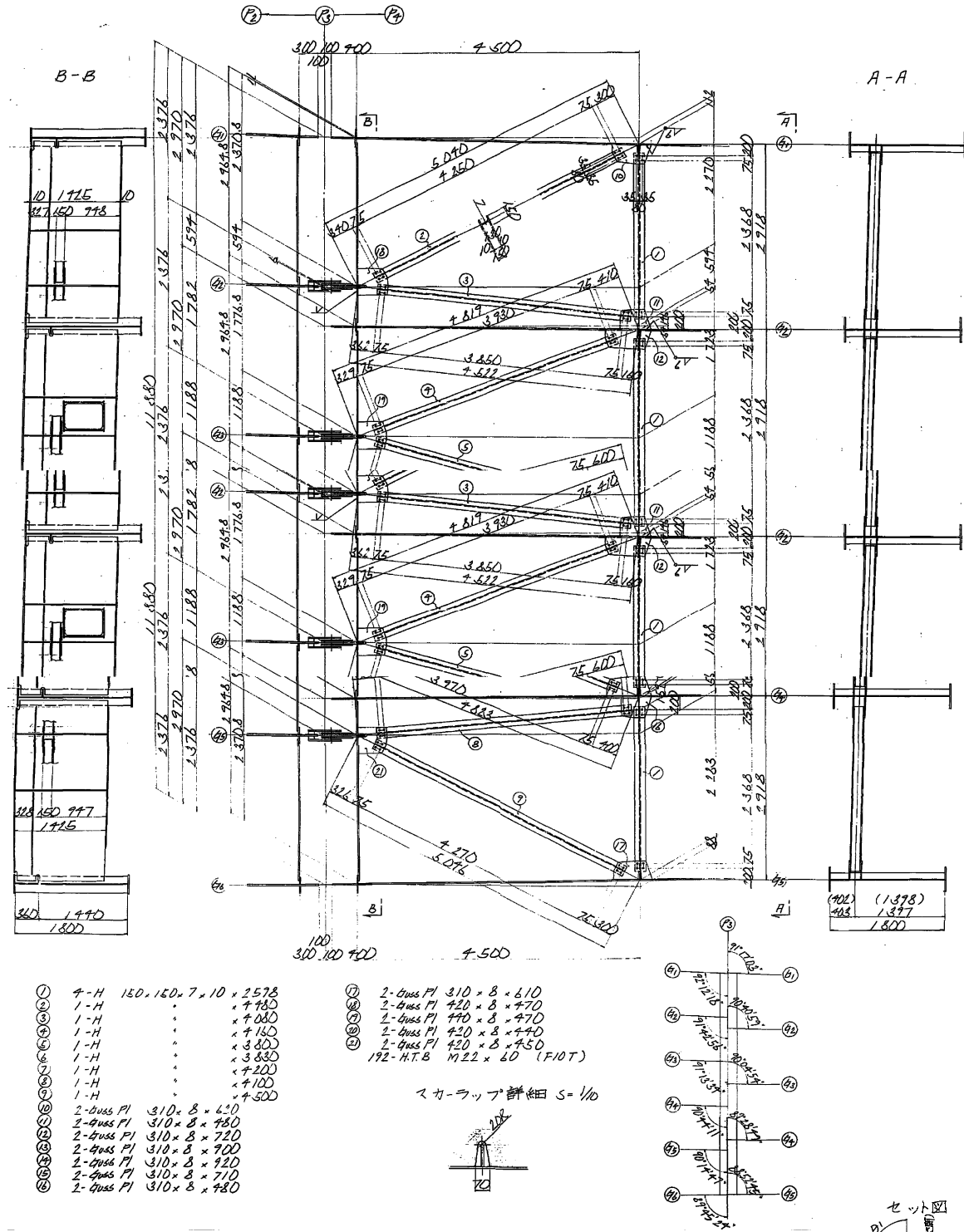
※ アンカーボルト切断面は、断面修復の際に防錆処理を行うこと。

注記)

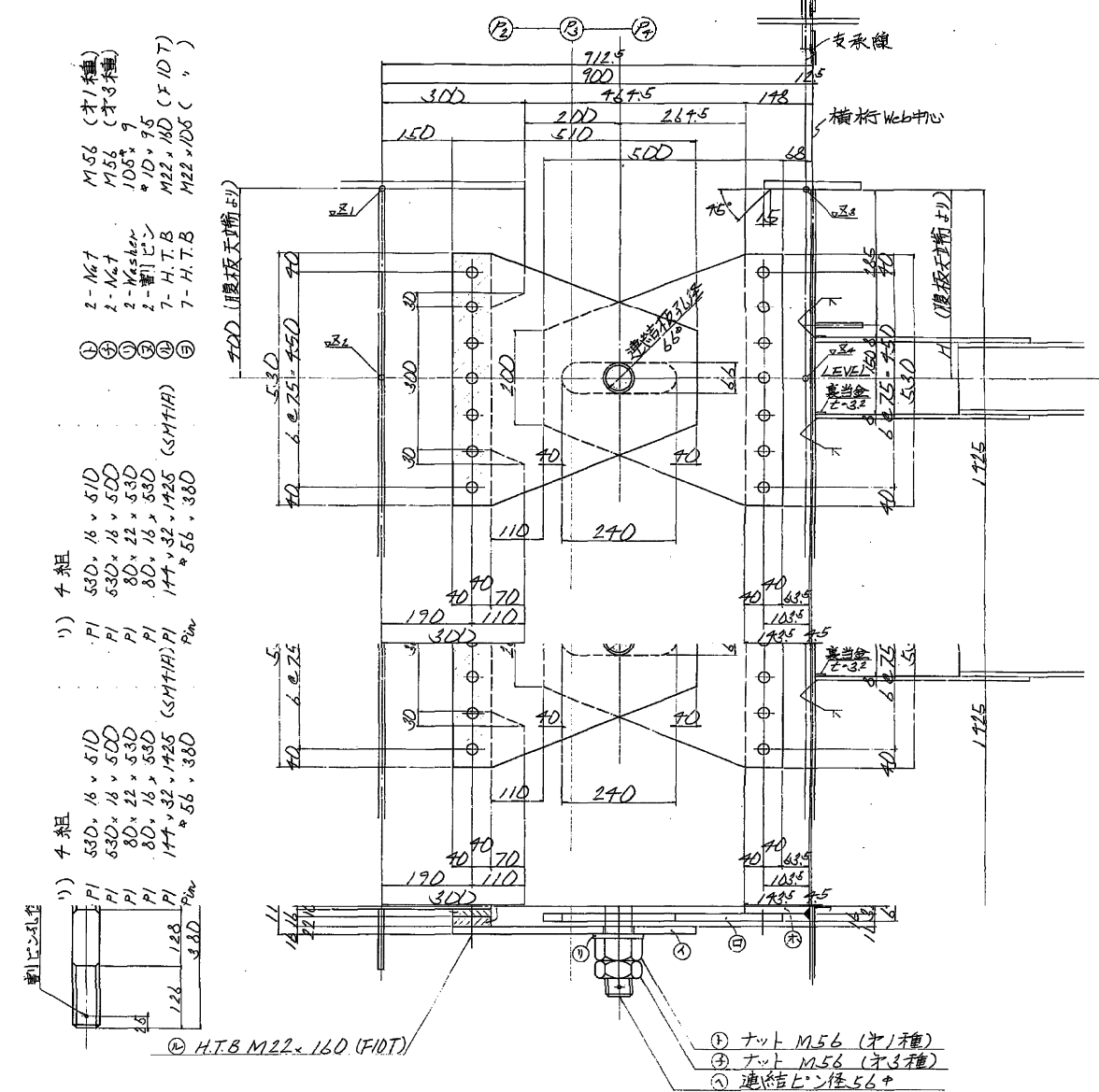
- 図中の補修計画は、既存点検データ、現地踏査に基づくものであるが、工事に際しては現地状況を十分把握し、併せて監督職員の承諾を得た上で実施すること。
- 施工数量については、現地再確認を行った上、監督職員の承諾を得て決定すること。

常磐自動車道 久慈川橋耐震補強工事			
図面の種類	茂宮川高架橋 P1 (A-ライン) 既設耐震連結装置 撤去工(その4)		
縮 尺	図示	図面番号	156 / 208
設計会社名	株式会社 長大		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

補強支材詳細図 縮尺 1:100



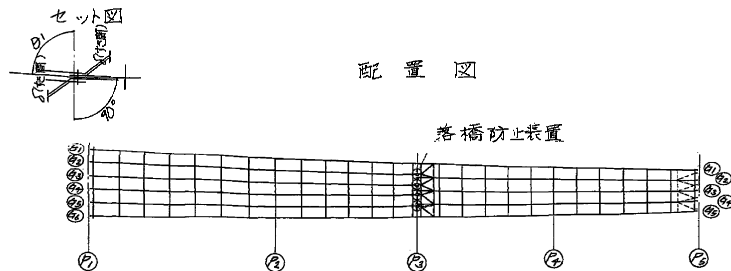
構造詳細図 縮尺 1:15



	Σ1	Σ2	Σ3	Σ4	H
G2	13.780	13.080	13.782	13.080	702
G3	13.551	13.151	13.553	13.151	702
G4	13.622	13.222	13.625	13.222	703
G5	13.693	13.293	13.696	13.293	703

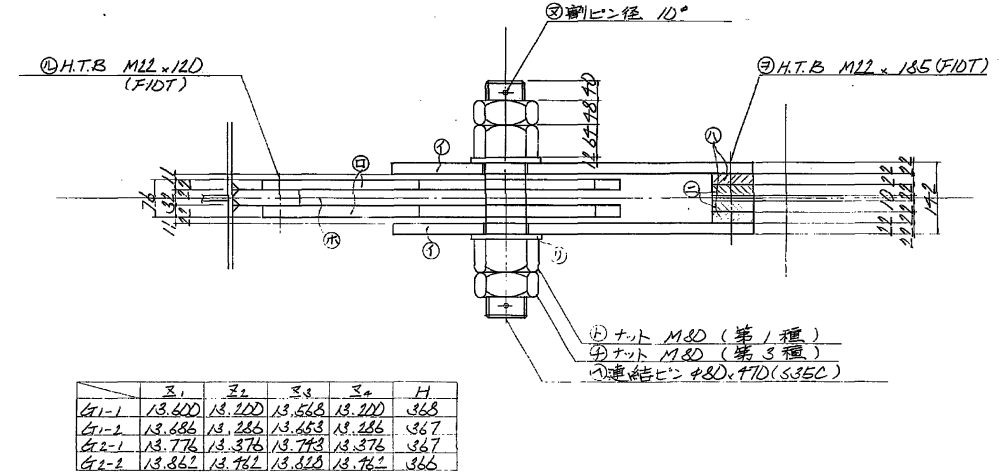
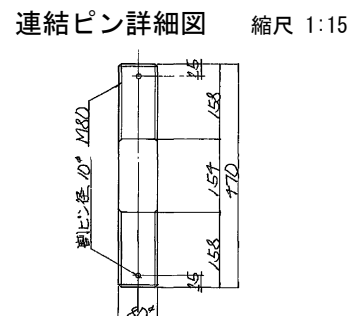
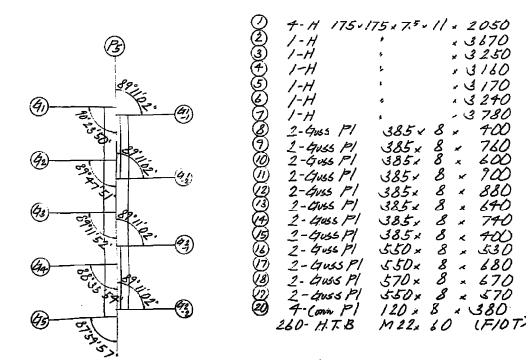
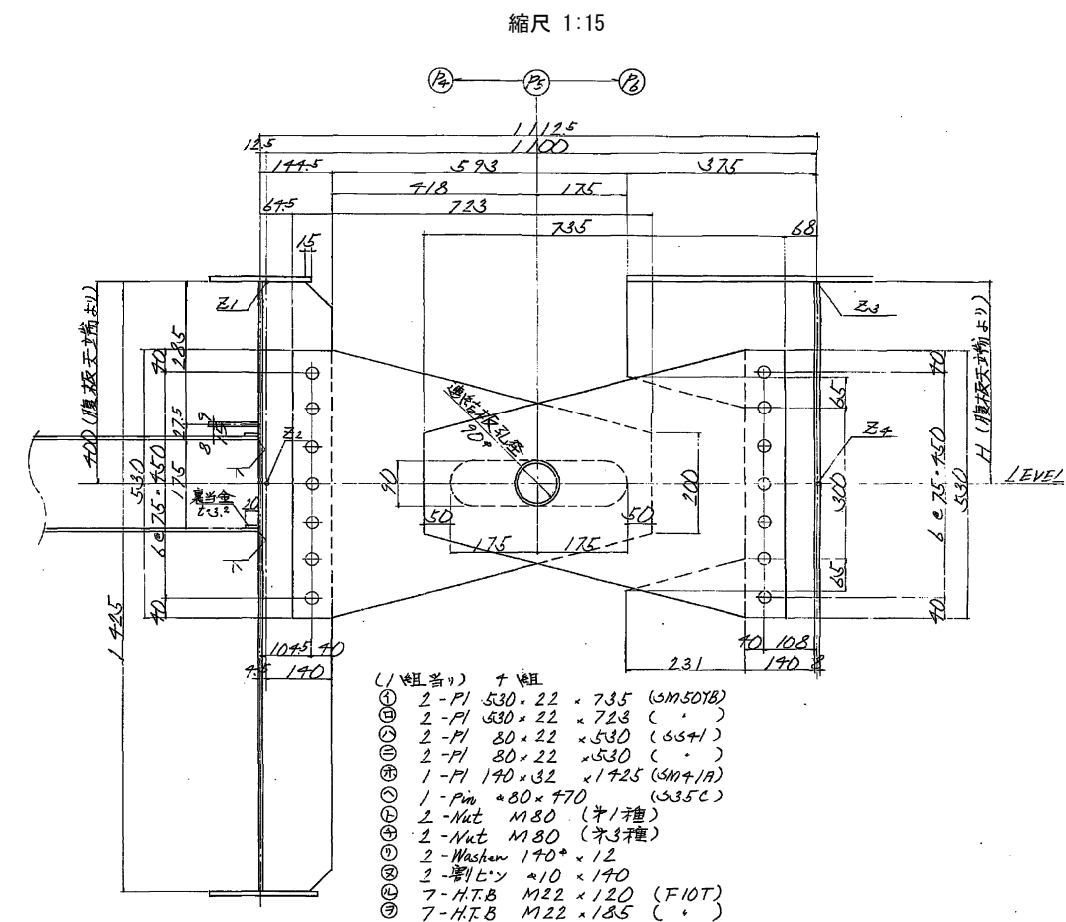
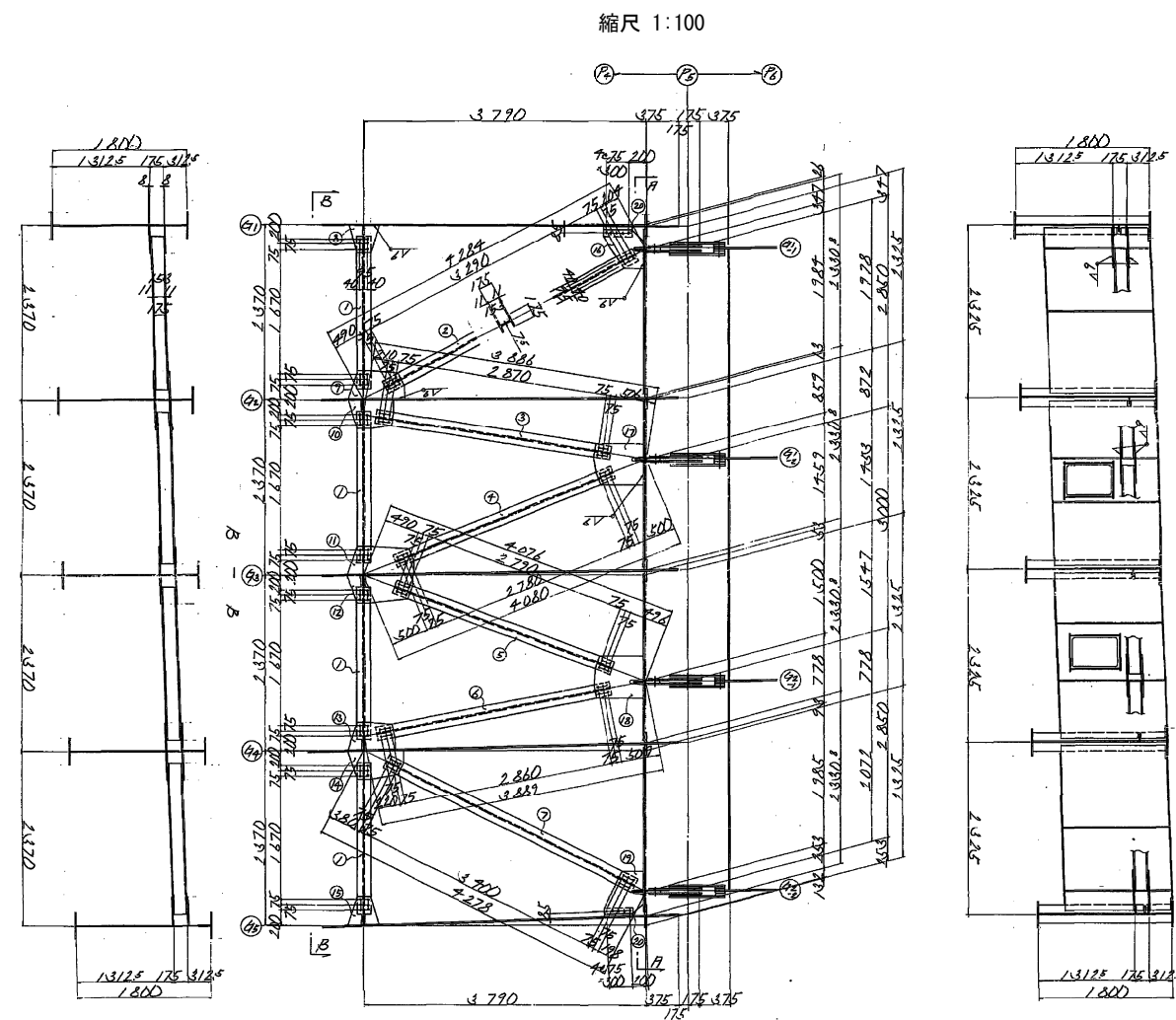
	B1	δ
G2	88~17~04'	6.5
G3	88~16~26'	7.6
G4	89~15~77'	8.7
G5	89~15~13'	10.5

配置図



常磐自動車道 久慈川橋耐震補強工事			
図面の種類	茂宮川高架橋 P3(A-ライン) 既設耐震連結装置 撤去工(その2)		
縮 尺	図示	図面番号	158/208
設計会社名	株式会社 長大		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

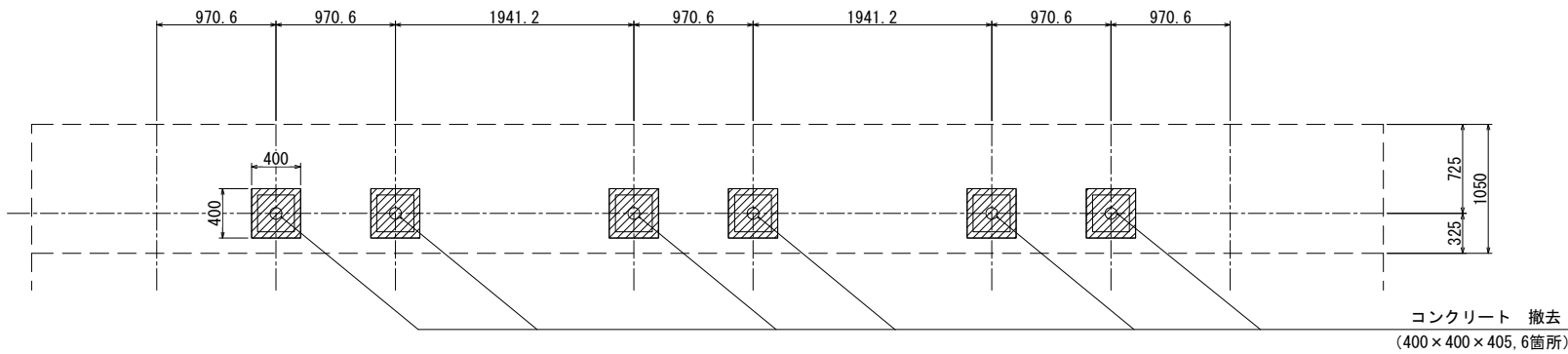
補強支材詳細図



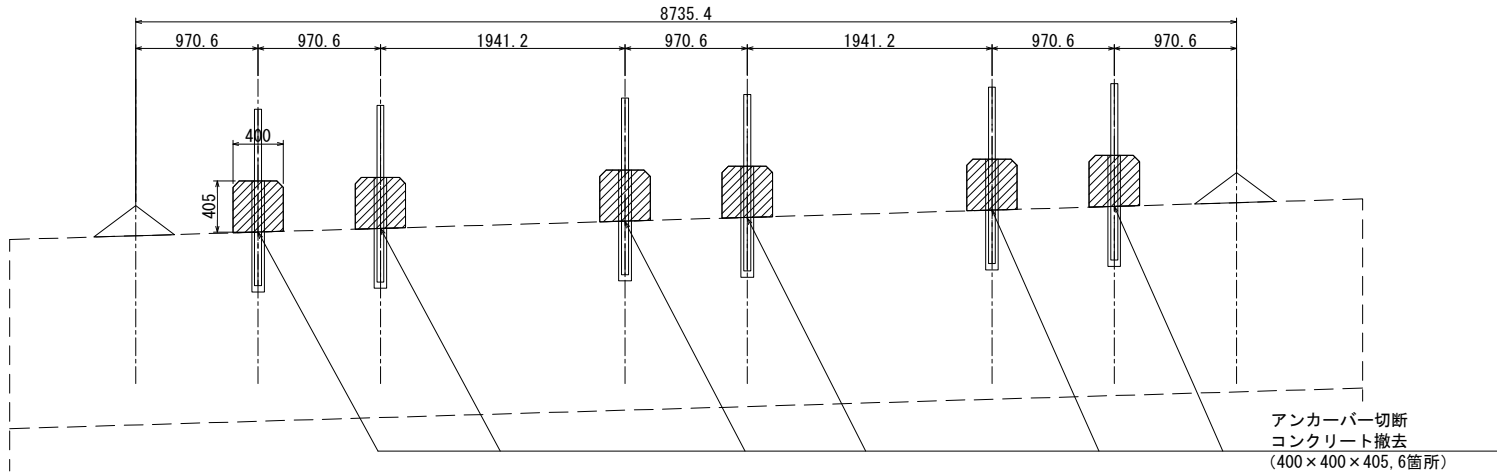
常磐自動車道 久慈川橋耐震補強工事			
図面の種類	茂宮川高架橋 P5(A-ライン)既設耐震連結装置 撤去工		
	縮尺	図示	図面番号 159 / 208
設計会社名	株式会社 長大		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

茂宮川高架橋 P8(A-ライン) 既設耐震連結装置 撤去工
(アンカーバー切断・コンクリート撤去)

平面図 S=1:30



断面図 S=1:30

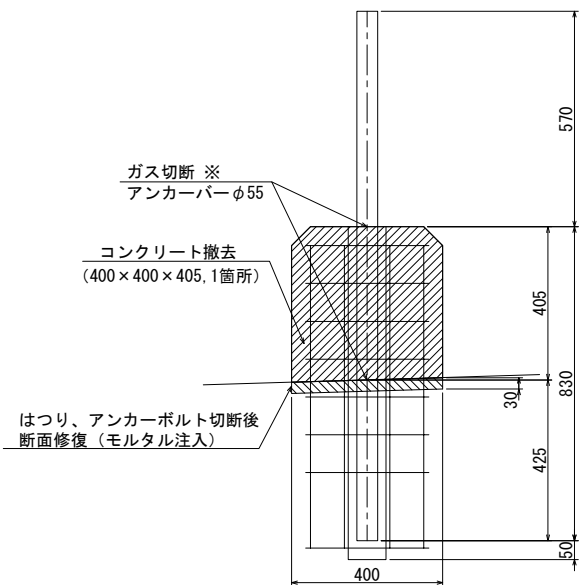


アンカーバー切断・コンクリート撤去断面修復詳細図 S=1:10

N=6

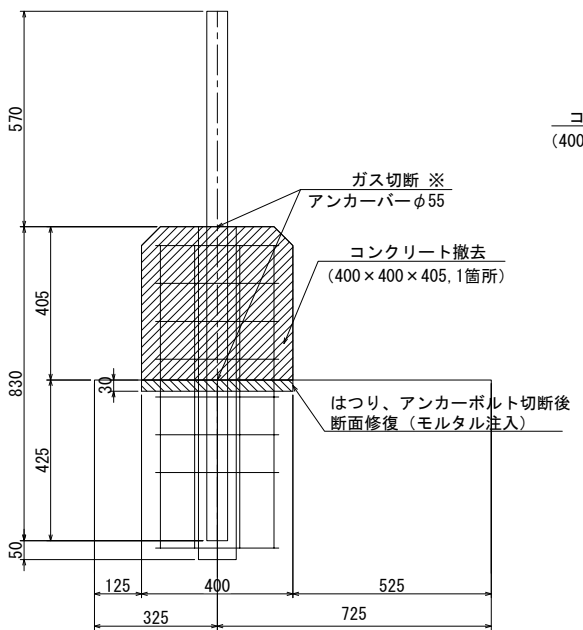
正面図

A - A

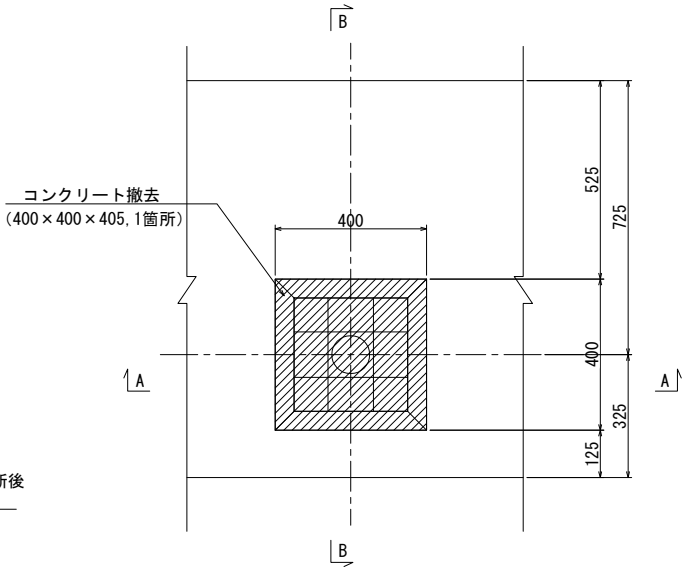


側面図

B - B



平面図



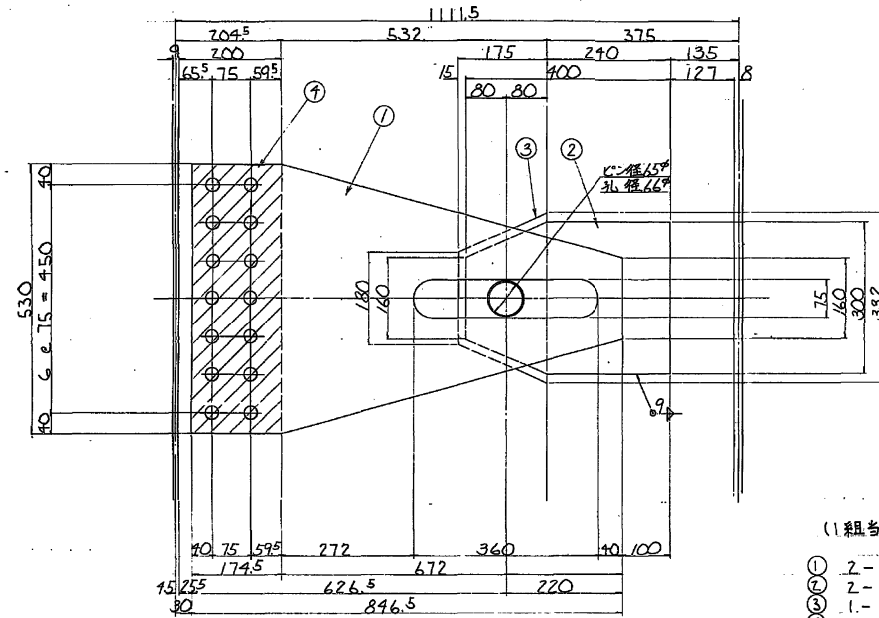
- 注記)
- 図中の補修計画は、既存点検データ、現地踏査に基づくものであるが、工事に際しては現地状況を十分把握し、併せて監督職員の承諾を得た上で実施すること。
 - 施工数量については、現地再確認を行った上、監督職員の承諾を得て決定すること。

常磐自動車道 久慈川橋耐震補強工事			
図面の種類	茂宮川高架橋 P8(A-ライン) 既設耐震連結装置 撤去工		
縮 尺	図示	図面番号	160／208
設計会社名	株式会社 長大		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

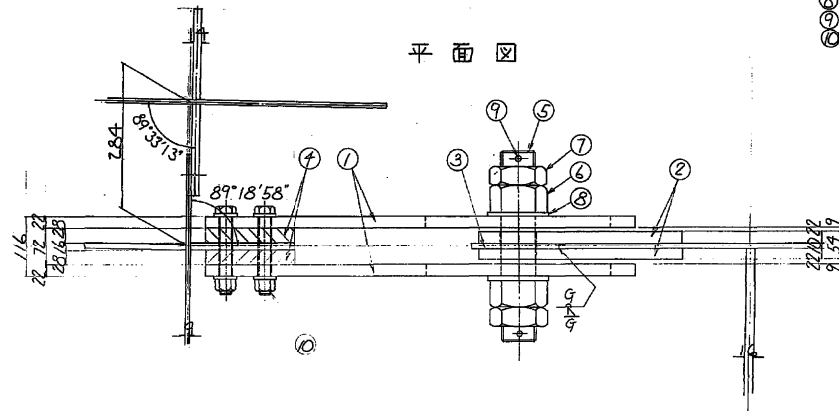
縮尺 1:15

GI と GII 桁の連結

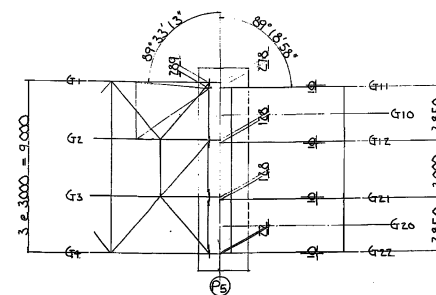
側面図



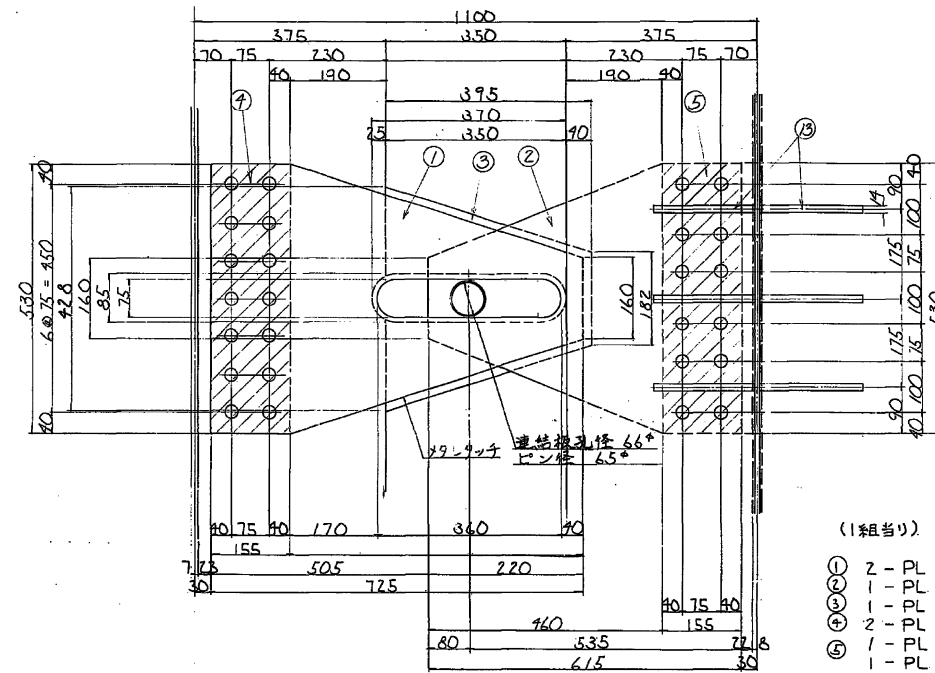
平面图



腹板配置図 縮尺 1:20

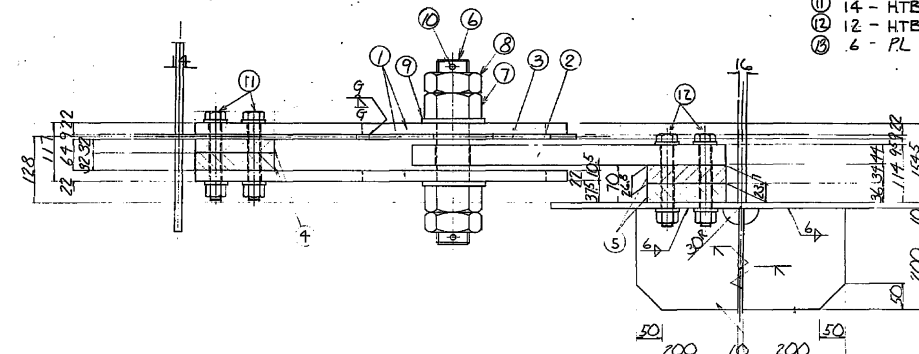
 G_2 と G_{12} 桁の連結, (G_3 と G_{21} 桁の連結).

側面圖

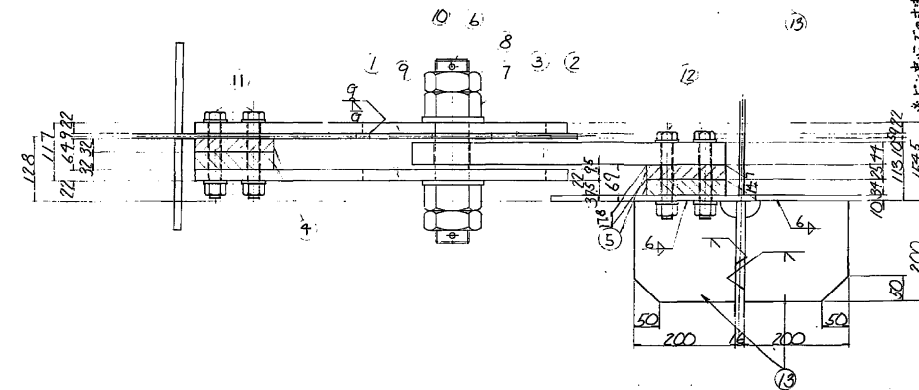


平面图

G_2 と G_{12} 桁の連結.



(G3とG21桁の連結)



() 内寸法は、G3とG21桁の連結を示す。

(1組当り).

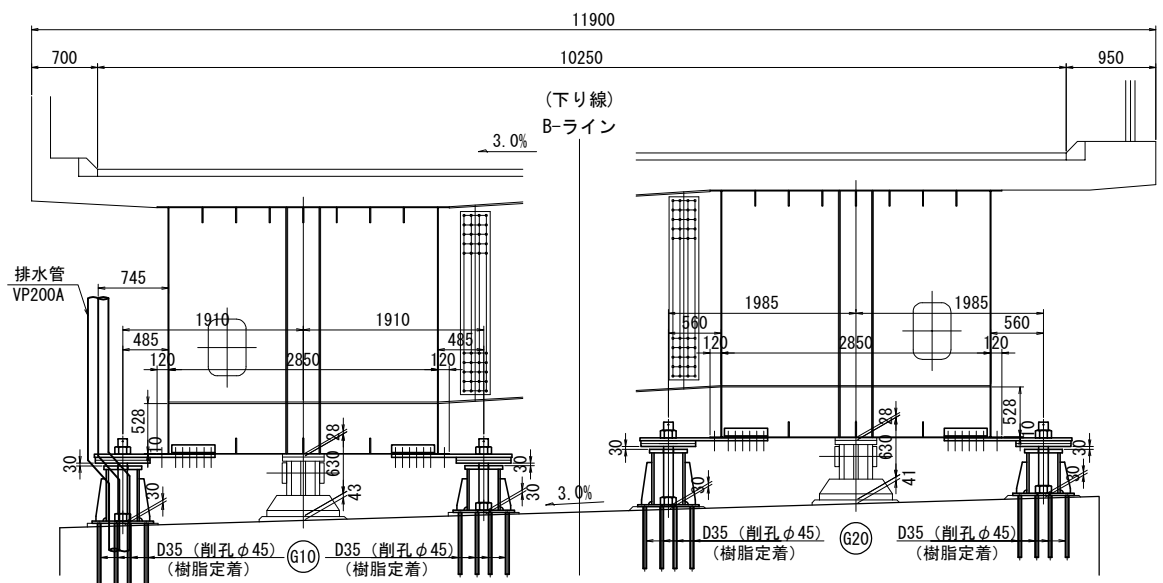
- ① 2 - PL 530 x 22 x 678 (447). (SM50YB)
- ② 1 - PL 530 x 44 x 615 (SM53C)
- ③ 1 - PL 248 x 9 x 348 (337)
- ④ 2 - PL 155 x 32 x 530 (SM41A)
- ⑤ 1 - PL 155 x 28 x 530 (SM41A) 7-18
- 1 - PL 155 x 36 x 530 (SM41B)
- (⑤) 1 - PL 155 x 19 x 530 (SM41A) 7-18
- 1 - PL 155 x 34 x 530 (SM41B)

⑥ J - P₂n

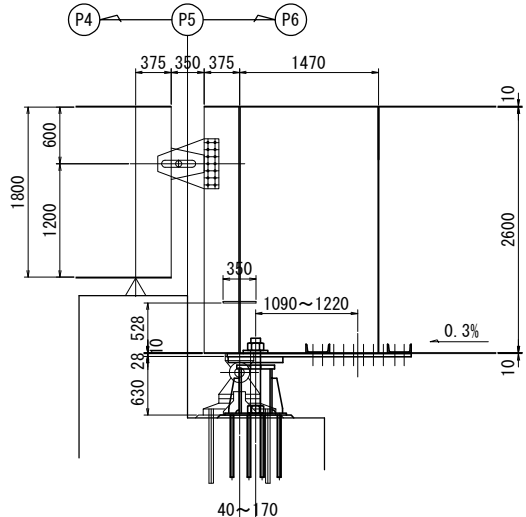
- ⑥ 1 - Pir. 65 ϕ x 370 (S35C) }
 ⑦ 2 - Nut M64 (チ1種) } 足金ナツキ
 ⑧ 2 - Nut M64 (チ3種) }
 ⑨ 2 - Washer 115 ϕ x 9
 ⑩ 2 - 銅ワシ 10 ϕ x 100 (SWRM10)
 ⑪ 14 - HTB M22 x 160 (FIOT).
 ⑫ 18 - HTB M22 x 160 (145) (FIOT).
 ⑬ 6 - PL 200 x 14 x 200

常磐自動車道 久慈川橋対震補強工事			
図面の種類	茂宮川高架橋 P5 (B-ライン) 既設耐震連結装置 撤去工 (その 1)		
縮 尺	図示	図面番号	101/208
設計会社名	株式会社 長大		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 水戸管理事務所		関東支社

断面図



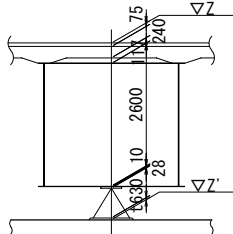
側面図



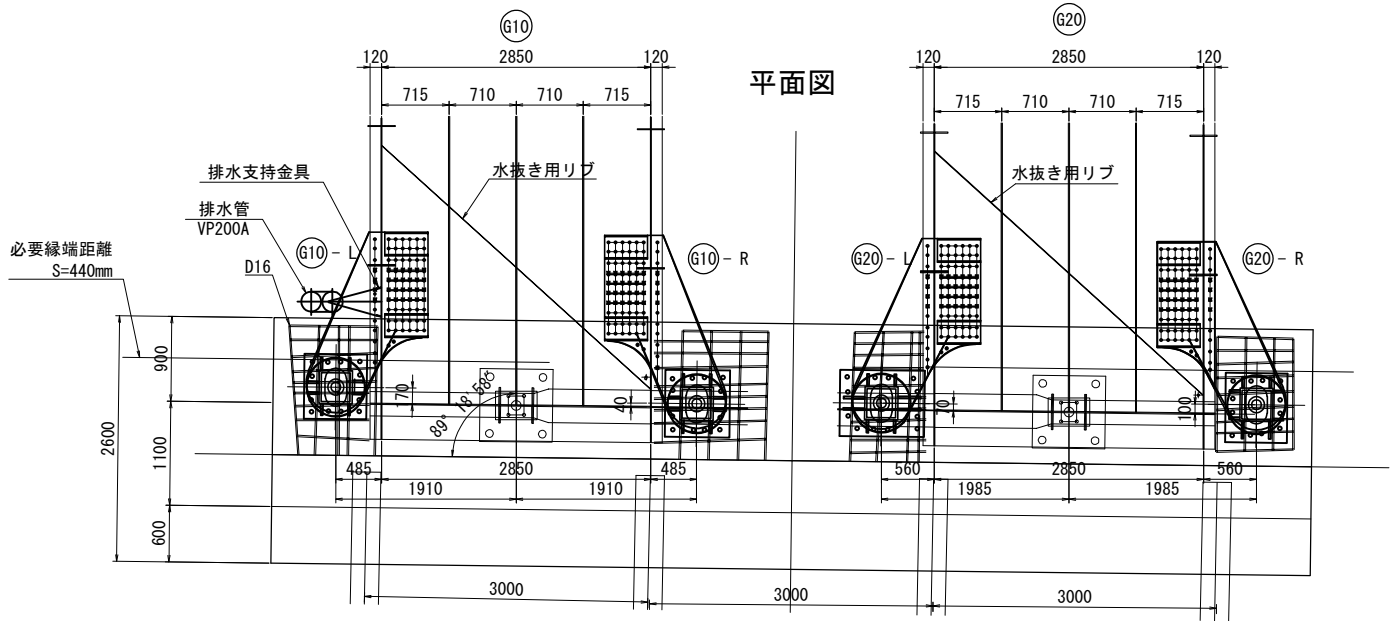
構造高表

橋脚		P5 (終点側)	
ライン		下り線 (B-ライン)	
主桁		G10	G20
内訳	Z 路面計画高	14007	14182
	舗装厚	75	75
	床版厚	240	240
	ハンチ高	117	117
	腹板高	2600	2600
	下フランジ厚	10	10
	ソールプレート厚	28	28
桁高		630	630
H	内訳合計	3700	3700
Z - H	桁座高	10307	10482
t	モルタル厚	43	41
Z'	下部工天端高	10264	10441

(既設図面 上部工線形図、各種詳細図より)



平面図



設計条件

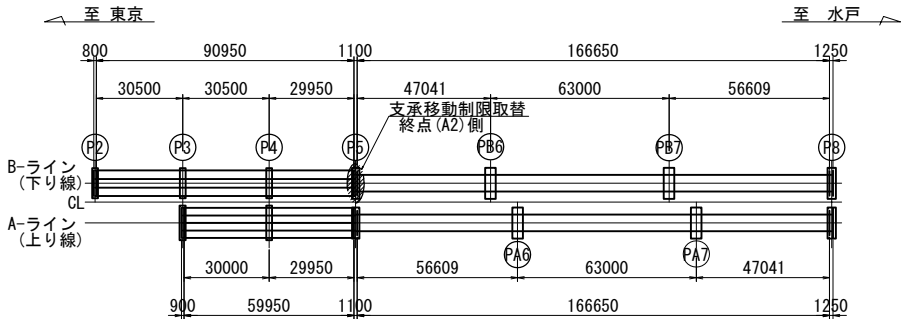
死荷重反力	2636 kN	Rd
設計水平震度	kh=0.30	
設計荷重	1186 kN	1.5 · kh · Rd
設置箇所数	4 基	
変位制限用ピン径	φ105	
設計移動量	±105mm	

注) 本変位制限装置は既設支承の移動制限の代替装置であり、遊間量は既設支承の必要遊間量を確保するものである。また、損傷せずに残存している既設サイドブロックについても、損傷したものとして取扱う。

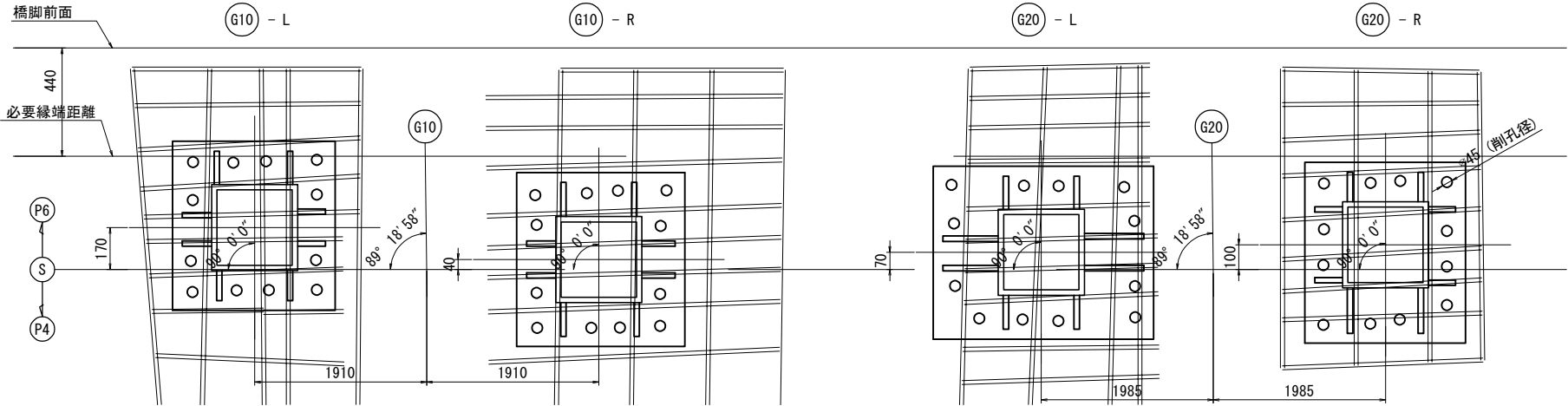
材料表

項 目	単位	数量	適用
変位制限用ピン	本	4	φ105 (φ80)
上部工連結板	基	4	
下部工鋼製架台	基	4	
アンカーボルト D35	本	48	L=690mm

配置図

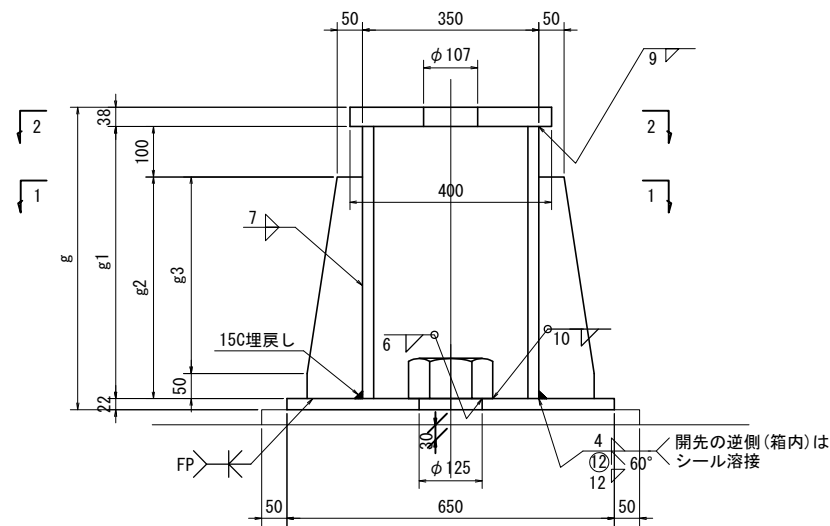


鋼製架台配置 縮尺 1:30



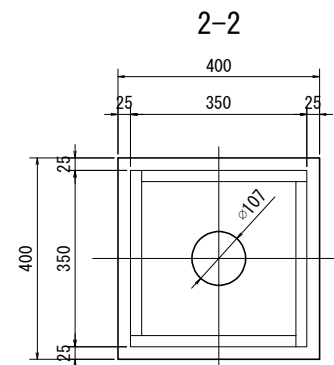
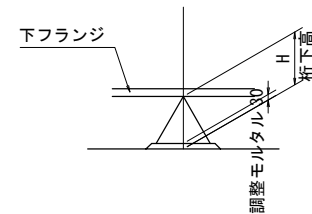
常磐自動車道 久慈川橋耐震補強工事			
図面の種類	茂宮川高架橋P5(B-ライン) 既設変位制限装置撤去工(その1)		
縮 尺	図示	図面番号	163 / 208
設計会社名	株式会社 長大		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

側面図

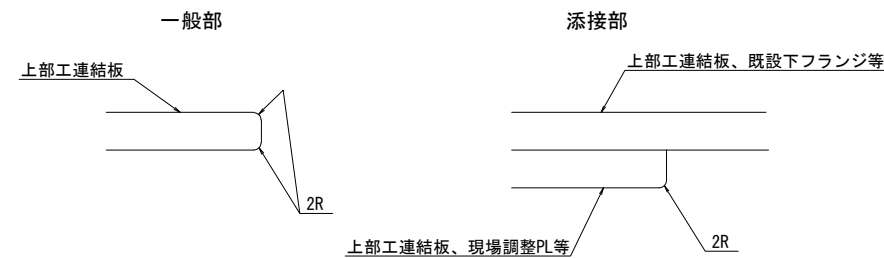


鋼製架台 寸法表

		B-LINE (下り線)				平均
		G10		G20		
		L	R	L	R	
桁下高	H	763	641	733	637	694
架台高	g	611	489	581	485	—
	g1	551	429	521	425	482
	g2	451	329	421	325	382
	g3	401	279	371	275	332

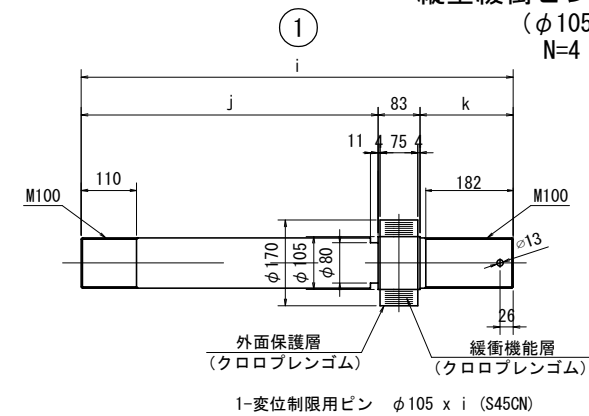


面取り加工詳細図



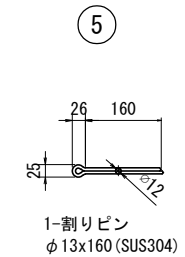
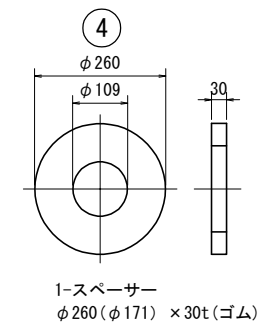
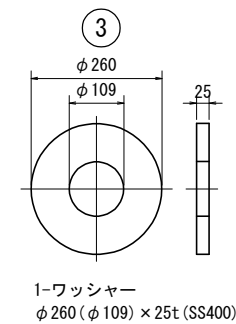
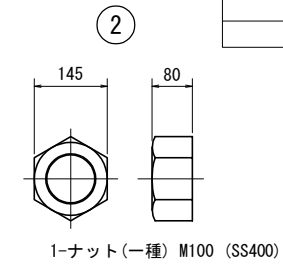
注) 面取り加工は新設部材のみとし、既設部材には施さない。

縦型緩衝ピン詳細図
(φ105)
N=4

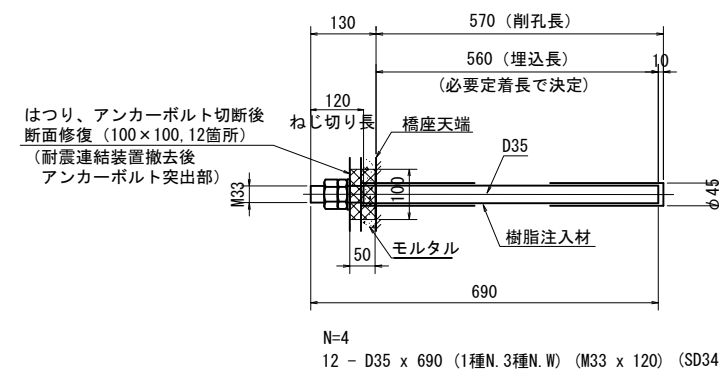


縦型緩衝ピンφ105 寸法表

	B-LINE（下り線）				平均
	G10		G20		
	L	R	L	R	
k	194	194	194	194	194
j	607	486	578	481	538
i	884	763	855	758	815

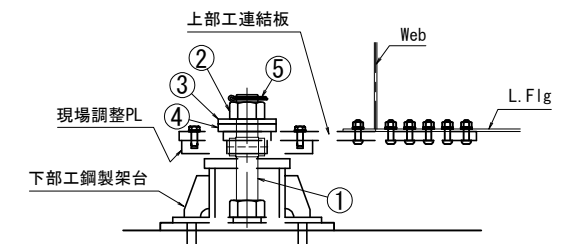


アンカーボルト詳細図



※アンカーボルトはネジ切り部のみ溶融亜鉛めっきを施すものとする。

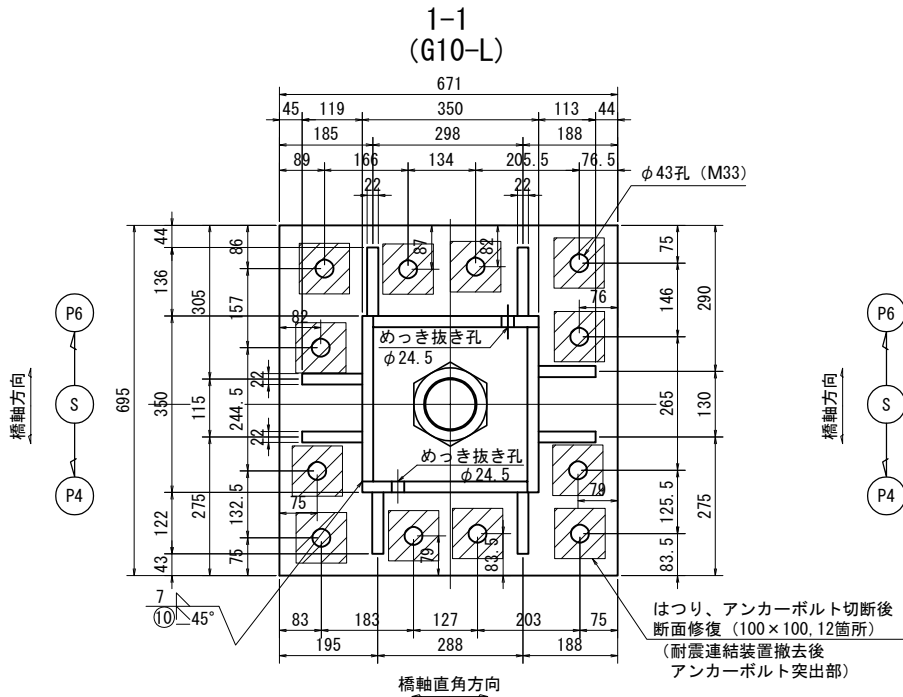
取付詳細 縮尺=1:10



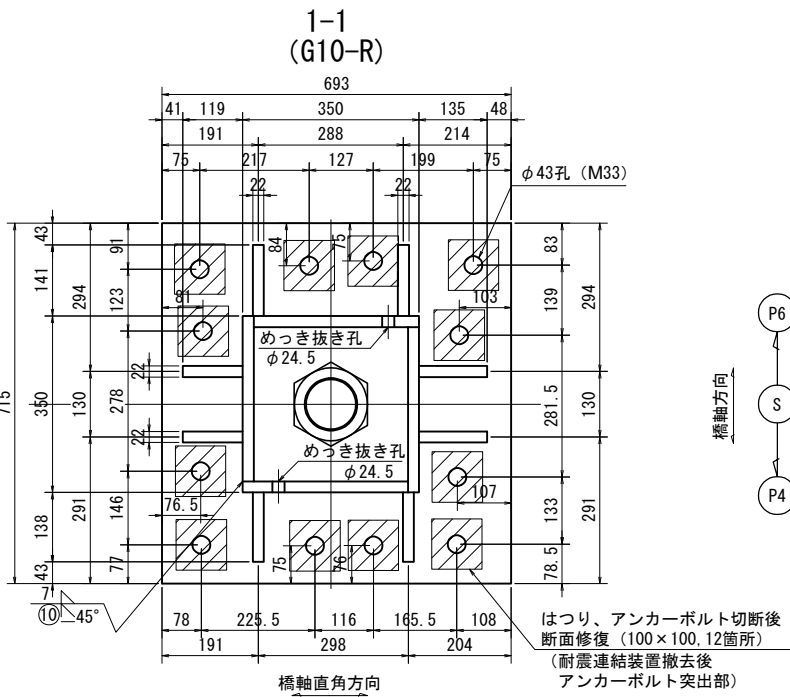
材料表

項 目	単位	数量	適用
変位制限用ピン	本	1	φ105(φ80)
鋼製架台	t	0.276	SM490
アンカーボルト D35	本	12	L=690mm

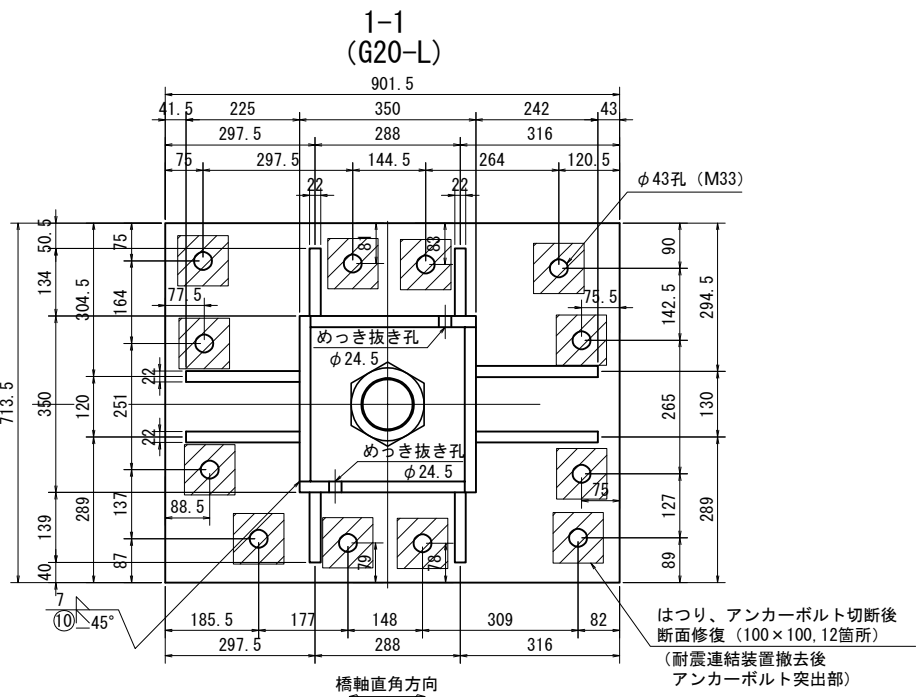
<p>常設自動車道 久慈川橋耐震補強工事</p>			
図面の種類	<p>茂岡川高架橋P5(B-ライン) 既設変位制限装置撤去工(の2)</p>		
縮 尺	図示	図面番号	164/208
設計会社名	株式会社 長大		
施工会社名			
事務所名	<p>東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所</p>		



- N=1
- 1 - BASE PL 695 x 22 x 671 (SM490A)
 - 4 - PL 328 x 22 x 551 (SM490A)
 - 2 - RIB PL 119 x 22 x 451 (SM490A)
 - 2 - RIB PL 113 x 22 x 451 (SM490A)
 - 2 - RIB PL 136 x 22 x 451 (SM490A)
 - 2 - RIB PL 122 x 22 x 451 (SM490A)
 - 1 - TOP PL 400 x 38 x 400 (SM490YB)
 - 1 - NUT M100 (SS400)

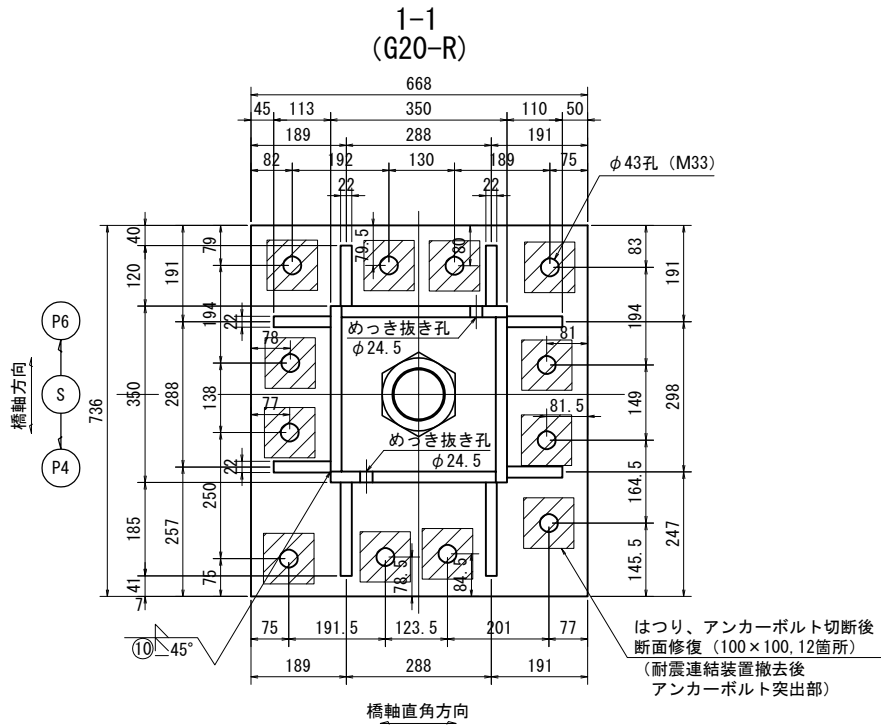
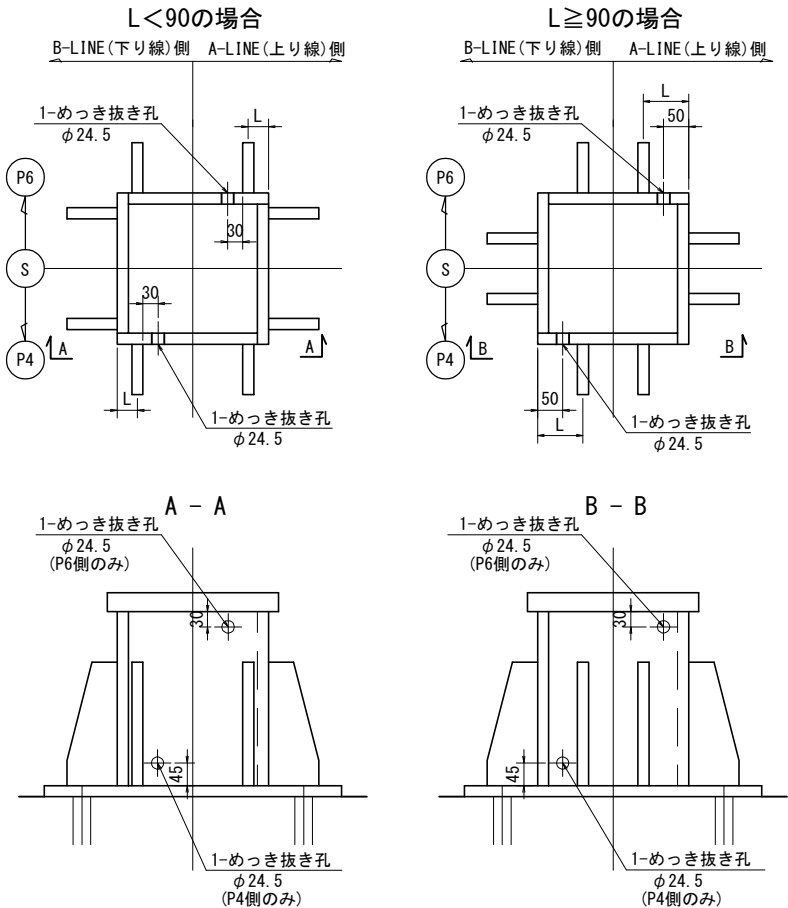


- N=1
- 1 - BASE PL 715 x 22 x 693 (SM490A)
 - 4 - PL 328 x 22 x 429 (SM490A)
 - 2 - RIB PL 119 x 22 x 329 (SM490A)
 - 2 - RIB PL 135 x 22 x 329 (SM490A)
 - 2 - RIB PL 141 x 22 x 329 (SM490A)
 - 2 - RIB PL 138 x 22 x 329 (SM490A)
 - 1 - TOP PL 400 x 38 x 400 (SM490YB)
 - 1 - NUT M100 (SS400)



- N=1
- 1 - BASE PL 714 x 22 x 902 (SM490A)
 - 4 - PL 328 x 22 x 521 (SM490A)
 - 2 - RIB PL 225 x 22 x 421 (SM490A)
 - 2 - RIB PL 242 x 22 x 421 (SM490A)
 - 2 - RIB PL 134 x 22 x 421 (SM490A)
 - 2 - RIB PL 139 x 22 x 421 (SM490A)
 - 1 - TOP PL 400 x 38 x 400 (SM490YB)
 - 1 - NUT M100 (SS400)

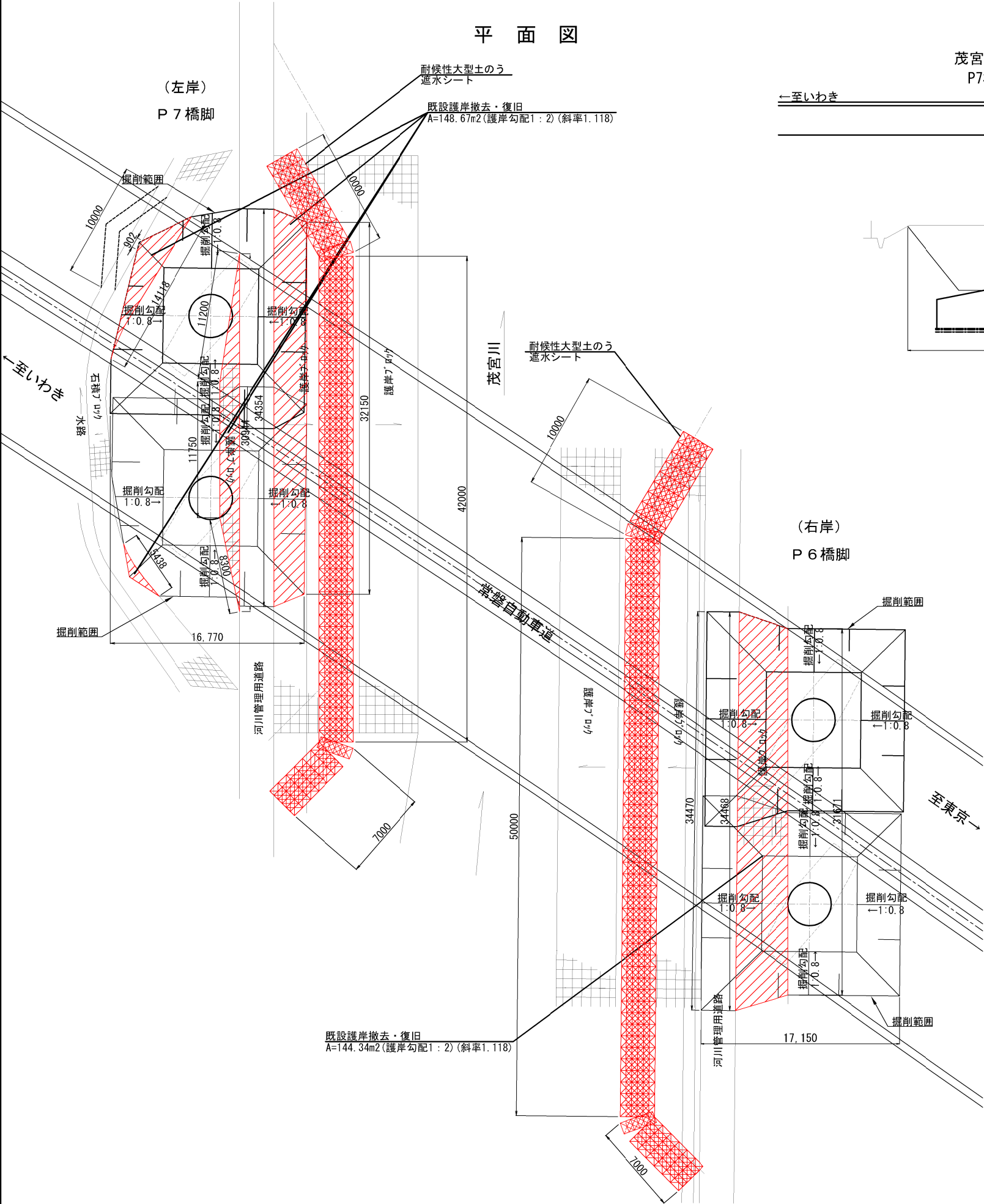
めっき抜き孔詳細図



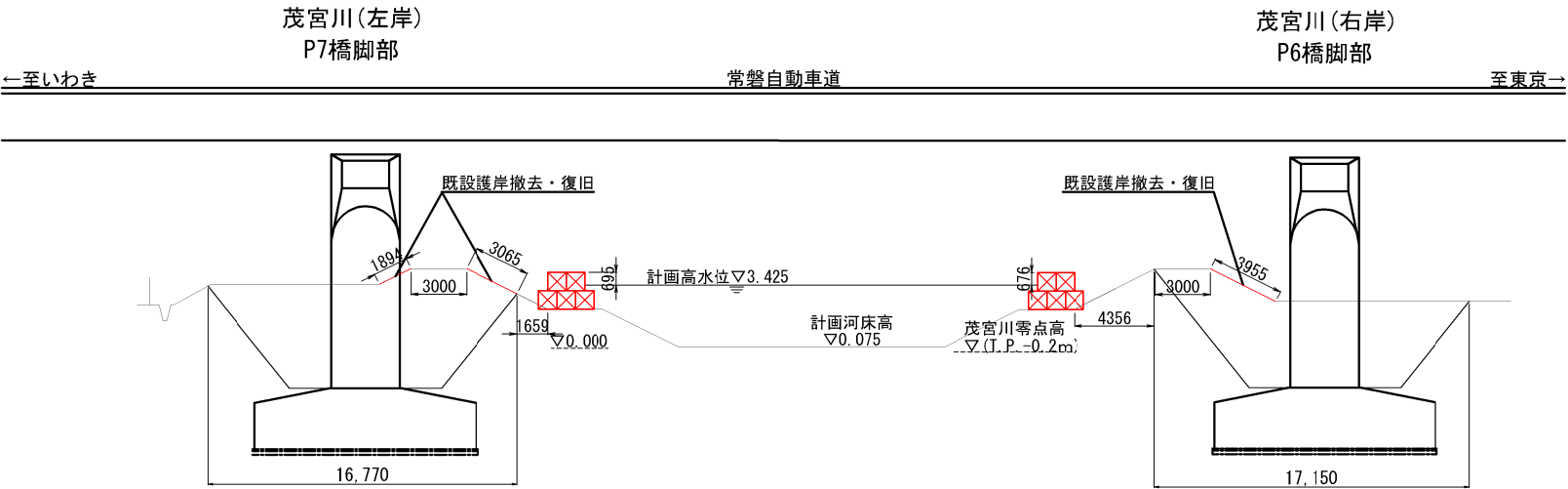
- N=1
- 1 - BASE PL 736 x 22 x 668 (SM490A)
 - 4 - PL 328 x 22 x 425 (SM490A)
 - 2 - RIB PL 113 x 22 x 325 (SM490A)
 - 2 - RIB PL 110 x 22 x 325 (SM490A)
 - 2 - RIB PL 120 x 22 x 325 (SM490A)
 - 2 - RIB PL 185 x 22 x 325 (SM490A)
 - 1 - TOP PL 400 x 38 x 400 (SM490YB)
 - 1 - NUT M100 (SS400)

常設自動車道 久慈川橋耐震補強工事			
図面の種類	茂宮川高架橋P5 (B-ライン) 既設変位制限装置撤去工 (その3)		
	縮尺	図示	図面番号 165 / 208
設計会社名	株式会社 長大		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

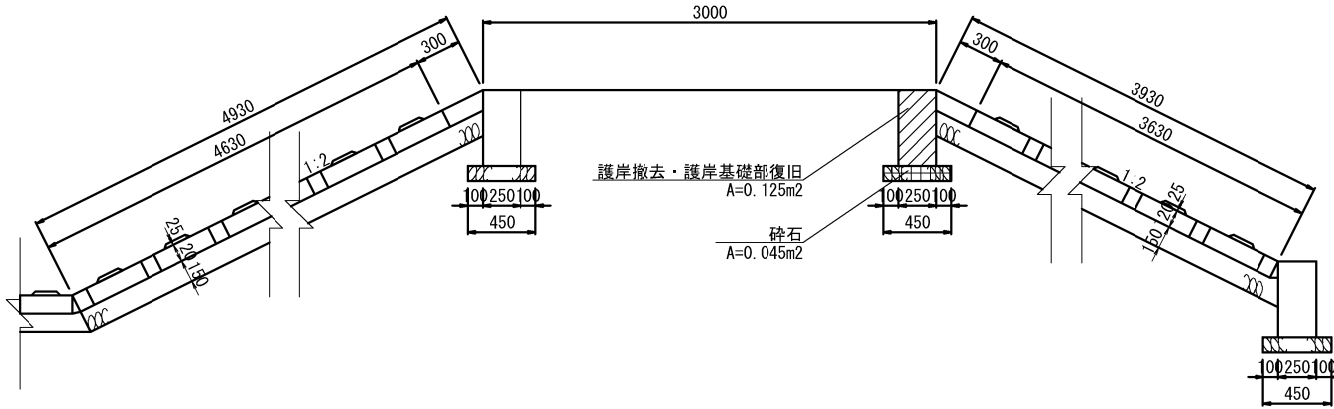
平面図



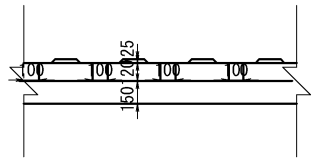
河川断面図



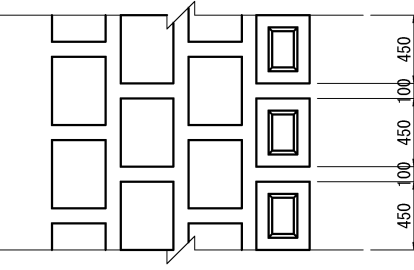
既設護岸
詳細図 S=1:50



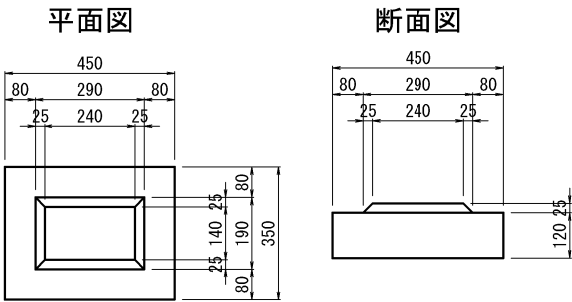
既設護岸
断面図 S=1:50



平面図



平板コンクリートブロック
詳細図 S=1:20



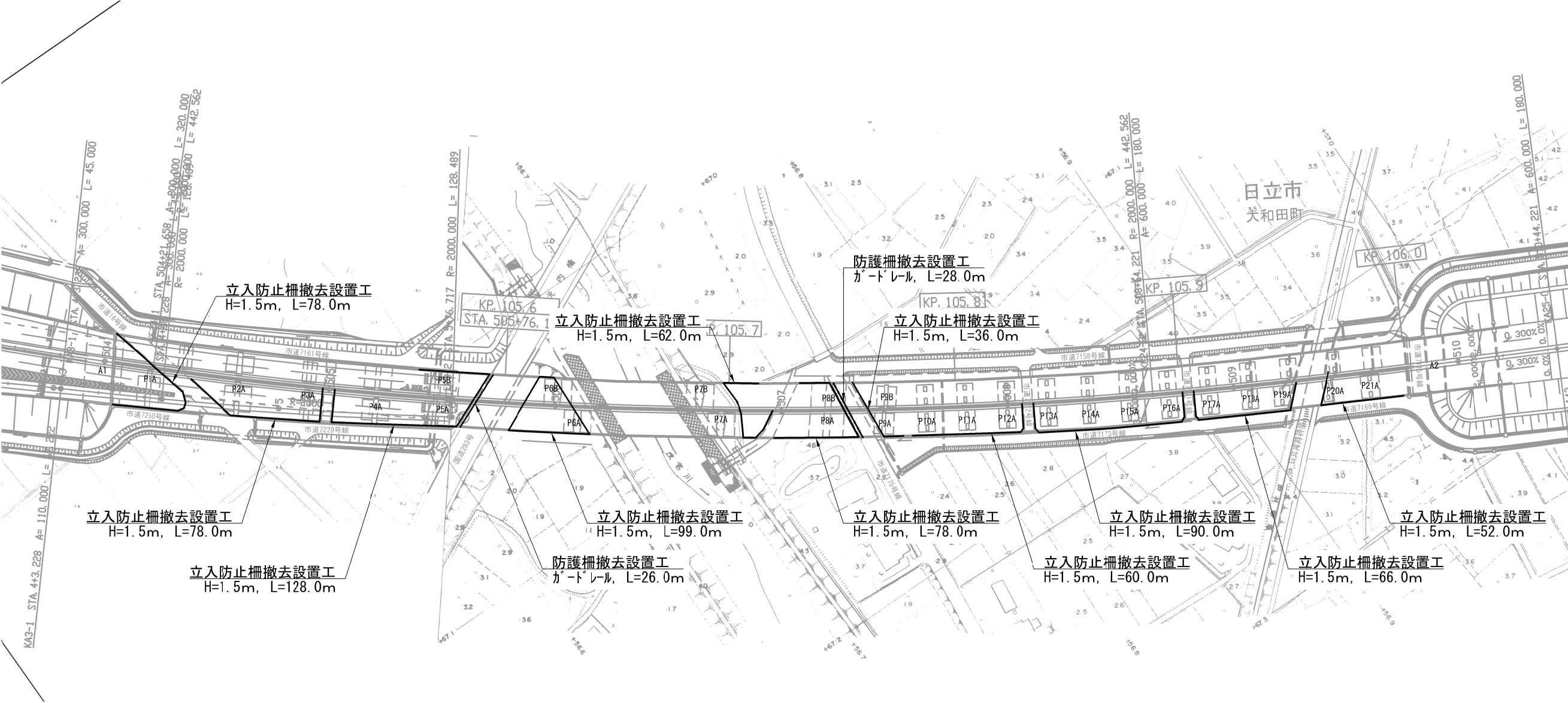
1. 施工時に必要に応じ現地盤を確認し、地盤の変状、支障物等がある場合は適宜修正を行うこと
2. 既設護岸形状については護岸資料がなく、現地調査による寸法を用いて想定で作成しているため、施工時に護岸形状を再度確認すること
3. 護岸基礎コンクリートの仕様は、18-8-25 (BB)とする

護岸撤去・復旧工数量

細別	単位	P6	P7
護岸撤去(護岸・基礎部)	m3	36.0	42.7
護岸復旧(平板コンクリート張 t=145mm)	m2	161.4	166.2
裏込砕石(t=150mm)	m3	24.2	31.6
護岸基礎部復旧	m3	12.6	18.6

常磐自動車道 久慈川橋耐震補強工事			
図面の種類	茂宮川高架橋 既設護岸撤去・復旧図		
縮尺	図示	図面番号	167 / 208
設計会社名	株式会社 長大		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

平面図 S=1:2,000

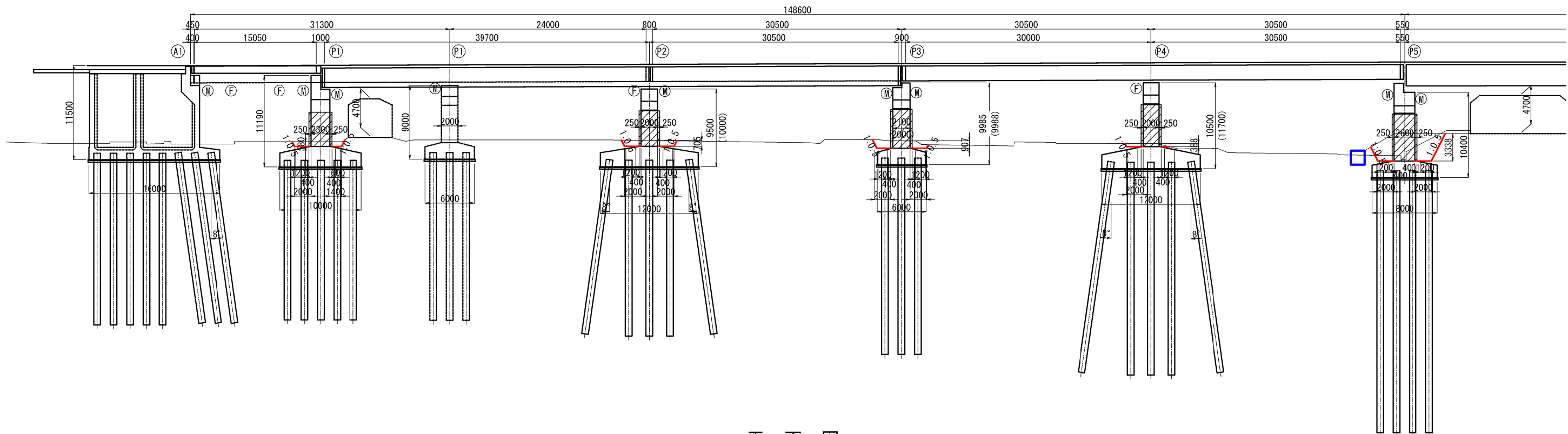


茂宮川高架橋
防護柵撤去設置工 数量表

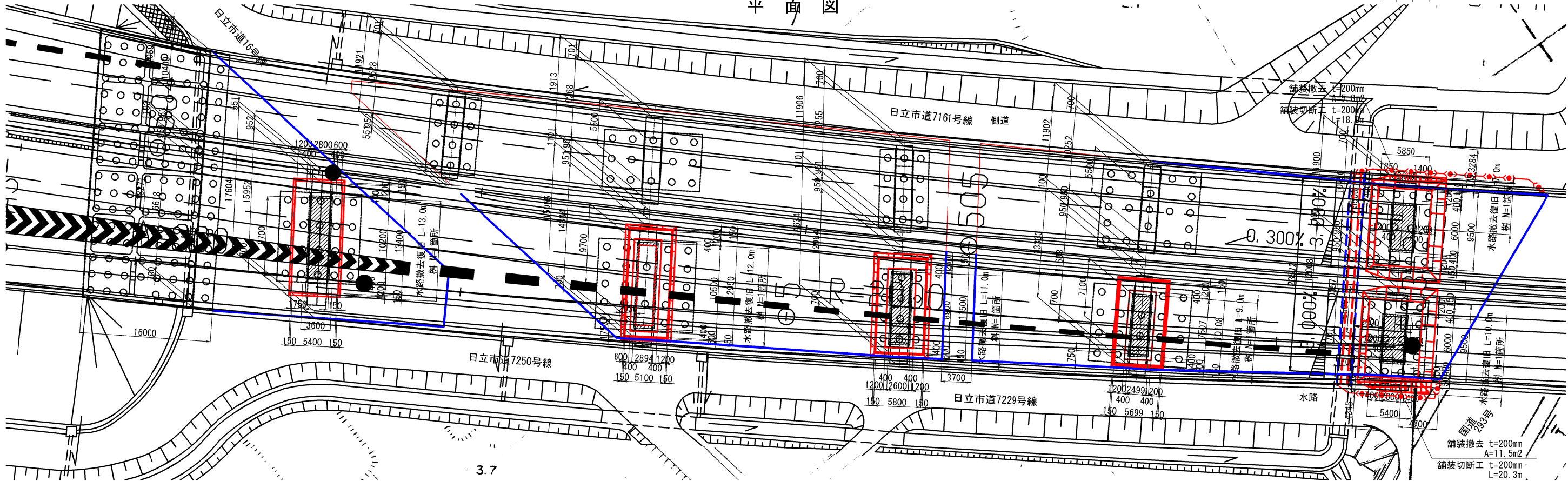
項目番号	名称	算定式	単位	数量
15-(10)	防護柵撤去設置工 (ガードレール)	26.0+28.0	m	54.0
15-(11)	立入防止柵撤去設置工 (一般型非積雪地用)	78.0+78.0+128.0+99.0+62.0 +78.0+ 36.0+60.0+90.0+66.0+52.0	m	827.0

常磐自動車道 久慈川橋耐震補強工事			
図面の種類	茂宮川高架橋 防護柵撤去設置工		
縮 尺	図示	図面番号	168／208
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

側面図



平面図



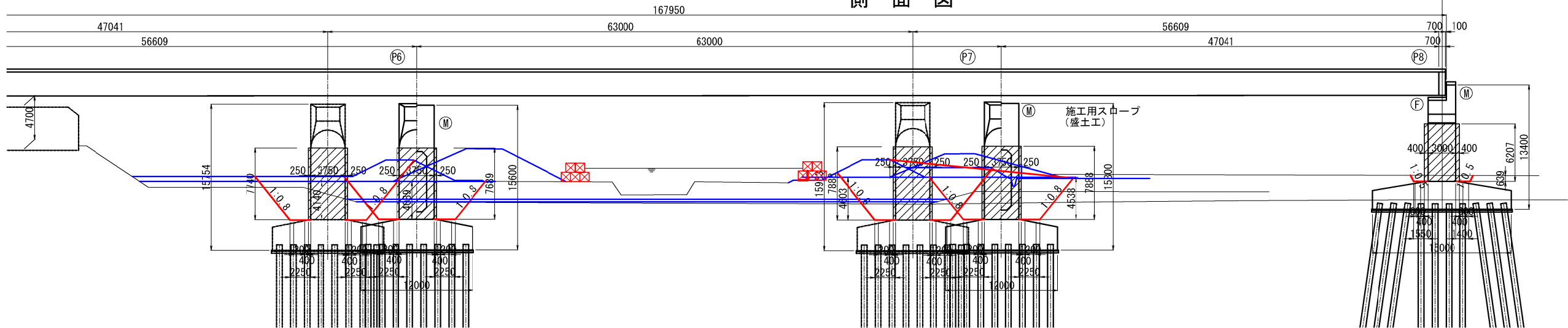
常磐自動車道 久慈川橋耐震補強工事			
図面の種類	茂宮川高架橋 既設用排水溝、舗装撤去・設置工(その1)		
縮尺	図示	図面番号	169/208
設計会社名	株式会社 長大		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
事務所名	水戸管理事務所		

茂宮川高架橋 既設用排水溝、舗装撤去・設置工(その2)

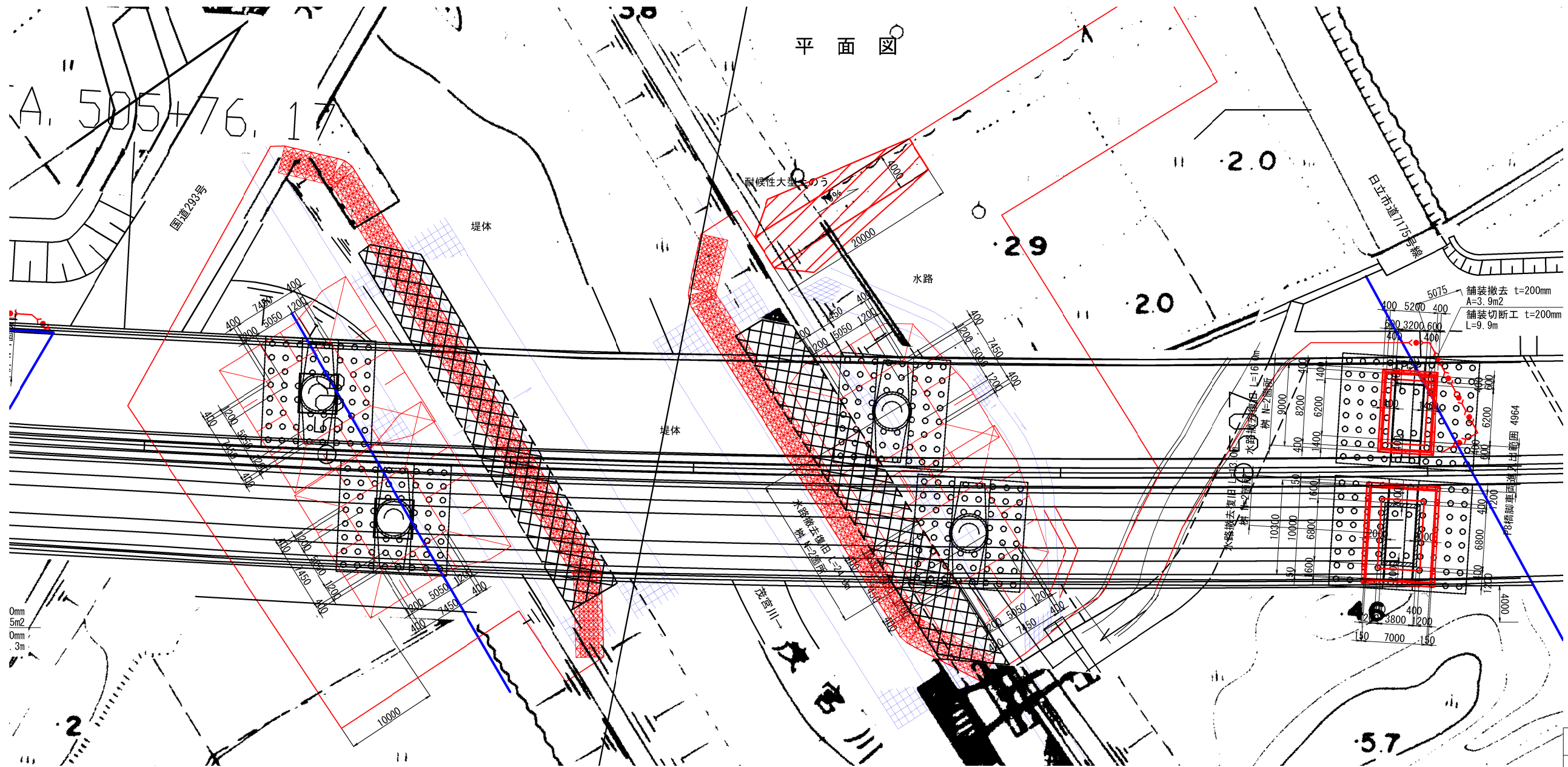
S=1:500

170/208

側面図

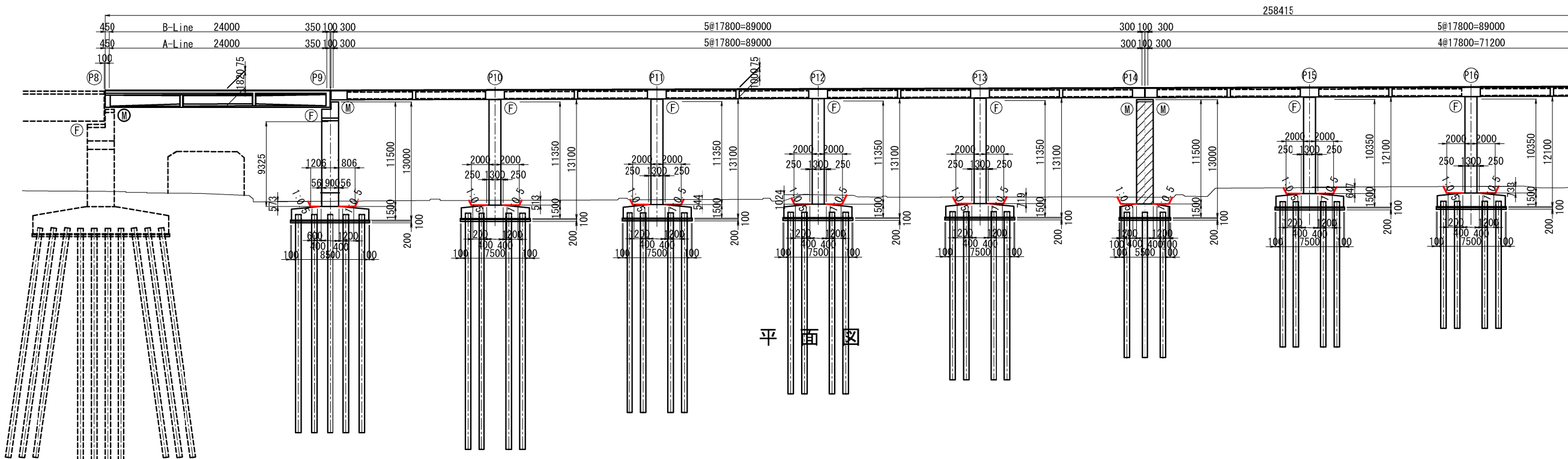


平面図

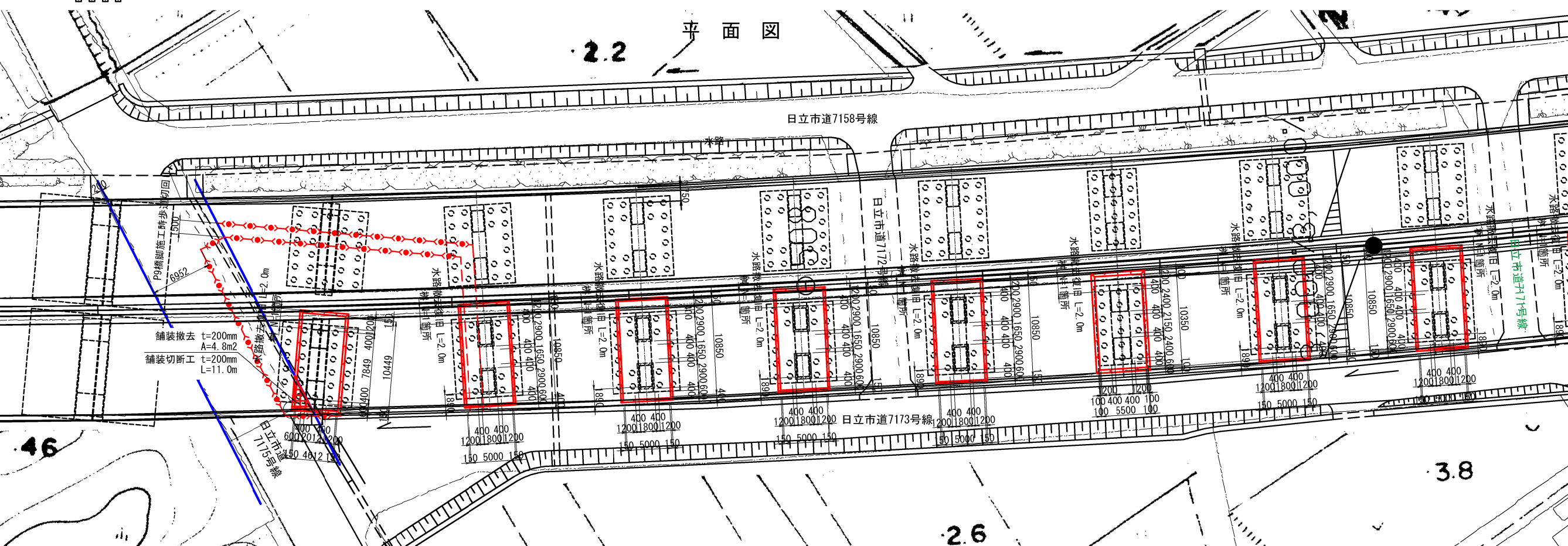


常磐自動車道 久慈川橋耐震補強工事			
図面の種類	茂宮川高架橋 既設用排水溝、舗装撤去・設置工(その2)		
縮尺	図示	図面番号	170/208
設計会社名	株式会社 長大		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
事務所名	水戸管理事務所		

側面図



平面図



2.2 平面図

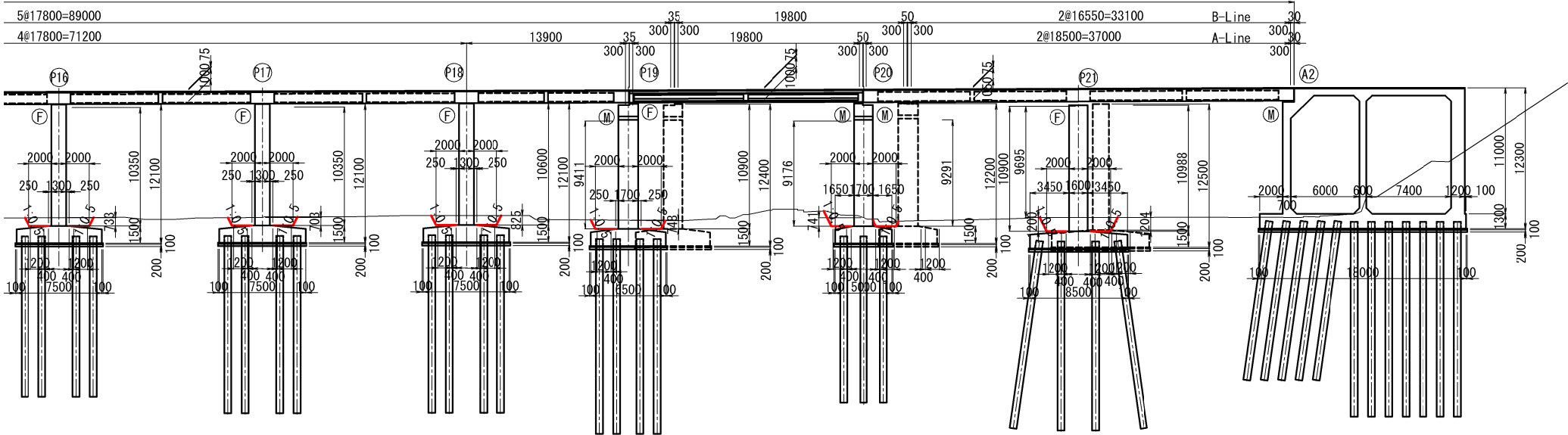
3.8

2.6

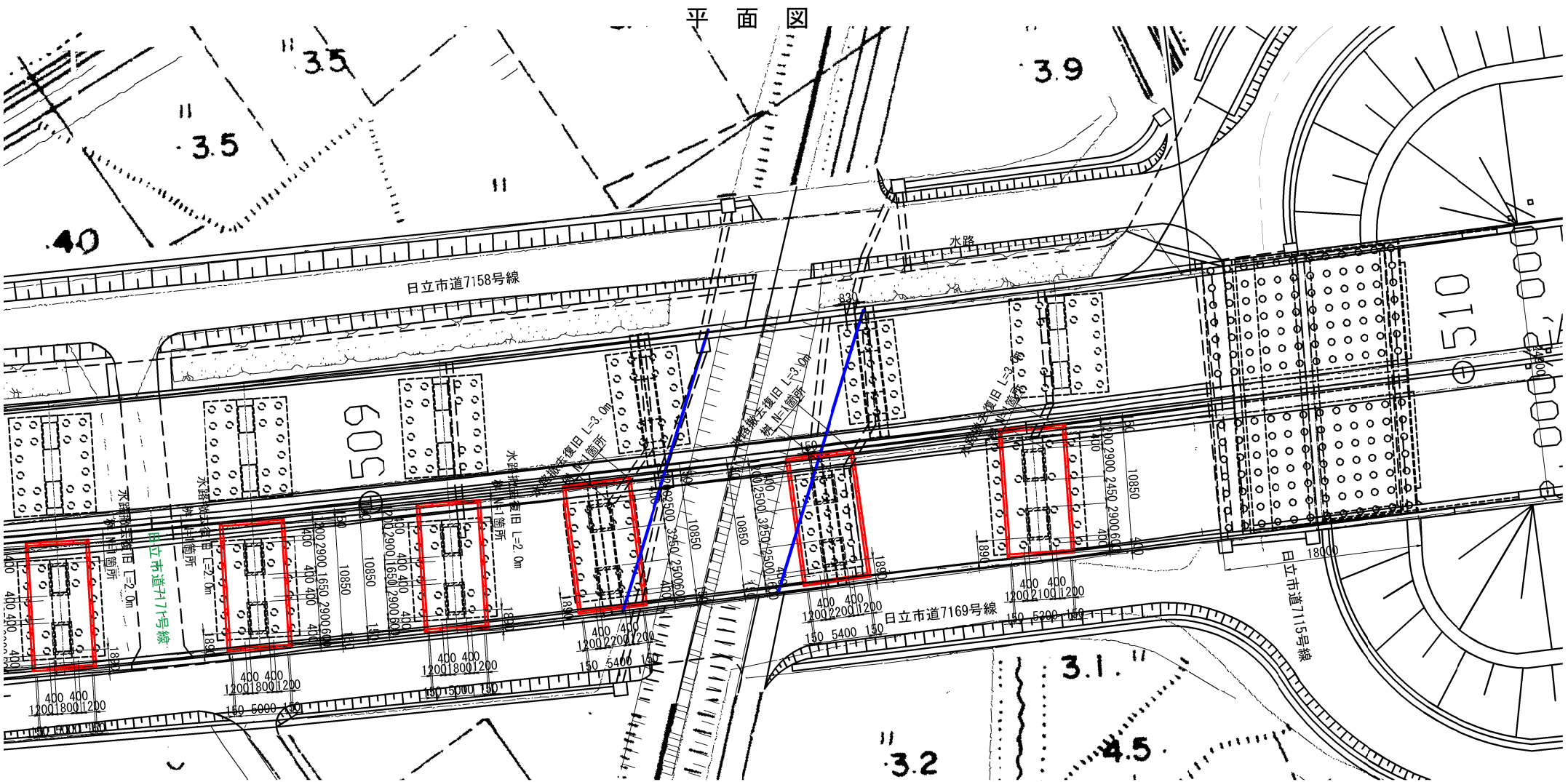
46

常磐自動車道 久慈川橋耐震補強工事			
図面の種類	茂宮川高架橋 既設用排水溝、舗装撤去・設置工(その3)		
縮尺	図示	図面番号	171/208
設計会社名	株式会社 長大		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
事務所名	水戸管理事務所		

側面図

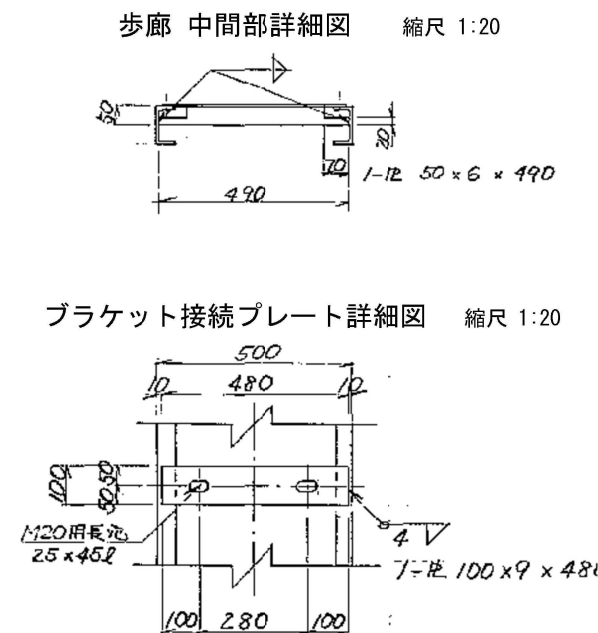


平面図



常磐自動車道 久慈川橋耐震補強工事			
図面の種類	茂宮川高架橋 既設用排水溝、舗装撤去・設置工(その4)		
縮尺	図示	図面番号	172/208
設計会社名	株式会社 長大		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

材料表



The drawing shows a bracket with a vertical leg of length 60 and a horizontal leg of length 65. The horizontal leg has a square hole with a side length of 30. The distance from the bottom-left corner to the bottom-left corner of the hole is 32.5. The distance from the bottom-left corner to the top-right corner of the hole is 32.5. The distance from the top-right corner of the hole to the top-right corner of the bracket is 32.5. The distance from the top-right corner of the hole to the top-right corner of the bracket is 32.5.

	①	②	③
寸法	15.5	20.0	26.3

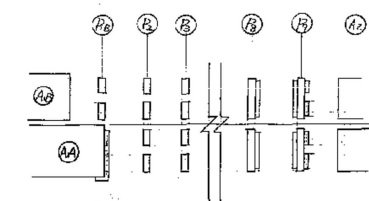
 ① 1-穴 65 × 6 × 2/3
 ② 1-穴 1 × 260
 ③ 1-穴 1 × 263

M16ボルト用ナカ一用
 ボルト径 18

[illegible]

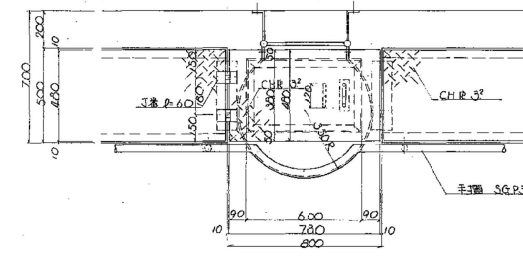
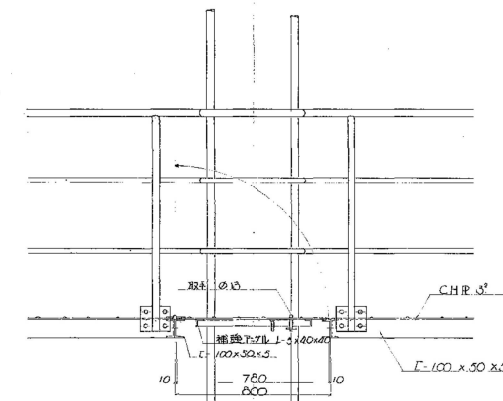
A1A橋脚									
繰別	寸法	長さ	数量	重量(kg)	単位重量	重量	材料		
歩廊部									
□	100x50x5	5300	2	9.36	48.7	97	SS		
□	□	4500	2	□	42.1	84	□		
□	□	3200	1	□	30.0	30	□		
□	□	2700	1	□	25.3	25	□		
□	□	490	6	□	4.89	28	□		
□	□	700	1	□	6.55	7	□		
C.R.P	480x3 ²	5280	1	26.80(%)	67.9	68	□		
□	□	4480	1	□	57.6	58	□		
□	□	3180	1	□	40.9	41	□		
□	□	680	1	□	8.75	9	□		
HP	100x9	480	6	70.7(%)	3.39	20	□		
□	50x6	490	11	47.1(%)	1.15	13	□		
(歩廊部合計)						480 kg			
手摺部									
SGP	25A	5783	1	2.43	14.1	14	SS		
□	□	4425	1	□	10.8	11	□		
□	□	4416	1	□	10.7	11	□		
□	□	1180	18	□	2.87	32	□		
□	15A	1000	22	1.31	1.31	29	□		
□	□	600	2	□	0.786	2	□		
□	□	575	2	□	0.753	2	□		
□	□	558	2	□	0.731	1	□		
□	□	375	2	□	0.491	1	□		
□	□	558	2	□	0.731	1	□		
□	□	758	2	□	0.993	2	□		
HP	150x6	150	36	47.1(%)	1.06	38	□		
□	100x3 ²	127	1	25.1(%)	0.318	1	□		
□	□	89	2	□	0.223	1	□		
(手摺部合計)						146 kg			
橋子部									
SGP	32A	3800	2	3.38	12.8	26	SS		
□	□	1172	2	□	3.96	8	□		
R-B	φ22	400	10	2.98	1.19	12	SR		
R	65x6	1797	3	47.1(%)	5.50	17	SS		
□	□	1400	3	□	4.29	13	□		
□	□	213	6	□	0.662	4	□		
□	□	263	2	□	0.805	2	□		
□	□	60	6	□	0.184	1	□		
□	□	143	2	□	0.438	1	□		
(橋子部合計)						84 kg			
ブラケット部									
C-T	147x200x8x12	500	6	28.4	14.2	85	SS		
L	100x100x10	670	6	14.9	9.8	60	□		
□	□	671	6	□	9.78	60	□		
(ブラケット合計)						205 kg			
(部品重量合計) 949 kg									
B-NW	M 8	30	110		0.023	3	SS		
	M 16	40	87		0.138	12	□		
	M 20	50	18		0.267	5	□		
小M27A	M 16	100	46		0.30	14	□		
(部品重量合計)						34 kg			
A1A橋脚 総重量 949 kg									
検査路総重量 2566 kg									

配置图

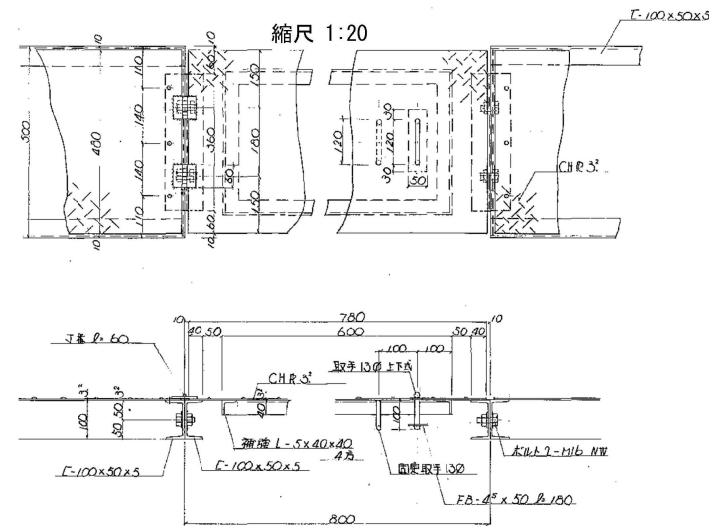


常磐自動車道 久慈川橋耐震補強工事			
図面の種類	大森高架橋 A1（A-ライン）検査路撤去工		
縮 尺	図示	図面番号	173 / 206
設計会社名	株式会社 長 大		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

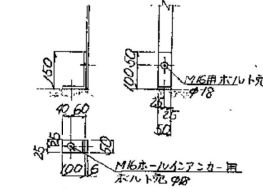
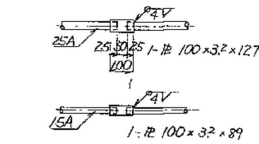
既設撤去図

P4 橋脚タラップ上りロハッチ詳細図
縮尺 1:40P4: P4 橋脚 タラップ上り
ハッチ詳細図 S: 1/10

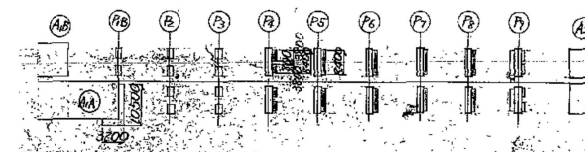
縮尺 1:20



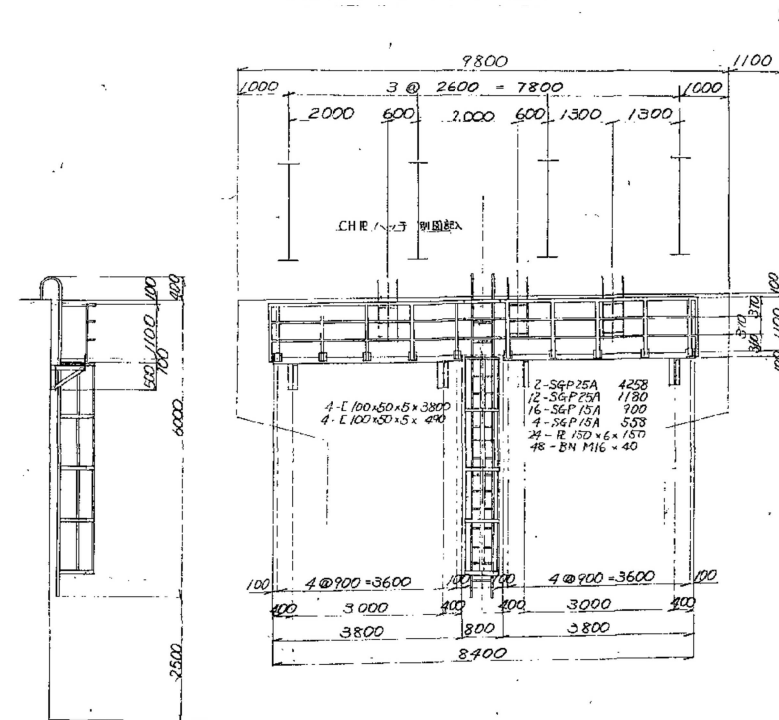
- 1 - CHR 400 x 3 x 700
2 - C 100 x 50 x 360
3 - L 40 x 40 x 360
4 - L 40 x 40 x 330
5 - L 60 x 60
6 - L 100 x 320
7 - F 50 x 4 x 100
8 - B N H16 x 40
9 - R 25 A
10 - R 15 A

"b"部詳細図
縮尺 1:30手摺継手詳細図
縮尺 1:30

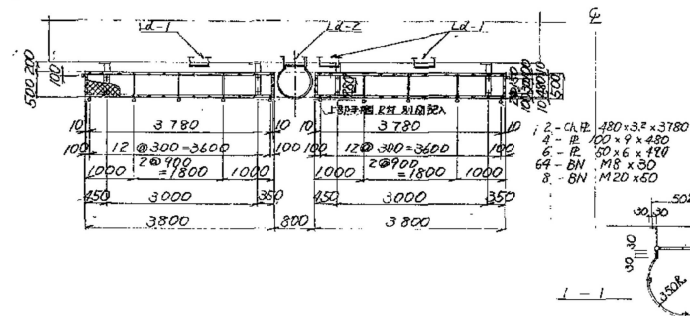
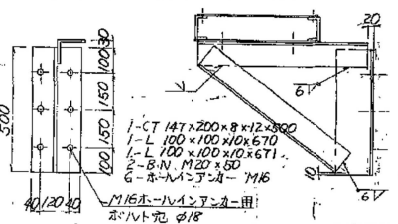
配置図



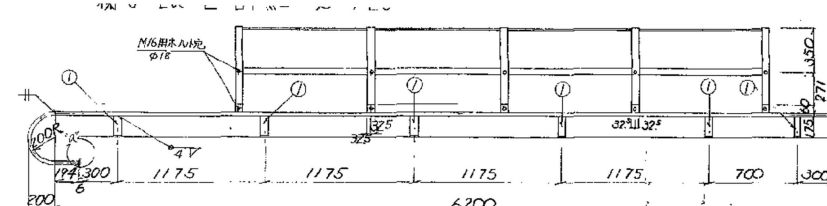
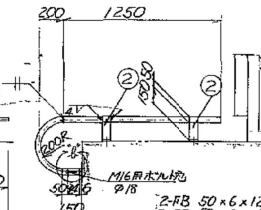
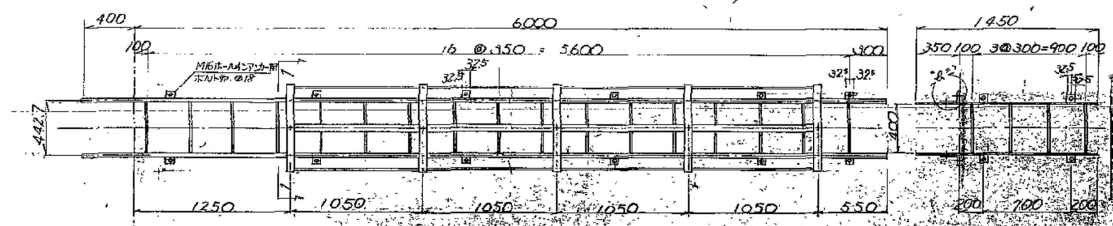
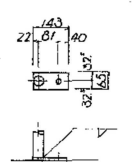
P4 橋脚 (A-ライン) 縮尺 1:150



ブラケット詳細図 縮尺 1:30



梯子 Ld-2 詳細図 縮尺 1:60

梯子 Ld-1 詳細図
縮尺 1:60"a"部詳細図
縮尺 1:30

材料表

P4 橋脚									
種別	寸法	長さ	数量	重量 (kg)	新重量	重量	材質		
タラップ部									
C	100 x 50 x 5	3800	4	9.36	35.6	142	SS41		
R	480 x 32	490	4	4.59	18				
C	480 x 32	3780	2	26.80	48.6	97			
R	100 x 9	480	4	70.7(1)	3.39	14			
	50 x 6	490	6	47.1(1)	1.15	7			
(タラップ部合計 278 kg)									
手摺部									
SGP	25 A	4258	2	2.43	10.3	21	SS41		
	15 A	1180	12	1.31	2.87	34			
	15 A	900	16	1.31	1.18	19			
	150 x 6	558	4	0.73	3				
	150 x 6	150	24	47.1(1)	1.06	25			
(手摺部合計 102 kg)									
梯子部									
SGP	32 A	6200	2	3.28	21.0	42	SS41		
	32 A	823	2	2.78	6				
R	22	400	17	2.98	1.19	20	SR24		
R	65 x 6	1797	5	47.1(1)	12.9	39	SS41		
	4200	3	1	0.43	19				
	213	10	1	0.652	7				
	60	10	1	0.153	2				
	143	2	1	0.43	1				
H	50 x 6	1250	6	2.30	18				
	778	6	1	1.84	11				
	250	6	1	1.10	4				
R	22	400	12	2.98	1.19	14	SR24		
R	65 x 6	260	12	11.1(1)	0.15	0	SS41		
(梯子部合計 173 kg)									
ハッチ部									
C	147 x 200 x 8 x 12	500	4	3.4	14.8	57	SS41		
L	100 x 100 x 10	670	4	1.07	1.98	40			
	671	4	1	7.48	40				
(ハッチ部合計 107 kg)									
B.N.W									
	142	30	64	1.23	1	SS41			
	116	40	13	1.12	1				
	M 20	50	8	1.27	7				
M 16 (NW 1)	100	30	1	1.50	17				
(部品重量合計 31 kg)									
合計重量									
P4 橋脚 総重量 715 x 4 連 115.4 kg									

[連合計重量 173 kg]

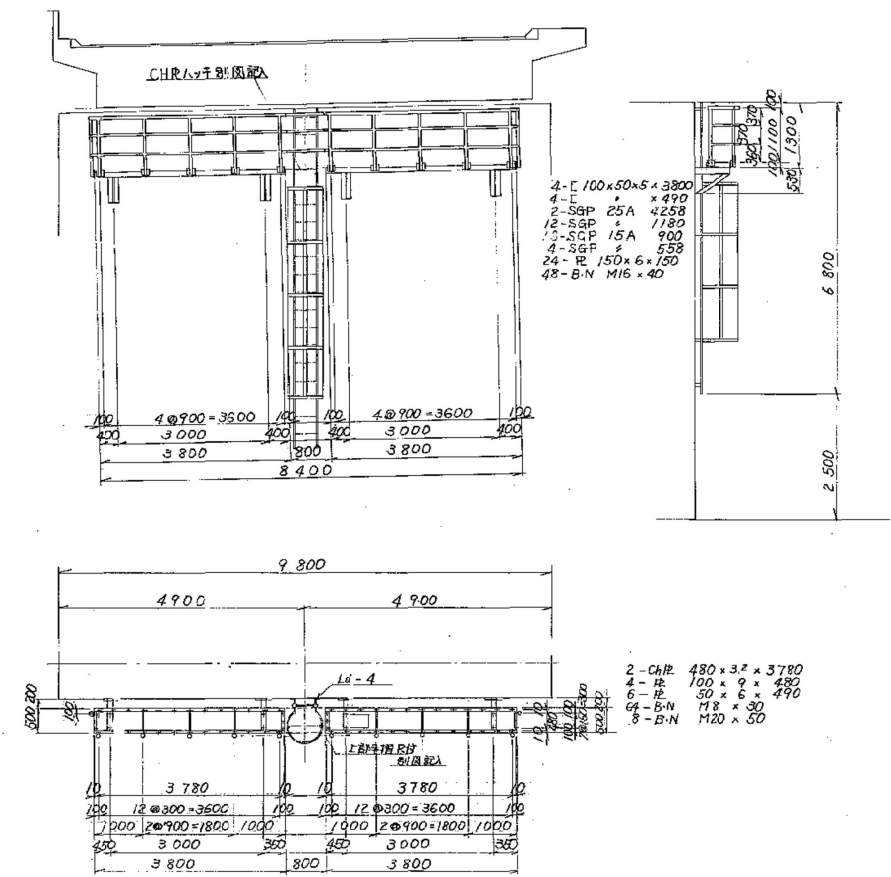
P4 橋脚 総重量 715 x 4 連 115.4 kg

P4 橋脚 総重量 115.4 kg

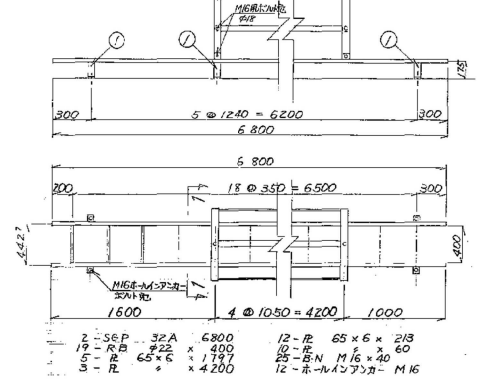
常磐自動車道 久慈川橋耐震補強工事	
図面の種類	大森高架橋 P4(A-ライン) 検査路撤去・設置工
縮尺	図示 図面番号 174/208
設計会社名	株式会社 長大
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所

大森高架橋 P9(終点側) (A-ライン) 検査路撤去・設置工
既設撤去図

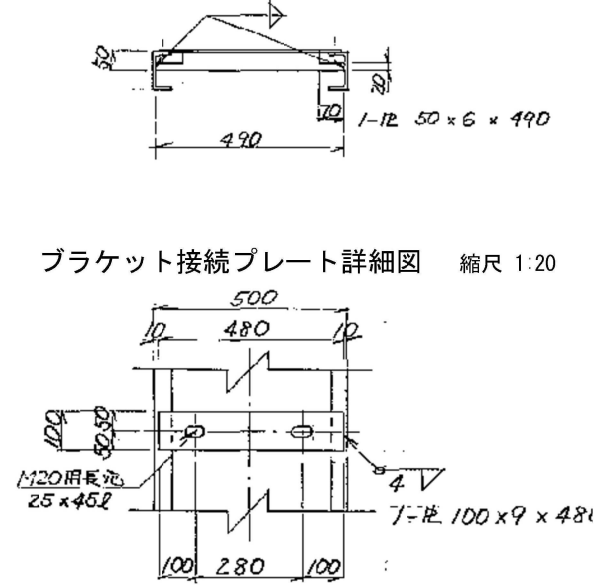
P9 橋脚(終点側) (A-ライン) 縮尺 1:150



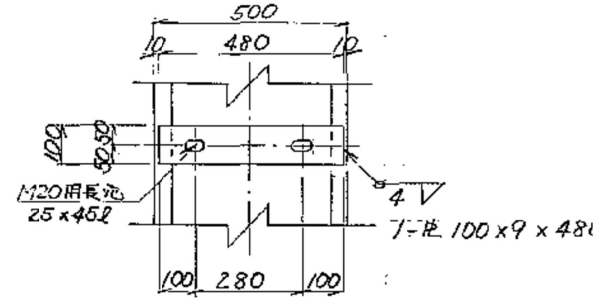
梯子 Ld-4 詳細図 縮尺 1:60



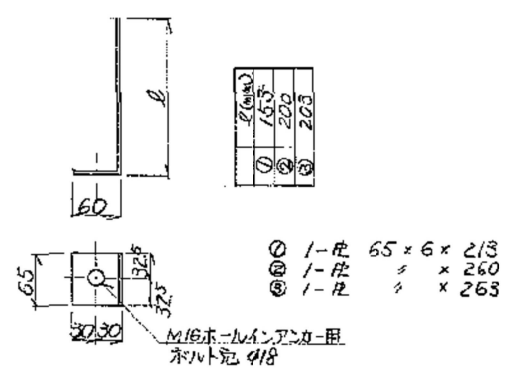
歩廊 中間部詳細図 縮尺 1:20



ブラケット接続プレート詳細図 縮尺 1:20



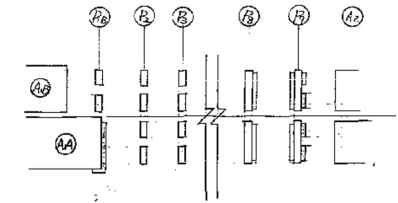
梯子取付金具①～③ 詳細図 縮尺 1:20



材料表

P9 (A2側) 橋脚									
種別	寸法	長さ	数量	重量(kg)	単位重量	重量	単位重量	重量	材質
歩廊部									
C	100x50x5	3800	4	9.36	35.6	142	SS41		
		490	4		4.59	18			
C&R	480x32	3780	2	26.8(%)	48.6	97			
R	100x9	480	4	70.7(%)	3.39	14			
	50x6	490	6	47.1(%)	1.15	7			
(歩廊部合計 278 kg)									
手摺部									
SGP	25A	4258	2	2.43	10.3	21	SS41		
		1180	12		2.87	34			
	15A	900	16	1.31	1.18	19			
		558	4		0.731	3			
R	150x6	150	24	47.1(%)	1.06	25			
(手摺部合計 102 kg)									
梯子部									
SGP	32A	6800	2	3.38	30.0	60	SS41		
R-B	Φ22	400	19	2.98	2.19	23	SR24		
R	65x6	1797	5	47.1(%)	6.50	28	SS41		
		4200	3		12.9	39			
		213	12		0.652	8			
		60	10		0.184	2			
(梯子部合計 160 kg)									
ブラケット部									
C-T	147x200x8x12	500	4	28.4	14.2	57	SS41		
L	100x100x10	670	4	14.9	9.98	40			
		671	4		9.98	40			
(ブラケット合計 137 kg)									
B&N-W									
	M8	30	64		0.023	1	SS41		
	M16	40	73		0.138	10			
	M20	50	8		0.257	2			
	M16	100	36		0.310	11			
(部品重量合計 24 kg)									
ハッチ部									
ChP	480x32	780	1	26.8(%)	9.90	10	SS41		
E	100x50x5	360	2	9.36	3.40	7			
L	40x40x5	600	2	2.95	1.80	4			
		380	2		1.12	2			
R-B	Φ13	320	2	1.04	0.33	1	SR24		
R-B	50x45	180	1	1.77	0.31	1	SS41		
SGP	25A	1049	1	2.43	2.55	3			
	15A	1049	2	1.31	1.37	3			
(ハッチ部合計 31 kg)									
1連合計重量 732 kg									
P9 (A2側) 橋脚 総重量 732 kg x 2連 = 1464 kg									
検査路 総重量 1464 kg									
検査路 総重量 2x732 kg									

配置図

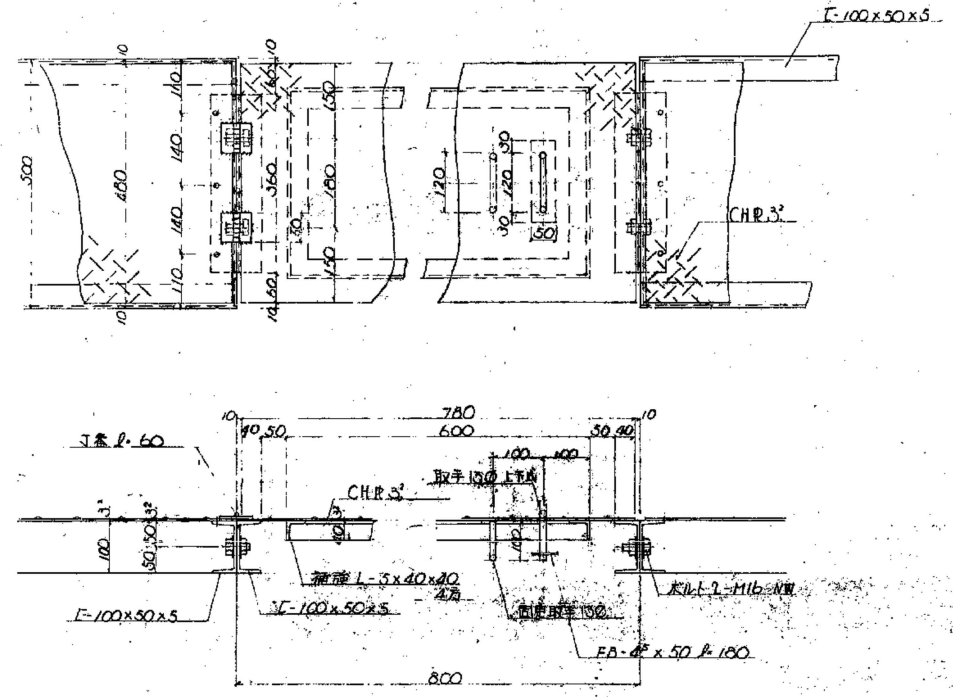
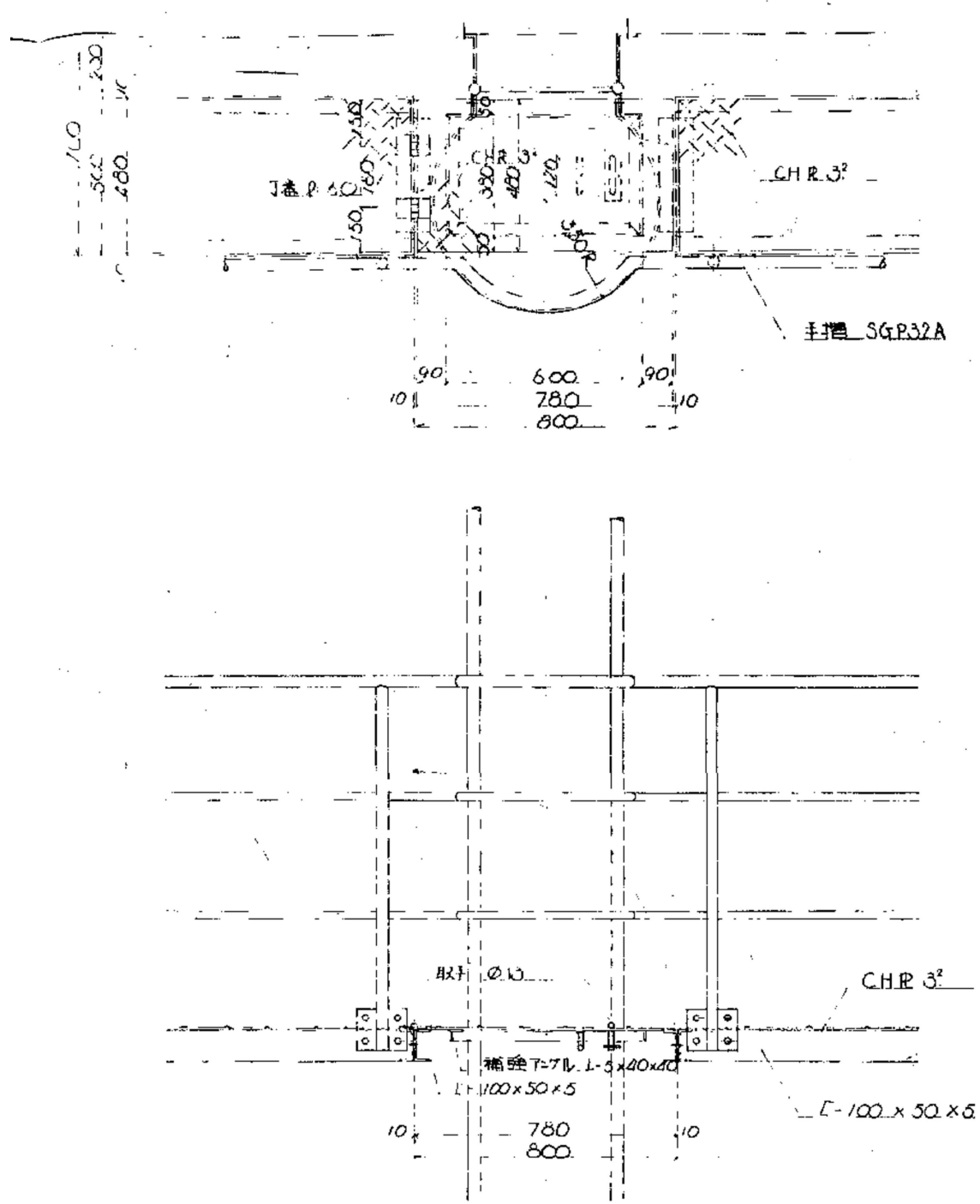


常設自動車道 久慈川橋耐震補強工事			
図面の種類	大森高架橋 P9(終点側) (A-ライン) 検査路撤去・設置工		
	縮尺	図示	図面番号 176/208
設計会社名	株式会社 長大		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
事務所名	水戸管理事務所		

大森高架橋 P9(タラップ) (A-ライン) 検査路撤去工
既設撤去図

177/208

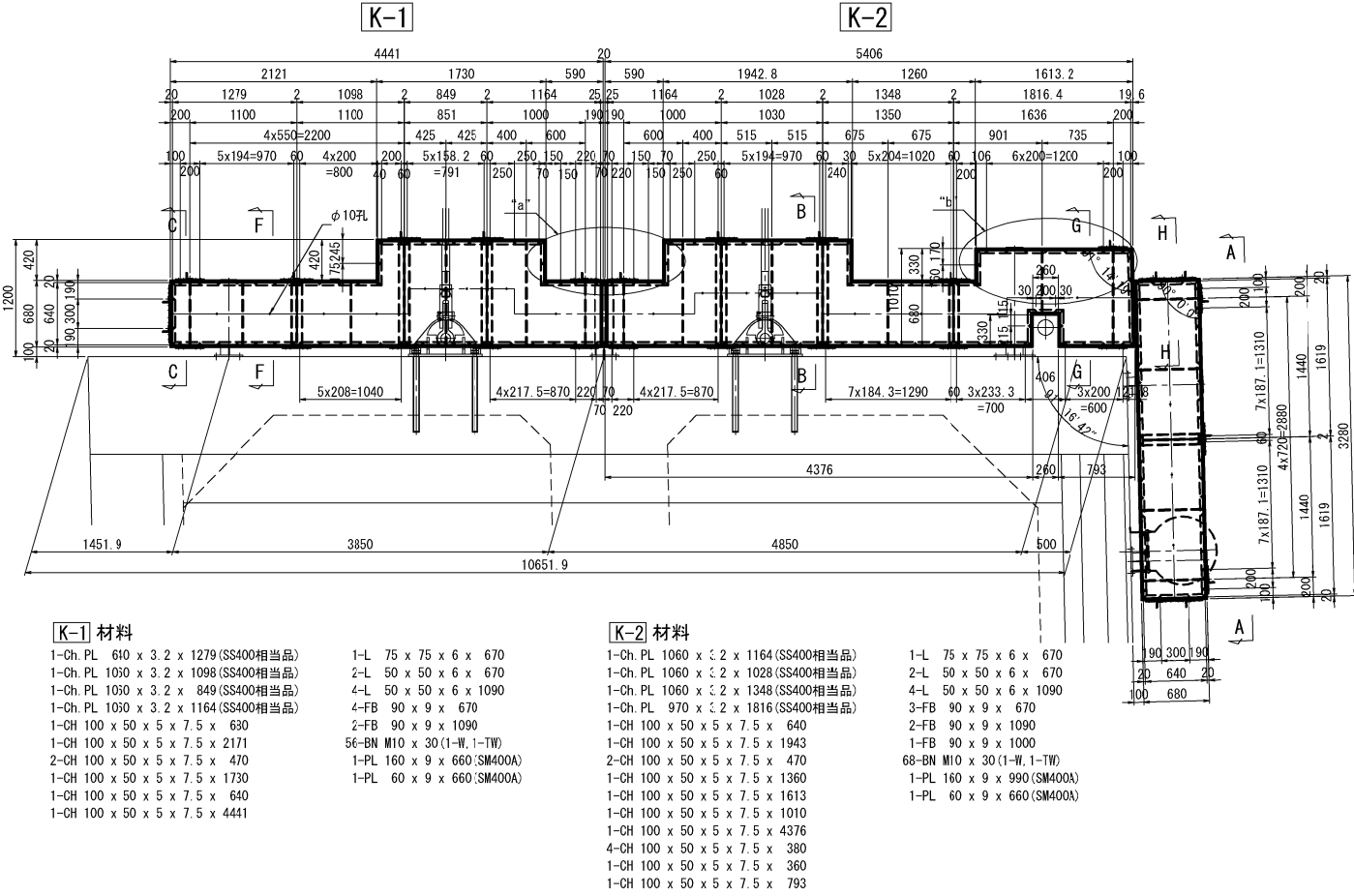
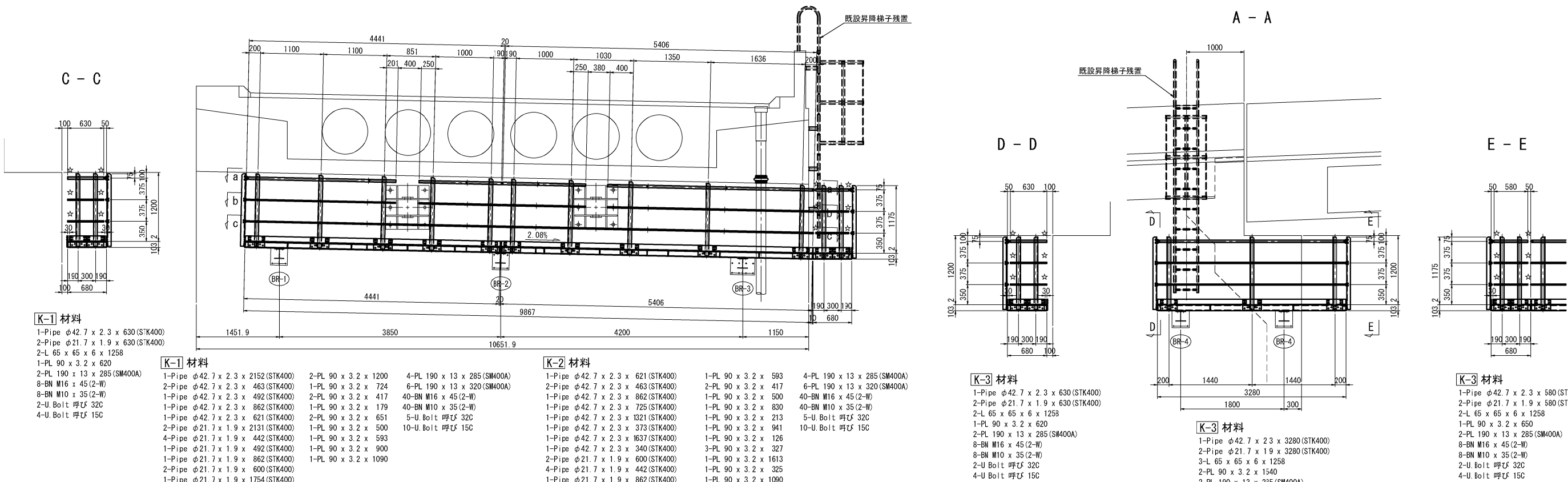
橋脚 タラップ上り口 ハンチ詳細図 縮尺 1:20, 1:15



- 1 - CHR 400 x 3² x 780
- 2 - L 100 x 50 x 5 x 360
- 2 - L 40 x 40 x 5 x 600
- 2 - L 40 x 40 x 5 x 300
- 2 - J 60 x 60
- 2 - B 130 x 320
- 1 - FB 50 x 4² x 180
- 1 - B-N M16 x 40
- 1 - BGP ZS A
- 2 - BGP 15 A

常磐自動車道 久慈川橋耐震補強工事			
図面の種類	大森高架橋 P9(タラップ) (A-ライン) 検査路撤去工		
	縮尺	図示	図面番号 177/208
設計会社名	株式会社 長大		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

新設図 下部工検査路



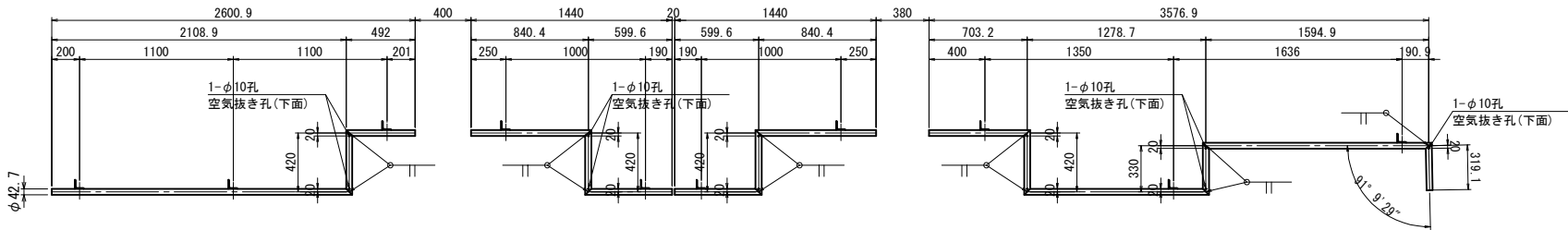
- 注 記
- 施工に当たっては、現地調査を行い再確認すること。
特に鋼板の製作は、再計測後実施すること。
 - 特記なき材質は、全てSS400とする。
 - Uボルト付き(C形)以外のナットは、全て弛み止めナットを使用すること。
 - 部材は、全て溶融亜鉛めっきとする。
亜鉛の付着量は、JIS H8641 HDZT77とする。
但し、ボルト・ナット及び厚さ3.2mm以下の部材は、HDZT49とする。
 - ★印箇所の手摺は、抜け落ち防止加工を施す。

常磐自動車道 久慈川橋耐震補強工事			
図面の種類	大森高架橋 A1(A-ライン) 検査路新設工(その1)		
縮 尺	図示	図面番号	178/208
設計会社名	株式会社 長 大		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

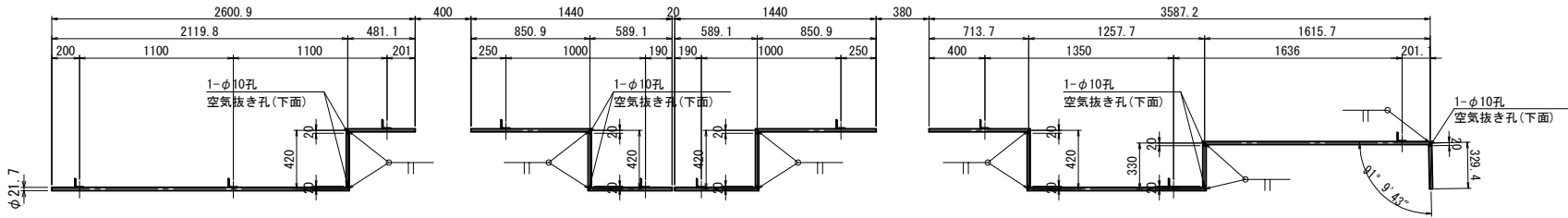
新設図

拡幅部手摺曲げ詳細

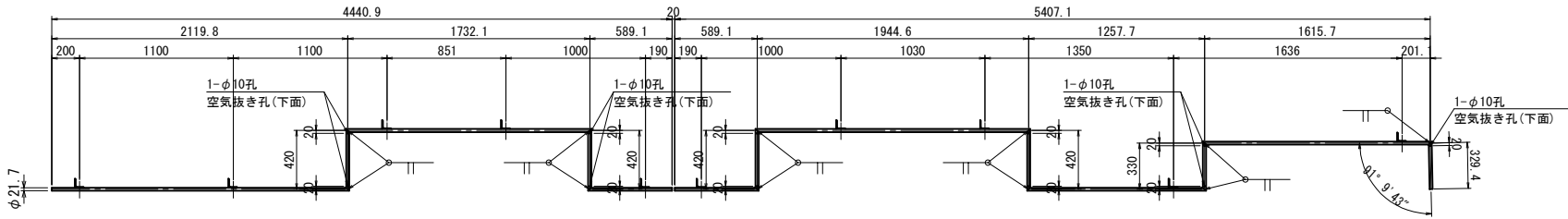
a - a



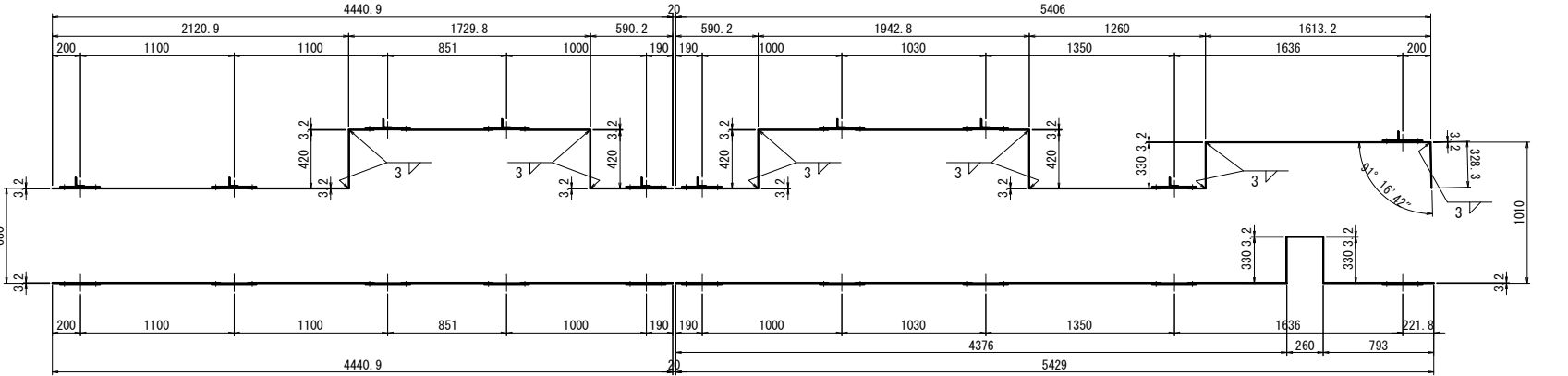
b - b



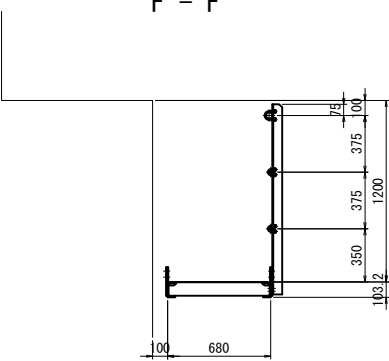
c - c



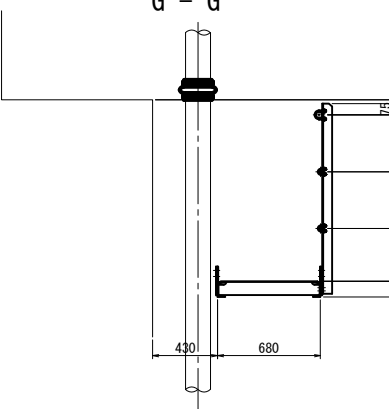
拡幅部爪先板曲げ詳細



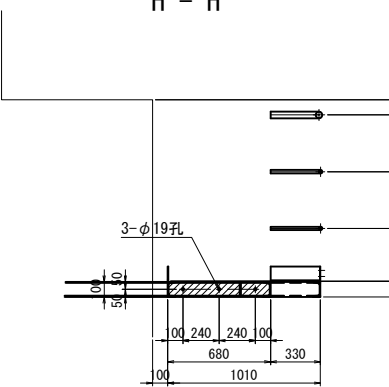
F - F



G - G

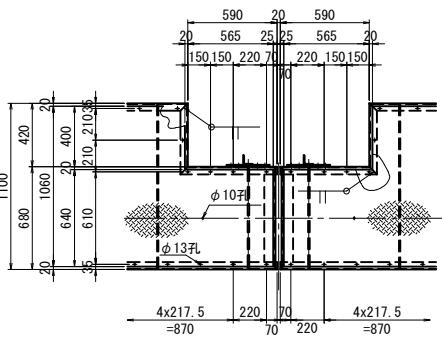


H - H

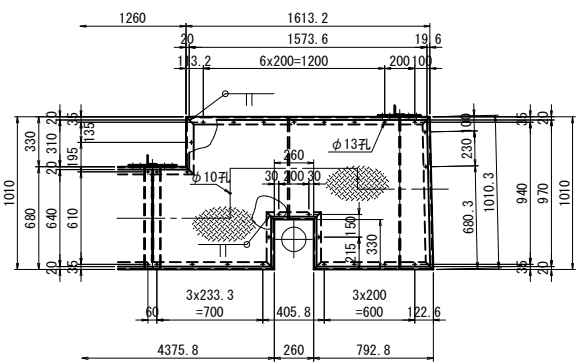


1-PL 100 x 10 x 680
3-BN M16 x 50(2-M)

“a” 部詳細図



“b” 部詳細図

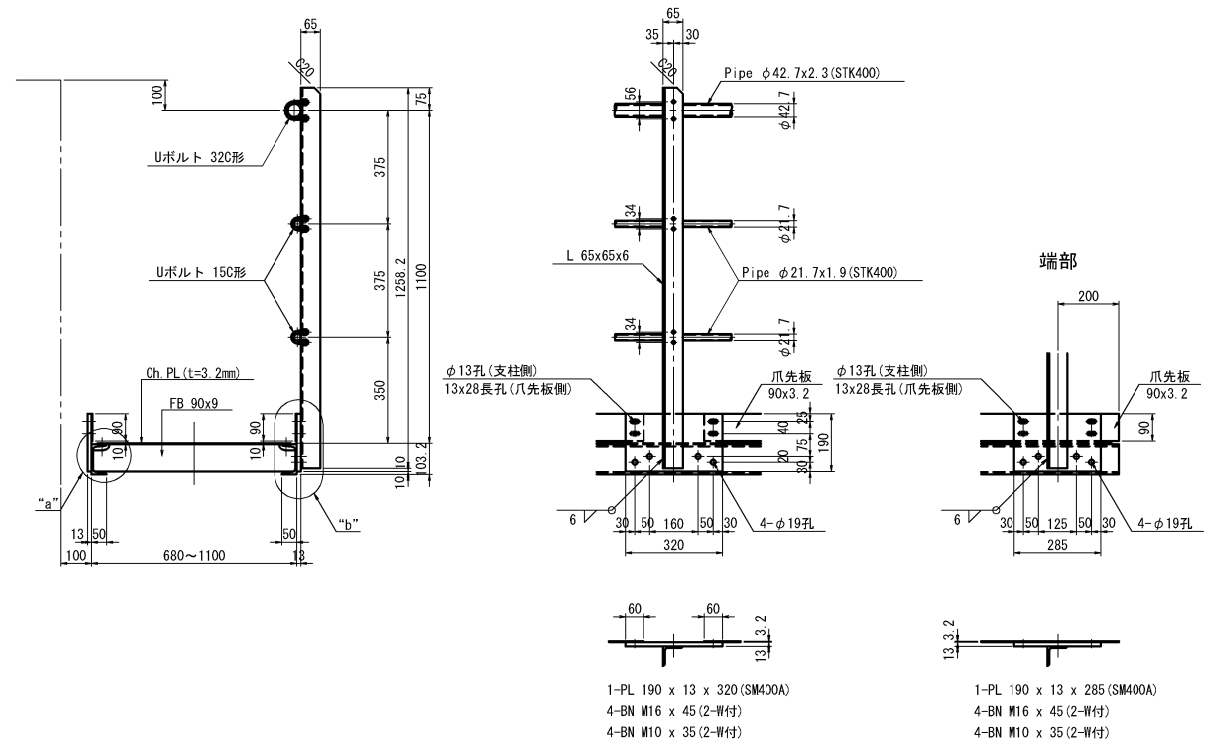


注 記

1. 施工に当っては、現地調査を行い再確認すること。
特に鋼板の製作は、再計測後実施すること。
2. 特記なき材質は、全てSS400とする。
3. Uボルト付き (C形) 以外のナットは、全て弛み止め
ナットを使用すること。
4. 部材は、全て溶融亜鉛めっきとする。
亜鉛の付着量は、JIS H8641 HDZT77とする。
但し、ボルト・ナット及び厚さ3.2mm以下の部材は、
HDZT49とする。

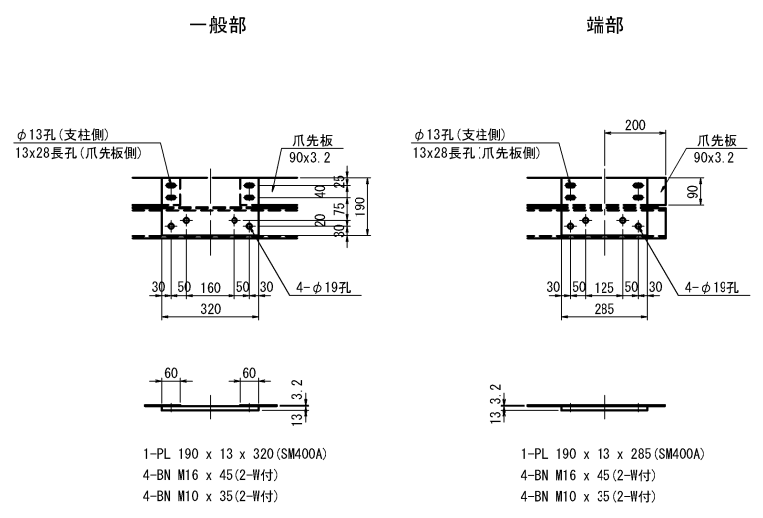
常磐自動車道 久慈川橋耐震補強工事			
図面の種類	大森高架橋 A1 (A-ライン) 検査路新設工 (その 2)		
縮 尺	図示	図面番号	179 / 208
設計会社名	株式会社 長 大		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
事務所名	水戸管理事務所		

歩廊断面及び構造詳細図
爪先板有り

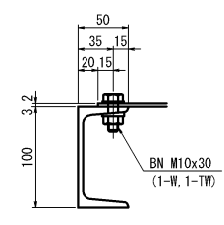


新設図

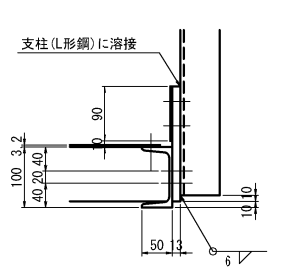
橋脚側爪先板詳細



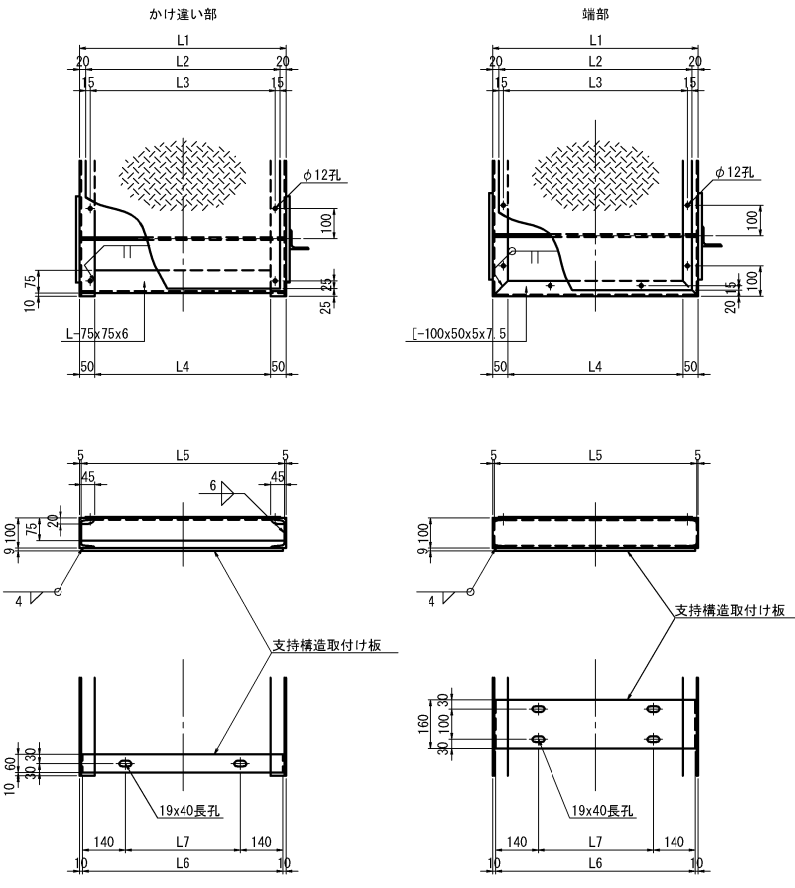
“a” 部詳細図 S=1:7.5



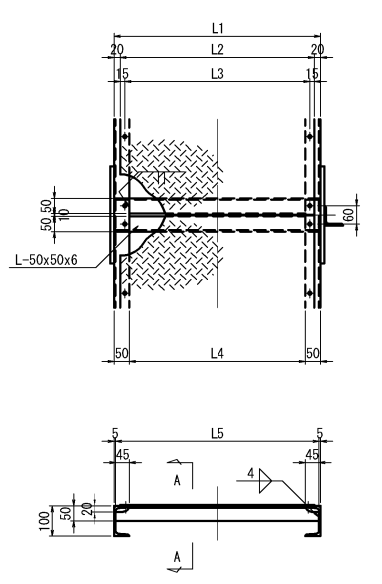
“b” 部詳細図 S=1:12.5



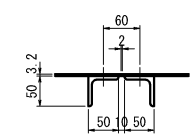
歩廊端部詳細図



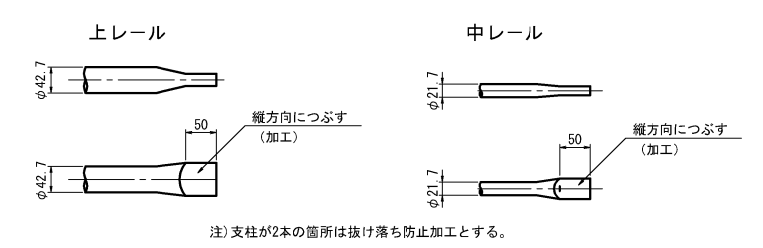
歩廊分割部詳細図



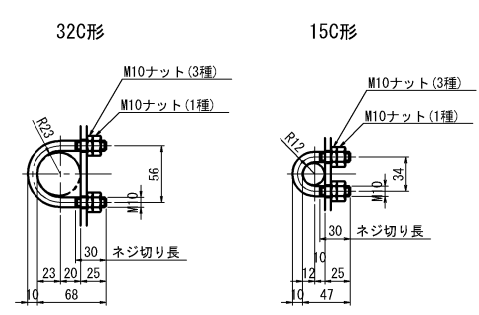
A - A S=1:12.5



手摺抜け落ち防止加工 S=1:12.5



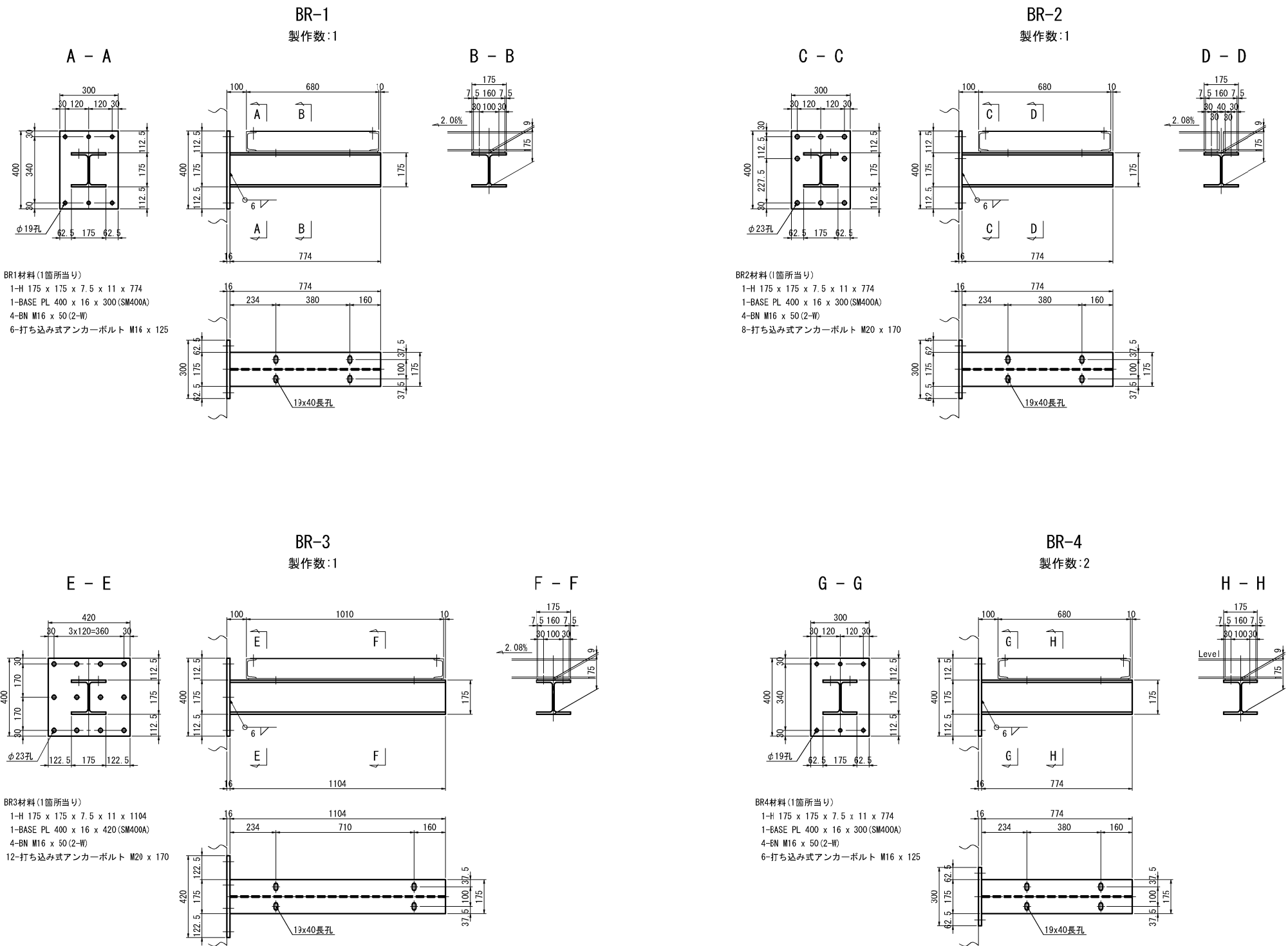
Uボルト詳細図 S=1:7.5



注 記
1. 特記なき材質は、全てSS400とする。
2. Uボルト付き以外のナットは、全て弛み止めナットを使用すること。
3. 部材は、全て溶融亜鉛めっきとする。
亜鉛の付着量は、JIS H8641 HDZT77とする。
但し、ボルト・ナット及び厚さ3.2mm以下の部材は、HDZT49とする。

常磐自動車道 久慈川橋耐震補強工事			
図面の種類	大森高架橋 A1(A-ライン) 検査路新設工(その3)		
縮 尺	図示	図面番号	180/208
設計会社名	株式会社 長 大		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

新設図 ブラケット詳細図

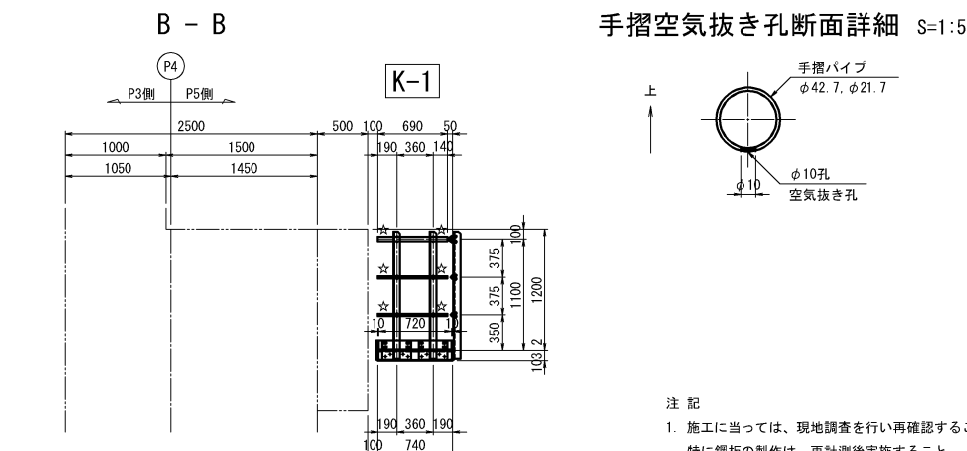
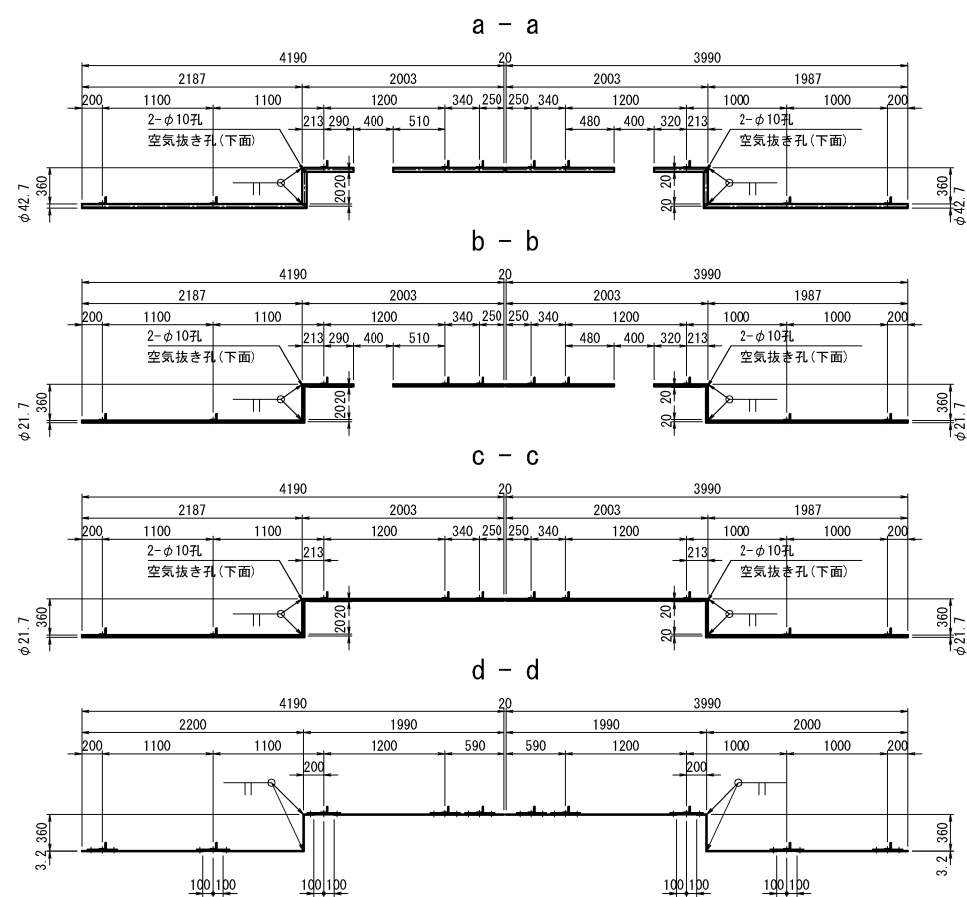
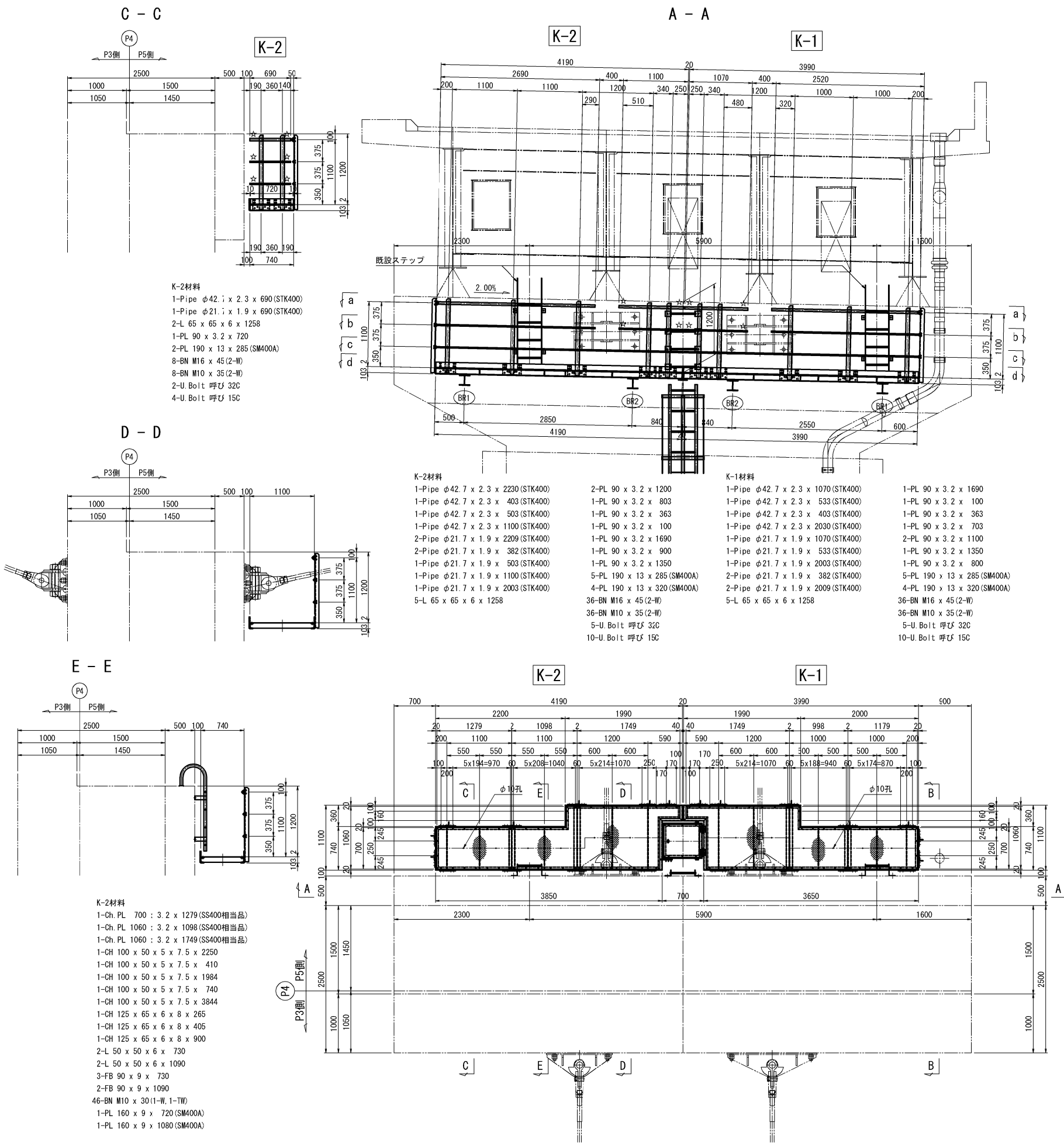


注 記

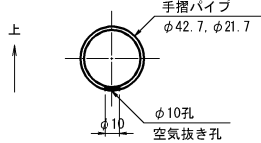
- 特記なき材質は、全てSS400とする。
- ナットは、全て弛み止めナットを使用すること。
- 部材は、全て溶融亜鉛めっきとする。
亜鉛の付着量は、JIS H8641 HDZT77とする。
但し、ボルト・ナット及び厚さ3.2mm以下の部材は、
HDZT49とする。

常磐自動車道 久慈川橋耐震補強工事			
図面の種類	大森高架橋 A1(A-ライン) 検査路新設工(その4)		
縮 尺	図示	図面番号	181/208
設計会社名	株式会社 長 大		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

新設図 下部工検査路



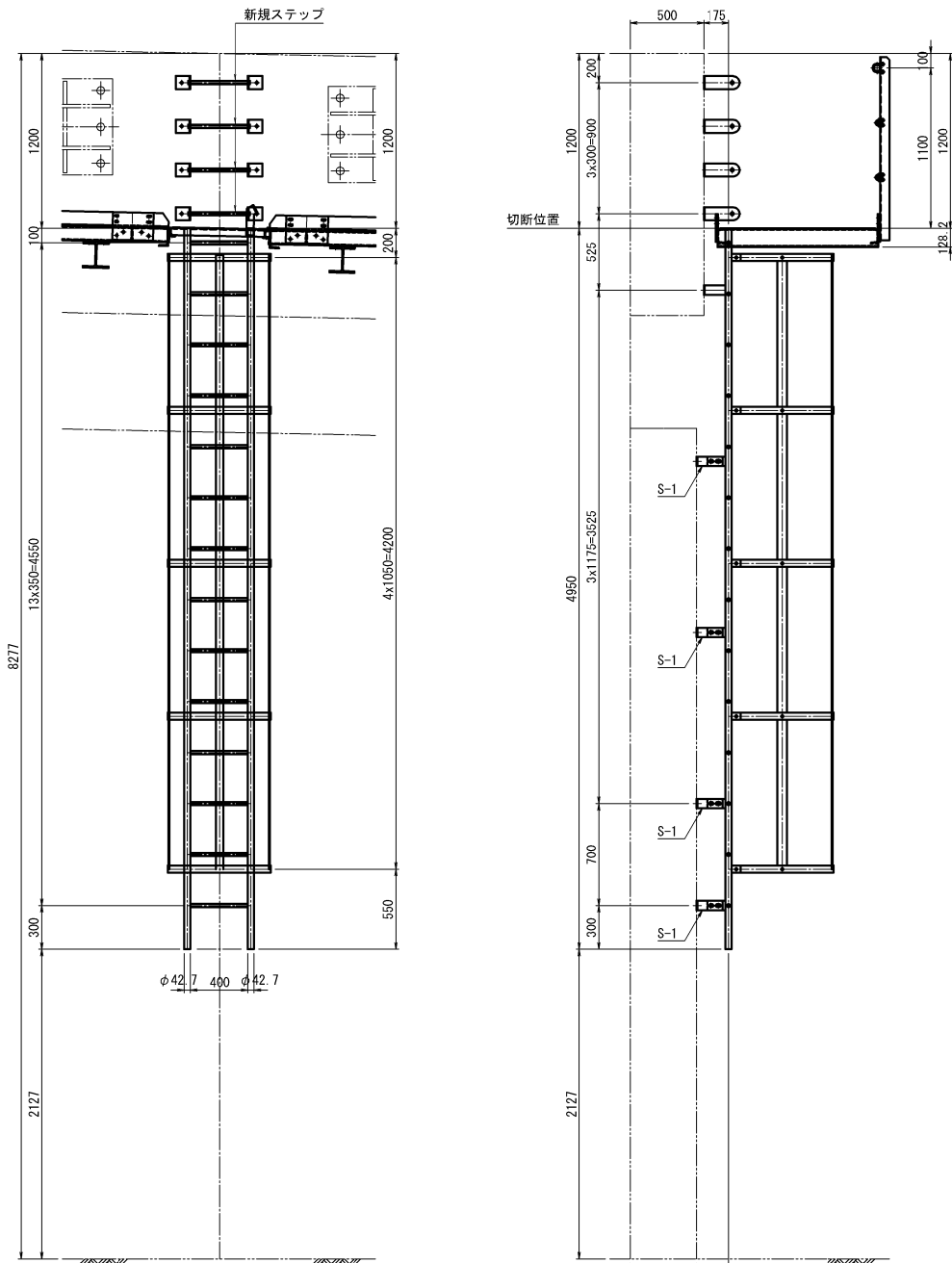
手摺空気抜き孔断面詳細 S=1:5



- 注記
- 施工に当たっては、現地調査を行い再確認すること。
特に鋼板の製作は、再計測後実施すること。
 - 特記なき材質は、全てSS400とする。
 - Uボルト付き(C形)以外のナットは、全て弛み止めナットを使用すること。
 - 部材は、全て溶融亜鉛めっきとする。
亜鉛の付着量は、JIS H8641 H0ZT77とする。
但し、ボルト・ナット及び厚さ3.2mm以下の部材は、H0ZT49とする。
 - ボルト孔は、めっき付着量を考慮し、ボルト径+3mmを標準とする。
 - 床材に編鋼板を使用する場合は、直径10mmの排水孔を間隔1m(0.7m)程度に1箇所程度設けること。
 - ☆印箇所の手摺は、抜け落ち防止加工を施す。

常磐自動車道 久慈川橋耐震補強工事			
図面の種類	大森高架橋 P4(A-ライン) 検査路新設工(その1)		
縮尺	図示	図面番号	182/208
設計会社名	株式会社 長大		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

新設図 昇降梯子詳細

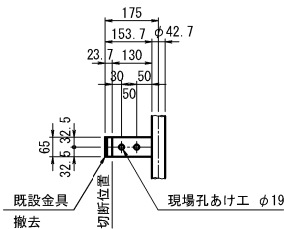


撤去・設置工(1組)
2-Pipe 32A x 4950(SGP)・・・切断加工
14-RB φ22 x 400
5-PL 65 x 6 x 1797
3-PL 65 x 6 x 4200
8-PL 65 x 6 x 131・・・切断、孔あけ加工
2-PL 65 x 6 x 213
10-PL 65 x 6 x 60
25-BN M16 x 40

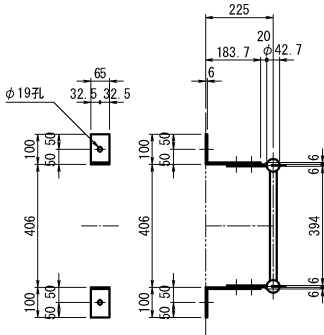
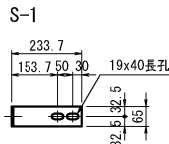
新設工
2-打ち込み式アンカーボルト M16 x 125

金具新設部詳細図 S=1:25

1) 既設金具を切断、孔あけ

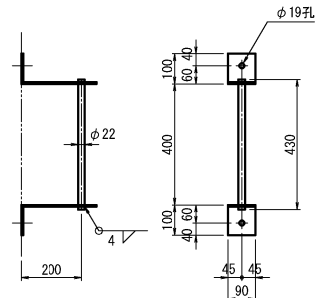


2) 新規金具設置



1箇所当り部材(設置数:4箇所)
2-FB 65 x 6 x 284
4-BN M16 x 40(2-冊付)
2-打ち込み式アンカーボルト M16 x 125

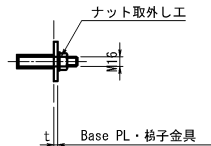
新規ステップ詳細図 S=1:25



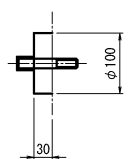
1箇所当り部材(設置数:4箇所)
1-RB φ22 x 430
2-PL 90 x 6 x 350
2-打ち込み式アンカーボルト M16 x 125

コンクリートアンカー撤去工

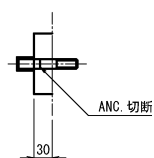
1) ナットを取外し、受け台などを撤去。



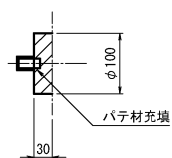
2) φ100 x 30程度削孔。



3) アンカーを切断。

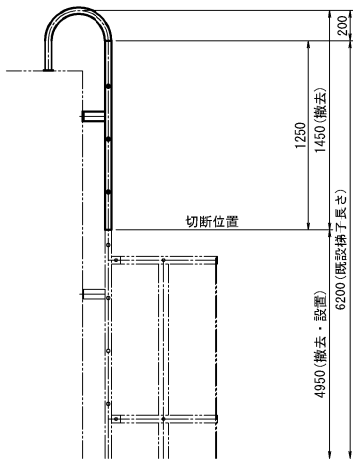


4) 削孔部をバテ材にて埋戻し。



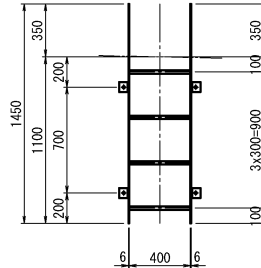
撤去本数			
	基数	ANC. 本数	計
受け台	4	6	24
梯子	14	1	14
ステップ	18	1	18
計			56

昇降梯子撤去範囲



撤去工(1組)
2-Pipe 32A x 823(SGP)
2-PL 65 x 6 x 143
2-Pipe 32A x 1250(SGP)
2-PL 65 x 6 x 213
8-PL 65 x 6 x 83
3-RB φ22 x 400(SR24)
14-打ち込み式アンカーボルト M16 x 100

ステップ詳細



撤去・設置工(2組)
2-FB 50 x 6 x 1250
2-FB 50 x 6 x 778
4-RB φ22 x 400(SR24)
4-PL 65 x 6 x 260
2-PL 50 x 6 x 250
2-BN M16 x 40

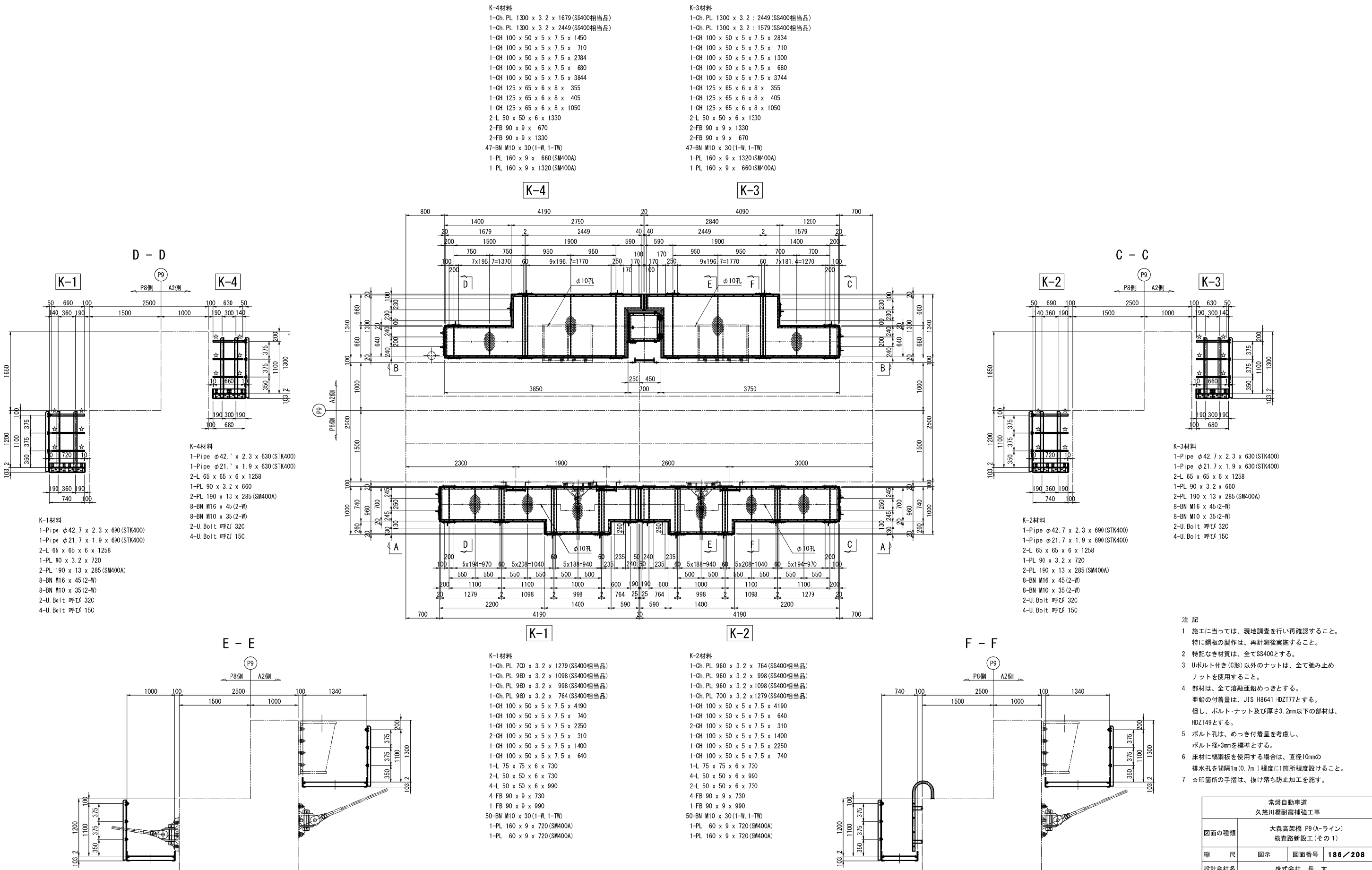
撤去工(3組)
6-打ち込み式アンカーボルト M16 x 100

新設工
6-打ち込み式アンカーボルト M16 x 125

- 注 記
- 1) 施工に当たっては、現地調査を行い再確認すること。
特に鋼板の製作は、再計測後実施すること。
 - 2) 特記なき材質は、全てSS400とする。
 - 3) Uボルト付き(G形)以外のナットは、全て弛み止めナットを使用すること。
 - 4) 部材は、全て溶融亜鉛めっきとする。
亜鉛の付着量は、JIS H8641 HDZ777とする。
但し、ボルト・ナット及び厚さ3.2mm以下の部材は、HDZ749とする。
 - 5) ボルト孔は、めっき付着量を考慮し、ボルト径+3mmを標準とする。

常磐自動車道 久慈川橋耐震補強工事			
図面の種類	大森高架橋 P4(A-ライン) 検査路新設工(その2)		
縮 尺	図示	図面番号	183/208
設計会社名	株式会社 長 大		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

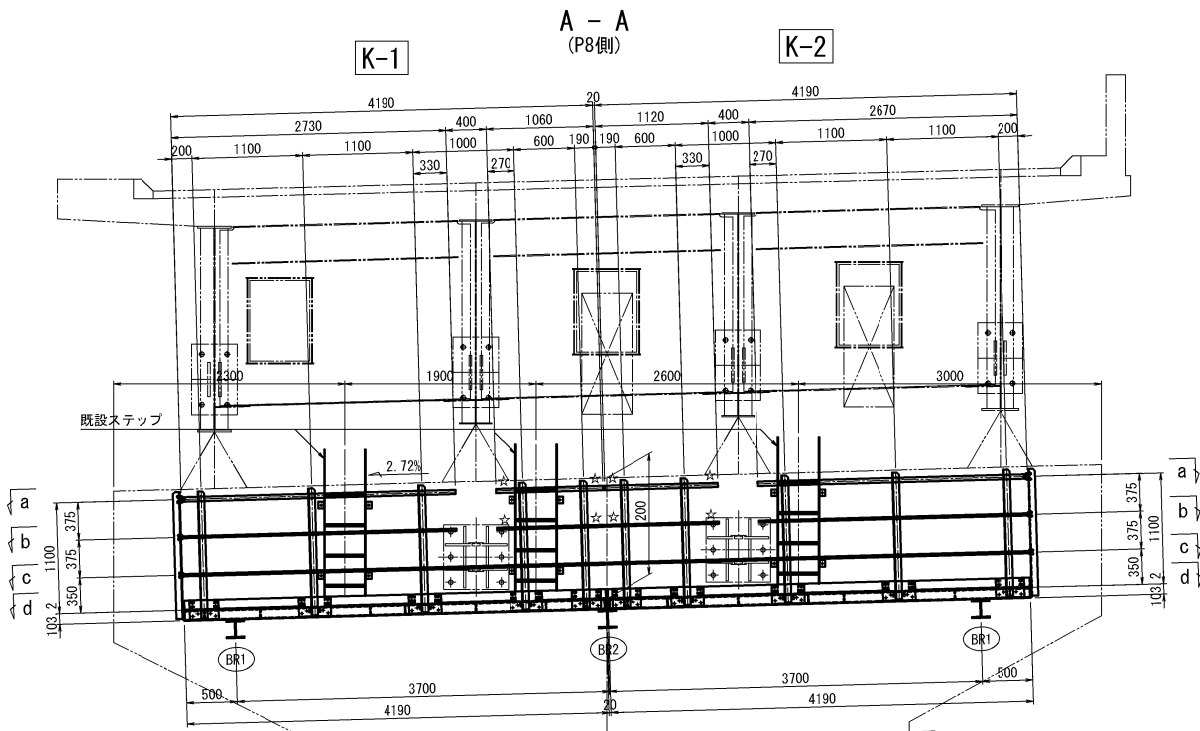
新設図 下部工検査路(1)



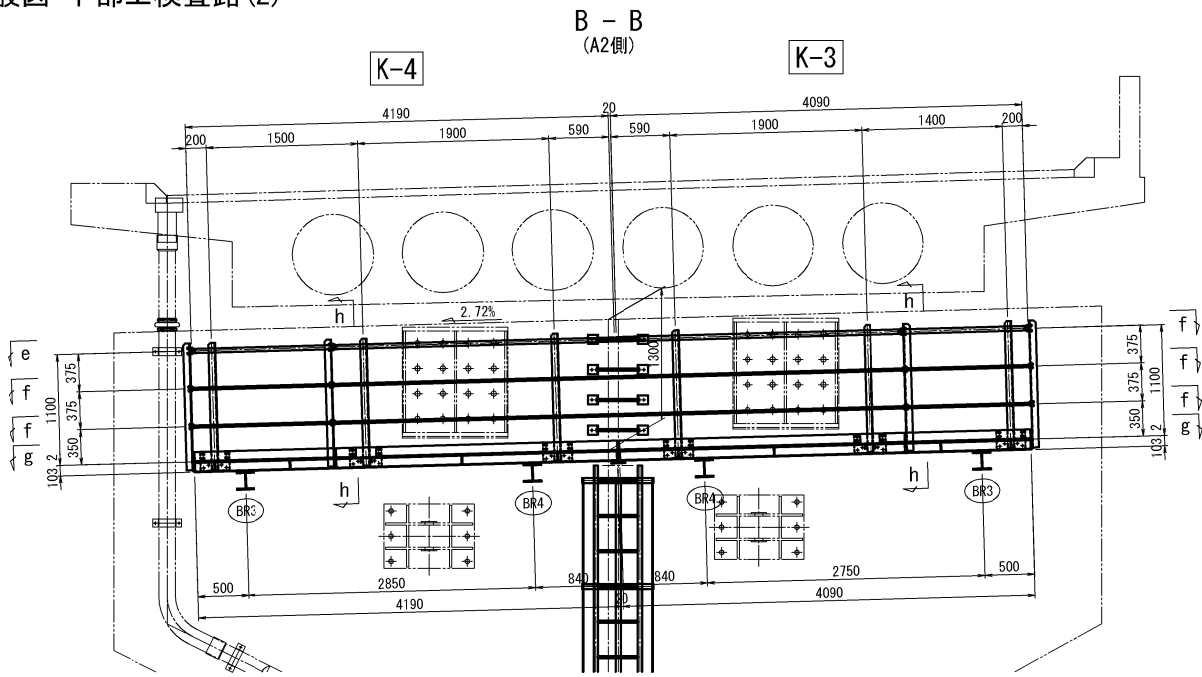
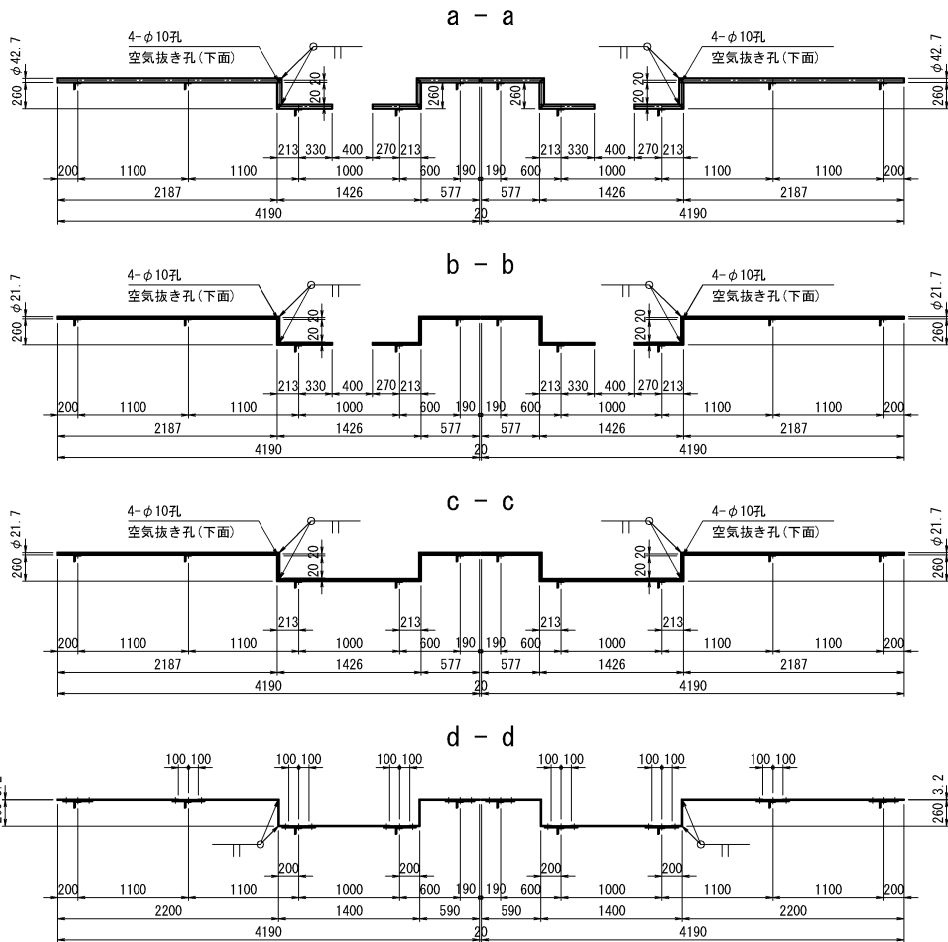
- 注 記
1. 施工に当たっては、現地調査を行い再確認すること。
特に鋼板の製作は、再計測後実施すること。
 2. 特記なき材質は、全てSS400とする。
 3. Uボルト付き(C形)以外のナットは、全て弛み止めナットを使用すること。
 4. 部材は、全て溶融亜鉛めっきとする。
亜鉛の付着量は、JIS H8641 H0Z777とする。
但し、ボルト・ナット及び厚さ3.2mm以下の部材は、H0Z749とする。
 5. ボルト孔は、めっき付着量を考慮し、ボルト径+3mmを標準とする。
 6. 床材に編鋼板を使用する場合は、直径10mmの排水孔を間隔1m(0.7m)程度に1箇所程度設けること。
 7. ☆印箇所の手摺は、抜け落ち防止加工を施す。

常磐自動車道 久慈川橋耐震補強工事			
図面の種類	大森高架橋 P9(A-ライン) 検査路新設工(その1)		
縮 尺	図示	図面番号	186/208
設計会社名	株式会社 長 大		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

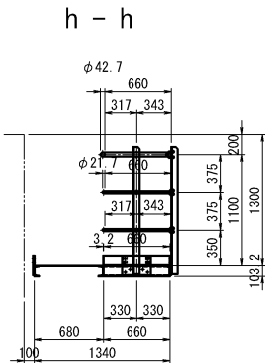
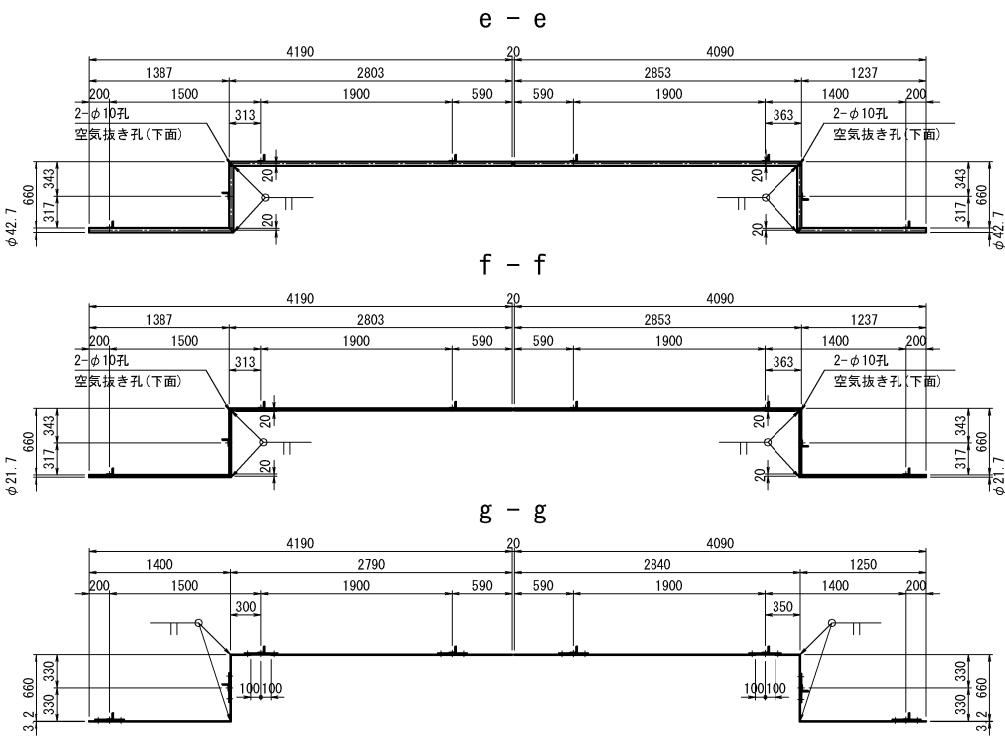
新設図 下部工検査路(2)



K-1材料					K-2材料				
1-Pipe φ42.7 x 2.3 x 2230 (STK400)	2-PL 90 x 3.2 x 1200	4-PL 190 x 13 x 285 (SM400A)	1-Pipe φ42.7 x 2.3 x 620 (STK400)	1-PL 90 x 3.2 x 593	4-PL 190 x 13 x 285 (SM400A)	2-Pipe φ42.7 x 2.3 x 303 (STK400)	2-PL 90 x 3.2 x 263	6-PL 190 x 13 x 320 (SM400A)	2-Pipe φ42.7 x 2.3 x 303 (STK400)
2-Pipe φ42.7 x 2.3 x 303 (STK400)	1-PL 90 x 3.2 x 803	6-PL 190 x 13 x 320 (SM400A)	2-Pipe φ42.7 x 2.3 x 303 (STK400)	2-PL 90 x 3.2 x 100	4-PL 190 x 13 x 320 (SM400A)	1-Pipe φ42.7 x 2.3 x 543 (STK400)	1-PL 90 x 3.2 x 800	4-PL 190 x 13 x 320 (SM400A)	1-Pipe φ42.7 x 2.3 x 543 (STK400)
1-Pipe φ42.7 x 2.3 x 543 (STK400)	2-PL 90 x 3.2 x 263	4-PL 190 x 13 x 320 (SM400A)	1-Pipe φ42.7 x 2.3 x 483 (STK400)	1-PL 90 x 3.2 x 800	4-PL 190 x 13 x 320 (SM400A)	2-Pipe φ42.7 x 2.3 x 2230 (STK400)	2-PL 90 x 3.2 x 1200	4-PL 190 x 13 x 320 (SM400A)	2-Pipe φ42.7 x 2.3 x 2230 (STK400)
1-Pipe φ42.7 x 2.3 x 620 (STK400)	1-PL 90 x 3.2 x 100	4-PL 190 x 13 x 320 (SM400A)	1-Pipe φ42.7 x 2.3 x 620 (STK400)	1-PL 90 x 3.2 x 803	4-PL 190 x 13 x 320 (SM400A)	2-Pipe φ21.7 x 1.9 x 599 (STK400)	1-PL 90 x 3.2 x 690	4-PL 190 x 13 x 320 (SM400A)	2-Pipe φ21.7 x 1.9 x 599 (STK400)
2-Pipe φ21.7 x 1.9 x 2209 (STK400)	1-PL 90 x 3.2 x 593	4-PL 190 x 13 x 320 (SM400A)	2-Pipe φ21.7 x 1.9 x 282 (STK400)	2-PL 90 x 3.2 x 800	4-PL 190 x 13 x 320 (SM400A)	1-Pipe φ21.7 x 1.9 x 543 (STK400)	1-PL 90 x 3.2 x 800	4-PL 190 x 13 x 320 (SM400A)	1-Pipe φ21.7 x 1.9 x 543 (STK400)
4-Pipe φ21.7 x 1.9 x 282 (STK400)	1-PL 90 x 3.2 x 900	4-PL 190 x 13 x 320 (SM400A)	1-Pipe φ21.7 x 1.9 x 483 (STK400)	1-PL 90 x 3.2 x 800	4-PL 190 x 13 x 320 (SM400A)	2-Pipe φ21.7 x 1.9 x 2209 (STK400)	1-PL 90 x 3.2 x 690	4-PL 190 x 13 x 320 (SM400A)	2-Pipe φ21.7 x 1.9 x 2209 (STK400)
1-Pipe φ21.7 x 1.9 x 543 (STK400)	1-PL 90 x 3.2 x 800	4-PL 190 x 13 x 320 (SM400A)	1-Pipe φ21.7 x 1.9 x 483 (STK400)	1-PL 90 x 3.2 x 800	4-PL 190 x 13 x 320 (SM400A)	5-L 65 x 65 x 6 x 1258		4-PL 190 x 13 x 320 (SM400A)	5-L 65 x 65 x 6 x 1258
1-Pipe φ21.7 x 1.9 x 1426 (STK400)	1-PL 90 x 3.2 x 690	4-PL 190 x 13 x 320 (SM400A)	2-Pipe φ21.7 x 1.9 x 599 (STK400)	2-PL 90 x 3.2 x 800	4-PL 190 x 13 x 320 (SM400A)			4-PL 190 x 13 x 320 (SM400A)	
2-Pipe φ21.7 x 1.9 x 599 (STK400)		4-PL 190 x 13 x 320 (SM400A)			4-PL 190 x 13 x 320 (SM400A)			4-PL 190 x 13 x 320 (SM400A)	
5-L 65 x 65 x 6 x 1258		4-PL 190 x 13 x 320 (SM400A)			4-PL 190 x 13 x 320 (SM400A)			4-PL 190 x 13 x 320 (SM400A)	

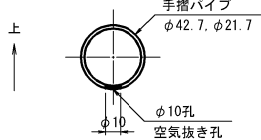


K-4材料					K-3材料				
1-Pipe φ42.7 x 2.3 x 1430 (STK400)	1-PL 90 x 3.2 x 1403	1-Pipe φ42.7 x 2.3 x 2853 (STK400)	1-PL 90 x 3.2 x 2390	1-Pipe φ42.7 x 2.3 x 703 (STK400)	1-Pipe φ42.7 x 2.3 x 703 (STK400)	1-PL 90 x 3.2 x 250	1-PL 90 x 3.2 x 250	1-PL 90 x 3.2 x 250	1-PL 90 x 3.2 x 250
2-Pipe φ42.7 x 2.3 x 703 (STK400)	1-PL 90 x 3.2 x 663	1-Pipe φ42.7 x 2.3 x 1280 (STK400)	1-PL 90 x 3.2 x 663	1-Pipe φ42.7 x 2.3 x 2803 (STK400)	1-Pipe φ42.7 x 2.3 x 2803 (STK400)	1-PL 90 x 3.2 x 663	1-PL 90 x 3.2 x 663	1-PL 90 x 3.2 x 663	1-PL 90 x 3.2 x 663
1-Pipe φ42.7 x 2.3 x 2803 (STK400)	1-PL 90 x 3.2 x 200	2-Pipe φ21.7 x 1.9 x 1409 (STK400)	1-PL 90 x 3.2 x 1253	2-Pipe φ21.7 x 1.9 x 682 (STK400)	2-Pipe φ21.7 x 1.9 x 682 (STK400)	1-PL 90 x 3.2 x 2050	1-PL 90 x 3.2 x 2050	1-PL 90 x 3.2 x 2050	1-PL 90 x 3.2 x 2050
2-Pipe φ21.7 x 1.9 x 1409 (STK400)	1-PL 90 x 3.2 x 2390	1-PL 90 x 3.2 x 1600	1-PL 90 x 3.2 x 1500	2-Pipe φ21.7 x 1.9 x 2803 (STK400)	2-Pipe φ21.7 x 1.9 x 2803 (STK400)	5-PL 190 x 13 x 285 (SM400A)	5-PL 190 x 13 x 285 (SM400A)	5-PL 190 x 13 x 285 (SM400A)	5-PL 190 x 13 x 285 (SM400A)
2-Pipe φ21.7 x 1.9 x 682 (STK400)	1-PL 90 x 3.2 x 1600	2-PL 190 x 13 x 320 (SM400A)	2-PL 190 x 13 x 320 (SM400A)	4-L 65 x 65 x 6 x 1258	4-L 65 x 65 x 6 x 1258	28-BN M16 x 45 (2-W)	28-BN M16 x 45 (2-W)	28-BN M16 x 45 (2-W)	28-BN M16 x 45 (2-W)
2-Pipe φ21.7 x 1.9 x 2803 (STK400)	1-PL 90 x 3.2 x 2050	28-BN M10 x 35 (2-W)	28-BN M10 x 35 (2-W)	4-U Bolt 呼び 32C	4-U Bolt 呼び 32C	8-U Bolt 呼び 15C	8-U Bolt 呼び 15C	8-U Bolt 呼び 15C	8-U Bolt 呼び 15C
4-L 65 x 65 x 6 x 1258	5-PL 190 x 13 x 285 (SM400A)	8-U Bolt 呼び 15C	8-U Bolt 呼び 15C						

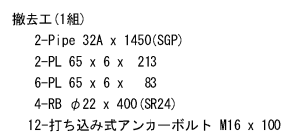
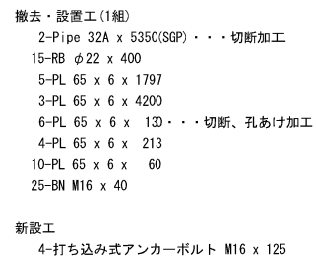


- 注 記
1. 施工に当たっては、現地調査を行い再確認すること。
特に鋼板の製作は、再計測後実施すること。
 2. 特記なき材質は、全てSS400とする。
 3. Uボルト付き(C形)以外のナットは、全て弛み止めナットを使用すること。
 4. 部材は、全て溶融亜鉛めっきとする。
亜鉛の付着量は、JIS H8641 H02T77とする。
但し、ボルト・ナット及び厚さ3.2mm以下の部材は、H02T49とする。
 5. ボルト孔は、めっき付着量を考慮し、ボルト径+3mmを標準とする。
 6. 床材に編組板を使用する場合は、直径10mmの排水孔を間隔1m(0.7m)程度に1箇所程度設けること。
 7. ☆印箇所の手摺は、抜け落ち防止加工を施す。

手摺空気抜き孔断面詳細 S=1:5



常磐自動車道 久慈川橋耐震補強工事			
図面の種類	大森高架橋 P9 (A-ライン) 検査路新設工 (その2)		
縮 尺	図示	図面番号	187/208
設計会社名	株式会社 長 大		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
事務所名	水戸管理事務所		



1) 既設金具を切断、孔あけ

既設金具
切断位置
現場孔あけ工 $\phi 19$


S-1

383.7
303.7 50 30 19x40長孔
32.5
2.5 65

2-FB 65 x 6 x 484
4-BN M16 x 40 (2-W付)
2-打ち込み式アンカーボルト M16 x 125

1-RB $\phi 22 \times 430$
2-PL $90 \times 6 \times 200$
2-打ち込み式アンカーボルト M16 $\times 125$

1) ナットを外し、受け台などを撤去。



ナット取外し工

Base PL・椅子金具

t

M16

Figure 1 shows a cross-section of a reinforced concrete wall. The wall has a total thickness of 300mm. A vertical reinforcement bar is shown with a hook. The hook is labeled 'パテ材充填' (Patent material filling). The distance from the center of the bar to the outer edge of the wall is 100mm. The distance from the center of the bar to the inner edge of the wall is 30mm.

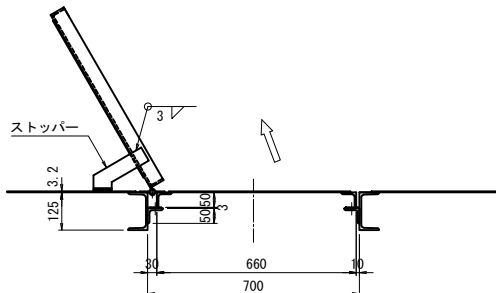
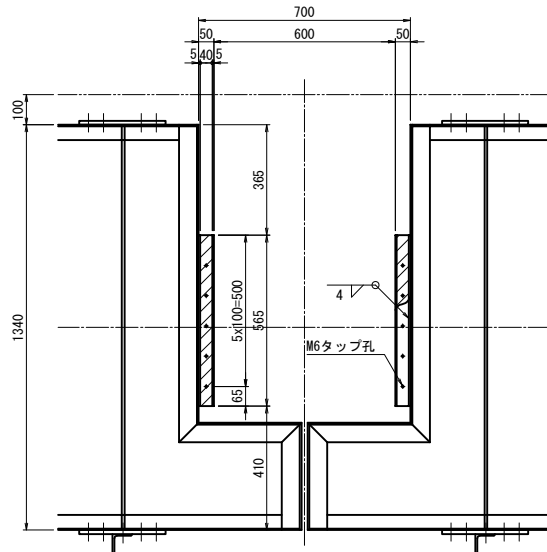
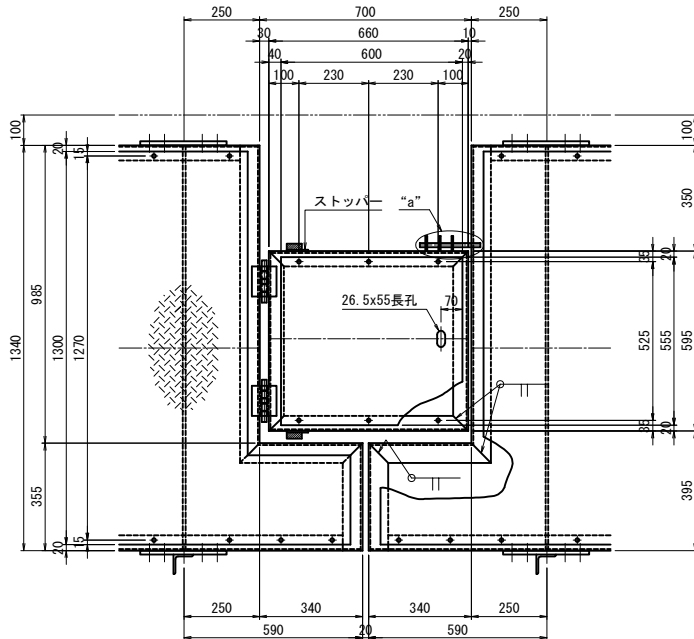
搬去本数			
	基数	ANC. 本数	計
受け台	8	6	42
梯子	12	1	12
計			64

1. 施工に当っては、現地調査を行い再確認すること。
特に鋼板の製作は、再計測後実施すること。
2. 特記なき材質は、全てSS400とする。
3. ボルト付き（C形）付着のナットは、全て強み止めナットを使用すること。
4. 部材は、全て溶融亜鉛めっきとする。
亜鉛の付着量は、JIS H8641・HDZ77とする。
但し、ボルト・ナット及び厚さ3.2mm以下の部材は、HDZ49とする。
5. ボルト孔は、めっき付着量を考慮し、
ボルト径+3mmを標準とする。

常磐自動車道 久慈川橋耐震補強工事			
図面の種類	大森高架橋 P9(Ａライン) 横査路新設(その3)		
縮 尺	図示	図面番号	188／208
設計会社名	株式会社 長 大		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

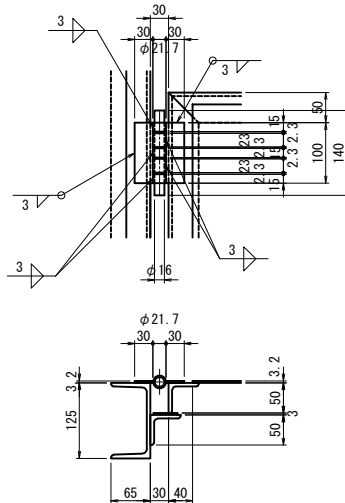
新設区

マンホール詳細



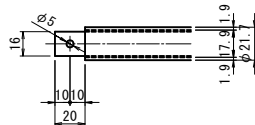
	2-L 50 x 50 x 6 x 660	
	2-L 50 x 50 x 6 x 595	
	1-Ch. PL 555 x 3.2 x 600 (SS400相当品)	
	6-BN M10 x 30 (2-#)	
1-L 50 x 50 x 6 x 565		1-L 50 x 50 x 6 x 565
※ 1-ゴム 40 x 3 x 565 (エチレンプロピレンゴム)		※ 1-ゴム 40 x 3 x 565 (エチレンプロピレンゴム)
5-皿ネジ M6 x 8		5-皿ネジ M6 x 8
		2-FB 50 x 6 x 50
		1-FB 50 x 6 x 50

蝶番詳細 S=1:12.5

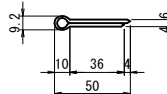


1箇所当り部材(設置数:2箇所)
2-PL 30 x 3.2 x 100(SM400A)
3-PIPE $\phi 21.7 \times 1.9 \times 15$ (STK400)
2-PIPE $\phi 21.7 \times 1.9 \times 23$ (STK400)
1-RB $\phi 16 \times 140$
2-割ピン $\phi 5 \times 36$ (SWRM8)

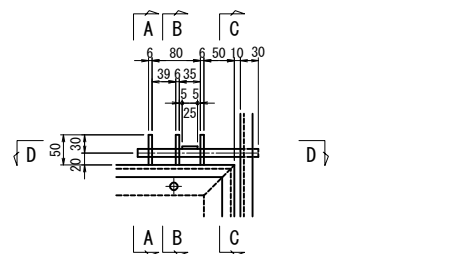
ピン端部詳細 S=1:5



割ピン詳細 S=1:

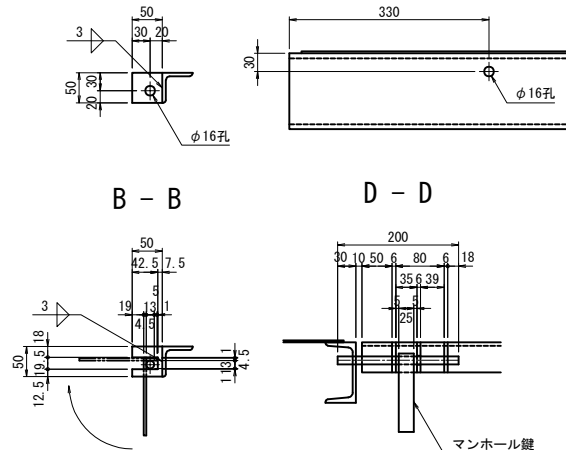


“a” 部詳細図 S=1:12.5

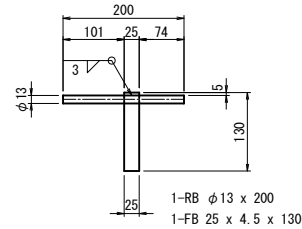


A - A

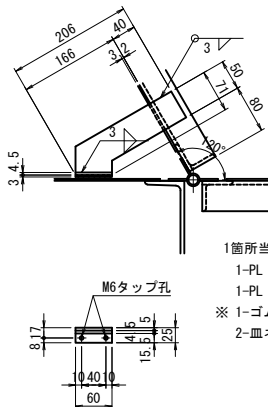
C - C



マンホール鍵詳細 S=1:12.5



ストッパー詳細 S=1:12.5



1箇所当り部材(設置数:2箇所)
 1-PL 25 x 4.5 x 60(SM400A)
 1-PL 206 x 4.5 x 71(SM400A)
 ※ 1-ゴム 25 x 3 x 60(エチレンプロピレングム)
 2-皿ネジ M6 x 8

注記

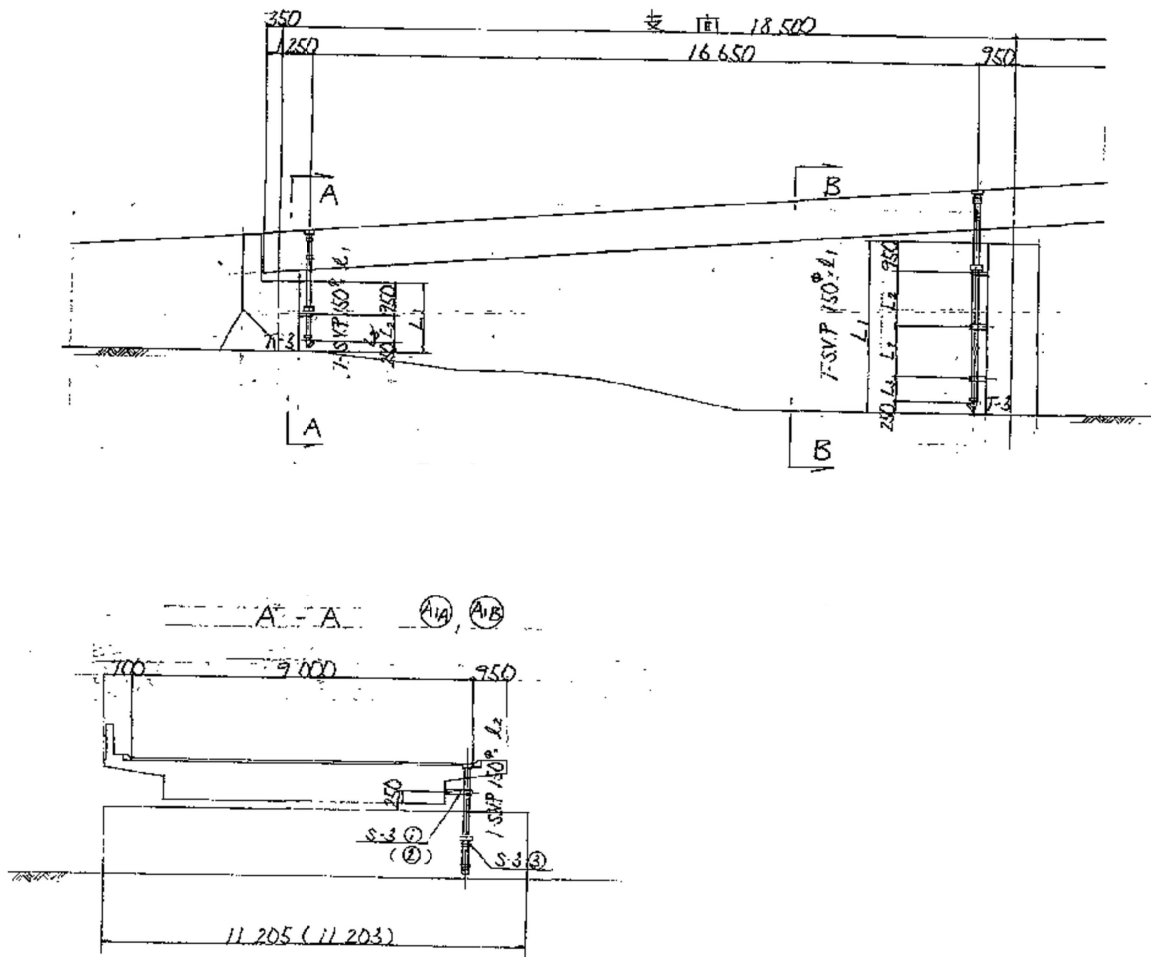
1. 施工に当たっては、現地調査を行い再確認すること。
特に鋼板の製作は、再計測後実施すること。
2. 特記なき材質は、全てSA400とする。
3. Uボルト付き(C形)以外のナットは、全て締め止めナットを使用すること。
4. ※印付部材以外は、全て溶融亜鉛めっきとする。
亜鉛の付着量は、JIS H8641 HDZT77とする。
但し、ボルト・ナット及び厚さ3.2mm以下の部材は、HDZT49とする。
5. ボルト孔は、めっき付着量を考慮し、
ボルト径+3mmを標準とする。

常磐自動車道 久慈川橋耐震補強工事			
図面の種類	大森高架橋 P9 (A-ライン) 検査路新設工 (その5)		
縮 尺	図示	図面番号	190/208
設計会社名	株式会社 長大		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 水戸管理事務所		関東支社

既設撤去・設置図

【 A1橋台(A-Line)】

側面図



注) ()内数値はA-LINEを示す。

撤去延長=6.960m

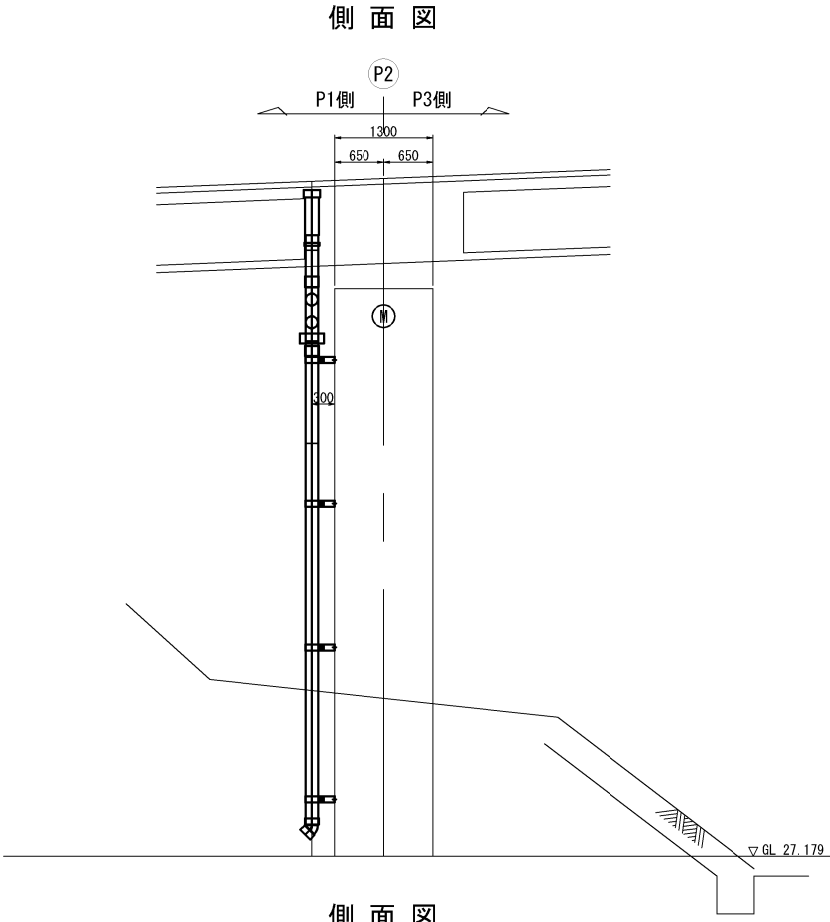
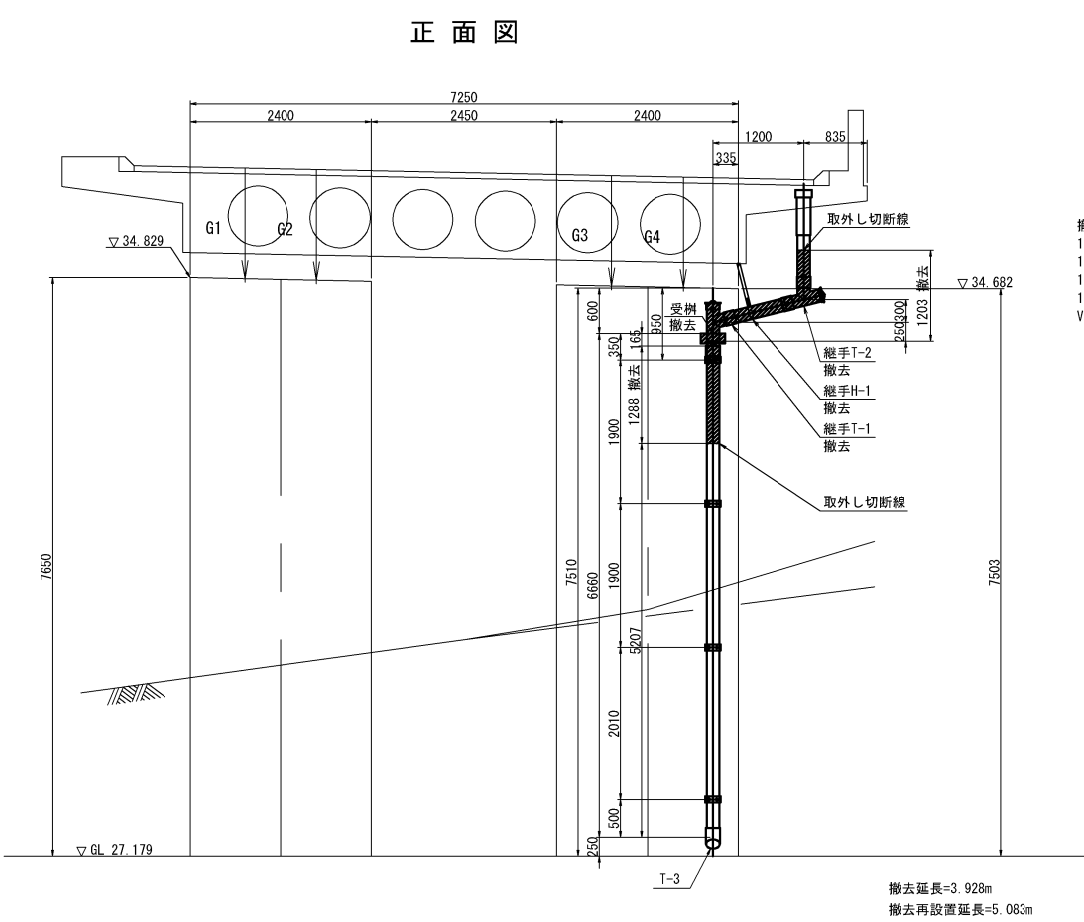
撤去再設置延長=6.960m

寸法表

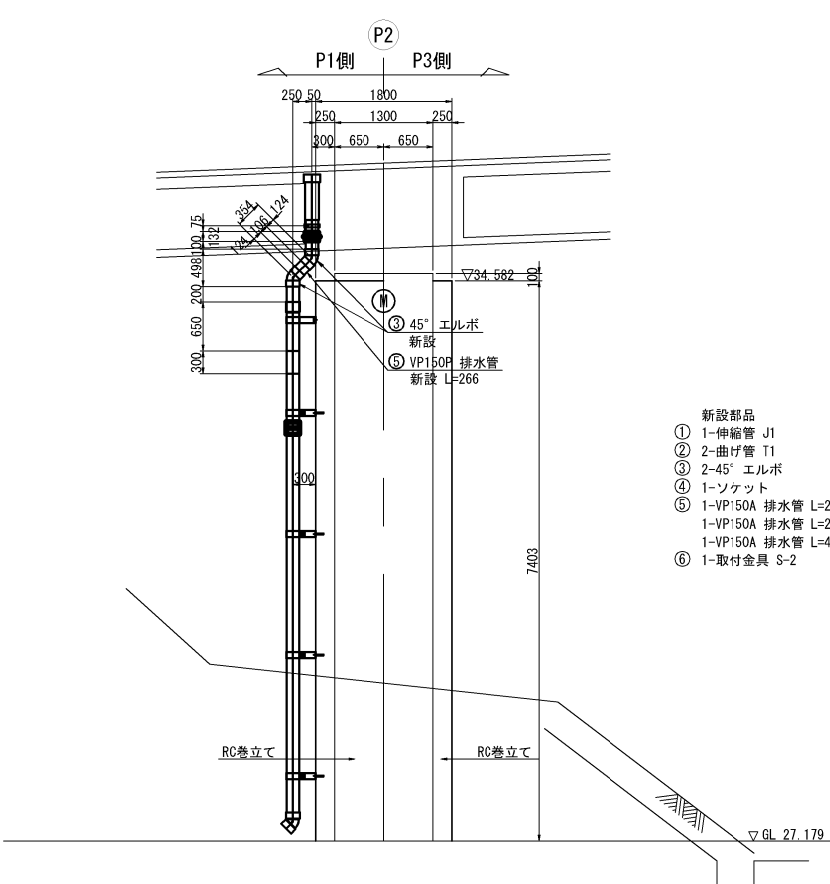
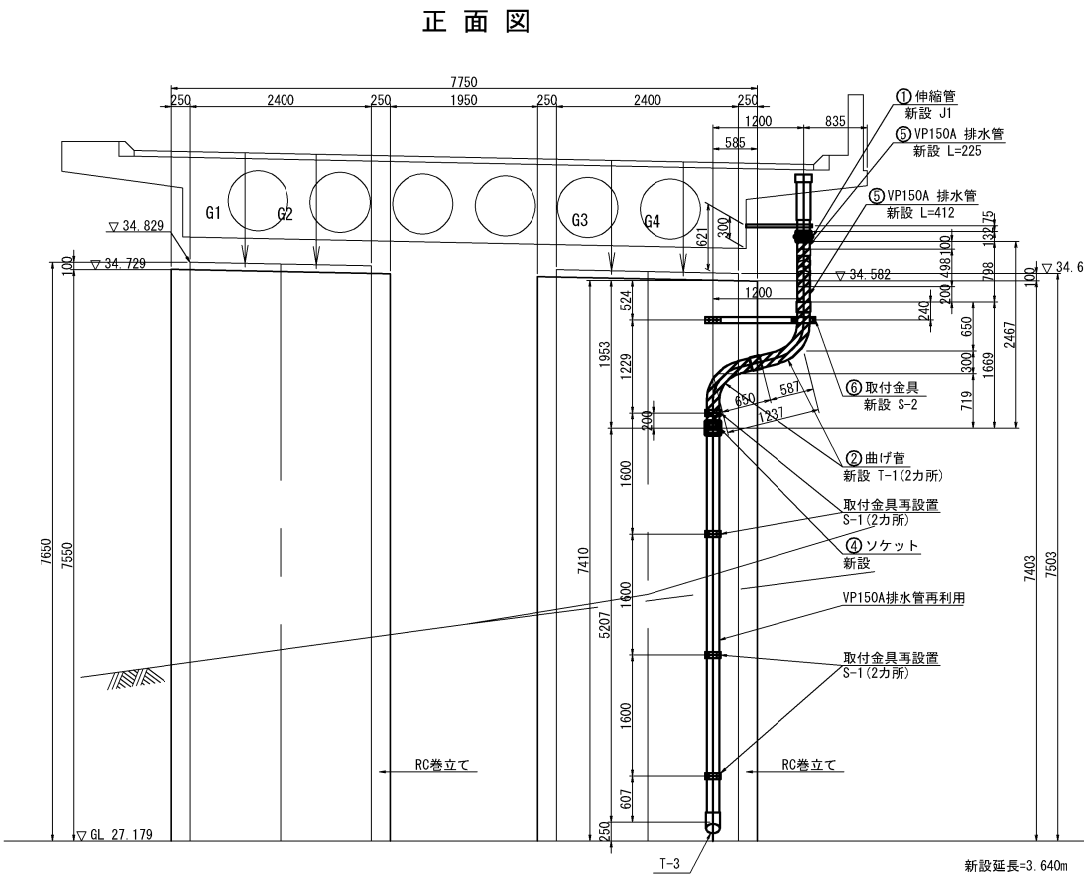
桁 号		L ₁	L ₂	L ₃	L ₄	L ₅	L ₆	L ₇	L ₈
B-LINE	①B	1.530	600	—	470	1.830	1.335	—	—
	②B	7.960	2.400	800	6.900	1.950	1.065	643	596
	③B	8.800	2.000	600	7.740	1.680	795	395	348
	④B	9.010	1.900	500	7.950	1.680	795	395	348
A-LINE	①A	6.960	2.300	700	5.900	1.830	1.335	—	—
	②A	2.510	1.900	500	6.450	1.950	1.065	671	624
	③A	7.080	1.900	500	6.020	1.680	795	412	365

常磐自動車道 久慈川橋耐震補強工事			
図面の種類	大森高架橋 A1(A-ライン) 排水装置撤去・設置工		
縮 尺	図示	図面番号	191／208
設計会社名	株式会社 長 大		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

既設撤去図



設置図

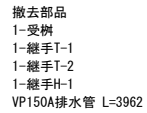


注記
1. 既設取付金具は原則再利用とする。
2. 現地実測の上、製作の事。

常磐自動車道 久慈川橋耐震補強工事			
図面の種類	大森高架橋 P2(A-ライン) 排水装置撤去・設置工、新設工		
縮 尺	図示	図面番号	192/208
設計会社名	株式会社 長 大		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

既設撤去図

正面図

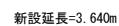


設置図

側面図



正面図



側面図



- 新設部品
- ① 1-伸縮管 J1
 - ② 2-曲げ管 T-1
 - ③ 2-45° エルボ
 - ④ 1-ソケット
 - ⑤ 1-VP150A 排水管 L=266
1-VP150A 排水管 L=225
1-VP150A 排水管 L=412
 - ⑥ 1-取付金具 S-2

- 再設置部品
3-取付金具 S-1

- 注記)
1. 既設取付金具は原則再利用とする。
 2. 現地実測の上、製作の事。

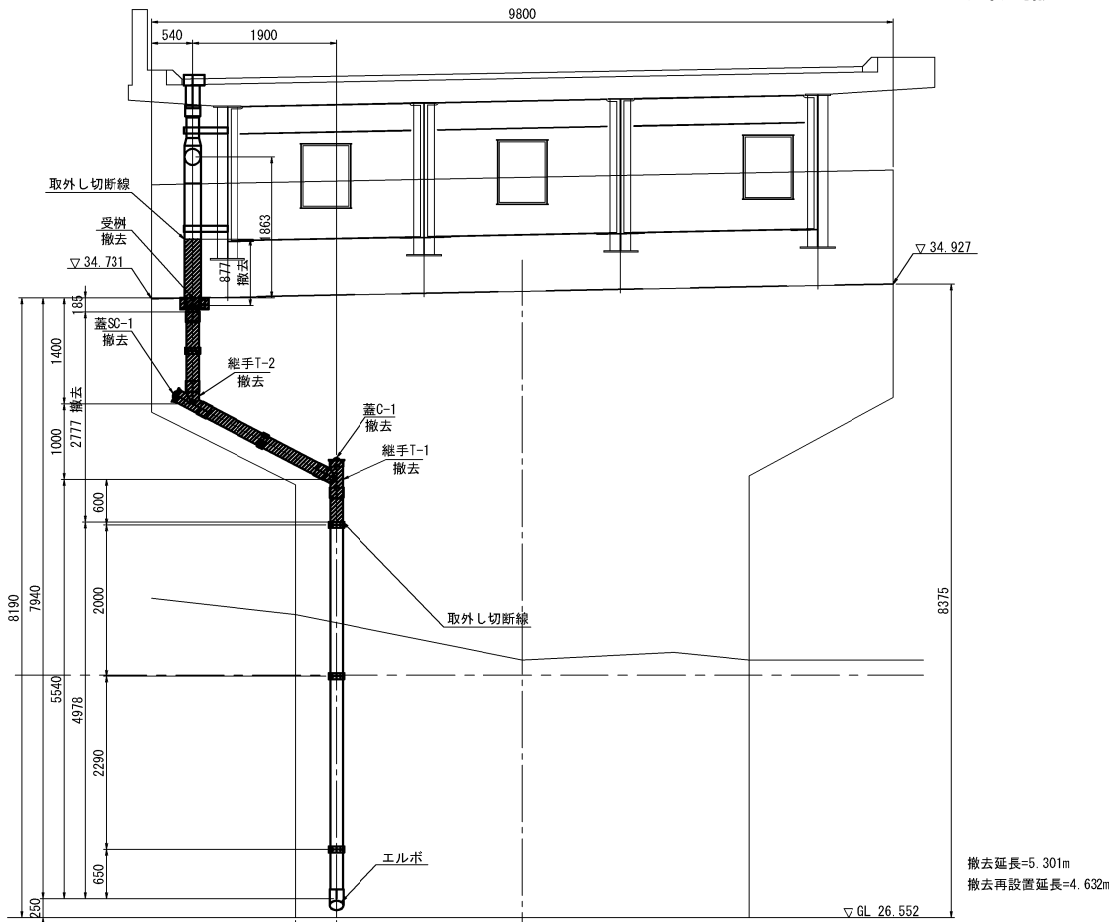
常磐自動車道 久慈川橋耐震補強工事			
図面の種類	大森高架構 P3 (A-ライン) 撤去装置撤去・設置工、新設工		
縮 尺	図示	図面番号	193/208
設計会社名	株式会社 長 大		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

正面図

既設撤去図

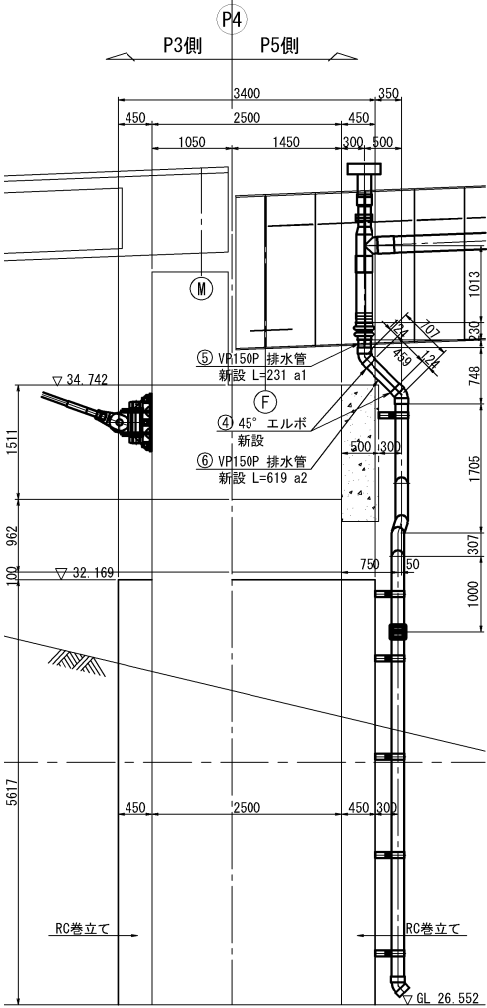
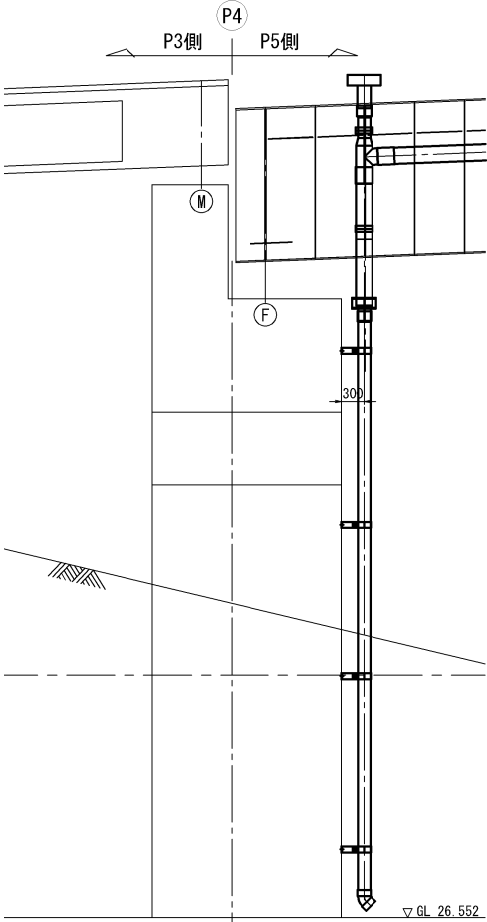
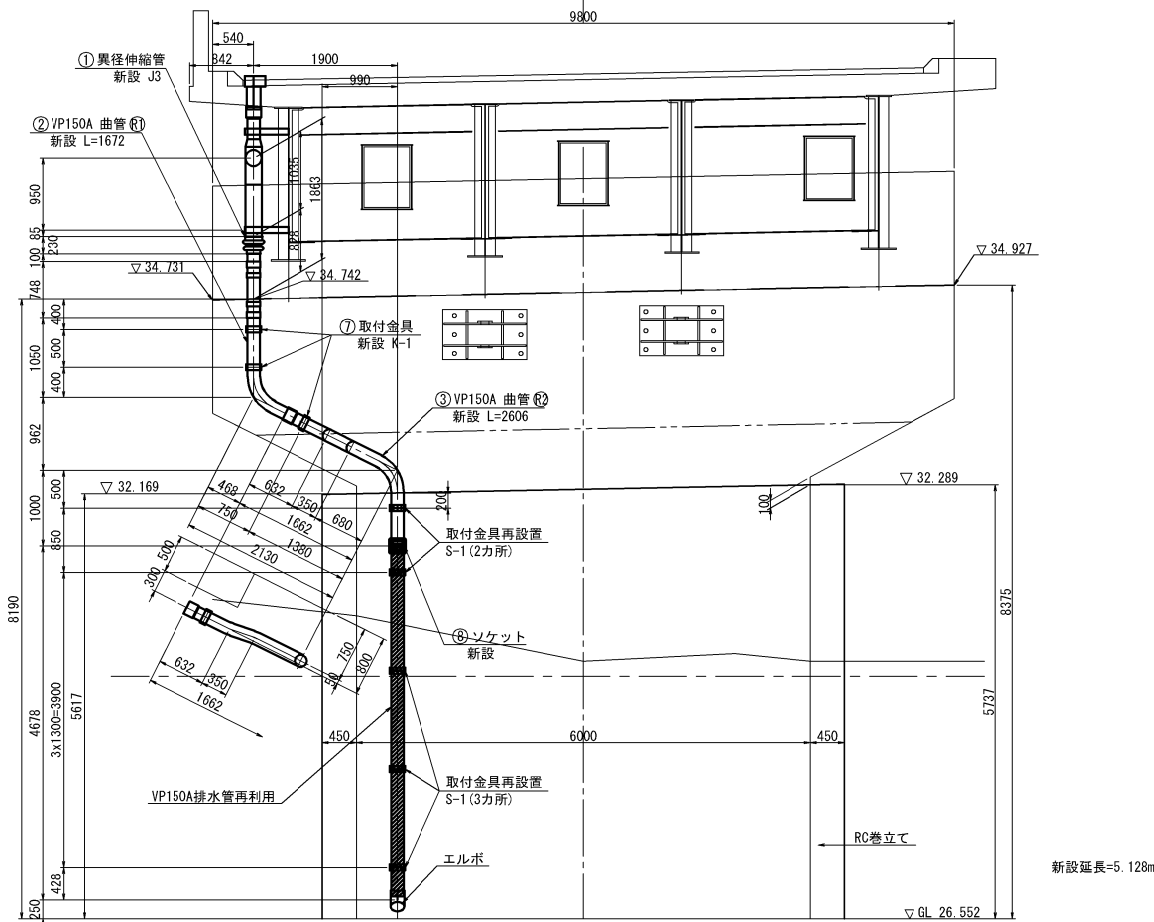
側面図

撤去工
1-受樹
1-継手T-2
1-蓋SC-1
1-継手T-1
1-蓋C-1
VP150A排水管 L=4424
VP200A排水管 L=877
10-BN M12 x 40(2-W)
10-打ち込み式アンカーボルト M12 x 100



設置図

正面図



新設工
① 異径伸縮管 J3
② 曲管 R1
③ 曲管 R2
④ 2-45° エルボ
⑤ 1-VP150A 排水管 L=231 a1
⑥ 1-VP150A 排水管 L=619 a2
⑦ 3-取付金具 K-1
⑧ 1-ソケット
10-BN M12 x 40(2-W)
10-打ち込み式アンカーボルト M12 x 100

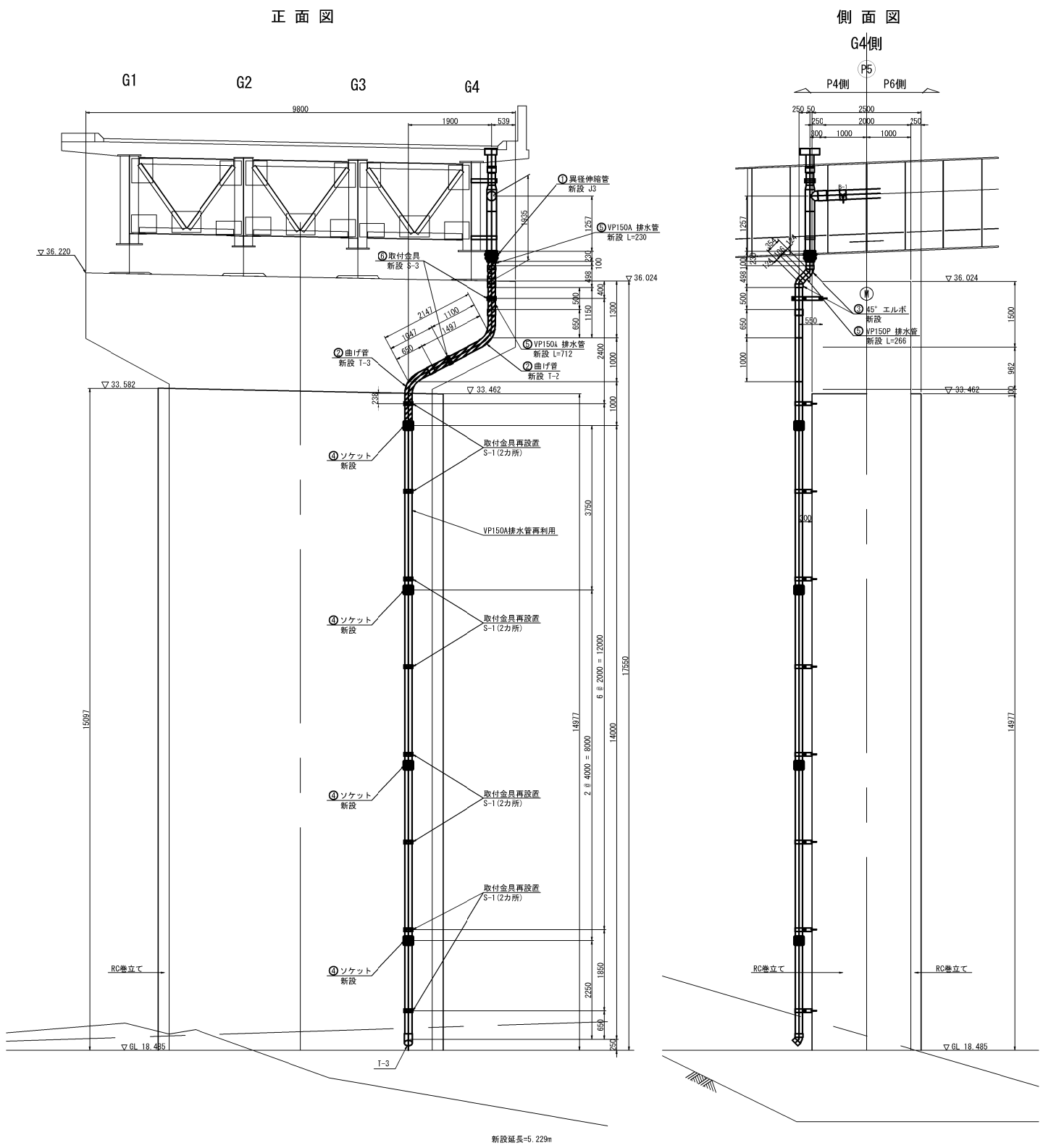
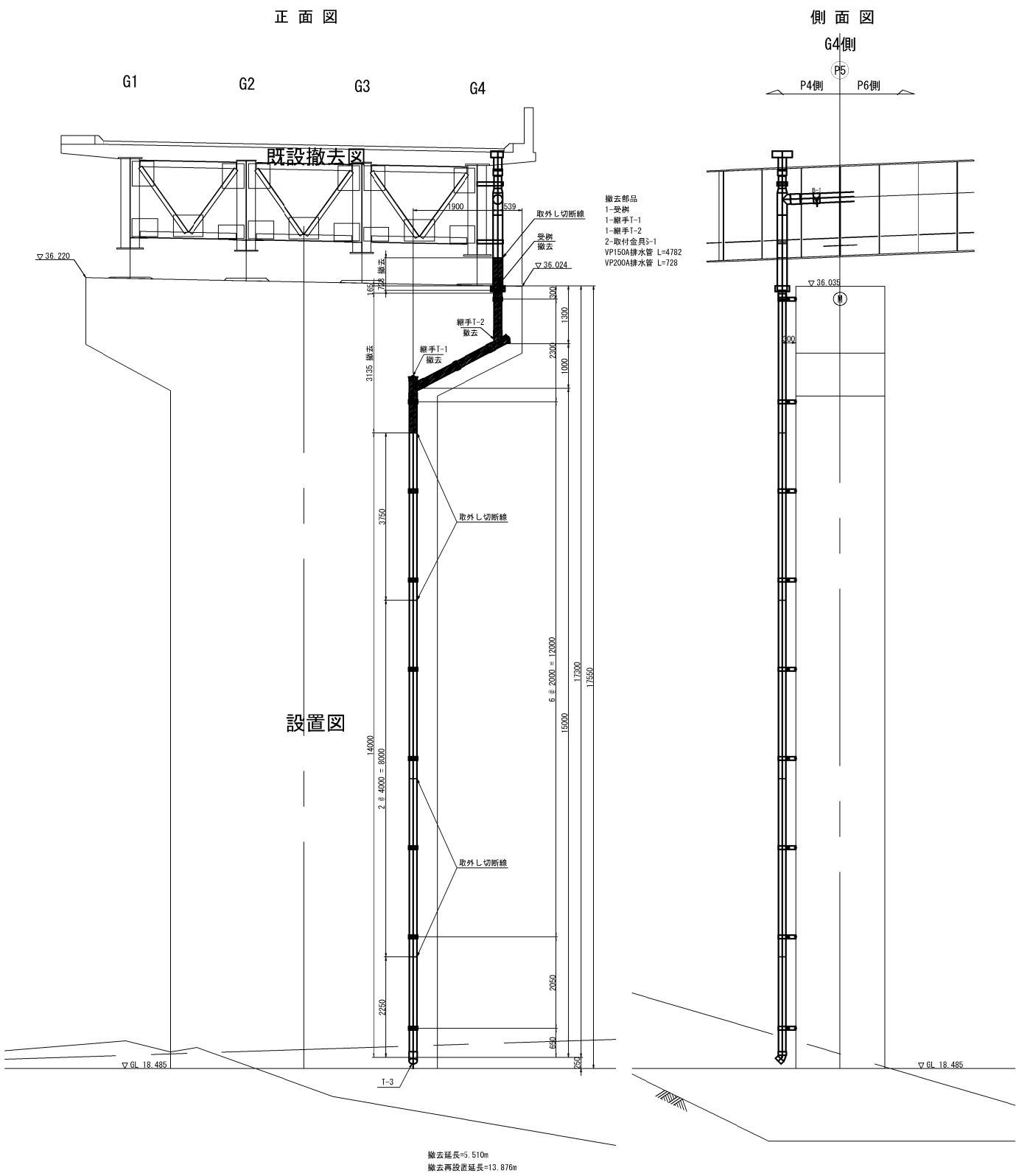
撤去・設置工
VP150A 排水管 L=4632
5-取付金具 S-1

注記
1. 底設取付金具は原則再利用とする。
2. 現地実測の上、製作のこと。
3. 特記なき材質は、全てS3400とする。
4. ナットは全て弛み止めナットを使用すること。
5. 部材は、全て溶融亜鉛めっきとする。
重鉛の付着量は、JIS H8641 HDZT77とする。
但し、ボルト・ナット及び厚さ3.2mm以下の部材は、
HDZT49とする。

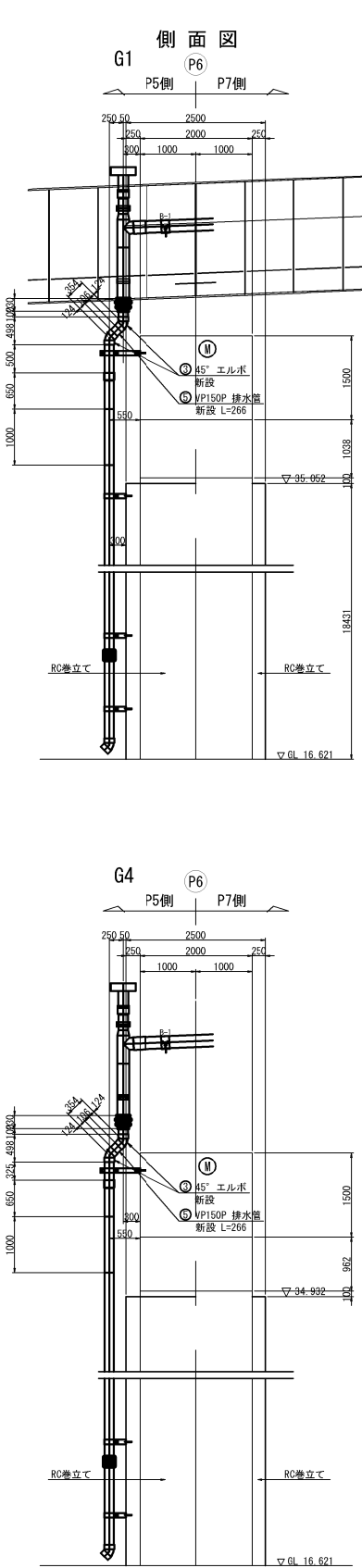
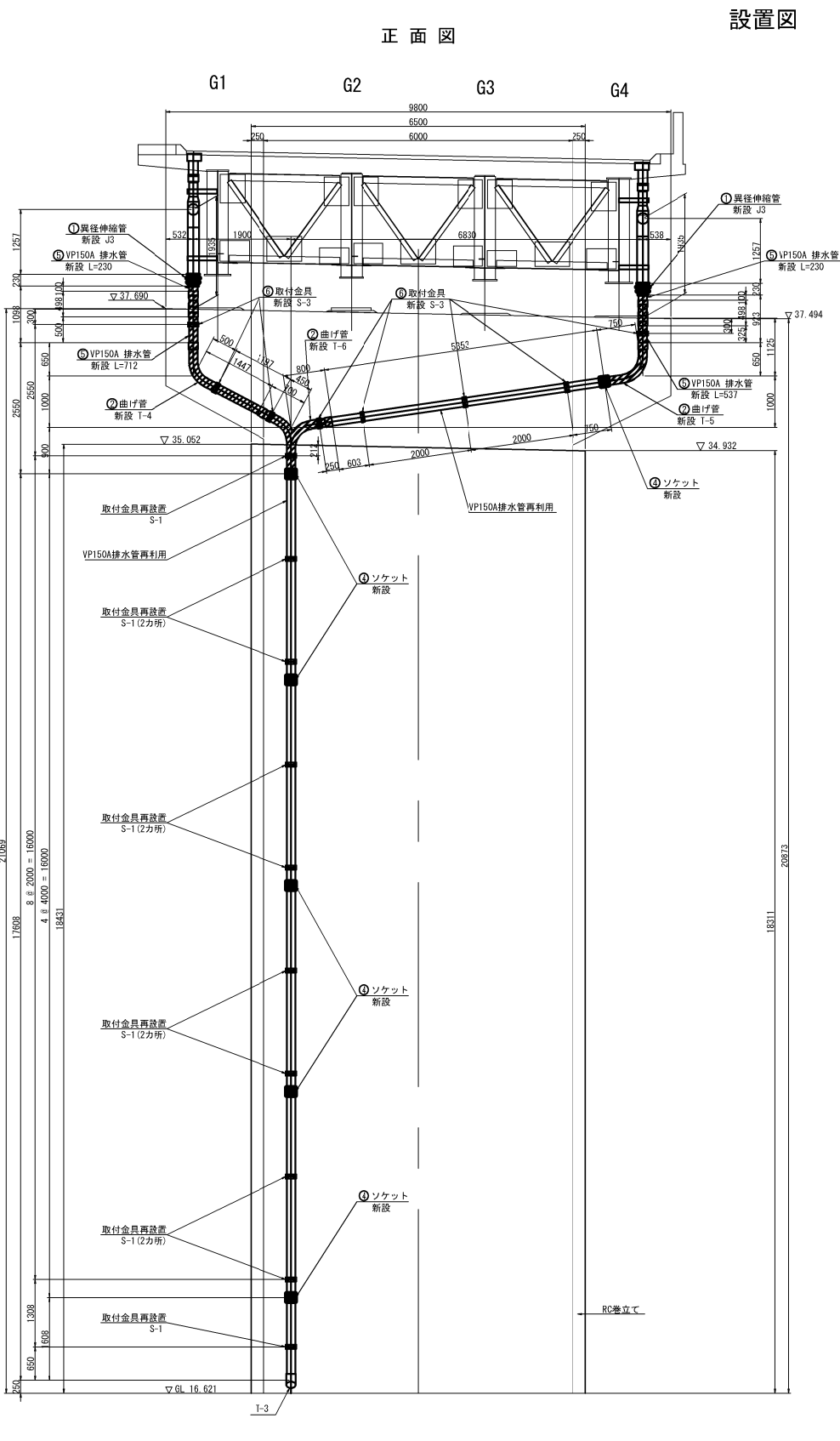
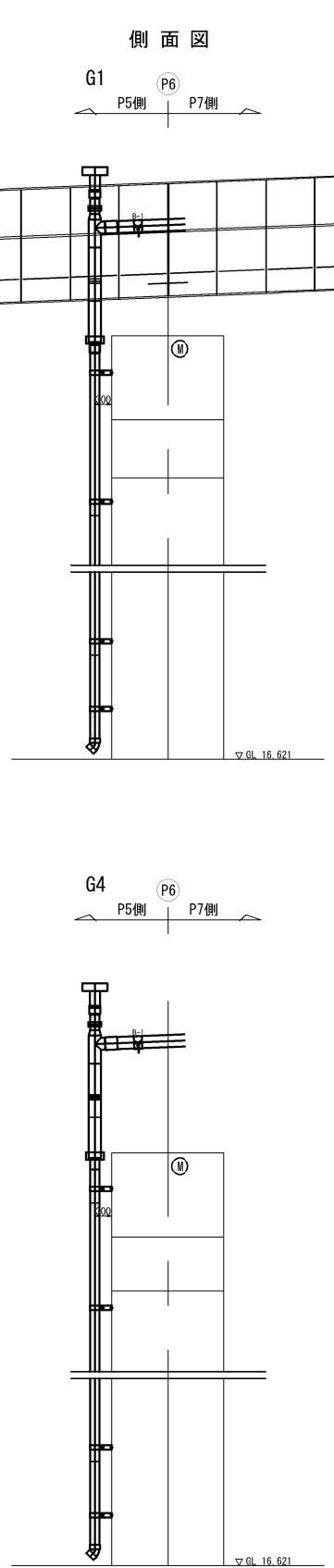
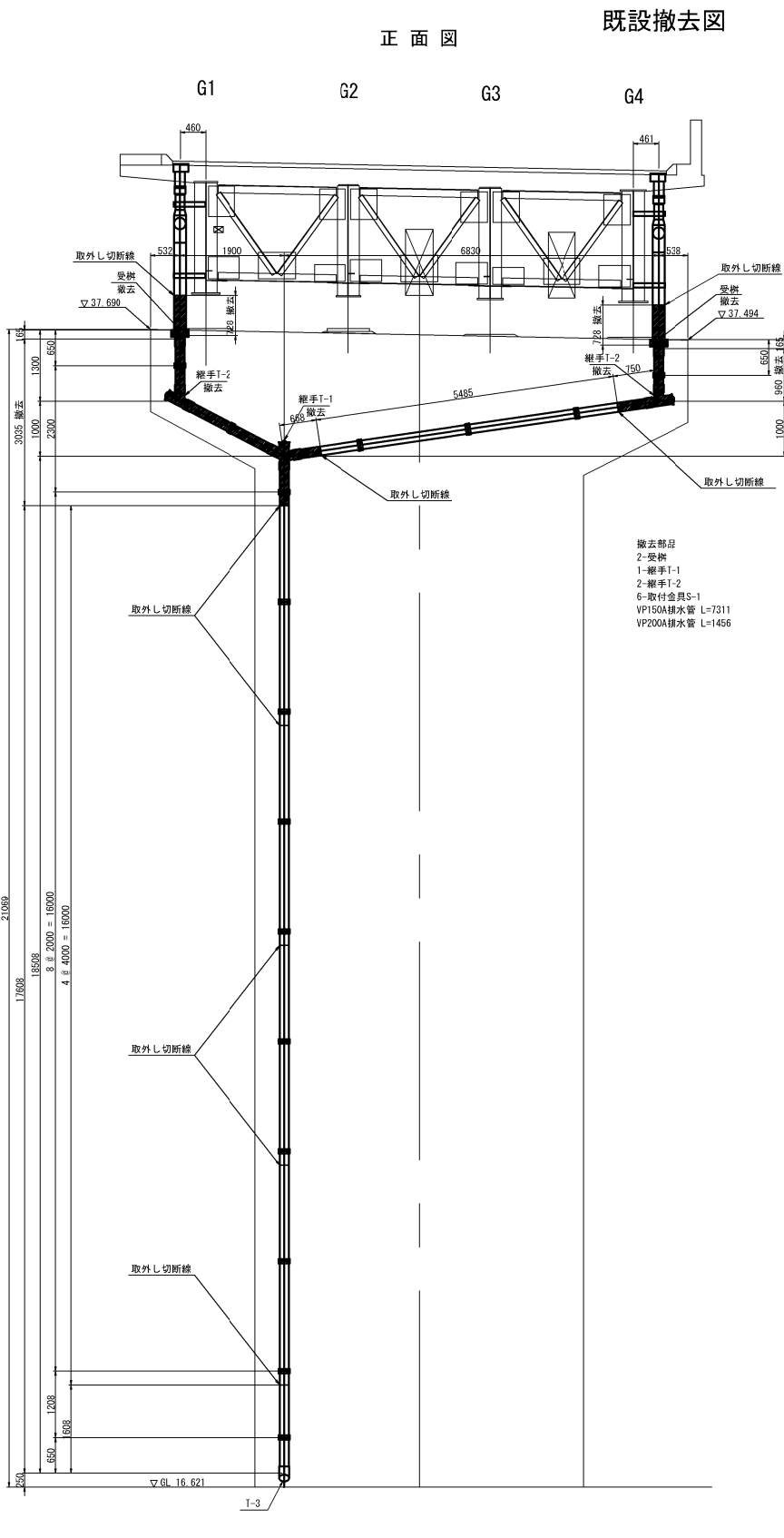
常磐自動車道 久慈川橋耐震補強工事			
図面の種類	大森高架橋 P4(A-ライン) 排水装置撤去・設置工、新設工		
縮 尺	図示	図面番号	194 / 208
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

既設撤去図

設置図



常盤自動車道 久慈川橋耐震補強工事			
図面の種類	大森高架橋 P5 (A-ライン) 排水装置撤去・設置工、新設工		
縮 尺	図示	図面番号	195 / 208
設計会社名	株式会社 長 大		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		



撤去延長=8.767m
撤去再設置延長=22.837m

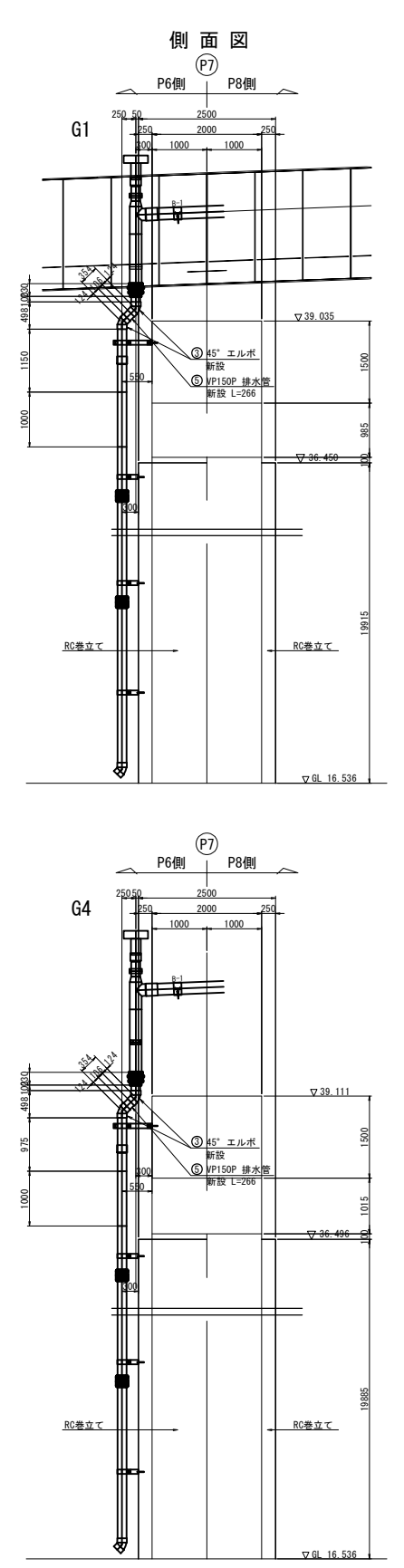
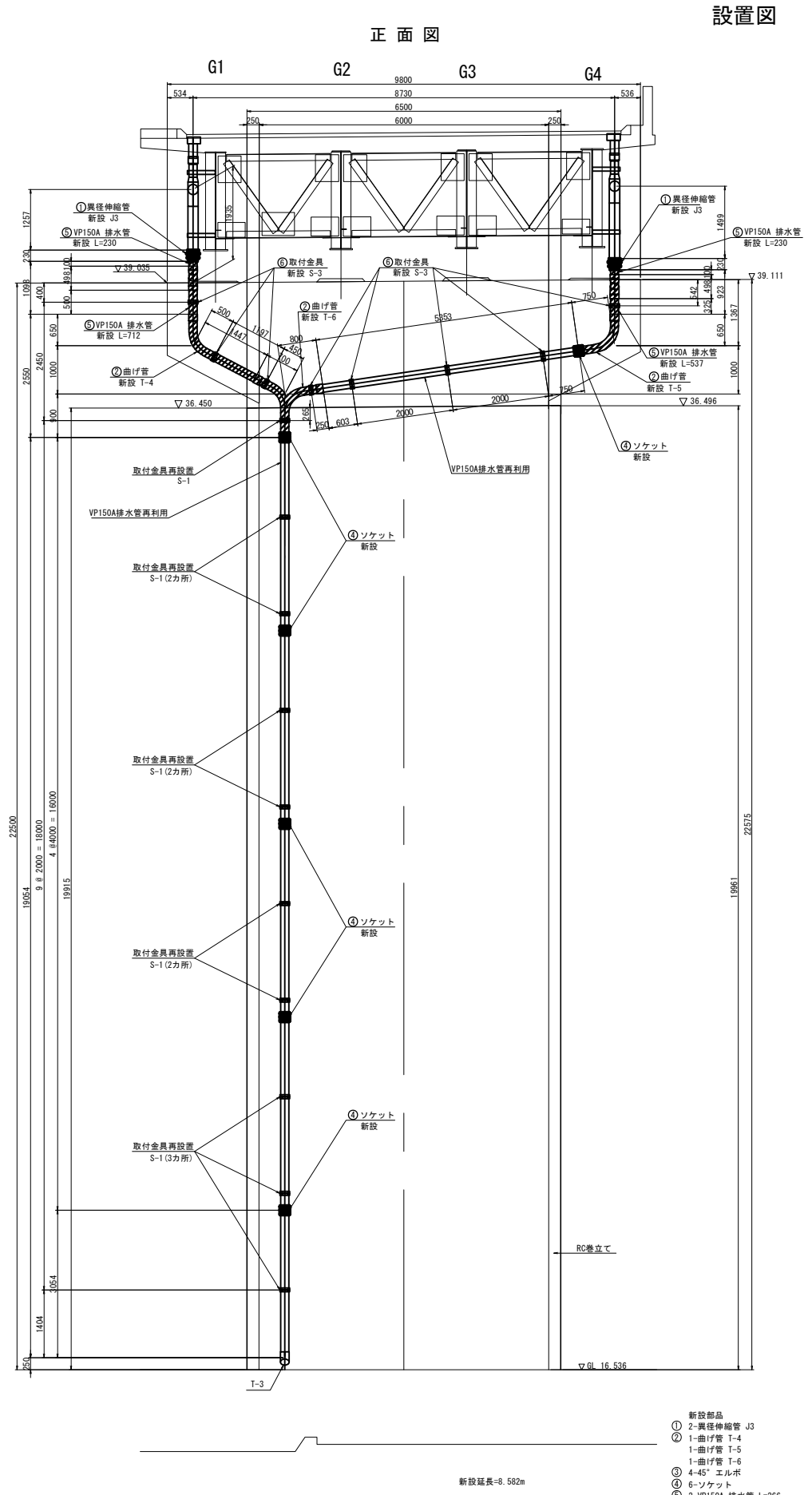
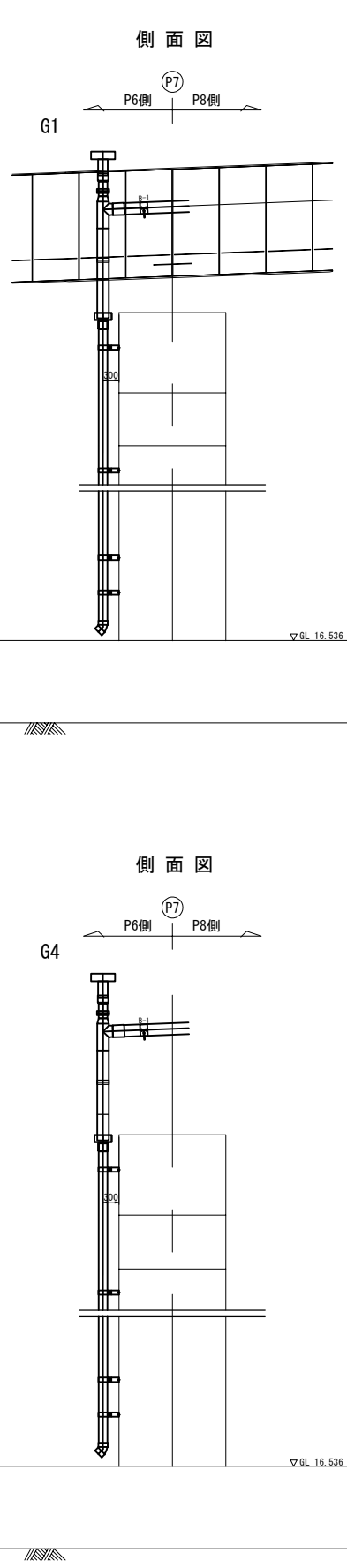
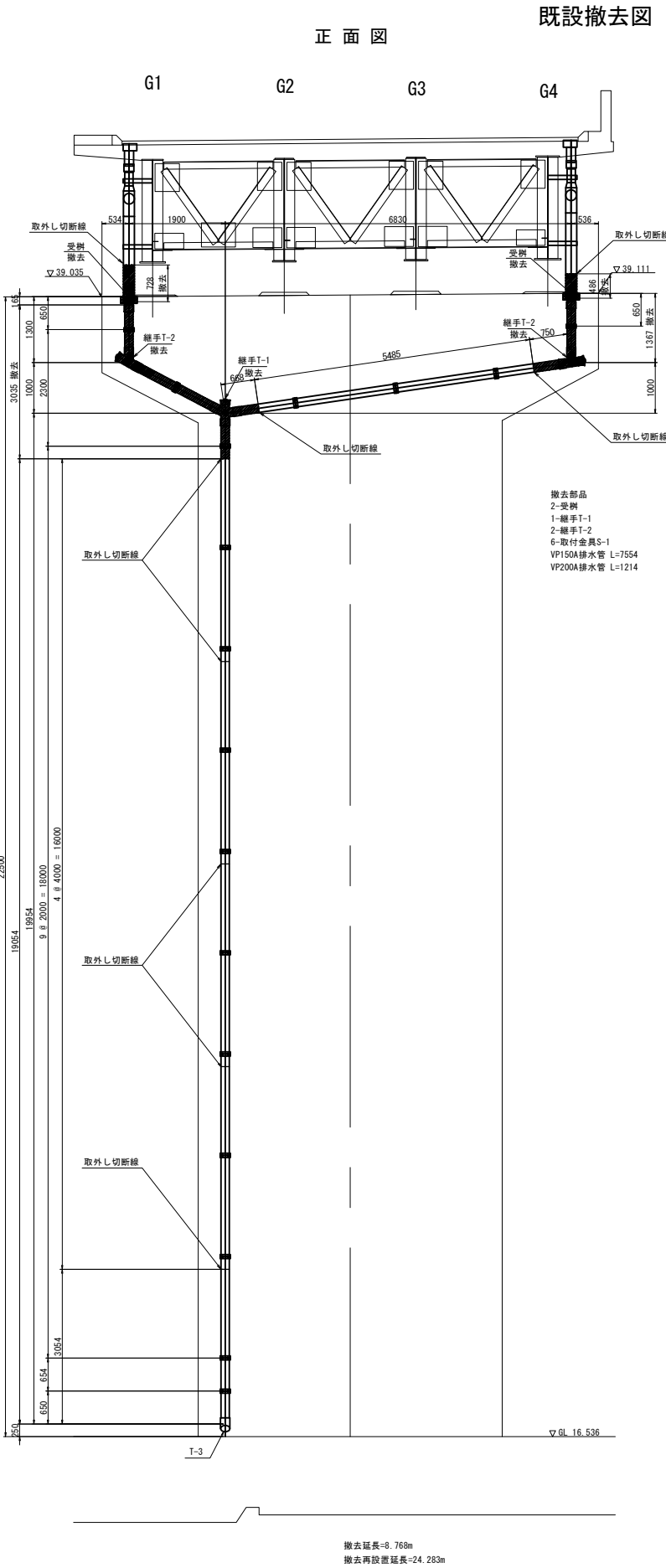
- 新設部品
- ① 2-異径伸縮管 J3
 - ② 1-曲げ管 T-4
 - ③ 1-曲げ管 T-5
 - ④ 1-曲げ管 T-6
 - ⑤ 4-45°エルボ
 - ⑥ 6-ソケット
 - ⑦ 2-VP150A 排水管 L=266
 - ⑧ 2-VP150A 排水管 L=230
 - ⑨ 1-VP150A 排水管 L=712
 - ⑩ 1-VP150A 排水管 L=537
 - ⑪ 8-取付金具 S-3

再利用部品
VP150A排水管 L=22837

再設置部品
10-取付金具 S-1

新設延長=8.582m

常盤自動車道 久慈川橋耐震補強工事			
図面の種類	大森高架橋 P6(A-ライン) 排水装置撤去・設置工、新設工		
縮 尺	図示	図面番号	196/208
設計会社名	株式会社 長 大		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
事務所名	水戸管理事務所		

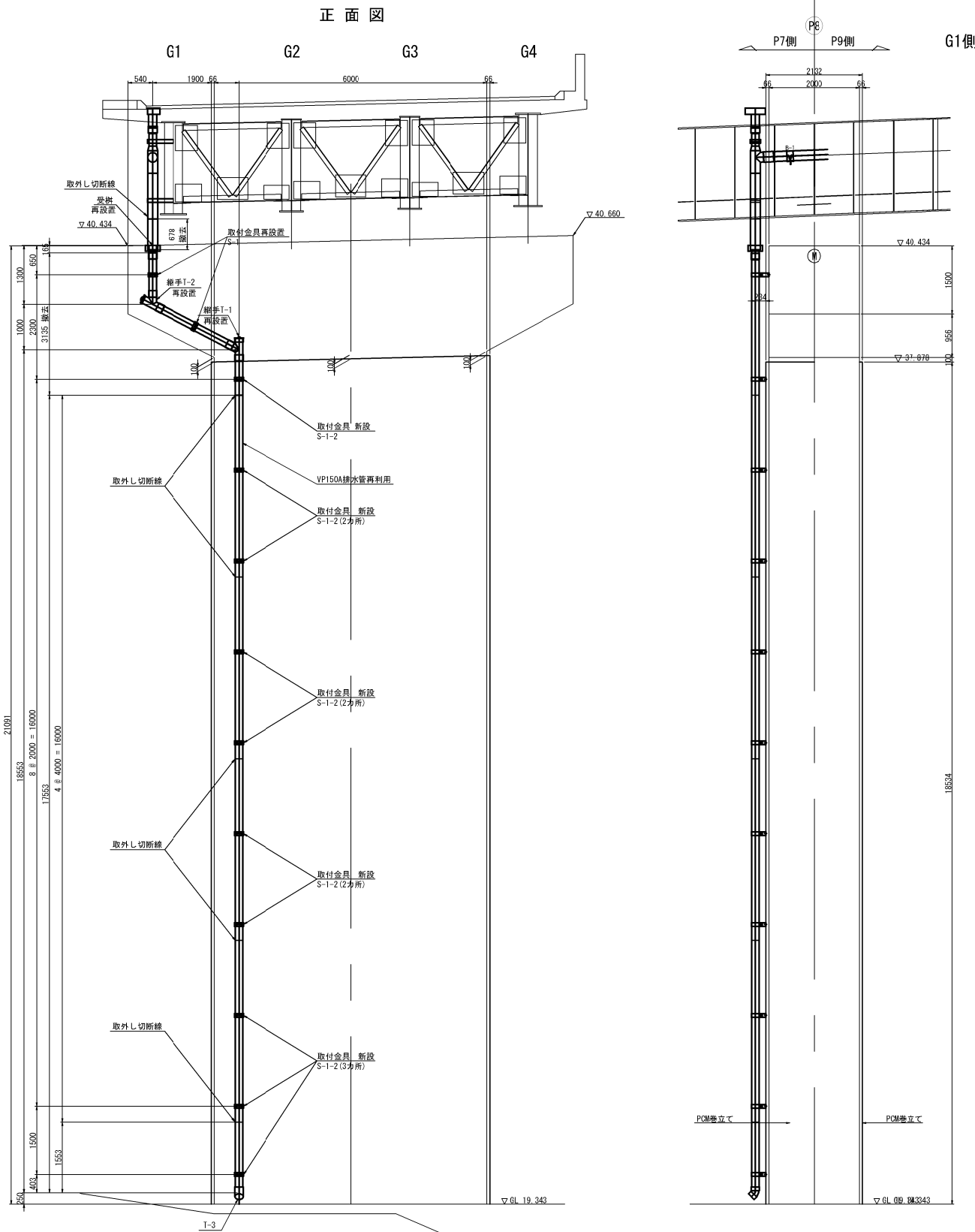
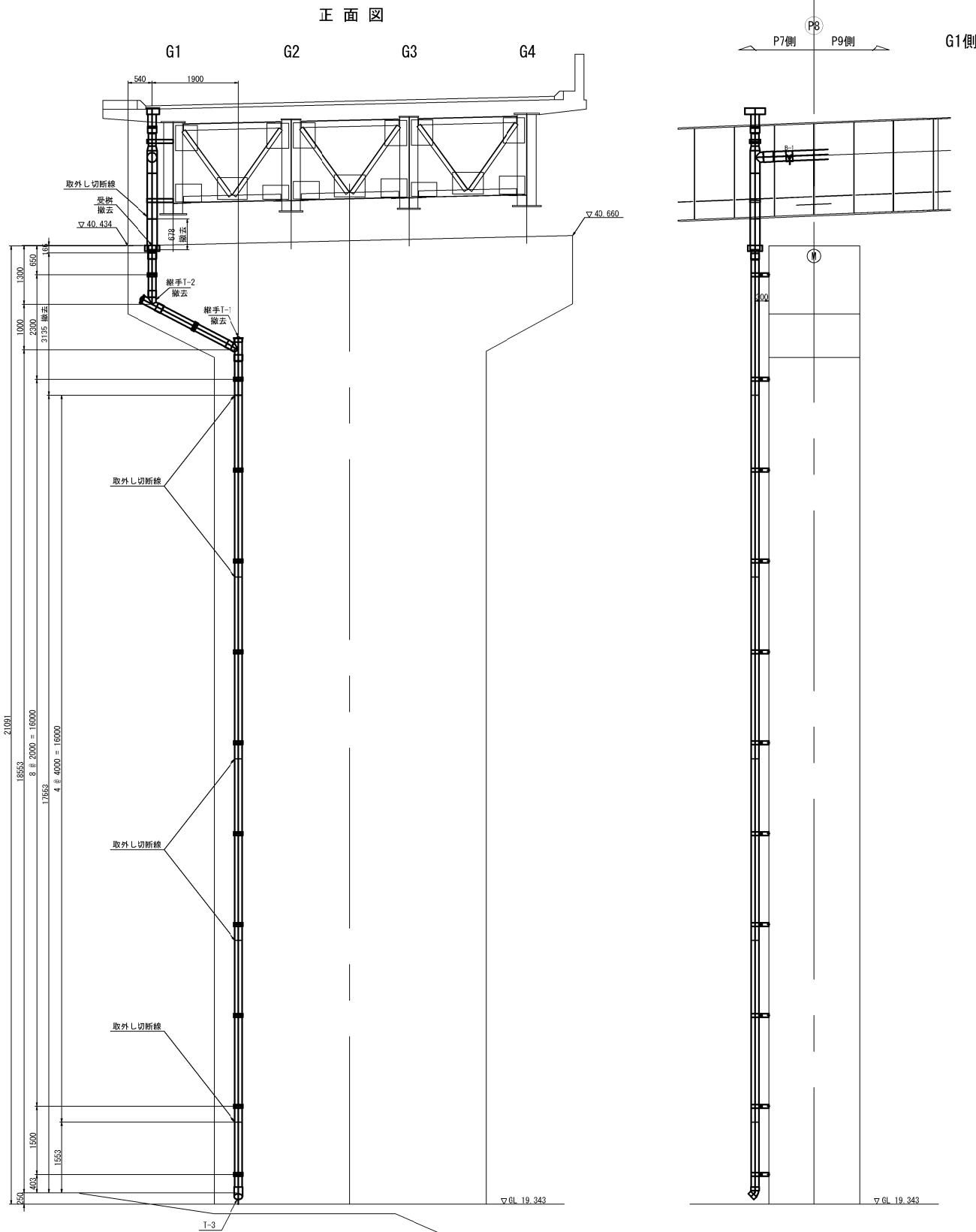


- 新設部品
① 2-異径伸縮管 J3
② 1-曲げ管 T-4
③ 1-曲げ管 T-5
④ 1-曲げ管 T-6
⑤ 4-45°エルボ
⑥ 6-ソケット
⑦ 2-VP150A 排水管 L=266
⑧ 2-VP150A 排水管 L=230
⑨ 1-VP150A 排水管 L=712
⑩ 1-VP150A 排水管 L=537
⑪ 8-取付金具 S-3
- 再利用部品
VP150A排水管 L=24283
- 再設置部品
10-取付金具 S-1

常磐自動車道 久慈川橋耐震補強工事			
図面の種類	大森高架橋 P7(A-ライン) 排水装置撤去・設置工、新設工		
縮 尺	図示	図面番号	197/208
設計会社名	株式会社 長 大		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

既設撤去図

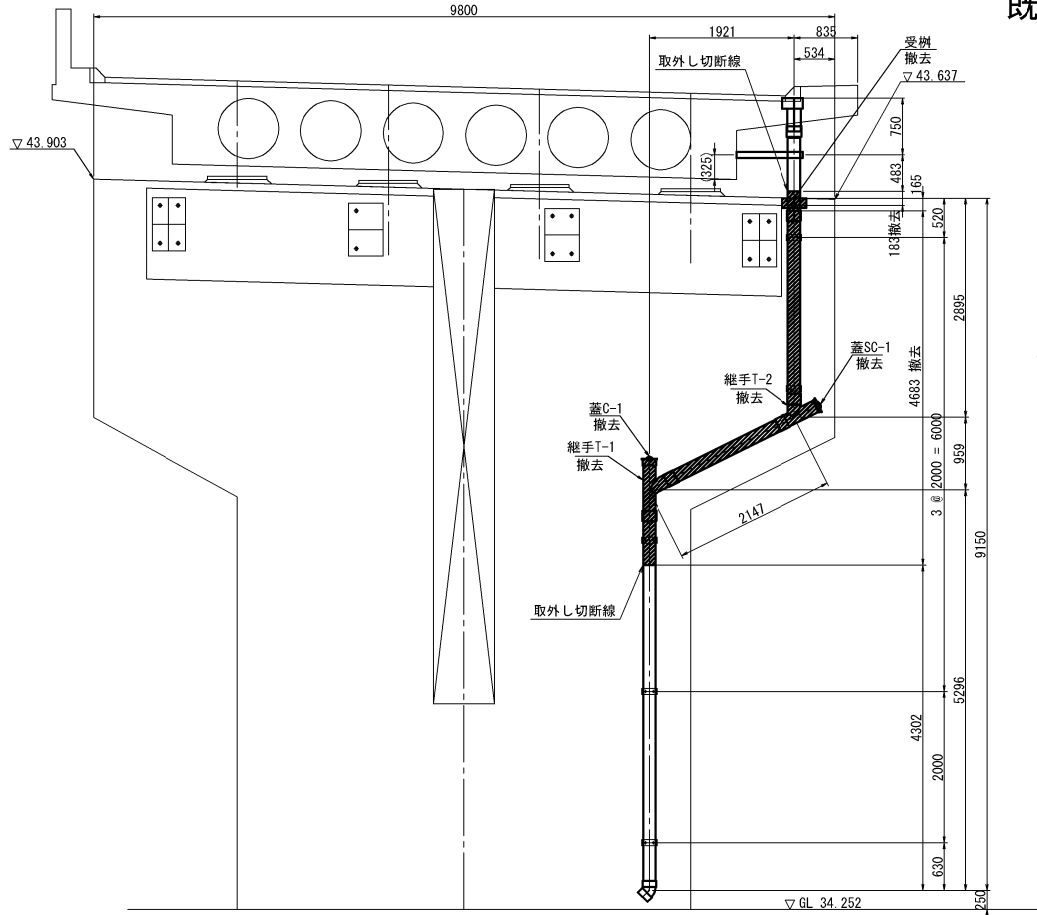
設置図



- 新設部品
① 10-取付金具 S-1-2
- 再利用部品
VP150A排水管 L=228089
- 再設置部品
2-取付金具 S-1

常盤自動車道 久慈川橋耐震補強工事			
図面の種類	大森高架橋 P8(A-ライン) 排水装置撤去・設置工、新設工		
縮 尺	図示	図面番号	198 / 208
設計会社名	株式会社 長 大		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

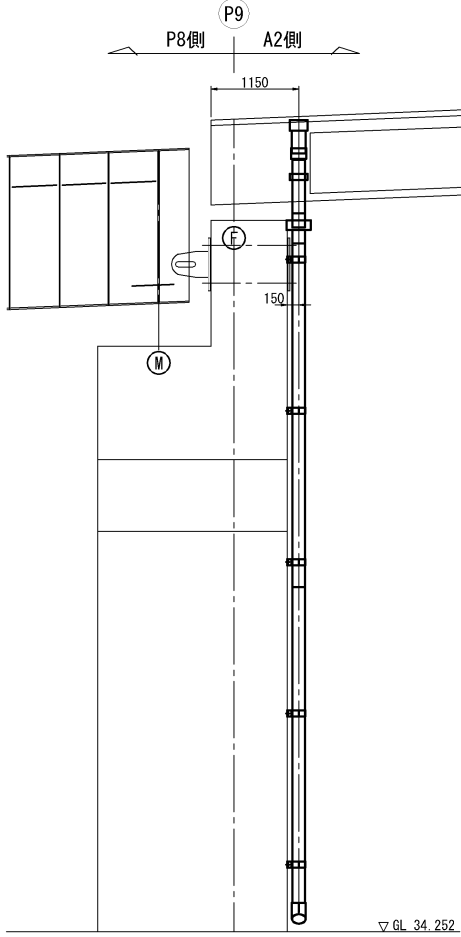
正面図
終点側



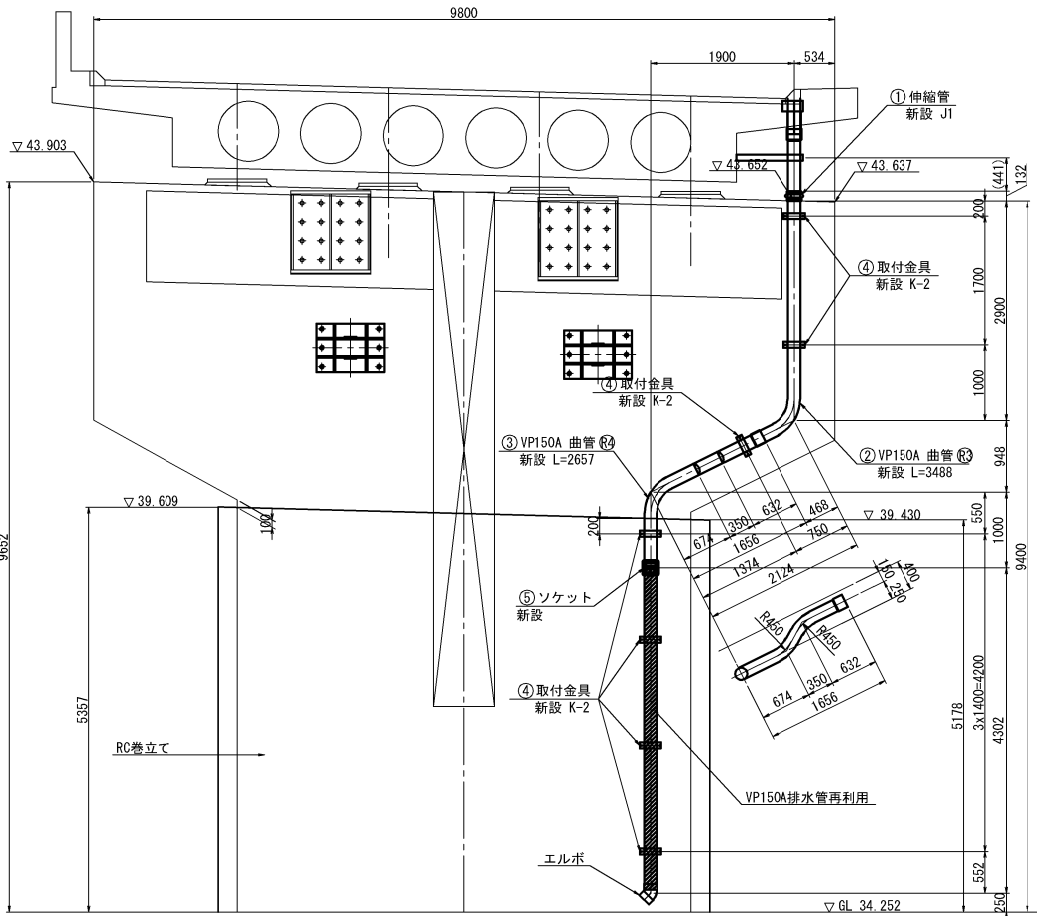
既設撤去図

撤去工
1-受樹
1-継手T-2
1-蓋SC-1
1-継手T-1
1-蓋C-1
5-取付金具S-5
VP150A排水管 L=6805

側面図



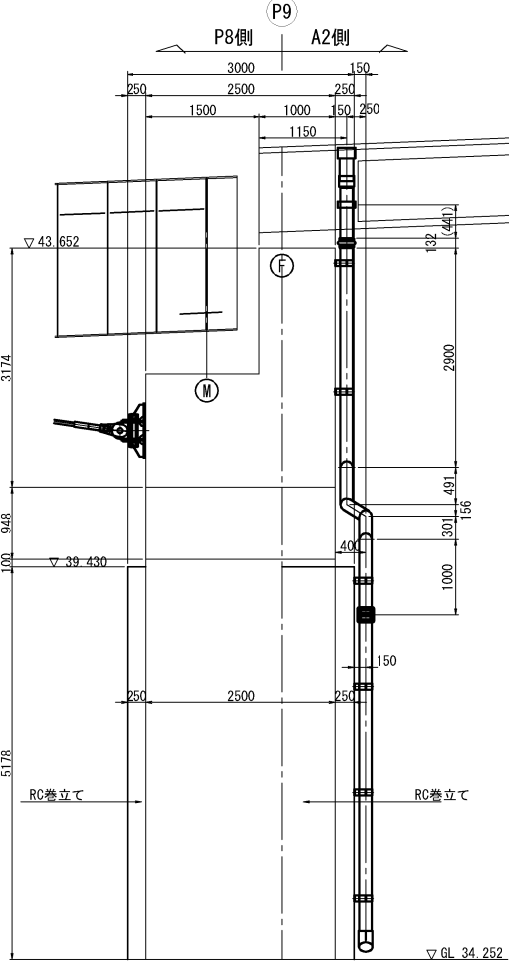
正面図
終点側



設置図

新設延長=6.145m

側面図



新設工
① 1-伸縮管 J1
② 1-曲管 R3
③ 1-曲管 R4
④ 7-取付金具 K-2
⑤ 1-ソケット

撤去・設置工
VP150A 非水管 L=4256

注記
1. 既設取付金具は原則再利用とする。
2. 現地実測の上、製作のこと。

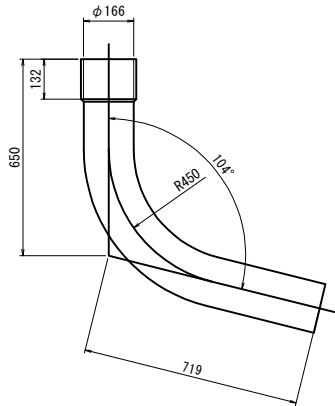
常磐自動車道 久慈川橋耐震補強工事			
図面の種類	大森高架橋 P9 (A-ライン) 排水装置撤去・設置工、新設工		
縮 尺	図示	図面番号	199 / 208
設計会社名	株式会社 長大		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
事務所名	水戸管理事務所		

P2, P3, P4R, P5, P6, P7, P8

【 加工管詳細図 】

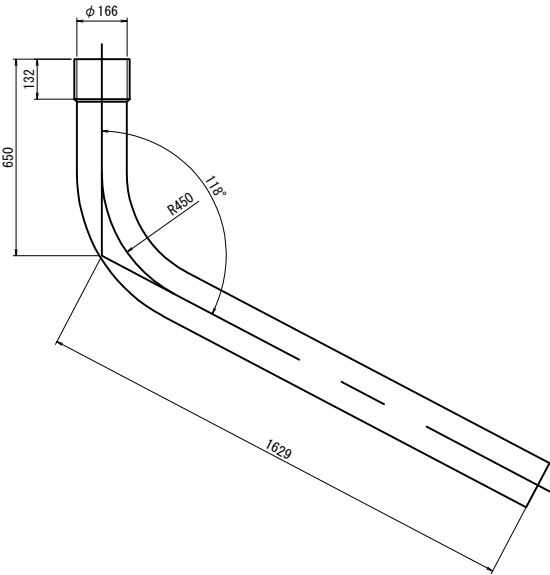
T-1 VP150A
製作数：4個

A-LINE	
P2	2
P3	2



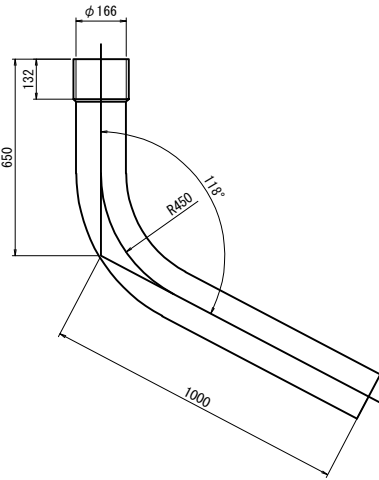
T-2 VP150A
製作数：2個

A-LINE	
P4	
P5	1
P8	1
P9	



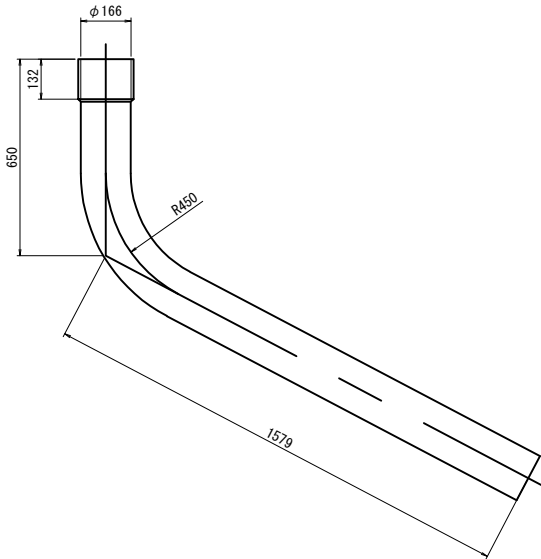
T-3 VP150A
製作数：2個

A-LINE	
P4	
P5	1
P8	1
P9	



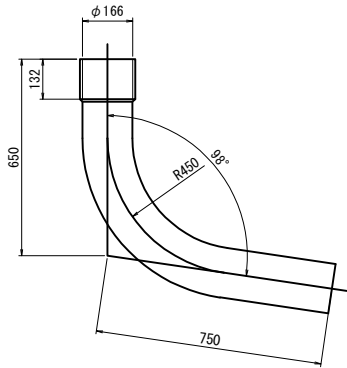
T-4 VP150A
製作数：2個

A-LINE	
P6	1
P7	1



T-5 VP150A
製作数：2個

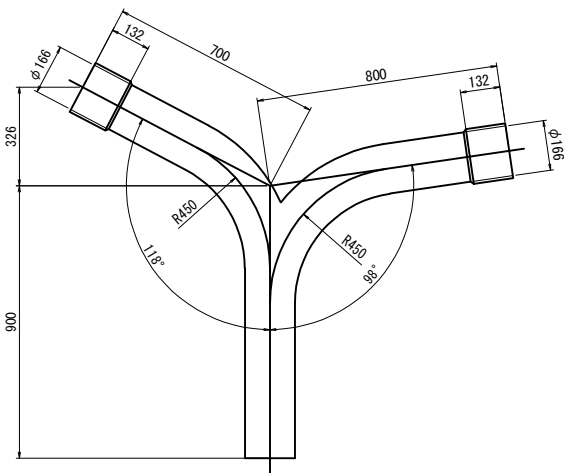
A-LINE	
P6	1
P7	1



【 継手詳細図 】

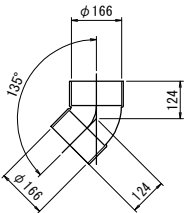
T-6 VP150A
製作数：2個

A-LINE	
P6	1
P7	1



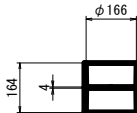
継手 VP150A
製作数：18個

A-LINE	
P2	2
P3	2
P4	2
P5	2
P6	4
P7	4
P8	2
P9	



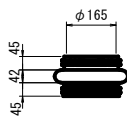
VU45° エルボ

ソケット VP150A
製作数：24個



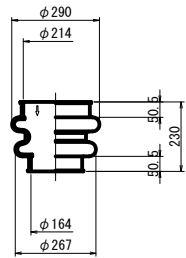
A-LINE	
P2	1
P3	1
P4	1
P5	4
P6	6
P7	6
P8	5
P9	

J1 伸縮管 150A
製作数：3個



A-LINE	
A1	
P2	1
P3	1
A2	
P9	1

J3 異径伸縮管 200Ax150A
製作数：5個

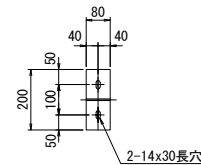


A-LINE	
P4	
P5	1
P6	2
P7	2
P8	

常盤自動車道 久慈川橋耐震補強工事			
図面の種類	大森高架橋 排水装置詳細図(その1)		
	縮 尺	図示	図面番号 200／208
設計会社名	株式会社 長 大		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

【 取付金具詳細図 】

A-line 新規製作数:21個



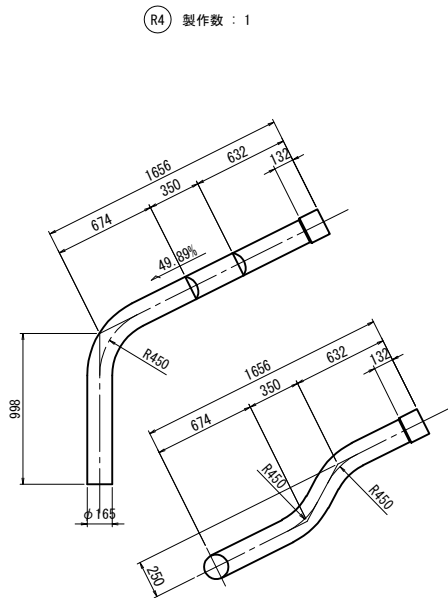
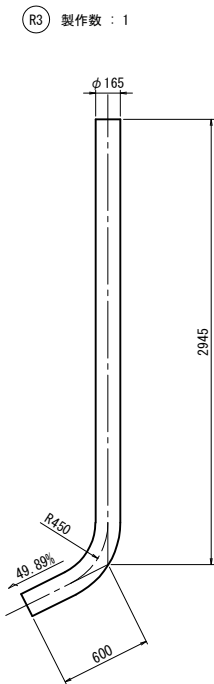
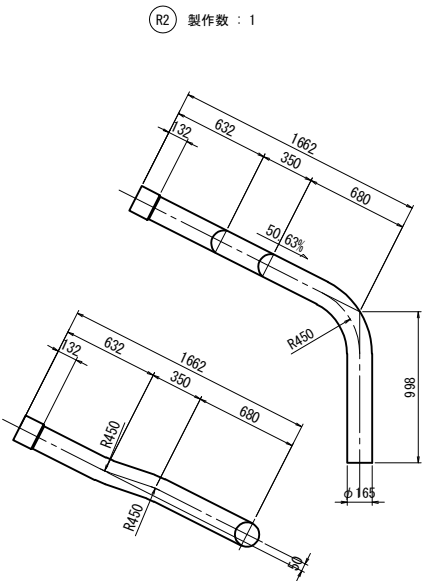
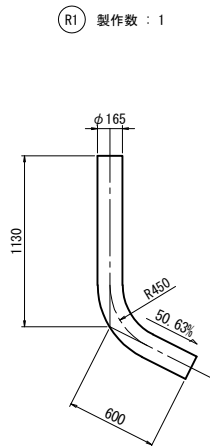
- 2-PL 80x4. 5x401 (SS400)
1-PL 80x6. 0x 429 (SS400)
1-PL 80x6. 0x200 (SS400)
1-PL 80x6. 0x80 (SS400)
6-BN M12x40 (2-W)
2-アンカーボルト M12 x100

2-PL 80x4. 5x401 (SS400)
1-PL 80x6. 0x200 (SS400)
1-PL 80x6. 0x1383 (SS400) (折れ加工)
4-BN M12x40 (2-W)
2-アンカーボルト M12 x100

常盤自動車道 久慈川橋耐震補強工事			
図面の種類	大森高架橋 排水装置詳細図（その２）		
	縮 尺	図示	図面番号 201／208
設計会社名	株式会社 長 大		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

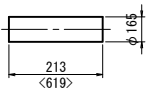
P4, P9

加工管詳細



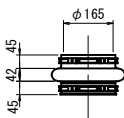
直管詳細図

a1<a2> 製作数：1<1>



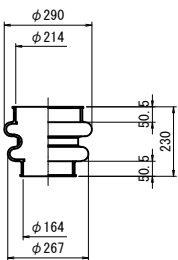
J1 伸縮管 150A S=1：25

製作数：1



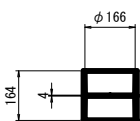
J3 異径伸縮管 200A x 150A S=1：25

製作数：1



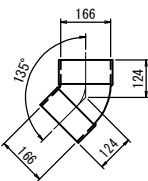
ソケット VP150A S=1：25

製作数：2



45° エルボ S=1：25

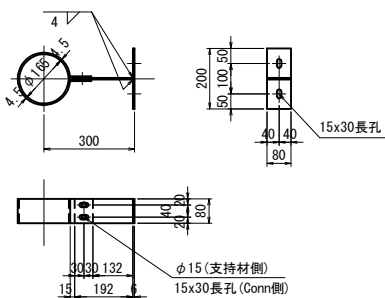
製作数：2



取付金具

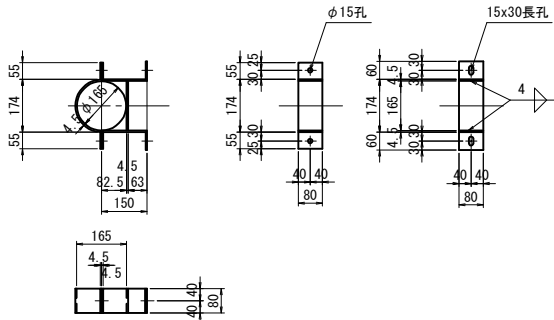
S=1：25

K-1（製作数：3）



- 1-PL 80 x 4.5 x 677
1-PL 80 x 6 x 192 (SM400A)
1-PL 80 x 6 x 200 (SM400A)
2-BN M12 x 40 (2-W付)
2-打ち込み式アンカーボルト M12 x 100

K-2（製作数：7）



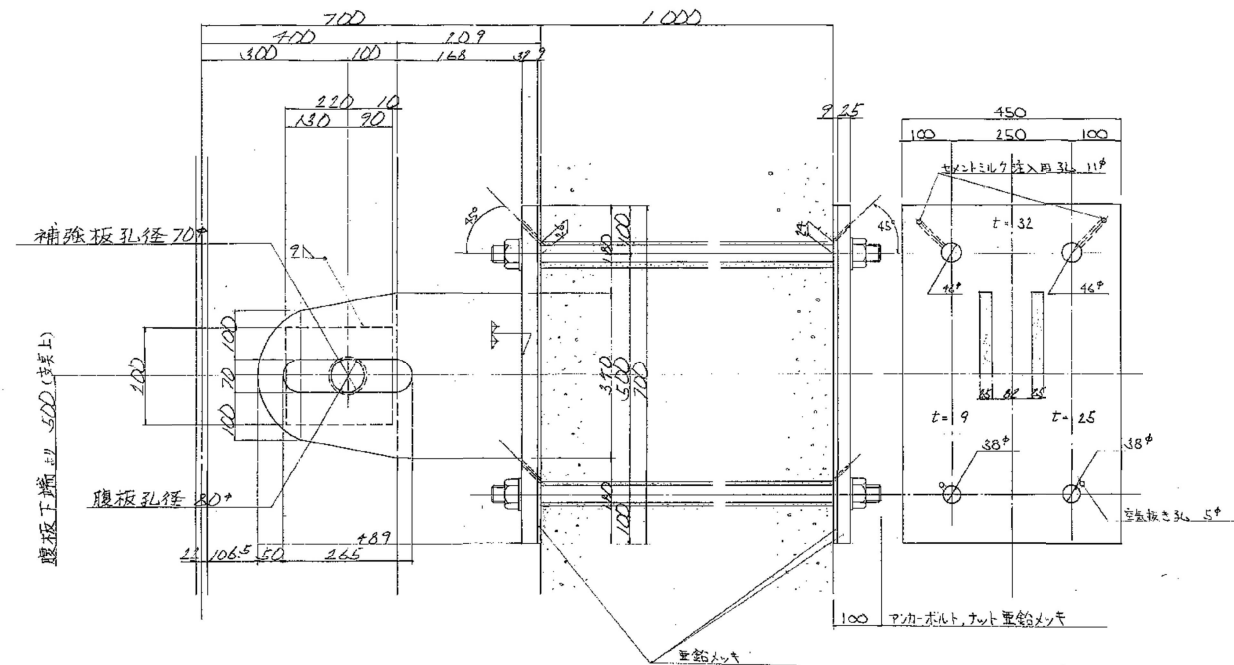
- 1-PL 80 x 4.5 x 376
2-PL 80 x 4.5 x 265 (SM400A)
1-PL 80 x 4.5 x 165 (SM400A)
2-BN M12 x 30 (2-W付)
2-打ち込み式アンカーボルト M12 x 100

注記

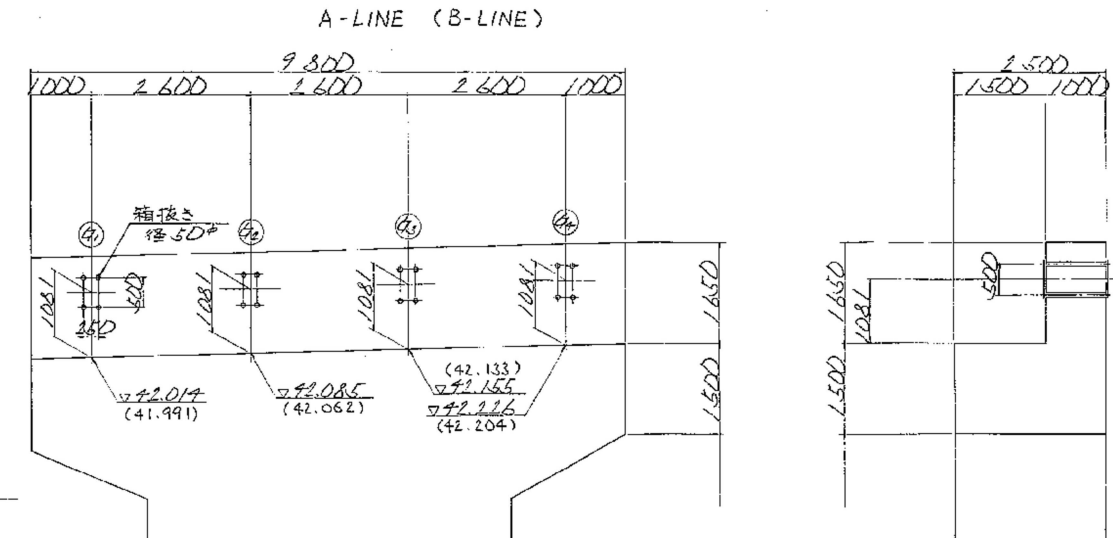
- 特記なき材質は、全てSS400とする。
- ナットは全て弛み止めナットを使用すること。
- 部材は、全て溶融亜鉛めっきとする。
垂鉛の付着量は、JIS H8641 HDZT77とする。
但し、ボルト・ナット及び厚さ3.2mm以下の部材は、HDZT49とする。
- ボルト孔は、めっき付着量を考慮し、ボルト径+3mmを標準とする。

常磐自動車道 久慈川橋耐震補強工事			
図面の種類	大森高架橋 排水装置詳細図（その3）		
	縮尺	図示	図面番号 202／208
設計会社名	株式会社 長大		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

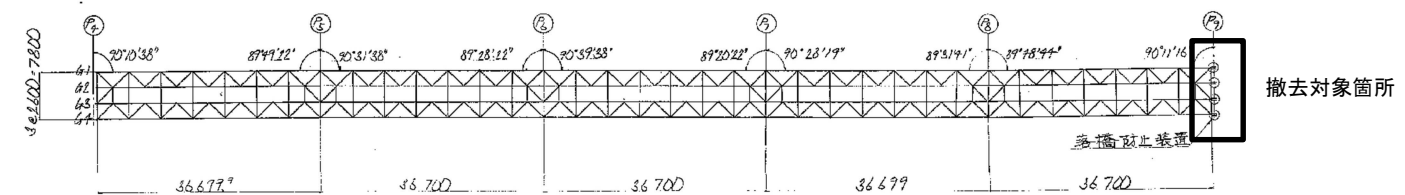
構造詳細図 縮尺 1:15



アンカーボルト橋脚位置図 縮尺 1:120



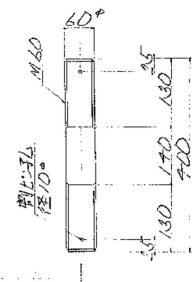
配置図



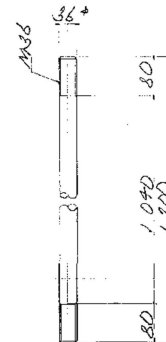
撤去対象箇所

(八組当り)

連結ピン $\delta = 1/5$



アンカーボルト 3.1/5



- 2 - P1 340 x 25 x 489 (3M41A) -
2 - P1 200 x 25 x 220 () -
1 - P1 750 x 32 x 700 () -
1 - P1 450 x 25 x 700 () ... 亜鉛メッキ
2 - P1 450 x 9 x 700 ----- 亜鉛メッキ

- 1- Pin $\phi 60 \times 400$
2- Nut M60 (ヤ1種)
2- Nut M60 (オ3種)
2- 羽ピン $\phi 10 \times 80$
2- Washer 115 ϕ \times 9
4- Anchor Bolt $\phi 36 \times 1200$
8- Nut M36 (ヤ1種)
8- Washer 75 ϕ \times 6
- 要銘ナキ

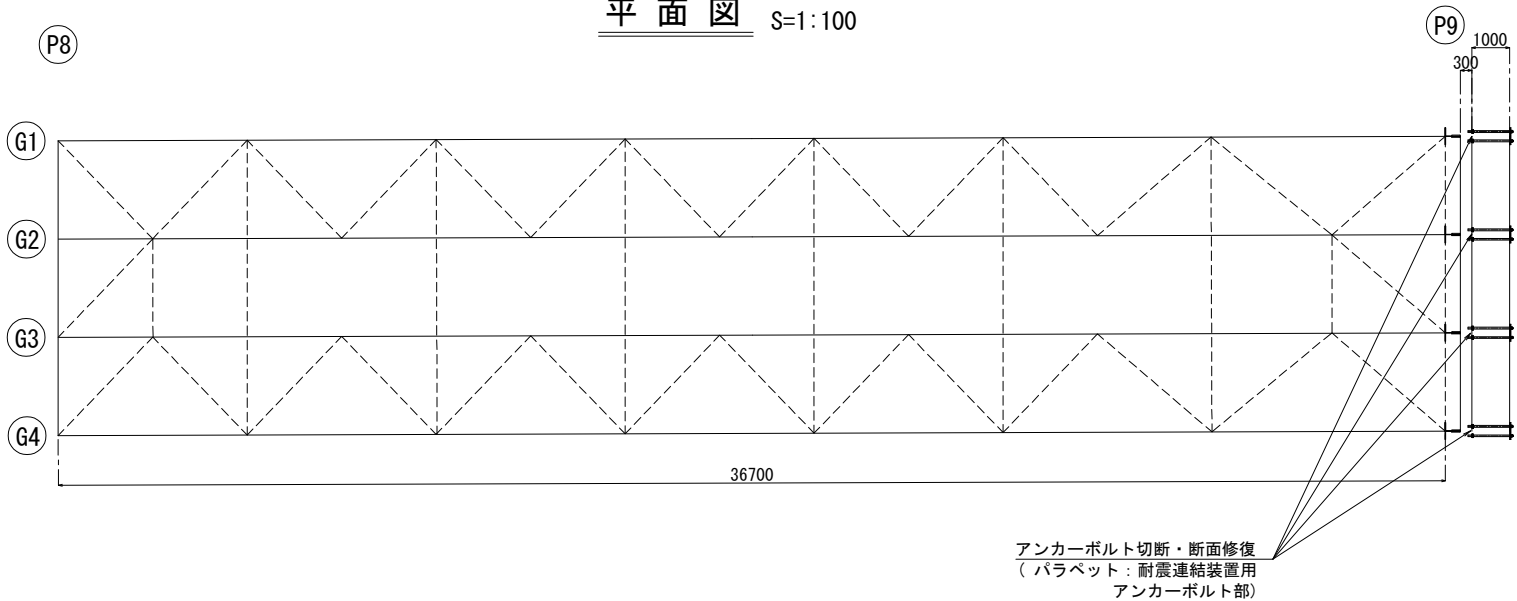
注)

1. 寸法単位は全てMMとする。
但し、橋脚高は、Mとする。
2. 特記以外の材質は全てSC40とする。

常磐自動車道 久慈川橋脚震補強工事			
図面の種類	大森高架橋 P9(A-ライン) 既設耐震補装装置 撤去工 (その1)		
縮 尺	図示	図面番号	203／208
設計会社名	株式会社 長大		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

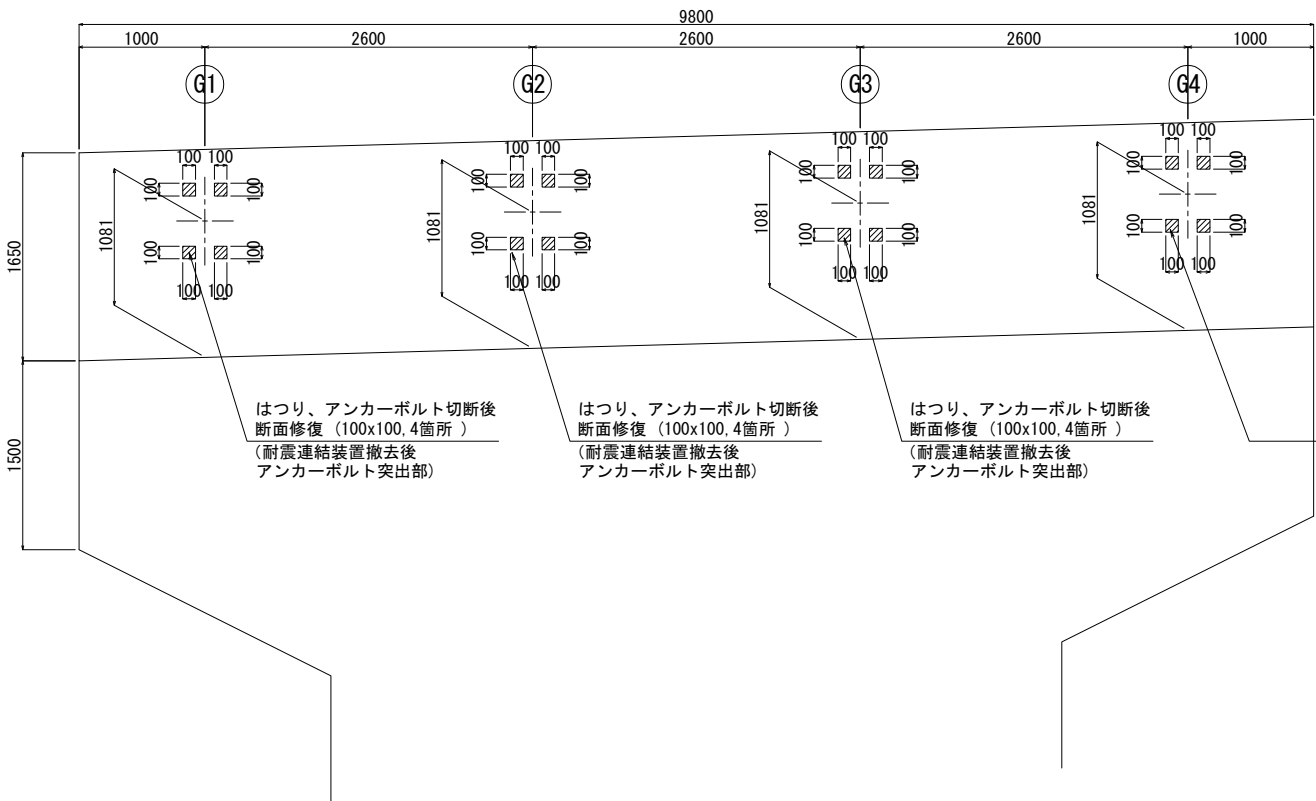
大森高架橋 P 9 (A-ライン) 既設耐震連結装置 撤去工(その2)
(アンカーボルト切断・断面修復)

平面図 S=1:100



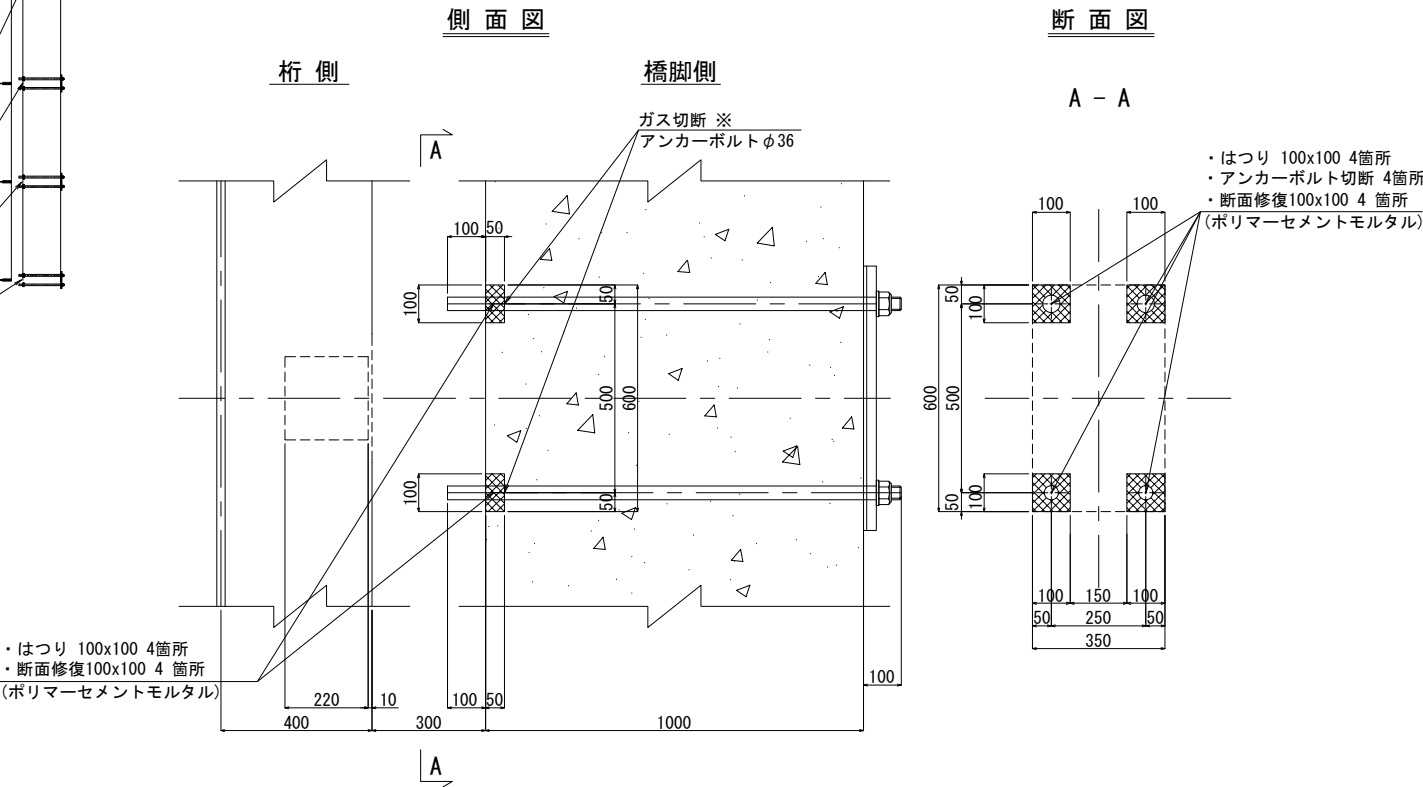
正面図 S=1:30

P9橋脚

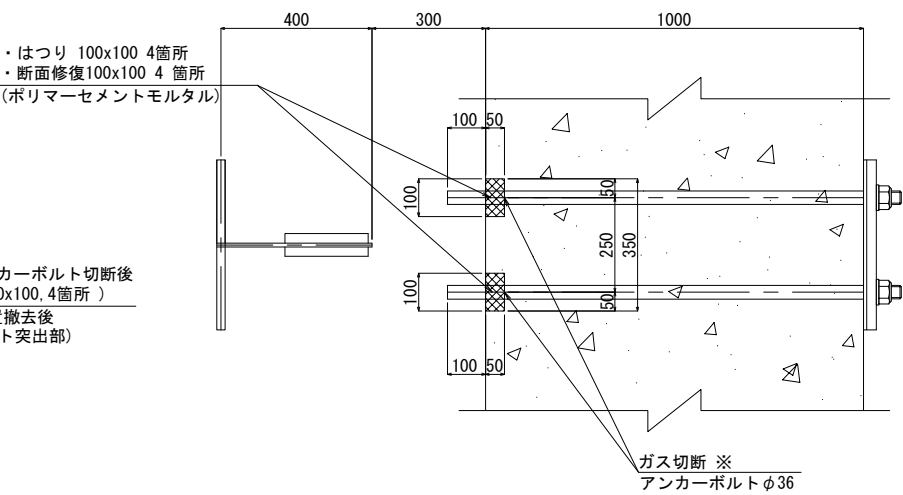


アンカーボルト切断・断面修復詳細図 S=1:10

N=4



平面図



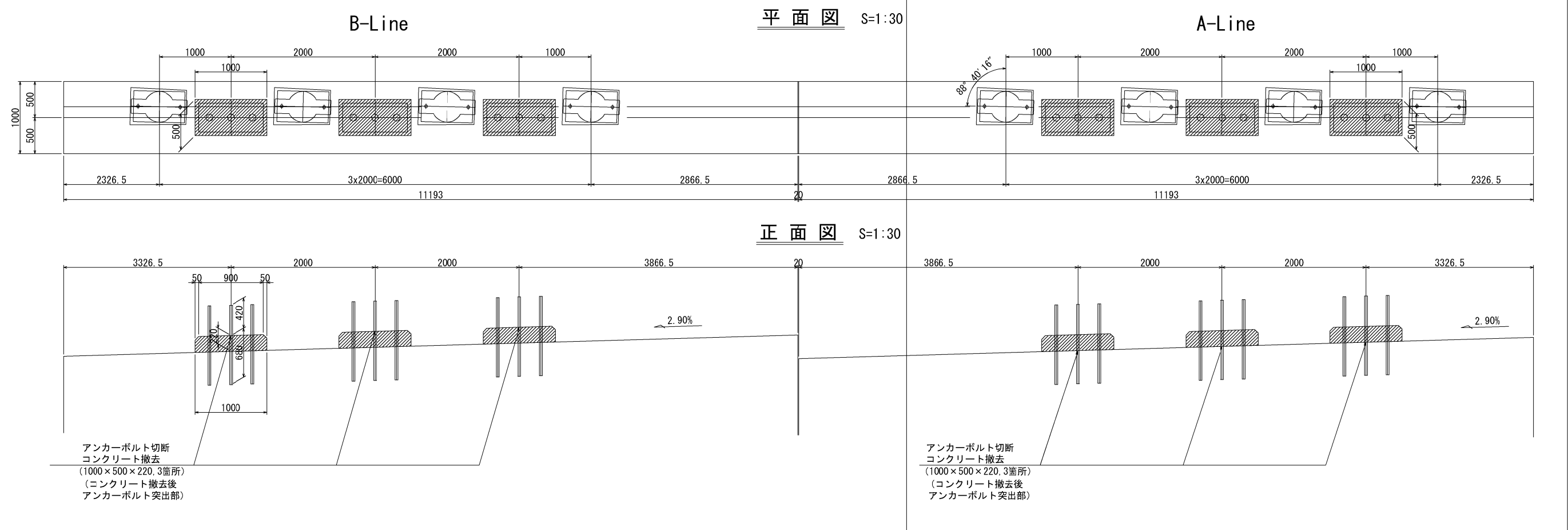
※ アンカーボルト切断面は、断面修復の際に防錆処理を行うこと。

- 注記
- 図中の補修計画は、既存点検データ、現地踏査に基づくものであるが、工事に際しては現地状況を十分把握し、併せて監督職員の承諾を得た上で実施すること。
 - 施工数量については、現地再確認を行った上、監督職員の承諾を得て決定すること。

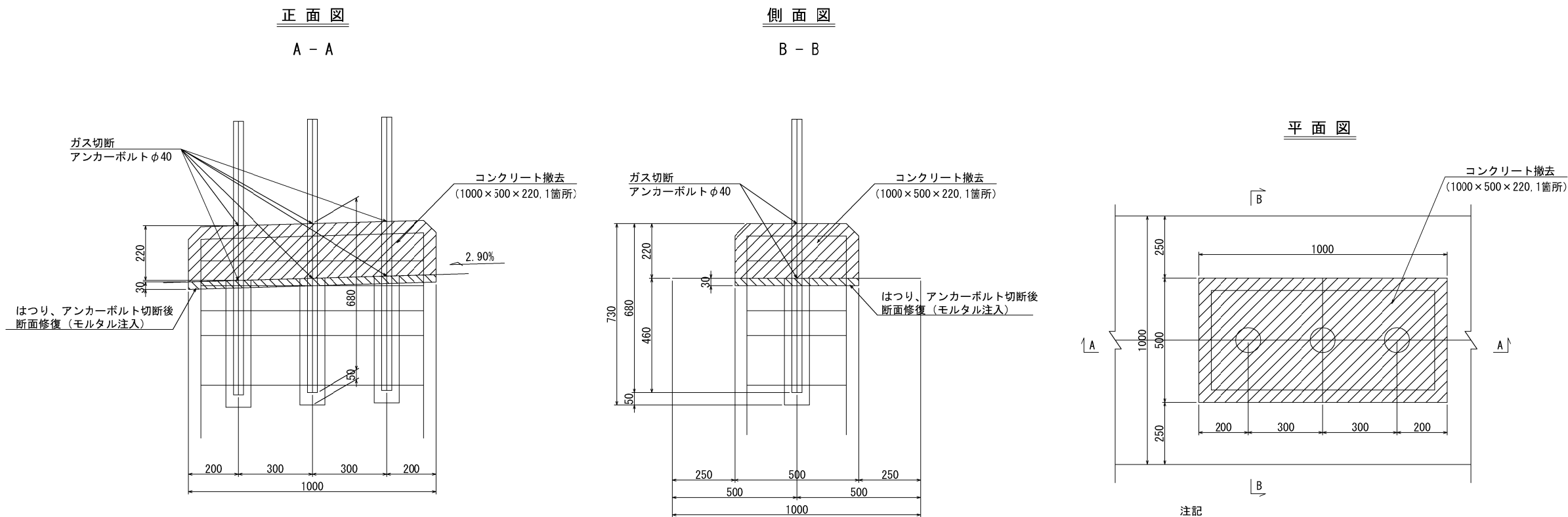
常磐自動車道 久慈川橋耐震補強工事			
図面の種類	大森高架橋 P 9 (A-ライン) 既設耐震連結装置 撤去工 (その2)		
縮 尺	図示	図面番号	204 / 208
設計会社名	株式会社 長大		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

大森高架橋 A2橋台 既設耐震連結装置 撤去工
(アンカーボルト切断・コンクリート撤去)

205 / 208



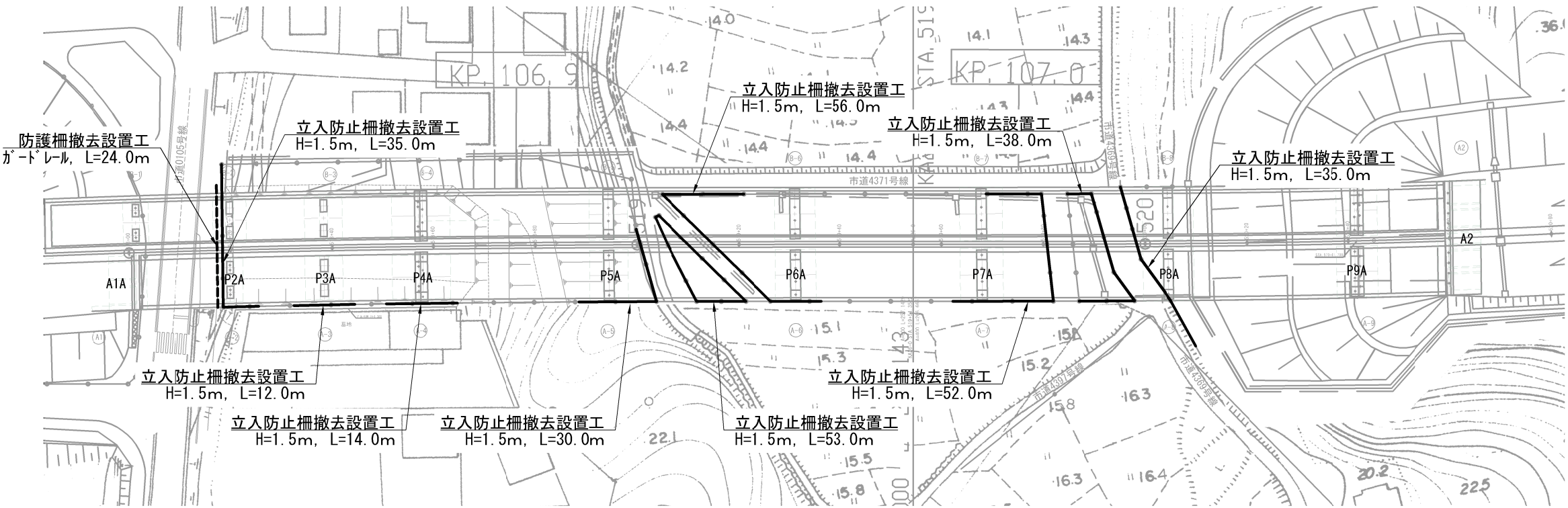
アンカーボルト切断・コンクリート撤去断面修復詳細図 S=1:10



- 注記
- 図中の補修計画は、既存点検データ、現地踏査に基づくものであるが、工事に際しては現地状況を十分把握し、併せて監督職員の承諾を得た上で実施すること。
 - 施工数量については、現地再確認を行った上、監督職員の承諾を得て決定すること。

常盤自動車道 久慈川橋耐震補強工事			
図面の種類	大森高架橋 A2橋台 既設耐震連結装置 撤去工		
	縮尺	図示	図面番号 205 / 208
設計会社名	株式会社 長 大		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

平面図 S = 1 : 1, 0 0 0

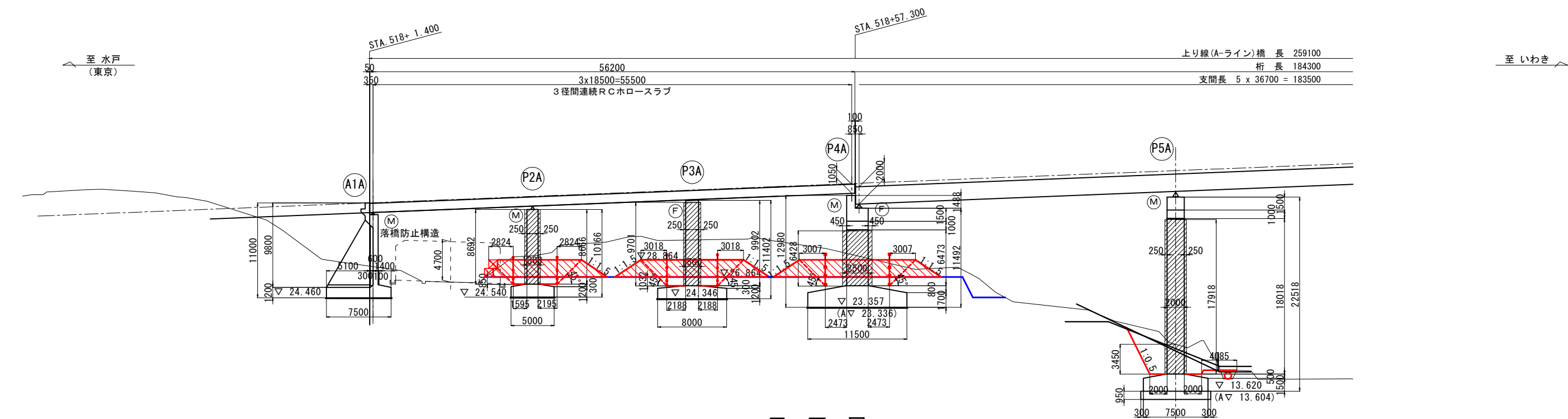


大森高架橋
防護柵撤去設置工 数量表

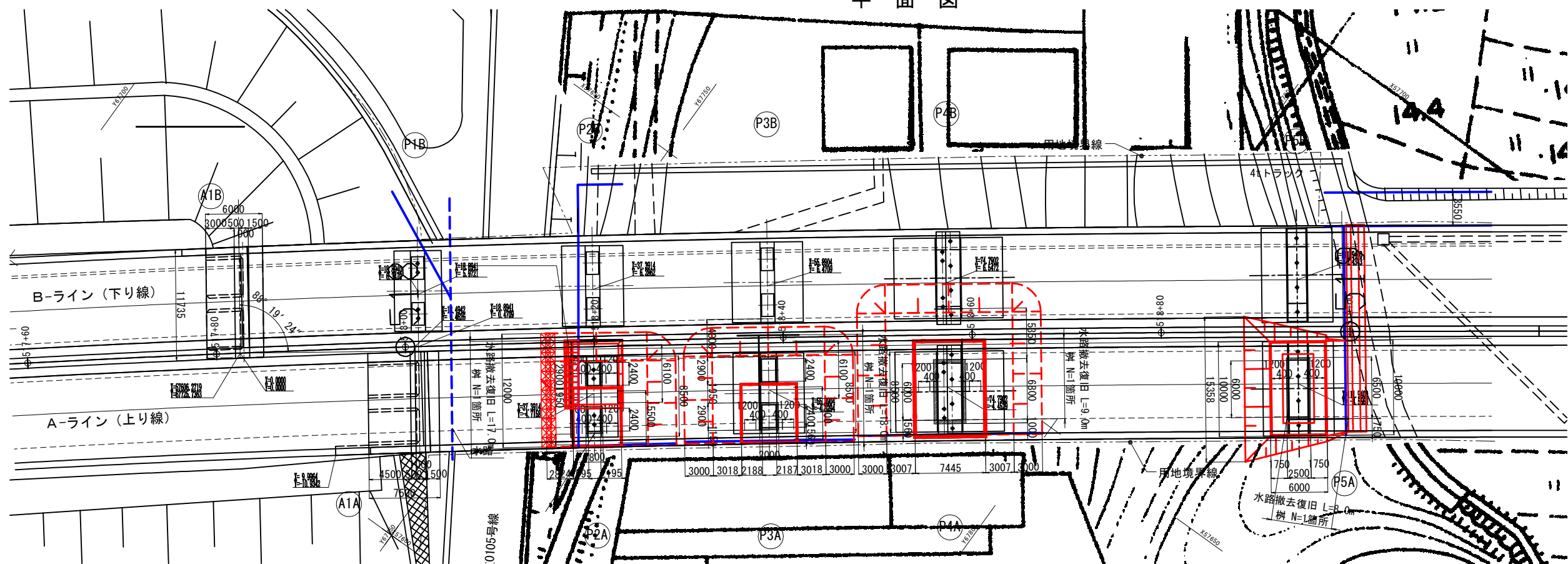
項目番号	名称	算定式	単位	数量
15-(10)	防護柵撤去設置工 (ガードレール)	24.0	m	24.0
15-(11)	立入防止柵撤去設置工 (一般型非積雪地用)	35.0+12.0+14.0+30.0+53.0 +56.0+52.0+38.0+35.0	m	325.0

常磐自動車道 久慈川橋耐震補強工事			
図面の種類	大森高架橋 防護柵撤去設置工		
縮尺	図示	図面番号	206／208
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

側 面 図



平 面 図

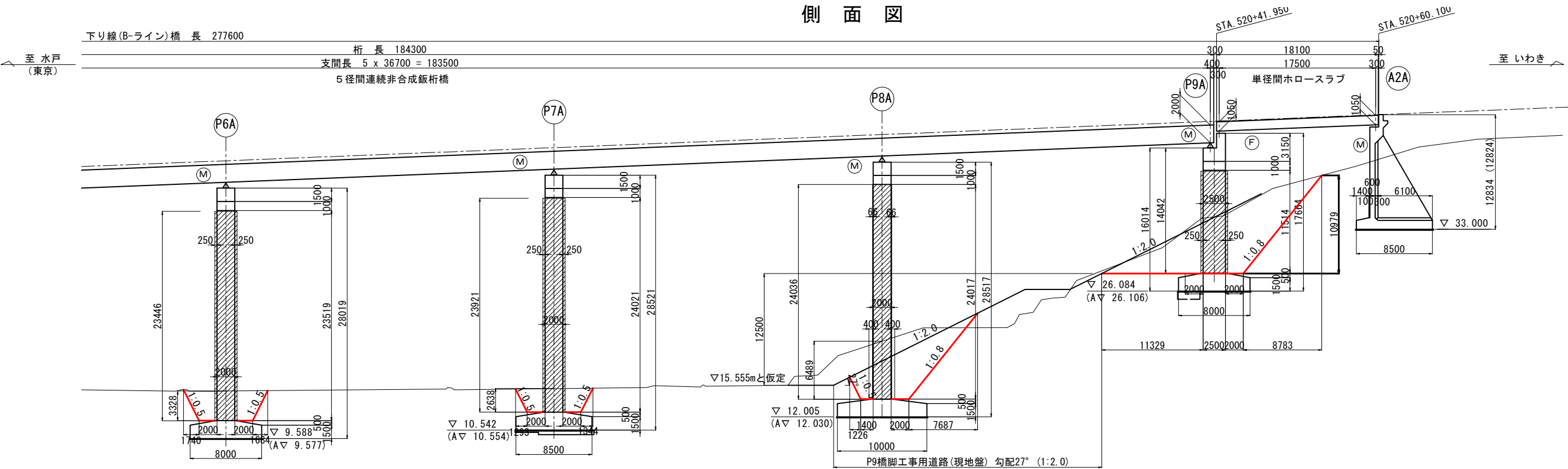


常磐自動車道 久慈川橋耐震補強工事			
図面の種類	大森高架橋 既設用排水溝、舗装撤去・設置工(その1)		
縮 尺	図示	図面番号	207/208
設計会社名	株式会社 長 大		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

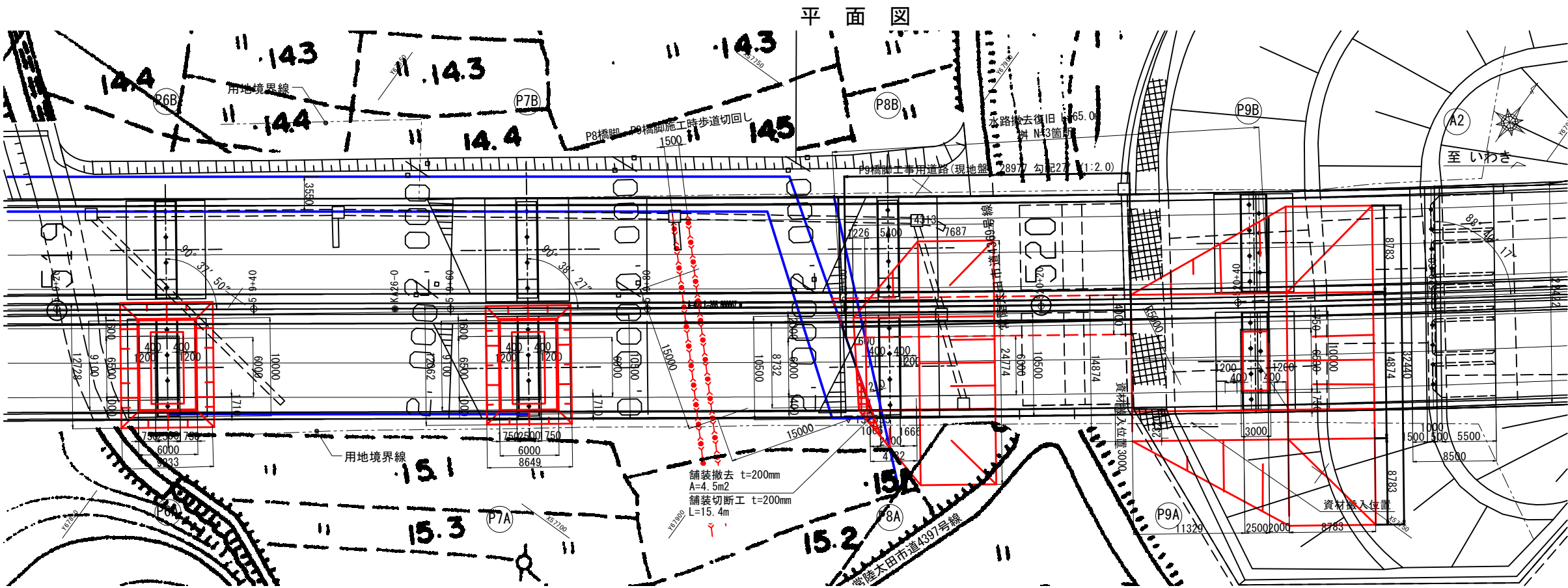
大森高架橋 既設用排水溝、舗装撤去・設置工(その2) 縮尺 1:500

208 / 208

側 面 図



平 面 図



常磐自動車道 久慈川橋耐震補強工事			
図面の種類	大森高架橋 既設用排水溝、舗装撤去・設置工(その2)		
縮 尺	図示	図面番号	208 / 208
設計会社名	株式会社 長 大		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		